

令和5年度 一般会計歳出 第15款8項2目 13節 使用料及び賃借料

連絡先

委託担当  
教育委員会事務局教育施設課整備係  
担当者名 芦澤  
電話 671-3298

令和5年3月13日 提出

## 設 計 書

件 名 吉 原 小 学 校 仮 設 校 舎 賃 貸 借

設 置 場 所 横浜市港南区日野二丁目20番40号

履 行 期 限 契約締結した日から 令和11年7月31日まで

概 要

- ・ 仮設校舎等の設置工事
- ・ 仮設校舎等の賃貸借
- ・ 仮設校舎等の解体工事

理 由

吉原小学校建替えにおいて、令和6年度以降に予定している既存校舎解体工事に先立ち、工事中も学校運営を継続させるために仮設校舎の賃貸借契約を行います。

総括表				
名称	数量	単位	金額	備考
A. 仮設校舎設置工事	1	式		
B. 設計費	1	式		
C. 工事監理費	1	式		
D. 諸経費	1	式		
E. 賃貸借料	1	式		
小計				
消費税相当額				10%
総計				

横浜市教育委員会事務局

工事費 工事種別内訳書				
A. 仮設校舎設置工事				
名称	数量	単位	金額	備考
A. 仮設校舎設置工事				
(1) 一期工事				
ア) 校舎	1	式		
イ) 体育館	1	式		
ウ) 渡り廊下①	1	式		
エ) 附帯倉庫①	1	式		
オ) 共通仮設工事	1	式		
小計				
(2) 二期工事				
ア) 給食室	1	式		
イ) 渡り廊下②	1	式		
ウ) 付帯倉庫②	1	式		
エ) 仮設校舎（解体工事）	1	式		
オ) 共通仮設工事	1	式		
小計				
合計				

横浜市教育委員会事務局

工事費 科目別内訳書				
A. 仮設校舎設置工事				
名称	数量	単位	金額	備考
(1) 一期工事				
ア) 校舎				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
給排水設備工事	1	式		
空調換気設備工事	1	式		
備品・家具工事	1	式		
外構工事	1	式		
引越し工事	1	式		
昇降機設備	1	式		
小計				

横浜市教育委員会事務局

工事費 科目別内訳書				
A. 仮設校舎設置工事				
名称	数量	単位	金額	備考
(1) 一期工事				
イ) 体育館				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
給排水設備工事	1	式		
空調換気設備工事	1	式		
外構工事	1	式		
解体工事	1	式		
小計				

横浜市教育委員会事務局

工事費 科目別内訳書				
A. 仮設校舎設置工事				
名称	数量	単位	金額	備考
(1) 一期工事				
ウ) 渡り廊下①				
建設工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
解体工事	1	式		
小計				
エ) 附帯倉庫①				
防災備蓄庫設置工事	1	式		
少量危険物倉庫設置工事	1	式		
解体工事	1	式		
小計				

横浜市教育委員会事務局

工事費 科目別内訳書				
A. 仮設校舎設置工事				
名称	数量	単位	金額	備考
(1) 一期工事				
才) 共通仮設工事				
共通仮設工事	1	式		
小計				
合計				

横浜市教育委員会事務局

工事費 科目別内訳書				
A. 仮設校舎設置工事				
名称	数量	単位	金額	備考
(2) 二期工事				
ア) 給食室				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
給排水設備工事	1	式		
空調換気設備工事	1	式		
厨房機器設備	1	式		
外構工事	1	式		
解体工事	1	式		
小計				

横浜市教育委員会事務局



工事費 科目別内訳書				
A. 仮設校舎設置工事				
名称	数量	単位	金額	備考
(2) 二期工事				
イ) 渡り廊下②				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
解体工事	1	式		
小計				
ウ) 付帯倉庫②				
ゴミ置場設置工事	1	式		
解体工事	1	式		
小計				

横浜市教育委員会事務局

工事費 科目別内訳書				
A. 仮設校舎設置工事				
名称	数量	単位	金額	備考
(2) 二期工事				
エ) 仮設校舎 (解体工事)				
仮設工事 (解体工事)	1	式		
小計				
オ) 共通仮設工事				
共通仮設工事	1	式		
小計				
合計				

横浜市教育委員会事務局

設計費 科目別内訳書				
B. 設計費				
名称	数量	単位	金額	備考
B. 設計費				
実施設計・申請業務費	1	式		
小計				

横浜市教育委員会事務局

工事監理費 科目別内訳書				
C. 工事監理費				
名称	数量	単位	金額	備考
C. 工事監理費				
工事監理費	1	式		
小計				

横浜市教育委員会事務局

諸経費 科目別内訳書				
D. 諸経費				
名称	数量	単位	金額	備考
D. 諸経費				
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
法定点検	1	式		
定期点検	1	式		
公租公課	1	式		
火災保険	1	式		
小計				

横浜市教育委員会事務局

貸借料 科目別内訳書				
E. 貸借料				
名称	数量	単位	金額	備考
E. 貸借料				
一期工事	1	式		
二期工事	1	式		
小計				

横浜市教育委員会事務局

(消費税及び地方消費税相当額を含む)

年度月	支出割合(%)	支払金額(円)
5年度	40.00	
契約締結～3月(設計・新設工事)	40.00	
6年度	10.00	
4月(新設工事)		
5月(新設工事)	3.33	
6月(新設工事)		
7月(賃貸借)		
8月(賃貸借)		
9月(賃貸借)	3.33	
10月(賃貸借)		
11月(賃貸借)		
12月(賃貸借)		
1月(賃貸借)	3.33	
2月(賃貸借)		
3月(賃貸借)		
7年度	10.00	
4月(賃貸借)		
5月(賃貸借)	3.33	
6月(賃貸借)		
7月(賃貸借)		
8月(賃貸借)		
9月(賃貸借)	3.33	
10月(賃貸借)		
11月(賃貸借)		
12月(賃貸借)		
1月(賃貸借)	3.33	
2月(賃貸借)		
3月(賃貸借)		
8年度	10.00	
4月(賃貸借)		
5月(賃貸借・新設工事)	3.33	
6月(賃貸借・新設工事)		
7月(賃貸借・新設工事)		
8月(賃貸借・新設及び解体工事)		
9月(賃貸借・解体工事)	3.33	
10月(賃貸借・解体工事)		
11月(賃貸借・解体工事)		
12月(賃貸借)		
1月(賃貸借)	3.33	
2月(賃貸借)		
3月(賃貸借)		
9年度	10.00	
4月(賃貸借)		
5月(賃貸借)	3.33	
6月(賃貸借)		
7月(賃貸借)		
8月(賃貸借)		
9月(賃貸借)	3.33	
10月(賃貸借)		
11月(賃貸借)		
12月(賃貸借)		
1月(賃貸借)	3.33	
2月(賃貸借)		
3月(賃貸借)		
10年度	10.00	
4月(賃貸借)		
5月(賃貸借)	3.33	
6月(賃貸借)		
7月(賃貸借)		
8月(賃貸借)		
9月(賃貸借)	3.33	
10月(賃貸借)		
11月(賃貸借)		
12月(賃貸借)		
1月(賃貸借)	3.33	
2月(賃貸借)		
3月(賃貸借)		
11年度	10.00	
4月(解体工事)		
5月(解体工事)	10.00	
6月(解体工事)		
7月(解体工事)		
合計	100.00	

## 吉原小学校仮設校舎賃貸借仕様書

横浜市教育委員会事務局教育施設課



## 第1章 総則

### 1-1 賃貸内容及び履行期限

仮設建物の設計施工（法的手続き含む）及び仮設建物の賃貸借業務

契約締結日から令和11年7月31日

法定手続きとは下記内容を指す

- ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律に規定される書面の提出
- ・建築士法第24条の7の規定に基づく書面の提出
- ・建築士法第22条の3の3の規定に基づく書面の提出
- ・測量業務（現況測量データは有）、平板載荷試験、建築計画、設計、図面作成及び仮設建物の建設に伴う官公庁等への手続き（建築基準法第85条第6項申請、建築基準法に規定する建築確認申請、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、横浜市福祉のまちづくり条例に適合、消防法等関係法令に規定する諸手続き等全て）を行なう。

### 1-2 工事概要書

設置場所

港南区日野二丁目20番40号

主要用途

【一期工事】※整備時期は別紙図面参照

- ・仮設校舎棟・仮設体育館棟・仮設防災倉庫・仮設渡り廊下棟①  
少量危険物貯蔵庫

【二期工事】※整備時期は別紙図面参照

- ・仮設給食室棟・仮設ゴミ置き場棟・仮設渡り廊下棟②

工事延床面積

- ・仮設校舎（2,000㎡程度）
- ・仮設体育館（550㎡程度）
- ・仮設防災倉庫（24㎡程度）
- ・仮設渡り廊下①（200㎡程度）
- ・仮設給食室（290㎡程度）
- ・仮設ゴミ置き場（15㎡程度）
- ・仮設渡り廊下②（50㎡程度）
- ・少量危険物貯蔵庫（3.3㎡程度）

構造・規模

- ・仮設校舎（軽量鉄骨造 2階建て）
- ・仮設体育館（軽量鉄骨造 平屋建て）
- ・仮設防災倉庫（軽量鉄骨造 平屋建て）
- ・仮設渡り廊下①（軽量鉄骨造 平屋建て）
- ・仮設給食室（軽量鉄骨造 平屋建て）
- ・仮設ゴミ置き場（軽量鉄骨造 平屋建て）
- ・仮設渡り廊下②（軽量鉄骨造 平屋建て）

用途地域

第一種低層住居専用地域／準住居地域

防火地域

防火指定なし／準防火地域

### 1-3 契約条件

#### 【使用期間】

- ・仮設校舎 : 令和 6年 7月 1日から令和11年 3月31日まで
- ・仮設体育館 : 令和 6年 7月 1日から令和 8年 7月31日まで
- ・仮設渡り廊下① : 令和 6年 7月 1日から令和 8年 7月31日まで
- ・危険物貯蔵庫 : 令和 6年 7月 1日から令和 8年 7月31日まで
- ・仮設防災倉庫 : 令和 6年 7月 1日から令和 8年 7月31日まで
- ・仮設給食室 : 令和 8年 9月 1日から令和11年 3月31日まで
- ・仮設渡り廊下② : 令和 8年 9月 1日から令和11年 3月31日まで
- ・仮設ゴミ置き場 : 令和 8年 9月 1日から令和11年 3月31日まで

\*使用期間の短縮又は延長及びそれに伴う契約期間の変更については、別途協議とする。

\*使用期間終了後は、速やかに手続を行い、解体及び粗整地を行うこと。また、解体及び粗整地にかかる費用は本契約に含む。

### 1-4 適用範囲

- ・当該工事にあたっては、本仕様書及び図面、特記仕様書に記載してある事項による。それらに記載されていない事項については、原則として受注金額の範囲内で市と協議し決定するものとする。

### 1-5 作成図書

- ・設計にあたっては、関係法令を遵守すること。契約締結後、速やかに本仕様書及び特記仕様書、図面に基づき、詳細設計及び計画通知、仮設建築物の許可等の申請資料等の作成を行い、事前相談・許認可申請等の手続きを受注者の責で完成させること。
- ・受注者が作成する一般的な設計図書（以下「設計図書」という。）は、仮設計画図、建築図、電気設備図、給排水衛生設備図、その他設備施工図、諸官庁提出図面（構造図、構造計画書、計画通知）、その他必要図書とする。

なお、平面図の各諸室は必ず設け、面積は平面図の面積と同程度とする。備品リスト、設備諸元表の記載の仕様と同程度のものとする。

### 1-6 使用材料等

- ・原則として工事に使用する材料は、特記仕様書に定める品質及び性能を有する新品とする。なお、アスベスト含有建材の使用は禁止する。
- ・鉄骨製作にあたっては、品質確保の観点から自社工場（関連工場除く）での製作・整備・加工・出荷が可能であり、自社工場である旨、証明する書類を市に提出すること。
- ・原材料、部材等については、JIS, JAS 規格品を使用すること。
- ・本体鉄骨部材等においてリユース部材の使用は可とするが、品質の確認を行い、安全性を十分担保すること。

### 1-7 工事監理業務

- ・受注者は工事監理者を任命し、計画通知に伴う建築基準法上等の着工前から完了までの検査及び諸手続きに関する以下監理業務を行う。

(1) 着工前手続き

(2) 施工計画等の確認、検査確認等、施工中手続き

(3) 完了時手続き、検査立会等

### 1-8 施工前協議

- ・施工前に、設計図書を市に提出し、市（市の監督員及び委託監督員）と協議を行うこと。

### 1-9 施工体制等

- ・工事に際しては、関連法令等を遵守した上で施工管理体制を確立し、仮設計画、工事工程等について協議を行い、工程管理、安全対策、品質の確保等を適切に行わなければならない。また、工事車両の搬入は、事前に学校及び近隣住民に周知し、トラブルのないよう努め、周辺住民等への工事説明会開催時には必要な書類を作成し同席すること。
- ・基礎工事においては、杭は極力使用しないものとし、地盤改良等で対応すること。

### 1-10 疑義

- ・工事内容に疑義が生じたときには、市と協議を行い決定すること。

### 1-11 安全対策

- ・工事施工中の安全確保に関しては、関係法令を遵守し、「建設工事公衆災害防止対策要領」に従い、工事の施工に伴う災害の防止に努めなければならない。また、工事に際しては、児童及び近隣住民の安全を確保すること。

## 第2章 施工計画

### 2-1 一般共通事項

- |                |                                       |   |
|----------------|---------------------------------------|---|
| (1) 事前現場調査     | <input checked="" type="checkbox"/> 可 | <input type="checkbox"/> 不可             |
| (2) 官公庁その他への届出 | <input type="checkbox"/> 市            | <input checked="" type="checkbox"/> 受注者 |

### 2-2 仮設工事

- |              |                                       |   |
|--------------|---------------------------------------|---|
| (1) 現場事務所    | <input checked="" type="checkbox"/> 要 | <input type="checkbox"/> 不要               |
| (2) 工事用仮設トイレ | <input checked="" type="checkbox"/> 要 | <input type="checkbox"/> 不要               |
| (3) 工事用水     | <input type="checkbox"/> 支給           | <input checked="" type="checkbox"/> 受注者負担 |
| (4) 工事用電力    | <input type="checkbox"/> 支給           | <input checked="" type="checkbox"/> 受注者負担 |
| (5) 仮囲い      | <input checked="" type="checkbox"/> 要 | <input type="checkbox"/> 任意（受注者が安全を確保）    |
| (6) 交通整理員    | <input checked="" type="checkbox"/> 要 | <input type="checkbox"/> 任意（受注者が安全を確保）    |

### 2-3 土工事

- (1) GLは事前に高低差測量を行い協議の上決定する。
- (2) 建設発生土を含む発生材が生じた場合は、横浜市と協議の上、法に則って適切に処分すること。
- (3) 再生砕石の使用 可 不可
- (4) 地質調査資料の有無 有（参考） 無

受注者負担において平板載荷試験等を実施し、構造耐力上必要な地耐力の確認及び不同沈下がおきない旨等の検討を行うこと。また、地盤改良等が必要な場合は別途横浜市と協議を行うこと。

### 2-4 本体工事

- (1) コンクリート強度は設計強度 21N/mm<sup>2</sup>以上とする。
- (2) 床の積載荷重 建築基準法による 市構造基準による
- (3) 鉄骨の規格 自社規定による ISO9001 認定工場のもの  
又は JIS 規格適合品

- (4) 鉄骨錆止め塗装 建築工事標準仕様書を適用 自社規定による
- (5) 横浜市「公共建築物構造設計の用途係数基準」における用途係数は、仮設校舎は1.0、仮設体育館は1.25とする。

## 2-5 仕上工事

- (1) 外部仕上材仕様 自社規定による 別表による
- (2) 内部仕上材仕様 自社規定による 別表による

## 2-6 その他

- (1) 地上障害物の処理 指定場所に移設 指定場所へ処分  
(遊具・倉庫等) 受注者の責任において処分 別途協議
- (2) 地中障害物の処理 指定場所に移設 指定場所へ処分  
(散水設備等) 受注者の責任において処分 別途協議
- (3) セキュリティシステム 別途加入 非加入  
※引渡し後横浜市負担において加入予定
- (4) 清掃契約 有 無
- (5) 試験、製品検査 要（公共建築工事標準仕様書に準拠） 自社規定による
- (6) ガス 要 不要
- (7) ケーブルテレビ 別途加入 非加入
- (8) プロバイダー（インターネット） 別途加入 非加入
- (9) 避難器具 要（点検は別） 別途
- (10) 消防用設備 要 別途
- (11) 昇降機 要 別途
- (12) 受水槽 要 不要

## 第3章 設備

- 3-1 給水、排水、ガス、空調、電気、電話、昇降機等を設置すること。
- 3-2 衛生器具等は事前に市と協議のうえ施工すること。
- 3-3 照明器具、コンセント位置及び弱電機器等は事前に市と協議のうえ施工すること。

## 第4章 雑部

- 4-1 仕上ユニット等は、別表及び参考図面を参照し製作図等を作成の上、納入・設置を行うこと。
- 4-2 案内板・室内板については、名称を確認のうえ製作すること。

## 第5章 引渡検査

- 5-1 受注者は工事が完了したときは、必要な許認可手続を経たうえで、その旨を市に通知しなければならない。
- 5-2 市は完了の通知を受けたときは、すみやかに確認の検査を行う。検査に合格しない場合、受注者はその責において直ちに手直しを行い、再検査を受けるものとする。
- 5-3 検査に合格したときは、市はすみやかに引渡しを受けるものとする。
- 5-4 受注者は引渡し前に建物の内外にわたり十分に清掃を行うものとする。
- 5-5 引き渡しに際し受注者は、完成図、維持保全に関する資料、引渡し品（貸与品）、目録、

諸官庁届出書、その他必要書類を市に提出する。

5-6 引渡検査合格後、賃貸借開始前には学校関係者を対象とした取扱説明会を開催すること。

## 第6章 維持管理

受注者は、賃貸期間中、必要な修繕義務を負い、保守点検を行うものとする。市は物件を注意して維持管理する義務を負う。各々費用負担する事項については次のとおりとし、その以外の事項については、その都度協議により決定する。

- |             |                                       |   |
|-------------|---------------------------------------|---|
| (1) 公租公課    | <input type="checkbox"/> 市            | <input checked="" type="checkbox"/> 受注者 |
| (2) 火災保険    | <input type="checkbox"/> 市            | <input checked="" type="checkbox"/> 受注者 |
| (3) 法定点検    | <input checked="" type="checkbox"/> 市 | <input type="checkbox"/> 受注者            |
| (4) 各種消耗品   | <input checked="" type="checkbox"/> 市 | <input type="checkbox"/> 受注者            |
| (5) 電気料金    | <input checked="" type="checkbox"/> 市 | <input type="checkbox"/> 受注者            |
| (6) ガス料金    | <input checked="" type="checkbox"/> 市 | <input type="checkbox"/> 受注者            |
| (7) 上下水道使用料 | <input checked="" type="checkbox"/> 市 | <input type="checkbox"/> 受注者            |
| (8) 清掃      | <input checked="" type="checkbox"/> 市 | <input type="checkbox"/> 受注者            |
| (9) セキュリティ  | <input checked="" type="checkbox"/> 市 | <input type="checkbox"/> 受注者            |
| (10) 通信費    | <input checked="" type="checkbox"/> 市 | <input type="checkbox"/> 受注者            |
| (11) 保守点検   | <input type="checkbox"/> 市            | <input checked="" type="checkbox"/> 受注者 |

## 第7章 工事上の疑義

工事内容に疑義が生じたときは市と協議を行い決定すること。

## 吉原小学校仮設校舎賃貸借特記仕様書

横浜市教育委員会事務局教育施設課

## 1 建物概要

### (1) 名称

吉原小学校仮設校舎

### (2) 設置場所

港南区日野二丁目 20 番 40 号

### (3) 構造規模等

- ・仮設校舎（軽量鉄骨造 2階建て）
- ・仮設体育館（軽量鉄骨造 平屋建て）
- ・仮設防災倉庫（軽量鉄骨造 平屋建て）
- ・仮設渡り廊下①（軽量鉄骨造 平屋建て）
- ・仮設給食室（軽量鉄骨造 平屋建て）
- ・仮設ゴミ置き場（軽量鉄骨造 平屋建て）
- ・仮設渡り廊下②（軽量鉄骨造 平屋建て）

### (4) 敷地面積

約 5, 6 7 8 m<sup>2</sup>（※敷地分割とした場合）

### (5) 建築面積

- ・仮設校舎（1, 0 0 0 m<sup>2</sup>程度）
- ・仮設体育館（5 5 0 m<sup>2</sup>程度）
- ・仮設防災倉庫（2 4 m<sup>2</sup>程度）
- ・仮設渡り廊下①（2 0 0 m<sup>2</sup>程度）
- ・仮設給食室（2 9 0 m<sup>2</sup>程度）
- ・仮設ゴミ置き場（1 5 m<sup>2</sup>程度）
- ・仮設渡り廊下②（5 0 m<sup>2</sup>程度）

### (6) 延床面積

- ・仮設校舎（2, 0 0 0 m<sup>2</sup>程度）
- ・仮設体育館（5 5 0 m<sup>2</sup>程度）
- ・仮設防災倉庫（2 4 m<sup>2</sup>程度）
- ・仮設渡り廊下①（2 0 0 m<sup>2</sup>程度）
- ・仮設給食室（2 9 0 m<sup>2</sup>程度）
- ・仮設ゴミ置き場（1 5 m<sup>2</sup>程度）
- ・仮設渡り廊下②（5 0 m<sup>2</sup>程度）

## 2 一般共通事項

本工事は、この仕様書による他は原則「公共建築工事標準仕様書 建築工事編（最新版）」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）、「公共建築工事標準仕様書 機械設備工事編（最新版）」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）、「公共建築工事標準仕様書 電気設備工事編（最新版）」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）によることとする。

## 3 建築工事【共通仕様】

### (1) 直接仮設工事

- ・建築に係るやり方、墨出し・現寸型板、外部足場、安全手摺、防災養生シート、養生、清掃

後片付け一式とする。

(2) 土工事

- ・基礎工事等に係る既存舗装の解体、根切り、埋め戻し、残土処分、砕石地業一式とする。なお、残土が生じる場合は、横浜市と協議の上、法に則って適切に処分すること。アスファルトはリサイクル処分を行うこと。

(3) コンクリート工事

- ・基礎工事等に係るコンクリートの材料及び打設手間及び運搬費一式とする。

(4) 型枠工事

- ・基礎工事等のコンクリート設置に係る型枠損料及び運搬費一式とする。

(5) 鉄筋工事

- ・基礎工事等に使用する材料、加工手間、運搬費一式とする。使用するコンクリート用棒 D10～D16 については、SD295A、D19 以上は SD345 とする。

(6) 鉄骨工事

- ・鉄骨建物本体等に使用する鉄骨等の材料、工場加工費、運搬費、鉄骨建て方費、建て方に使用する重機の損料、錆び止め塗装費等一式とする。なお、鉄骨断面等は構造計算により安全を確かめるものとする。

(7) 木工事

- ・建具廻りの枠等一式

(8) 金属工事

- ・壁下地軽鉄（JIS 材）、天井下地軽鉄（JIS 材）、天井点検口及び切り込み補強一式とする。

(9) 左官工事

- ・スラブのコンクリートの直押さえ、雑部のモルタル塗り等一式とする。

(10) 外部建具工事

- ・外部に面する建具とその金物一式とする。原則、建具はアルミ製とする。なお、出入り口については鍵付きとする。新設校舎建設及び解体工事に配慮し、仮設校舎棟は二重とし防音サッシとする。
- ・外部に面する建具には、契約後、市と協議したうえ、暗幕又はカーテンを設置すること。

(11) 内部建具工事

- ・内部に面する建具とその金物一式とする。なお、主要諸室の出入り口については鍵付きとする。

(12) ガラス工事

- ・建具に使用するガラス、ガラスシーリング及びガラスクリーニング一式とする。原則強化透明 4mm とし、一部協議により型板ガラスとする。

(13) 塗装工事

- ・メーカー仕様は不可とし、図面等に記載ある仕様と同等以上の塗装一式とする。仕様変更する場合は、同等以上の性能が確保できる根拠書面を市担当者に提出し、事前に承諾をえること。

(14) 内装工事

- ・メーカー仕様は不可とし、図面等に記載ある仕様と同等以上の床、壁、天井、巾木、廻り縁材等一式とする。仕様変更する場合は、同等以上の性能が確保できる根拠書面を市担当者に提出し、事前に承



諾をえること。

(15) 仕上げ・ユニット工事

- ・整備項目は備品リストの通りとし、必要に応じて転倒防止措置を施すこと。各備品リストの仕様（寸法、材質、機能）は「横浜市小・中学校標準図校舎 95 型 12 改（G 家具）【令和 2 年 2 月】」を参照のうえ、市と協議し決定すること。

(16) その他

- ・解体時については、現況復旧、整地は粗整地とする。
- ・本建物で使用する材料は原則規制対象外又は F☆☆☆☆ とするとともにアスベスト非含有とする。
- ・建具には原則として指挟み防止の措置を行うこと。
- ・横浜市福祉のバリアフリー条例の整備基準に適合するよう整備すること。
- ・施工完了後、「横浜市建築局所管工事揮発性有機化合物（VOC）等の室内濃度測定マニュアル」に従い VOC 測定を行い報告書を提出すること。
- ・仮設体育館の構造計算（保有水平耐力計算）における用途係数は 1.25 とする。

4 電気設備工事

電気設備工事の実施設計における性能基準及び性能技術基準は、原則として「建築設備設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部設備課監修 平成 30 年版）※契約時において最新版とする」（以下「設計基準」という。）に準拠し、関係諸官庁の法令、法規や指導を遵守し、学校運営に適した次の設備を施設する。なお、原則として電線、ケーブル類は一般ケーブルとし、露出する配線は電線管等により保護するものとする。

(1) 電力引込設備

- ・電力引込工事の際は、停電等により学校運営に支障が発生するため、事前に日時の調整を学校及び賃借人と協議をしたうえで行うとともに、停電等の影響を最小限にとどめるよう努力すること。
- ・構内 1 号柱 PAS2 次側の既設高圧ケーブルを切り離し、PAS2 次側に新設高圧ケーブルを接続する。
- ・接続した新設高圧ケーブルを仮設変電設備まで配線する。
- ・仮設受変電設備の高圧饋電盤から構内 1 号柱まで高圧ケーブルを敷設し切り離した既存高圧ケーブルと接続を行い問題がないことを確認後、既設変電室へ送電する。

(2) 受変電設備

- ・受変電設備は仮設用屋外キュービクル式等を想定している。（消防認定品、ただし消防との事前協議により承諾を受ければ消防認定同等品でもよい）。
- ・受変電基礎を耐震震度 1.0G 以上とすること。
- ・設置場所は市担当者と協議の上で設置すること。
- ・キュービクル式屋外受変電設備を設置する場合はネットフェンス H1800 以上で関係法令に従うかたちで囲うこと。
- ・トランスの騒音、振動に配慮すること。
- ・受変電設備の法定点検業務は別途とする。

(3) 幹線設備

- ・仮設校舎の電灯までの配管・配線及び機器の取付け一式とする。

- ・幹線は人が触れないよう敷設すること。
- ・電灯分電盤のうち消防設備用電源、機械警備用電源等の特定遮断器は配線用遮断器で整備できるものとする。
- ・漏電火災警報器は、消防関係法令に基づき設置対象となった場合のみ整備すること。

#### (4) 動力設備・電灯・コンセント設備

##### (動力)

- ・各階空調、衛生、消火機器等への電力供給のため、動力盤を設置し、二次側配線工事を行うこと。
- ・各機器の警報盤を職員室に設置し、警報範囲図を用意する。

##### (電灯・コンセント)

- ・各階に分電盤、各室に配電盤を設けること。
- ・屋外、水回りに設置するコンセント回路用分岐開閉器は **ELB** とすること。
- ・設備諸元表により必要諸室にコンセントを設けること。また、位置に関しては市担当者と協議の上決定する。
- ・屋外、水回りに設置するコンセントは防水仕様とすること。
- ・コンセントは口数を満たすと共に、調査の上容量を満たすこと。
- ・電灯等スイッチ類は各室、昇降口、廊下等適切な箇所設置すること。
- ・照明器具の設置箇所は、建物内、玄関周り及び屋外動線付近の外壁とし、屋外動線の照度が外壁灯では不十分な場合、別途外灯または、投光器を設置して、夜間の照度を確保すること。また、スイッチ類は居室、昇降口、廊下等で適切な箇所設置すること。
- ・受注者は、接地抵抗・絶縁抵抗・照度測定、作動試験等の必要な各種試験測定を行い、報告書にまとめて提出すること。
- ・照度基準については、J I S 基準及び設計基準に準拠するものとするが、概ねの設計照度は次のとおりとする。

ア 教室 : 500 lx 以上

イ 玄関、廊下、トイレ等 : 100 lx 以上

- ・照明器具については、ランニングコスト削減を図るため **LED** 照明とする。また、日常の教育に支障がないよう必要な台数を設置すること。

#### (5) 電話設備

- ・電話回線の新規引込は別途発注、契約を行い、引込みから配線ルートの確保と **MDF** から各諸室までの配管・配線をおこなう。
- ・必要に応じて関係機関と協議を行うこと。

#### (6) テレビ共聴設備

- ・屋上または外壁に **UHF** アンテナを設置すること。
- ・諸元表を参照の上、各居室当箇所に端子を設置し、テレビ視聴を可能とすること。
- ・放送室からの映像がテレビ設置室にて視聴可能とすること。

#### (7) 情報通信用配管・配線設備

- ・情報通信の新規引込は別途発注、契約を行い、引込からの配線ルートの確保を行う。
- ・職員室から仮設校舎までの配管、配線ルートの確保を行う。
- ・工事は市担当者及びその指定業者と十分に協議を行うこと。
- ・今回の仮設校舎建設に伴い、必要となる居室の **LAN** 設備として、インターネット環境へ

接続できる設備（配線、HUB等）一式を敷設すること。

(8) 防災設備

- ・防災設備として次の設備一式を法令に基づき整備すること。また、既存校舎棟と連動できるように配線の敷設を行うこと。

ア 自動火災報知設備

消防関係法令に基づく自動火災報知設備を設置すること。

イ 非常用照明設備

非常用照明設備は、建築基準法関係法令で定められた設置義務のある部分に施設すること。

ウ 避難器具

法令上必要な避難器具を設置すること。

エ 誘導灯設備

法令上必要な個数を設置すること。

オ 非常放送設備

消防関係法令に基づく非常放送設備を設置すること。

カ 屋内消火栓設備

消防関係法令に基づく屋内消火栓設備を設置すること。（消火水槽、給排水設備工事も含む）

(9) 放送設備

- ・既存校舎からの一般放送が可能なように、配線、配管を行うこと。
- ・各居室及び廊下にスピーカー設置し、配線・配管を行う。

(10) インターホン設備

- ・職員室からの配線ルートの確保と、各使用諸室までの配管・配線を行う。
- ・内部インターホンは職員室に親機を設置し、仮設校舎内の各部屋（倉庫及び教材教具室を除く）に子機を設置する。
- ・外部インターホンは学校用、キッズ用、給食用で設ける
- ・キッズクラブ用の位置、仕様は施設管理者及び市担当者と協議の上決定する。
- ・給食室は外部出入口前に子機、調理室及び休憩室間に親機を設置する。

(11) トイレ呼出表示

- ・表示器は職員室内に設置する。
- ・多目的トイレに押釦、表示灯、復旧ボタンを設置する。

(12) 機械警備設備

- ・機械警備設備配線用の空配管設置を行う。

(13) 電気錠設備工事

- ・キッズクラブ用の電気錠、制御盤及び配線の設置工事一式を行う。

(14) その他

- ・その他関係法令等で設置義務が生じる設備については、本工事において整備すること。

5 給排水設備工事

(1) 給水・給湯設備

- ・仮設校舎、給食用分岐バルブ 80A より各必要箇所へ供給を行う。
- ・仮設校舎等に支障となる給水管を撤去、切り回しを行うこと。
- ・水道メーター設置は本工事とすること。

- ・ガス給湯形式により、各必要諸室への給湯設備及び配管を行うこと。
- ・給水配管は HIVP 管、給湯管は SUS 管とし、原則保温を設置する。
- ・水道管は増圧直結方式とする。
- ・手続に要する費用および申請事務費、水道加入金は本工事に含むものとする。
- ・給水設備の工事は、神奈川県県営上水道条例に基づいた設計を行い、申請及び施工は「指定給水装置工事事業者」が行うものとする。

## (2) 排水・通気設備

- ・汚水排水は、既存汚水桝に接続する。ただし、現地調査の上、既存排水管及び公設桝が利用不可の場合、必要に応じて新設する。
- ・契約終了時には、現状に復旧すること。
- ・下水道本管との接続は、自然流下を原則とするが、構造的に不可能な場合は、中継用汚水槽を設けポンプによる排水も可とする。
- ・原則、配管種は VP 管とすること。
- ・汚水・排水管の必要な箇所には有効な通気管を設け、2階天井まで立上げて外部開放する。
- ・汚水・排水設備の工事は、横浜市下水道条例に基づいた設計を行い、申請及び施工は「下水道指定工事店」が行うものとする。
- ・手続に要する費用および申請事務手数料は工事に含むものとする。
- ・汚水、排水設備の工事は、所管土木事務所と協議の上、横浜市下水道条例に基づいた設計を行う。

## (3) 雨水排水設備

- ・堅樋からの雨水を桝で受け、雨水設備（側溝等）に接続する。

## (4) 衛生器具設備

- ・各階、各部必要な箇所に手洗所を設ける。（別図による）
- ・1階に多目的トイレを設ける。（仕様は横浜市福祉のまちづくり条例による）
- ・衛生器具の設置数は「衛生器具の適正個数算定法」（空気調和・衛生工学会）に準じた個数とする。
- ・SKは各手洗所に1箇所以上設置すること。
- ・大便器(タンク式)、小便器は節水型とすること。
- ・各手洗所の水栓形状はレバー水栓とする。
- ・便器は普通便座とし、暖房便座、温水洗浄便座は設置しないこととする。
- ・紙巻器は各便器に2箇所設置すること。
- ・手洗所には洗面器、水石鹸入れを設置すること。
- ・廊下にステンレス製流し台を設ける。

## 6 空気調和設備工事

### (1) 空気調和設備

- ・諸元表記載の必要諸室に仮設の空冷ヒートポンプエアコンを設置する。
- ・仕様は新冷媒・天井吊型・インバーター形式とする。
- ・能力は下記を参照の上、選定を行う。

各居室：冷房 200[W/m<sup>2</sup>]以上、暖房 220[W/m<sup>2</sup>]以上

体育館：冷房 150[W/m<sup>2</sup>]以上、暖房 170[W/m<sup>2</sup>]以上

給食室：冷房 350[W/m<sup>2</sup>]以上

なお能力上不足となる恐れのある箇所に関しては仕様を上げるなど考慮すること。

- ・ 厨房には3ヶ所以上厨房用の空調を設置すること。
- ・ 室外機はガード付きとし、外部に設置すること。さらに、児童が直接手を触れることが可能な室外機を設置する場合は防護フェンス等を設置すること。
- ・ リモコンは教室内入口付近の学校が指定する場所に設置する。
- ・ 冷媒管の保温厚さは液管 20 mm以上、ガス管 10 mm以上とする。

## (2) 換気設備

- ・ 諸元表記載の各居室に換気扇を設けること。
- ・ 2階天井裏には夏季の熱射対策として、屋根裏換気を確保すること。
- ・ 換気扇の外部に雨等の吹込み対策を講じること。
- ・ 厨房外部排気ダクトは上部に立上げ、吹出し口は周辺に配慮する。
- ・ 厨房に設ける給気口は衛生に配慮したフィルタを設ける。
- ・ 換気は24H換気に対応したものとすること。

## 7 ガス設備工事

- ・ 別図に示す仮設校舎用プラグ止め 80A より各必要箇所へ供給を行う。
- ・ 必要に応じてプロパンガス置場を新規で設けること。
- ・ 別紙諸元表の該当する諸室へ供給すること。
- ・ 理科室、家庭科室の移設実験台、調理台へ接続を行う。

## 8 消火設備

- ・ 法及び所轄消防署指導に従い、各階に屋内消火栓設備（消火水槽設備、給排水設備含む）こと。
- ・ 全館に消防法に準じた消火器を設置すること。
- ・ 消火設備の設置については、所管消防署と十分協議し、必要な手続きを行うこと。

## 9 外構その他工事

- ・ 仮設校舎等の建設に伴い、支障となる防球ネットの撤去・グラウンド整地を行う。
- ・ 2023年7月～8月にかけて、少量危険物貯蔵庫（1坪）の設置を先行しておこなう。  
（許認可不要）  
設置場所については、市と協議のうえ、決定する。
- ・ 透水性アスファルト舗装とする。

## 10 昇降機設備

- ・ 乗用 11人乗り中央開き 45m/min(機械室レス)とする。
- ・ かご寸法、出入口幅、操作設備、内部仕様は横浜市福祉のまちづくり条例に準ずる。
- ・ 管制装置は地震、火災、停電とする。
- ・ 扉は防犯窓ありとする。
- ・ 付加仕様として、光学センサー、戸開延長、キックプレート、バーキングスイッチ、リスタート、非常用スピーカー、換気扇及びインターホンを設置する。
- ・ 耐震クラス A14 とすること。

- ・施工時の法規・基準に適合した仕様とすること。

## 11 解体工事

- ・仮設校舎等建設前の原状に復旧すること。（範囲仕様は発注者と協議の上）
- ・グラウンドは粗整地程度とする。
- ・設置した備品、家具類は厨房機器以外、原則撤去とする。

## 12 備品の設置

- ・別紙設備諸元表及び備品リストを参考に実施設計段階で実地調査を行いリースで対応する備品について横浜市教育委員会、建築局、学校と十分に精査すること。精査の結果、不足する備品はリース対応とすること。
- ・設備機器に必要な電気・給排水・ガスの引きこみ・接続工事は本件に含むこと。
- ・リース備品・既存校舎からの移設備品の配置場所については各関係者と協議を行い決定すること。また、既存校舎からの移設備品設置のため床、壁、天井内補強等を本工事に含むこと。
- ・原則、既存校舎からの移設備品は仮設校舎解体時に撤去処分とすること。また、処分備品については仮設校舎解体前に各関係者と最終確認を行うこと。

## 13 仮設給食室

### 【厨房設備】

#### 「一般事項」

- ・別紙給食室図面を参照の上、設計・整備を実施すること。
- ・厨房機器はすべて新設とする。（別紙図面による）
- ・汚染、非汚染区域の排水配管経路について汚染区域から非汚染区域を経由しないこととし、衛生環境に配慮すること。
- ・コンセント、手洗器等は厨房仕様とすること。
- ・厨房フードは必要箇所に設置し、ステンレス製とすること。
- ・給食室排気口は周りの環境に配慮し設置すること。
- ・厨房機器の設置については、関係官公庁と十分に協議し、必要な手続きを行うこと。

#### 「排水」

- ・ステンレス製ノンスリップグレーチング及び柵を調理室、洗浄室、下処理室の機器下及び調理室、洗浄室、下処理室の出入口等必要箇所に設置すること。
- ・給食業務に際し、グレーチング及び柵から水があふれ出すことがないように留意して設置すること。
- ・グレーチングは水があふれ流れ出すことがないように十分な長さを確保すること。
- ・グリーストラップを適切に設け、清掃しやすい位置に設置すること。
- ・グリーストラップ付近に給水給湯設備を設けること。また、蓋は重量を軽くし、車両の通行にも配慮し耐荷重とすること。

## 14 仮設体育館

- ・備品については、別紙図面の諸元表・詳細図を基に新設及び移設すること。

- ・ 体育館整備において、一部崖と隣接している箇所が発生するが、基礎工事について崖条例との適法性を確保できるよう構造検討（地盤改良工事を含む）を実施すること。
- ・ 外部建具については、両開き戸とする。
- ・ 渡り廊下からの出入口を2か所設けること。
- ・ 防球ネットはセンター1面に設置すること。
- ・ 体育館の天井高さは7.0m程度確保すること。
- ・ 体育館の照明器具はガード付（下面、側面）とする。

## 15 安全対策

- ・ 工事中は安全面における責任者を常駐させ、災害危険防止に対し十分な対策を考慮すること。
- ・ 仮設計画については安全に留意した仮設計画とする。
- ・ 仮囲いはH3.0m程度のフラットパネルとすること。また、西側には車両ゲートとしてアルミ製門扉を設置すること。
- ・ 仮囲い、車両ゲートは各関係者、校舎建替え工事業者と協議を行うこと。
- ・ 工事車両の誘導及び歩行者、児童の安全に努めると共に、外周道路を汚さないよう工事敷地内に鉄板等を敷設すること。
- ・ 本建物建設中は緊急連絡体制を確立し常時連絡可能にしておくこと。

## 16 法令順守

- ・ 関係法令、指導通達及び計画通知等における指導を遵守すること。
- ・ 本建物は建築基準法85条6項の仮設建築物であるが、準耐火建築物にするなど準防火地域の要件を満たすよう施設計画をおこなうこと。
- ・ 防火上主要間仕切り壁については、建築基準法85条6項における緩和対象が無いものとして本案件の施設計画をおこなうこと。
- ・ その他、法令に関する部分で施工図と計画通知図が異なる場合は、計画通知図を優先とすること。

## 17 その他条件

### (1) キッズクラブの整備

- ・ 普通教室と同等の照明及びエアコンを設置する。照明は、蛍光灯の場合はガード付とする。
- ・ 外部に面して掃き出し窓を設置し、掃き出し窓部分には庇を設ける。
- ・ 外部に面したサッシには網戸を設置する。
- ・ モニター付きインターホン及び電気錠操作盤を学校用とは別に設け（子機で可）、キッズクラブにて門扉からの呼び出しに応答及び門扉の開錠を可能とすること。
- ・ 市及び学校関係者と協議のうえ、キッズクラブと学校の間（屋内廊下及び階段）は管理用のゲートまたはシャッター等の施錠可能な管理用区画を設ける。
- ・ キッズクラブの利用者の下足入れを用意し、市と協議によって決定した場所に固定すること。
- ・ コンセントの配置は、既存校舎キッズクラブにおける配置をできるだけ踏襲すること。
  - ・ 給湯方式は電気貯湯式10Lとし、沸き上がり温度60度、出湯温度40度とする。

## (2) 建具

- ・ 2階の各室の外部建具には、室内側の FL+1200 以上の高さに転落防止手摺を設ける等の転落防止策を講じること。
- ・ 各教室の廊下側に欄間を設け、通風、換気及び採光に配慮すること。
- ・ 出入口の扉は、全て管理用の鍵付きとすること。鍵の区分としては各関係者と協議の上、決定すること。また、必要箇所については電気錠とすること。
- ・ 各居室並びに体育館の窓及び仮設給食室の休憩室更衣ロッカーにはカーテンの設置を行うこと。
- ・ 音楽室は、間仕切壁等に防音シート、扉に開き戸の防音ドア等の防音、遮音措置を施し、外部サッシは防音二重サッシとすること。
- ・ 新校舎建設、解体工事の工事中の騒音対策として、工事現場に面する諸室の外部サッシは防音二重サッシとする。
- ・ 網戸を給食室及びキッズ教室の必要ヶ所に設置すること。
- ・ 児童用手洗所の出入口には扉を設けないこととし、廊下から手洗所内は見えないよう配慮すること。
- ・ 手洗所は型板ガラスとすること。
- ・ 仮設防災倉庫の扉は SS とする。

## (3) 給食室

- ・ 給食室のすべての仕様は、横浜市立小・中学校標準図給食室（ドライシステム）標準図（令和元年度改訂版）に順ずること。
- ・ 排水管、オイルトラップは耐熱温度を 90℃以上確保すること。（VP 管不可）
- ・ 棚などの木の仕上げは虫発生、ささくれ発生等完全に防止できる仕様とすること。場所に応じてステンレス張り、塩ビシート、ダイノックなど適宜使用とする。
- ・ 配膳カウンターの建具は引き違いではなく、全面が開閉できる構造とする。
- ・ 休憩室、調理室・洗浄室（室温 25℃以下、湿度 80%以下に努める）は、エアコン設置とする。油垂れに注意すること。
- ・ 厨房はスポット空調ではなく、吊り下げ式か埋め込み式の空調を設置。
- ・ グレーチングを設ける場合は、各種荷台、移動水槽の車が溝に落ちないように考慮すること。
- ・ 開き戸棚は耐震ラッチ付きとする。
- ・ 調理室の天井高は、標準図に近い高さとする。  
（フードに給食用調理用しゃもじ、へらの柄が当たらない高さを確保する。）
- ・ 爪ブラシ、自動噴霧消毒液等、石鹸等手洗い関係は、学校側と事前に協議し設置すること。
- ・ 運用開始後の異物混入を避けるため、引渡し前に念入りに清掃すること。

## (4) その他諸室

- ・ 金庫、グランドピアノは床補強を行う。
- ・ 階段手摺端部は、保護カバーを付けること。
- ・ 防犯カメラ、インターホン、電気錠の移設を行うこと。  
（キッズクラブ・給食室のインターホン、電気錠も含む）
- ・ 仮設校舎工事中の機械警備会社の空配管工事に伴い、機械化警備業者と調整を行うこと。
- ・ 普通教室、個別支援教室、図書室、特別教室、多目的教室の外壁の窓は 2 重サッシとする。
- ・ 1階の床については、ネズミや害虫が侵入しない構造とすること。

## (5) 安全配慮



- ・ 構造物、リース備品等は出隅部を面取りした形状とし、止むを得ず角状となる場合はコーナーガード部材等を設置すること。
- ・ 耐久性に考慮し 1 階、2 階床に使用するデッキプレートについては厚 1.6、溶融亜鉛めっき仕上げとする。
- ・ 仮設校舎 2 階に避難器具を設置する。詳細については事前に消防署と協議を行い、適切に対応すること。
- ・ 各諸室の外部建具（窓）には、落下防止のため外れ留め対策を 3 か所 3 種類以上設置すること。
- ・ 内部引戸については、指詰め防止策を講じること。
- ・ 外部建具には戸当りや、指挟み防止等の安全対策を講じること。
- ・ 廊下とトイレ等の床は防滑性の材質とすること。
- ・ 安全上の配慮が必要と思われる箇所には開放制限を行うこと。
- ・ 全ての家具（移設備品）に転倒防止を設置し、重量物を設置する場合には、床補強すること。  
なお、家具等の固定は引越作業時に行うこと。

#### (6)その他

- ・ 仮設校舎建設のための仮囲いについては、市担当者と協議の上位置等を決定すること。  
また、工事進捗に応じて、盛替えること。
- ・ 建物出入口（玄関、キッズルーム出入口等）には庇を設けること。
- ・ 階段や踊り場には両側に手摺を設けること。（福祉のまちづくり条例による）
- ・ 品質、安全確保のため、構造及び設備に関して自社所属の構造一級建築士かつ設備一級建築士が関与し、設計の適合性を確認できる体制を構築すること。（資格証の提出を求める）
- ・ 本仕様書に疑義が生じた場合、賃貸人は市担当者と協議の上決定する。

建物概要（メーカー仕様は不可とし、下記内容を遵守すること）

仮設校舎棟	基礎	鉄筋コンクリート造またはリユース基礎	
	軸部	軽量鉄骨	
	床組(1階～2階)	合板t=12 スタイロフォームt=30 強化石膏ボードt=15(2階のみ) デッキプレート(メッキ仕上)t=1.6以上 ※1階床下には防湿ポリエチレンフィルム(t=0.15以上)を敷設	
	間仕切り壁	別紙仕上表参照	
	天井	別紙仕上表参照	
	仮設体育館棟	基礎	鉄筋コンクリート造
仮設体育館棟	軸組	軽量鉄骨	
	床組	土間コンクリートt=100 ワイヤーメッシュφ6150角 防湿フィルムt=0.15 碎石t=100	
	間仕切り壁	別紙仕上表参照	
	天井	別紙仕上表参照	
	仮設給食室	基礎	鉄筋コンクリート造
	仮設給食室	軸組	軽量鉄骨造
床組		土間コンクリートt=120 ワイヤーメッシュφ6150角 防湿フィルムt=0.15 碎石t=100	
間仕切り壁		別紙仕上参照	
天井		別紙仕上参照	
仮設別棟		基礎	鉄筋コンクリート造またはリユース基礎
仮設別棟		軸組	軽量鉄骨造
	床組	土間コンクリートt=100 ワイヤーメッシュφ6150角 防湿フィルムt=0.15 碎石t=100	
	間仕切り壁	別紙仕上参照	
	天井	別紙仕上参照	

外部仕上（メーカー仕様は不可とし、下記内容を遵守すること）

共通	屋根	二重折板断熱工法(働き幅 450) 上弦材:ガルバリウム鋼板(カラー)t=0.6 H=131 断熱材:グラスウール(10kg/m <sup>3</sup> t=100) 下弦材:ガルバリウム鋼板(素地)t=0.6 H=131
	外壁	サンドイッチパネル 外側:カラーガルバリウム鋼板 t=0.35 以上 内部:硬質ポリウレタンフォーム 内側:カラーガルバリウム鋼板 t=0.35 以上 または 窯業系サイディング t=16 以上
	板金	基礎水切 カラー鉄板 t=0.35 以上
	樋	軒樋 塩ビ製 120 角 縦樋 塩ビ製 60φ(VU) 養生管
	塗装	鉄骨錆止め(JIS 5621 1種)、下地見え掛り部 FE 塗
	庇	ガルバリウム鋼板 t=0.5 以上
	軒裏	折板表し
	出入口階段スロープ	コンクリート製

内装仕上（メーカー仕様は不可とし、下記内容を遵守すること）

別紙図面仕上表参照

特記事項

共通	建築基準法第 28 条の 2 の建築材料及び換気設備は政令で定める技術的基準に適合させること。
	本契約内で使用する材料は原則 F☆☆☆☆とする。
	体育館棟の構造検討に際し、重要度係数は【1.25】で計画すること。
	仕様変更する場合は、同等以上の性能が確保できる根拠書面を市担当者に提出し、事前に承諾をえること。

## 室内空気中の化学物質の抑制に関する特記仕様書

### 1 建築材料等の使用制限の原則

建築材料等の使用制限の原則は、以下のとおりとする。ただし、該当する材料がない等の事由により、本原則によりがたい場合の措置は協議による。

(1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブスチレンを発散する材料については、F☆☆☆☆とする。やむを得ず、F☆☆☆☆又はその同等品（旧JAS 又は旧JIS におけるFco、Eco を含む。）とする場合は、あらかじめ市担当者の承諾を得ること。

対策をとる建築材料等

- ・ 合板・木質系フローリング・構造用パネル・集成材・単板積層材・MDF
- ・ パーティクルボード・その他の木質建材
- ・ 家具・書架・その他の什器等(合板類、接着剤及び塗料を使用する場合)
- ・ ユリア樹脂板
- ・ 壁紙
- ・ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び巾木等に使用する接着剤
- ・ 保温材・緩衝材・断熱材
- ・ 塗料
- ・ 仕上塗材

(2) トルエン、キシレン及びエチルベンゼン（以下「トルエン等」という。）を含有する塗料及び接着剤についてはトルエン等の含有量が少ない規格品とする。

対策をとる建築材料等

- ・ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び巾木等に使用する接着剤
- ・ 塗料
- ・ 溶剤

(3) クロルピリホス、ダイアジノン及びフェノブカルブを含有しない非有機リン系の防腐・防蟻剤とし、加圧式防腐、防蟻処理等は工場で行い、十分に乾燥した後に現場に搬入する。

対策をとる建築材料等

- ・ 木材保存（木材の防腐・防蟻処理）剤

(4) フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない、難揮発性の可塑剤を使用している接着剤とする。

対策をとる建築材料等

- ・ 壁紙用接着剤（規格品とする）
- ・ 木工用接着剤

### 2 施工中の安全管理

接着剤及び塗料の塗布に当たっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外に放出させる。

3 測定 次により、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、市担当者に報告する。

・ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド

※ D N P H誘導体固層吸着／溶媒抽出－高速液体クロマトグラフ法

・ 検知管法

・ 定電位電解法

・トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン

※ 固層吸着／溶媒抽出法－ガスクロマトグラフ／質量分析法

・ 固層吸着／加熱脱着法－ガスクロマトグラフ／質量分析法

・ 容器採取－ガスクロマトグラフ／質量分析法

・測定対象室及び箇所数

室名	箇所数	回数／時期
校舎 各教室	2ヵ所	各1回／引渡前
体育館	4ヶ所	各1回／引渡前
給食室 各居室	3ヶ所	各1回／引渡前

・空気資料の採取方法等

空気資料の採取方法等は、原則として厚生労働省から示されている「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」による。ただし、本工事に適用困難な部分については、市担当者と協議による。なお、簡易な測定方法による場合は、採取した測定機器の特性等を考慮して、市担当者と協議の上、計画書に定める。

4 測定後の措置等

測定の結果、厚生労働省の指針値を上回った場合の措置は、市担当者の指示による。

測定対象化学物質	厚生労働省の指針値 ( 25℃の場合)
ホルムアルデヒド	0.08 ppm ( 100 μg/l )
アセトアルデヒド	0.03 ppm ( 48 μg/l )
トルエン	0.07 ppm ( 260 μg/l )
キシレン	0.20 ppm ( 870 μg/l )
エチルベンゼン	0.88 ppm ( 3,800 μg/l )
スチレン	0.05 ppm ( 220 μg/l )
パラジクロロベンゼン	0.04 ppm ( 240 μg/l )

設備諸元表

※各諸室の欄について、○印は仮設校舎賃貸借工事で設置とする

室名	電気設備												機械設備									備考				
	コンセント			LAN	内線電話	電話	門とのインターホン	テレビ端子	放送設備スピーカー	自火報	ガス漏	電気錠操作盤	トイレ呼出し	空調		換気	衛生			ガス設備						
	壁	床	天吊											エアコン	FF		換気扇	洗濯パン	水栓	排水	給湯		ガスコック	緊急自動ガス遮断弁	コンロ	
【仮設校舎】																										
個別支援教室1	○			○	○			○	○	○	○			○		○		○	○	○	○					
個別支援教室2	○			○	○			○	○	○				○		○	○	○	○							
個別支援教室3	○			○	○			○	○	○	○			○		○	○	○	○	○						
個別支援教室4	○			○	○			○	○	○				○		○	○	○								
特別支援教室	○			○	○			○	○	○				○		○										
多目的室（学校指定）1.2	○			○	○			○	○	○				○		○										
多目的室（少人数）1.2	○			○	○			○	○	○				○		○										
理科室	○			○	○			○	○	○	○			○		○	○	○	○	○						
理科準備室	○								○	○	○					○	○	○	○	○						
音楽室	○	○		○	○			○	○	○				○		○										
音楽準備室	○								○	○						○										
家庭科室	○		○	○	○			○	○	○	○			○		○	○	○	○	○					○	
家庭科準備室	○								○	○						○	○	○	○							
図工室	○		○	○	○			○	○	○				○		○	○	○	○							
図書室	○			○	○			○	○	○				○		○										
倉庫	○								○	○						○										
地域交流室	○			○	○				○	○				○		○										
P T A会議室	○			○	○				○	○				○		○										
廊下	○								○	○							○	○								
WC	○															○	○	○								
多目的WC	○											○				○	○	○								
昇降口									○	○							○									
キッズクラブ	○			○	○	○	○	○	○	○				○		○	○	○	○							IHコンロ, 電気温水器
【体育館】																										
体育館	○			○	○				○	○				○		○										
器具庫									○	○						○										
ホール	○								○	○							○	○								
WC	○															○	○	○								
多目的WC	○											○				○	○	○								
防災備蓄庫	○																									
【給食室】																										
給食室	○			○	○				○	○	○			○		○	○	○	○	○	○					
休憩室	○			○	○				○	○				○		○	○	○	○							
ゴミ置場・屋外																	○	○								

空調概算負荷計算書(GHP)

階	系統名	室名	面積 ㎡	冷房負荷計算		屋内機器選定						屋外機器選定					備考
				単位 W/㎡	能力 kW	記号	型式	冷房能力 kW	馬力 HP	台数	能力 合計	必要能力 kW	記号	機器能力 kW	馬力 HP	台数	
1	仮設校舎	特別支援教室	64.80	200	13.0	AC-1	天吊り型	14.0	5.0	1	14.0						
1	"	多目的室1	64.80	200	13.0	AC-1	天吊り型	14.0	5.0	1	14.0						
1	"	多目的室2	64.80	200	13.0	AC-1	天吊り型	14.0	5.0	1	14.0						
1	"	キッズクラブ	97.20	200	19.4	AC-1	天吊り型	11.2	4.0	2	22.4	64.4	AC-1	71.0	25.0	1	
1	仮設校舎	個別支援教室1	64.80	200	13.0	AC-2	天吊り型	14.0	5.0	1	14.0						
1	"	個別支援教室2	64.80	200	13.0	AC-2	天吊り型	14.0	5.0	1	14.0						
1	"	個別支援教室3	64.80	200	13.0	AC-2	天吊り型	14.0	5.0	1	14.0						
1	"	個別支援教室4	64.80	200	13.0	AC-2	天吊り型	14.0	5.0	1	14.0						
1	"	地域交流室	32.40	200	6.5	AC-2	天吊り型	7.1	2.5	1	7.1	63.1	AC-2	71.0	25.0	1	
		小計	583.20		116.90						127.50						
2	仮設校舎	家庭科室	97.20	200	19.4	AC-3	天吊り型	11.2	4.0	2	22.4						
2	"	理科室	97.20	200	19.4	AC-3	天吊り型	11.2	4.0	2	22.4						
2	"	多目的室2	64.80	200	13.0	AC-3	天吊り型	14.0	5.0	1	14.0						
	"	多目的室1	64.80	200	13.0	AC-3	天吊り型	14.0	5.0	1	14.0	72.8	AC-3	85.0	30.0	1	
2	仮設校舎	音楽室	97.20	200	19.4	AC-4	天吊り型	11.2	4.0	2	22.4						
2	"	図工室	97.20	200	19.4	AC-4	天吊り型	11.2	4.0	2	22.4						
2	"	図書室	97.20	200	19.4	AC-4	天吊り型	11.2	4.0	2	22.4						
2	"	PTA会議室	32.40	200	6.5	AC-4	天吊り型	7.1	2.5	1	7.1	74.3	AC-4	85.0	30.0	1	
		小計	648.00		129.5						147.1						
1	仮設体育館	体育館	421.20	150	63.2	AC-5	床置型	22.4	8.0	3	67.2	67.2	AC-5	71.0	25.0	1	
		小計	421.20		63.2						67.2						
1	仮設給食室	洗浄室・調理室・下処理室	144.67	380	55.0	AC-6	厨房用	14.0	5.0	4	56.0						
1	"	配膳ホール	59.58	200	11.9	AC-6	天吊り型	7.1	2.5	2	14.2						
1	"	検収室	15.12	200	3.0	AC-6	天吊り型	3.6	1.25	1	3.6						
1	"	前室	17.39	200	3.5	AC-6	天吊り型	3.6	1.25	1	3.6						
1	"	休憩室	22.68	200	4.5	AC-6	天吊り型	4.5		1	4.5	81.9	AC-6	85.0	30.0	1	
		小計	114.77		22.9						81.9						







<p>■特記仕様</p> <p>①一般共通事項</p> <p>1) 運用事項</p> <p>本工事は原則、以下仕様書を準用する。</p> <p>「公共建築工事標準仕様書 建築工事編(最新版)」(国土交通省大臣官房営繕部監修)</p> <p>「公共建築工事標準仕様書 電気設備編(最新版)」(国土交通省大臣官房営繕部監修)</p> <p>「公共建築工事標準仕様書 機械設備編(最新版)」(国土交通省大臣官房営繕部監修)</p> <p>その他本仕様書に特記無いものは以下を適用する。</p> <p>「横浜市立小・中学校標準図」(横浜市建築局公共建築部)</p> <p>「給食室標準図(ドライシステム)」(横浜市建築局公共建築部)</p> <p>2) 建築材料等</p> <p>各標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。なお同等品とする場合は、監督員の承諾を受ける。</p> <p>3) 完成時の提出図書</p> <p>・完成図書(保全に関する資料の提出は特記仕様書による)</p> <p>・アンプの構造図及び構造計算書</p> <p>4) 完成写真</p> <p>下記のものⅠ期工事、Ⅱ期工事毎に監督員に提出する。</p> <p>→CD-R 2枚冊(監督員、担当課)</p> <p>→カラー写真版 / 内部4面以上、外部4面以上 / 1部</p> <p>②仮設工事</p> <p>1) 工事用水 / 使用できる(有償)</p> <p>2) 工事用電力 / 使用できる(有償)</p> <p>3) 仮囲い / 仮設計画図(参考)による</p> <p>③アンプ 本工工事</p> <p>1) 使用材料 / 別途仕様書による</p> <p>2) 指定メーカー / 指定しない</p> <p>3) 出入口錠 / 本数 3本、美和ロック 同等品</p> <p>④外構その他工事</p> <p>・舗装は透水性アスファルト舗装とする。</p> <p>・仮設校舎設置に支障となる埋設管、地中障害物は撤去・切り回しとする。</p> <p>・仮設門入口、昇降口に校名板を設置すること。</p> <p>・各階案内板を昇降口、各階段に設置すること。</p> <p>⑤その他</p> <p>・品質、安全性確保のため、受注者は構造設計1級建築士、設備設計1級建築士の資格を要する管理技術者を配した体制とすること。</p> <p>・本体鉄骨部材は品質、安全性確保のため関連会社を除く自社工場(ISO9001)で、製作・加工・整備されたものを使用すること。</p> <p>また受注者はM<sup>2</sup>レド<sup>2</sup>以上の自社工場の証明書を提出すること。</p> <p>・各室にカーテン、カーテンレールを設置すること。</p> <p>・法85条第6項の仮設許可緩項目について、令114条に定める区画の緩和は無いものとする。</p> <p>・法2条に定める延焼7分対応のための防火設備対応工事を本工事に含む。</p> <p>詳細は実施設計対応とする。</p> <p>・解体後の整地は荒整地とする。</p> <p>・移設品の取り外し、調整費を含む。</p> <p>・工事着手時期は工事概要を参考の上、監督員と協議すること。</p> <p>・施工完了後、下記要領に従い、VOC測定結果報告書を提出すること。</p> <p>「横浜市建築局所轄工事揮発性有機化合物(VOC)等の室内濃度測定マニュアル」</p> <p>・建設機械の剪定は、以下に基づき、指定された機械を使用する。</p> <p>なおコンクリート解体については低騒音型・低振動型建設機械を用いること。</p> <p>「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平9建第153号)</p> <p>・既存施設を破壊しないこと。万一破壊させた場合は受注者の責務で復旧のこと。</p> <p>・工程や騒音作業等を事前に監督員を通じて学校管理者及び近隣住民に周知し、計画的に施工を行うこと。</p> <p>・工事動線は必要に応じて養生を行うこと。</p> <p>・図に示す敷地分割線は参考扱いとする。詳細な位置、建築種別含め、一切を実施設計対応とする。</p> <p>・体育館の崖側長辺方向一列のみ、柱状改良杭L=3,000mmを見込むこととする。</p> <p>なお杭撤去有無含め、受注者確定後、監督員と協議の上、別途決定とする。</p> <p>・渡り廊下1の崖側の別図示す範囲について鋼管杭L=6,000mmを見込むこととする。</p> <p>なお杭撤去有無含め、受注者確定後、監督員と協議の上、別途決定とする。</p>	<p>■案内図 S=1/5000</p> <p>吉原小学校 横浜市港南区日野二丁目20-40</p> <p>※1 この地図の著作権は横浜市が保有します。 ※2 この地図は通記、拡大・縮小等の加工を施しています。</p>																																																																																																																									
<p>■設計概要</p> <p>工事名称 吉原小学校仮設校舎設置工事</p> <p>計画敷地 横浜市港南区日野二丁目20番40号</p> <p>建築種別 新築</p> <p>仮設使用 ①校舎棟 / 令和5年12月初旬～令和11年7月末(68ヶ月)</p> <p>予定期間 ②体育館棟・渡り廊下1 / 令和5年12月初旬～令和8年12月末(38ヶ月)</p> <p>※建設解体期間を含む ③給食室棟・渡り廊下2 / 令和8年5月初旬～令和8年12月末(36ヶ月)</p> <p>用途地域 ①第1種低層住居専用地域 ②準住居地域</p> <p>敷地面積 合計 5,678.56㎡ (① 3,680.85㎡ ② 1,997.71㎡)</p> <p>建ぺい率 50% 60%</p> <p>容積率 80% 200%</p> <p>高度地区 第1種高度地区 第4種高度地区</p> <p>高さの限度 10m、北側斜線5m+0.6/1 高さの限度 20m、北側斜線7.5m+0.6/1</p> <p>防火地域 防火指定無し 準防火地域</p> <p>日影規制 3.0h / 2.0h / 平均地盤面+1.5m 4.0h / 2.5h / 平均地盤面+4.0m</p> <p>その他 緑化地域 / 緑化率20%</p> <p>宅地造成工事規制区域</p> <p>建築基準法22条地域</p> <p>前面道路 西側：6.0m(公道42条第1項1号道路 下野庭415号)</p> <p>■建物概要</p> <p>階数 校舎 / 2階建、体育館 / 平屋建、給食室 / 平屋建、渡り廊下 / 平家建</p> <p>建築面積 ※面積表による</p> <p>延床面積 ※面積表による</p> <p>最高高さ ※断面図による 最高軒高 ※断面図による</p> <p>耐火種別 ※実施設計による</p> <p>■構造概要</p> <p>基礎形式 ※メーカー仕様による</p> <p>軸組 ※メーカー仕様による</p>	<p>■工事概要</p> <p>Ⅰ期工事</p> <p>1) 仮設校舎 建設工事</p> <p>2) 仮設体育館 建設工事</p> <p>3) 仮設渡り廊下1 建設工事</p> <p>4) 仮設防災備蓄庫 仮設石油保管庫 設置工事</p> <p>5) 上記に伴う電気設備工事</p> <p>6) 上記に伴う機械空調・衛生設備工事</p> <p>7) 上記に伴う昇降機設備工事</p> <p>8) 上記に伴う屋外整備工事</p> <p>Ⅱ期工事</p> <p>1) 仮設体育館 解体工事</p> <p>2) 仮設渡り廊下1 解体工事</p> <p>3) 仮設給食室 建設工事</p> <p>4) 仮設渡り廊下2 建設工事</p> <p>5) 上記に伴う電気設備工事</p> <p>6) 上記に伴う機械空調・衛生設備工事</p> <p>7) 上記に伴う昇降機設備工事</p> <p>8) 上記に伴う屋外整備工事</p> <p>9) 賃貸借満了に伴う復旧工事</p>																																																																																																																									
<p>■外部仕上</p> <p>屋根 二重折板断熱工法(働き幅450)</p> <p>上弦材：ガルバリウム鋼板t=0.6 H=161</p> <p>断熱材：グラスウール 10kg/m<sup>3</sup> t=100</p> <p>下弦材：ガルバリウム鋼板t=0.6 H=161</p> <p>外壁 外壁不燃A<sup>1</sup> 裨 t=22</p> <p>内側・外側：カラーガルバリウム鋼板t=0.5</p> <p>内部断熱：ポリイソシアヌレートフォーム充填</p> <p>折板：カラーガルバリウム鋼板 t=0.6 H=88</p> <p>庇 ポーチ・フロア コンクリート金鍍仕上 t=100(スロープ部：刷毛引き仕上)</p> <p>CDメッシュ φ6-150x150</p> <p>砕石 t=100</p> <p>手摺：SUS製 H=800</p> <p>開口部 7mmサッシ(性能 S-3, A-4, W-3同等以上)</p> <p>樋 軒樋：塩ビ φ105半割</p> <p>堅樋：塩ビ φ60</p> <p>板金金物 水切・面戸：カラーガルバリウム鋼板 t=0.35</p> <p>棟押え：ガルバリウム鋼板 t=0.5</p> <p>塗装 鉄部：一般錆止(JIS K 5621 2種)1回塗</p> <p>見えがかり：FE塗装</p> <p>屋根(渡り廊下) 折板葺 ガルバリウム鋼板t=0.5 (H=88又はH=161)</p> <p>軒天(渡り廊下) 屋根折板現し</p> <p>腰ハ<sup>1</sup>裨 OSハ<sup>1</sup>裨t=40</p> <p>床(渡り廊下) 土間コンクリート刷毛引</p> <p>■設備概要</p> <p>電気設備</p> <table border="1"> <tr> <th>工事項目</th> <th>込</th> <th>別</th> <th>無</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>受変電</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>仮設キュービクル</td> </tr> <tr> <td>幹線</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>動力</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電灯コンセント</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>弱電</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>機械設備</p> <table border="1"> <tr> <th>工事項目</th> <th>込</th> <th>別</th> <th>無</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>給排水</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>衛生</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷暖房</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>GHP</td> </tr> <tr> <td>換気</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>給湯</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>プロパンガス、都市ガス</td> </tr> </table> <p>消防設備</p> <table border="1"> <tr> <th>工事項目</th> <th>込</th> <th>別</th> <th>無</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>消火器</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>誘導標識</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>誘導灯</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自火報</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常警報</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋内消火栓</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>給水設備等を含む</td> </tr> <tr> <td>避難器具</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>昇降機設備</p> <table border="1"> <tr> <th>型式</th> <th>機械室</th> <th>停止階</th> <th>2ヶ所(1~2階)</th> </tr> <tr> <th>用途</th> <td>乗用兼車椅子用</td> <td>かご寸法</td> <td>開口1,400、奥行1,350、CH=2,500</td> </tr> <tr> <th>定格積載重量</th> <td>750kg/11人乗</td> <td>出入口寸法</td> <td>幅900、高さ2,100</td> </tr> <tr> <th>定格速度</th> <td>45m/min</td> <td>戸型式</td> <td>2枚戸中央開き</td> </tr> </table>	工事項目	込	別	無	備考	受変電	○			仮設キュービクル	幹線	○				動力	○				電灯コンセント	○				弱電	○				工事項目	込	別	無	備考	給排水	○				衛生	○				冷暖房	○			GHP	換気	○				給湯	○				ガス	○			プロパンガス、都市ガス	工事項目	込	別	無	備考	消火器	○				誘導標識	○				誘導灯	○				自火報	○				非常警報	○				屋内消火栓	○			給水設備等を含む	避難器具	○				型式	機械室	停止階	2ヶ所(1~2階)	用途	乗用兼車椅子用	かご寸法	開口1,400、奥行1,350、CH=2,500	定格積載重量	750kg/11人乗	出入口寸法	幅900、高さ2,100	定格速度	45m/min	戸型式	2枚戸中央開き	<p>既存配置図 兼 1階平面図 S=1/500</p>
工事項目	込	別	無	備考																																																																																																																						
受変電	○			仮設キュービクル																																																																																																																						
幹線	○																																																																																																																									
動力	○																																																																																																																									
電灯コンセント	○																																																																																																																									
弱電	○																																																																																																																									
工事項目	込	別	無	備考																																																																																																																						
給排水	○																																																																																																																									
衛生	○																																																																																																																									
冷暖房	○			GHP																																																																																																																						
換気	○																																																																																																																									
給湯	○																																																																																																																									
ガス	○			プロパンガス、都市ガス																																																																																																																						
工事項目	込	別	無	備考																																																																																																																						
消火器	○																																																																																																																									
誘導標識	○																																																																																																																									
誘導灯	○																																																																																																																									
自火報	○																																																																																																																									
非常警報	○																																																																																																																									
屋内消火栓	○			給水設備等を含む																																																																																																																						
避難器具	○																																																																																																																									
型式	機械室	停止階	2ヶ所(1~2階)																																																																																																																							
用途	乗用兼車椅子用	かご寸法	開口1,400、奥行1,350、CH=2,500																																																																																																																							
定格積載重量	750kg/11人乗	出入口寸法	幅900、高さ2,100																																																																																																																							
定格速度	45m/min	戸型式	2枚戸中央開き																																																																																																																							
<p>■校舎A棟</p> <p>■校舎B棟</p> <p>■校舎A棟</p> <p>■校舎B棟</p> <p>■校舎A棟</p> <p>■校舎B棟</p> <p>■校舎A棟</p> <p>■校舎B棟</p>	<p>■雑工事</p> <p>※監督員と協議の上、以下の既存諸室から備品移動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館器具庫</li> <li>・音楽室、音楽準備室</li> <li>・図書室</li> <li>・保健室</li> <li>・個別支援教室</li> <li>・体育倉庫</li> <li>・防災備蓄庫</li> <li>・キッズクラブ、事務室</li> <li>・家庭科室</li> <li>・図工室</li> <li>・理科室、理科準備室</li> <li>・その他倉庫、物置一式</li> </ul>																																																																																																																									

横浜市教育委員会事務局		工事名	吉原小学校仮設校舎設置工事
年月日	R5.3	縮尺	A1: 図示
設計者	特記仕様 / 案内図 / 設計概要 / 既存図		
図面番号	01	図面枚数	1
設計者		図面番号	A-01

41

■内部仕上										校舎									
階数	室名	床	巾木	壁	下地	天井	廻縁	天井高	備考	階数	室名	床	巾木	壁	下地	天井	廻縁	天井高	備考
1階	昇降口	防滑長尺塩ビシート t=2.0 土間コン金鍍押	ワト巾木 H=60	間仕切:化粧PB t=12.5 内壁1 : 珞裨現し	LGS	化粧PB t=9.5	塩ビ	約3,000		2階	倉庫1、2	長尺塩ビシート t=2.0 下地:強化BPt=15+ラッ合板t=12 XPS=30+テップレート(珞裨)t=1.6以上	ワト巾木 H=60	間仕切:化粧PB t=12.5 内壁1 : 珞裨現し	LGS	化粧PB t=9.5	塩ビ	約3,000	
	地域交流室	長尺塩ビシート t=2.0 下地:ラッ合板t=12+XPS t=30 テップレート(珞裨)t=1.6以上	同上	同上	同上	同上	同上	同上		共通	廊下1、2	長尺塩ビシート t=2.0 下地:強化BPt=15+ラッ合板t=12 XPS=30+テップレート(珞裨)t=1.6以上		準耐火間仕切:強化PB t=15 両面 内壁1 : 珞裨現し 内壁2 : 化粧PB t=9.5(準耐火間仕切)	LGS	化粧PB t=9.5	塩ビ	約3,000	
	WC(M)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			階段室	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
	WC(W)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			階段下倉庫	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
	多目的WC	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上		体育館									
	体育倉庫	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上		1階	アリーナ	フローリング t=18 合板 t=15+12 珞裨-ワッ H=300	木製 H=100	準耐火間仕切:強化PB t=15 両面 FL+2,700以上 : 珞裨現し FL+2,700まで : 合板 t=9	LGS	小屋裏現し	-	7,000 (梁下)	
	個別支援教室 1~4	発泡複層珞裨床シートt=2.8 下地:ラッ合板t=12+XPS t=30 テップレート(珞裨)t=1.6以上	同上	準耐火間仕切:強化PB t=15 両面 内壁1 : 珞裨現し 内壁2 : 化粧PB t=9.5(準耐火間仕切)	同上	同上	同上	同上			舞台	フローリング t=18 合板 t=15+12 珞裨-ワッ H=300、700	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
	キッズクラブ	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			器具庫	長尺塩ビシートt=2.0 下地 : 合板 t=4	ワト巾木 H=60	PBt=12.5 素地	同上	化粧PB t=9.5	塩ビ	約3,000	
	倉庫(技術)	長尺塩ビシート t=2.0 下地:ラッ合板t=12+XPS t=30 テップレート(珞裨)t=1.6以上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			ホール	同上	同上	間仕切:化粧PB t=12.5 内壁1 : 珞裨現し	同上	同上	同上	同上	
	多目的室 (学校指定)1、2	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			WC(M)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
	特別支援教室	発泡複層珞裨床シートt=2.8 下地:ラッ合板t=12+XPS t=30 テップレート(珞裨)t=1.6以上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			WC(W)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
	倉庫(地域)	長尺塩ビシート t=2.0 下地:ラッ合板t=12+XPS t=30 テップレート(珞裨)t=1.6以上	同上	間仕切:化粧PB t=12.5 内壁1 : 珞裨現し	同上	同上	同上	同上			多目的WC	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
	倉庫(園芸)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上		別棟	防災備蓄庫	土間コン金鍍押え	-	内壁 : 外壁珞裨現し	-	屋根折板現し	-	約3,000	
	倉庫(備品)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上		給食室									
	2階	PTA会議室	長尺塩ビシート t=2.0 下地:強化BPt=15+ラッ合板t=12 XPS=30+テップレート(珞裨)t=1.6以上	同上	間仕切:化粧PB t=12.5 内壁1 : 珞裨現し 内壁2 : 化粧PB t=9.5(準耐火間仕切)	LGS	化粧PB t=9.5	塩ビ	約3,000	1階	検収室	防滑長尺塩ビシート t=2.0 土間コン金鍍押え	床仕上 巻上	化粧珞裨板t=6 下地 : 耐水PB t=12.5	LGS	化粧珞裨板 t=6 下地 : 化粧PB t=12.5	塩ビ	約2,500	
	図書室	同上	同上	準耐火間仕切:強化PB t=15 両面 内壁1 : 珞裨現し 内壁2 : 化粧PB t=9.5(準耐火間仕切)	同上	同上	同上	同上			調理室	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
	多目的室 (少人数)1、2	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			洗浄室	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
	図工室	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			下処理室	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
	音楽準備室	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			配膳ホール	長尺塩ビシート t=2.0 土間コン金鍍押え	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
	音楽室	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			食品庫	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
	家庭科準備室	防滑長尺塩ビシート t=2.0 下地:強化BPt=15+ラッ合板t=12 XPS=30+テップレート(珞裨)t=1.6以上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			前室	同上	同上	化粧PB t=12.5	同上	同上	同上	同上	
	家庭科室	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			休憩室	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
	理科室	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			脱衣・手洗	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
	理科準備室	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			WC	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
										別棟	ゴミ置場	土間コン金鍍押え	-	内壁 : 外壁珞裨現し	-	屋根折板現し	-	約3,000	
											産廃物置場	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
											廃油置場	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
■一般事項										横浜市教育委員会事務局									
1)室内下地、仕上、接着剤はF☆☆☆☆以上とする。					4)使用する材料は全て上表記載の同等品以上とする。					工事名					吉原小学校仮設校舎設置工事				
2)使用する材料は全て石綿、加珞リ珞を含まないものとする。										年月日					R5.3 縮尺 A1: 図示				
3)各教室に時計・黒板・珞付ホード 取付下地を設けること。										図面名称					内部仕上表				
										設計者					期設番号				
																			
										A-02					42				



■図工室 備品リスト						工事区分			
No.	備品	数量	W	D	H	備考	工事	教育	移設
1	黒板	1	3,600	x	1,200	G-610	○		
2	窓下作業台	1	3,000	x	600 x 670	G-483A	○		
3	一槽流し	3	1,650	x	610 x 570	G-132A 水×3	○		
4	作業台	1	4,850	x	600 x 670	G-482	○		
5	掃除用具入	1	600	x	400 x 1,700	G-280	○		
6	ショーケース	1	1,750	x	500 x 2,040	G-331	○		
7	展示棚	2	1,750	x	500 x 2,040	G-320	○		
8	収納戸棚	1	1,665	x	500 x 2,040	G-315A	○		
9	ステンレスフック	2	9φ			I-208C	○		
10	姿見	1	800	x	1,525	G-830A	○		
11	ステンレスフック	6	9φ			I-208B	○		
12	ビクチャーレール	1				I-209A	○		
13	室名札	1	持出しタイプ			I-204A	○		
14	教師用木工台	1				K-456	○		
15	児童用木工台	8				K-457	○		
16	木製角椅子	41				K-401	○		
17	チリ箱	2	図示表記なし			K-104	○		

■音楽準備室 備品リスト						工事区分			
No.	備品	数量	W	D	H	備考	工事	教育	移設
1	収納棚	4	1,350	x	900 x 2,600	G-452A	○		
2	収納戸棚	1	1,750	x	450/600 x 2,600	G-432	○		
3	収納棚	2	1,800	x	600/900 x 2,600	G-451A	○		
4	小学校：室名札	1	持出しタイプ			I-204A	○		
5	片袖机	2				K-109	○		
6	職員用椅子	2				K-110-2	○		

■音楽室 備品リスト						工事区分			
No.	備品	数量	W	D	H	備考	工事	教育	移設
1	ホワイトボード	1	3,600	x	1,200	G-611C	○		
2	掃除用具入	1	600	x	400 x 1,700	G-280	○		
3	収納戸棚・ホワイトボード	3	1,800	x	900 x 2,600	G-414A	○		
4	収納戸棚	1	1,200	x	900 x 2,600	G-431	○		
5	教壇	3	1,200	x	600 x 100	G-810A	○		
6	小学校：室名札	1	持出しタイプ			I-204A	○		
7	音楽室用机	40				K-113	○		
8	音楽室用椅子	40				K-114	○		
9	チリ箱	2	図示表記なし			K-104	○		

■家庭科準備室 備品リスト						工事区分			
No.	備品	数量	W	D	H	備考	工事	教育	移設
※既存家庭科室備品一式移設とする。詳細は実施設計にて学校と協議の上、決定する。									

■家庭科室 備品リスト						工事区分			
No.	備品	数量	W	D	H	備考	工事	教育	移設
1	ホワイトボード	1	3,600	x	1,200	G-611B	○		
2	一槽流し（給湯付）	1	1,200	x	610 x 570	G-130A 水×1 混×1	○		
3	一槽流し（給湯付）	3	2,100	x	610 x 570	G-134A 水×2 混×2	○		
4	掃除用流し（給湯付）	1	785	x	610 x 480	G-110 混×1	○		
5	洗濯機パン	1	900	x	650 x 90	既製品	○		
6	収納戸棚	3	1,600	x	450/600 x 2,000	G-416	○		
7	掃除用具入	1	600	x	400 x 1,700	G-280	○		
8	収納戸棚	5	1,750	x	600 x 2,040	G-312	○		
9	収納戸棚	1	1,750	x	600 x 2,040	G-311	○		
10	教師兼児童用調理台	8	2,000	x	900 x 725	G-720A G+W	○		
11	教師兼児童用調理台	1	2,000	x	900 x 725	G-720B G+G	○		
12	ミシン収納ケース	20	400	x	600 x 600	G-812	○		
13	アルミ枠掲示板	2	800	x	1,200	G-680B	○		
14	ステンレスフック	4	9φ			I-208B	○		
15	給気孔	2	250φ			I-206	○		
16	給湯器カバー	2				I-105	○		
17	室名札	1	持出しタイプ			I-204A	○		
18	食卓テーブル	8				K-150	○		
19	食卓用丸椅子	41				K-117	○		
20	2口ガスコンロ	10				実施設計による	○		
21	チリ箱	2	図示表記なし			K-104	○		

■理科室 備品リスト						工事区分			
No.	備品	数量	W	D	H	備考	工事	教育	移設
1	上下黒板	1	3,600	x	1,700	G-640A	○		
2	一槽流し（給湯付）	1	1,650	x	610 x 570	G-135A 混×3	○		
3	観察台	2	1,650	x	610 x 670	G-180	○		
4	水槽台	1	1,650	x	610 x 570	G-182A	○		
5	収納戸棚	3	1,600	x	400/600 x 2,000	G-413	○		
6	掃除用具入	1	600	x	400 x 1,700	G-280	○		
7	収納戸棚	3	1,750	x	500 x 2,040	G-315B	○		
8	ショーケース	1	1,665	x	500 x 2,040	G-330	○		
9	教壇	3	1,200	x	1,000 x 100	G-810B	○		
10	教師用操作卓	1	2,100	x	900 x 900	G-711A	○		
11	児童用実験台	5	3,400	x	900 x 670	G-710A	○		
12	移動式教師用机	2	1,300	x	900 x 900	G-712	○		
13	ステンレスフック	1	9φ			I-208D	○		
14	給気孔	2	250φ			I-206	○		
15	給湯器カバー	1				I-105	○		
16	室名札	1	持出しタイプ			I-204A	○		
17	木製角椅子	41				K-401	○		
18	チリ箱	2	図示表記なし			K-104	○		
19	暗幕	1	図示表記なし			K-601	○		

■理科準備室 備品リスト						工事区分			
No.	備品	数量	W	D	H	備考	工事	教育	移設
1	収納棚	1	1,270	x	400 x 1,890	G-540	○		
2	整理戸棚（下段）	1	1,200	x	515 x 980	G-210B	○		
3	整理戸棚（上段）	1	1,200	x	400 x 880	G-214A	○		
4	薬品戸棚	2	900	x	400/500 x 1,800	G-190	○		
5	一槽流し（給湯付）	1	1,500	x	610 x 700	G-131 水×2 混×1	○		
6	窓下収納戸棚	1	1,800	x	600 x 840	G-420B	○		
7	整理戸棚（下段）	2	1,760	x	515 x 980	G-211B	○		
8	整理戸棚（上段）	2	1,760	x	400 x 880	G-215A	○		
9	キーボックス	1	10未用				○		
10	書架	1	1,665	x	240 x 2,040	G-350	○		
11	実験台	1	1,400	x	800 x 760	G-713	○		
12	ステンレスフック	1	9φ			I-208B	○		
13	室名札	1	持出しタイプ			I-204A	○		
14	片袖机	1				K-109	○		
15	職員用椅子	1				K-110-2	○		
16	作業台	1				K-137	○		
17	化粧天板	1				G-201A	○		
18	化粧天板	2				G-201B	○		

■給食室 備品リスト						工事区分			
No.	備品	数量	W	D	H	備考	工事	教育	移設
※別図による									

■体育館 備品リスト						工事区分			
No.	備品	数量	W	D	H	備考	工事	教育	移設
※別図による									

①準住居地域 面積

符合	計算式(m)		倍面積
	底辺	高さ	
1	93.730	x 8.770	822.012
2	85.940	x 1.910	164.145
3	85.940	x 8.770	753.694
4	71.310	x 8.220	586.168
5	62.260	x 3.830	238.456
6	56.880	x 5.600	318.528
7	56.880	x 5.880	334.454
8	20.500	x 3.930	80.565
9	7.320	x 2.210	16.177
10	39.440	x 10.850	427.924
11	27.740	x 3.550	98.477
12	16.500	x 0.980	16.170
13	14.780	x 6.160	91.045
14	7.610	x 2.260	17.199
15	5.850	x 2.680	15.678
16	7.920	x 1.860	14.731
合計			3995.424
合計面積			1997.712
地積			1997.71

②第一種低層住居専用地域 面積

符合	計算式(m)		倍面積
	底辺	高さ	
1	96.324	x 2.711	261.133
2	99.998	x 13.643	1364.222
3	99.998	x 7.685	768.484
4	100.631	x 13.691	1377.716
5	100.631	x 8.513	856.672
6	18.494	x 3.495	64.638
7	9.970	x 5.545	55.284
8	9.148	x 4.341	39.711
9	6.770	x 1.176	7.962
10	6.770	x 3.405	23.053
11	84.642	x 16.657	1409.884
12	23.270	x 8.379	194.979
13	9.200	x 8.622	79.322
14	9.841	x 1.154	11.357
15	11.388	x 2.625	29.894
16	11.380	x 7.379	83.972
17	17.690	x 8.123	143.696
18	14.548	x 1.172	17.050
19	13.404	x 2.115	28.349
20	7.080	x 2.020	14.302
21	9.070	x 0.610	5.533
22	12.620	x 5.571	70.306
23	12.620	x 5.858	73.928
24	17.009	x 7.951	135.239
25	17.009	x 14.406	245.032
合計			7361.715
合計面積			3680.858
地積			3680.85

③第一種低層住居専用地域+準住居地域 面積

面積(m <sup>2</sup> )	
① 準住居地域	1997.712
② 第一種低層住居専用地域	3680.858
合計面積(①+②)	5678.569
地積	5678.56

■渡り廊下1 建築面積求積表

棟	記号	計算式(m)		面積(m <sup>2</sup> )
		X	Y	
渡り廊下1	①	35.650	x 1.875	66.844
	②	35.040	x 1.875 ÷ 2	32.850
	③	36.123	x 1.875 ÷ 2	33.865
	④	13.629	x 1.875 ÷ 2	12.777
	⑤	13.227	x 1.875 ÷ 2	12.400
	⑥	6.993	x 1.875 ÷ 2	6.556
	⑦	6.585	x 1.703 ÷ 2	5.607
	⑧	12.990	x 1.875 ÷ 2	12.178
	⑨	12.658	x 1.875 ÷ 2	11.867
合計面積				194.945

■床面積求積表

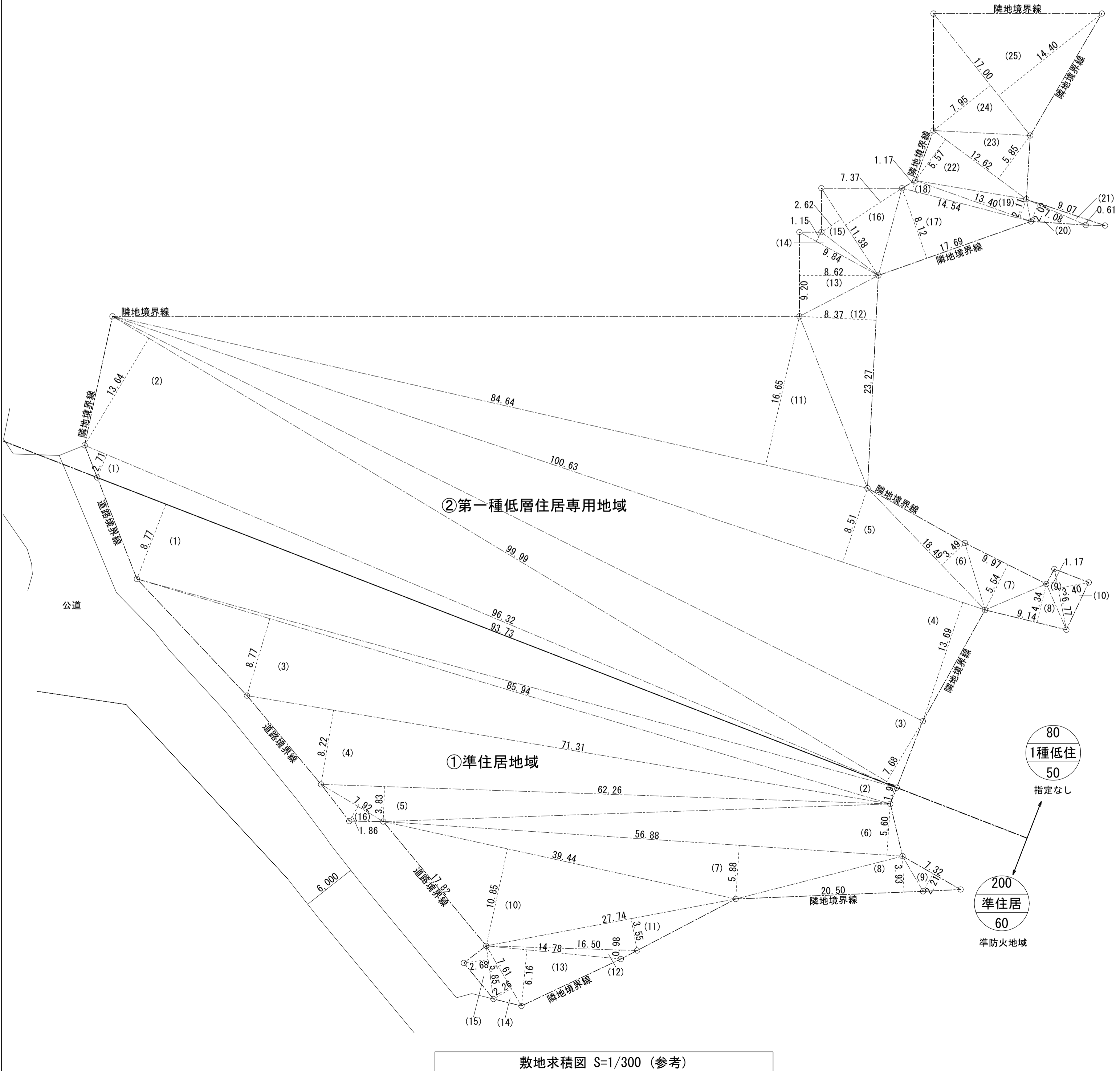
棟	計算式(m)		面積(m <sup>2</sup> )
	X	Y	
校舎			
1階	46.800	x 21.000	982.800
2階	46.800	x 21.000	982.800
小計			1965.600
体育館	30.600	x 18.000	550.800
給食室	22.500	x 12.600	283.500
防災備蓄庫	2.700	x 9.000	24.300
ゴミ置場	8.100	x 1.800	14.580
総合計			4789.800

■渡り廊下2 建築面積求積表

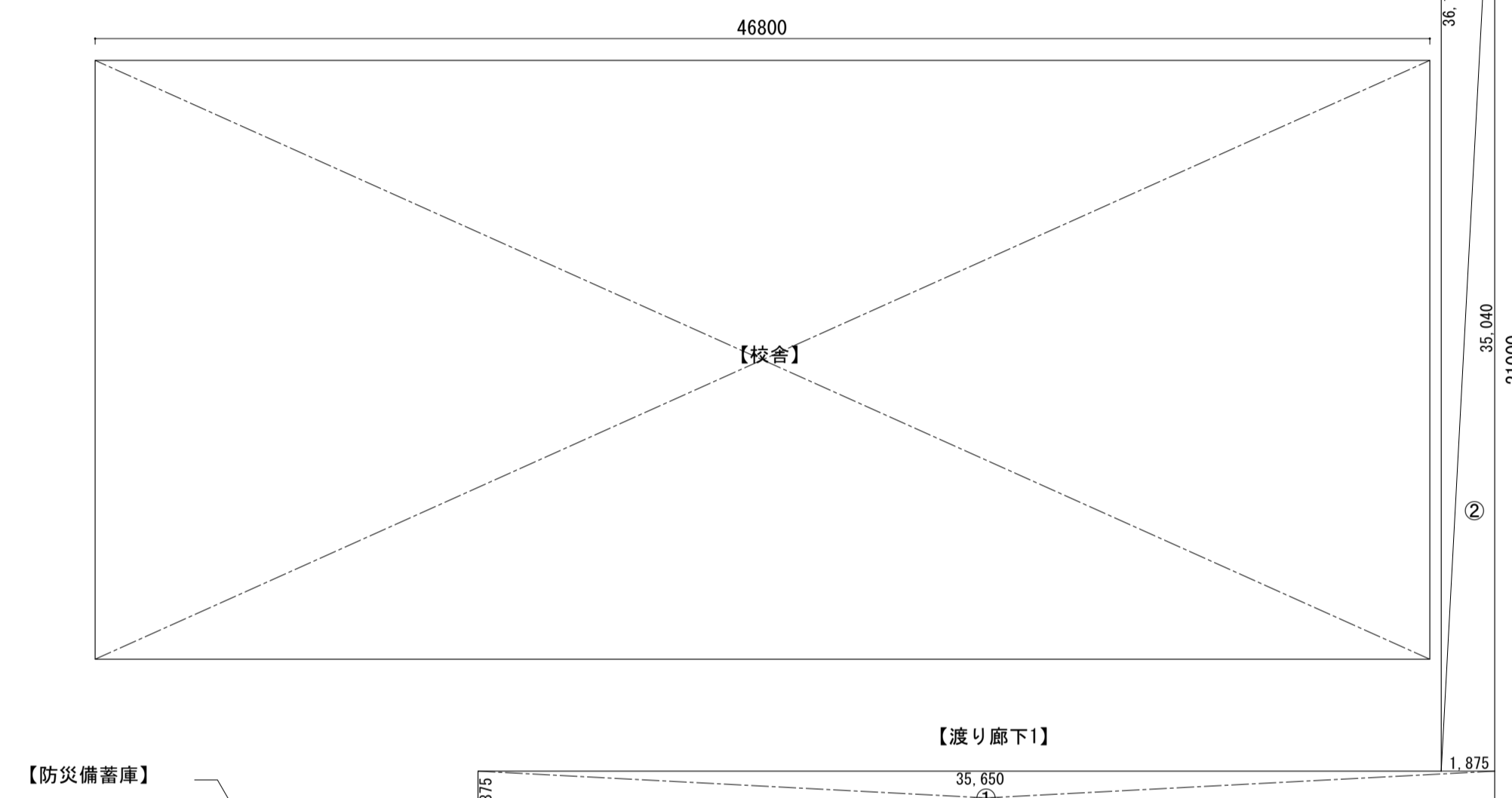
棟	記号	計算式(m)		面積(m <sup>2</sup> )
		X	Y	
渡り廊下2	①	12.675	x 1.875	23.766
	②	1.875	x 12.350	23.156
合計面積				46.922

■建築面積求積表

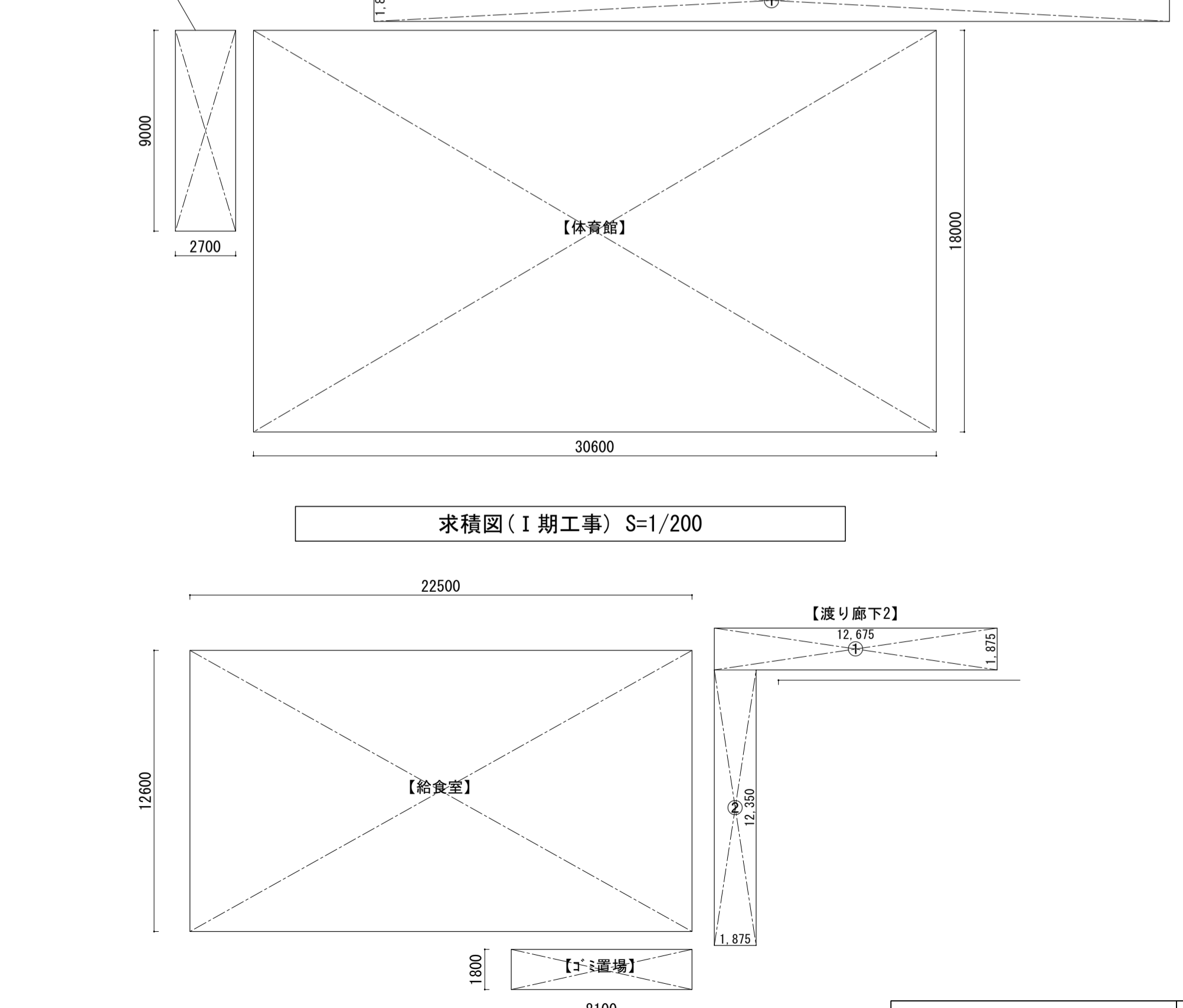
棟	記号	計算式(m)		面積(m <sup>2</sup> )
		X	Y	
校舎		46.800	x 21.000	982.800
体育館		30.600	x 18.000	550.800
給食室		22.500	x 12.600	283.500
防災備蓄庫		2.700	x 9.000	24.300
ゴミ置場		8.100	x 1.800	14.580
渡り廊下1				194.945
渡り廊下2				46.922
総合計				2097.847



敷地求積図 S=1/300 (参考)

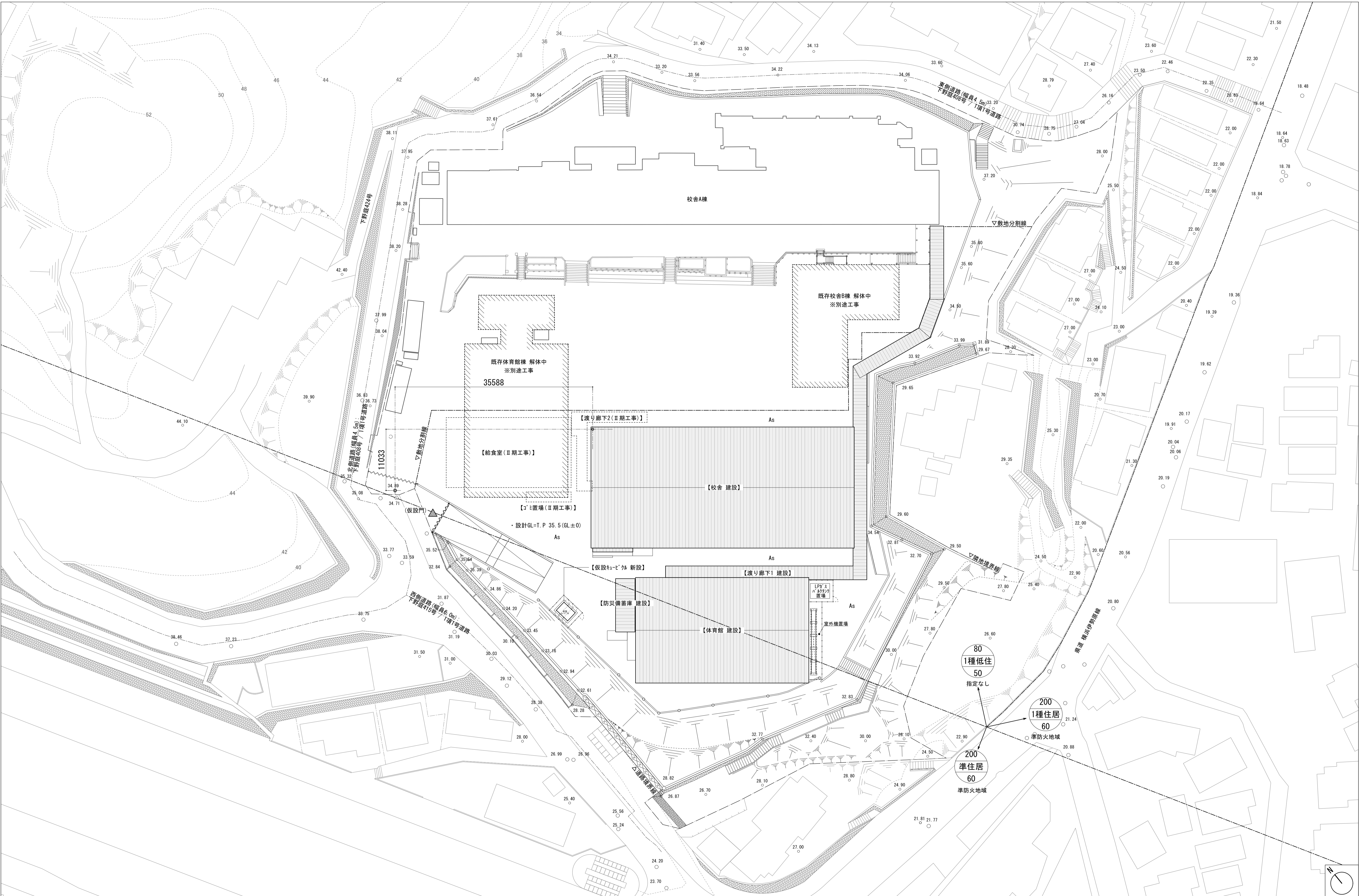


求積図 (I期工事) S=1/200





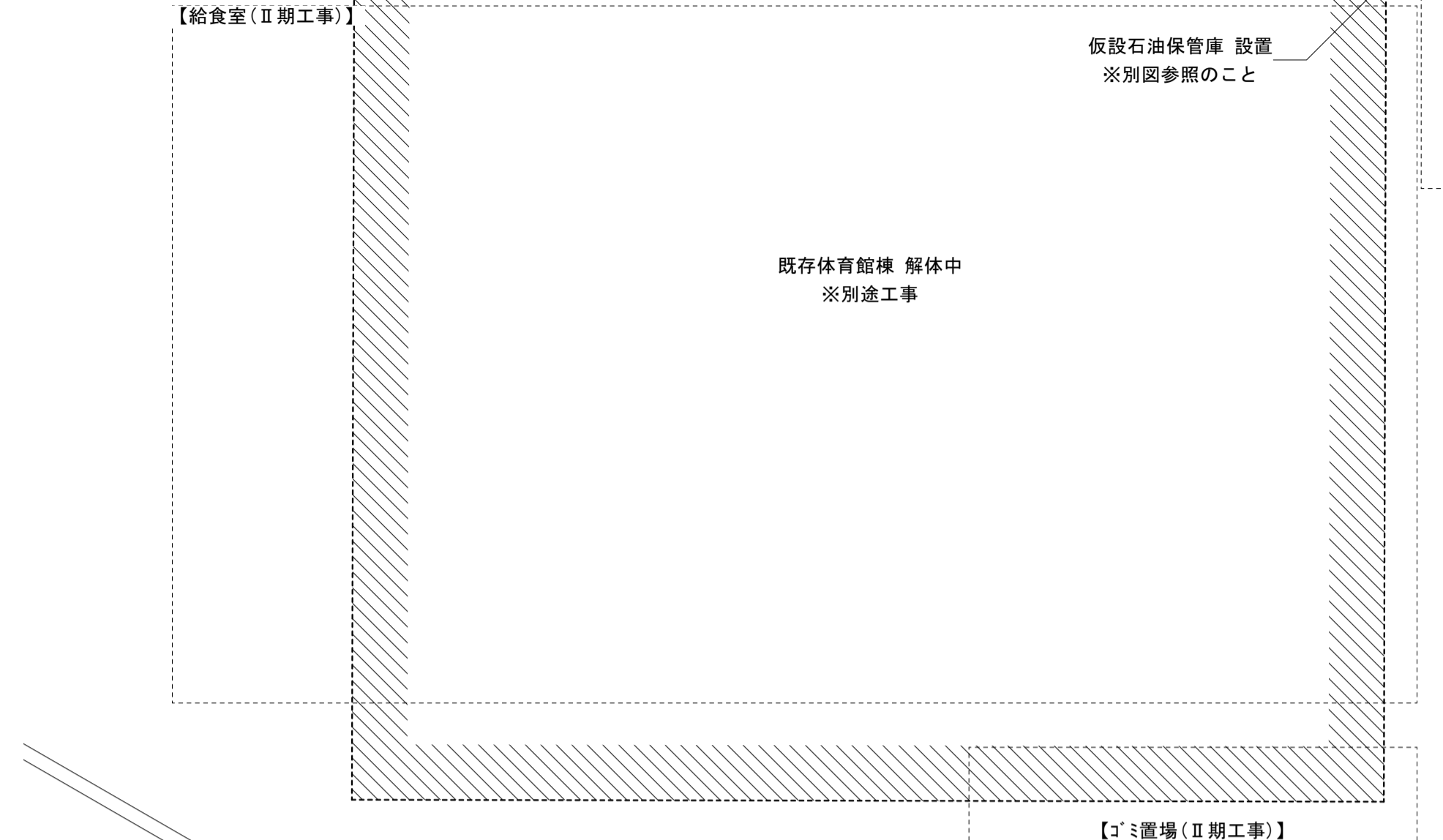
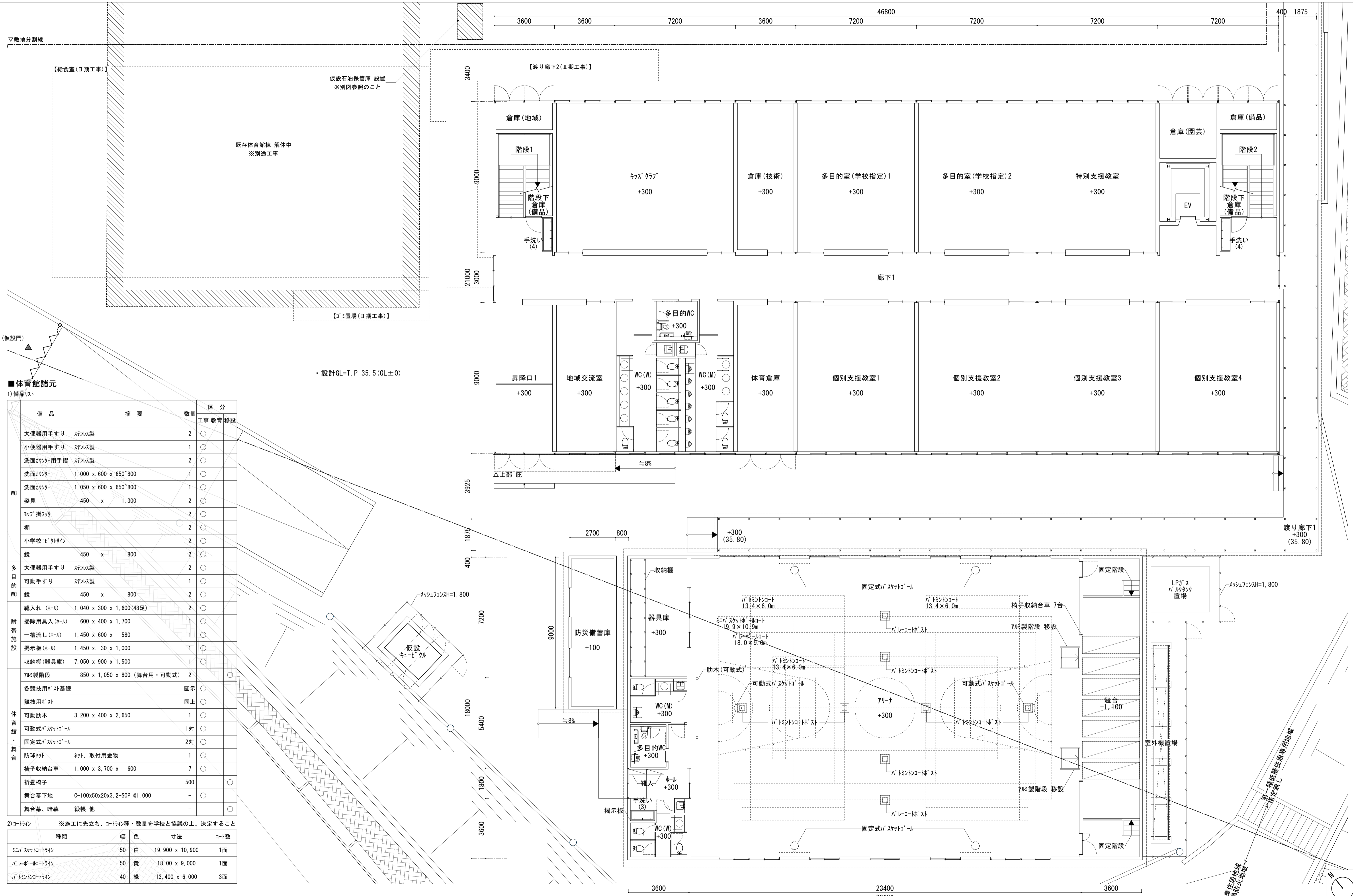
求積図 (II期工事) S=1/200

横浜市教育委員会事務局	工事名	吉原小学校仮設校舎設置工事			
年月日	R5.3	縮尺	A1:図示	図面名称	敷地求積図(参考)/求積図
設計者	加藤事務所	建築士	加藤 隆	図面枚数	1/1
図面番号	A-05	図面内容	敷地求積図(参考)/求積図	図面番号	A-05



配置図Ⅰ(Ⅰ期工事) S=1/300

横浜市教育委員会事務局		工事名	吉原小学校仮設校舎設置工事		
年月日	R5.3	縮尺	A1:原示	図面名称	配置図Ⅰ(Ⅰ期工事)
設計者		図面番号	棟名	階	図面枚数
					
		図面番号	A-06		



■体育館諸元

1) 備品リスト

備品	摘要	数量	区分		
			工事	教育	移設
大便器用手すり	ステンレス製	2	○		
小便器用手すり	ステンレス製	1	○		
洗面かかと-用手摺	ステンレス製	2	○		
洗面かかと	1,000 x 600 x 650*800	1	○		
洗面かかと	1,050 x 600 x 650*800	1	○		
姿見	450 x 1,300	2	○		
モップ掛フック		2	○		
棚		2	○		
小学校:ビケトサイン		2	○		
鏡	450 x 800	2	○		
大便器用手すり	ステンレス製	2	○		
可動手すり	ステンレス製	1	○		
鏡	450 x 800	2	○		
靴入れ(ホ-ル)	1,040 x 300 x 1,600(48足)	2	○		
掃除用具入(ホ-ル)	600 x 400 x 1,700	1	○		
一掃流し(ホ-ル)	1,450 x 600 x 580	1	○		
掲示板(ホ-ル)	1,450 x .30 x 1,000	1	○		
収納棚(器具庫)	7,050 x 900 x 1,500	1	○		
7尺製階段	850 x 1,050 x 800 (舞台用・可動式)	2		○	
各競技用ホ-ル基礎		図示		○	
競技用ホ-ル		同上		○	
可動助木	3,200 x 400 x 2,650	1	○		
可動式バ-ネット		1対		○	
固定式バ-ネット		2対		○	
防球ネット	ネット、取付用金物	1	○		
椅子収納台車	1,000 x 3,700 x 600	7		○	
折畳椅子		500		○	
舞台幕下地	C-100x50x20x3.2+SOP @1,000	-		○	
舞台幕、暗幕	緞帳 他	-		○	

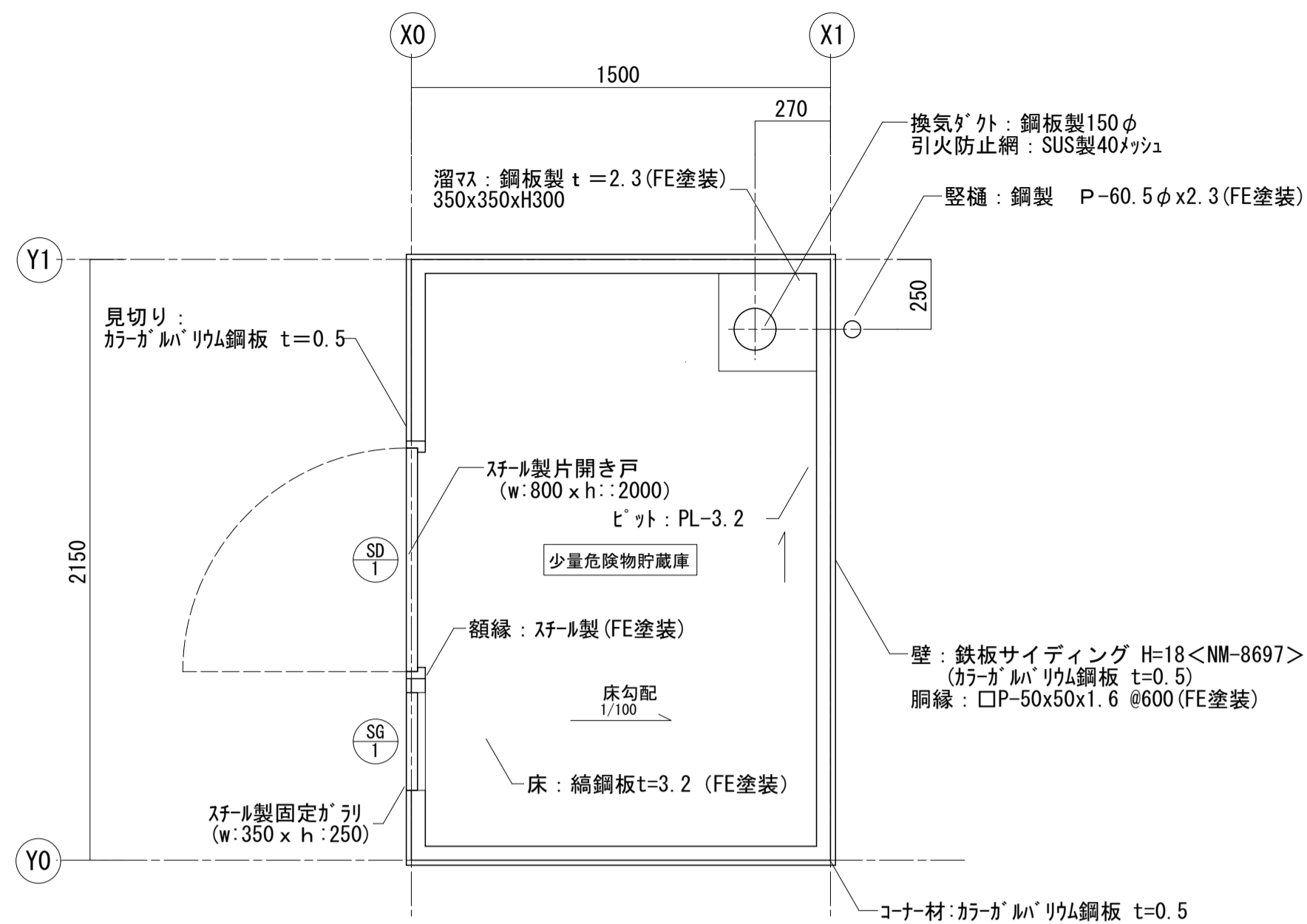
2) コーティング ※施工に先立ち、コーティング種・数量を学校と協議の上、決定すること

種類	幅	色	寸法	コート数
ミニバ-ネットコートライン	50	白	19,900 x 10,900	1面
バ-ネットホ-ルコートライン	50	黄	18,000 x 9,000	1面
バ-ネットコートライン	40	緑	13,400 x 6,000	3面

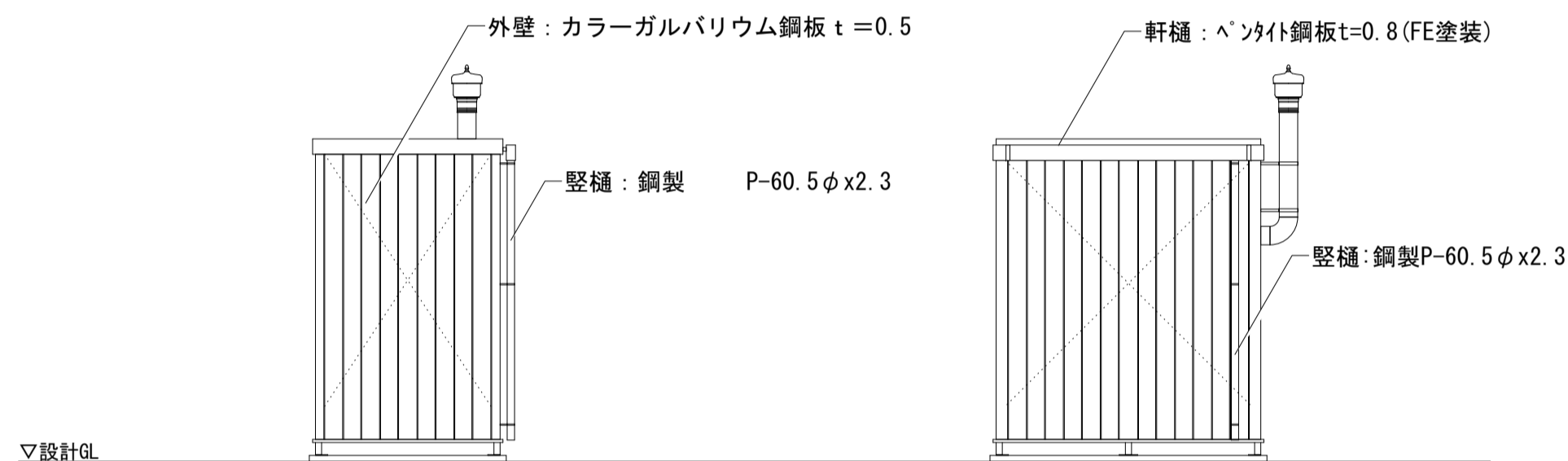
1階平面図 (I期工事) S=1/100

横浜市教育委員会事務局		工事名	吉原小学校仮設校舎設置工事		
年月日	R5.3	縮尺	A1:図示	図面名称	1階平面図(I期工事)
設計者		図面番号	棟名	階数	図面枚数
		図面番号	A-07		

■少量危険物倉庫(参考図)

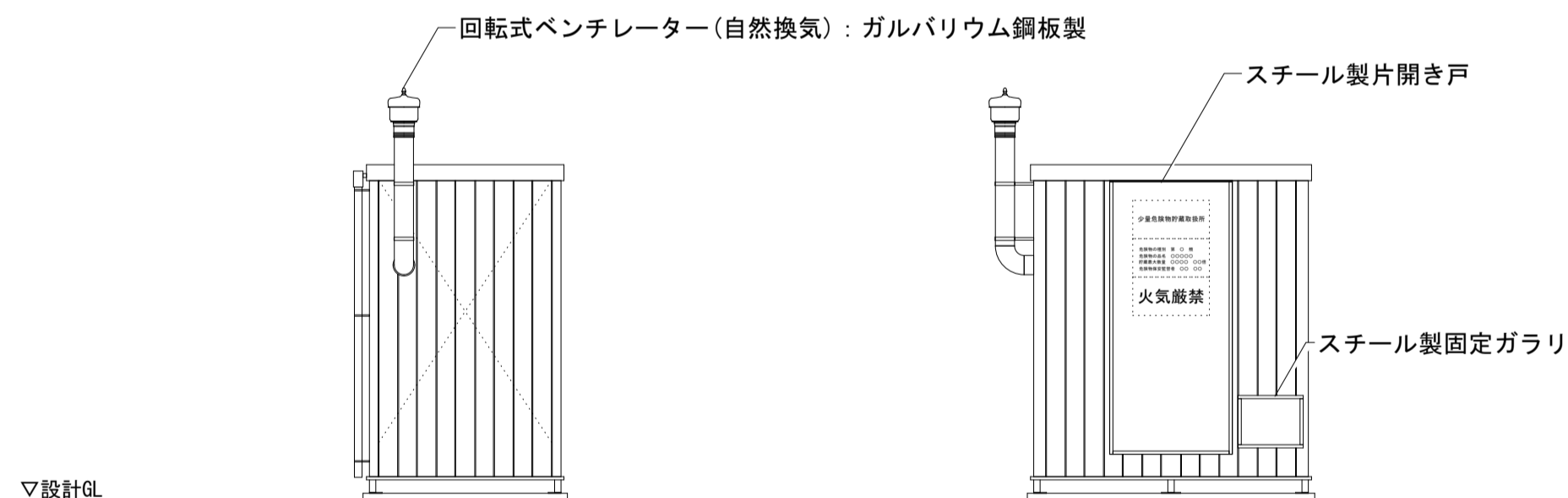


平面図 S=1/20



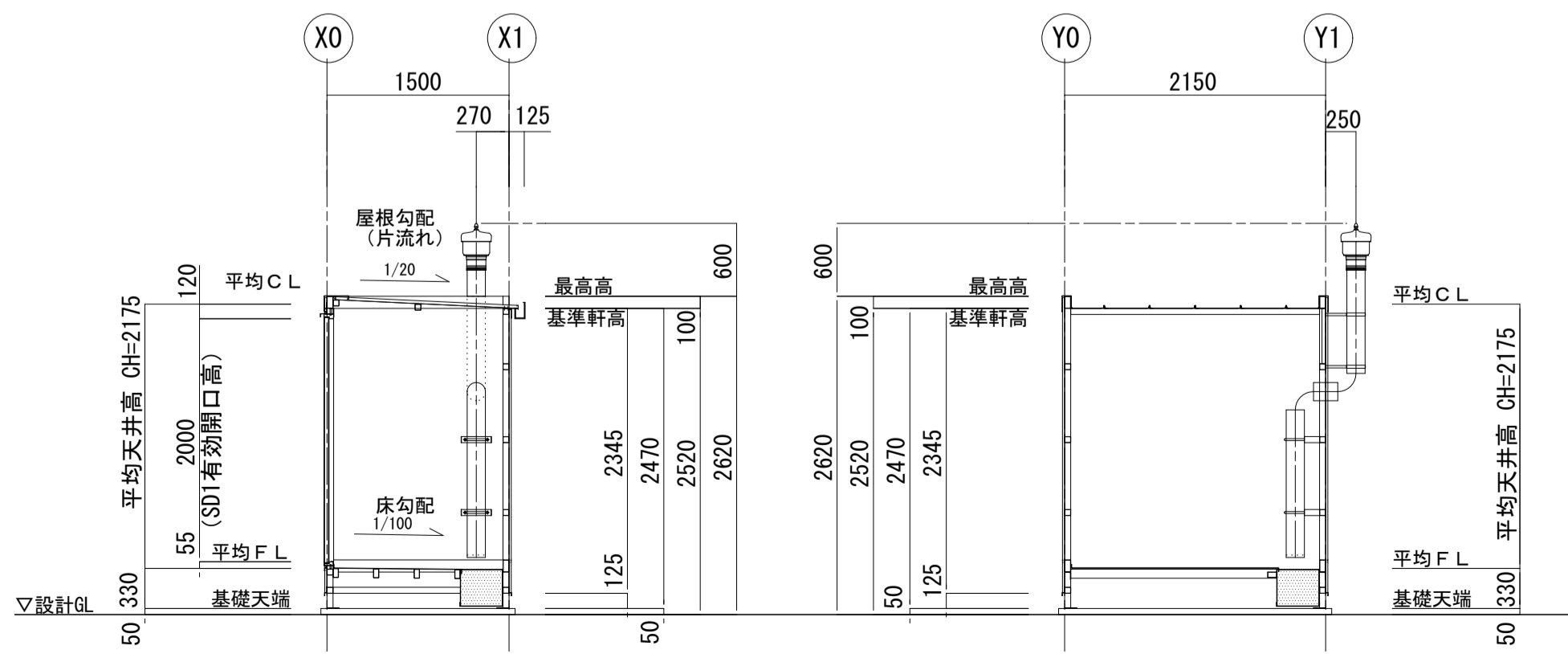
Y0 通 立面図 S=1/50

X1 通 立面図 S=1/50



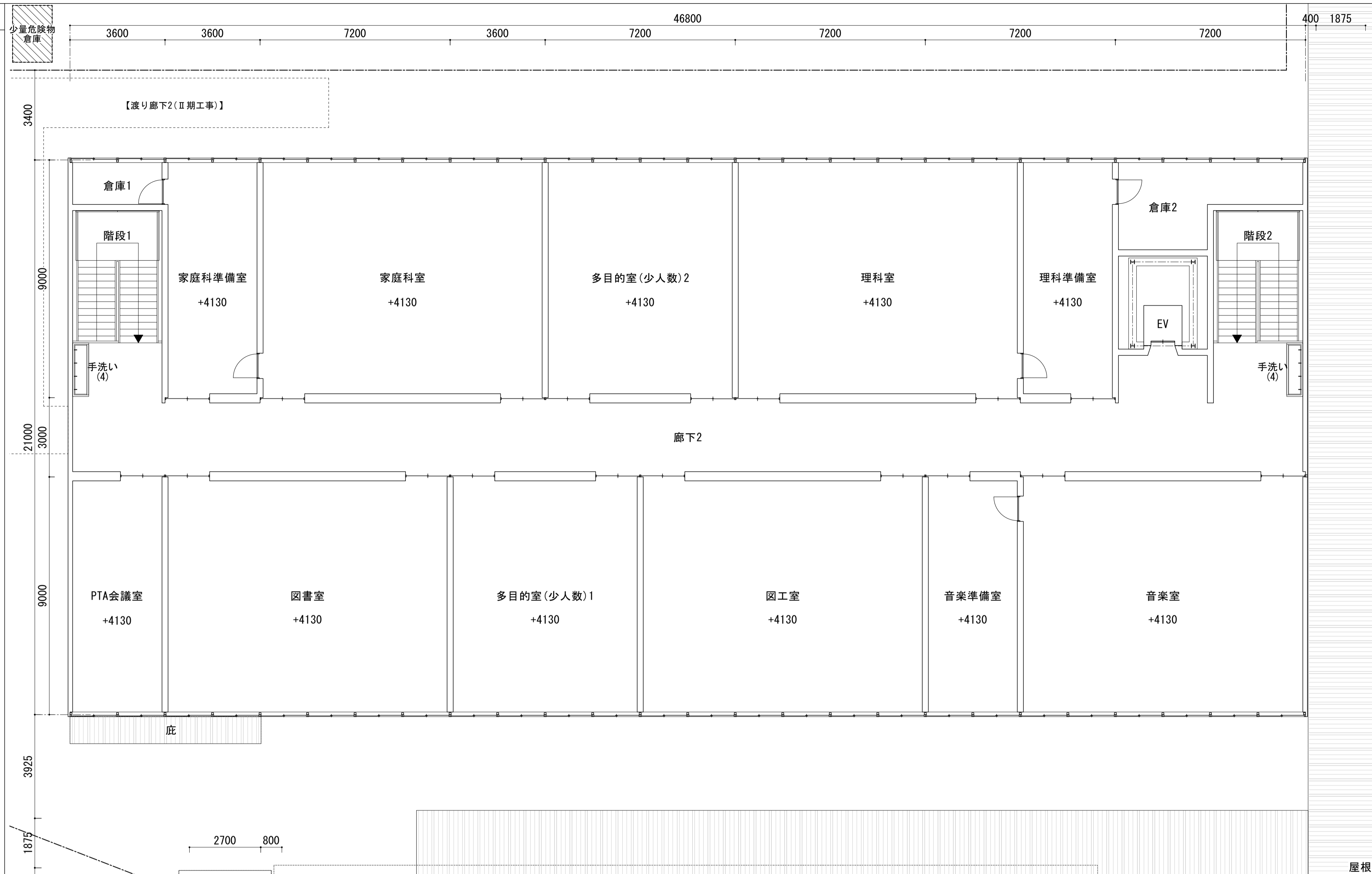
Y1 通 立面図 S=1/50

X0 通 立面図 S=1/50

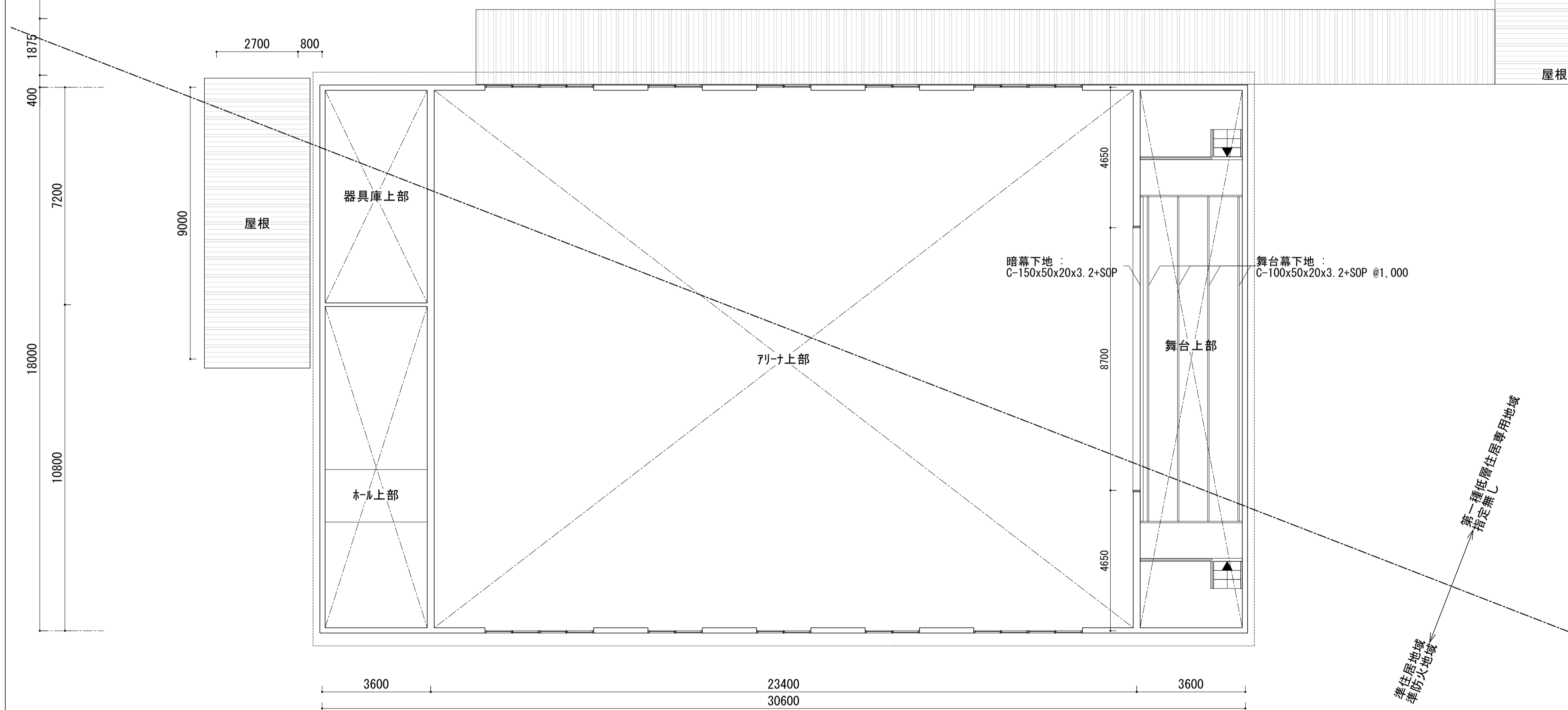


Y 通 断面図 S=1/50

X 通 断面図 S=1/50

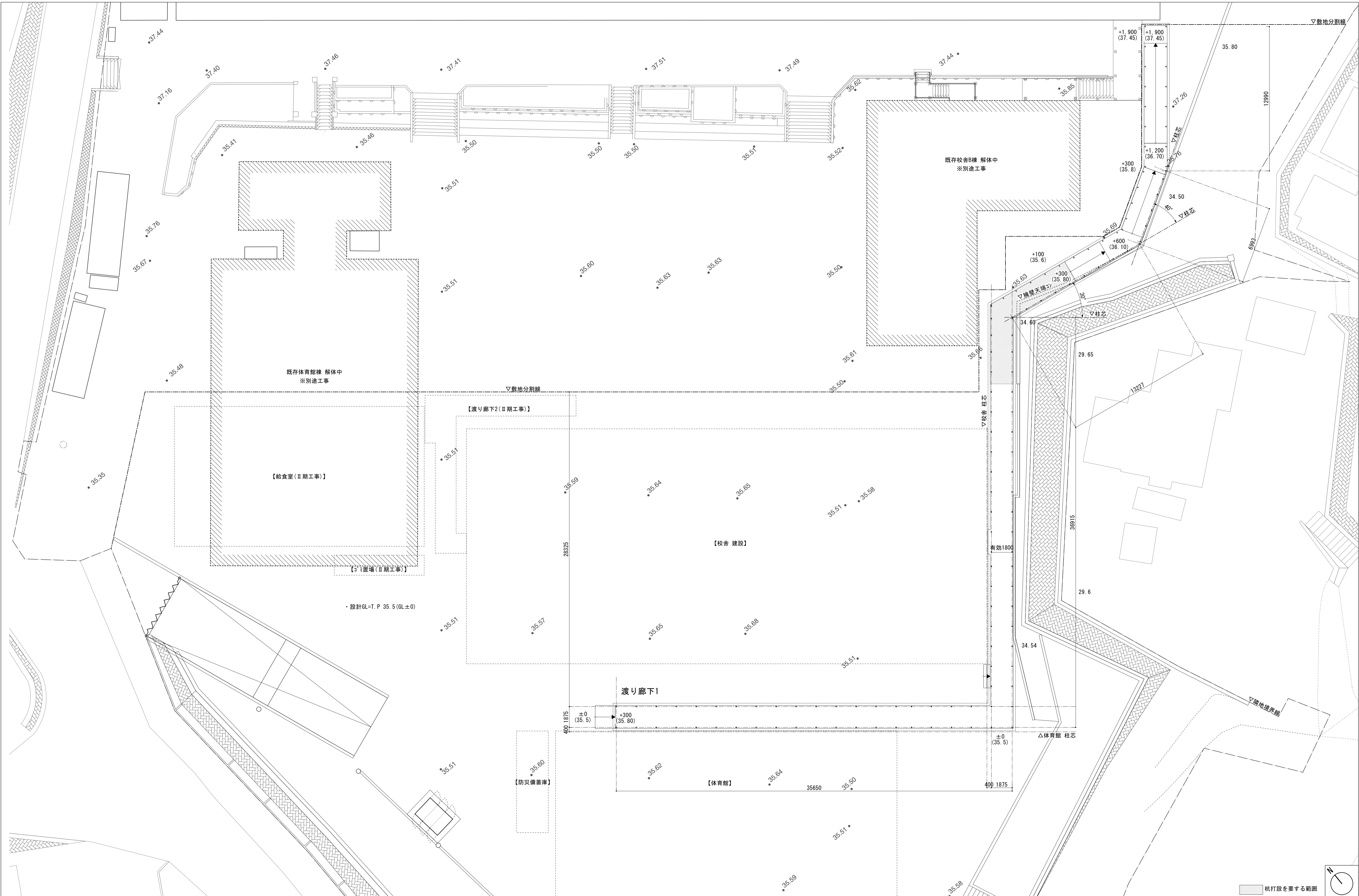


2階平面図 (I期工事) S=1/100




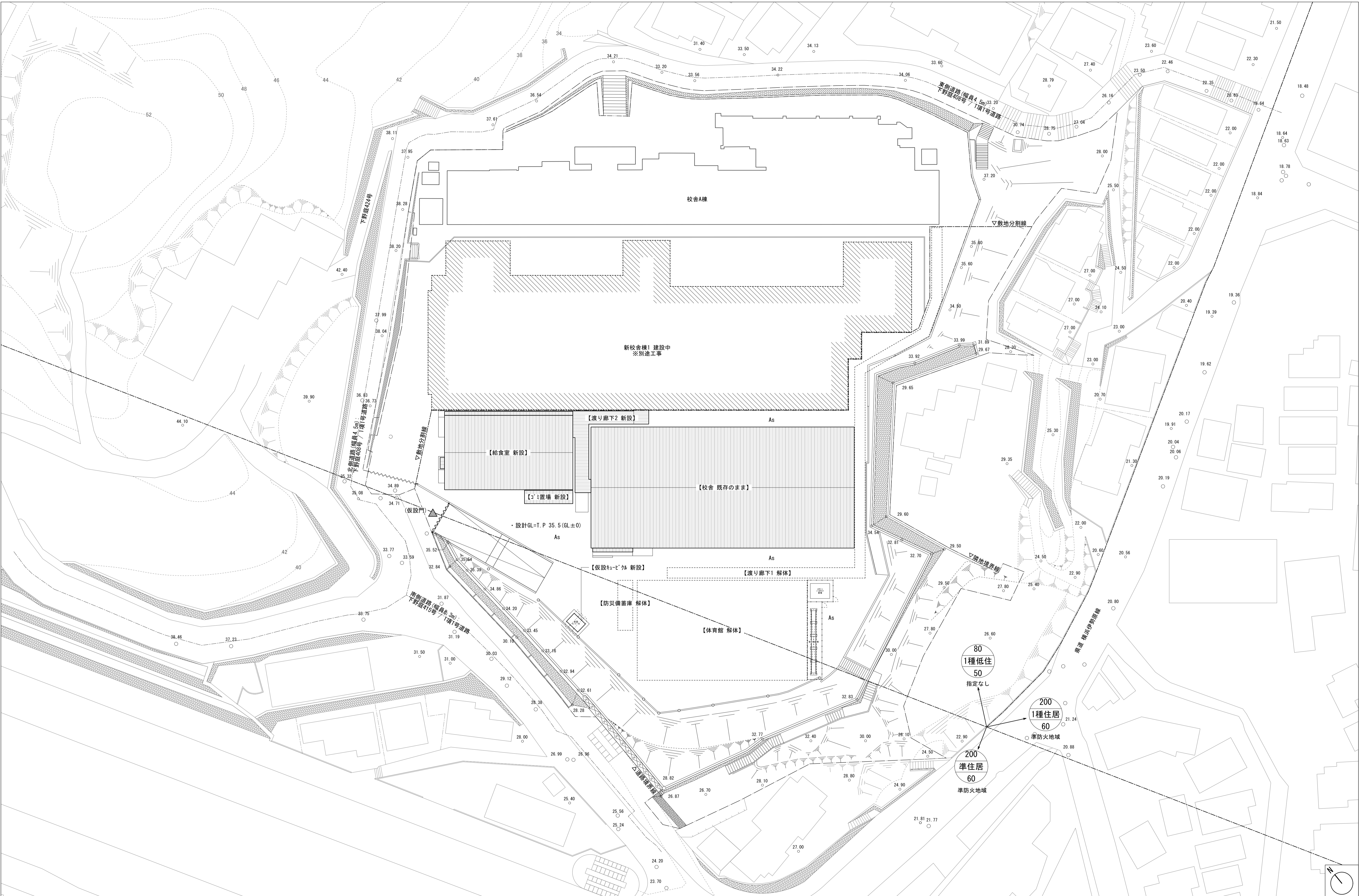
横浜市教育委員会事務局		工事名	吉原小学校仮設校舎設置工事	
年月日	R5.3	縮尺	A1: 図示	図面名称
設計者		図面番号	2階平面図(II期工事)	図面番号
A-08		図面枚数	1	図面番号





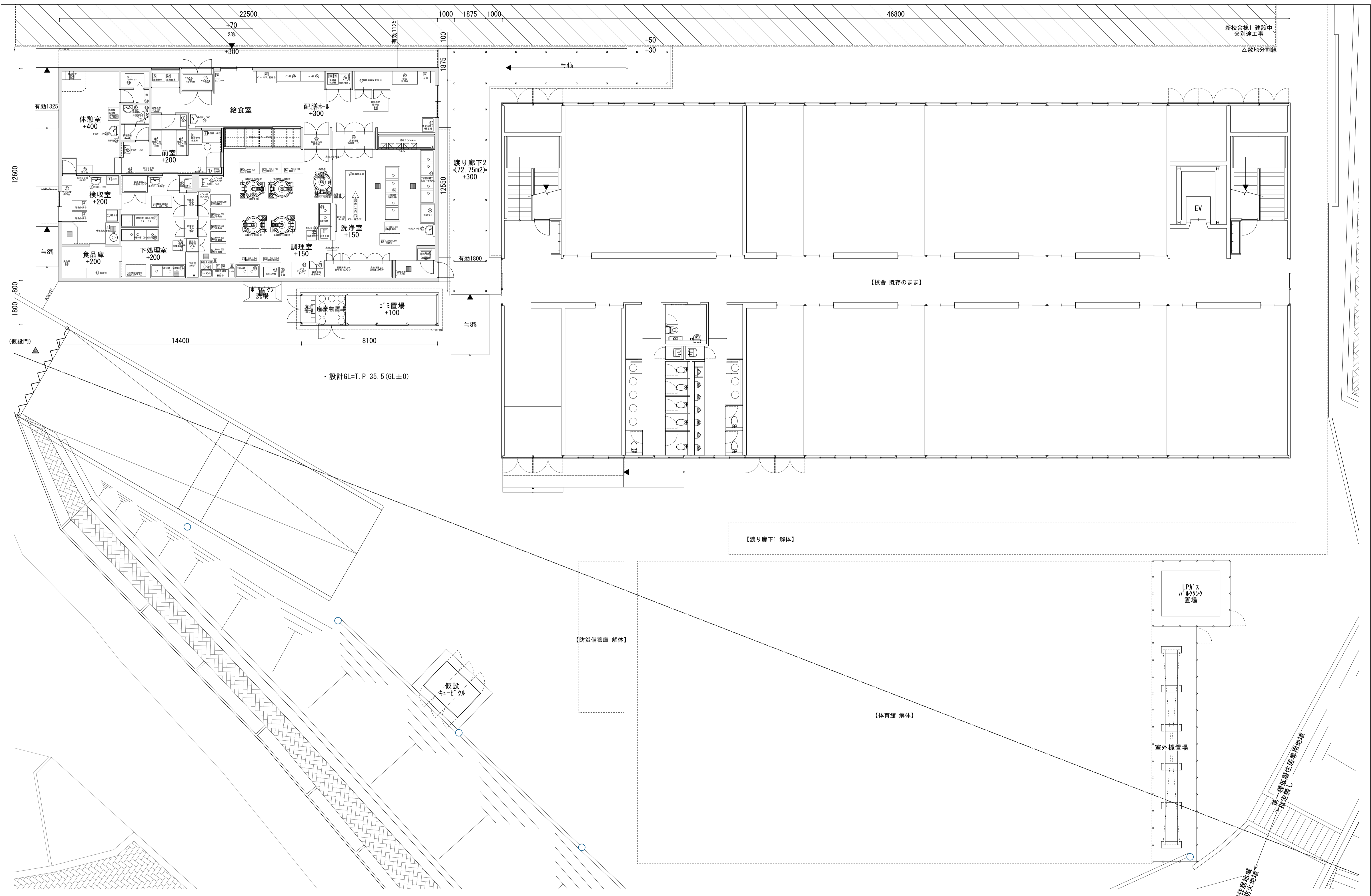
渡り廊下Ⅰ 平面図 S=1/150

横浜市教育委員会事務局		工事名	吉原小学校仮設校舎設置工事		
年月日	R5.3	縮尺	A1: 図示	図面名称	渡り廊下Ⅰ 平面図 (Ⅰ期工事)
設計者		図面番号	棟名	図面枚数	図面番号
					A-09



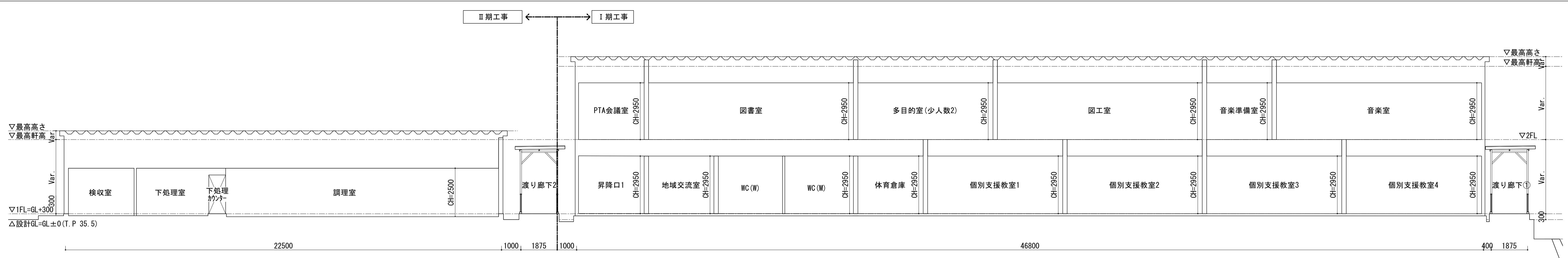
配置図2(Ⅱ期工事) S=1/300

横浜市教育委員会事務局		工事名	吉原小学校仮設校舎設置工事		
年月日	R5.3	縮尺	A1:原示	図面名称	配置図2(Ⅱ期工事)
設計者		図面番号	棟名	階	図面枚数
					
		図面番号	A-110		

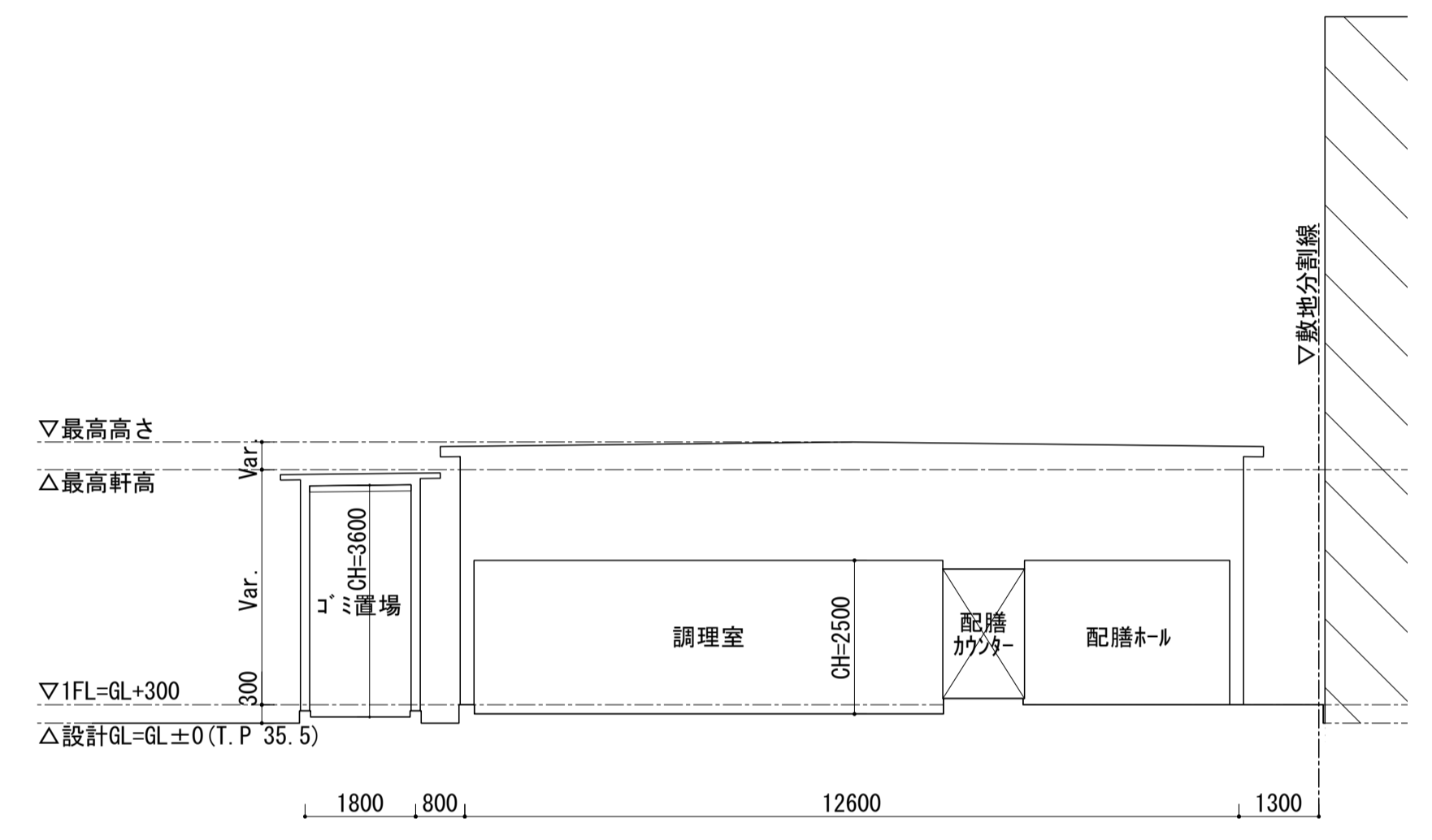


1階平面図(Ⅱ期工事) S=1/100

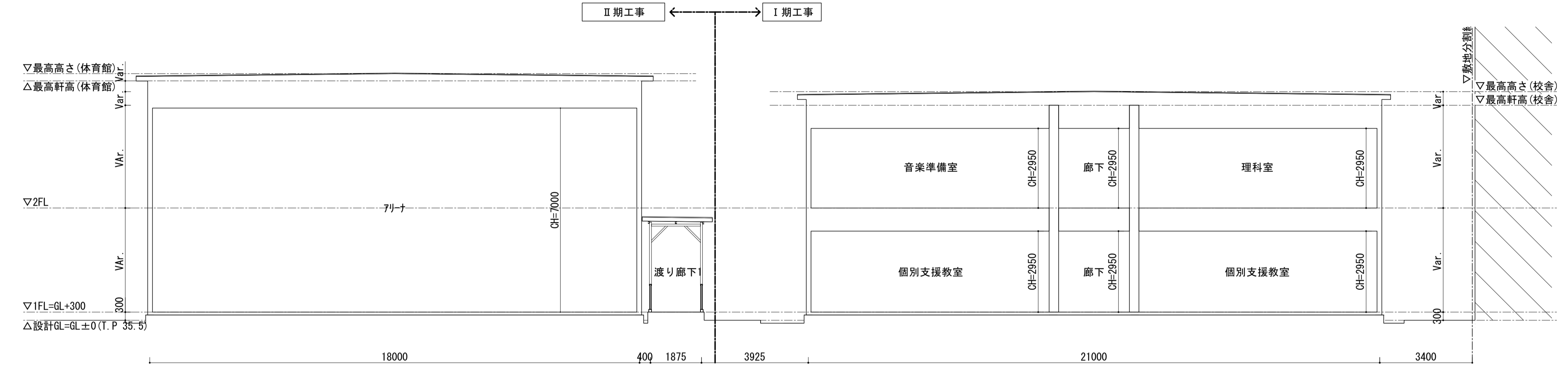
横浜市教育委員会事務局		工事名	吉原小学校仮設校舎設置工事		
年月日	R5.3	縮尺	A1:図示	図面名称	1階平面図(Ⅱ期工事)
設計者		期設番号	棟番号	層番号	図面枚数
		期設番号	棟番号	層番号	図面枚数
		期設番号	棟番号	層番号	図面枚数



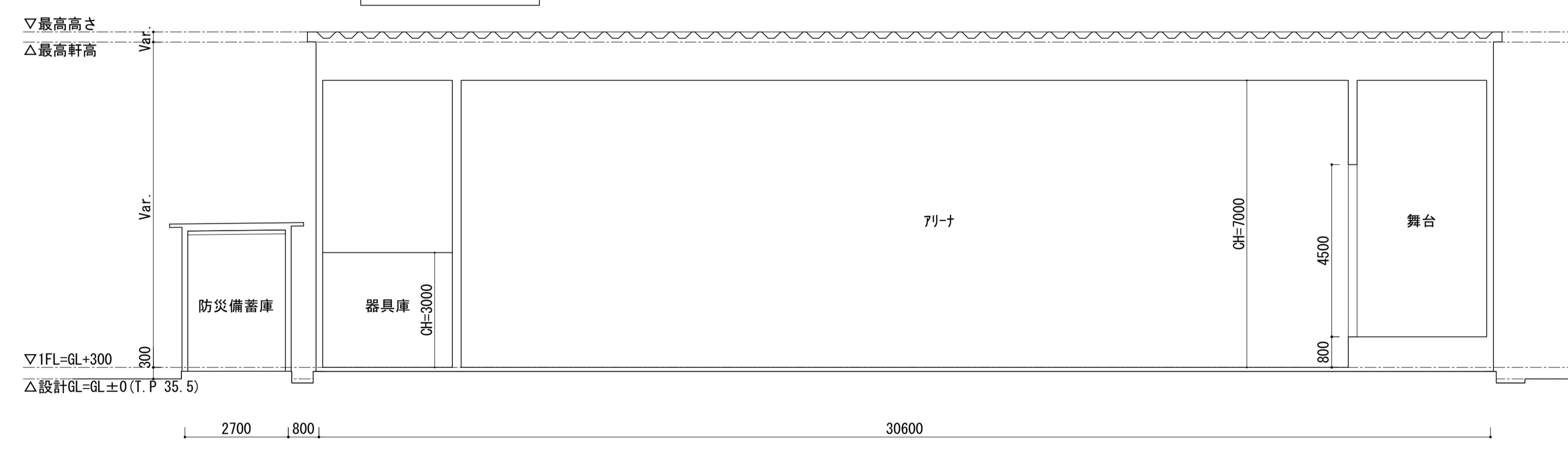
A-A' 断面図 S=1/100



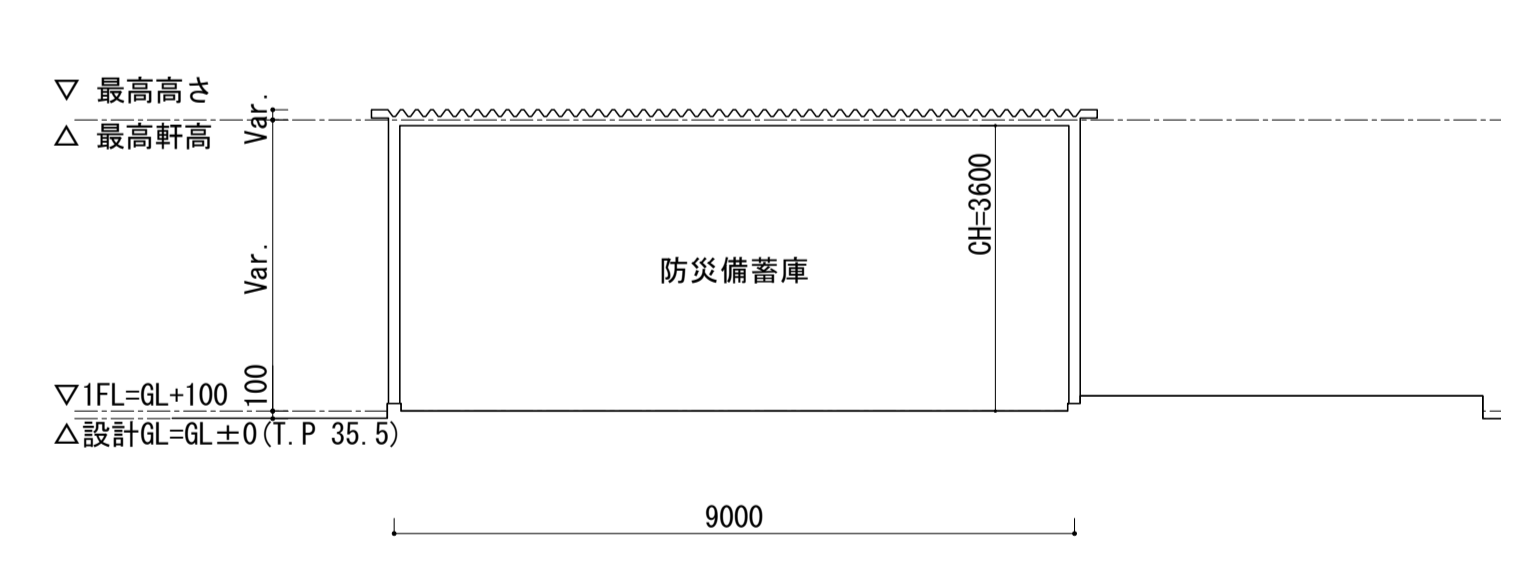
B-B' 断面図 S=1/100



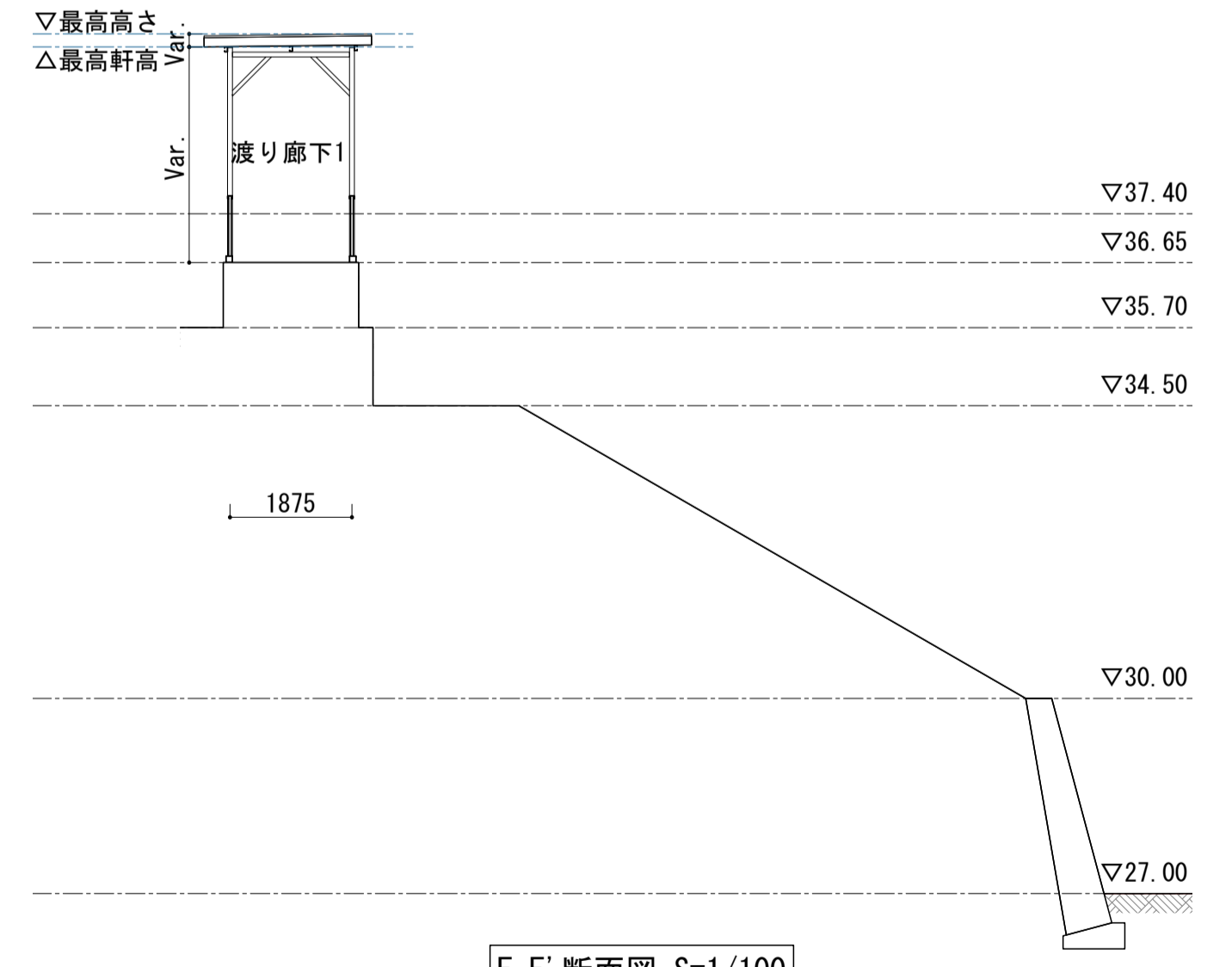
C-C' 断面図 S=1/100



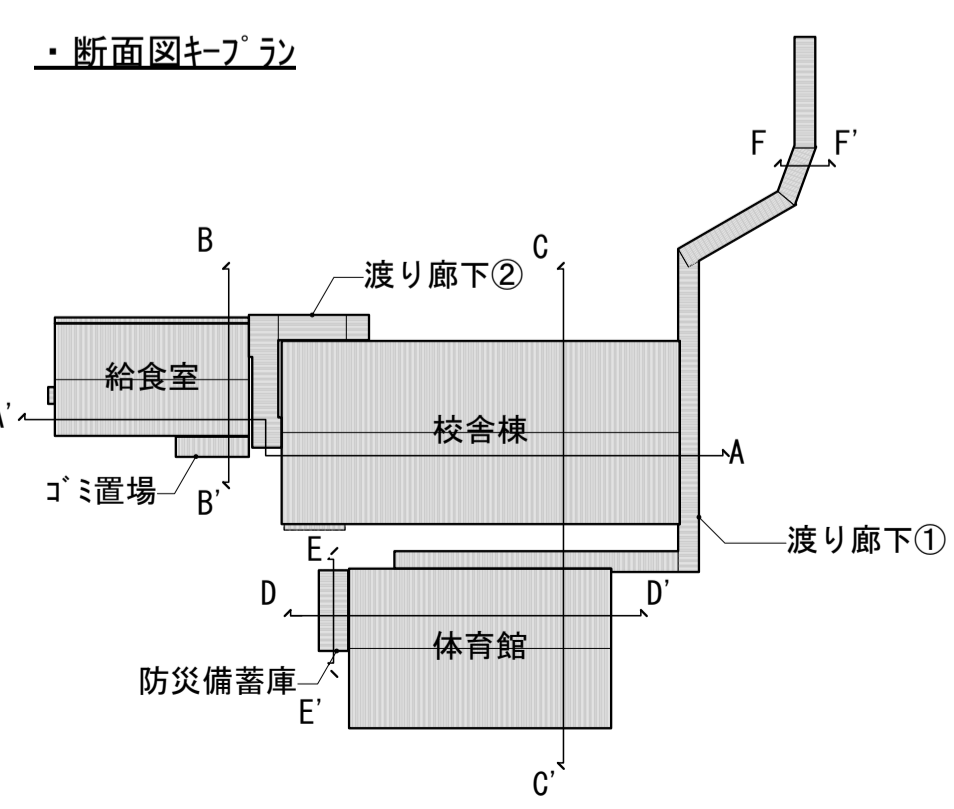
D-D' 断面図 S=1/100



E-E' 断面図 S=1/100

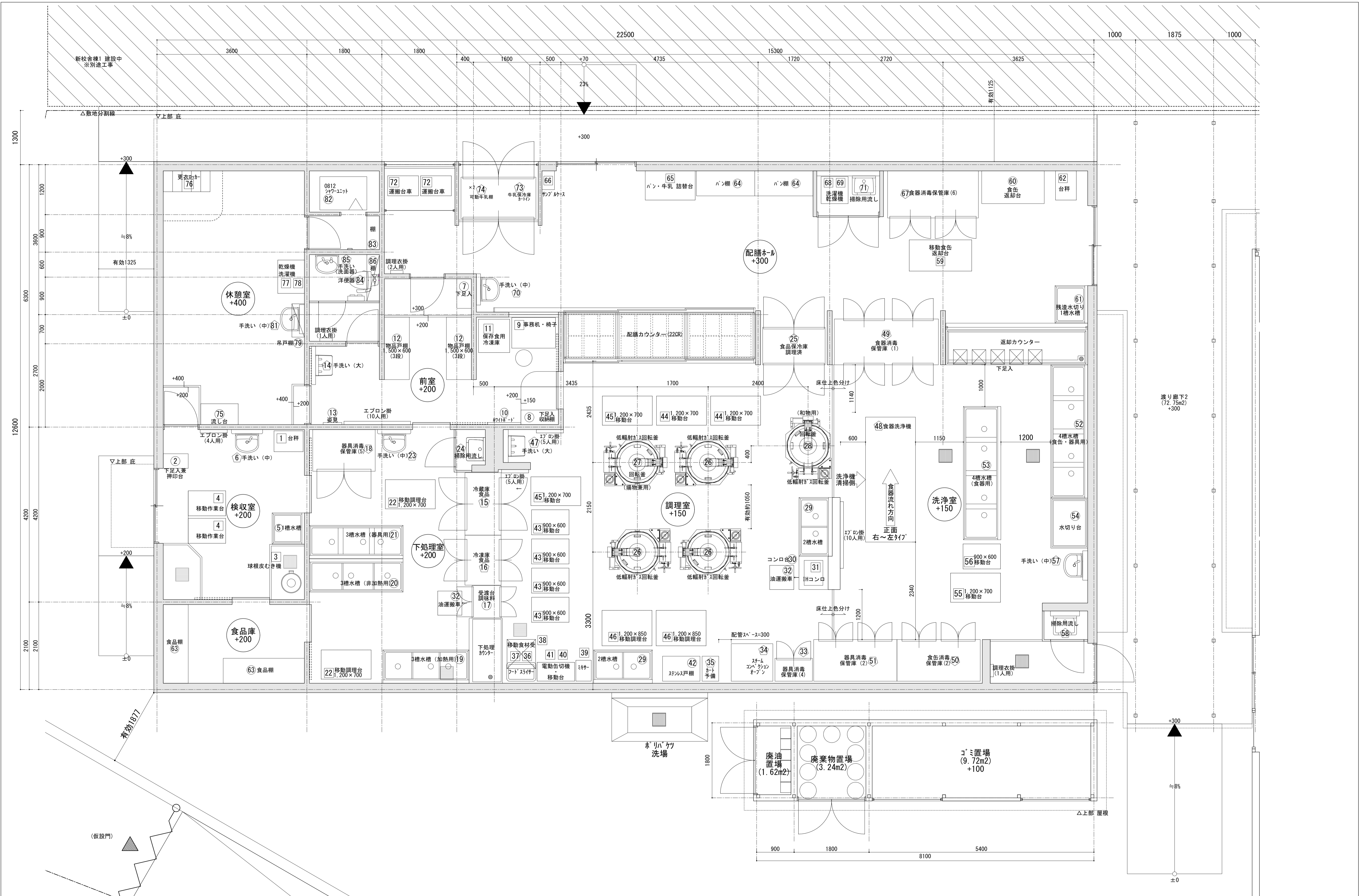


F-F' 断面図 S=1/100



※Var = 1/100仕様による

横浜市教育委員会事務局		工事名	吉原小学校仮設校舎設置工事		
年月日	R5.3	縮尺	A1: 図示	図面名称	断面図
設計者	加藤 謙一		監理者	加藤 謙一	図面番号
A-12					



給食室平面図 S=1/40

※図中に記載無き、法適合もしくは設備計画において必要となる開口部を実施設計対応とする

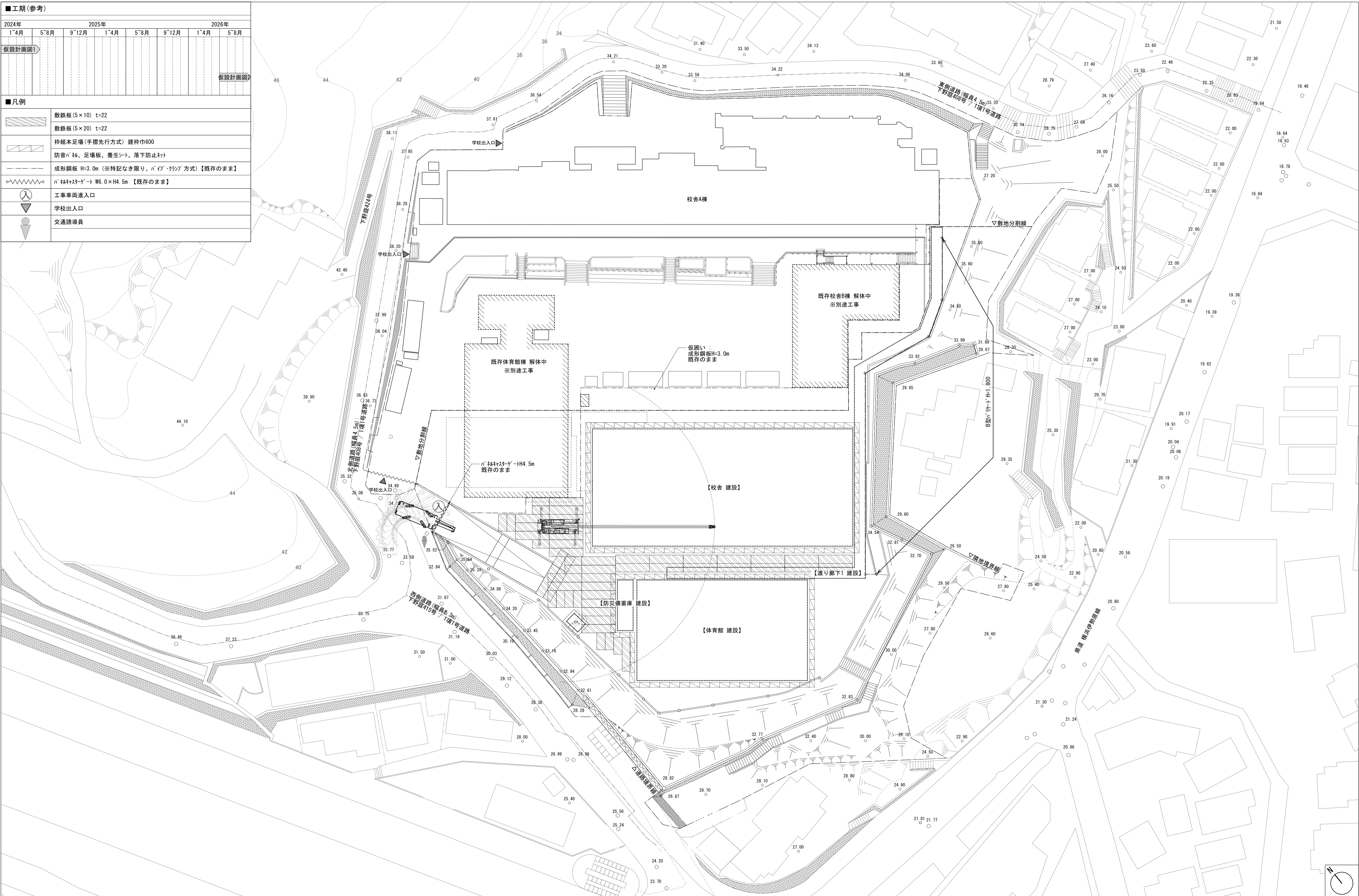
横浜市教育委員会事務局		工事名	吉原小学校仮設校舎設置工事		
年月日	R5.3	縮尺	A1: 図示	図面名称	給食室平面図
設計者		図面番号	棟名	階層	図面枚数
		図面番号	A-13		



■工期(参考)	
2024年	2025年
1~4月	5~8月
9~12月	1~4月
5~8月	9~12月
1~4月	5~8月
仮設計画①	
	仮設計画②

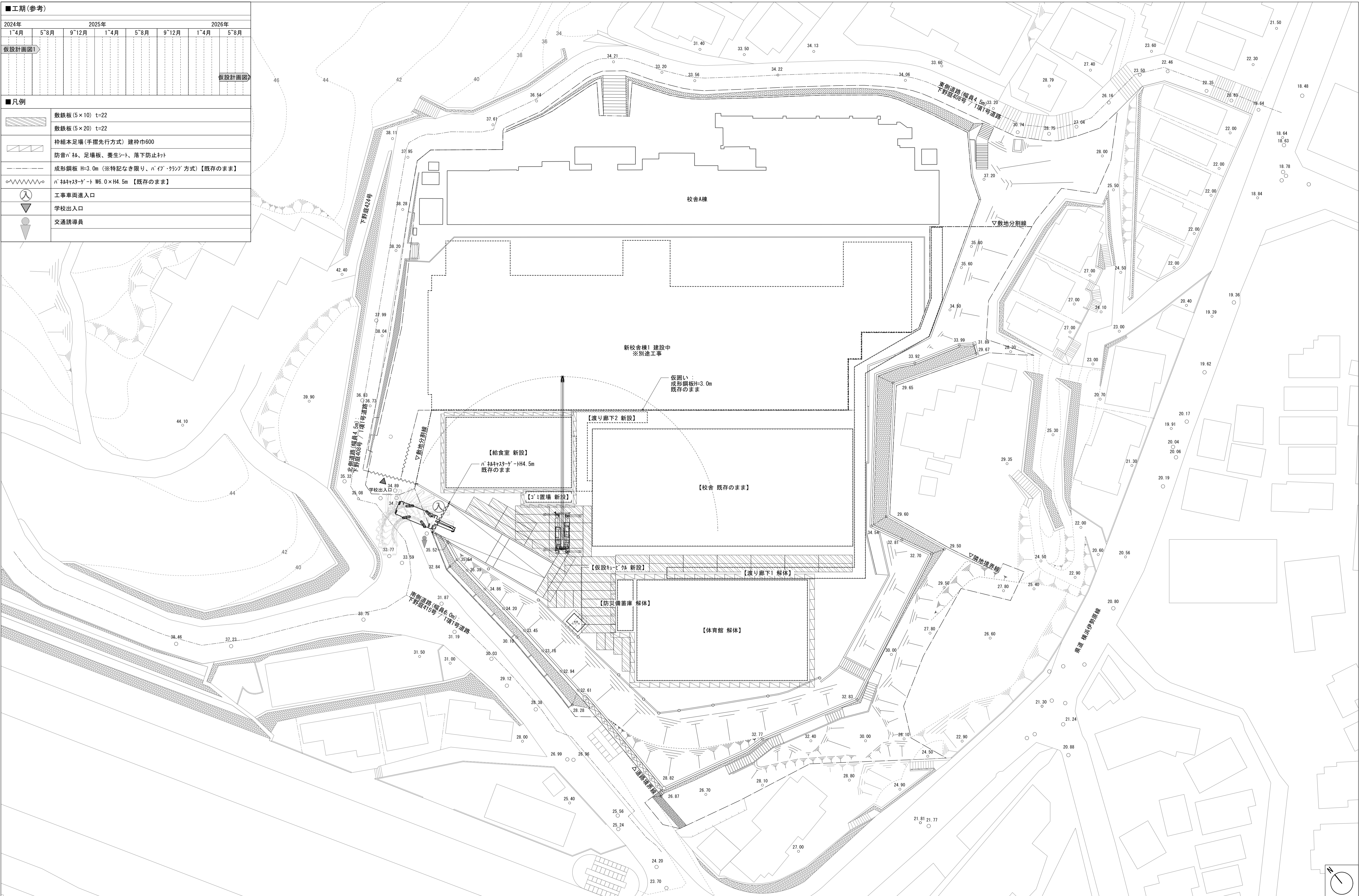
■凡例	
	敷鉄板(5×10) t=22
	敷鉄板(5×20) t=22
	枠組本足場(手摺先行方式) 建枠巾600
	防音ハシ、足場板、養生シート、落下防止柵
	成形鋼板 H=3.0m (※特記なき限り、ハイ・ラング方式) 【既存のまま】
	ハシカスターゲート W6.0×H4.5m 【既存のまま】
	工事車両出入口
	学校出入口
	交通誘導員



配置図1(I期工事) S=1/300

横浜市教育委員会事務局		工事名	吉原小学校仮設校舎設置工事	
年月日	R5.3	縮尺	A1:図示	
図面名称		仮設計画①(I期工事)(参考図)		
設計者	株式会社 三井物産建設	期数	第1期	図面番号
A-115		55		

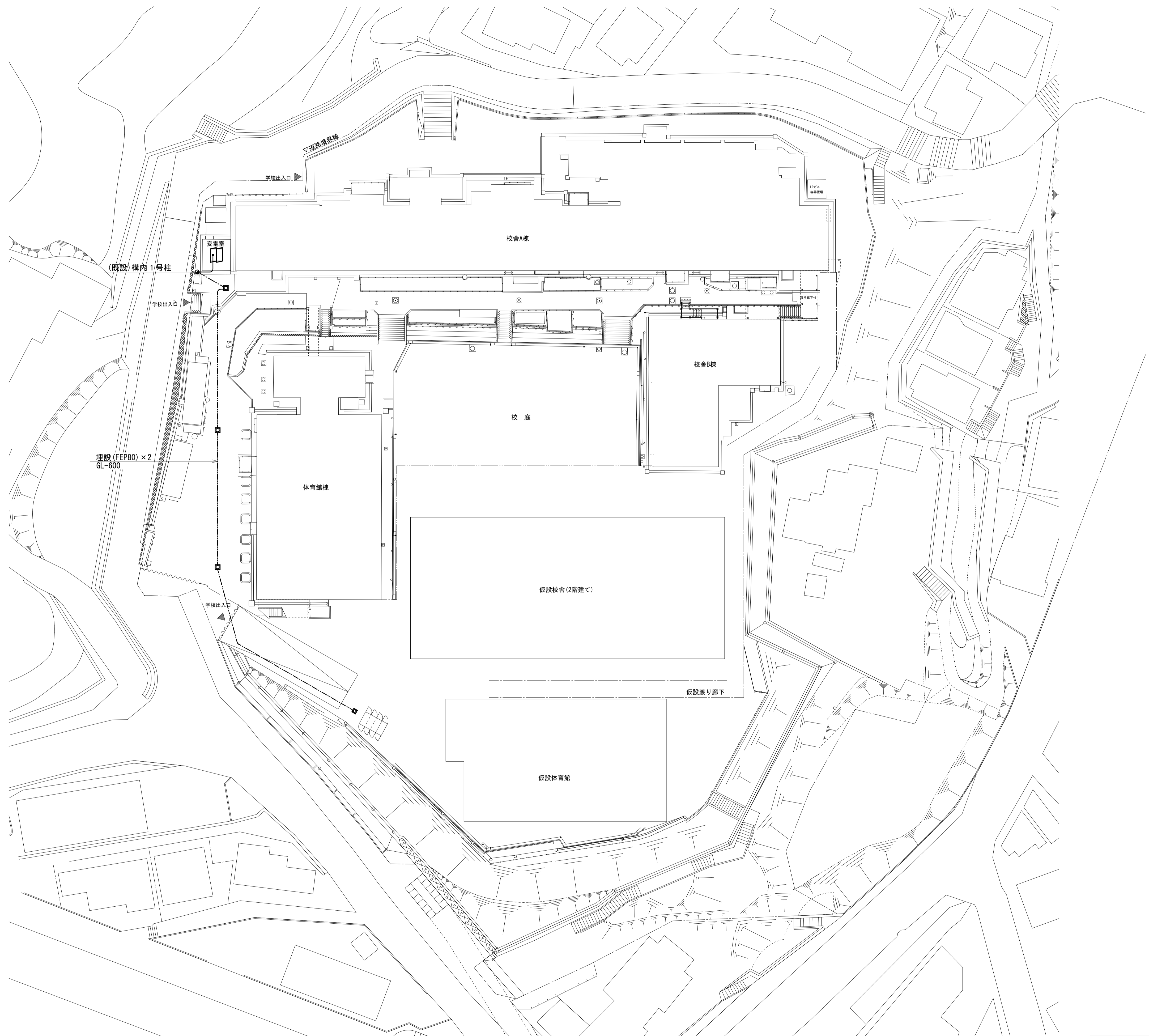
■工期(参考)									
2024年	2025年	2026年							
1~4月	5~8月	9~12月	1~4月	5~8月	9~12月	1~4月	5~8月		
仮設計画図1								仮設計画図2	
■凡例									
	敷鉄板(5×10) t=22								
	敷鉄板(5×20) t=22								
	枠組本足場(手摺先行方式) 建枠巾600								
	防音ハシ、足場板、養生シート、落下防止ネット								
	成形鋼板 H=3.0m (※特記なき限り、ハイ・ラング方式) 【既存のまま】								
	ハシネットゲート W6.0×H4.5m 【既存のまま】								
	工事車両出入口								
	学校出入口								
	交通誘導員								



配置図2(Ⅱ期工事) S=1/300

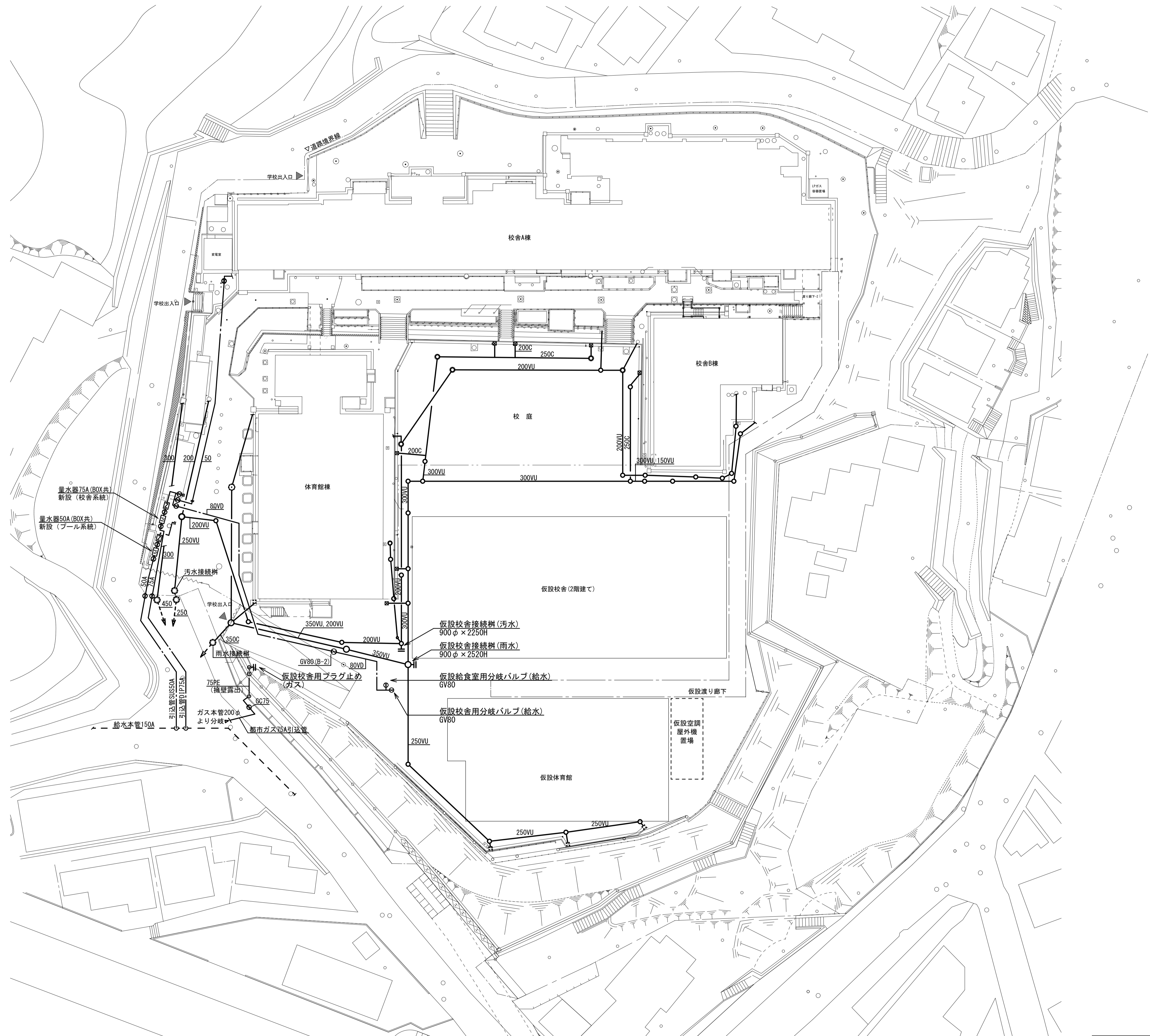
横浜市教育委員会事務局		工事名		吉原小学校仮設校舎設置工事	
年月日	R5.3	縮尺	A1: 図示	図面名称	仮設計画図2(Ⅱ期工事)(参考図)
設計者		期数	2	図面枚数	1/16
		棟名	吉原小学校	図面番号	A-116





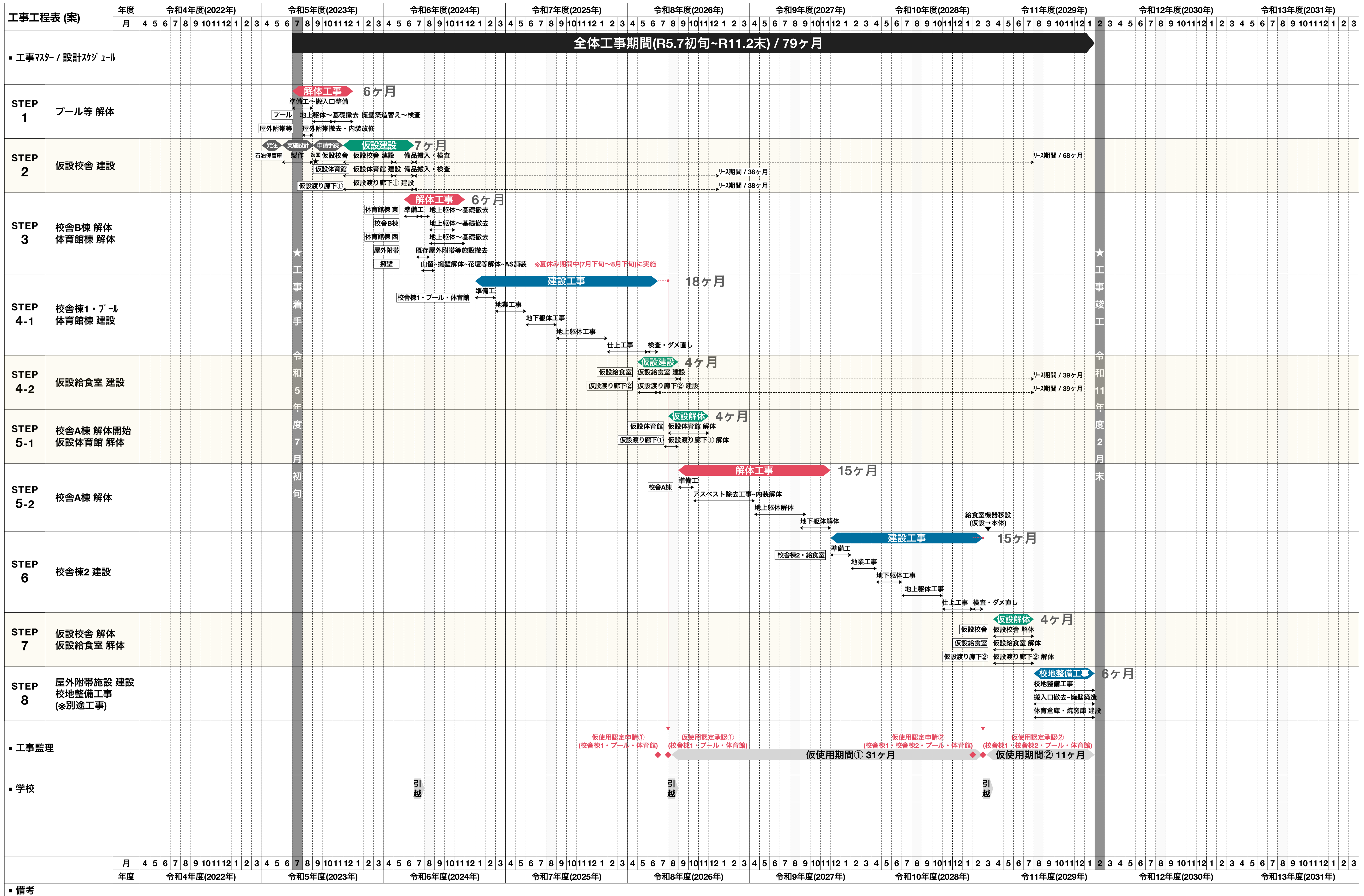
横浜市教育委員会事務局				吉原小学校仮設校舎設置工事			
年月日	R5.3	縮尺	1/300 (A1) 1/600 (A3)	図面名称	電気設備 仮設電力引込ルート図		
設計者				図面番号	棟番号	図面枚数	図面番号
							E-01

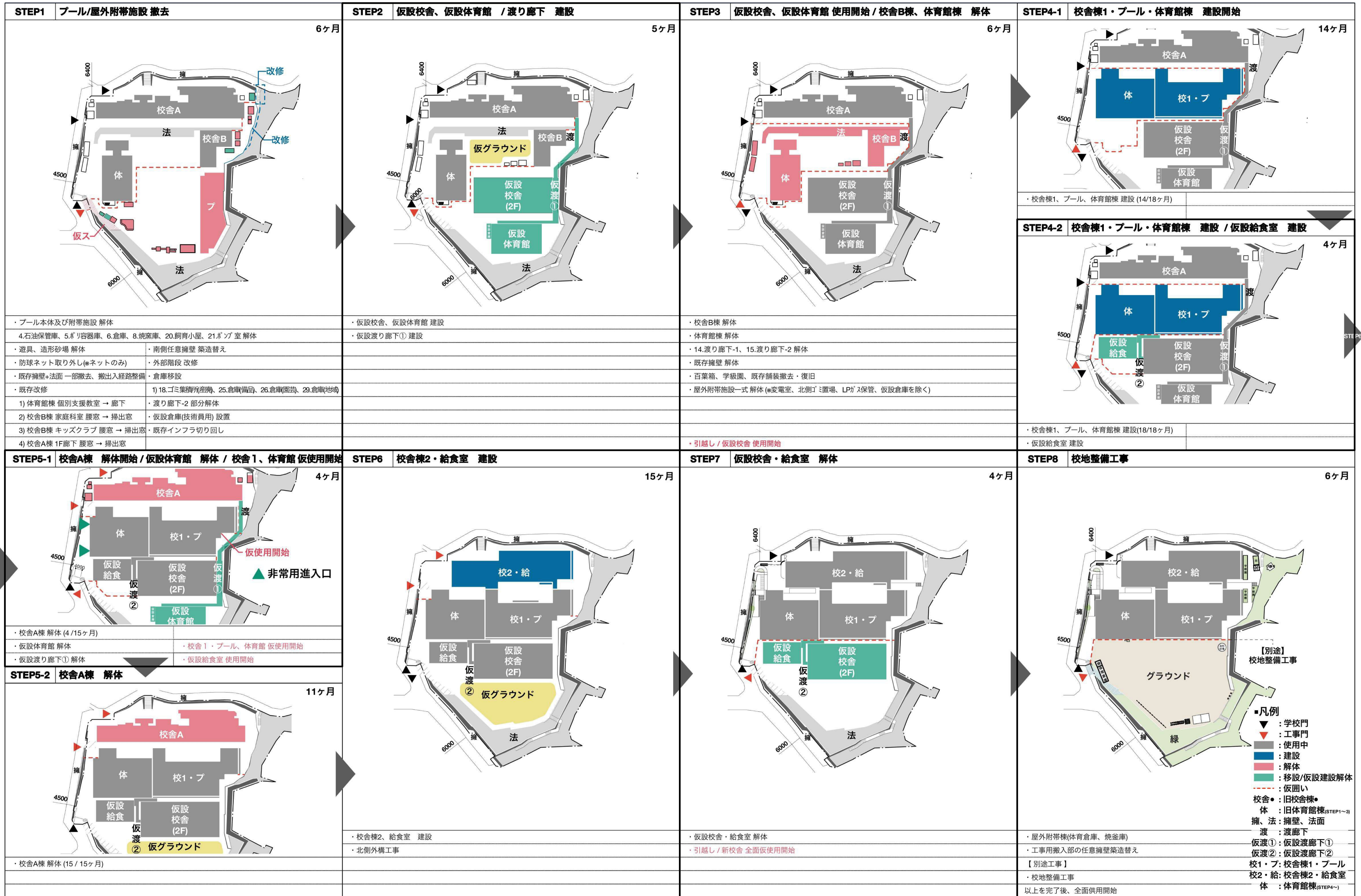
(電気設備)



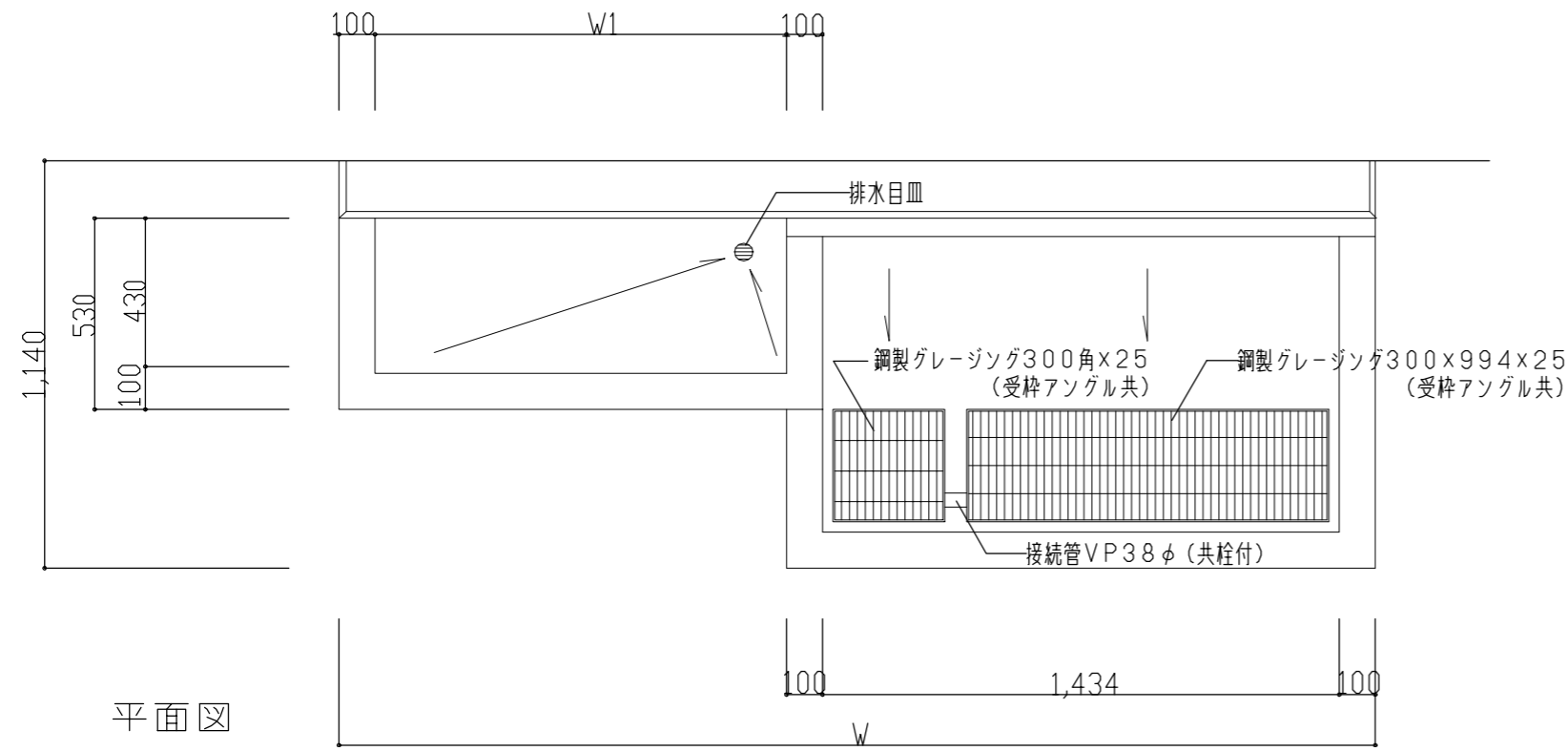
横浜市教育委員会事務局		工事名	吉原小学校仮設校舎設置工事
年月日	R5.3	縮尺	1/300(A1) 1/600(A3)
図面名称	衛生設備 仮設引込ルート図		
設計者	監理者	図面番号	M-01

(衛生設備)

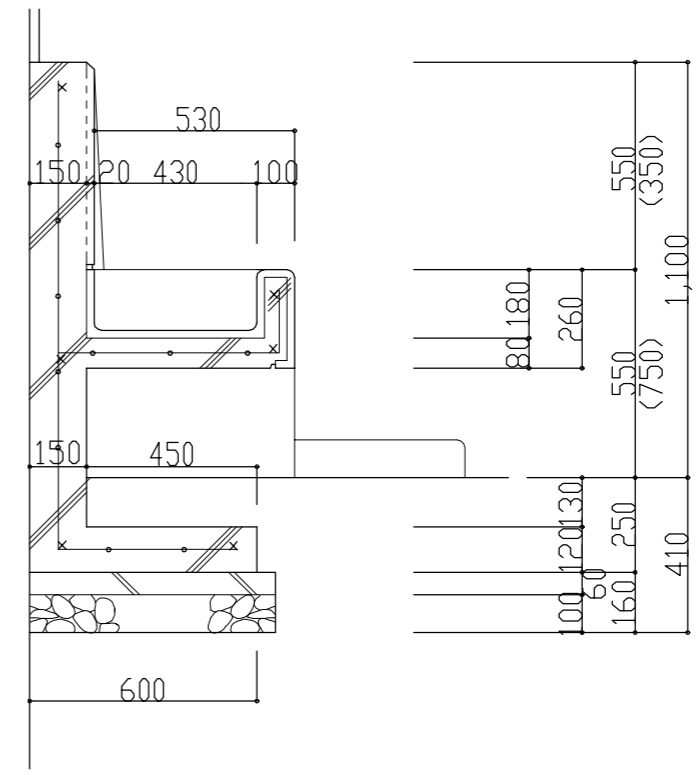




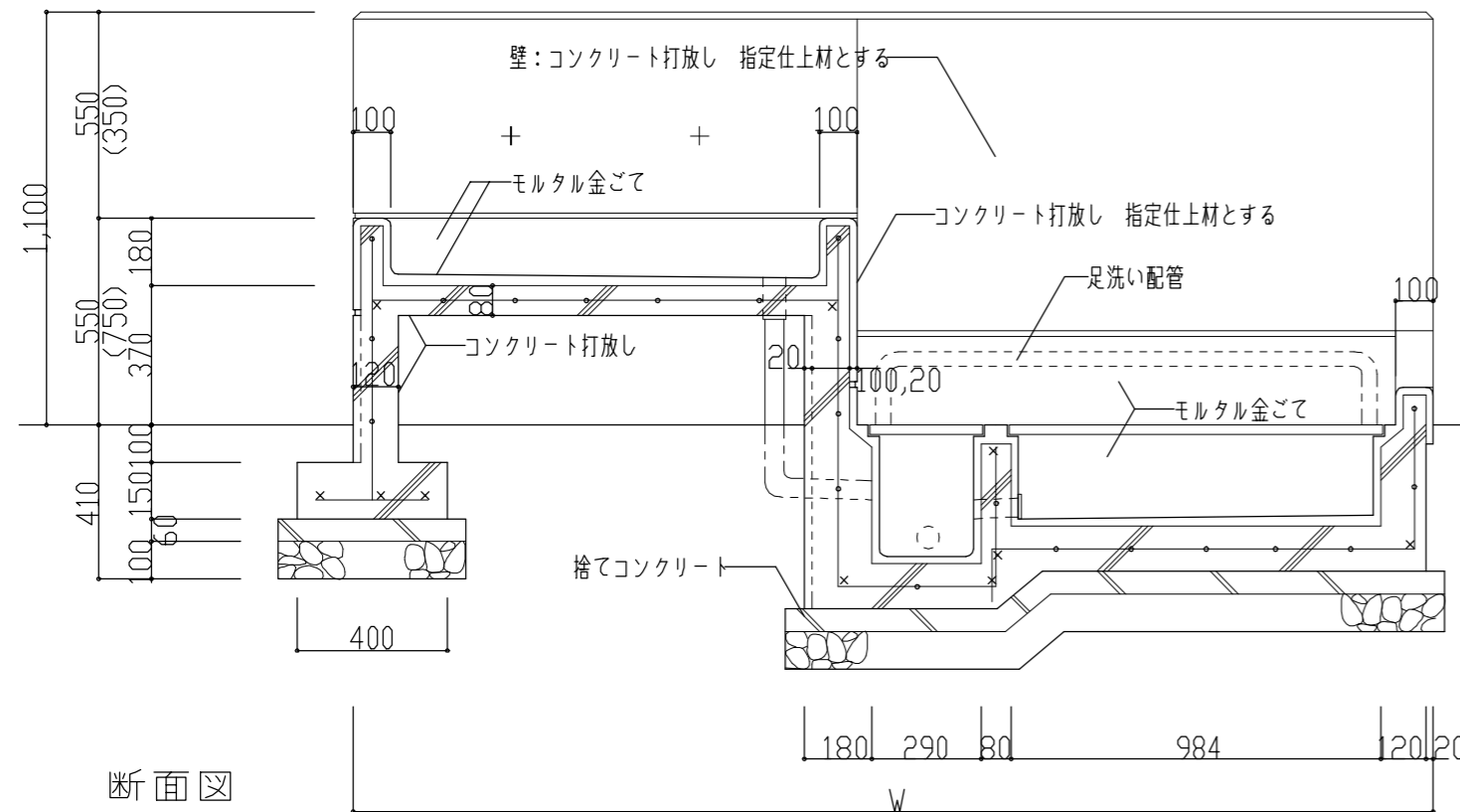
昇降口



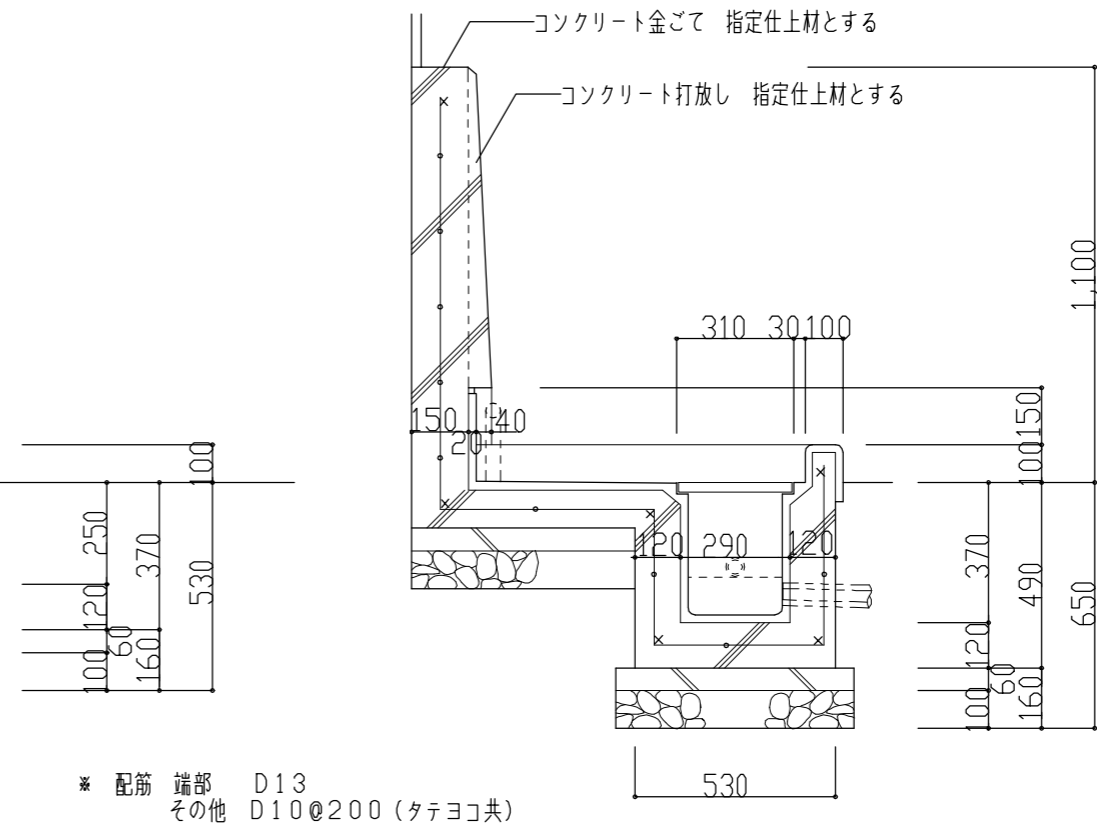
平面図



断面図



断面図

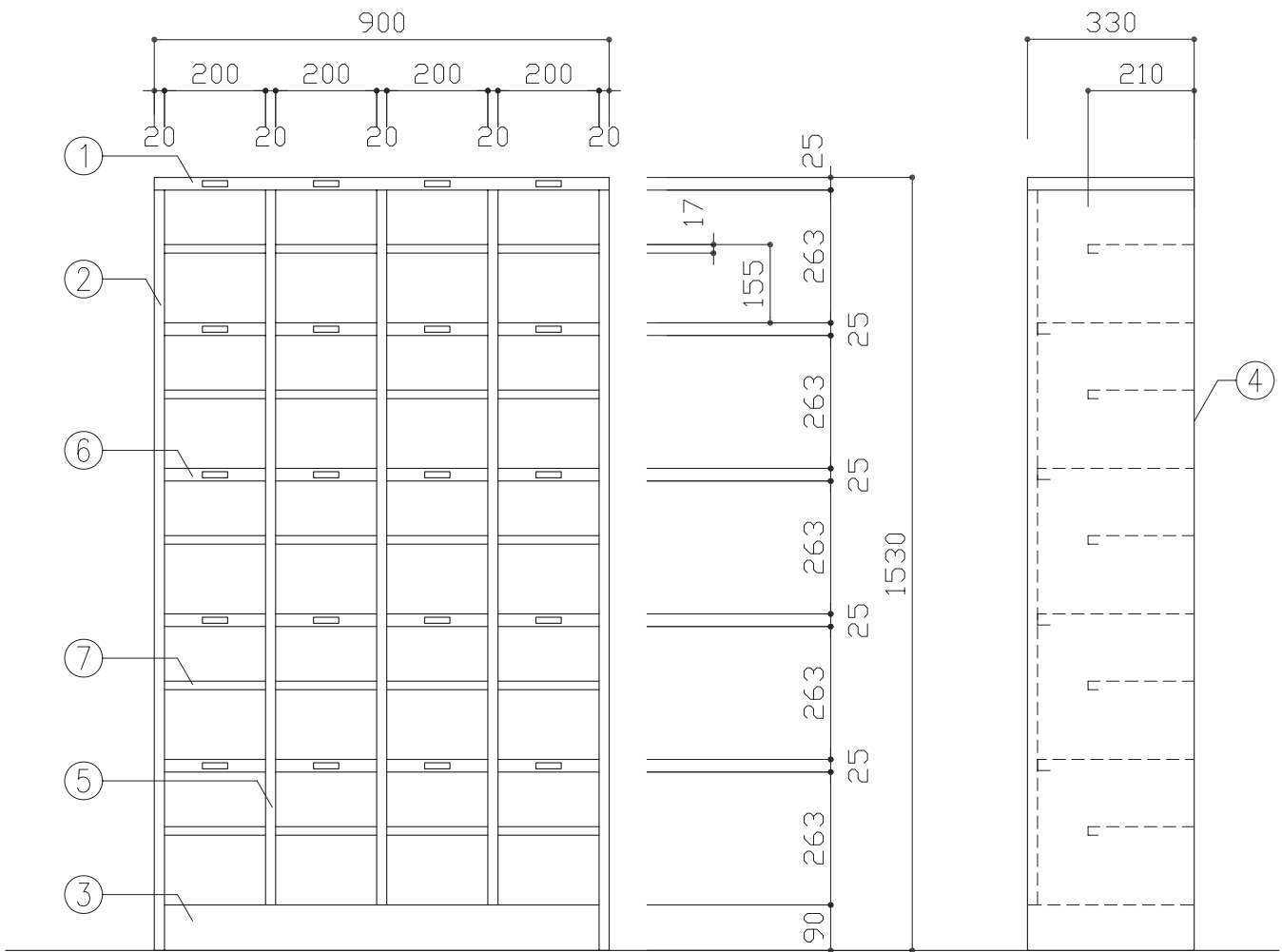


断面図

\* 配筋 端部 D13  
 その他 D10@200 (タテヨコ共)

仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) ( ) 内寸法は、中学校型を示す。	設計上の留意点 1)	図面名称	手洗い、足洗い (昇降口)	
			縮 尺	1/20	平成30年2月
			横浜市建築局		I-102

# 昇降口



K-103B

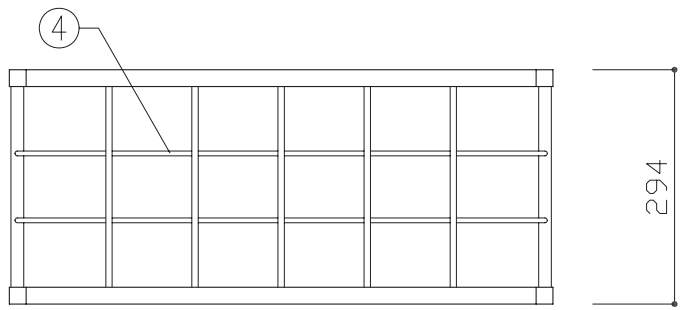
記号	名称	材質	数量	備考
①	天板	SPCC-SD 0.8 t	1	鋼板
②	側板	SPCC-SD 0.8 t	2	鋼板
③	底板	SPCC-SD 0.8 t	1	鋼板
④	後板	SPCC-SD 0.6 t	1	鋼板
⑤	縦仕切板	SPCC-SD 0.6 t	3	鋼板
⑥	横仕切板	SPCC-SD 0.6 t	16	鋼板
⑦	棚板	SPCC-SD 0.6 t	20	鋼板

・グリーン購入法適合品とする。

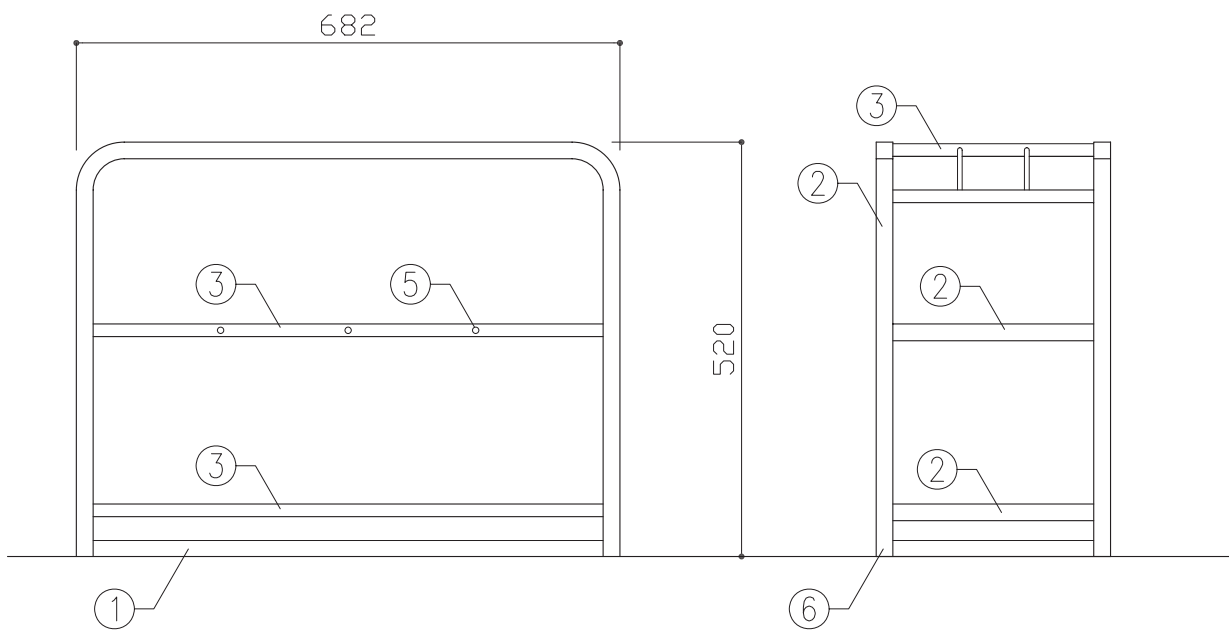
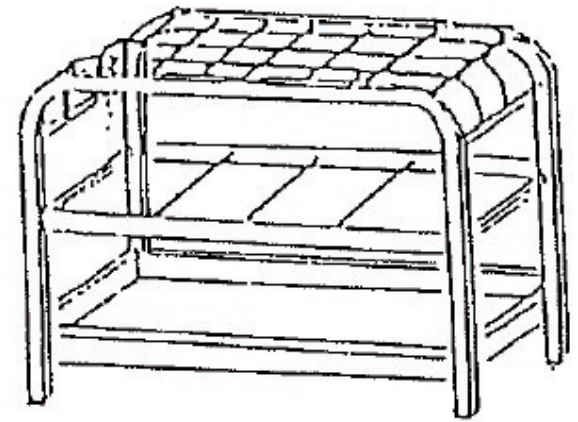
名称	下駄箱 B
----	-------

横浜市教育委員会施設部教育施設課

# 昇降口



平面図



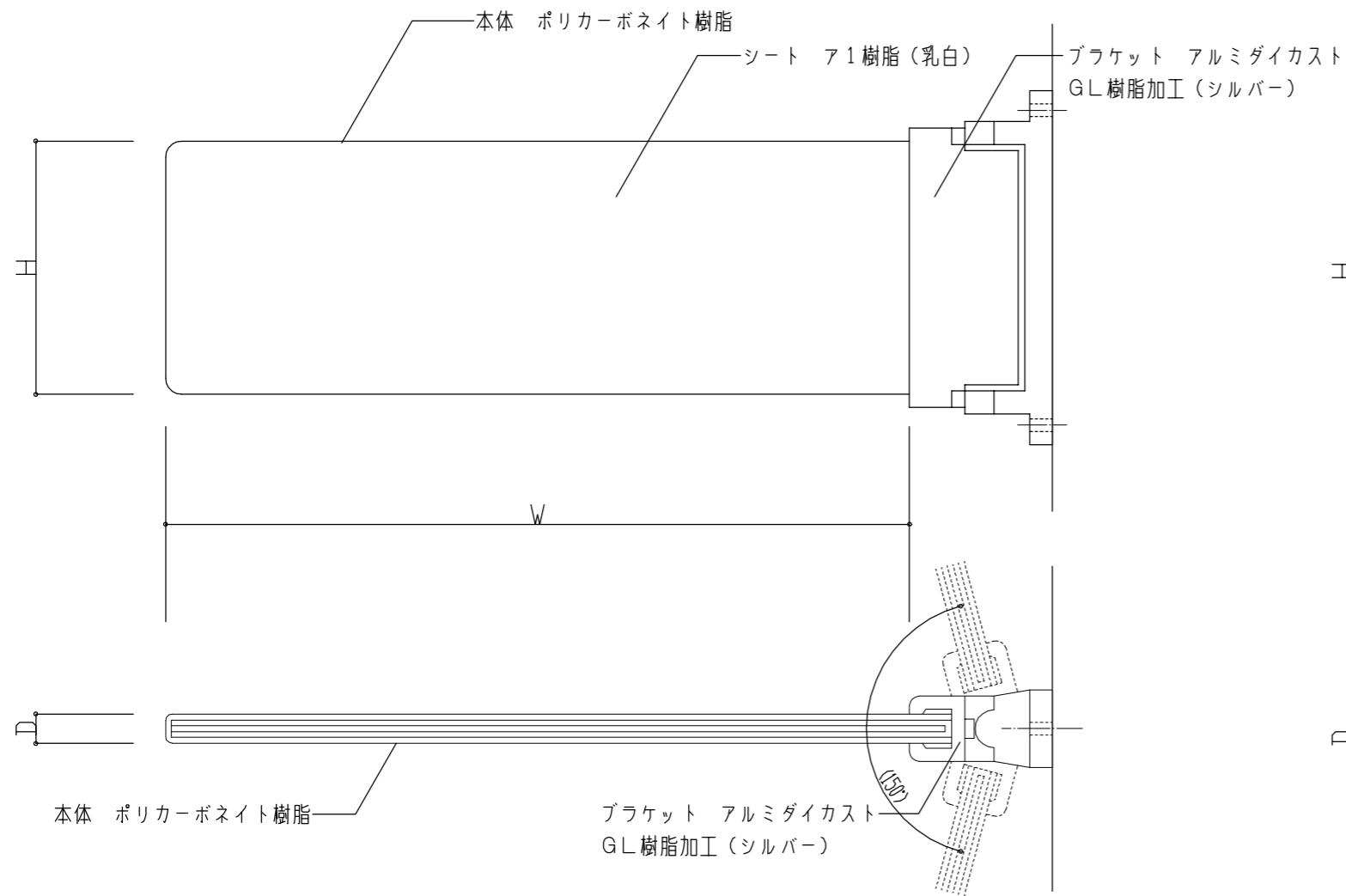
正面図

側面図

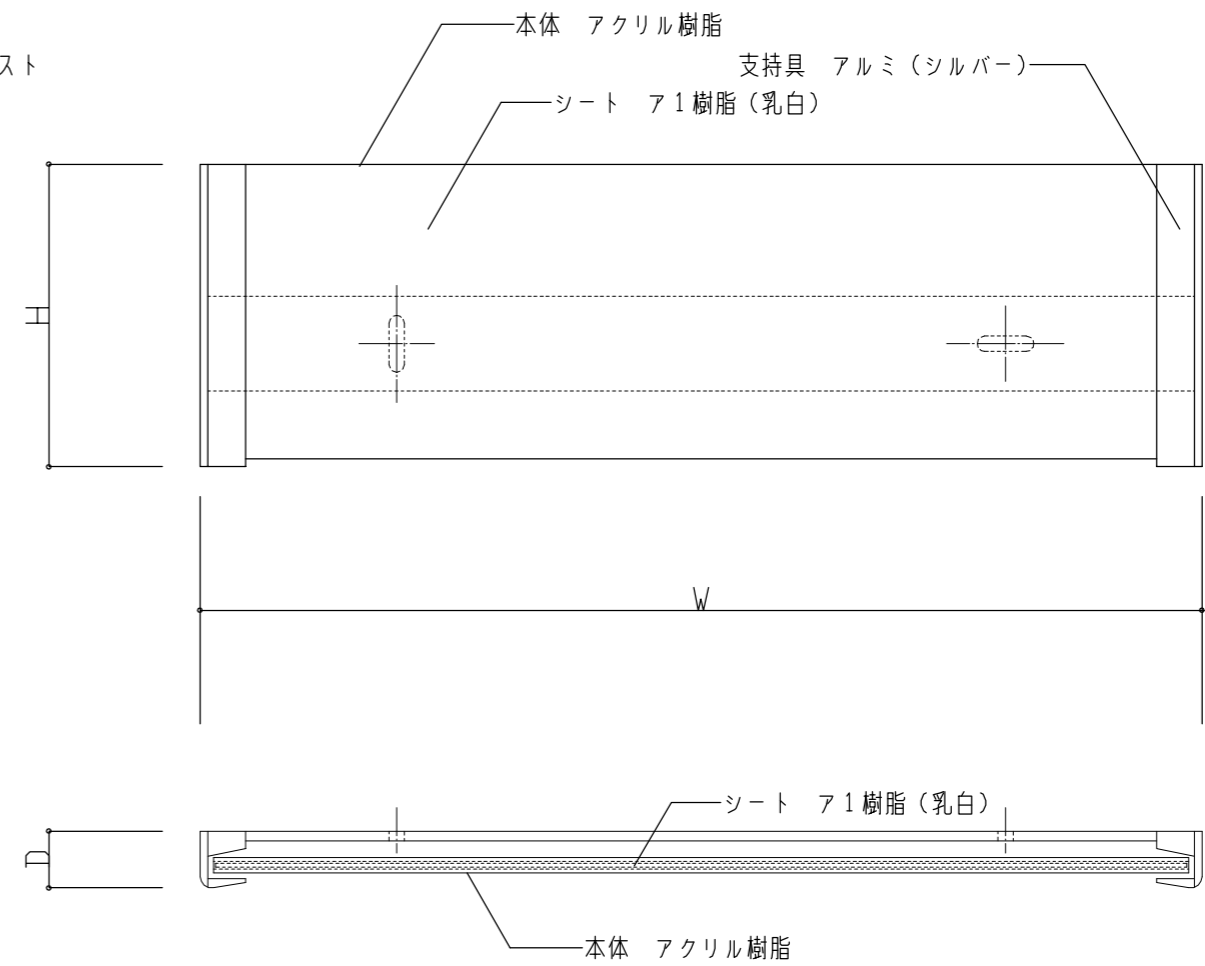
K-105A

記号	名称	材質	数量	備考
①	水受	ボンデ鋼板 ビニールシート貼り	1	
②	角パイプ	1.6×21×21	6	
③	丸パイプ	1.2×15.9φ	6	
④	間仕切棒	6φ丸棒	7	
⑤	中段仕切棒	8φ丸棒	3	
⑥	足柱	樹脂	4	

名称	傘立
----	----



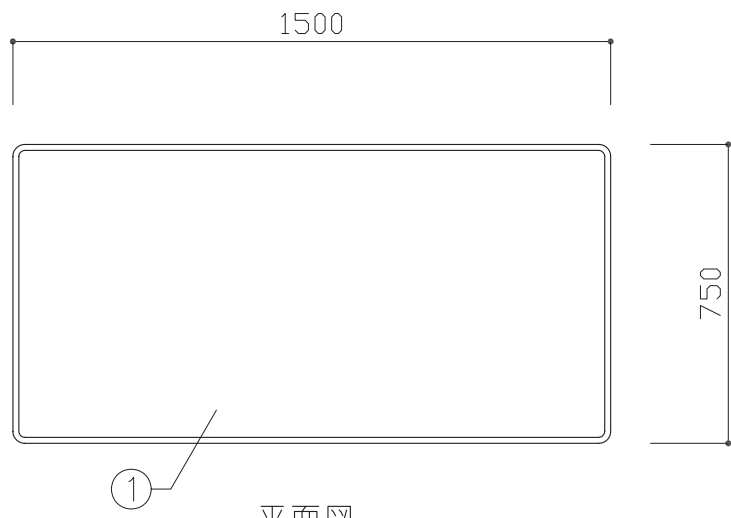
A 持出しタイプ



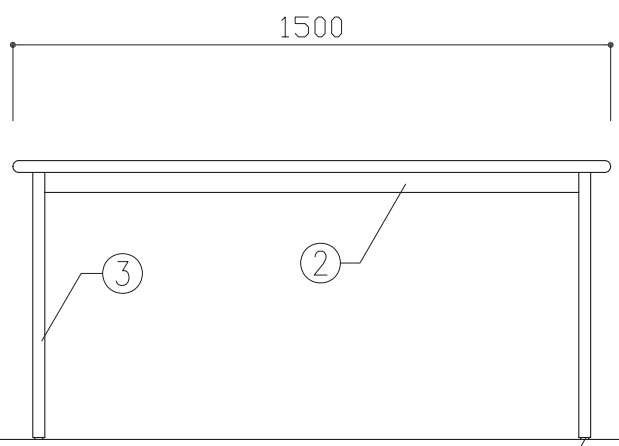
B 平付けタイプ

仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室 名 札	
			縮 尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204

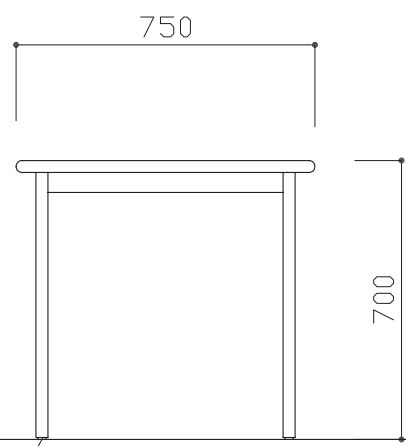




平面図



正面図



側面図

K-151

記号	名称	材質	数量	備考
①	甲板	積層合板 メラミン化粧板 730 チーク		
②	甲板受	STKM		丸型鋼管
③	脚	STKM 31.8φ		丸型鋼管
④	アジャスター	樹脂		

名称	会議テーブル：B (W1500×D750×H700)
----	-------------------------------

教育委員会施設部教育施設課

背:樹脂  
座:レザー



ホワイト/グリーン    ホワイト/アイボリー  
**LTS-110-V**

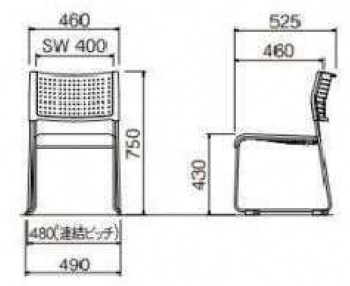
W490×D525×H750 (SH430)  
●重量:4.4kg

背:レザー  
座:レザー



ピンク    ブラック  
**LTS-110P-V**

W490×D540×H760 (SH430)  
●重量:4.5kg

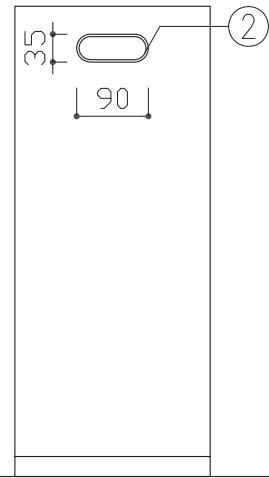
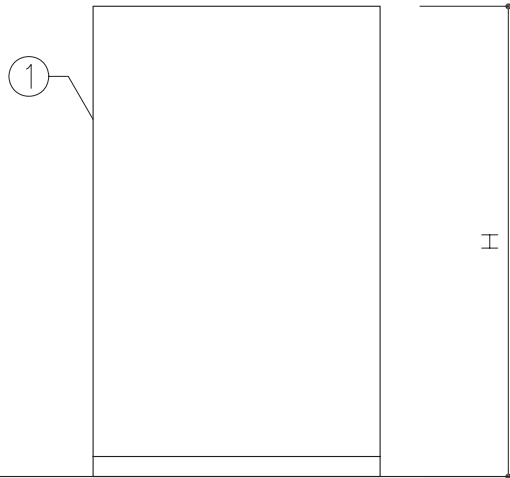
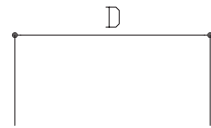
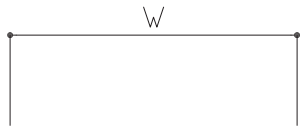


LTS-110・LTS-110P

K-121
背:樹脂製または布張り(ビニールレザー)
座:布張り(ビニールレザー)
スタッキング式

(参考:アイリスチトセ)

名称	会議用椅子
教育委員会施設部教育施設課	



K-104

記号	名称	材質	数量	備考
①	本体	SPCC 0.4 t	1	鋼板
②	取手	合成ゴム	2	

本体：メラミン焼付塗装（アイボリー）

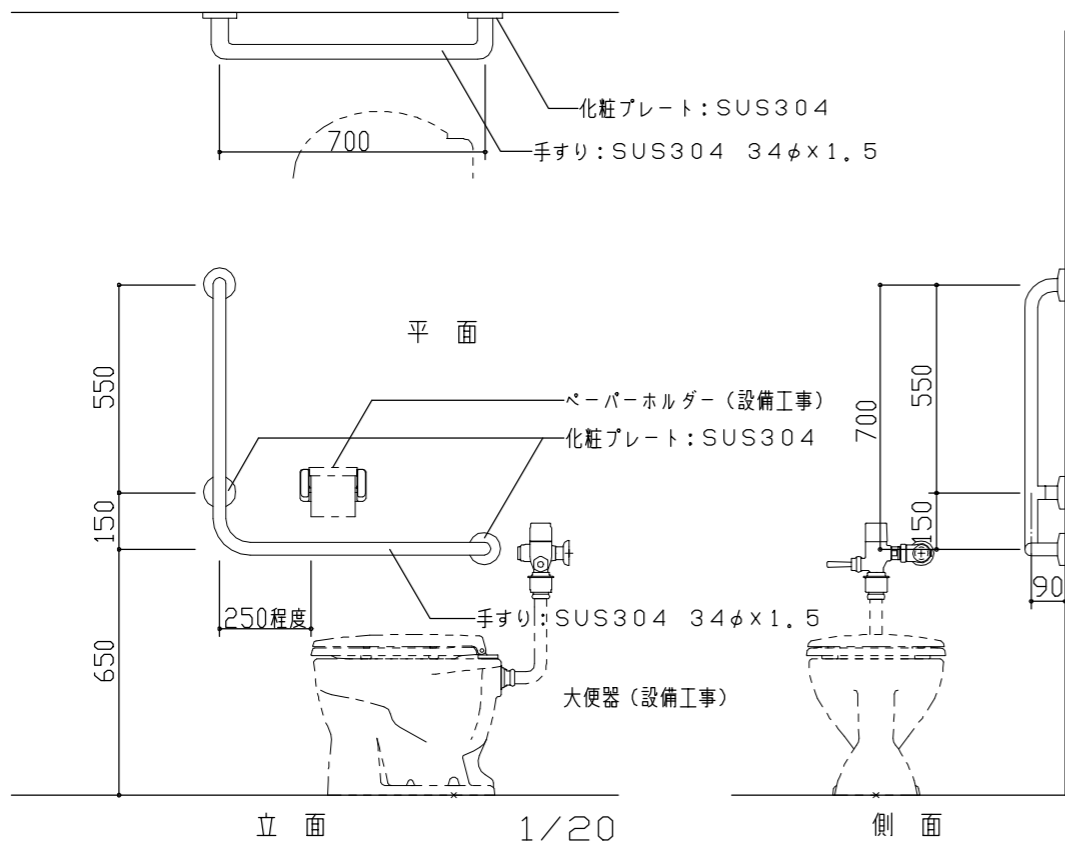
【寸法】

A (標準) w360 d245 h590  
 B (小型) w275 d190 h530

名称      チリ箱

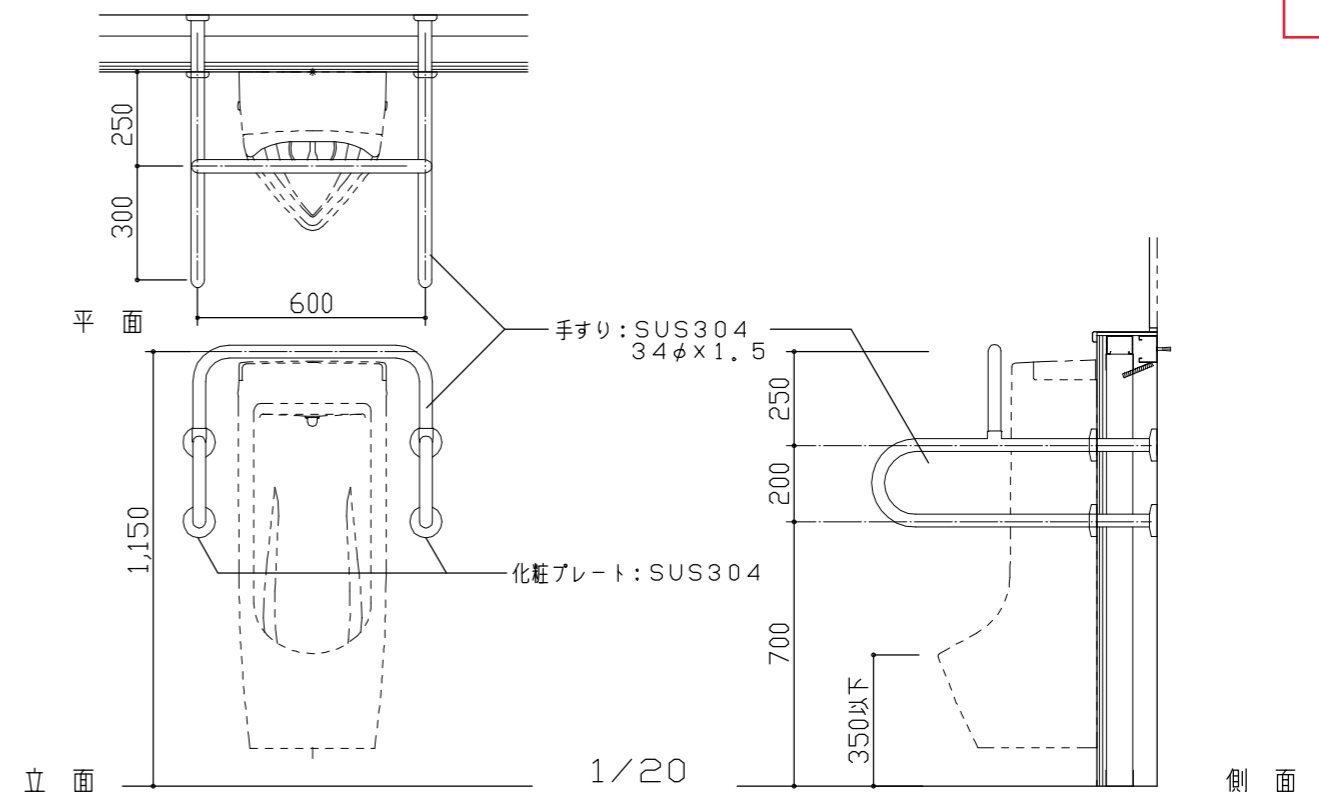
横浜市教育委員会施設部教育施設課

△ 洋大便器用手すり

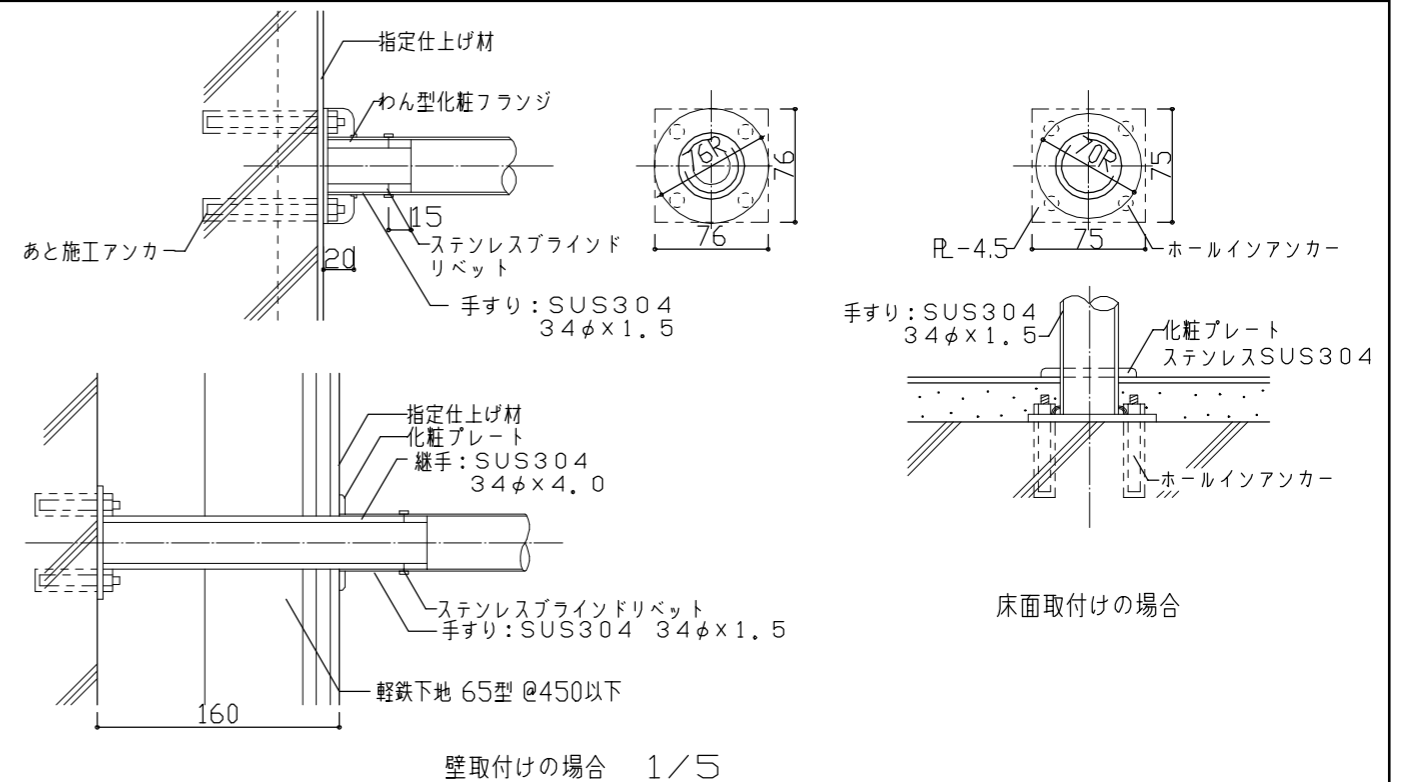


B 小便器用手すり

WC



取付部詳細



仕様	特記事項 1) 2) 3)
----	------------------------

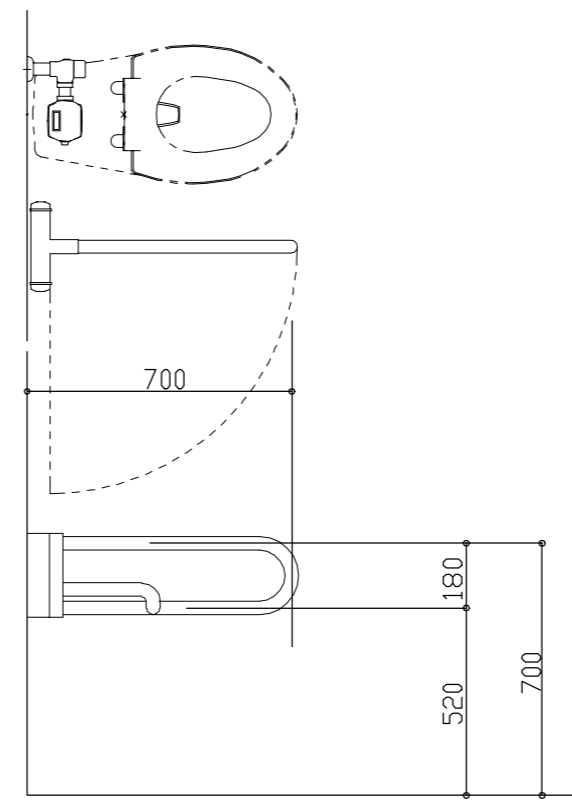
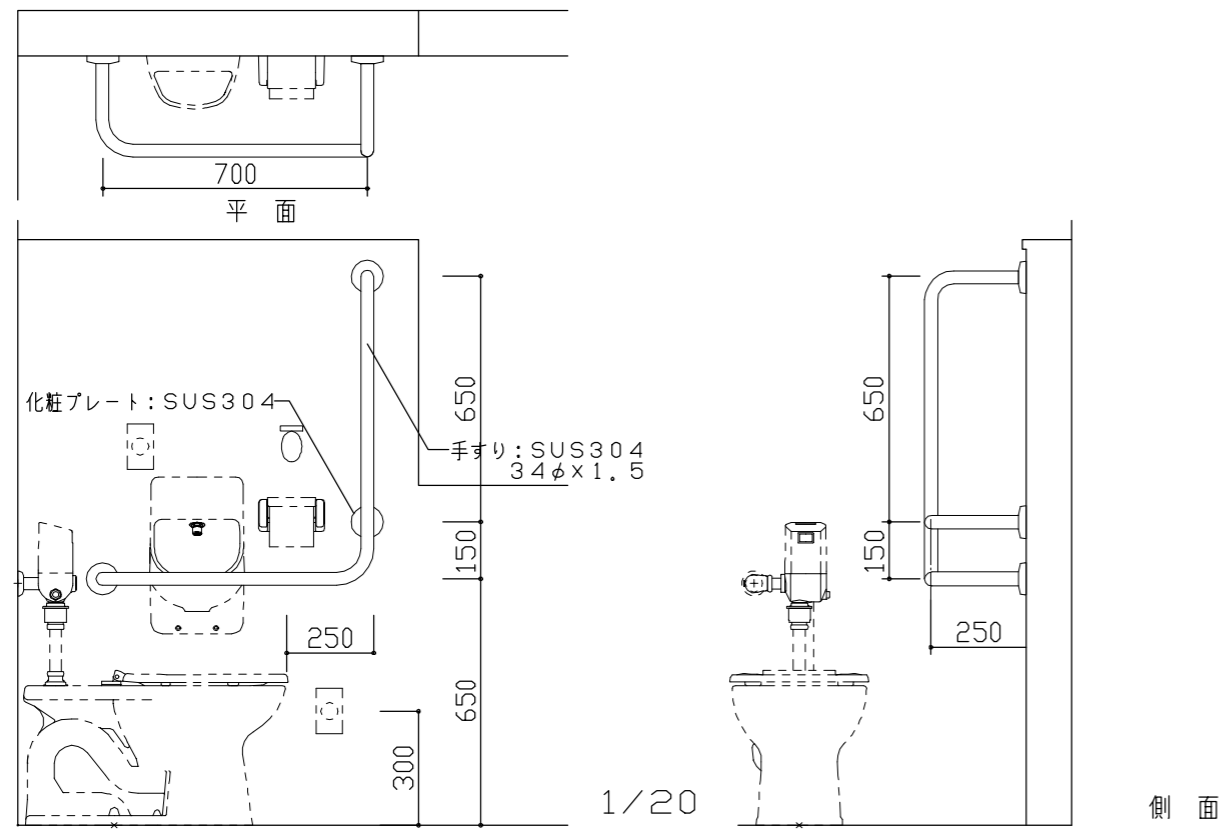
設計上の留意点 1) ホールインアンカーはブロックに固定せずにコンクリート躯体に埋込む事
---

図面名称	便所手すり
縮尺	1/5, 1/20
横浜市建築局	

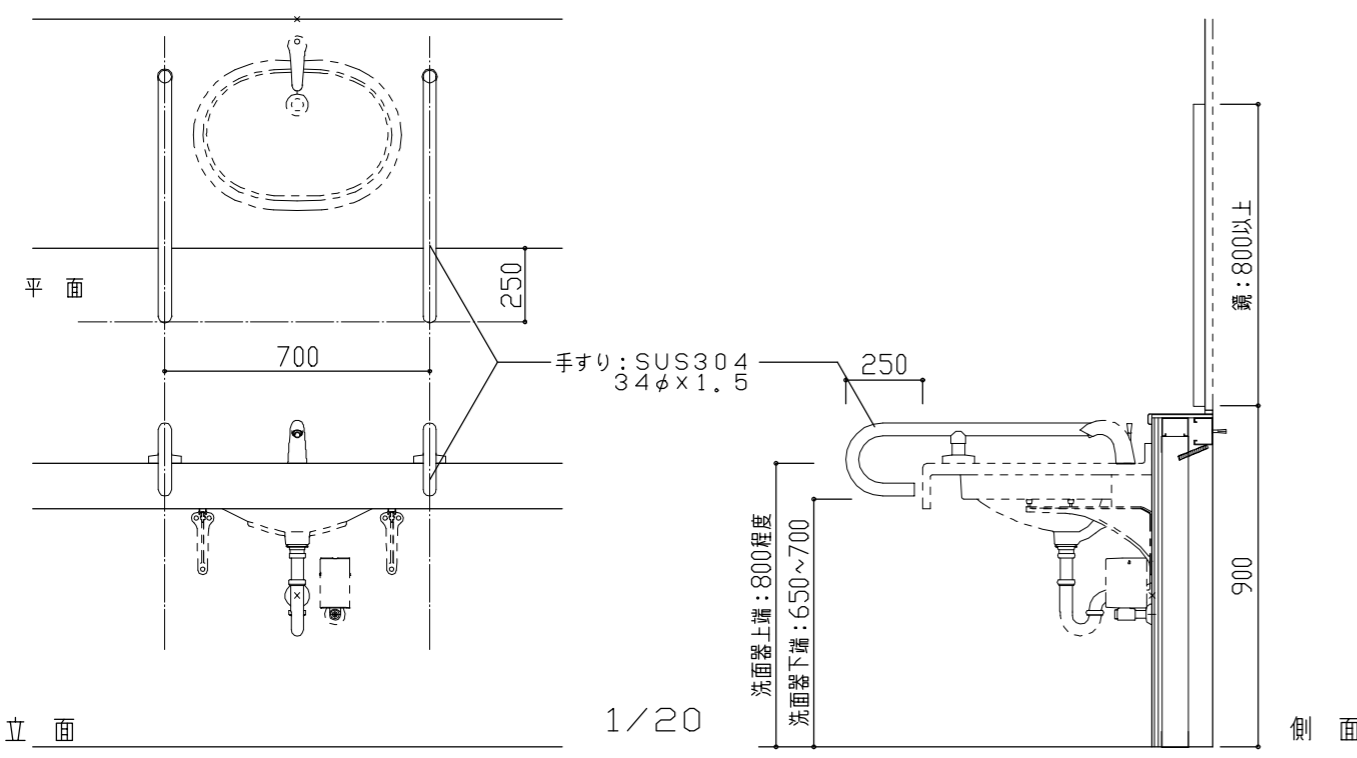
平成30年2月
I-212

△ 便所（車いす用）手すり

B 可動手すり



□ 洗面器手すり



仕様  
1)

特記事項  
1)

設計上の留意点  
1) ホールインアンカーはブロックに固定せずにコンクリート躯体に埋込む事

図面名称	便所（車いす用）手すり	
縮尺	1/20	平成30年2月
横浜市建築局		I-213

A、B - 天井吊りフック 1/10,1/2

1/10,1/2

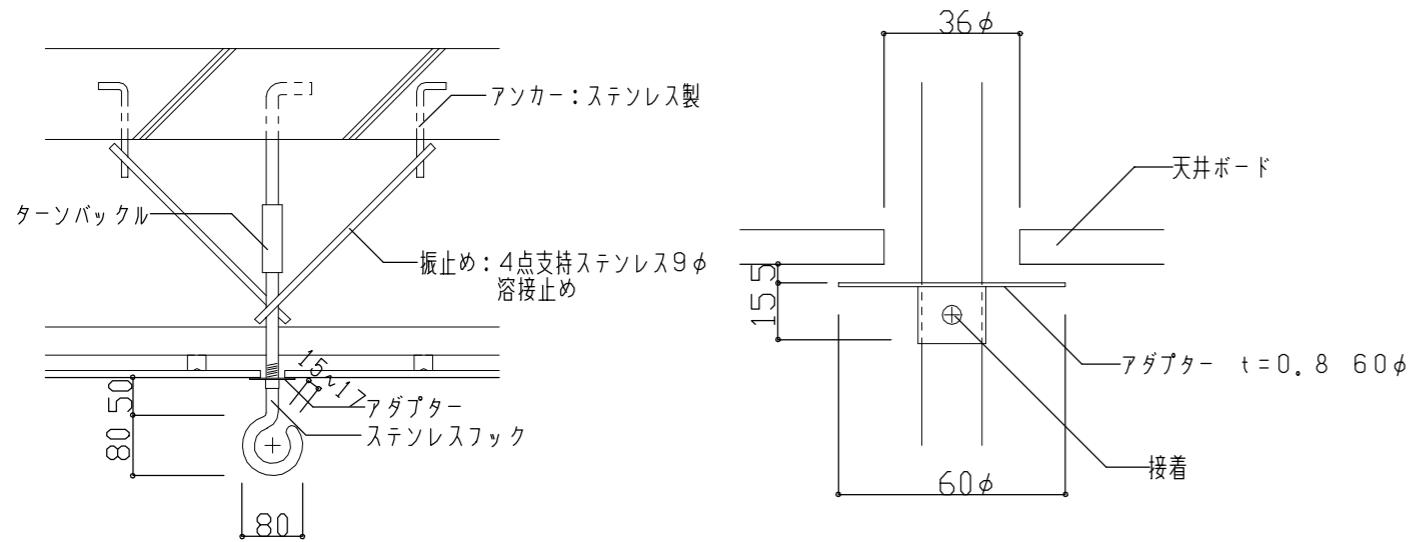
C - 柱型付フック 1/5

1/5

D - 梁型付フック 1/5

1/5

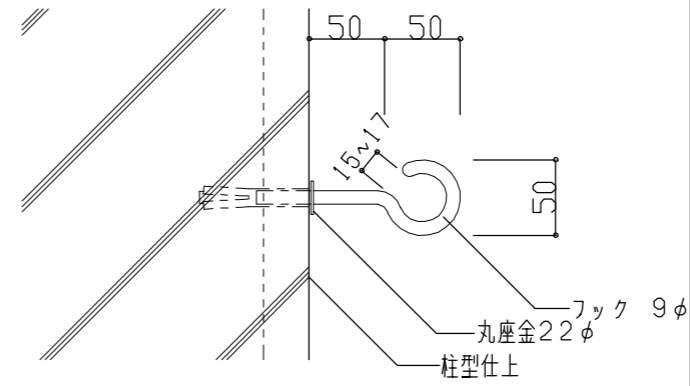
体育倉庫



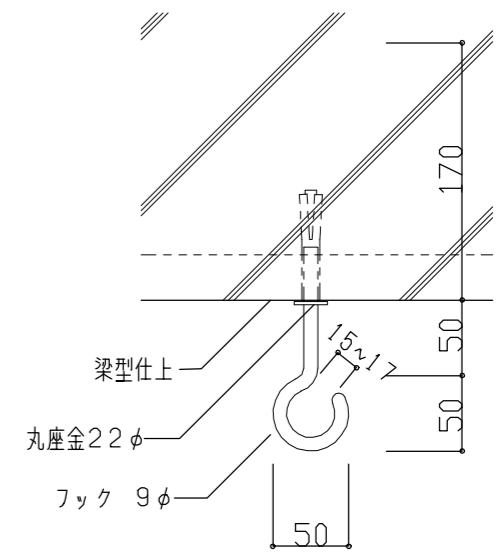
アダプター詳細図 縮尺1/2

\*天井材には接着しないこと

- A ステンレスフック16φ：個別支援学級（第二学習室）
- B ステンレスフック 9φ：個別支援学級（第一学習室）・理科準備室・家庭科教室・図画工作教室



図画工作教室

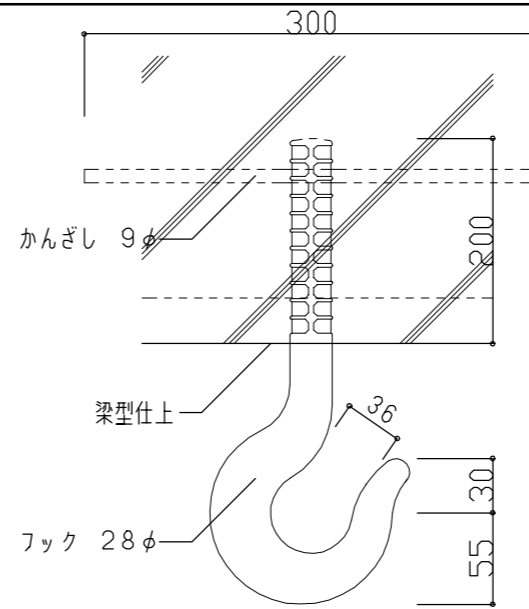


理科教室

\* 吊り下げ耐荷重200kg以上

E - 梁型付フック 1/5

1/5



変電室

\* 吊り下げ耐荷重1,000kg以上

仕様

- 1)
- 2)
- 3)

特記事項

- 1) Aは個別支援学級（第二学習室）に設置する
- 2) Bは個別支援学級（第一学習室）・理科準備室・家庭科教室・図画工作教室に設置する
- 3) Cは図画工作教室に設置する
- 4) Dは理科教室に設置する
- 5) Eは変電室に設置する

設計上の留意点

- 1)

図面名称 ステンレスフック

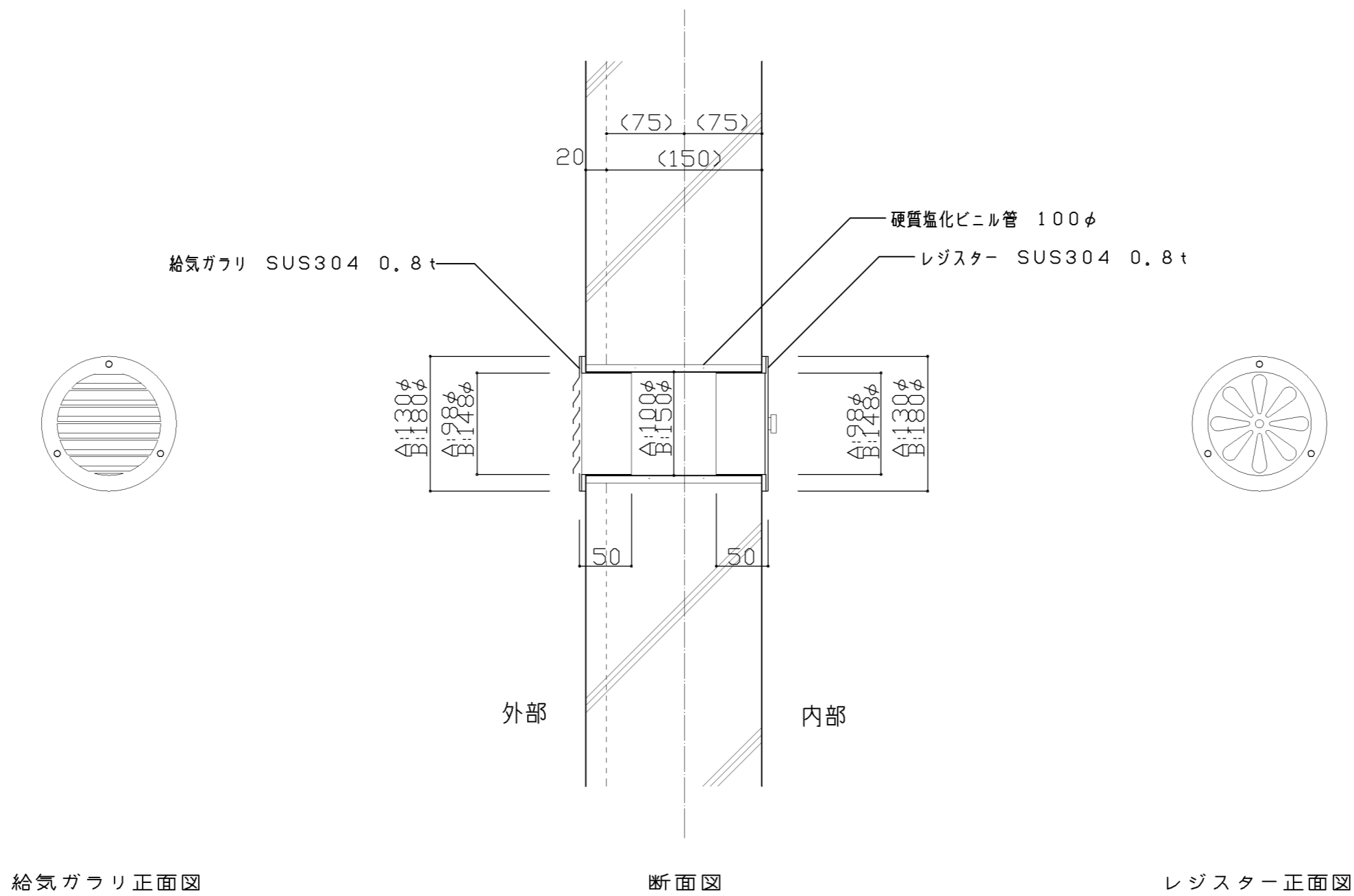
縮尺 1/2,1/3,1/10

平成30年2月

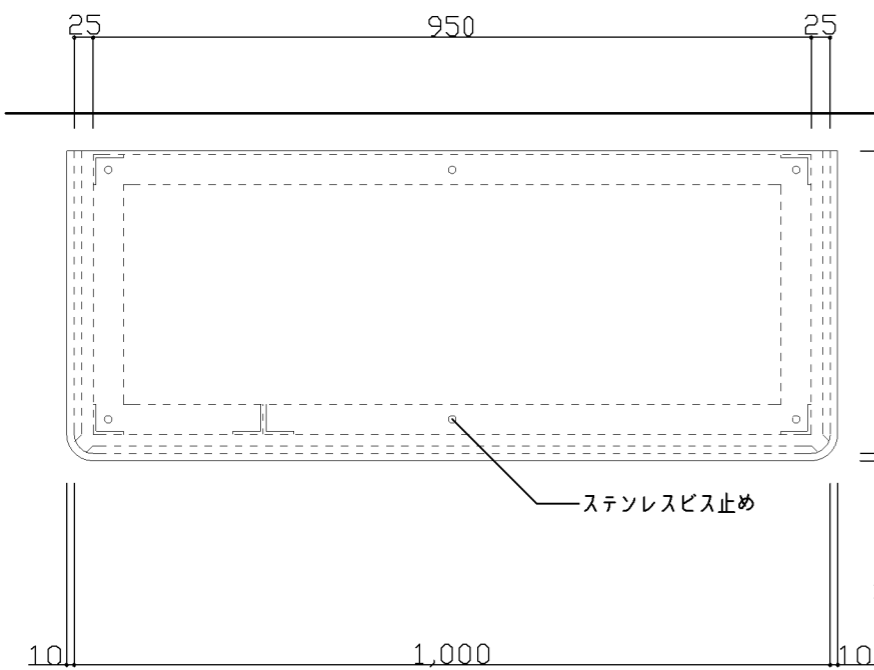
横浜市建築局

I-208

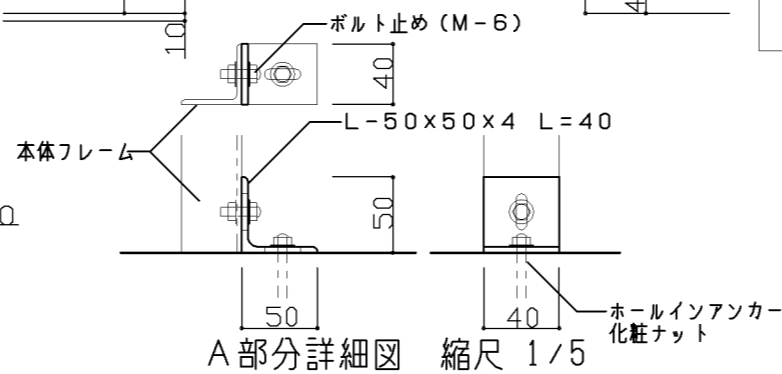
# 個別支援教室 1



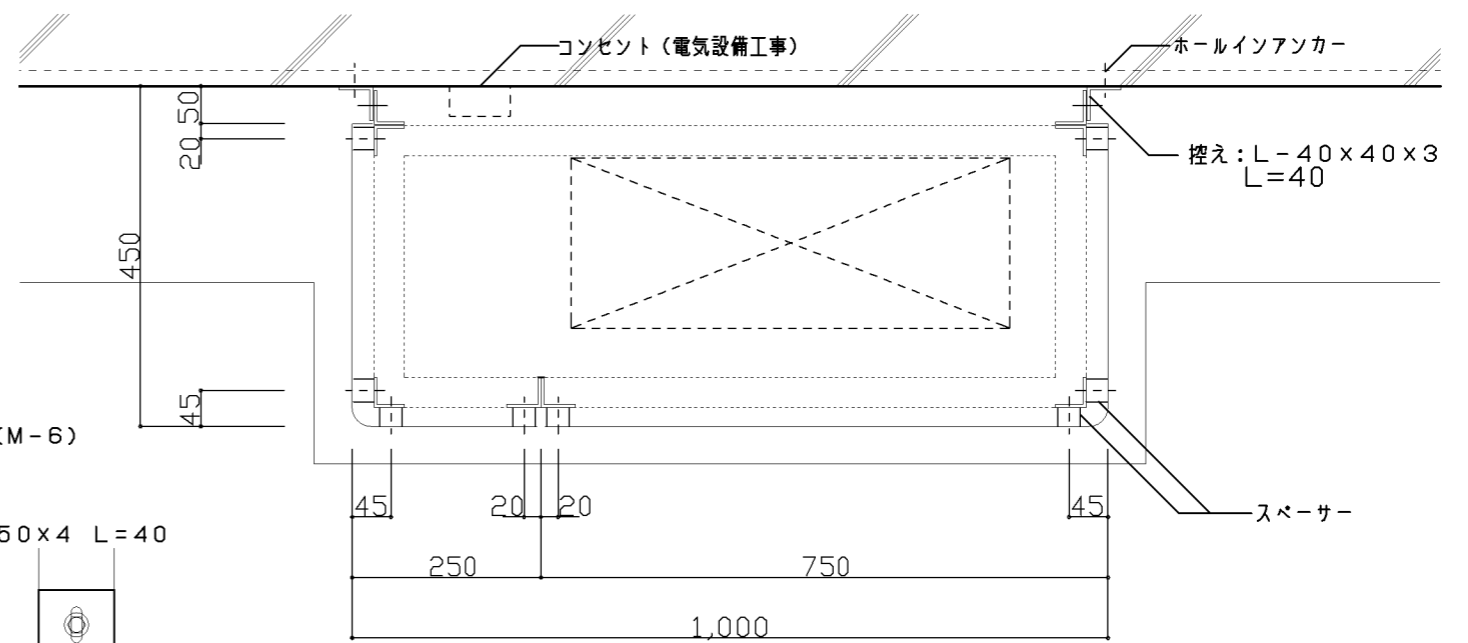
仕様	特記事項	設計上の留意点	図面名称	給気孔 100φ・150φ
1) 2) 3)	1) Aは、理科準備室の腰壁に設置。 2) Bは、個別支援学級・多目的室(集会・発表等)の腰壁に設置。	1)	縮尺	1/5
			横浜市建築局	平成25年3月 I-207



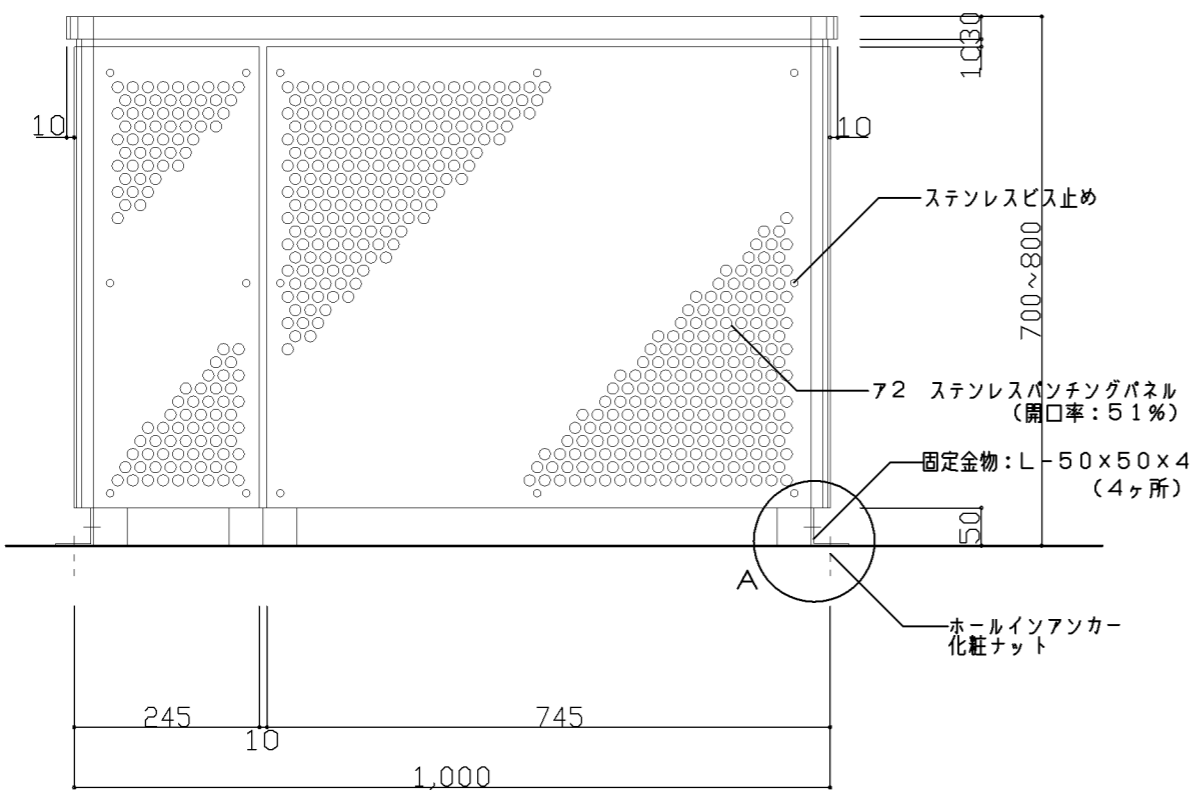
伏図



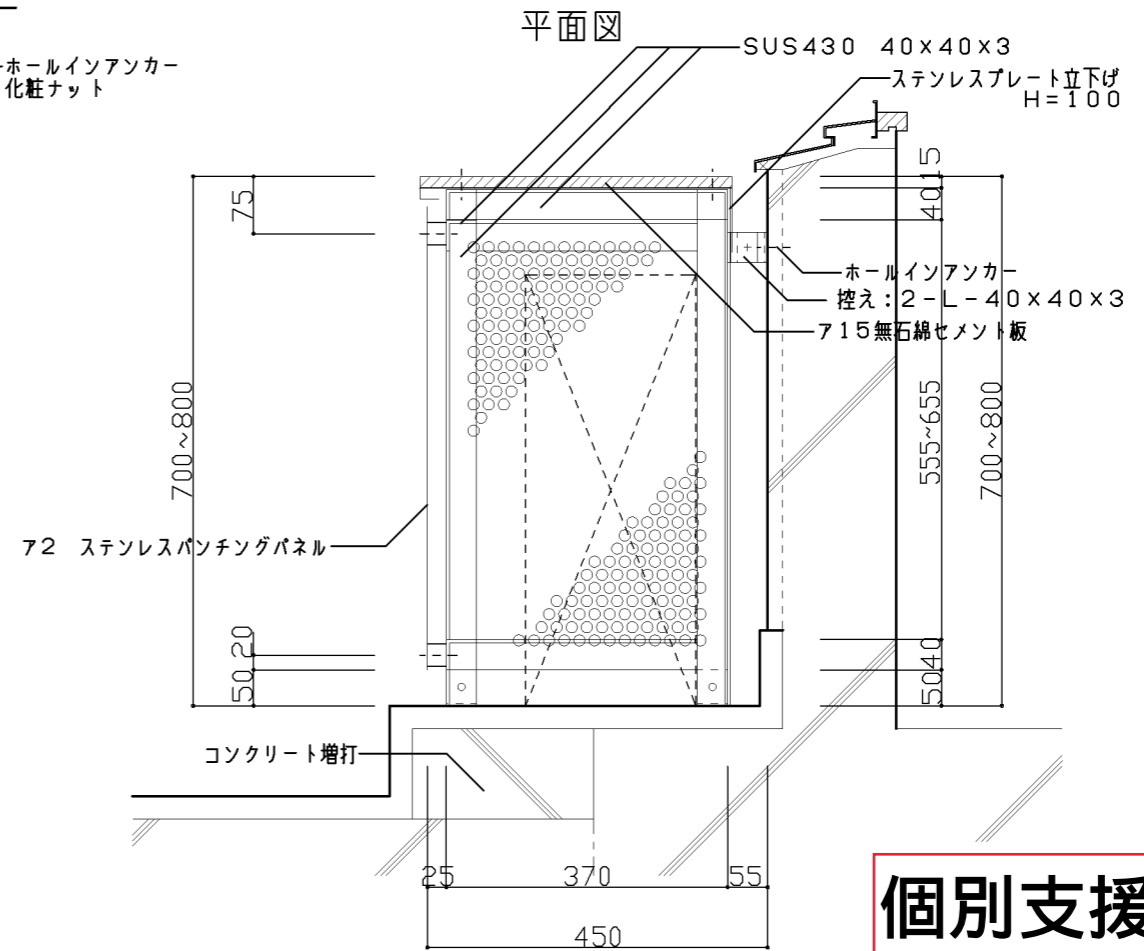
A部分詳細図 縮尺 1/5



平面図



正面図



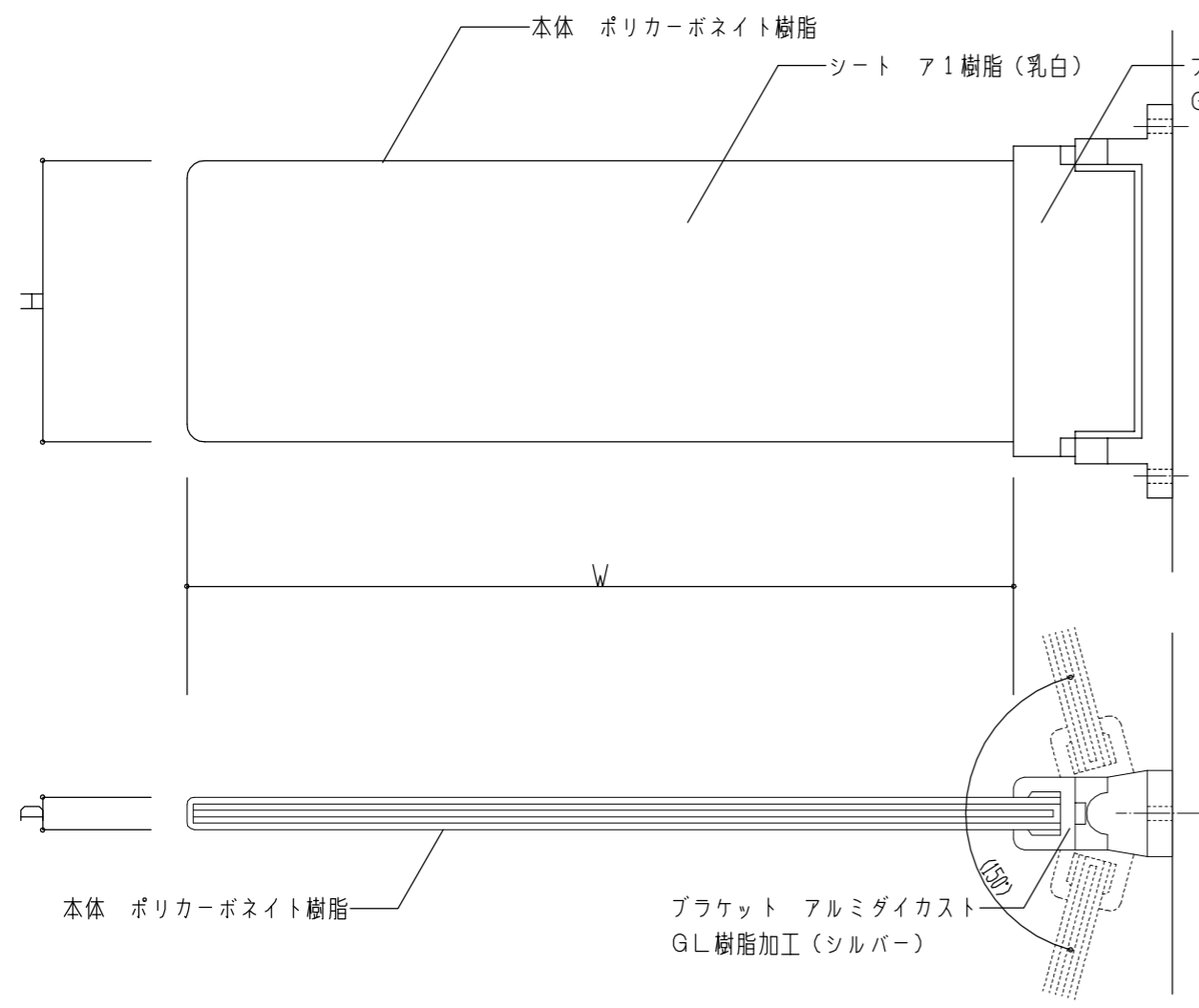
断面図

**個別支援教室 1**

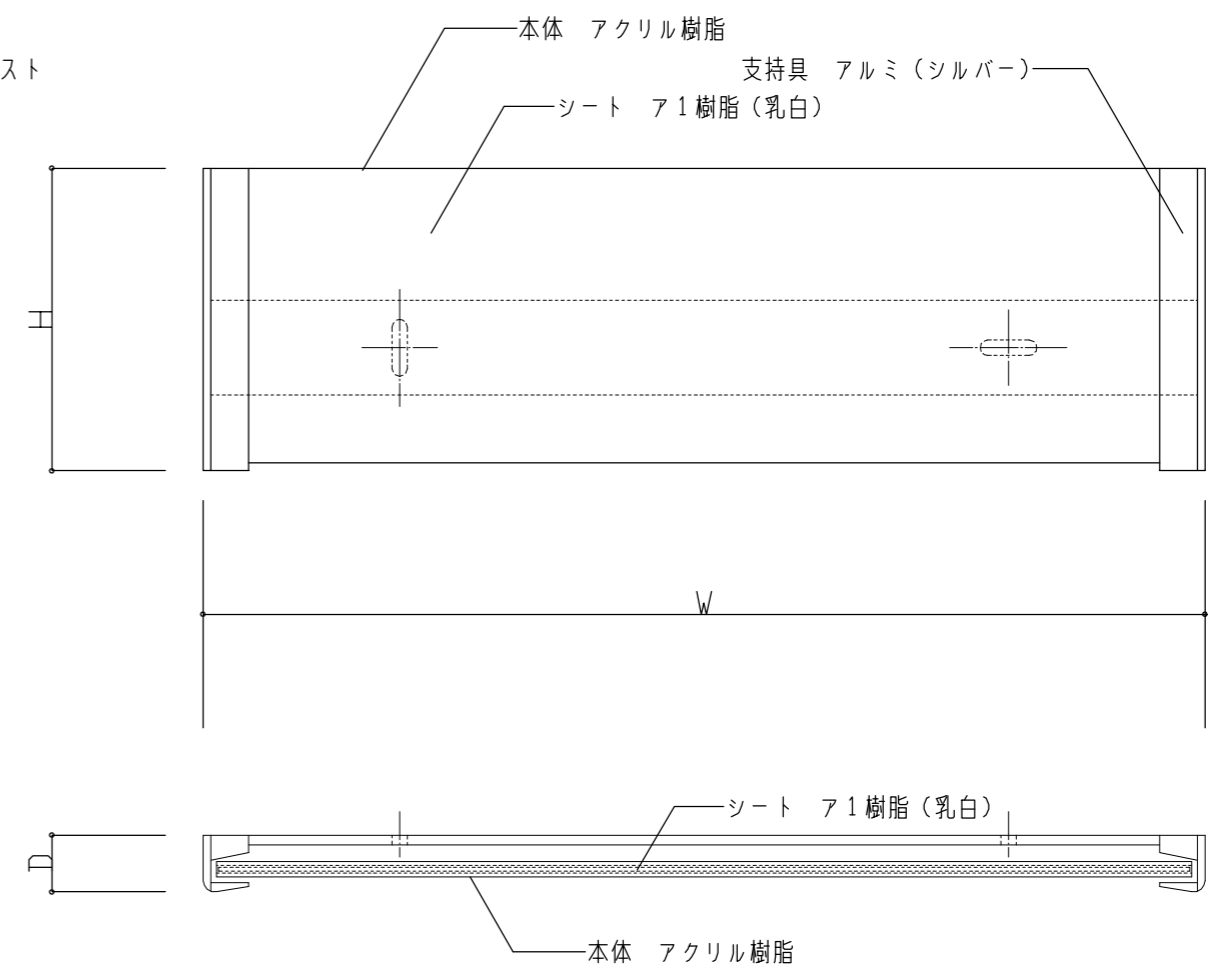
仕様 1) 部材は、見え掛りはステンレスSUS304バフ400#とする。 2) 骨組みは、ステンレスSUS430とする。 3)	特記事項 1) バルコニー、及びテラス部分の床置型給湯器カバーを示す 2) 個別支援学級(小・中)、理科教室、家庭科教室、調理教室、美術教室、保健室、技術員室、職員更衣室	設計上の留意点 1) 給湯器はメーカーによりサイズが異なる為、設備と打合せの上寸法を決定する事	図面名称	給湯器カバー(16~32号)	
			縮尺	1/5, 1/10	平成25年3月
			横浜市建築局		I-105



# 個別支援教室 1

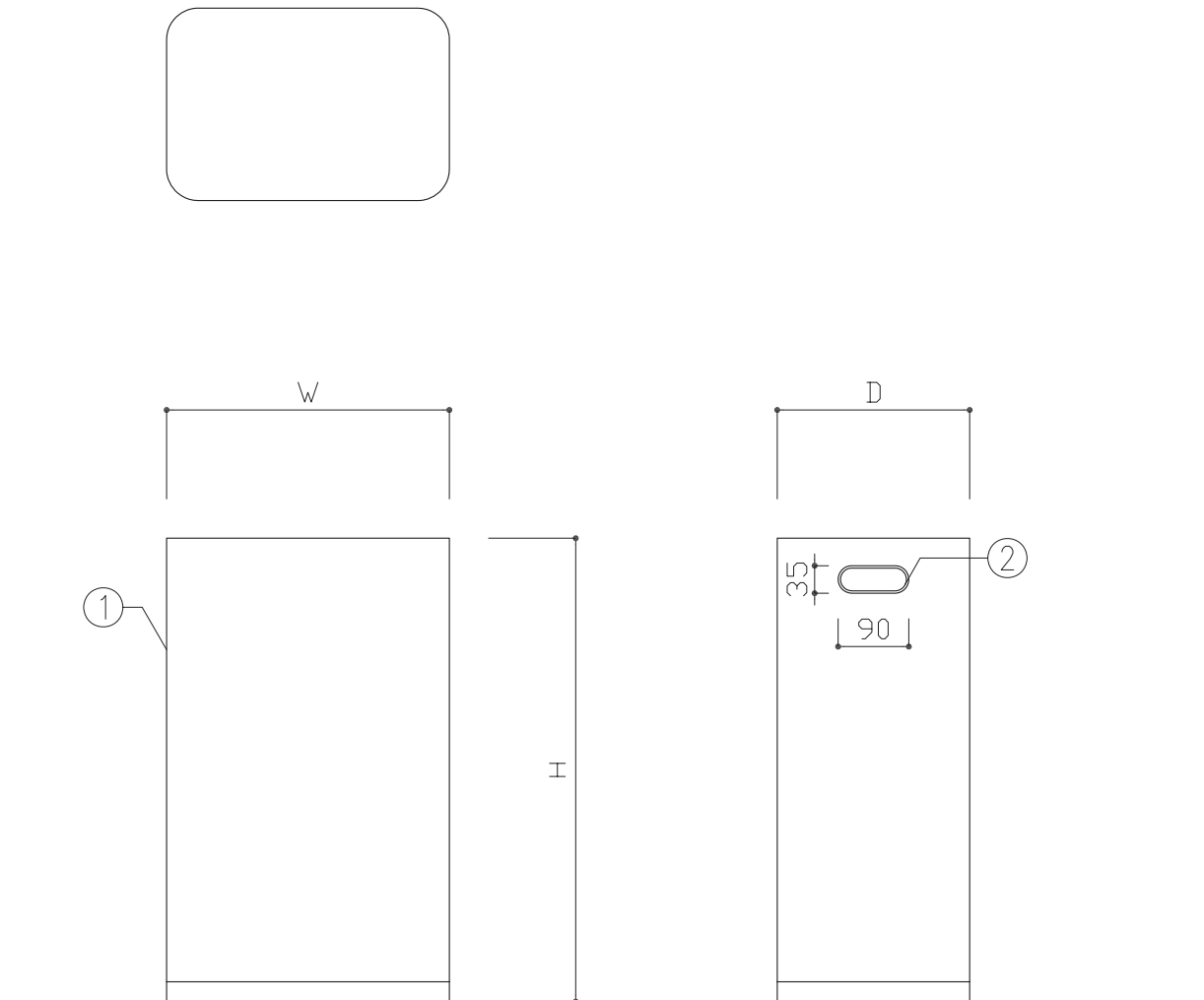


A 持出しタイプ



B 平付けタイプ

仕様 1) 2) 3)	特記事項 1) A: 小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78) 2) B: 中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室名札	
			縮尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204



K-104

記号	名称	材質	数量	備考
①	本体	SPCC 0.4t	1	鋼板
②	取手	合成ゴム	2	

本体：メラミン焼付塗装（アイボリー）

【寸法】

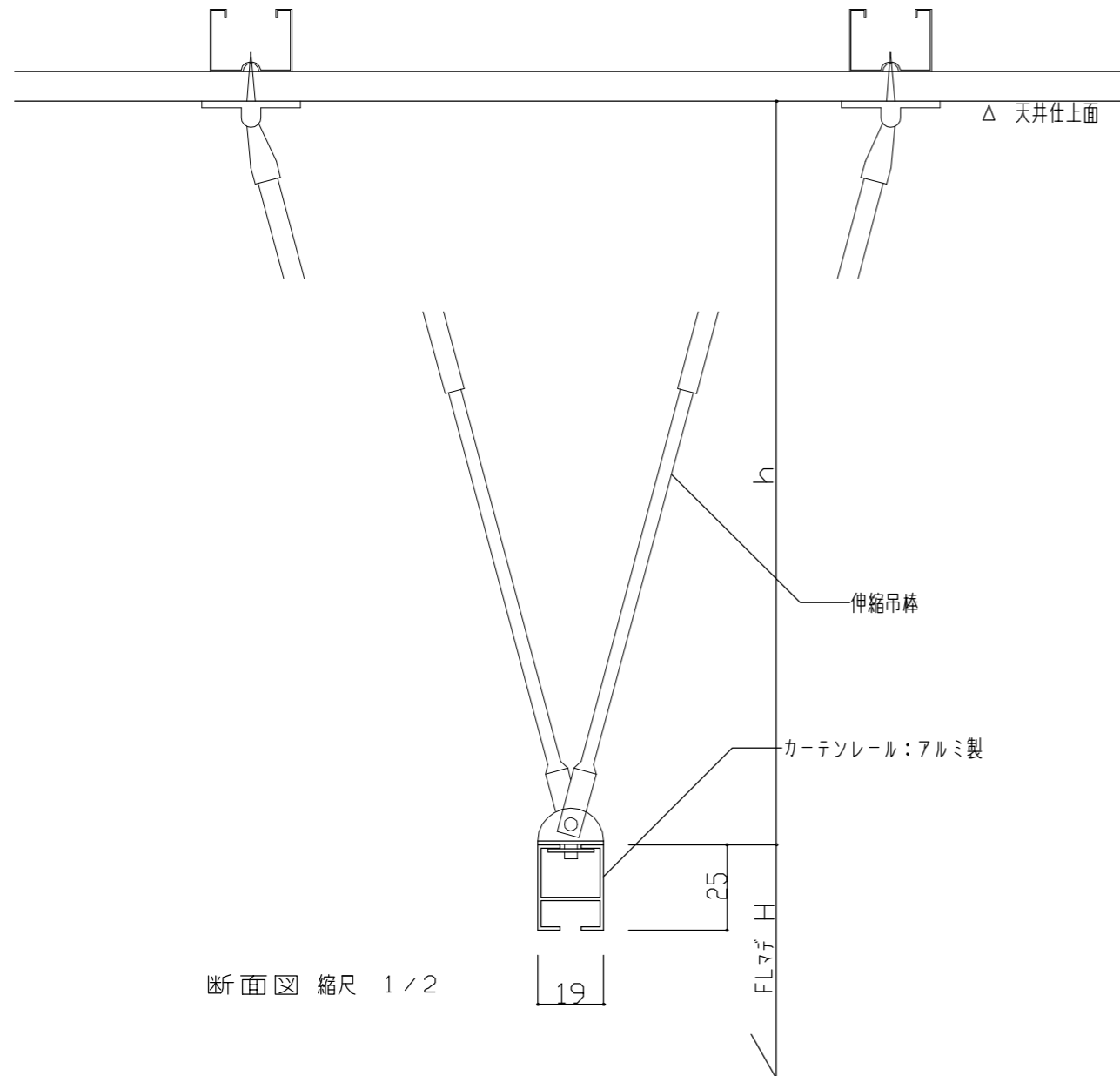
A (標準) w360 d245 h590  
B (小型) w275 d190 h530

名称 ちり箱

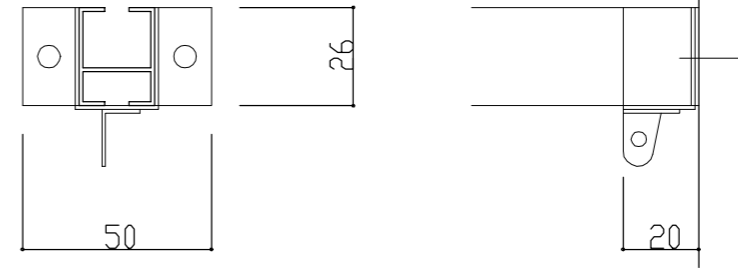
横浜市教育委員会施設部教育施設課

# 個別支援教室2

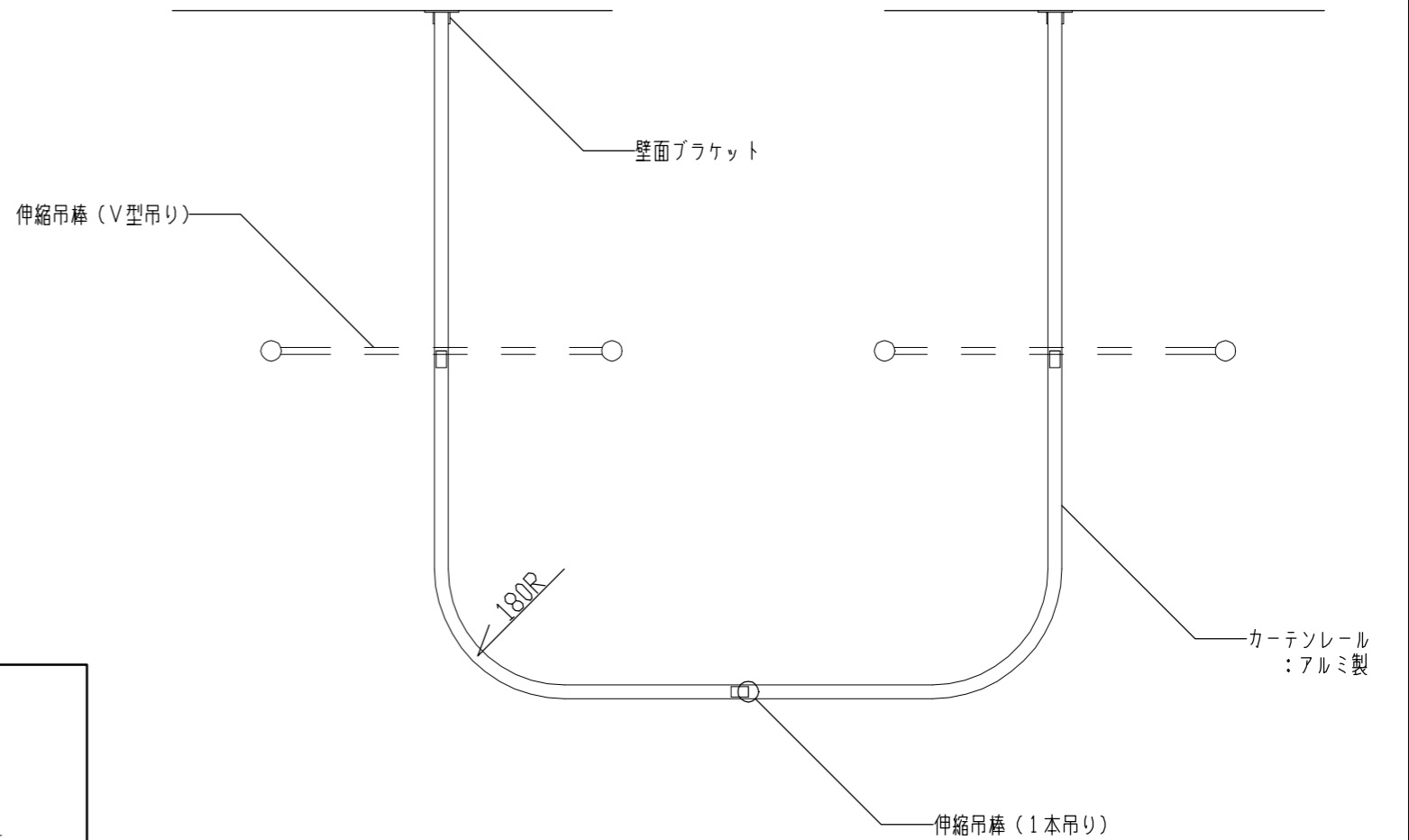
吊りカーテンレール



断面図 縮尺 1/2

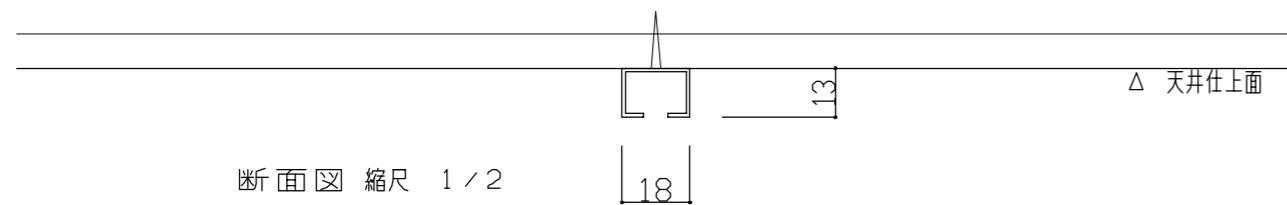


壁面ブラケット詳細図 縮尺 1/2



平面図 縮尺 1/10

直付けカーテンレール



断面図 縮尺 1/2

**仕様**

- 1) カーブレールの規格は、180R。
- 2) カーテン・ブラケット：アルミ押出型材アルマイト仕上（既製品）  
その他附属金物一式

**特記事項**

- 1) 個別支援学級：H=2, 150、h=550
- 2) 保健室：H=2, 350、h=350
- 3) 職員更衣室：H=2, 100、h=400
- 4) 児童更衣室：H=2, 000、h=700
- 5) 生徒更衣室：直付けタイプとする

**設計上の留意点**

- 1) 1本吊り：レールの長さが2m以上の場合、1.5m間隔以内に1ヶ所の割で吊棒を設置。
- 2) V型吊り：カーブレールのコーナー部。または、レールの片端を固定できない場合。
- 3) 三脚吊り：前後左右の揺れを防止する場合。

図面名称

カーテンレール

縮尺

1/2, 1/10

平成30年2月

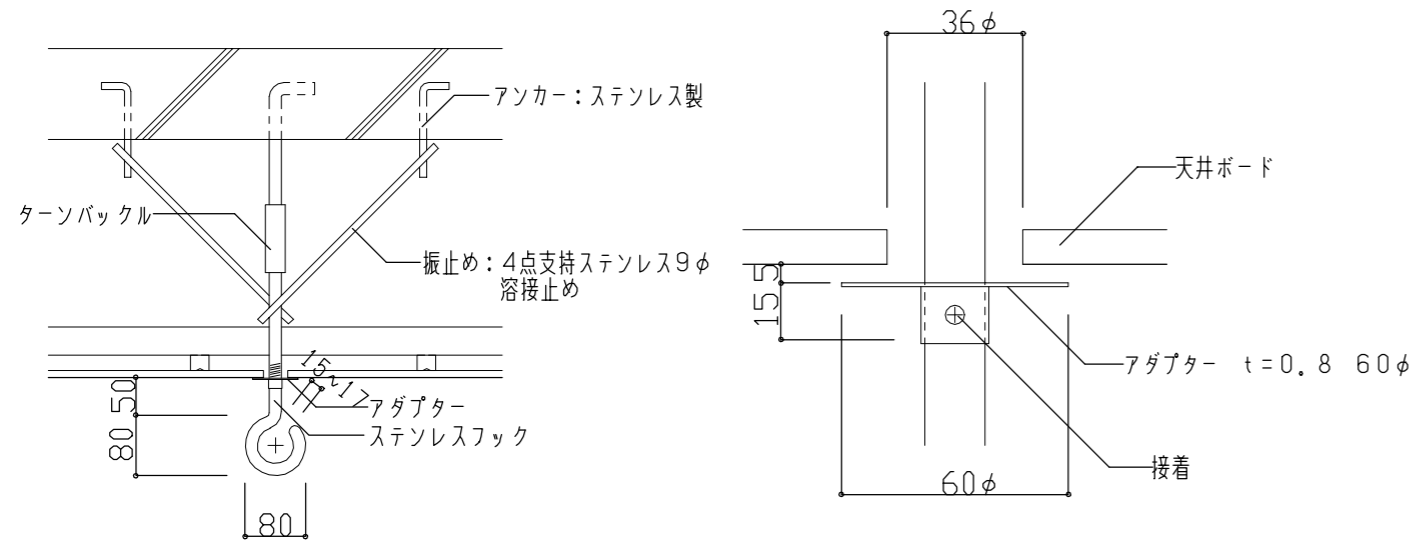
横浜市建築局

I-219

A、B - 天井吊りフック 1/10,1/2

C - 柱型付フック 1/5

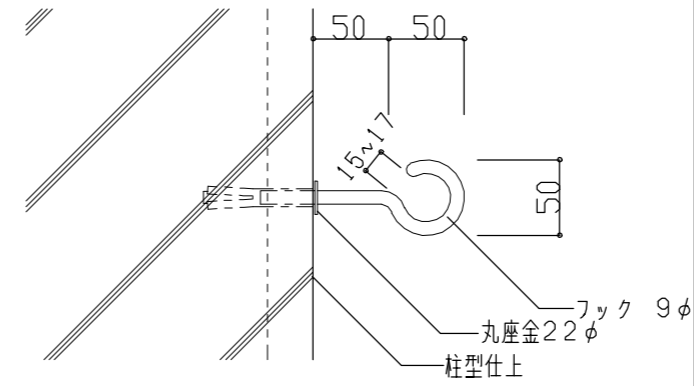
D - 梁型付フック 1/5



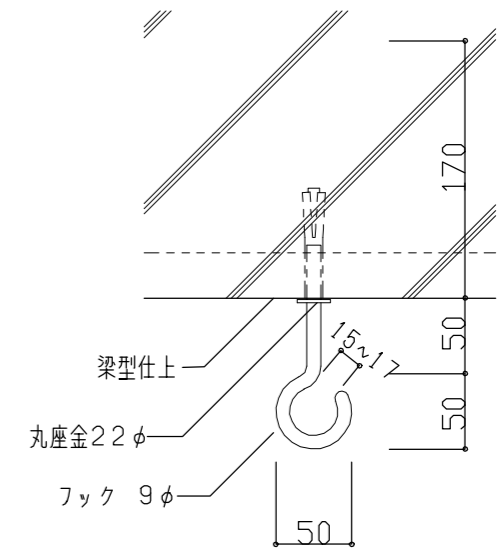
アダプター詳細図 縮尺1/2

※天井材には接着しないこと

- A ステンレスフック16φ：個別支援学級（第二学習室）
- B ステンレスフック 9φ：個別支援学級（第一学習室）・理科準備室・家庭科教室・図画工作教室



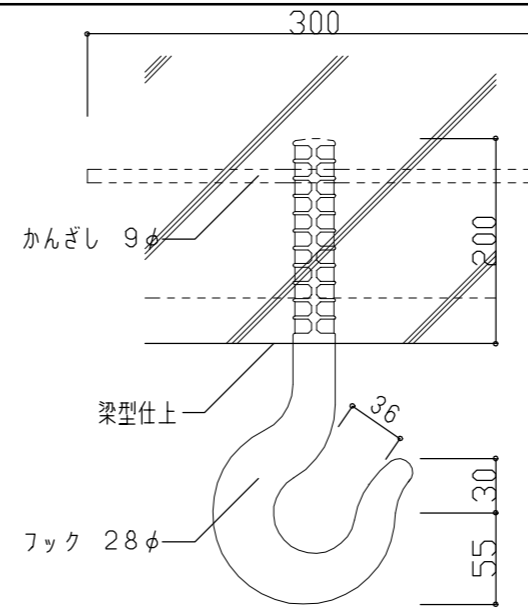
図画工作教室



理科教室

※ 吊り下げ耐荷重200kg以上

E - 梁型付フック 1/5



変電室

※ 吊り下げ耐荷重1,000kg以上

個別支援教室2

仕様

- 1)
- 2)
- 3)

特記事項

- 1) Aは個別支援学級（第二学習室）に設置する
- 2) Bは個別支援学級（第一学習室）・理科準備室・家庭科教室・図画工作教室に設置する
- 3) Cは図画工作教室に設置する
- 4) Dは理科教室に設置する
- 5) Eは変電室に設置する

設計上の留意点

- 1)

図面名称 ステンレスフック

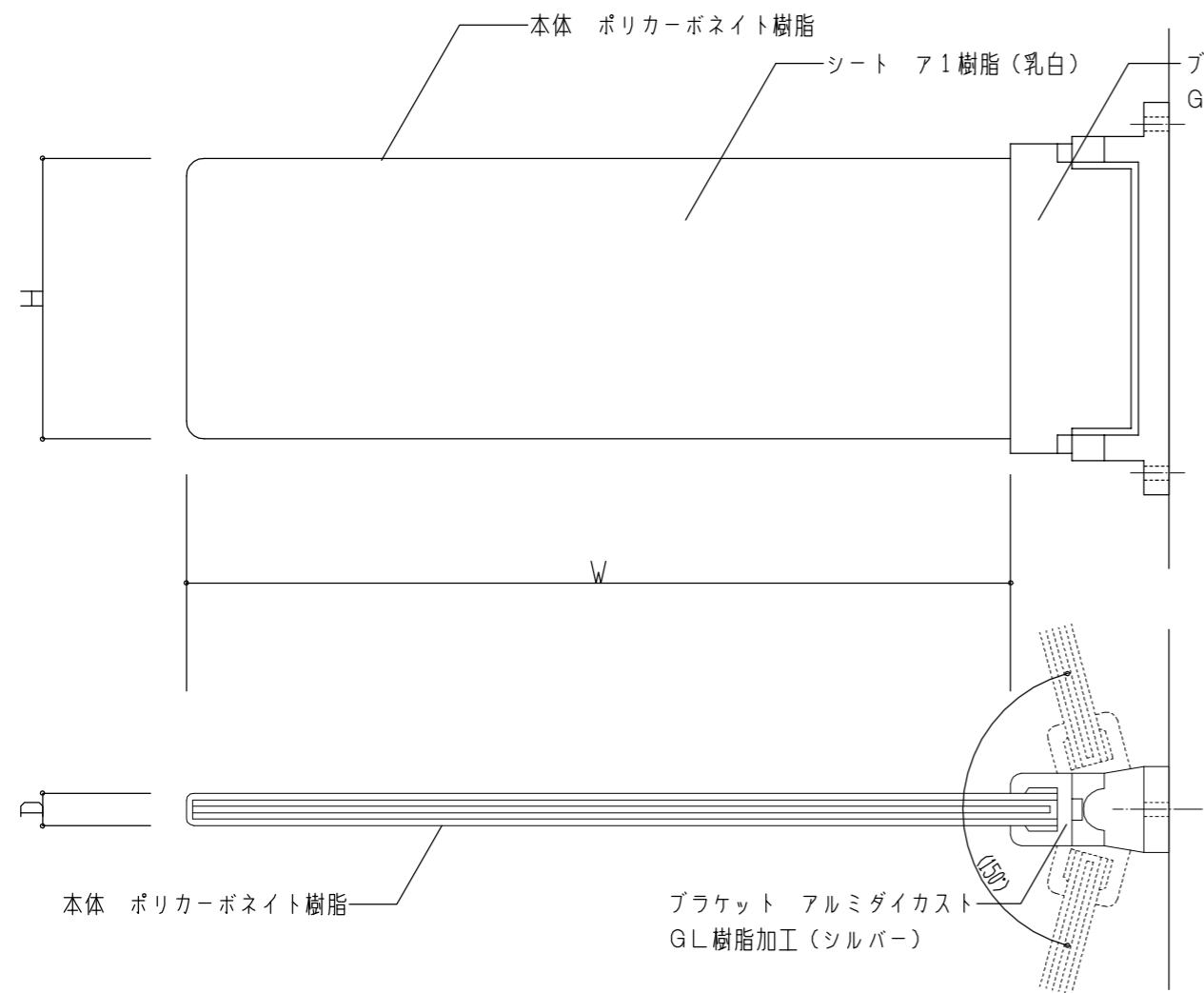
縮尺 1/2,1/3,1/10

平成30年2月

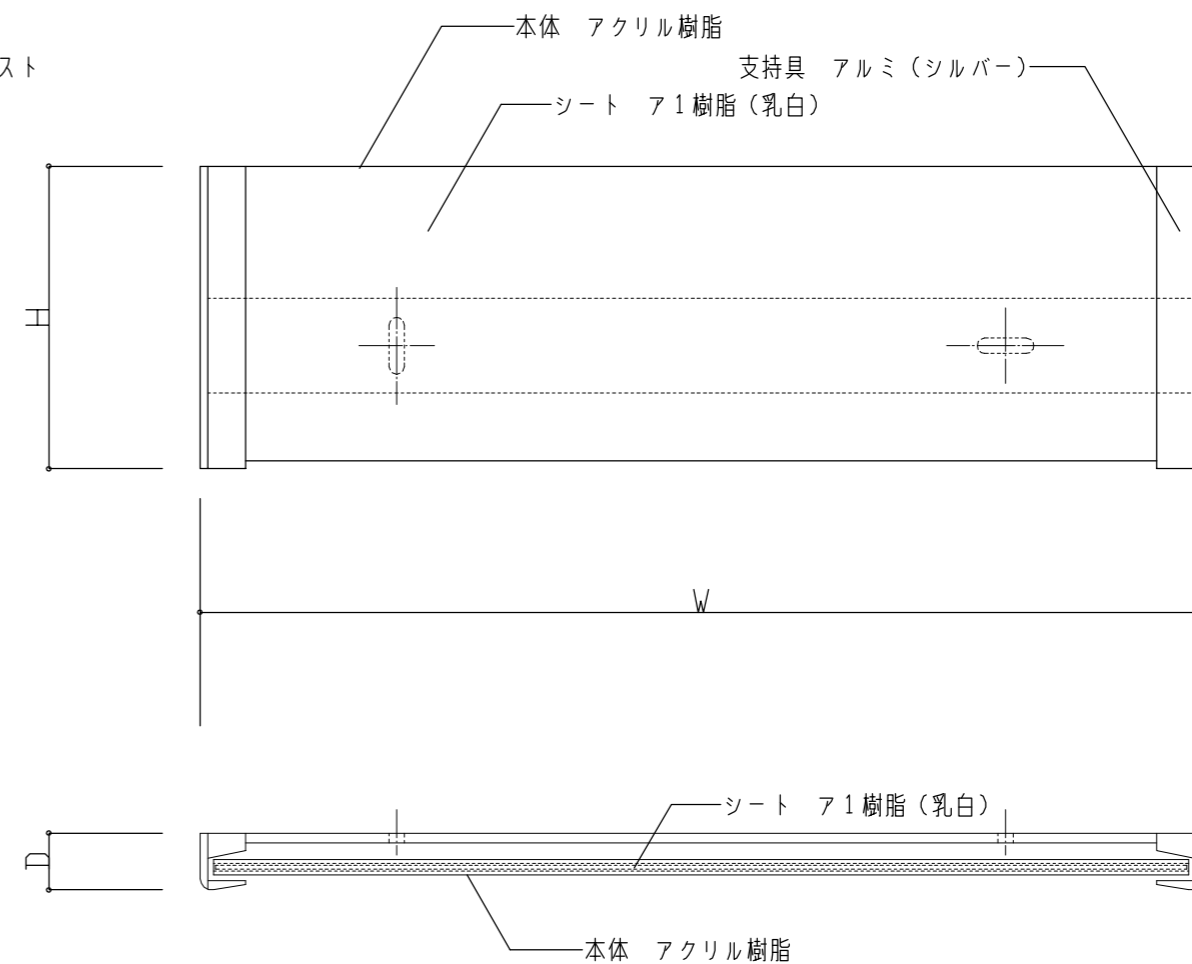
横浜市建築局

I-208

# 個別支援教室 2



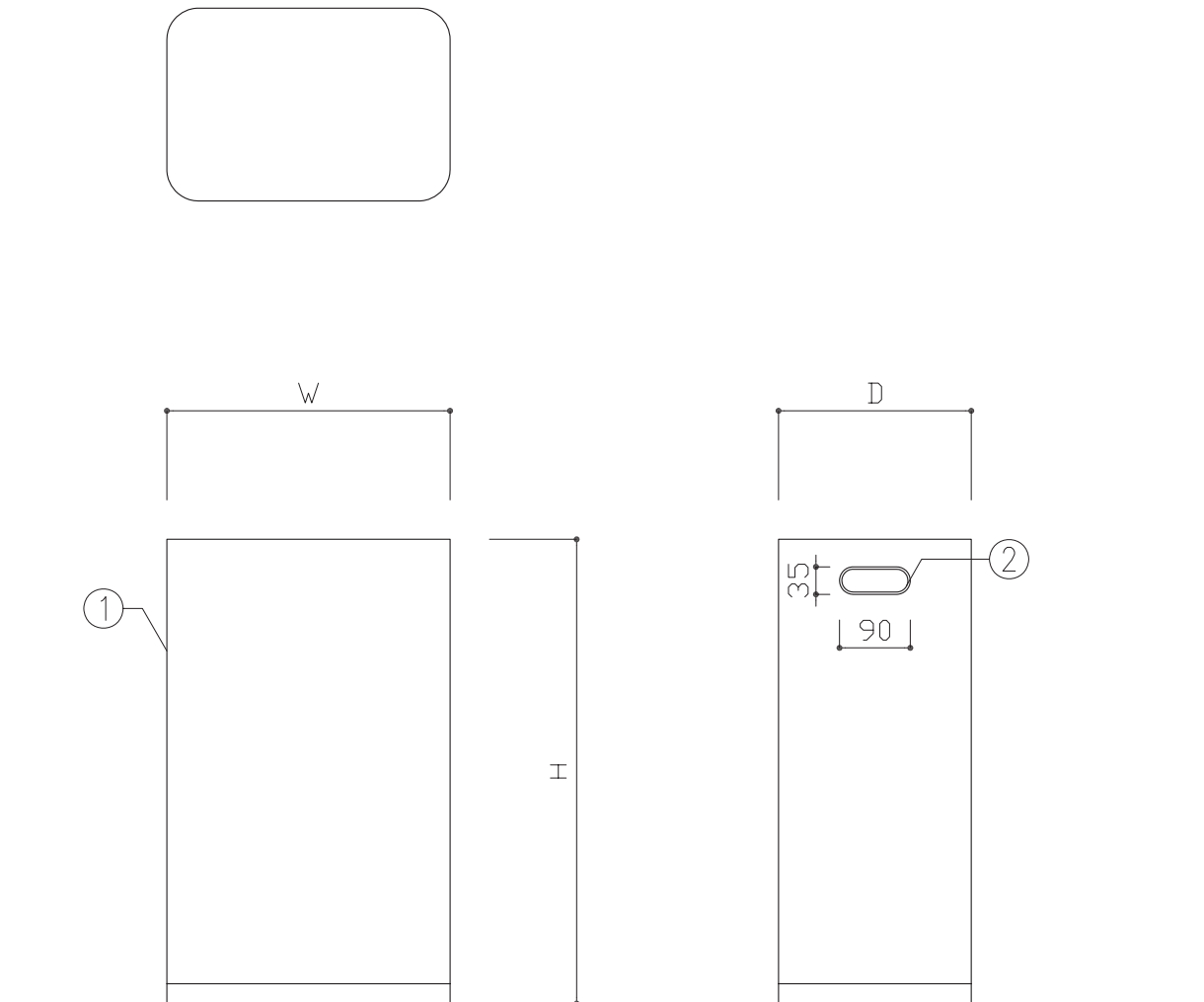
A 持出しタイプ



B 平付けタイプ

仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ(W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ(W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室 名 札	
			縮 尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204

# 個別支援教室 2



K-104

記号	名称	材質	数量	備考
①	本体	SPCC 0.4 t	1	鋼板
②	取手	合成ゴム	2	

本体：メラミン焼付塗装（アイボリー）

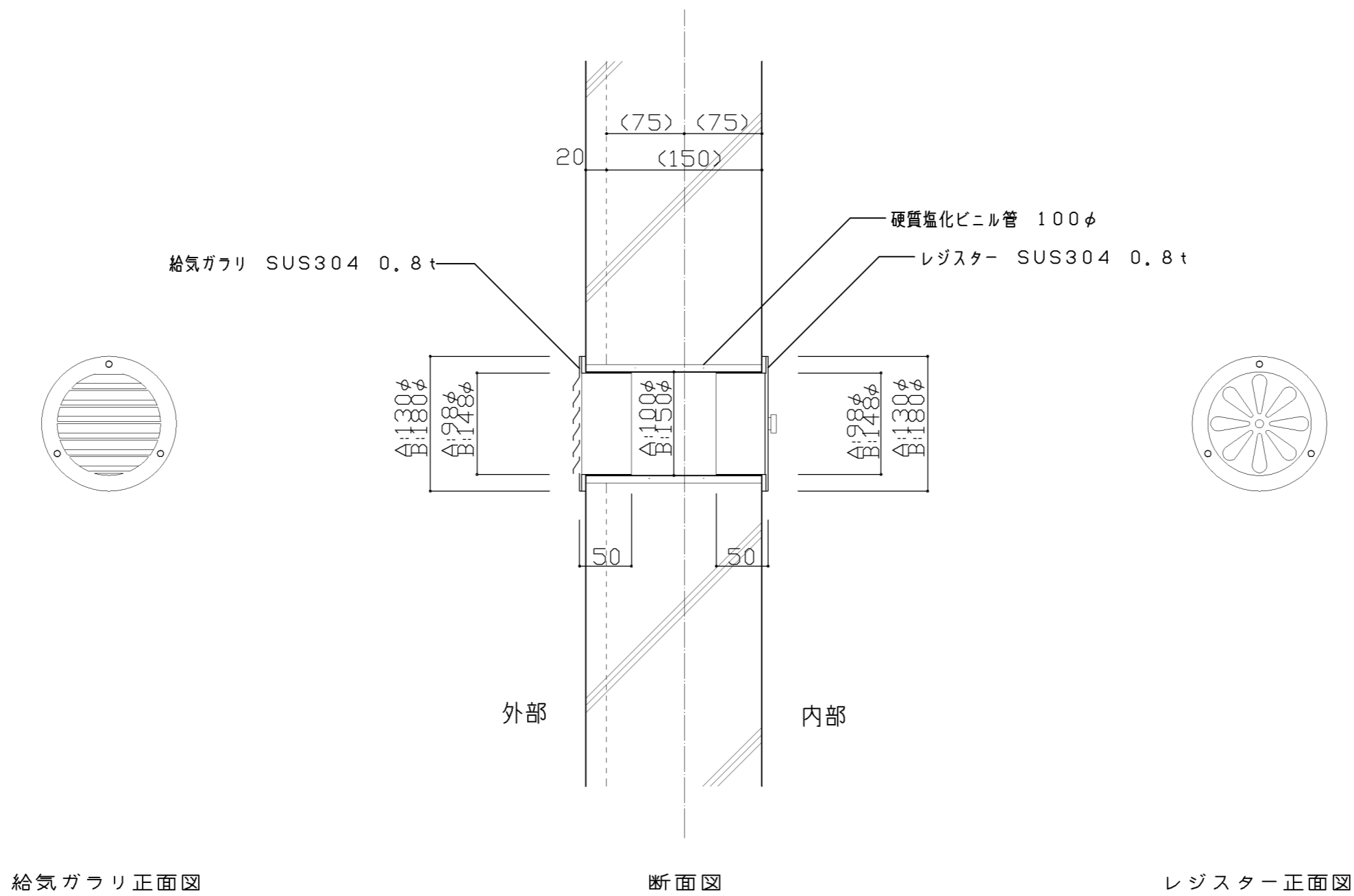
【寸法】

A (標準) w360 d245 h590  
B (小型) w275 d190 h530

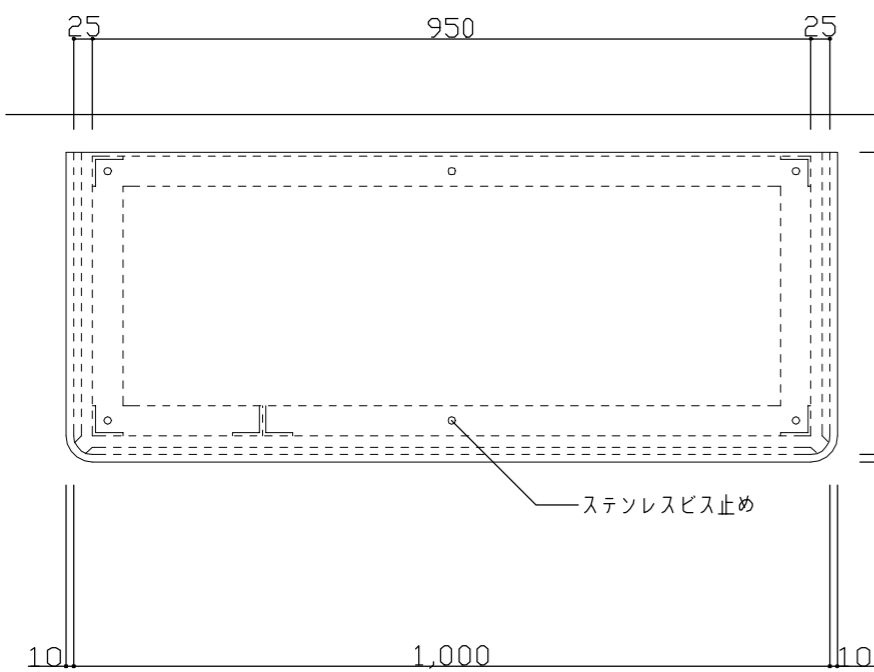
名称      チリ箱

横浜市教育委員会施設部教育施設課

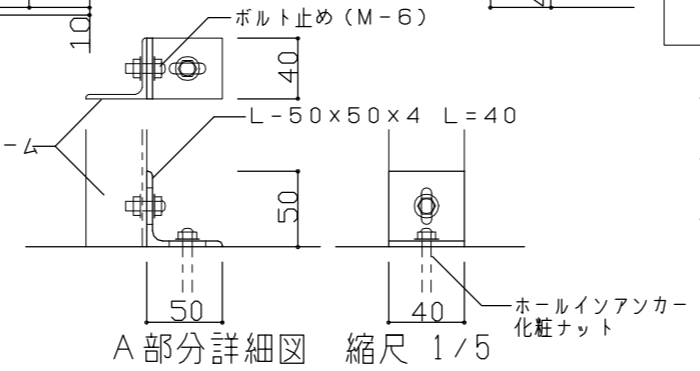
# 個別支援教室 3



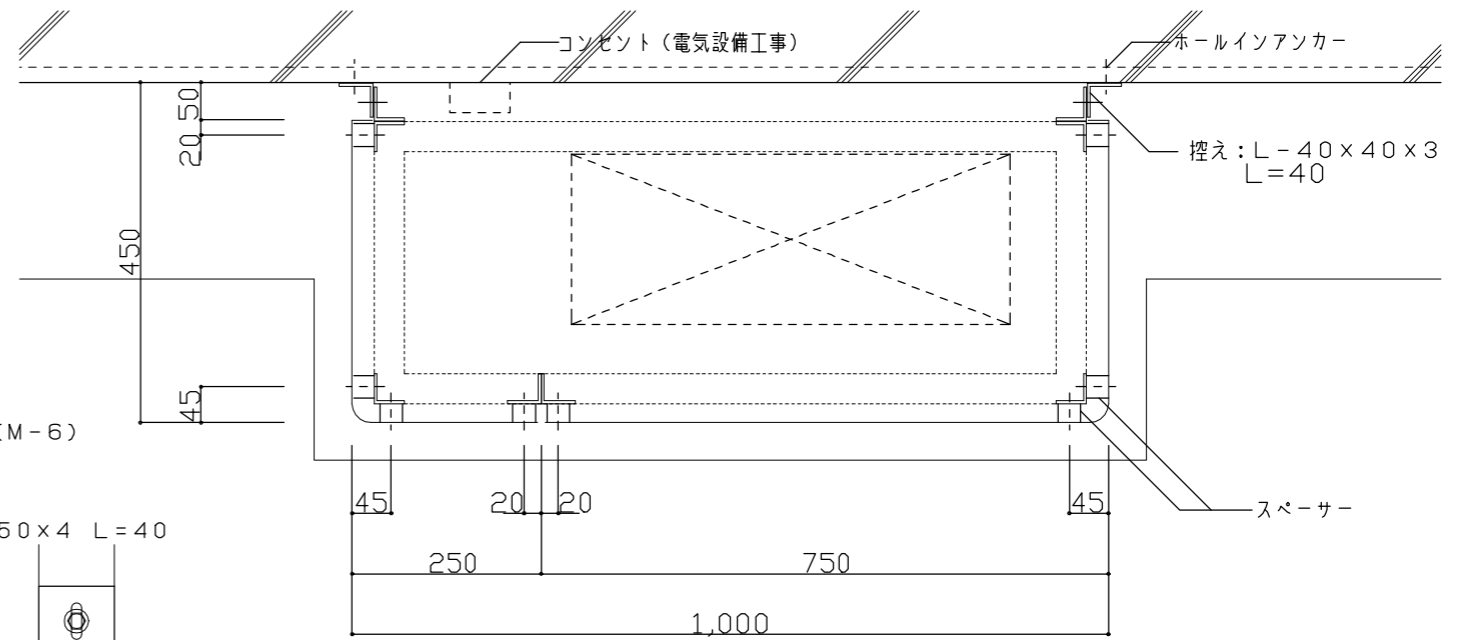
仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) Aは、理科準備室の腰壁に設置。 2) Bは、個別支援学級・多目的室(集会・発表等)の腰壁に設置。	設計上の留意点 1)	図面名称	給気孔 100φ・150φ	
			縮 尺	1/5	平成25年3月
			横浜市建築局		I-207



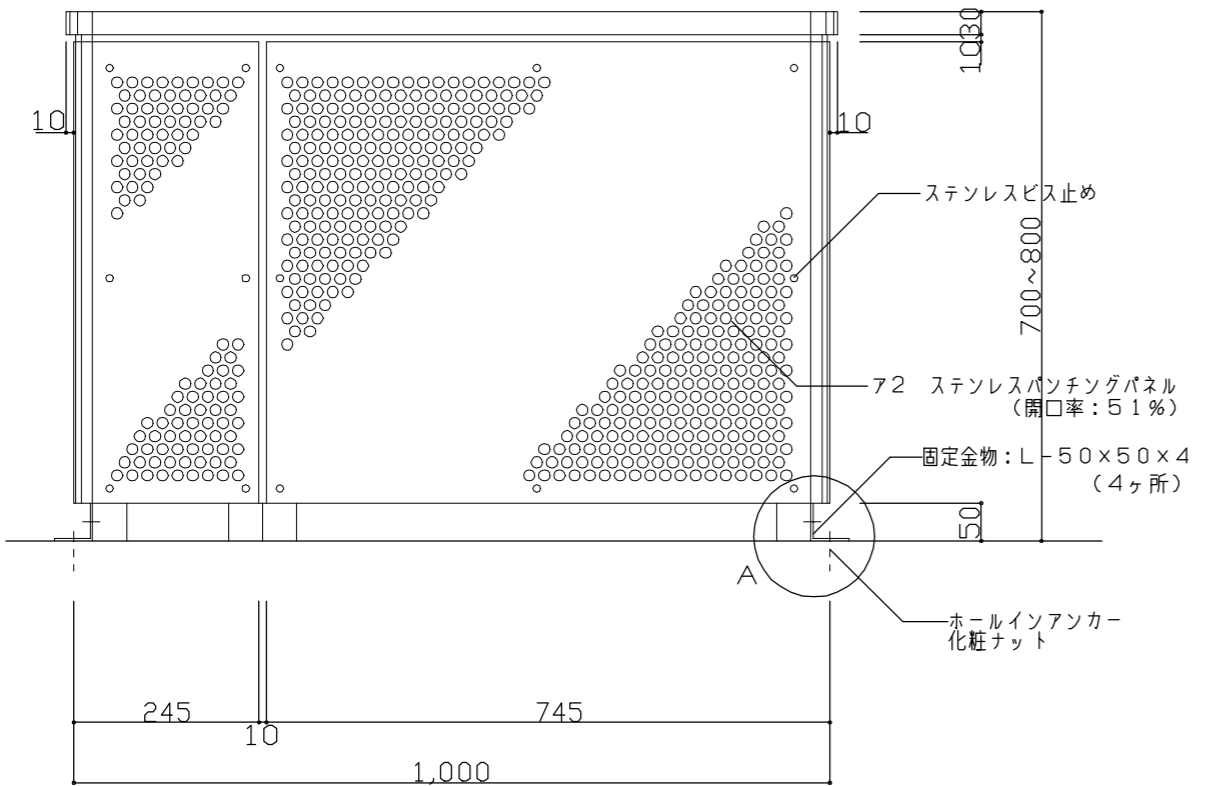
伏図



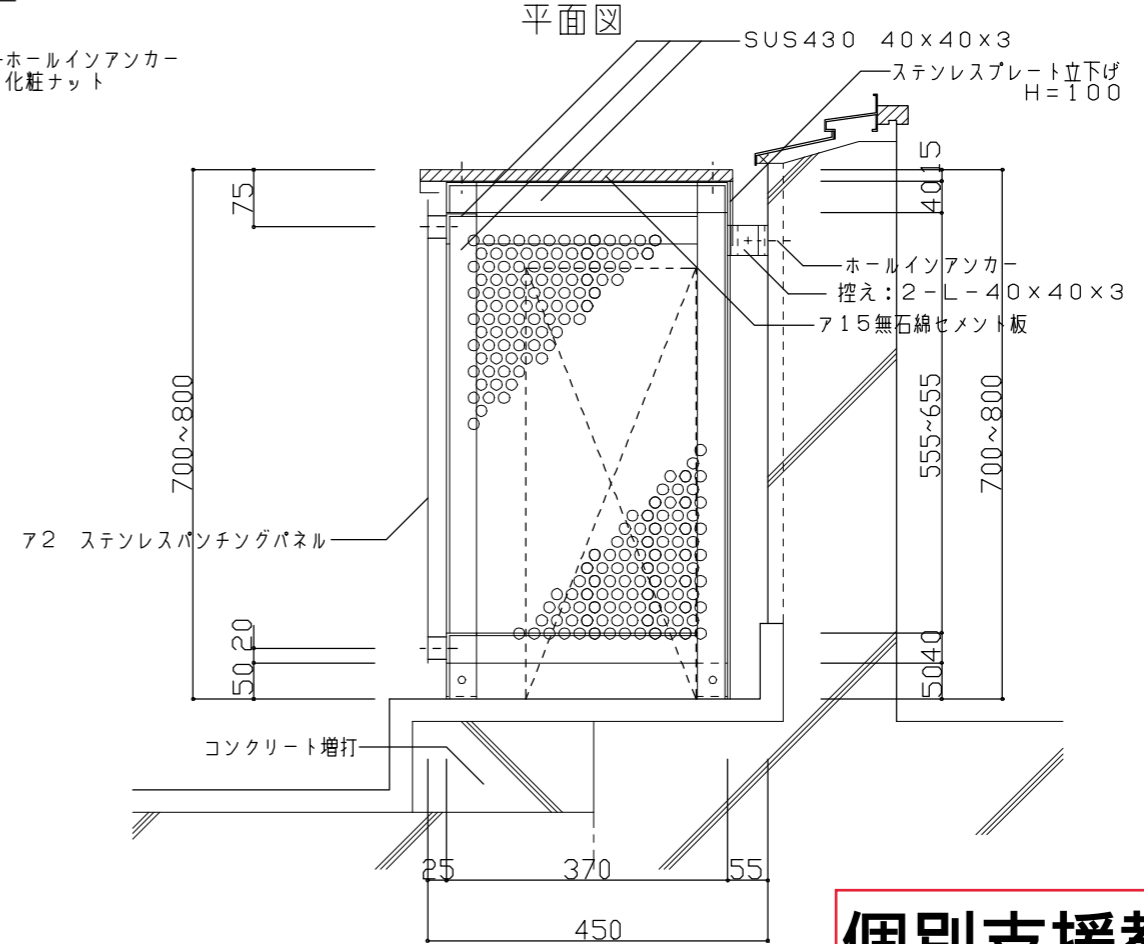
A部分詳細図 縮尺 1/5



平面図



正面図



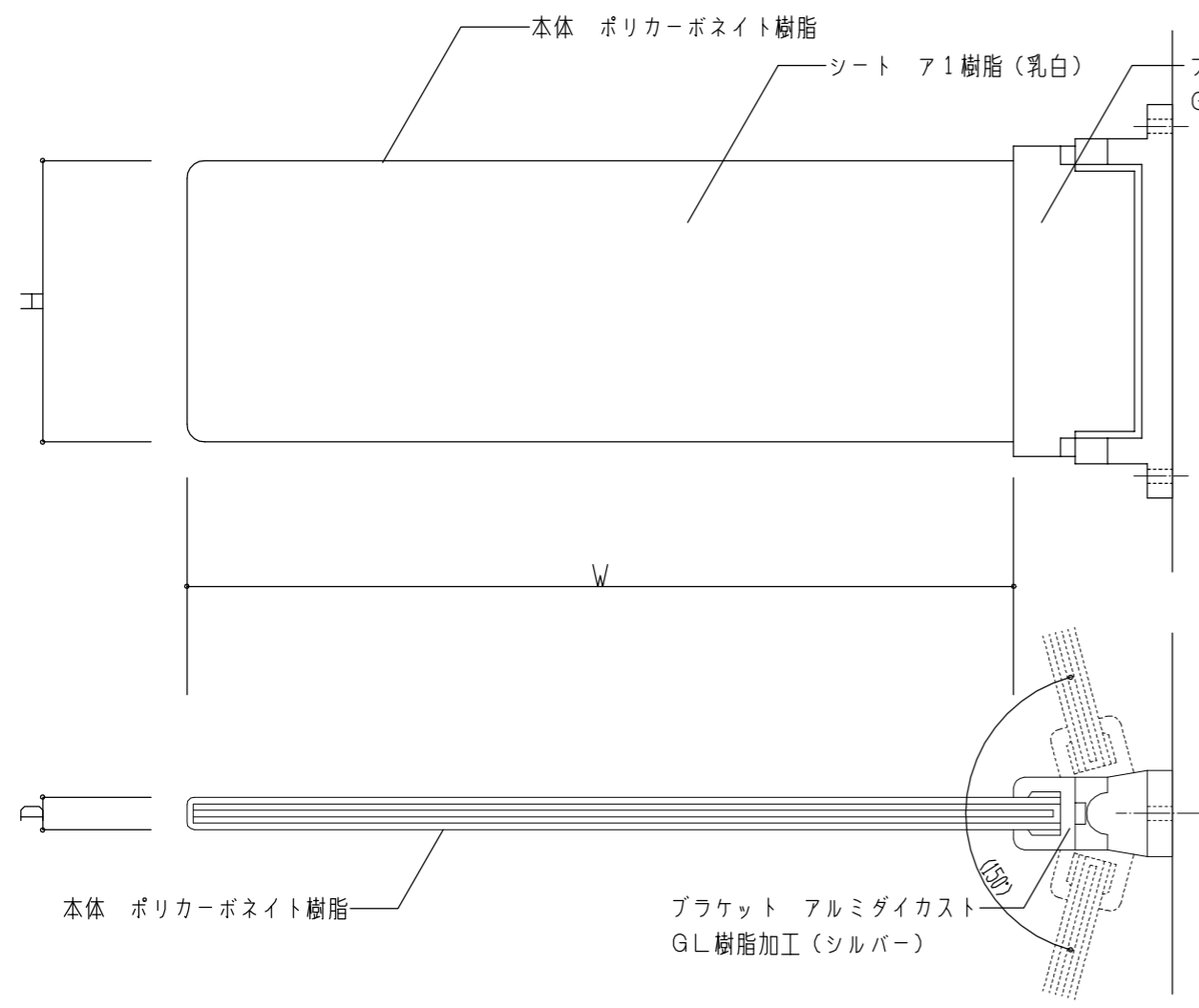
断面図

**個別支援教室 3**

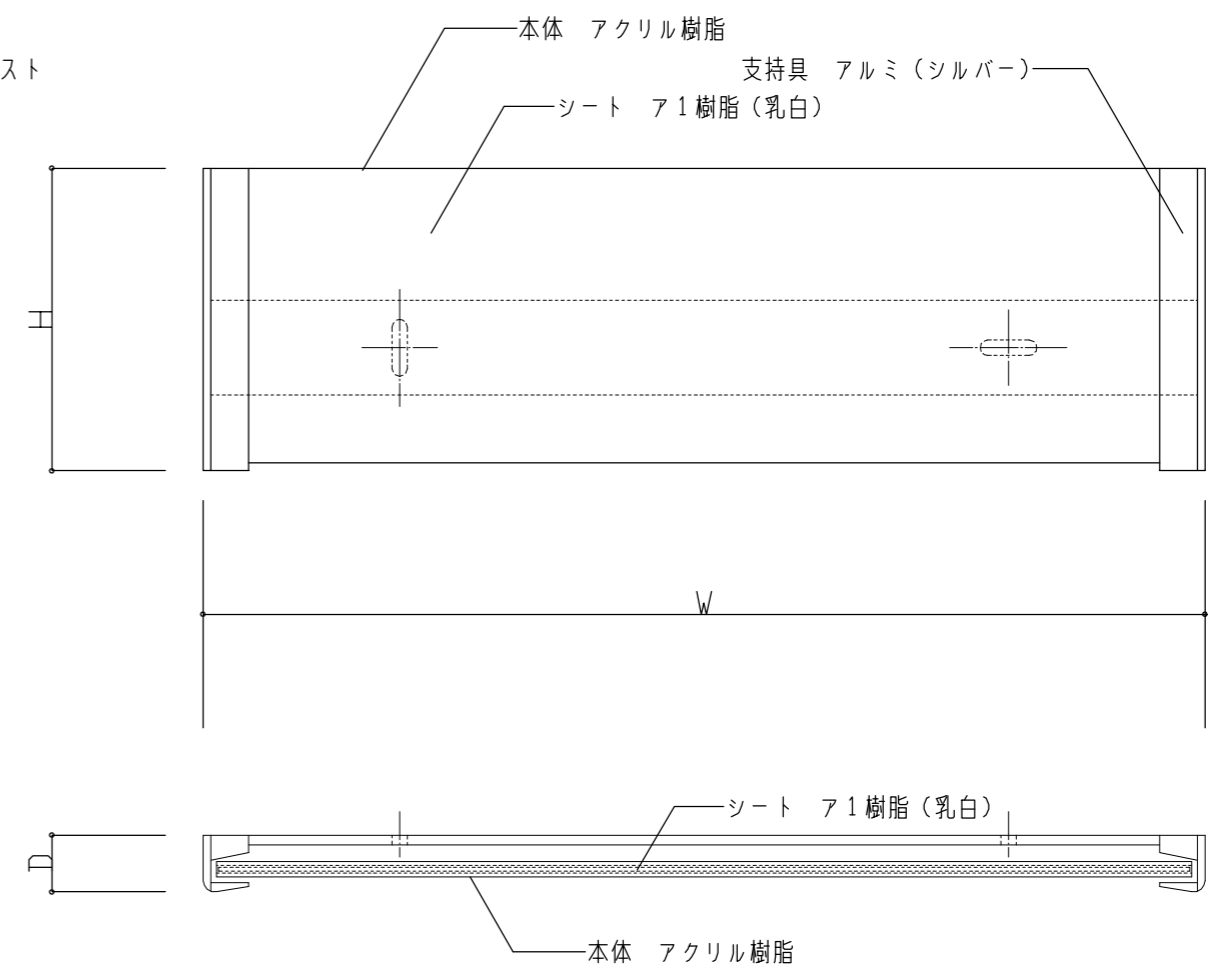
仕 様 1) 部材は、見え掛りはステンレスSUS304バフ400#とする。 2) 骨組みは、ステンレスSUS430とする。 3)	特記事項 1) バルコニー、及びガラス部分の床置き型給湯器カバーを示す 2) 個別支援学級(小・中)、理科教室、家庭科教室、調理教室、美術教室、保健室、技術員室、職員更衣室	設計上の留意点 1) 給湯器はメーカーによりサイズが異なる為、設備と打合せの上寸法を決定する事	図面名称	給湯器カバー(16~32号)	
			縮 尺	1/5, 1/10	平成30年2月
			横浜市建築局		I-105



# 個別支援教室 3



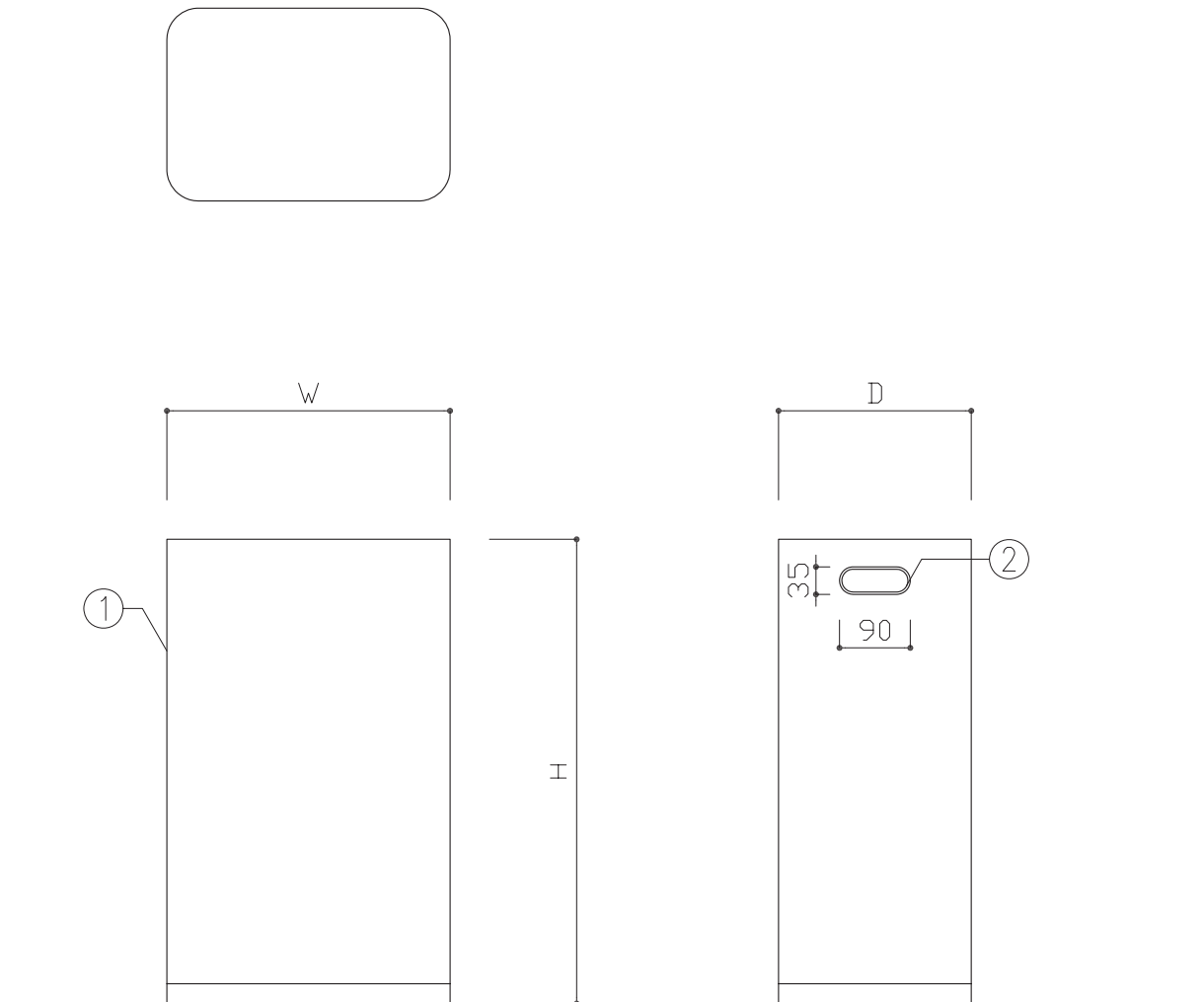
A 持出しタイプ



B 平付けタイプ

仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室 名 札	
			縮 尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204

# 個別支援教室 3



K-104

記号	名称	材質	数量	備考
①	本体	SPCC 0.4 t	1	鋼板
②	取手	合成ゴム	2	

本体：メラミン焼付塗装（アイボリー）

【寸法】

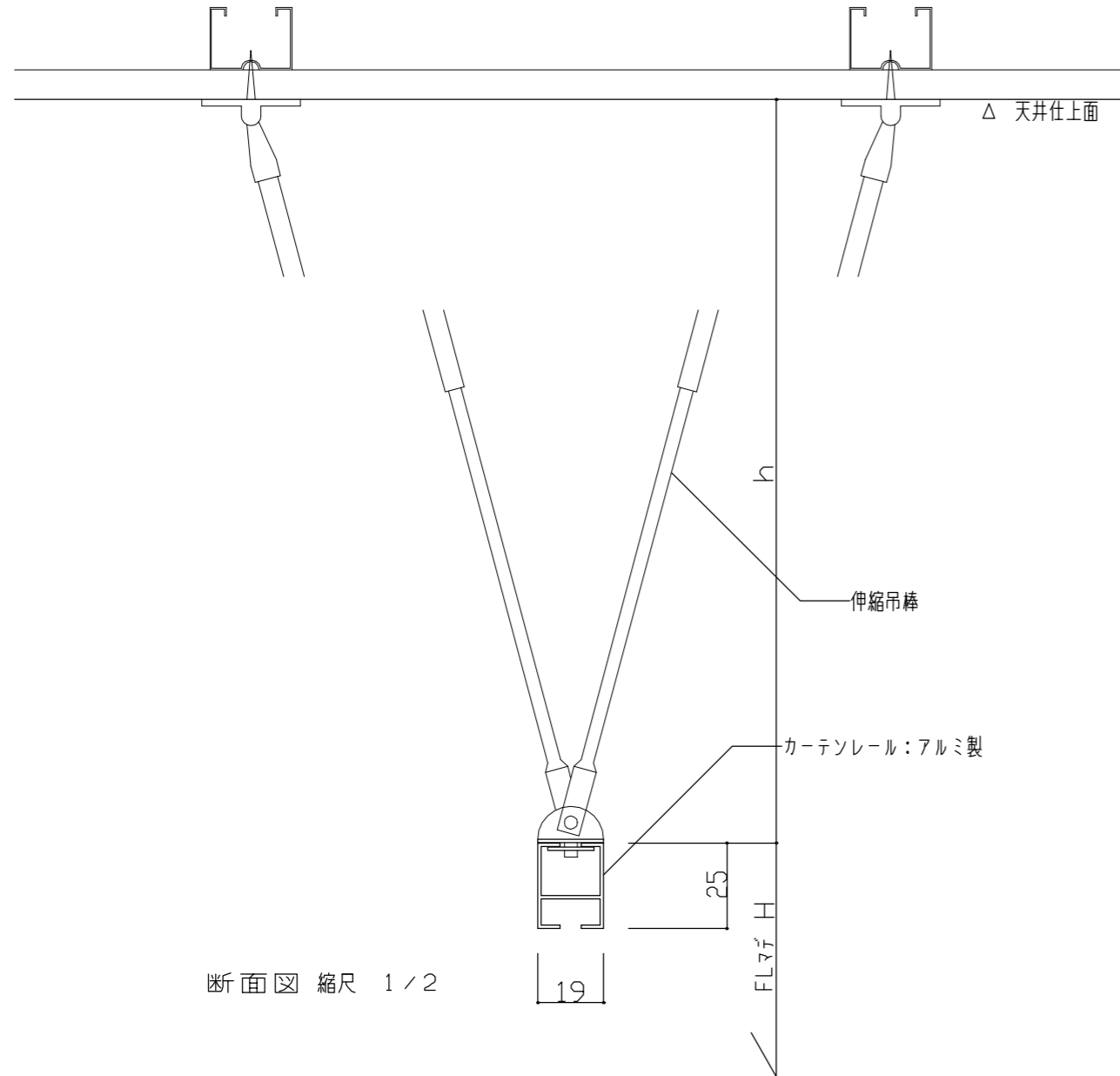
A (標準) w360 d245 h590  
B (小型) w275 d190 h530

名称      チリ箱

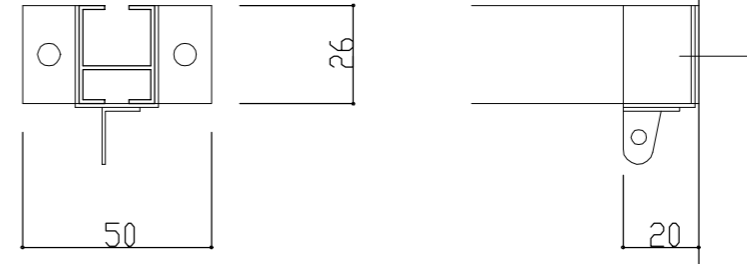
横浜市教育委員会施設部教育施設課

# 個別支援教室 4

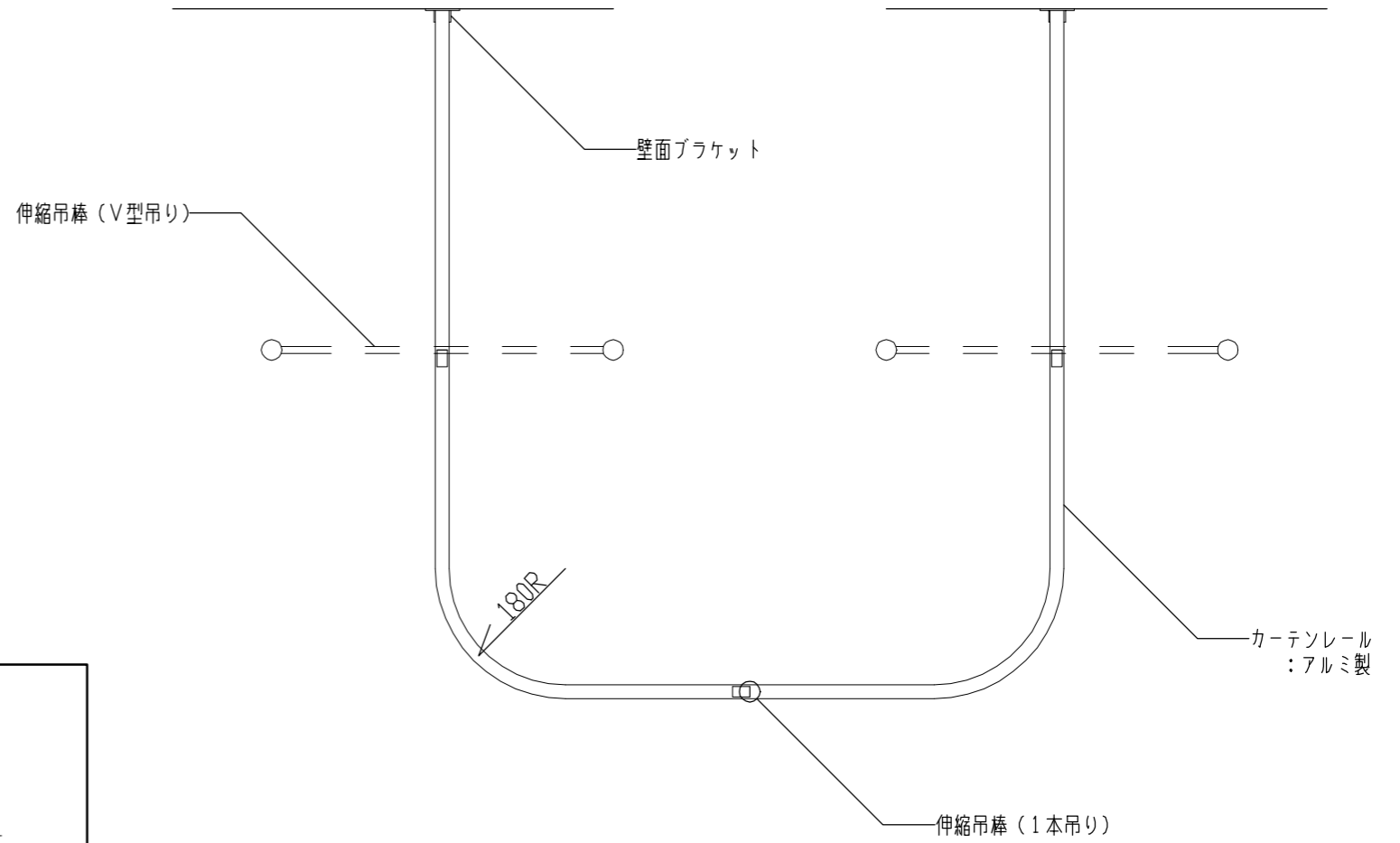
吊りカーテンレール



断面図 縮尺 1/2

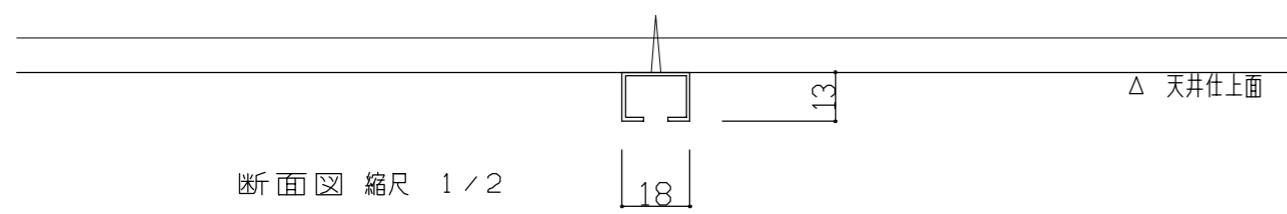


壁面ブラケット詳細図 縮尺 1/2



平面図 縮尺 1/10

直付けカーテンレール



断面図 縮尺 1/2

**仕様**

- 1) カーブレールの規格は、180R。
- 2) カーテン・ブラケット：アルミ押出型材アルマイト仕上（既製品）  
その他附属金物一式

**特記事項**

- 1) 個別支援学級：H=2, 150、h=550
- 2) 保健室：H=2, 350、h=350
- 3) 職員更衣室：H=2, 100、h=400
- 4) 児童更衣室：H=2, 000、h=700
- 5) 生徒更衣室：直付けタイプとする

**設計上の留意点**

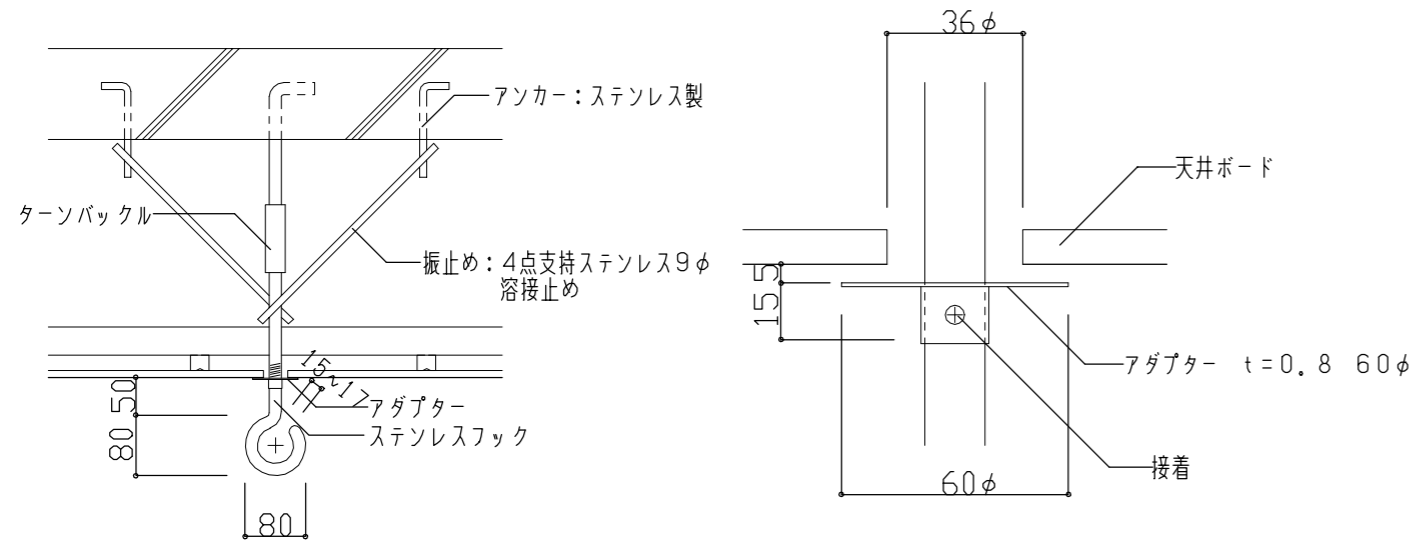
- 1) 1本吊り：レールの長さが2m以上の場合、1.5m間隔以内に1ヶ所の割で吊棒を設置。
- 2) V型吊り：カーブレールのコーナー部。または、レールの片端を固定できない場合。
- 3) 三脚吊り：前後左右の揺れを防止する場合。

図面名称	カーテンレール	
縮尺	1/2, 1/10	平成30年2月
横浜市建築局		I-219

A、B - 天井吊りフック 1/10,1/2

C - 柱型付フック 1/5

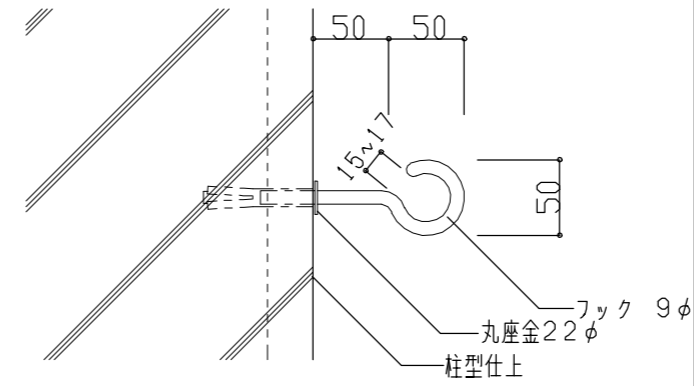
D - 梁型付フック 1/5



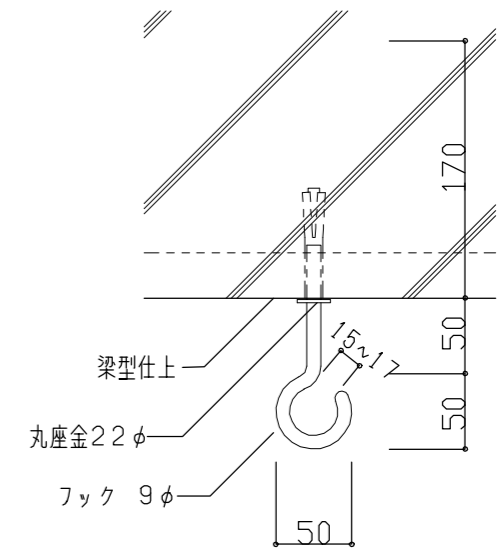
アダプター詳細図 縮尺1/2

※天井材には接着しないこと

- A ステンレスフック16φ：個別支援学級（第二学習室）
- B ステンレスフック 9φ：個別支援学級（第一学習室）・理科準備室・家庭科教室・図画工作教室



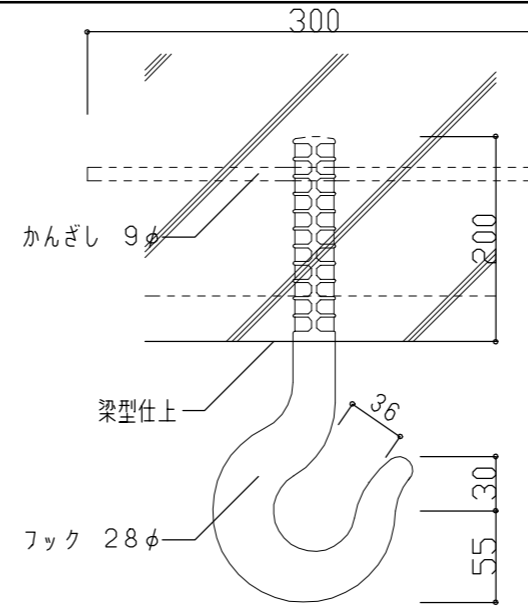
図画工作教室



理科教室

※ 吊り下げ耐荷重200kg以上

E - 梁型付フック 1/5



変電室

※ 吊り下げ耐荷重1,000kg以上

**個別支援教室 4**

仕様

- 1)
- 2)
- 3)

特記事項

- 1) Aは個別支援学級（第二学習室）に設置する
- 2) Bは個別支援学級（第一学習室）・理科準備室・家庭科教室・図画工作教室に設置する
- 3) Cは図画工作教室に設置する
- 4) Dは理科教室に設置する
- 5) Eは変電室に設置する

設計上の留意点

- 1)

図面名称 ステンレスフック

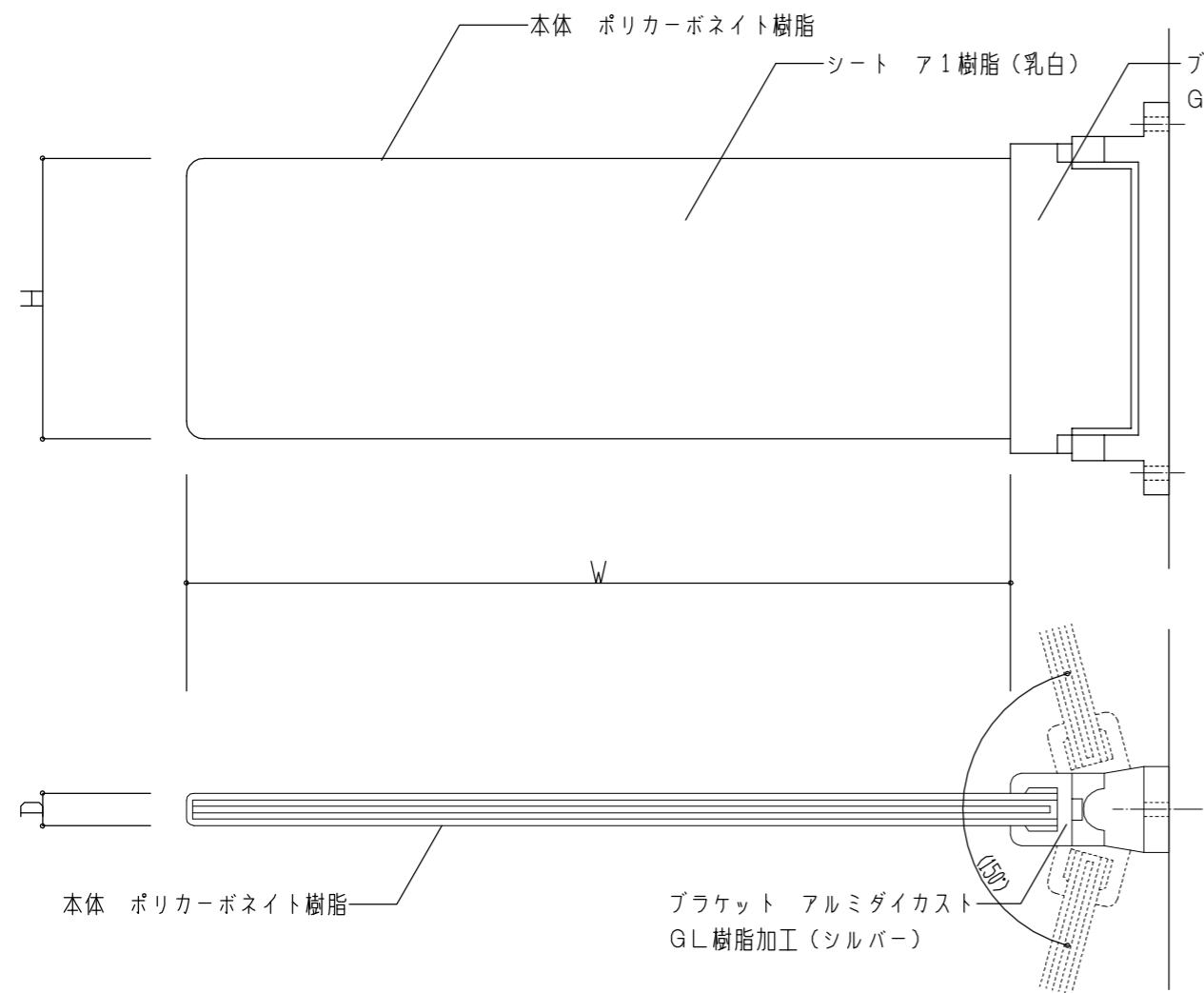
縮尺 1/2,1/3,1/10

平成30年2月

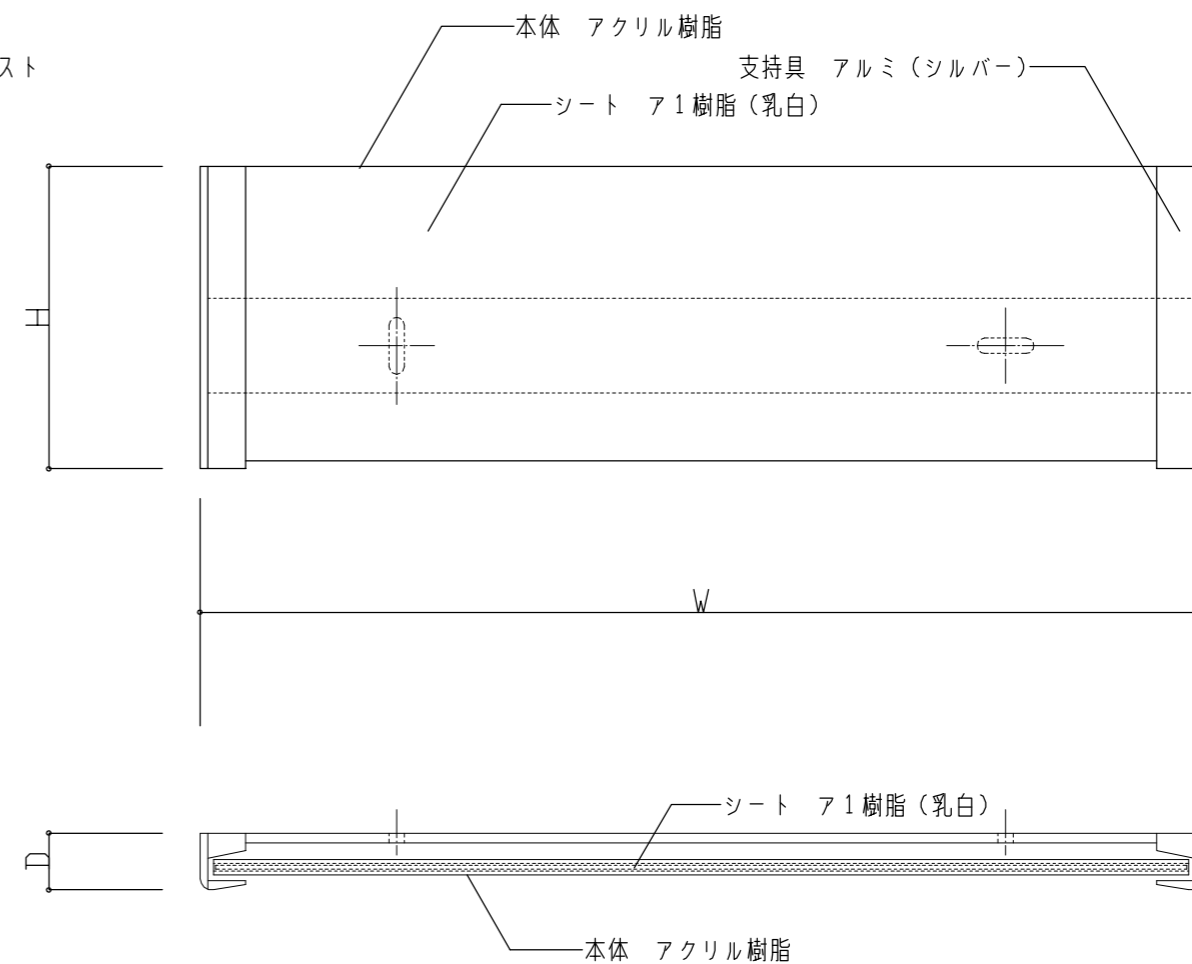
横浜市建築局

I-208

# 個別支援教室 4



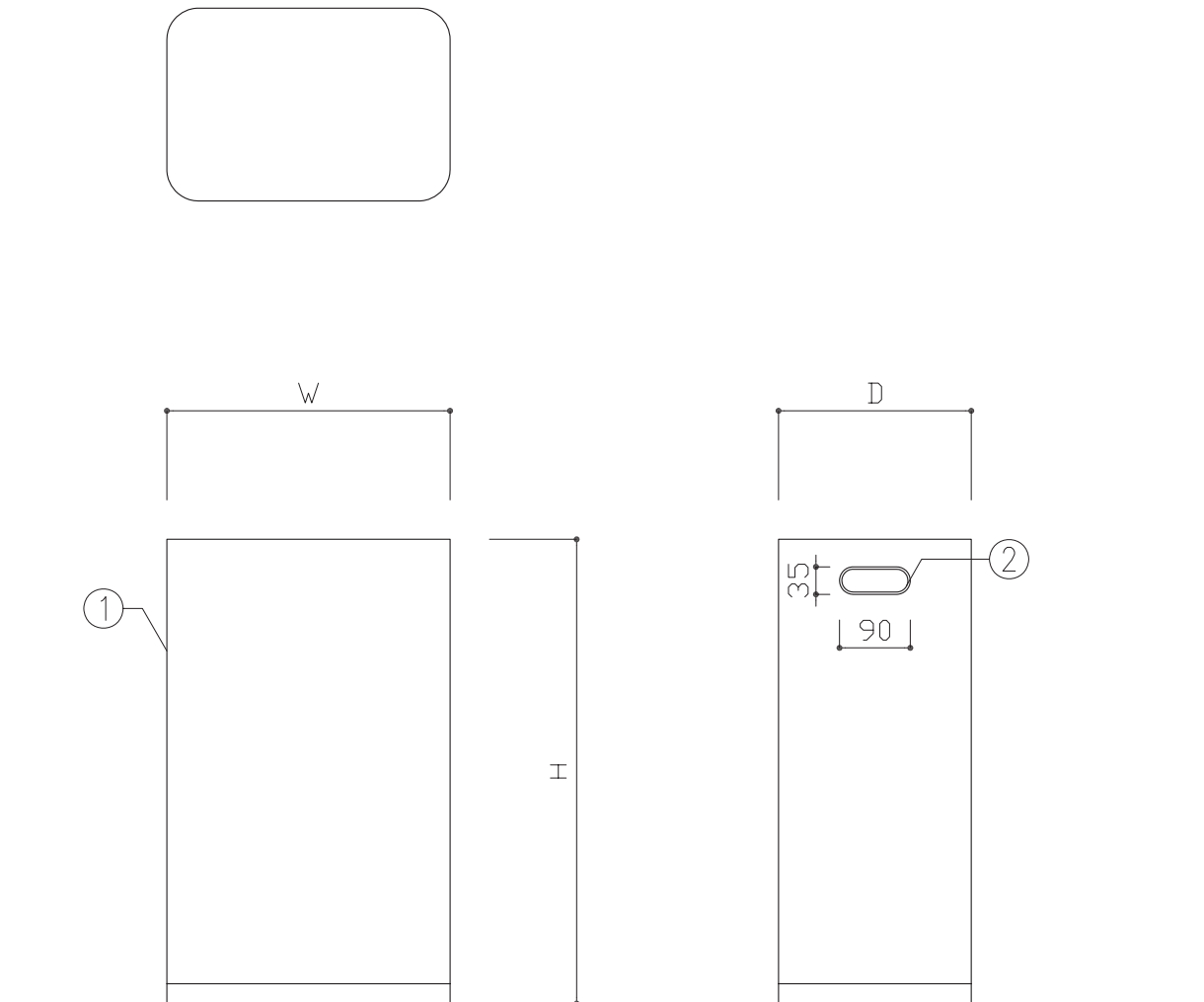
A 持出しタイプ



B 平付けタイプ

仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室 名 札	
			縮 尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204

# 個別支援教室 4



K-104

記号	名称	材質	数量	備考
①	本体	SPCC 0.4t	1	鋼板
②	取手	合成ゴム	2	

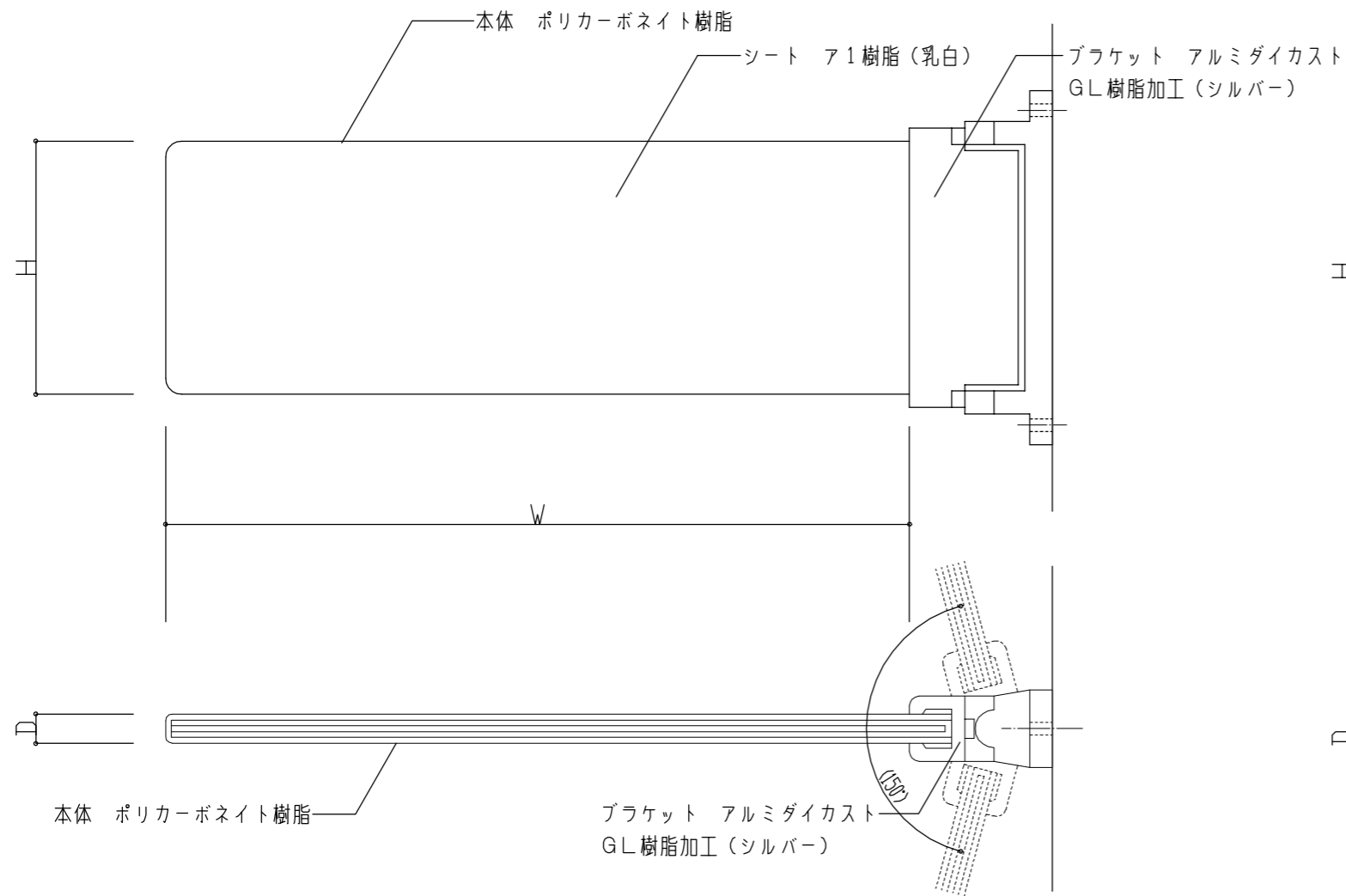
本体：メラミン焼付塗装（アイボリー）

【寸法】

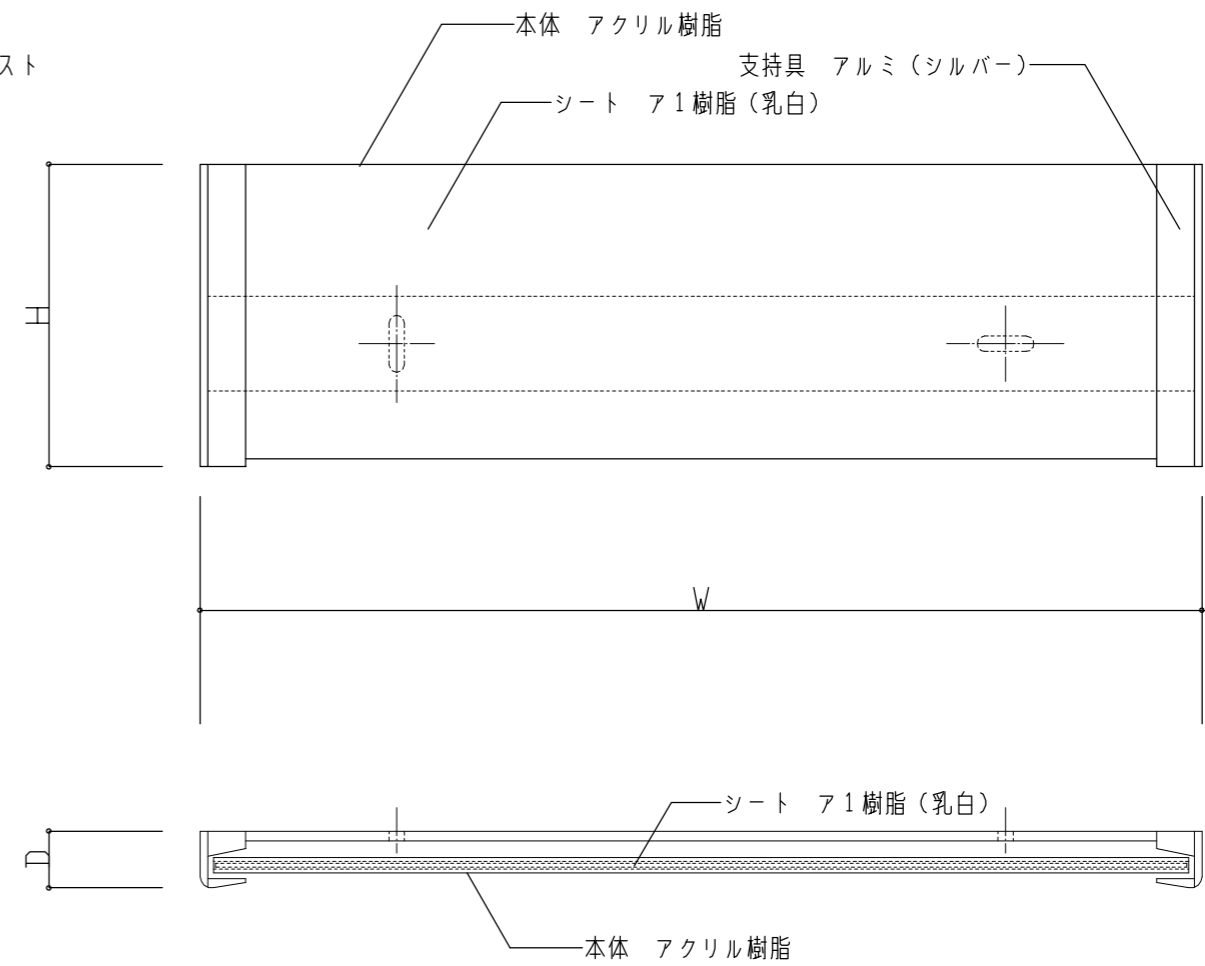
A (標準) w360 d245 h590  
B (小型) w275 d190 h530

名称 ちり箱

横浜市教育委員会施設部教育施設課



A 持出しタイプ



B 平付けタイプ

仕様

- 1)
- 2)
- 3)

特記事項

- 1) A: 小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78)
- 2) B: 中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)

設計上の留意点

- 1)

図面名称

室名札

縮尺

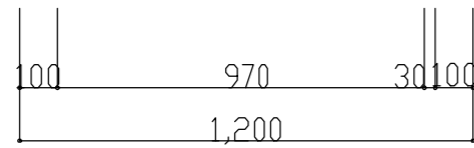
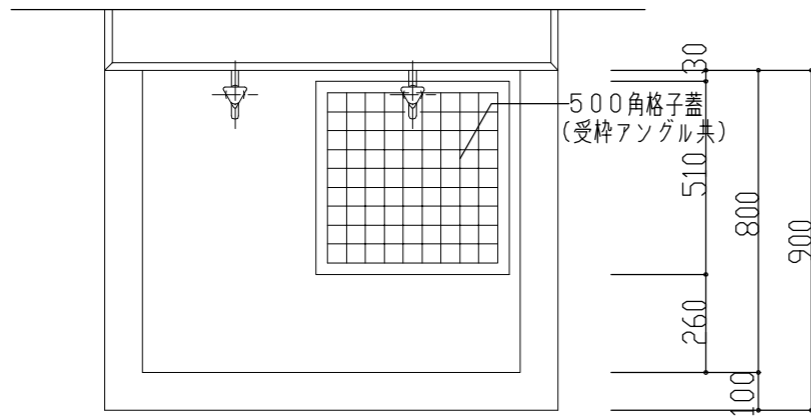
1/2

平成30年2月

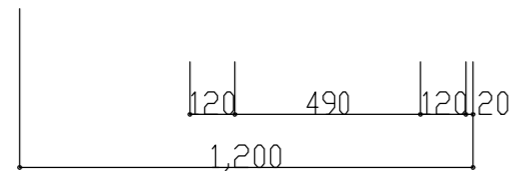
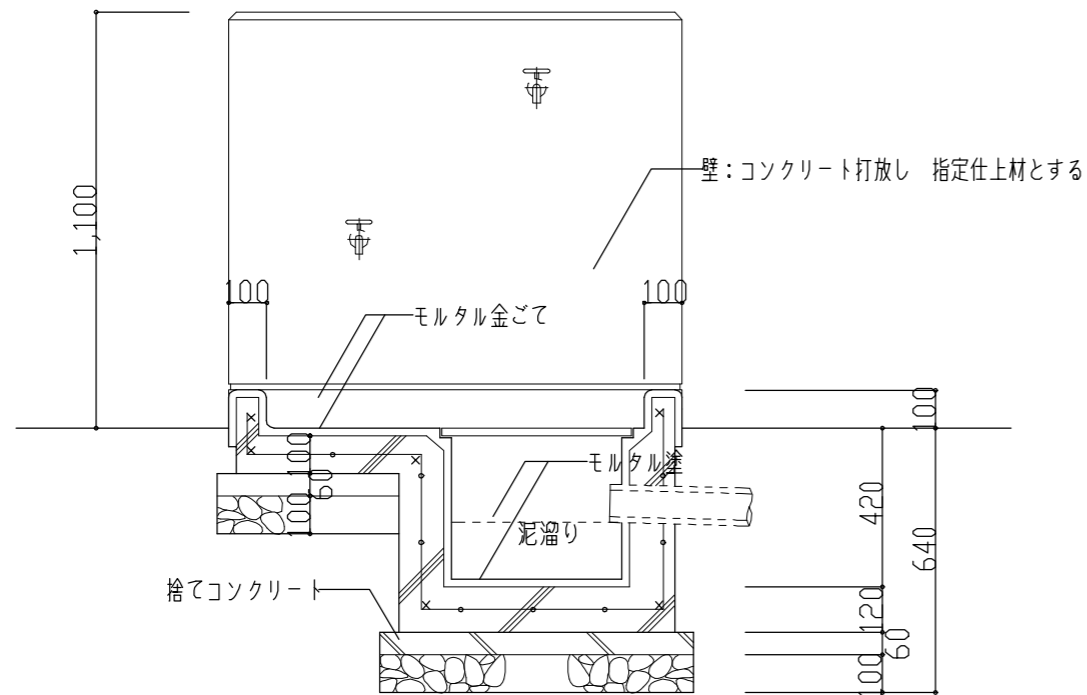
横浜市建築局

I-204

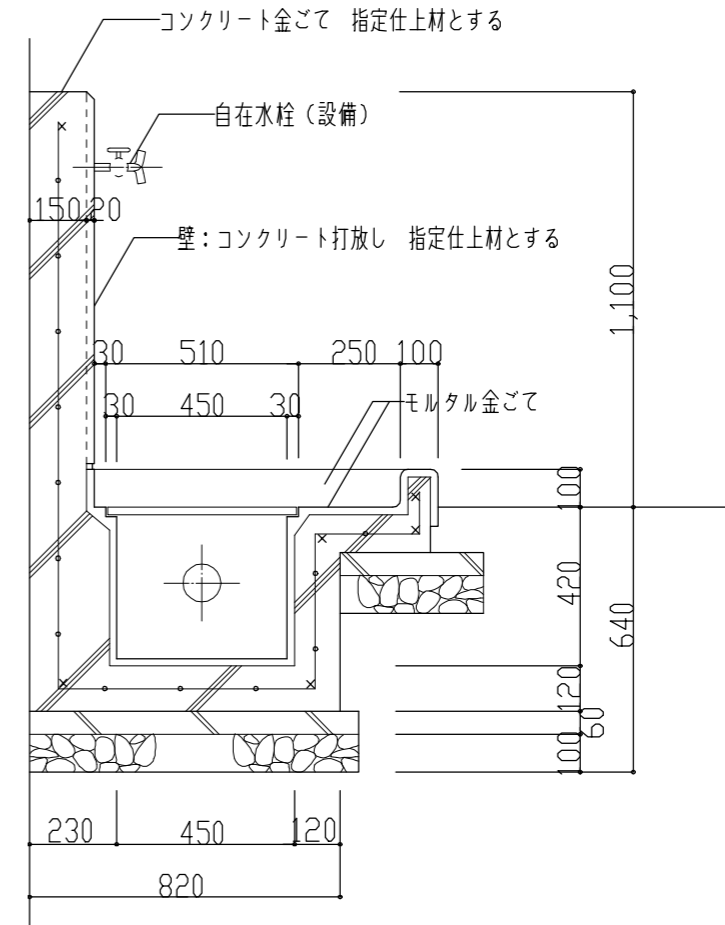
# 倉庫（技術）



平面図



断面図

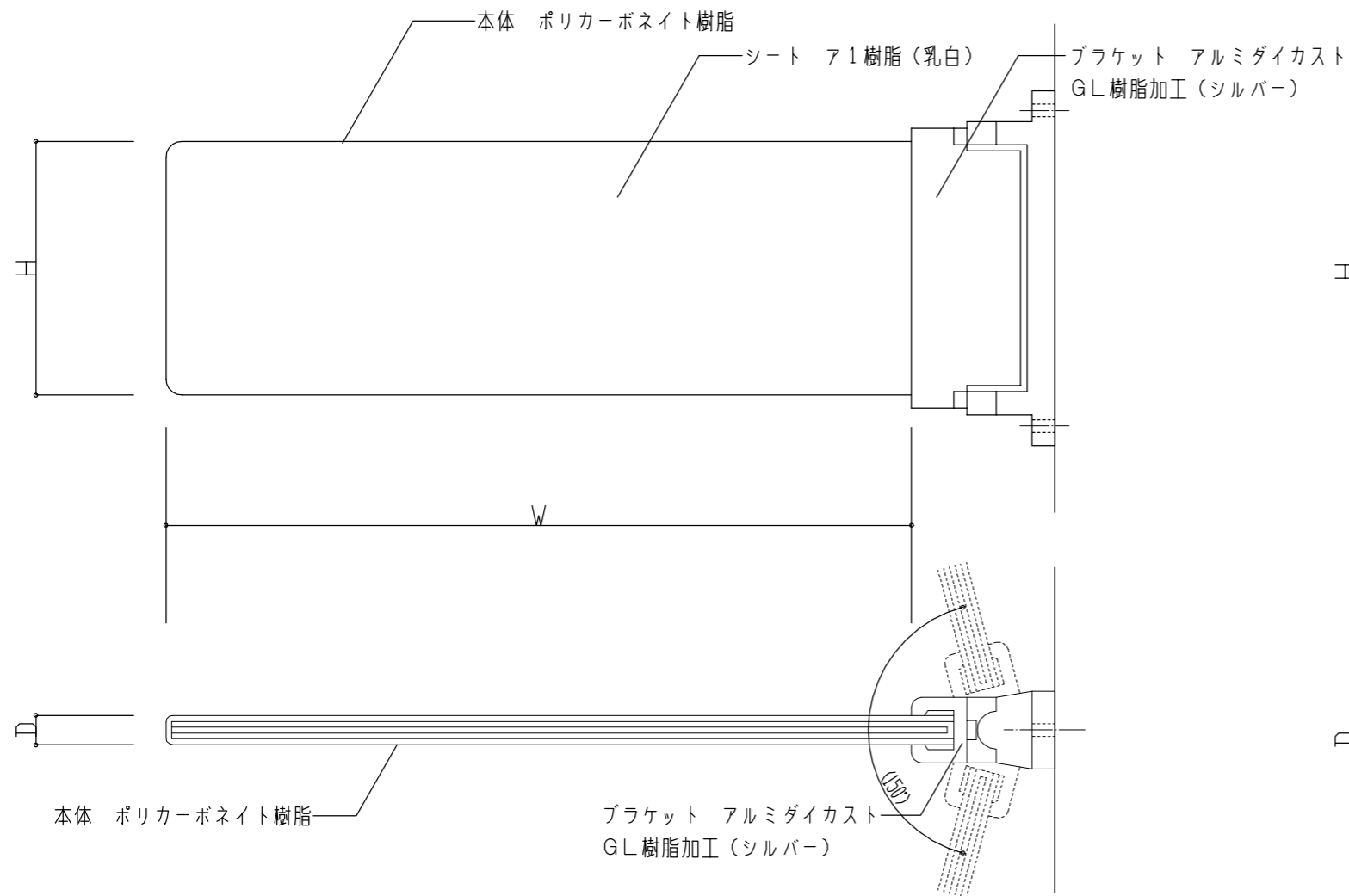


断面図

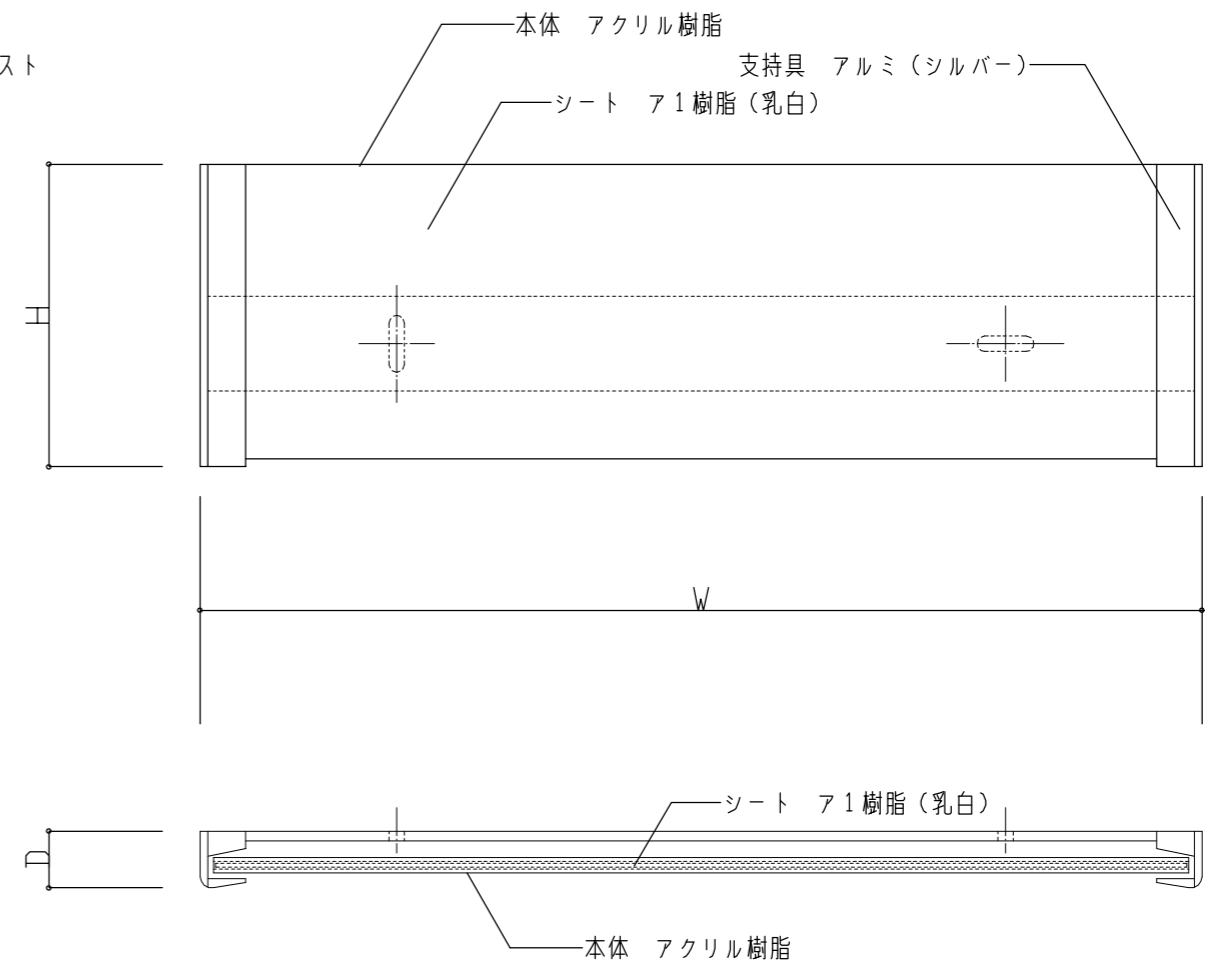
\* 配筋 端部 D13  
その他 D10@200 (タテヨコ共)

仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1)	設計上の留意点 1)	図面名称	外部流し（個別支援学級・倉庫）	
			縮 尺	1/20	平成30年2月
			横浜市建築局		I - 104





A 持出しタイプ



B 平付けタイプ

仕様

- 1)
- 2)
- 3)

特記事項

- 1) A：小学校 持出しタイプ（W229×D9×H78）
- 2) B：中学校 平付けタイプ（W265×D15×H80）

設計上の留意点

- 1)

図面名称

室名札

縮尺

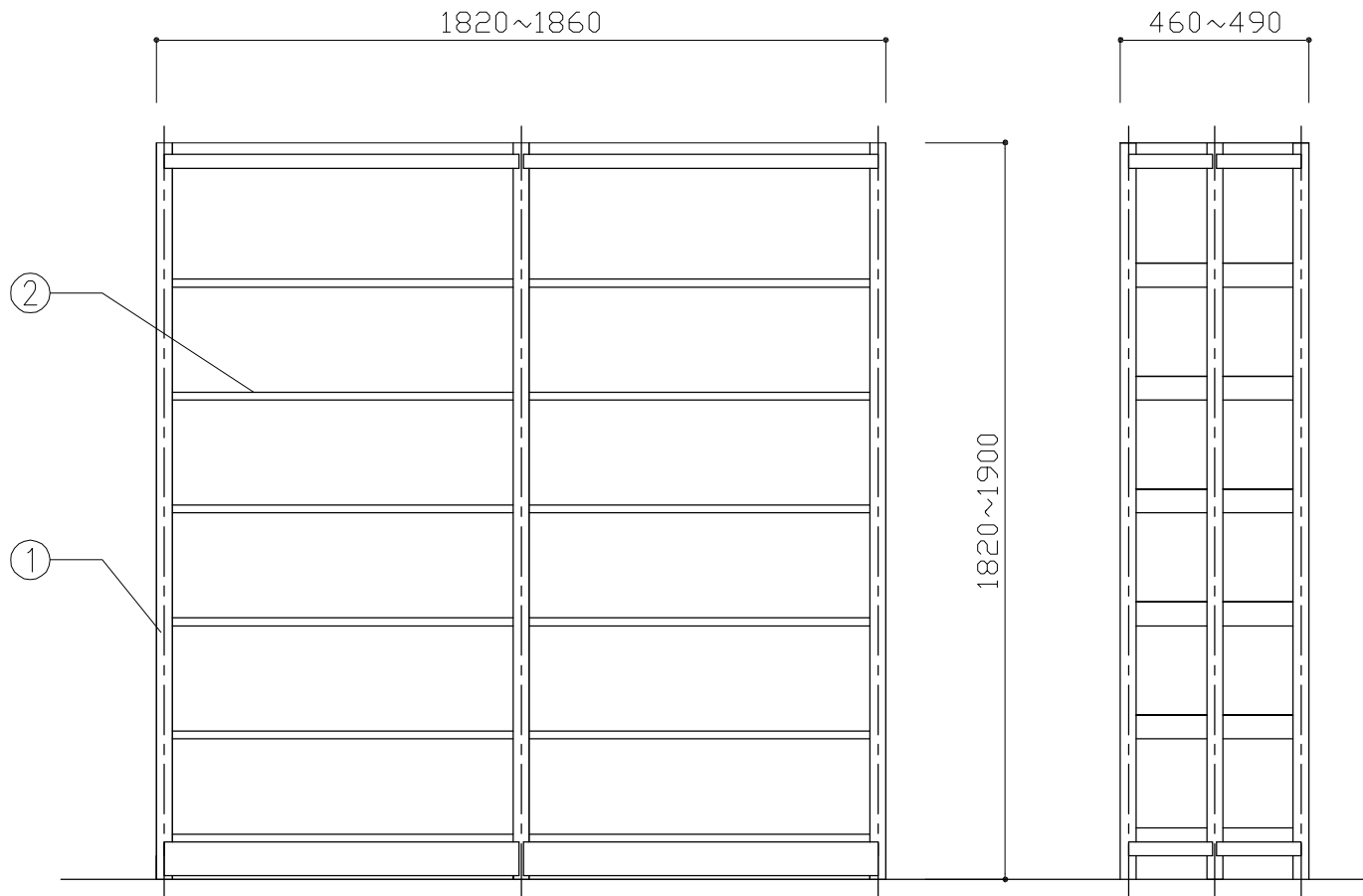
1/2

平成30年2月

横浜市建築局

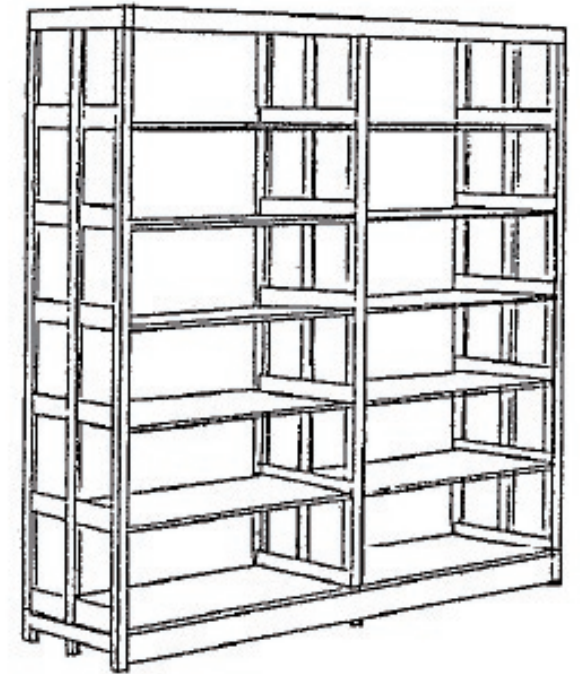
I-204

# 倉庫（技術）



正面図

側面図



K-128

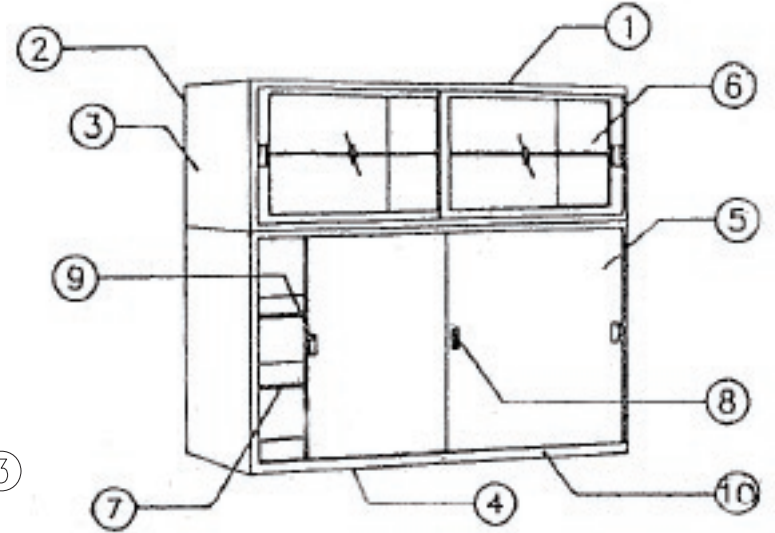
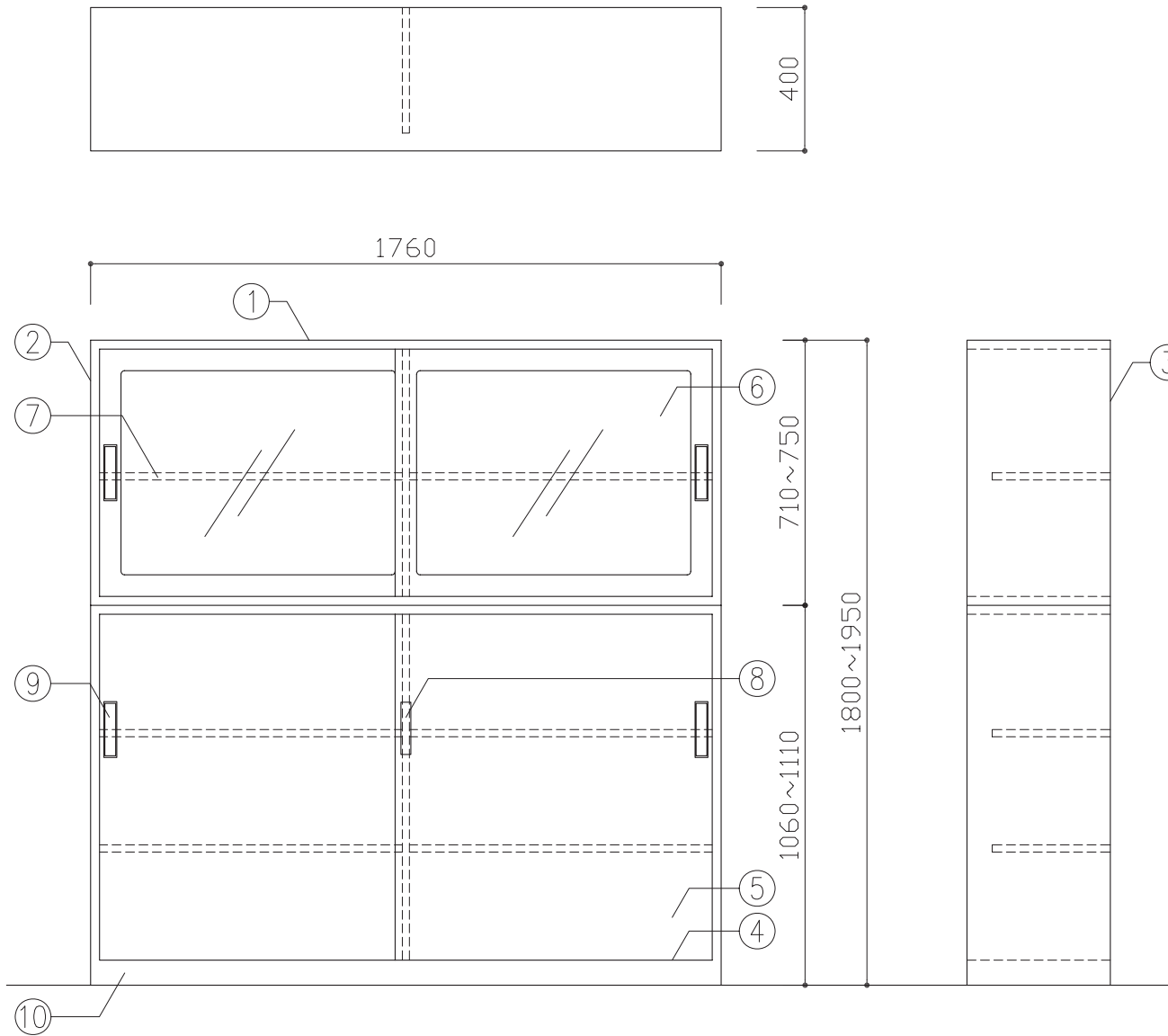
記号	名称	材質	数量	備考
①	柱	SPCC	9	鋼板
②	棚	SPCC	12	鋼板

・グリーン購入法適合品とする

名称 複柱式書架（複式2連）

教育委員会施設部教育施設課

# 倉庫（技術）



K-107

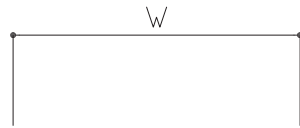
記号	名称	材質	加工	備考
①	天板	SPCC-SD	メラミン焼付	鋼板
②	側板	SPCC-SD	メラミン焼付	鋼板
③	裏板	SPCC-SD	メラミン焼付	鋼板
④	地板	SPCC-SD	メラミン焼付	鋼板
⑤	戸板	SPCC-SD	メラミン焼付	鋼板
⑥	ガラス	透明 3.0t		
⑦	棚板	SPCC-SD		鋼板
⑧	錠前	ABS樹脂		
⑨	引手	ABS樹脂		
⑩	アジャスター 又はベース	鉄 SPCC-SD	 メラミン焼付	 鋼板

・新古品(可) ・A4対応 ・棚ピッチ 19.5mm

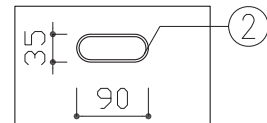
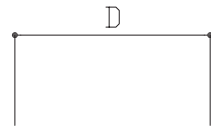
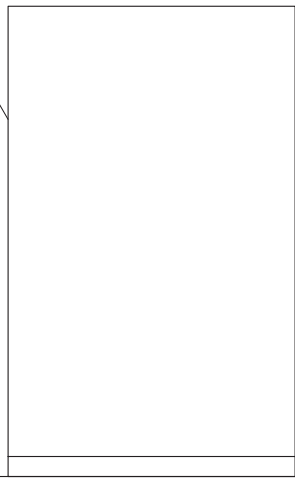
名称 引違書庫 A

横浜市教育委員会施設部教育施設課

# 倉庫（技術）



①



②



K-104

記号	名称	材質	数量	備考
①	本体	SPCC 0.4 t	1	鋼板
②	取手	合成ゴム	2	

本体：メラミン焼付塗装（アイボリー）

【寸法】

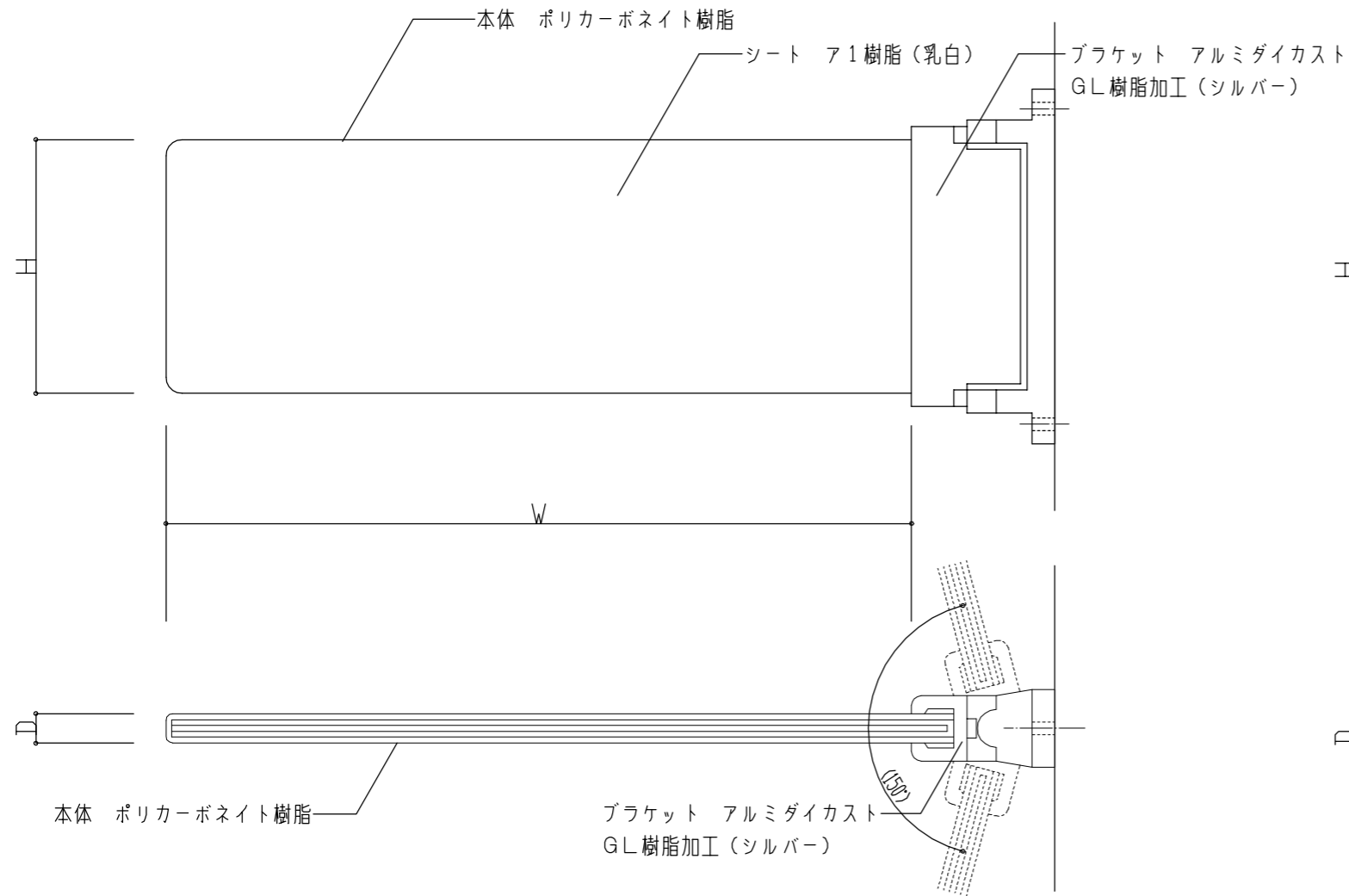
A (標準) w360 d245 h590  
B (小型) w275 d190 h530

名称

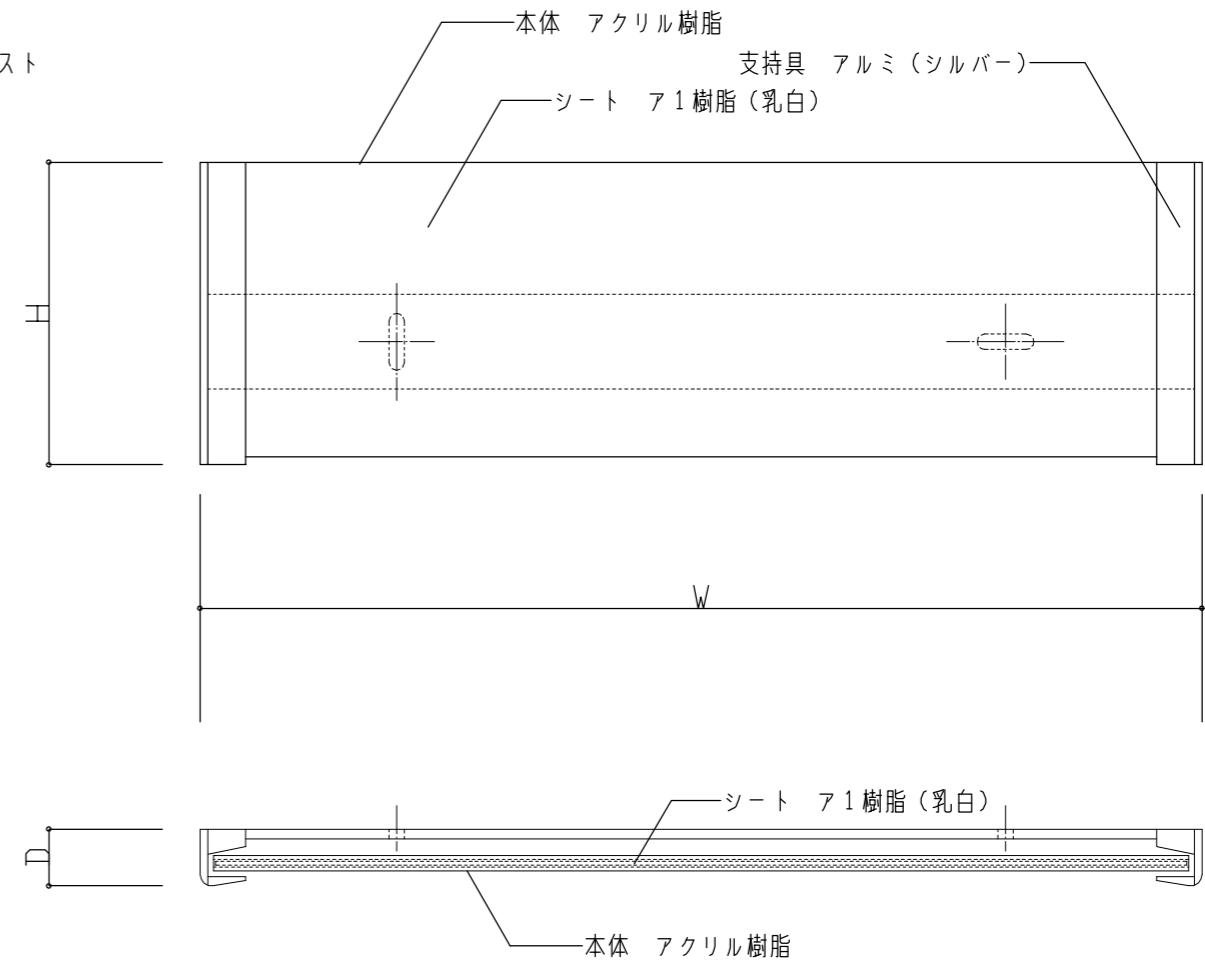
チリ箱

横浜市教育委員会施設部教育施設課

多目的室（学校指定）  
1, 2



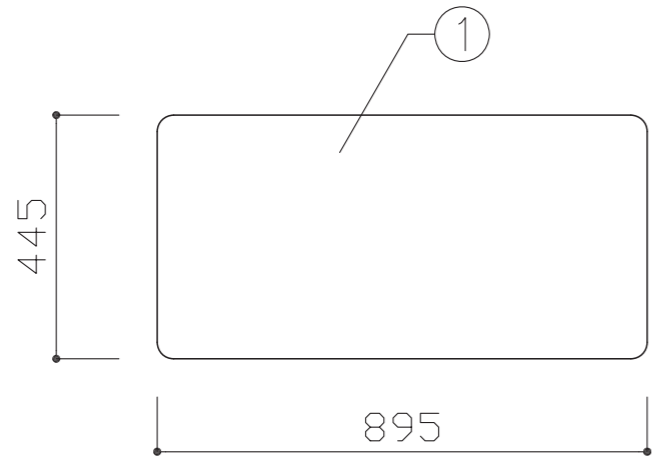
A 持出しタイプ



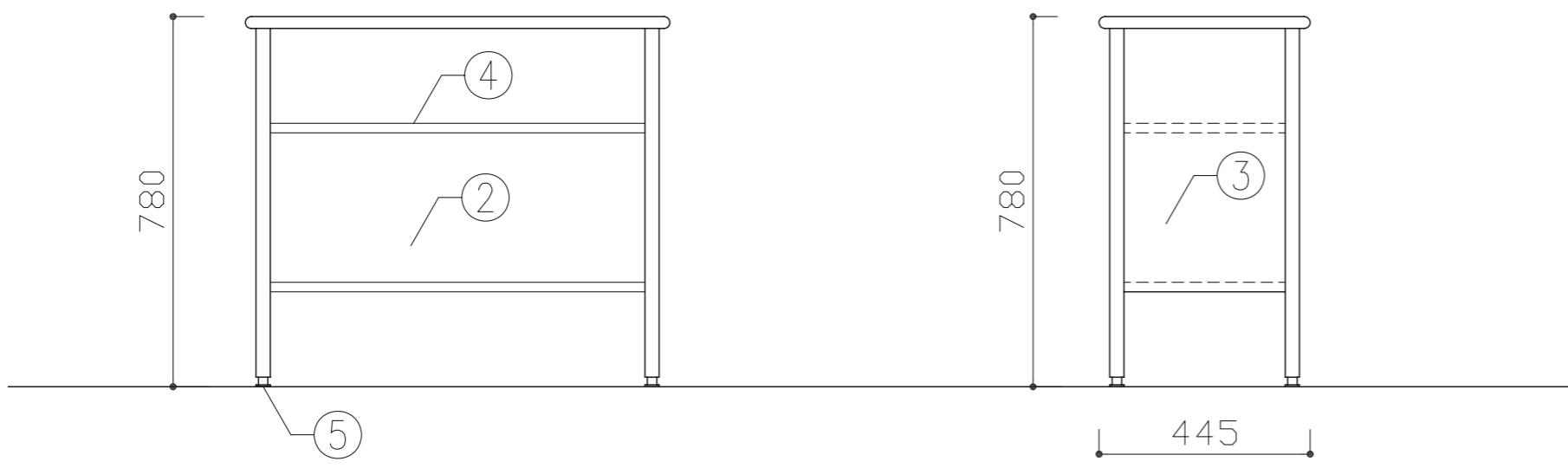
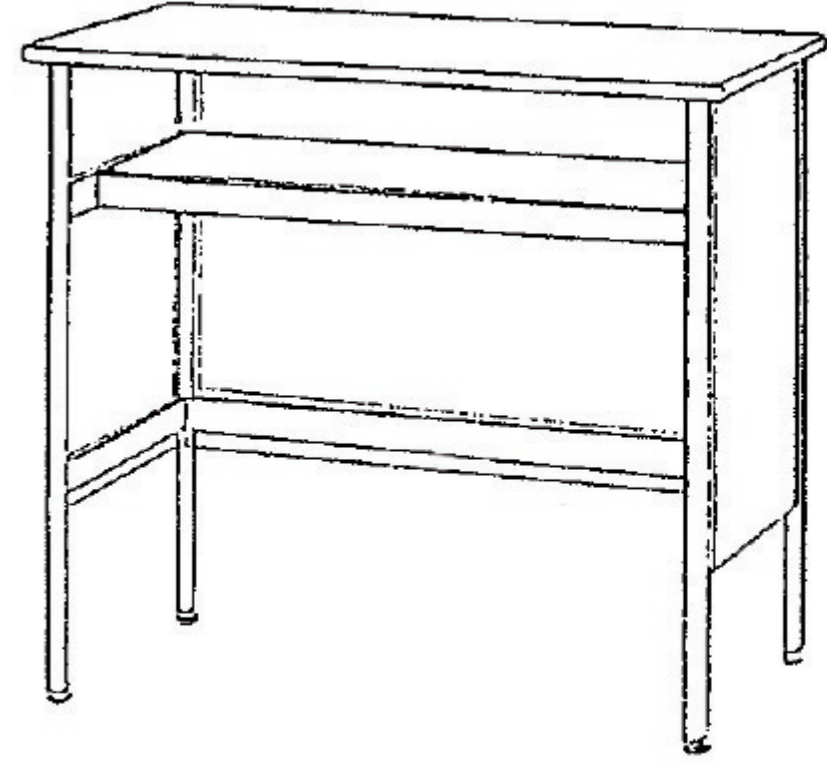
B 平付けタイプ

仕様 1) 2) 3)	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室名札	
			縮尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204

多目的室（学校指定）  
1, 2



平面図



正面図

断面図

K-101

記号	名称	材質	数量	備考
①	甲板	積層合板		鋼板
②	向板パネル	SPCC		鋼板
③	側板	SPCC		鋼板
④	棚板	SPCC		鋼板
⑤	アジャスター	プラパート		

・グリーン購入法適合品とする。

名称	教卓
----	----

横浜市教育委員会施設部教育施設課

# 多目的室（学校指定） 1, 2

## 1 仕様

「日本工業規格 学校用家具－教室用机・いすJIS S1021:1999」に適合し、以下の条件を満たすもの。

- (1) 机・椅子ともに4本脚とし、脚下部に下記表示のキャップをつけること。
- (2) 椅子は、同一号数の椅子を5脚以上積み重ねても転倒しないもの。
- (3) 表示ラベルについては、JIS規格を満たしW70mmxH25mmのラベルを貼付する。

## 2 材料

項目	内容
机天板	ゴム集成材
塗装	UV塗装
フレーム塗装	アクリル、合成樹脂焼付け塗装
椅子背・座板	木製合板製
脚部キャップ	ポリプロピレン又はポリエチレン製のもの
物入れ	厚さ鋼板0.7mm又はポリプロピレン3mm以上

## 3 サイズ、重量等

項目	内容
机天板	W650mmxD450mmx厚み16mm以上
物入れ	W520mmxD330mmxH75mm
机・椅子の重量	5号机で11kg以下、椅子5.5kg以下

## 4 その他

- (1) 机天板の交換が容易にできること。ネジはステンレス等錆び付かないものを用いること。
- (2) 製造年、月の表示を不減製のインク等で表示すること。
- (3) グリーン購入法適合商品であること。
- (4) 材料は全て建築基準法及び施行令等の区分「F☆☆☆☆」（ホルムアルデヒド放散速度 $5 \mu\text{g}/\text{m}^2\text{h}$ 以下）の物であること。
- (5) 塗料・接着剤等に揮発性有機化合物等が含有されている場合は、製品完成後充分乾燥・蒸散に努めてから納品すること。（揮発性有機化合物対策を充分に施すこと）
- (6) MSDS（化学物質等安全データシート）を提出すること。また、製造過程で一時的に使用される化学物質についても、MSDSに準じたものを提出すること。
- (7) JIS適合、グリーン購入法適合及び揮発性有機化合物放散量適合を証明する書類（検査結果証明書等）を提出すること。※  
※：小型チャンバー法等による検査成績書

児童生徒用机及び椅子(S1021-1999)参考形状等

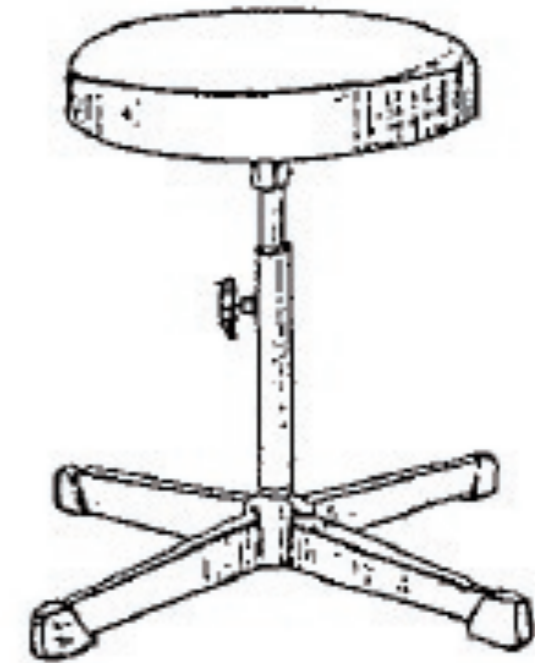
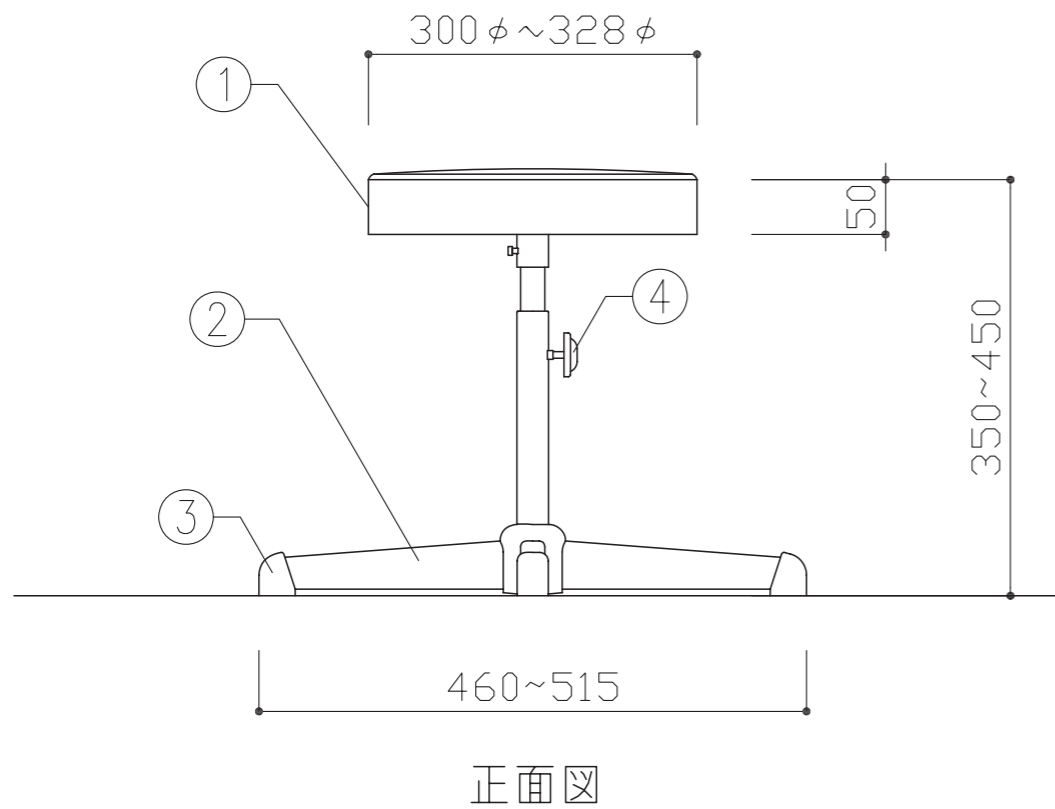
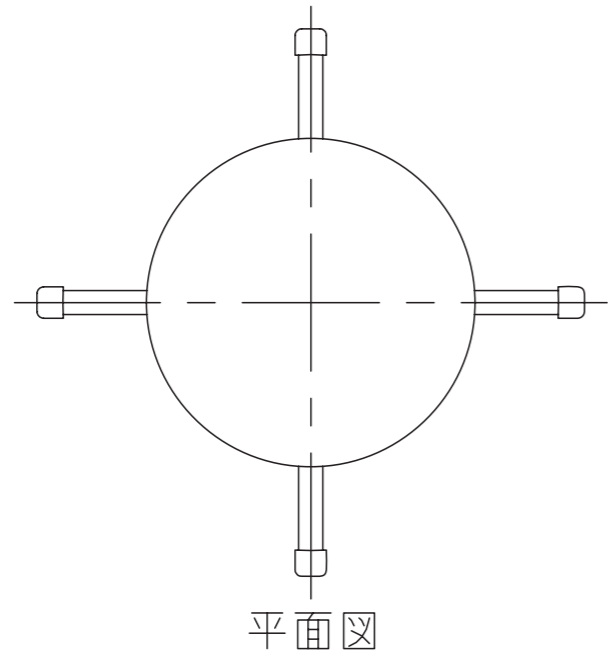
号数	H (机面の高さ)	標準身長	SH (椅子座高)	SW (椅子幅)	SD (椅子奥行)	ラベルの 地色
6号	760mm	180cm	460mm	360mm	400mm	白
5号	700mm	165cm	420mm	360mm	380mm	青
4号	640mm	150cm	380mm	360mm	360mm	緑
3号	580mm	135cm	340mm	360mm	330mm	黄
2号	520mm	120cm	300mm	360mm	290mm	橙

仕様書 NO, 301 K-301

名称 | 児童生徒用 机及び椅子

横浜市教育委員会施設部教育施設課

多目的室（学校指定）  
1, 2



K-102

記号	名称	材質	数量	備考
①	座板	鋼製ビニールレザー		
②	足	角パイプ		
③	元端	樹脂		
④	上下調節ハンドル	樹脂		

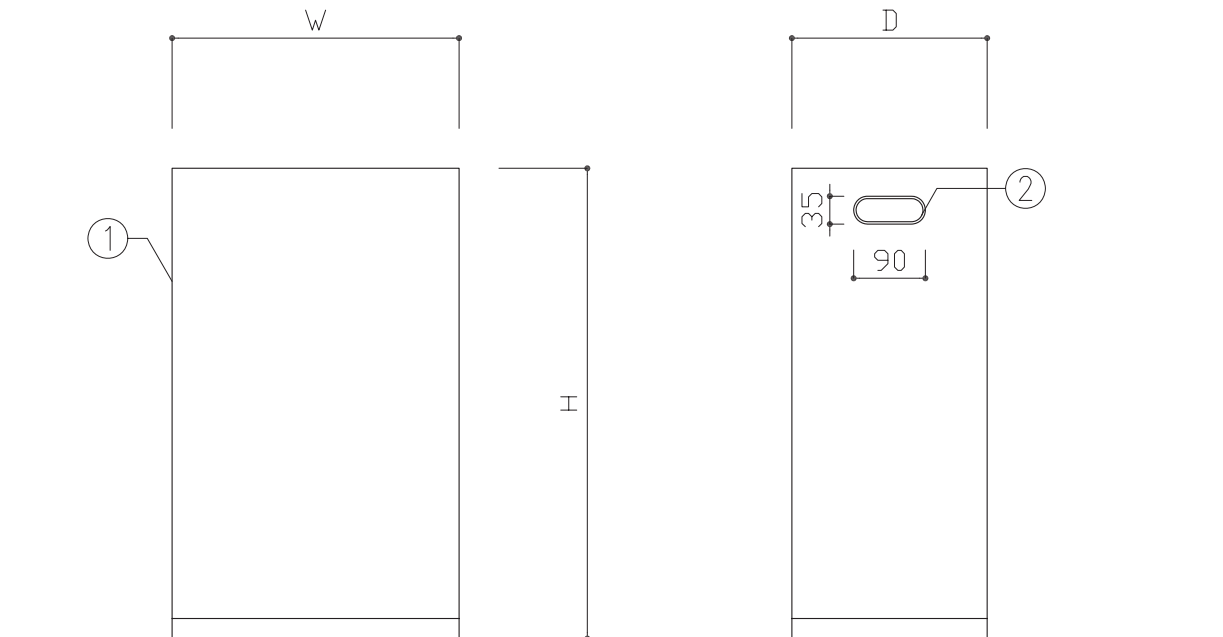
・グリーン購入法適合品とする。

名称	教師用丸椅子
----	--------

横浜市教育委員会施設部教育施設課



# 多目的室（学校指定） 1, 2



K-104

記号	名称	材質	数量	備考
①	本体	SPCC 0.4 t	1	鋼板
②	取手	合成ゴム	2	

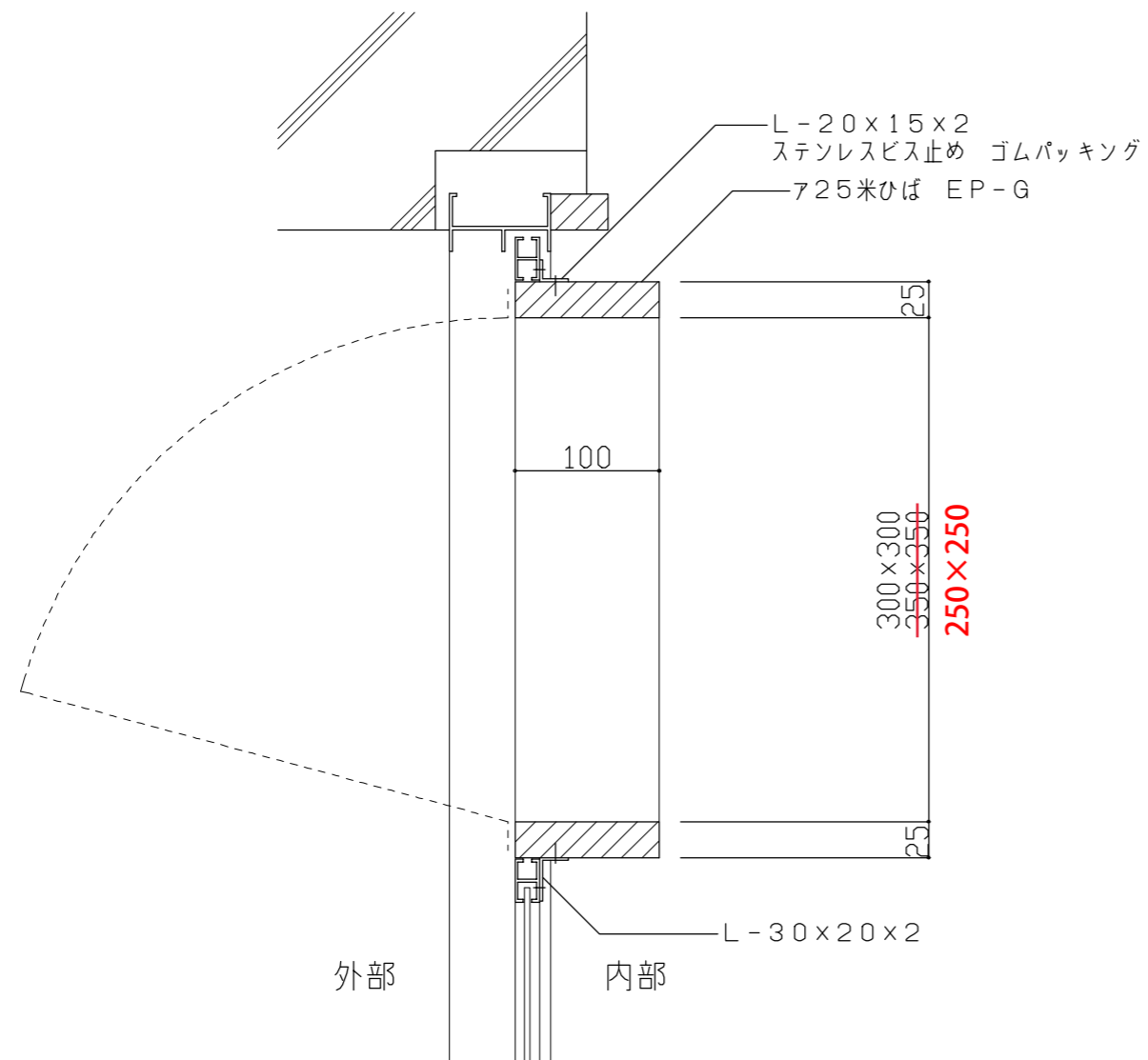
本体：メラミン焼付塗装（アイボリー）

【寸法】

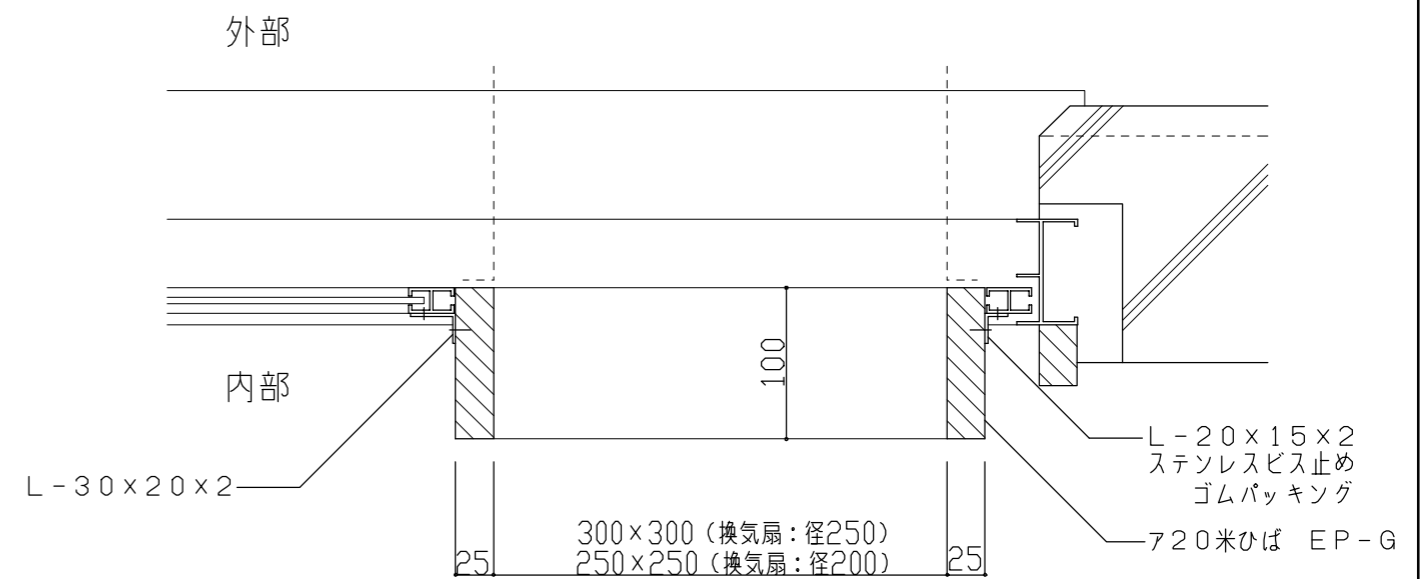
A (標準) w360 d245 h590  
B (小型) w275 d190 h530

名称      チリ箱

横浜市教育委員会施設部教育施設課

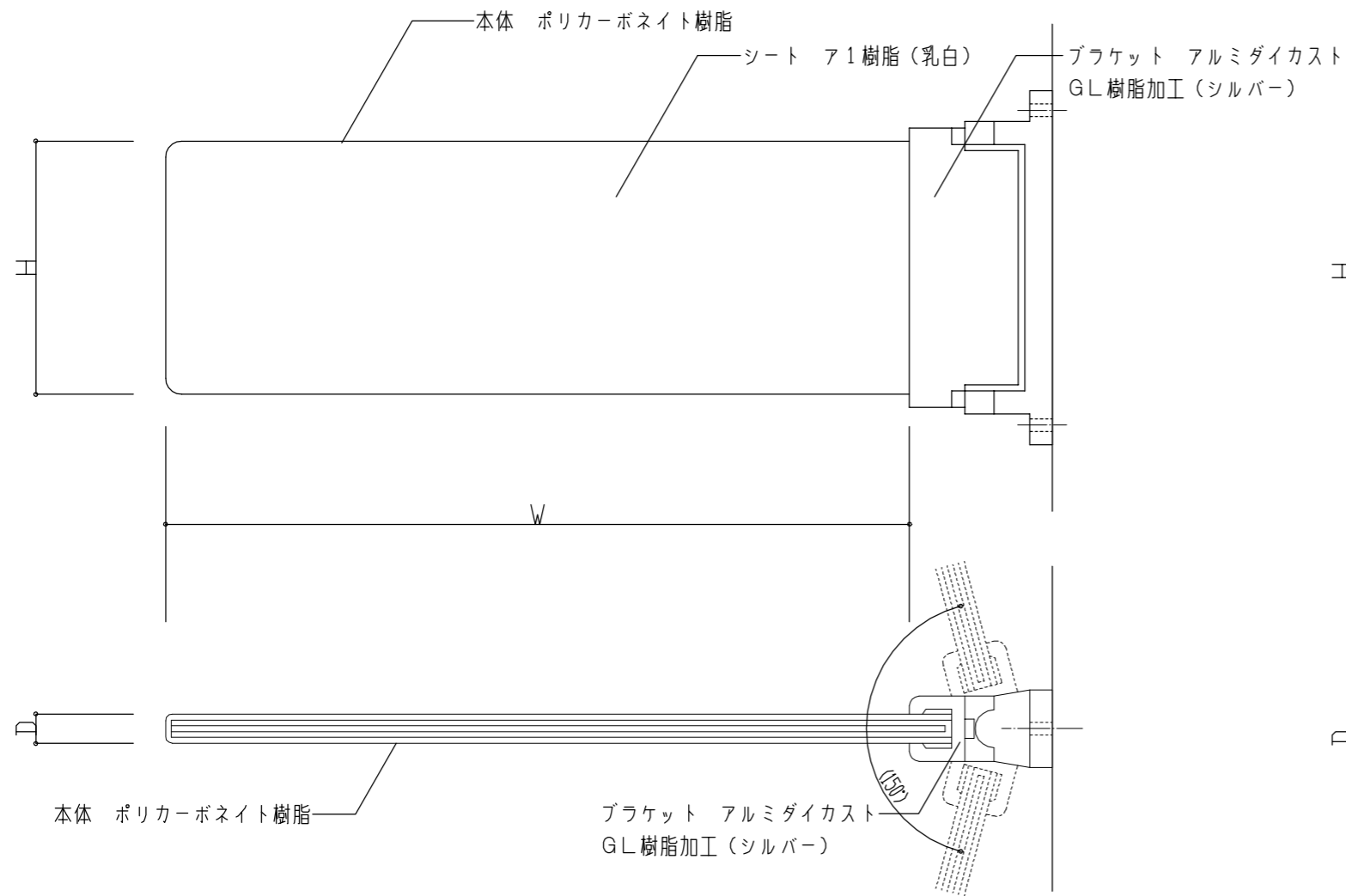


断面図

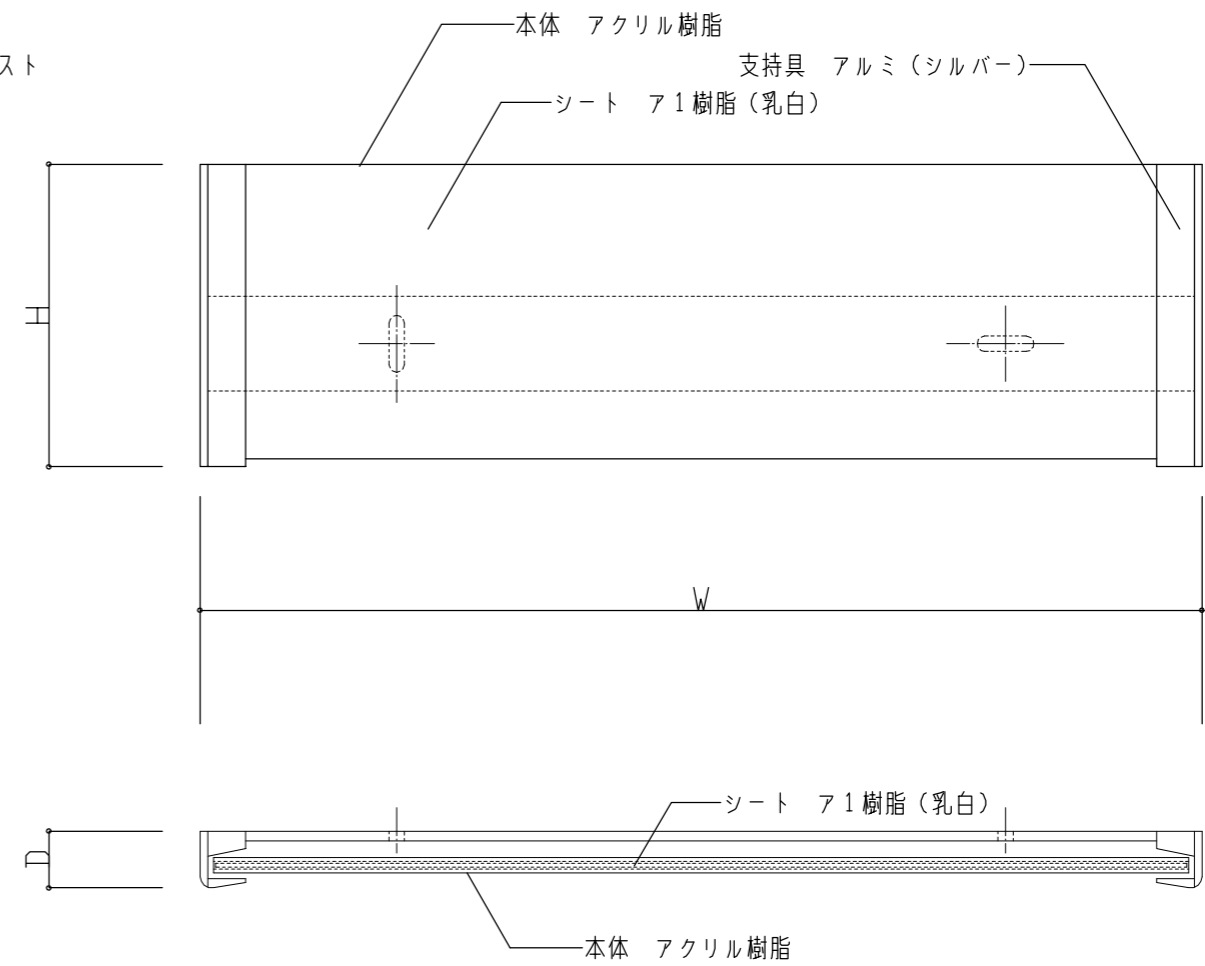


平面図

仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1)	設計上の留意点 1) サッシュ取付の場合のサッシュ取付枠(組子)は、サッシュ工事に含むものとする 2) 延焼の恐れのある部分に設置する場合には、不燃枠とする。	図面名称	換気扇枠	
			縮 尺	1/5	平成30年2月
			横浜市建築局		I-205

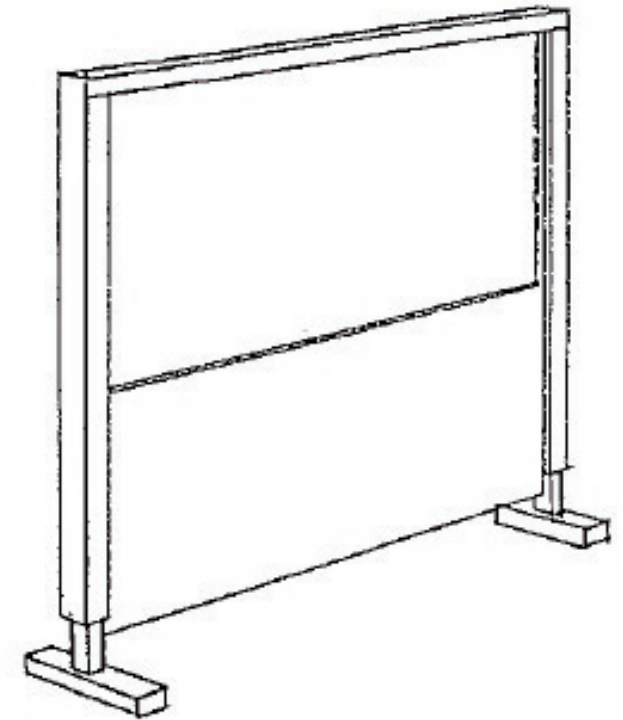
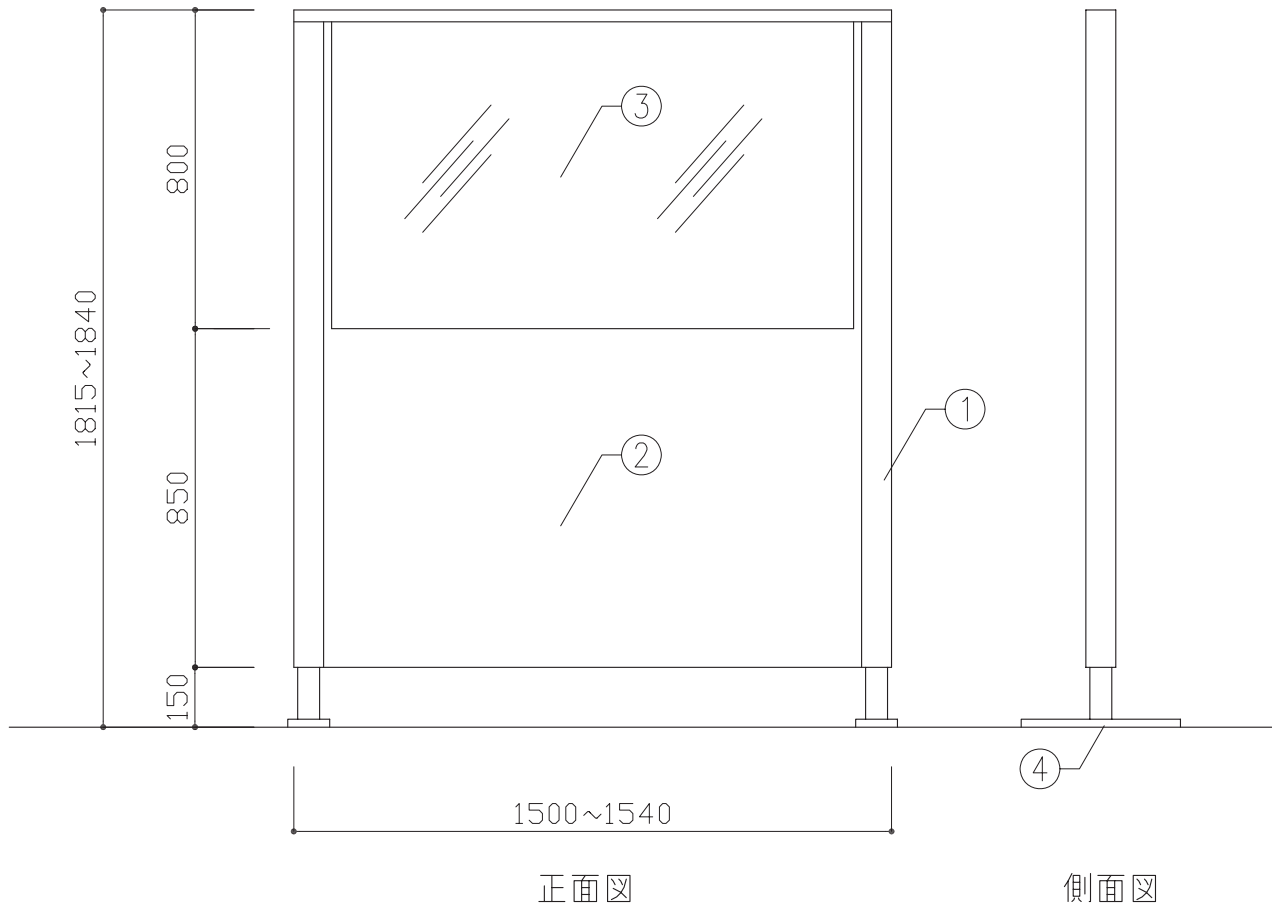


A 持出しタイプ



B 平付けタイプ

仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室 名 札	
			縮 尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204



K-130

記号	名称	材質	数量	備考
①	支柱	SPCC 12t 塗装	2	鋼板
②	表面材	塩ビ鋼板 0.5t	1	
③	ガラス	型板ソフトペン 4t	1	
④	安定板	アルミダイキャストor鉄板 塗装	2	

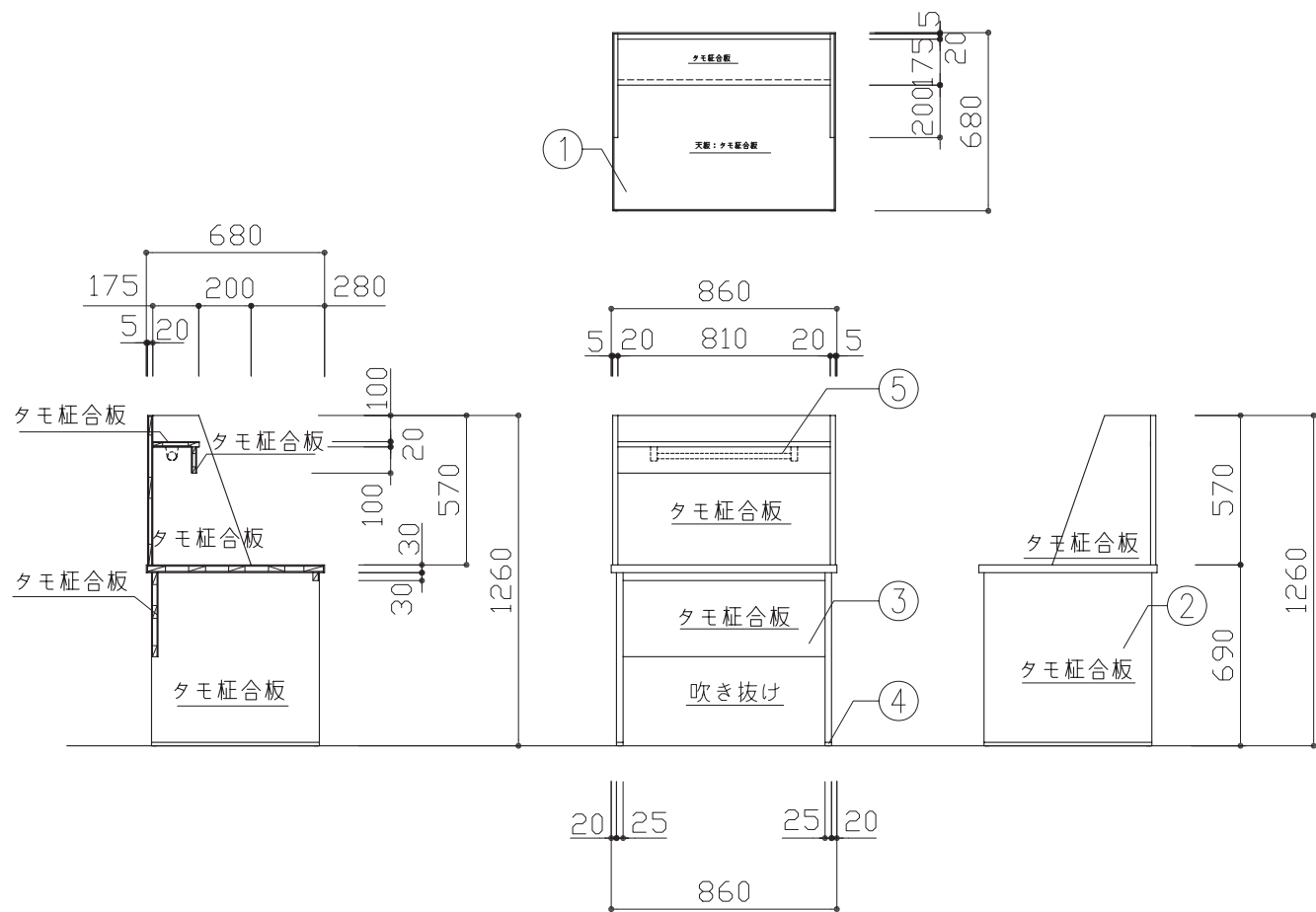
・グリーン購入法適合品とする

名称

つい立

教育委員会施設部教育施設課

# 特別支援教室



K-451

記号	名称	材質	数量
1	天板	タモ桎合板	
		木口：挽板練り付け	
2	本体	タモ桎合板	
		木口：挽板練り付け	
3	幕板	タモ桎合板	
		木口：挽板練り付け	
4	アジャスター		4
5	蛍光灯	電源コード付	1
	塗装	自然塗料またはウレタン塗装仕上げ	

公差±3mm

名称 キャレルデスク（照明付）

教育委員会施設部教育施設課

## 1 仕様

「日本工業規格 学校用家具－教室用机・いすJIS S1021:1999」に適合し、以下の条件を満たすもの。

- (1) 机・椅子ともに4本脚とし、脚下部に下記表示のキャップをつけること。
- (2) 椅子は、同一号数の椅子を5脚以上積み重ねても転倒しないもの。
- (3) 表示ラベルについては、JIS規格を満たしW70mmxH25mmのラベルを貼付する。

## 2 材料

項目	内容
机天板	ゴム集成材
塗装	UV塗装
フレーム塗装	アクリル、合成樹脂焼付け塗装
椅子背・座板	木製合板製
脚部キャップ	ポリプロピレン又はポリエチレン製のもの
物入れ	厚さ鋼板0.7mm又はポリプロピレン3mm以上

## 3 サイズ、重量等

項目	内容
机天板	W650mmxD450mmx厚み16mm以上
物入れ	W520mmxD330mmxH75mm
机・椅子の重量	5号机で11kg以下、椅子5.5kg以下

## 4 その他

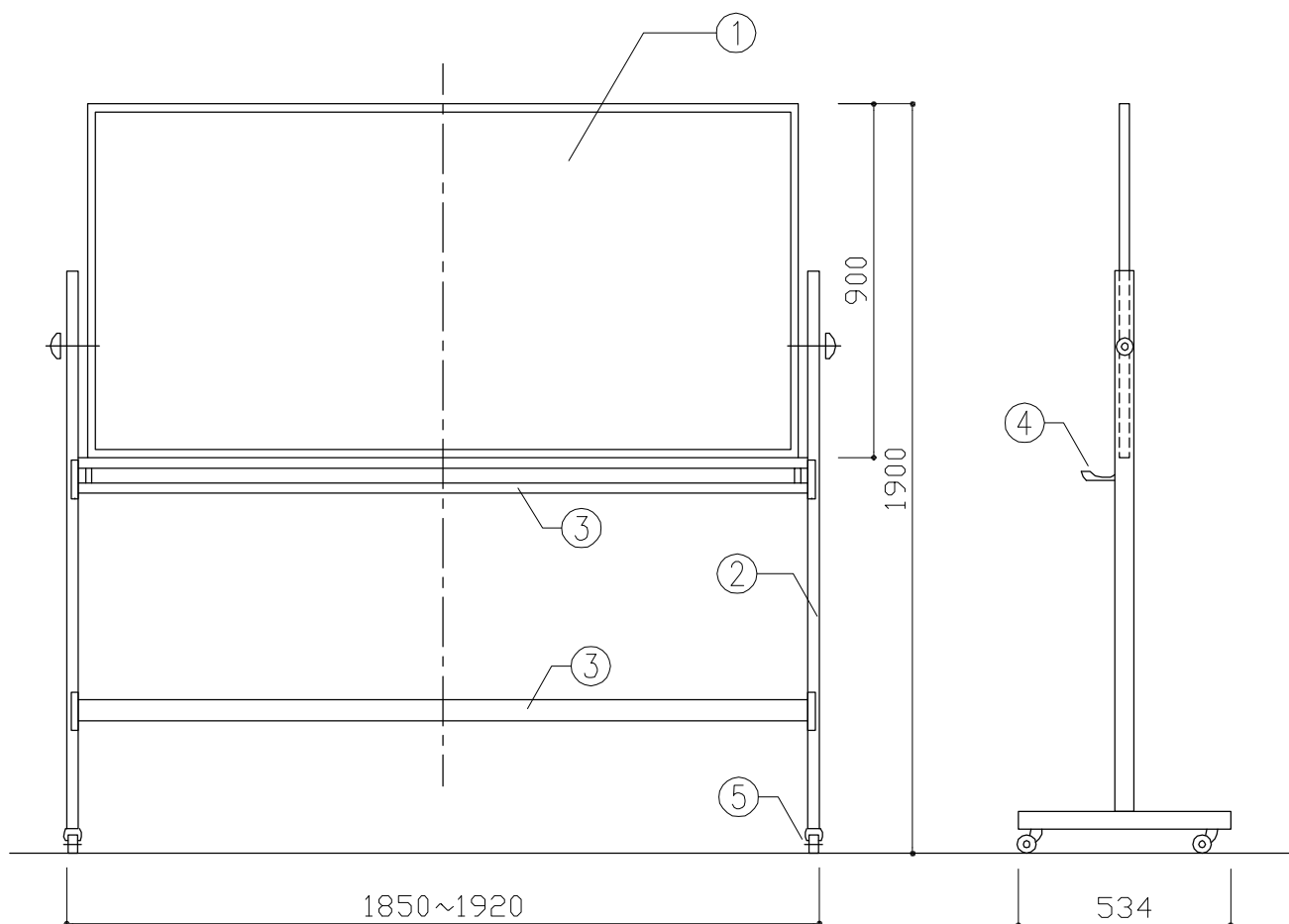
- (1) 机天板の交換が容易にできること。ネジはステンレス等錆び付かないものを用いること。
- (2) 製造年、月の表示を不減製のインク等で表示すること。
- (3) グリーン購入法適合商品であること。
- (4) 材料は全て建築基準法及び施行令等の区分「F☆☆☆☆」(ホルムアルデヒド放散速度 $5\mu\text{g}/\text{m}^2\text{h}$ 以下)の物であること。
- (5) 塗料・接着剤等に揮発性有機化合物等が含有されている場合は、製品完成後充分乾燥・蒸散に努めてから納品すること。(揮発性有機化合物対策を充分に施すこと)
- (6) MSDS(化学物質等安全データシート)を提出すること。また、製造過程で一時的に使用される化学物質についても、MSDSに準じたものを提出すること。
- (7) JIS適合、グリーン購入法適合及び揮発性有機化合物放散量適合を証明する書類(検査結果証明書等)を提出すること。  
※:小型チャンバー法等による検査成績書

児童生徒用机及び椅子(S1021-1999)参考形状等

号数	H (机面の高さ)	標準身長	SH (椅子座高)	SW (椅子幅)	SD (椅子奥行)	ラベルの 地色
6号	760mm	180cm	460mm	360mm	400mm	白
5号	700mm	165cm	420mm	360mm	380mm	青
4号	640mm	150cm	380mm	360mm	360mm	緑
3号	580mm	135cm	340mm	360mm	330mm	黄
2号	520mm	120cm	300mm	360mm	290mm	橙

仕様書 NO, 301 K-301	
名称	児童生徒用 机及び椅子
横浜市教育委員会施設部教育施設課	

# 特別支援教室



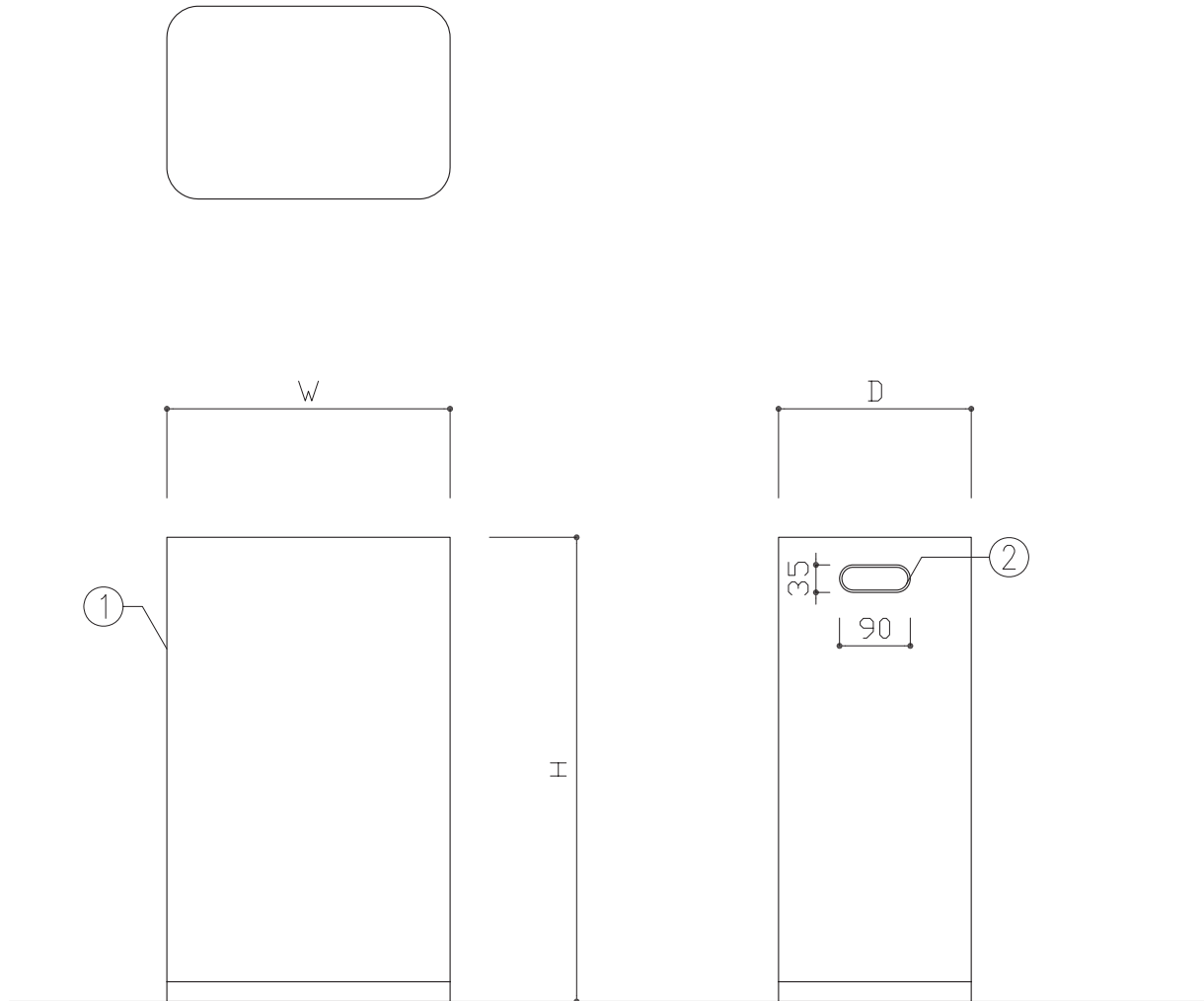
K-201

記号	名称	材質	数量
①	板面	両面ホーロー	1
②	脚部	T型角パイプ	左右各1
③	補強貫	角パイプ	2
④	粉受		1
⑤	キャスター		4

名称

移動黒板

横浜市教育委員会施設部教育施設課



K-104

記号	名称	材質	数量	備考
①	本体	SPCC 0.4t	1	鋼板
②	取手	合成ゴム	2	

本体：メラミン焼付塗装（アイボリー）

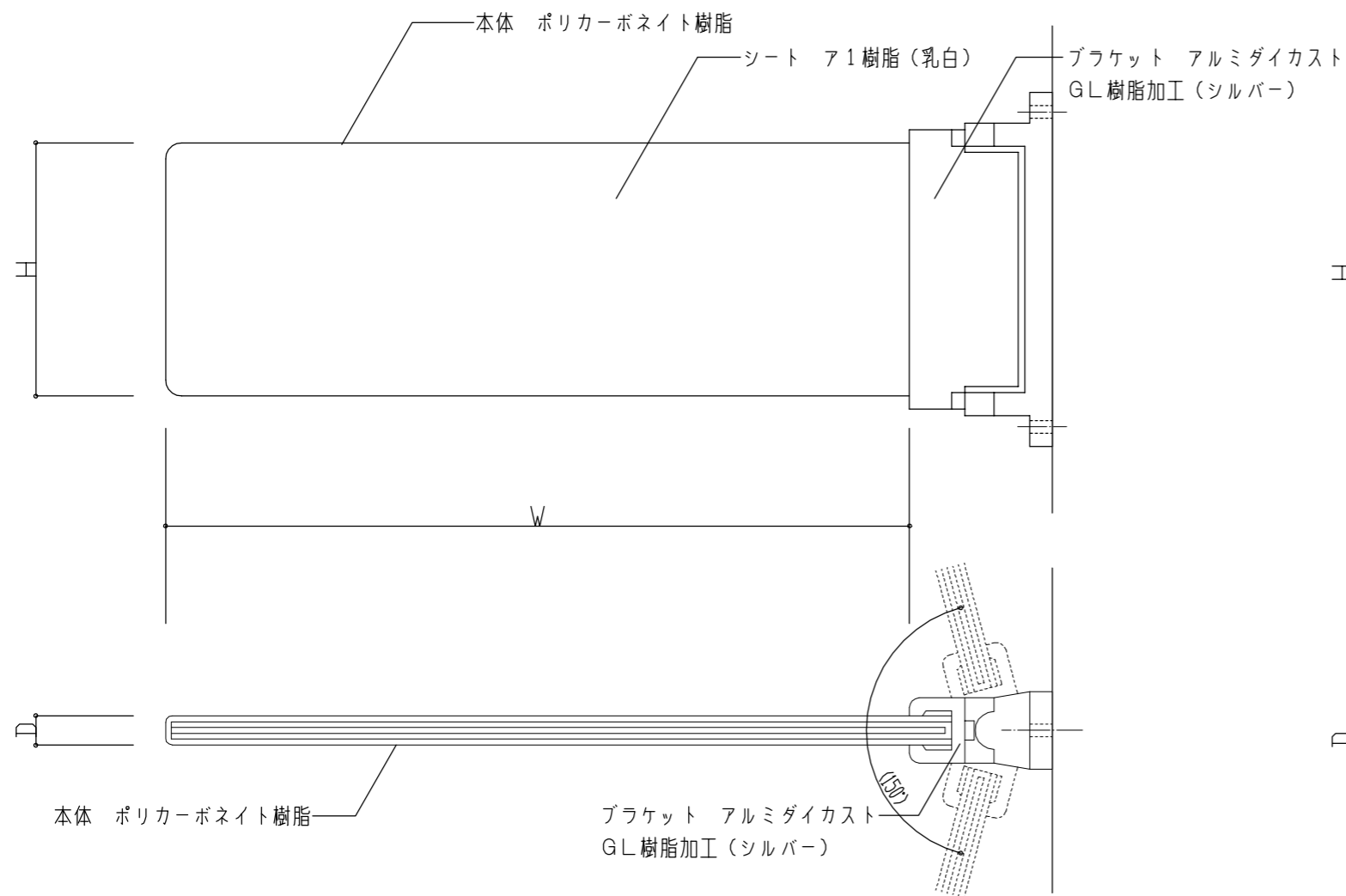
【寸法】

A (標準) w360 d245 h590  
B (小型) w275 d190 h530

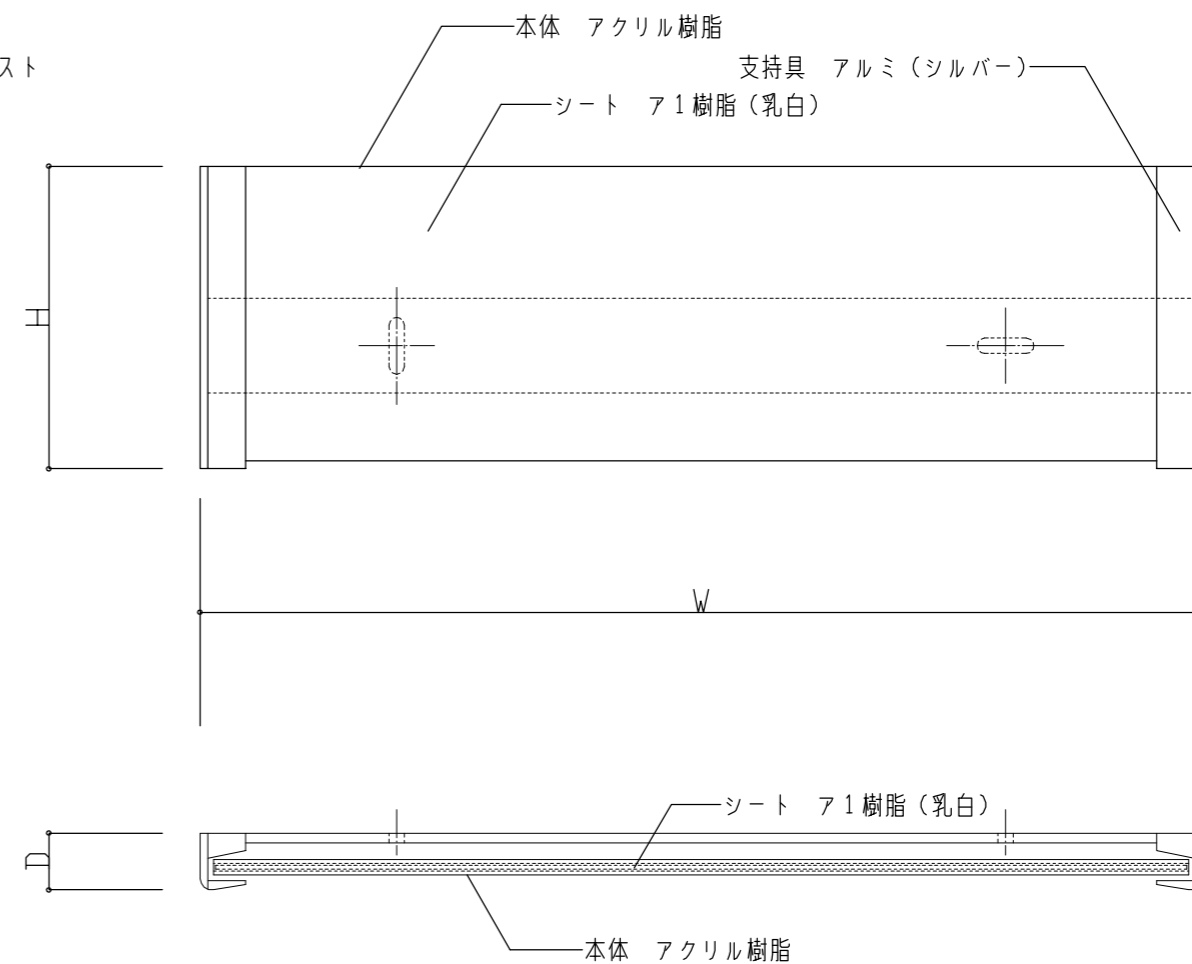
名称 ちり箱

横浜市教育委員会施設部教育施設課



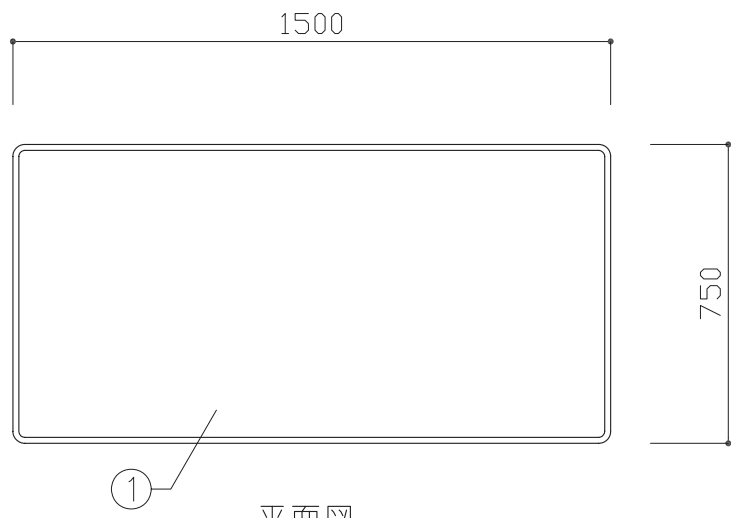


A 持出しタイプ

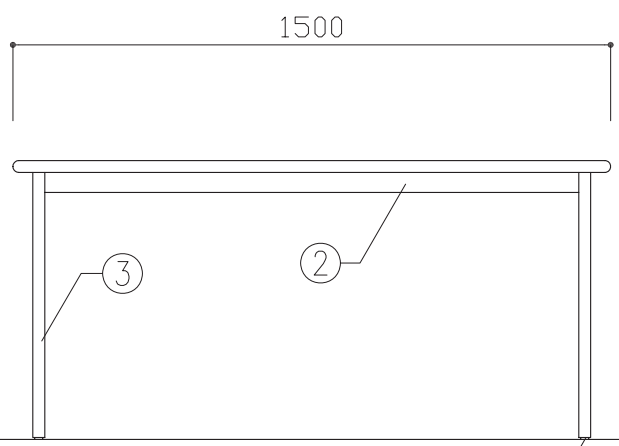


B 平付けタイプ

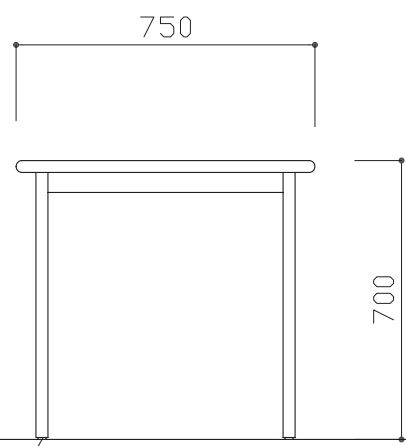
仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室 名 札	
			縮 尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204



平面図



正面図



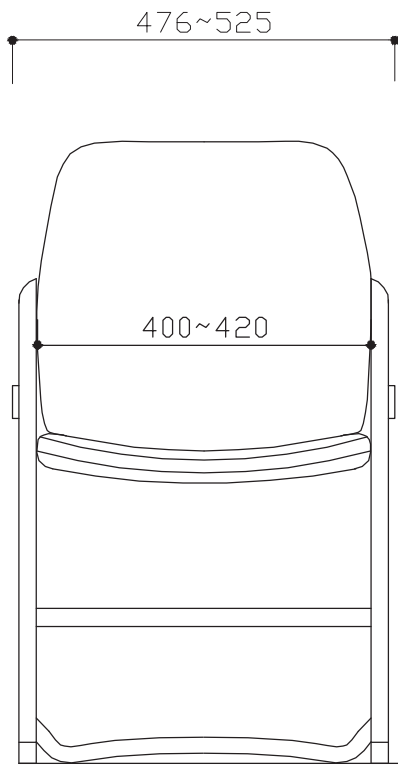
側面図

K-151

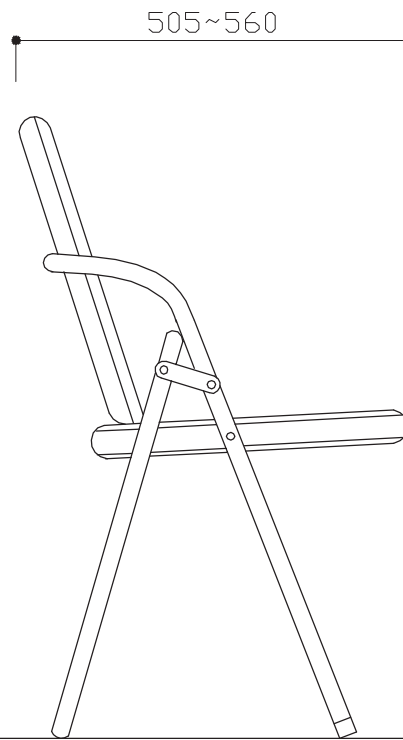
記号	名称	材質	数量	備考
①	甲板	積層合板 メラミン化粧板 730 チーク		
②	甲板受	STKM		丸型鋼管
③	脚	STKM 31.8φ		丸型鋼管
④	アジャスター	樹脂		

名称	会議テーブル：B (W1500×D750×H700)
----	-------------------------------

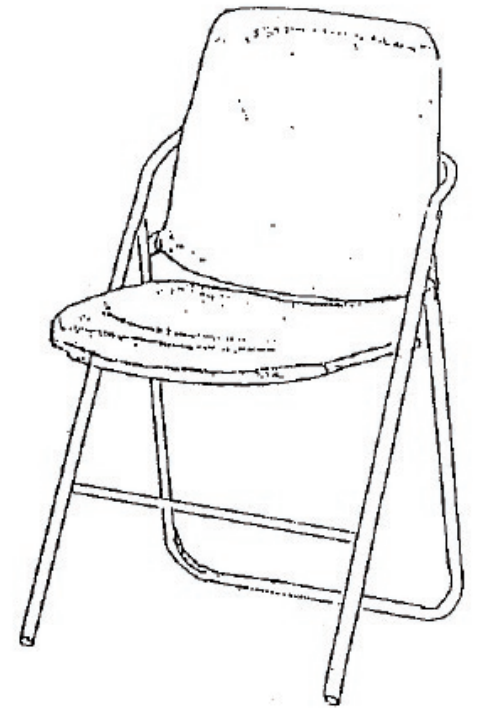
教育委員会施設部教育施設課



正面図



側面図



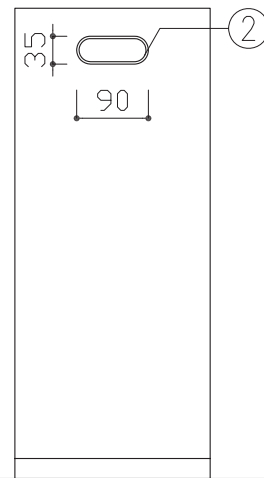
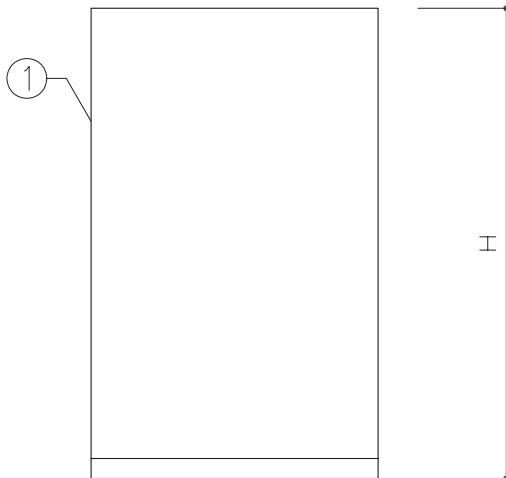
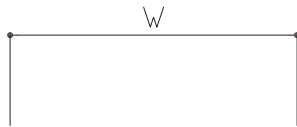
K-121

NO	名称	材質	数量
①	上張り	ビニールレザー	
②	フレーム	φ22丸パイプ クロムメッキ	

グリーン購入法適合品とする 新古品(可)

名称	会議用椅子
----	-------

教育委員会施設部教育施設課



K-104

記号	名称	材質	数量	備考
①	本体	SPCC 0.4 t	1	鋼板
②	取手	合成ゴム	2	

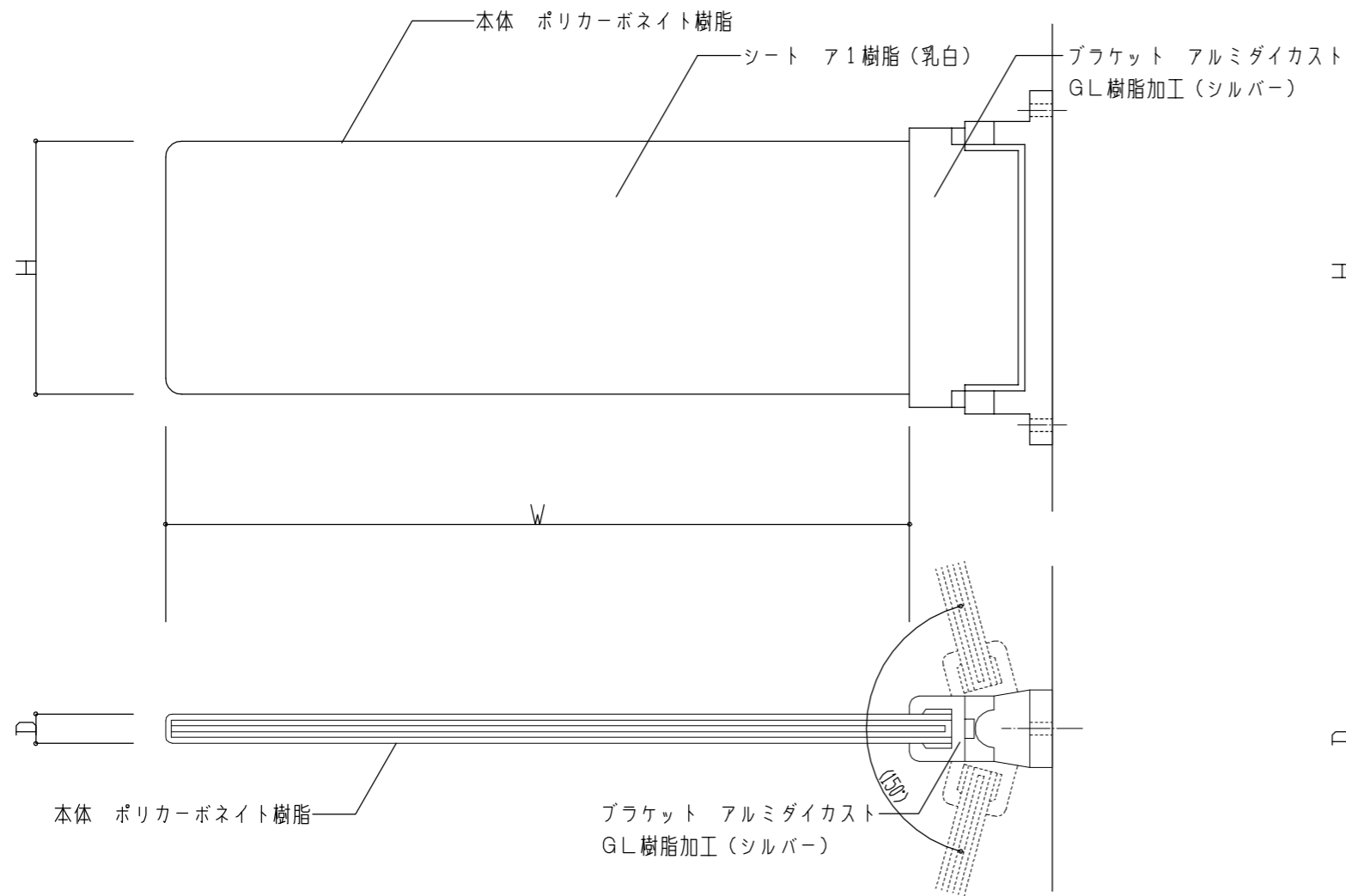
本体：メラミン焼付塗装（アイボリー）

【寸法】

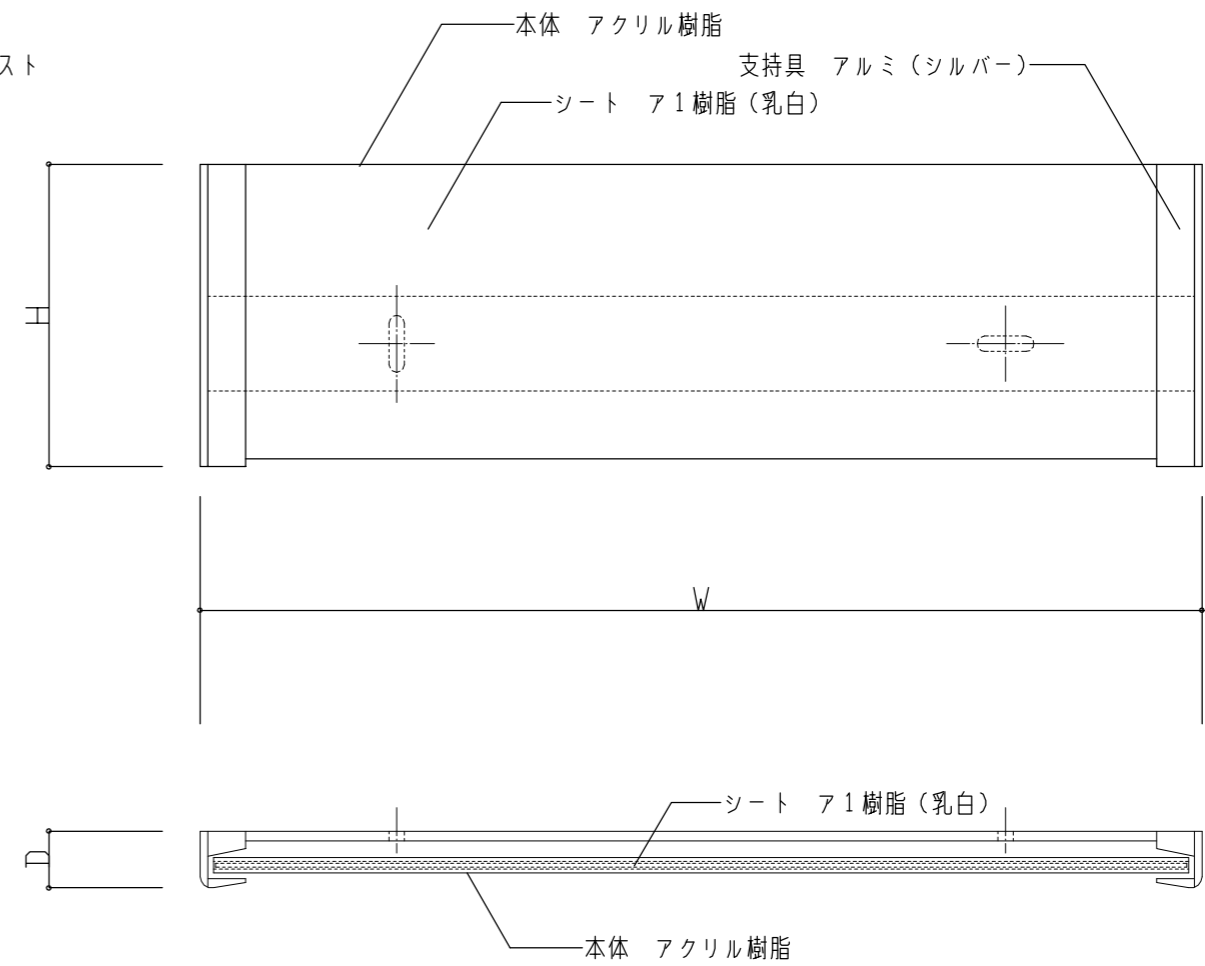
A (標準) w360 d245 h590  
B (小型) w275 d190 h530

名称      チリ箱

横浜市教育委員会施設部教育施設課

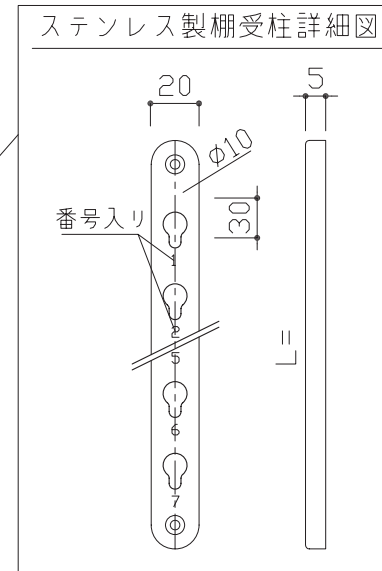
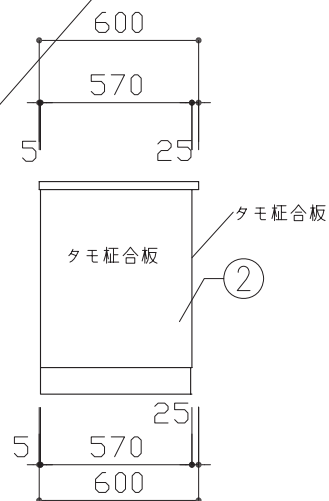
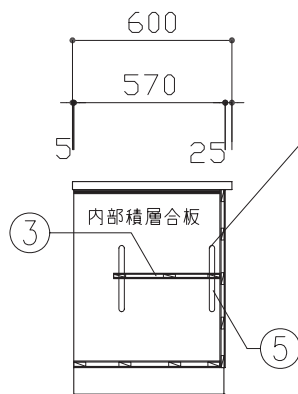
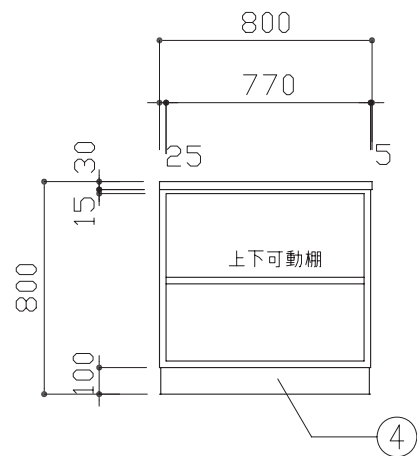
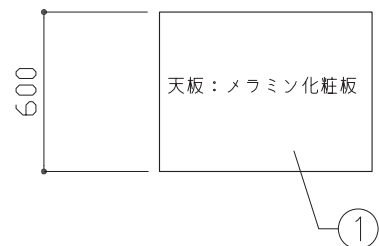


A 持出しタイプ



B 平付けタイプ

仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室 名 札	
			縮 尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204



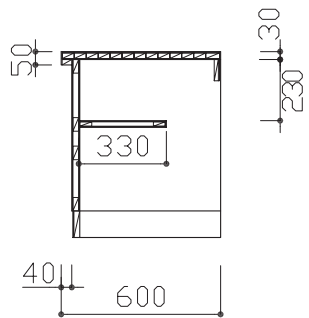
K-410-③

記号	名称	材質
1	天板	TOP: メラミン化粧板貼り 木口: 堅木材単板貼り
2	本体	外部: カバまたはタモ化粧板仕上げ 内部: カバまたはタモ化粧板仕上げ 見付: 堅木材単板貼り
3	棚板	表面: カバまたはタモ化粧板仕上げ 木口: 堅木材単板貼り
4	巾木	カバまたはタモ化粧板仕上げ
5	ステンレス製棚柱	(詳細図参照) 4個
	塗装	自然塗料またはウレタン塗装仕上げ

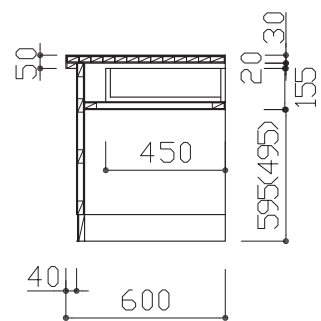
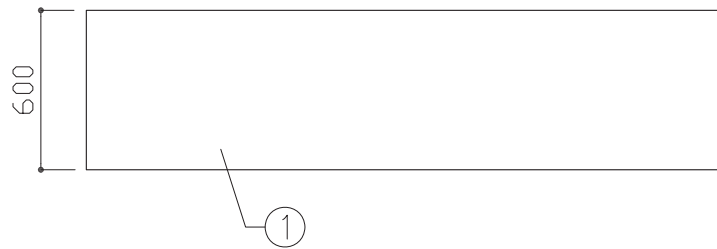
公差±3mm

名称 中・小学校 図書カウンターA

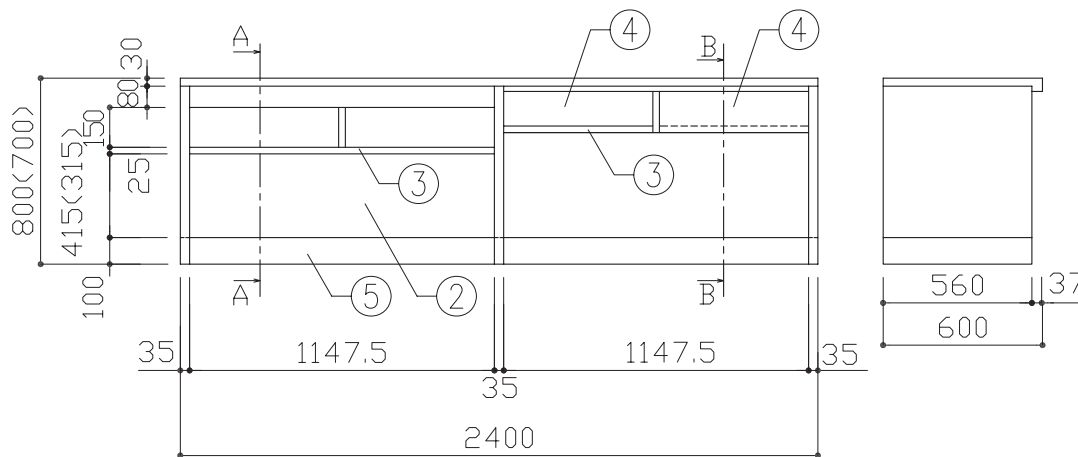
教育委員会施設部教育施設課



A~A断面図



B~B断面図



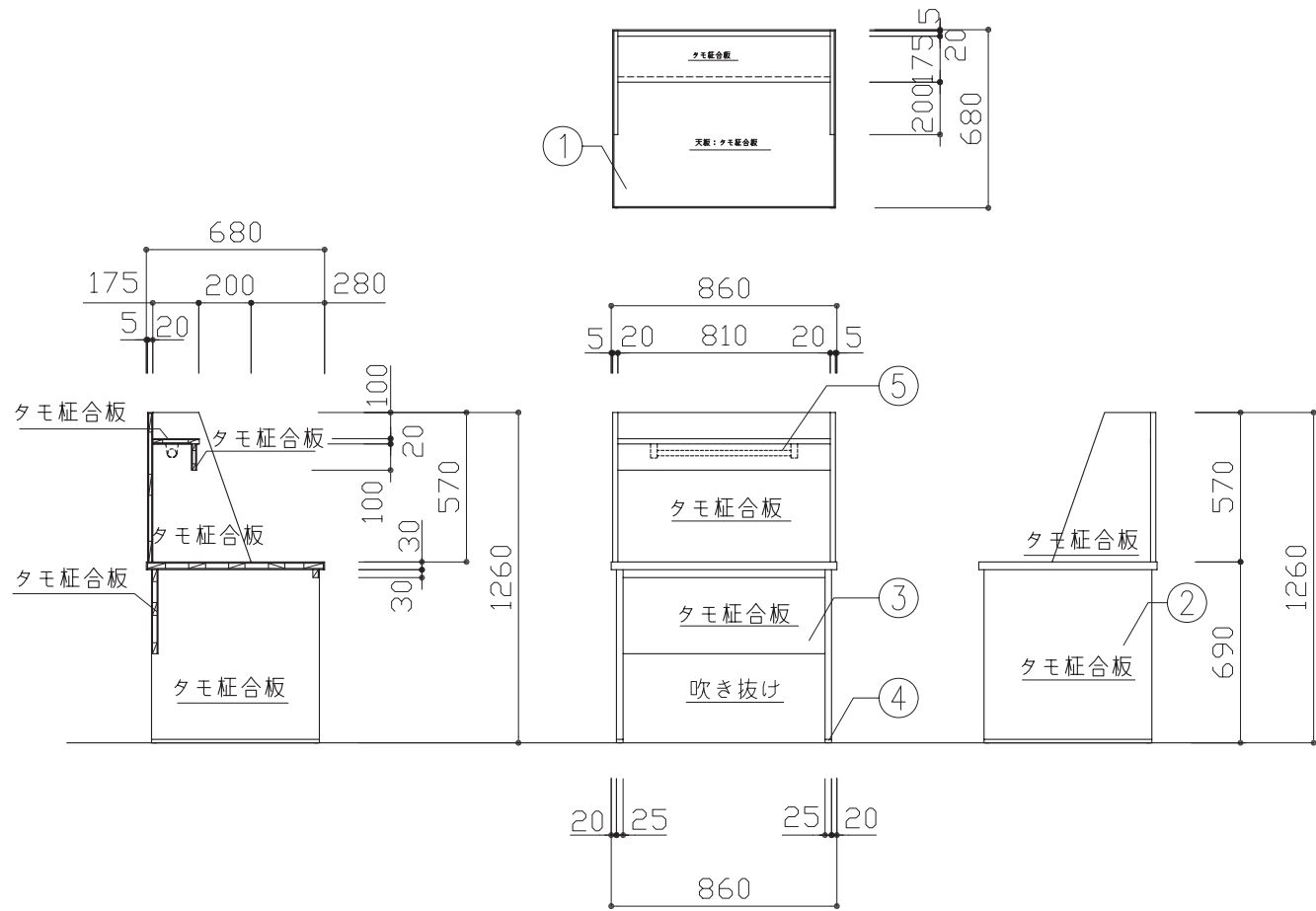
K-450

記号	名称	材質
1	天板	TOP:メラミン化粧板貼り 木口:堅木材単板貼り
2	本体	外部:カバまたはタモ化粧合板仕上げ 内部:カバまたはタモ化粧合板仕上げ 見付:堅木材単板貼り
3	棚板	表面:カバまたはタモ化粧合板仕上げ 木口:堅木材単板貼り
4	引き出し	前板:カバまたはタモ化粧合板仕上げ 側板・先板:アガチス材 底板:ポリ合板
5	巾木	カバまたはタモ化粧合板仕上げ
	塗装	ポリウレタン塗装

公差±3mm

名称 中・小学校 図書カウンター②

教育委員会施設部教育施設課



K-451

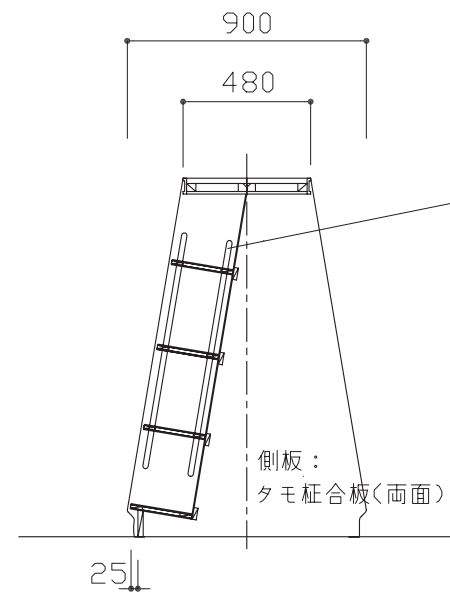
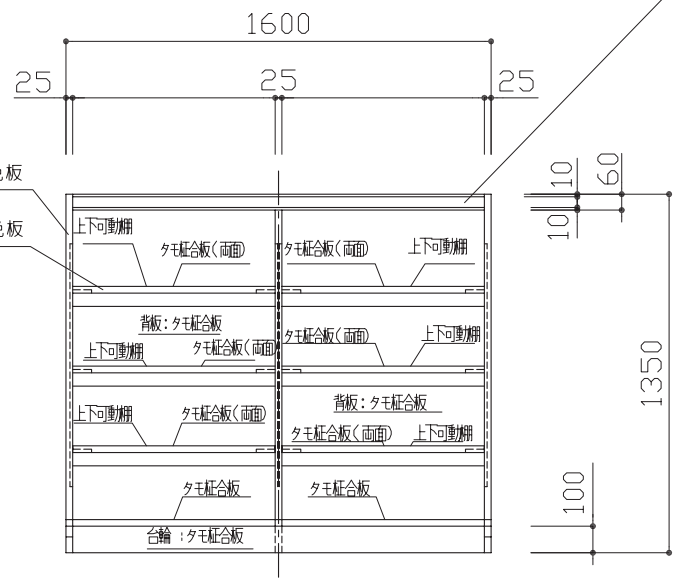
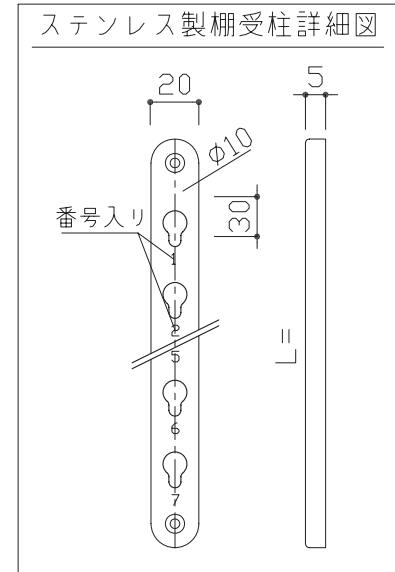
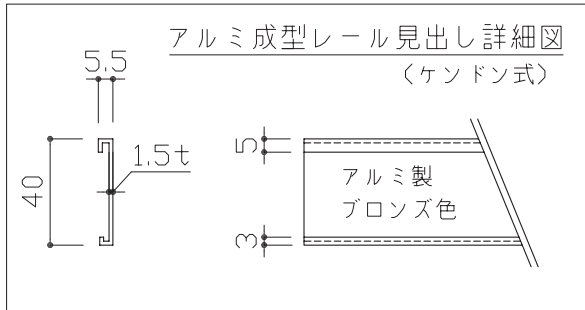
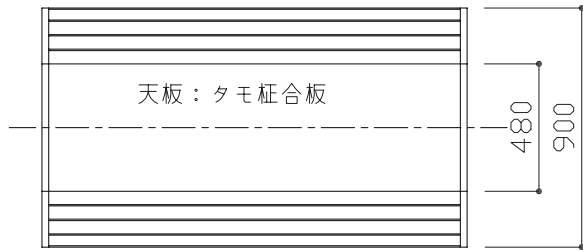
記号	名称	材質	数量
1	天板	タモ桎合板	
		木口：挽板練り付け	
2	本体	タモ桎合板	
		木口：挽板練り付け	
3	幕板	タモ桎合板	
		木口：挽板練り付け	
4	アジャスター		4
5	蛍光灯	電源コード付	1
	塗装	自然塗料またはウレタン塗装仕上げ	

公差±3mm

名称 キャレルデスク（照明付）

教育委員会施設部教育施設課





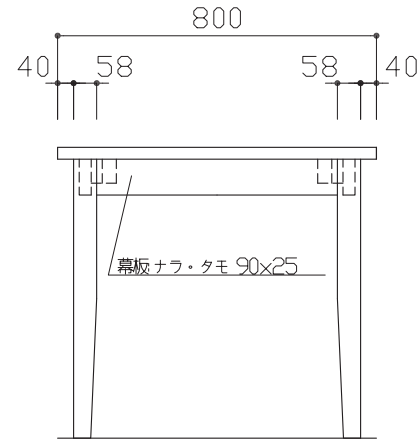
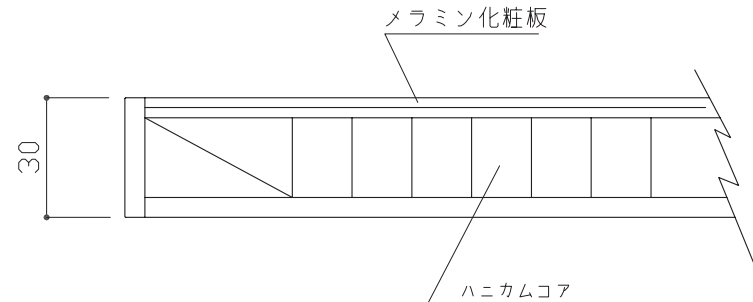
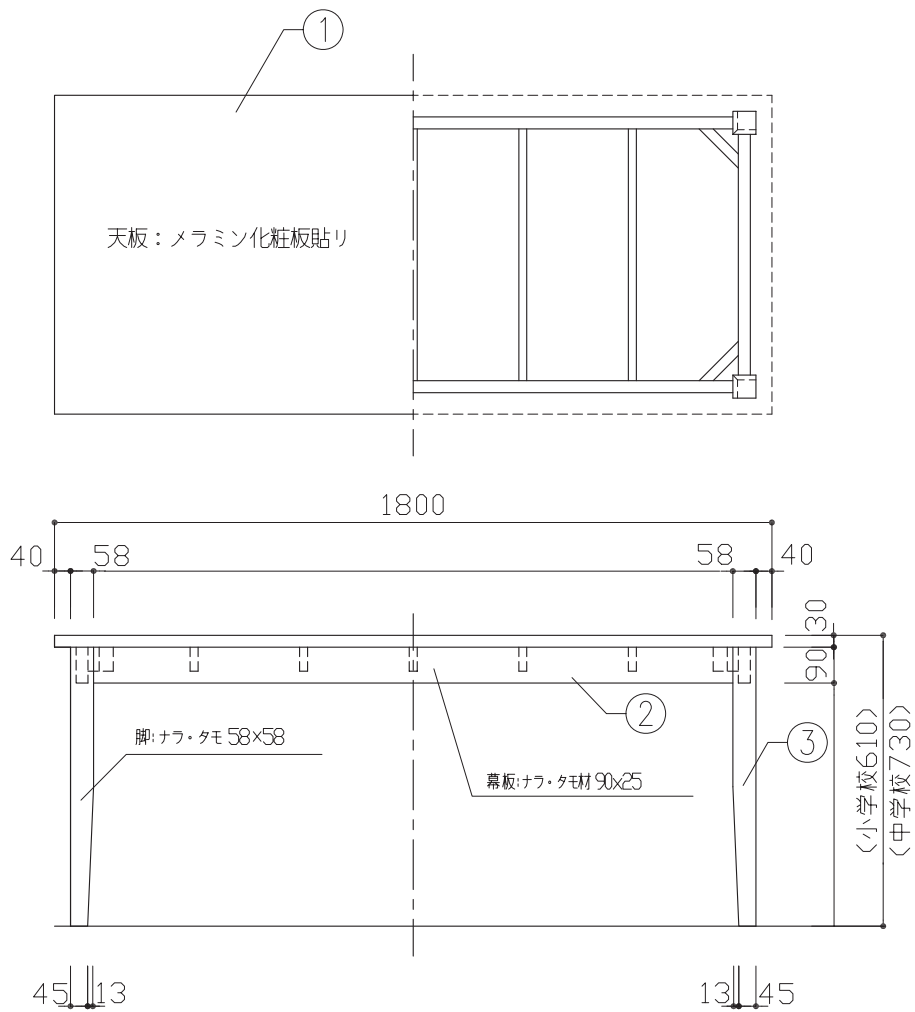
K-452

記号	名称	材質	数量
1	天板	タモ桎合板	
		木口：挽板練り付け	
2	側板	タモ桎合板	
		木口：挽板練り付け	
3	棚板	タモ桎合板	
		木口：挽板練り付け	
4	内部見掛り	タモ桎合板	
	塗装	ウレタン塗装仕上げ	

公差±3mm

名称 小・中学校 傾斜複式書架  
1800×480/900×1350

教育委員会施設部教育施設課<sup>3</sup>



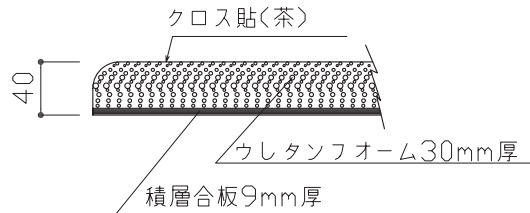
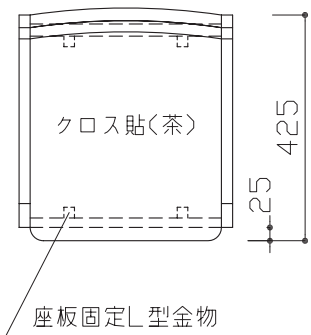
K-408

記号	名称	材質	備考
①	天板	甲板:メラミン化粧板貼り 縁:ナラ30×t3mm 下地:ラワン合板t5.5mm	
②	幕板	ナラまたはタモ 90×25	
③	脚	ナラまたはタモ 60×60	

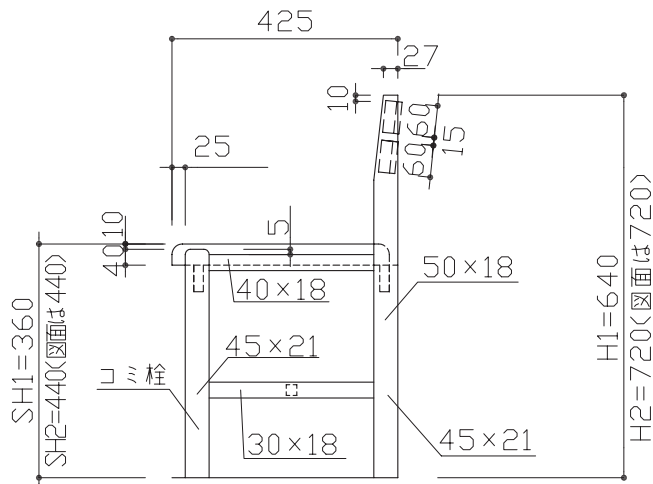
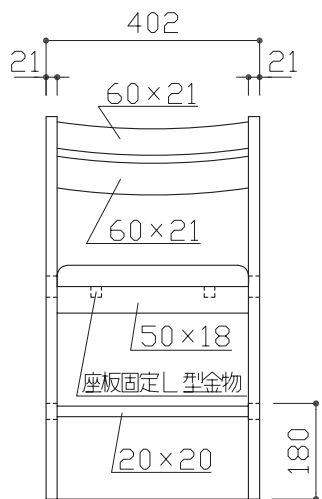
塗 装 自然塗装またはウレタン塗装仕上げ  
 児童(小)H=610・生徒(中)H=730 公差±3mm  
 1800×800×730(中)610(小)

名 称 図書室用閲覧机

教育委員会施設部教育施設課



底板群細図



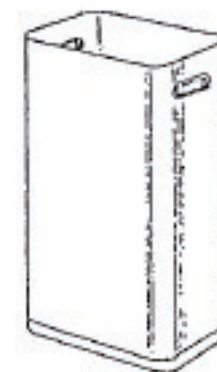
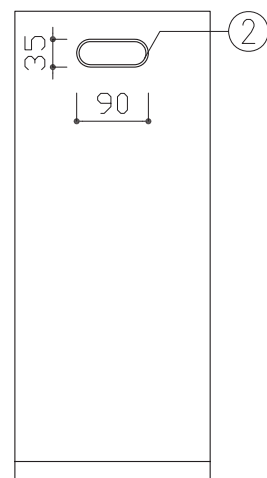
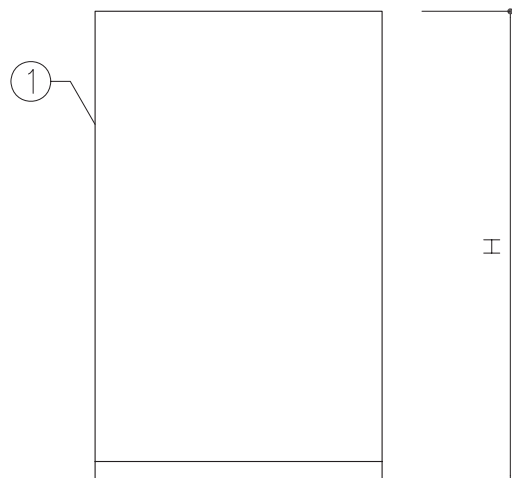
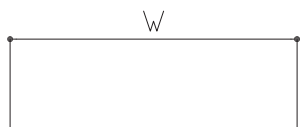
K-409

記号	名称	材質
①	座板	詳細図参照
②	脚部	ブナまたはタモ材
	塗装	自然塗装またはウレタン塗装仕上げ
	種別	総高さ 座面高さ
	小学校用(児童用)	H1 640mm SH1 360mm
	中学校用(児童用)	H2 720mm SH2 440mm

公差±3mm

名称 図書室用閲覧椅子

教育委員会施設部教育施設課



K-104

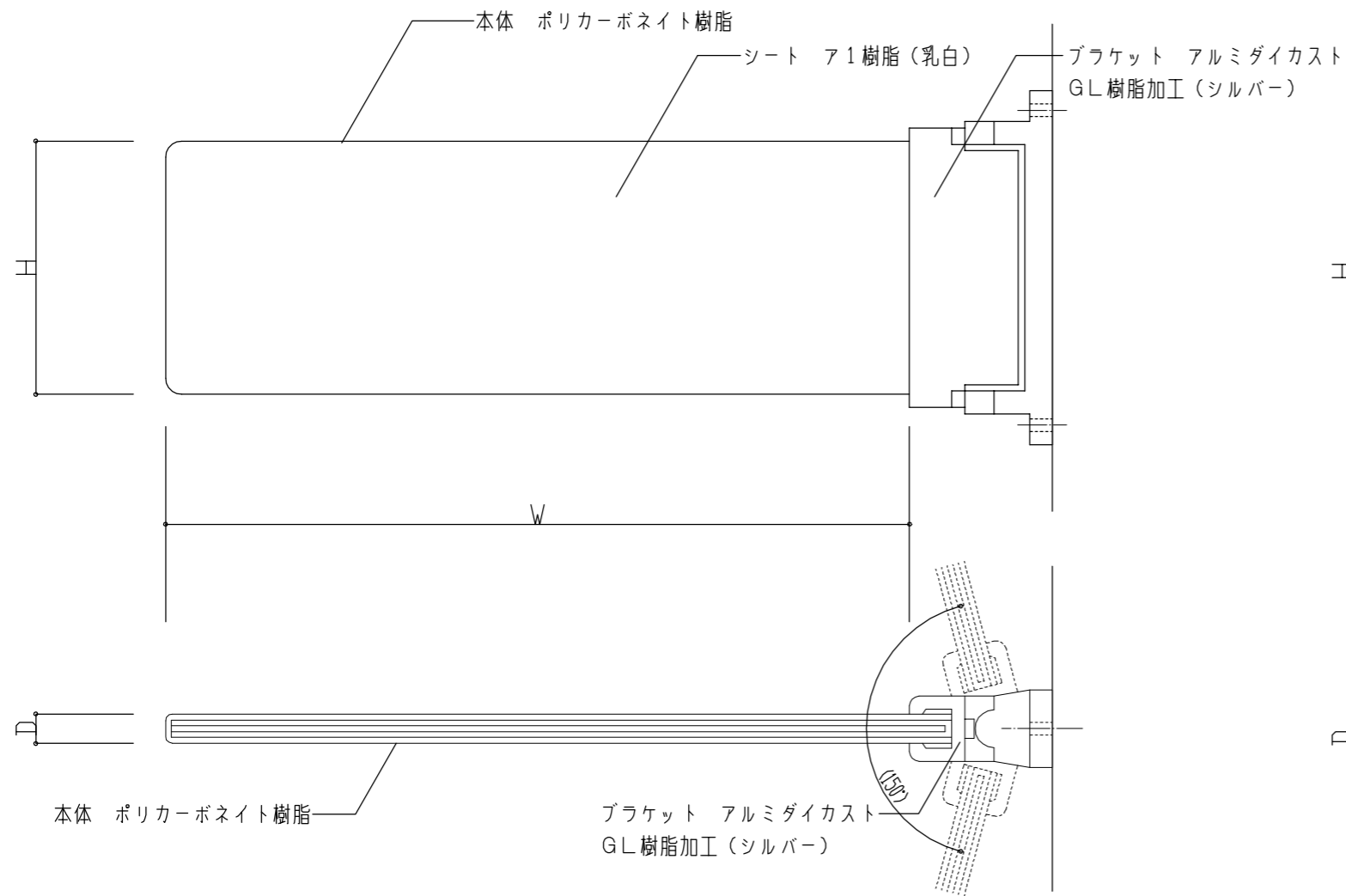
記号	名称	材質	数量	備考
①	本体	SPCC 0.4 t	1	鋼板
②	取手	合成ゴム	2	

本体：メラミン焼付塗装（アイボリー）

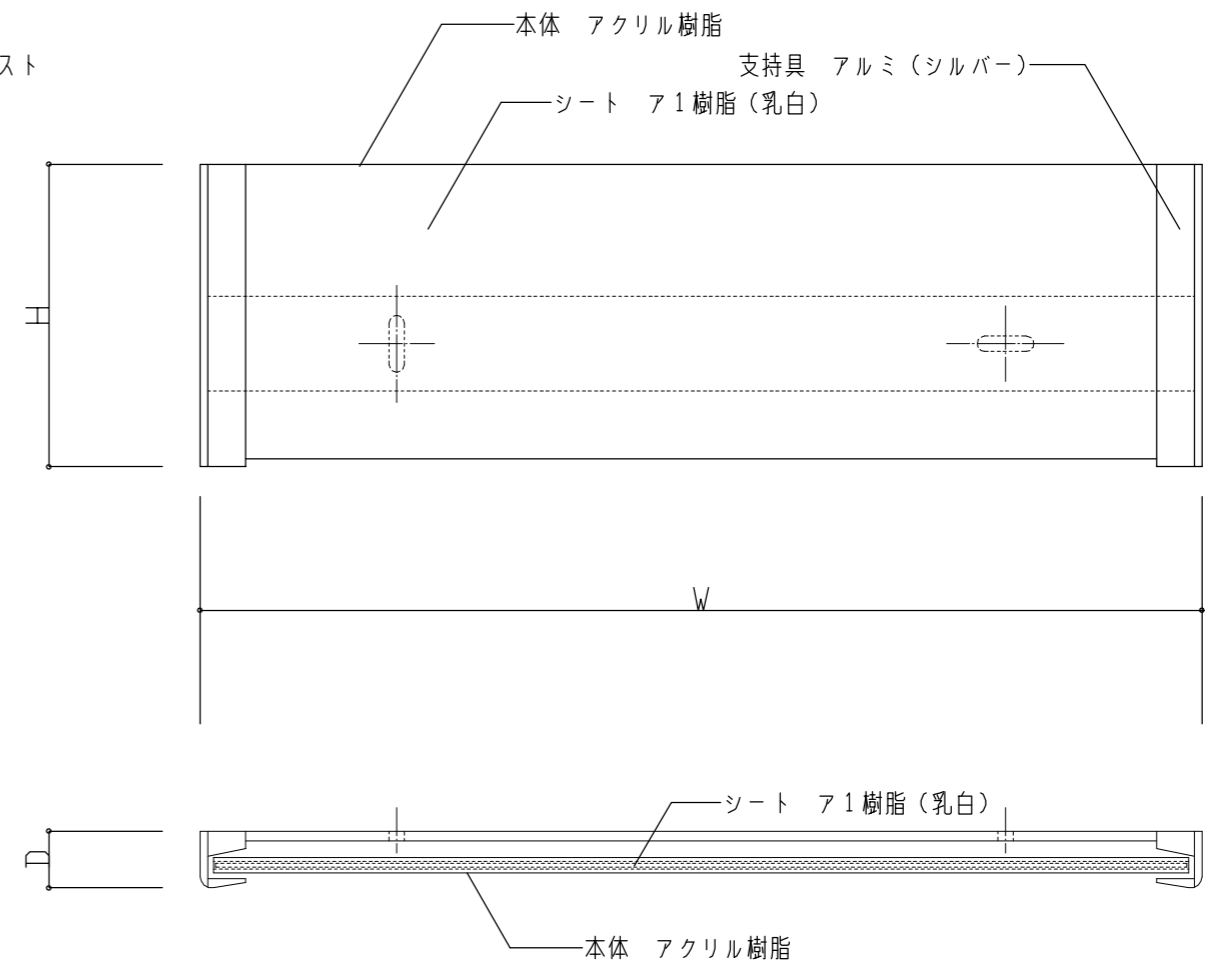
【寸法】  
 A（標準） w360 d245 h590  
 B（小型） w275 d190 h530

名称	チリ箱
----	-----

多目的室（少人数）  
1, 2



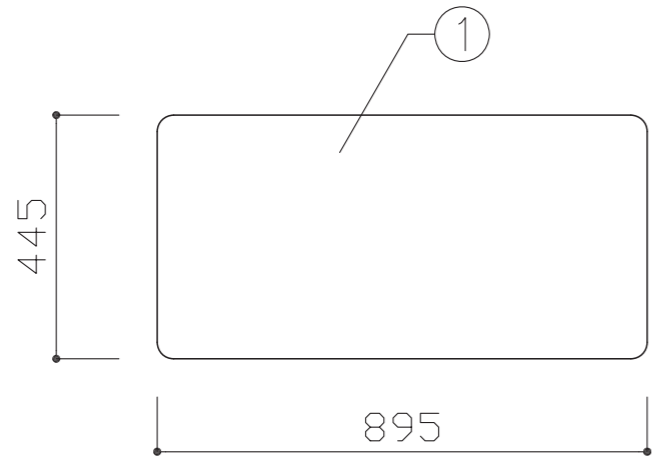
A 持出しタイプ



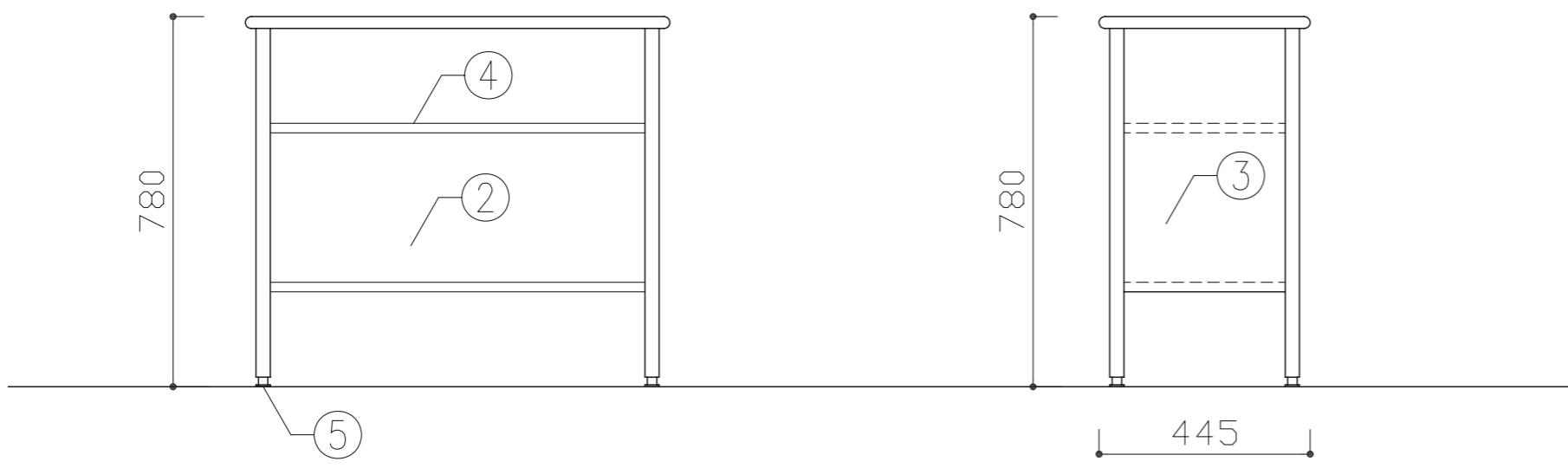
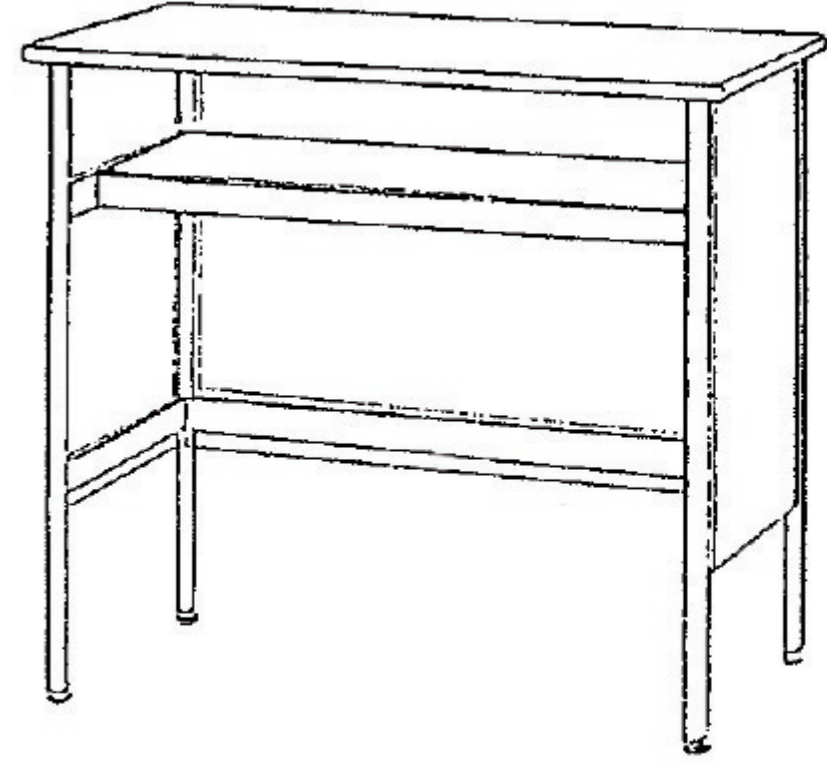
B 平付けタイプ

仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室 名 札	
			縮 尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204

多目的室（少人数）  
1, 2



平面図



正面図

断面図

K-101

記号	名称	材質	数量	備考
①	甲板	積層合板		鋼板
②	向板パネル	SPCC		鋼板
③	側板	SPCC		鋼板
④	棚板	SPCC		鋼板
⑤	アジャスター	プラパート		

・グリーン購入法適合品とする。

名称	教卓
----	----

横浜市教育委員会施設部教育施設課

# 多目的室（少人数） 1, 2

## 1 仕様

「日本工業規格 学校用家具－教室用机・いすJIS S1021:1999」に適合し、以下の条件を満たすもの。

- (1) 机・椅子ともに4本脚とし、脚下部に下記表示のキャップをつけること。
- (2) 椅子は、同一号数の椅子を5脚以上積み重ねても転倒しないもの。
- (3) 表示ラベルについては、JIS規格を満たしW70mmxH25mmのラベルを貼付する。

## 2 材料

項目	内容
机天板	ゴム集成材
塗装	UV塗装
フレーム塗装	アクリル、合成樹脂焼付け塗装
椅子背・座板	木製合板製
脚部キャップ	ポリプロピレン又はポリエチレン製のもの
物入れ	厚さ鋼板0.7mm又はポリプロピレン3mm以上

## 3 サイズ、重量等

項目	内容
机天板	W650mmxD450mmx厚み16mm以上
物入れ	W520mmxD330mmxH75mm
机・椅子の重量	5号机で11kg以下、椅子5.5Kg以下

## 4 その他

- (1) 机天板の交換が容易にできること。ネジはステンレス等錆び付かないものを用いること。
- (2) 製造年、月の表示を不減製のインク等で表示すること。
- (3) グリーン購入法適合商品であること。
- (4) 材料は全て建築基準法及び施行令等の区分「F☆☆☆☆」（ホルムアルデヒド放散速度 $5\mu\text{g}/\text{m}^2\text{h}$ 以下）の物であること。
- (5) 塗料・接着剤等に揮発性有機化合物等が含有されている場合は、製品完成後充分乾燥・蒸散に努めてから納品すること。（揮発性有機化合物対策を充分に施すこと）
- (6) MSDS（化学物質等安全データシート）を提出すること。また、製造過程で一時的に使用される化学物質についても、MSDSに準じたものを提出すること。
- (7) JIS適合、グリーン購入法適合及び揮発性有機化合物放散量適合を証明する書類（検査結果証明書等）を提出すること。※  
※：小型チャンバー法等による検査成績書

児童生徒用机及び椅子(S1021-1999)参考形状等

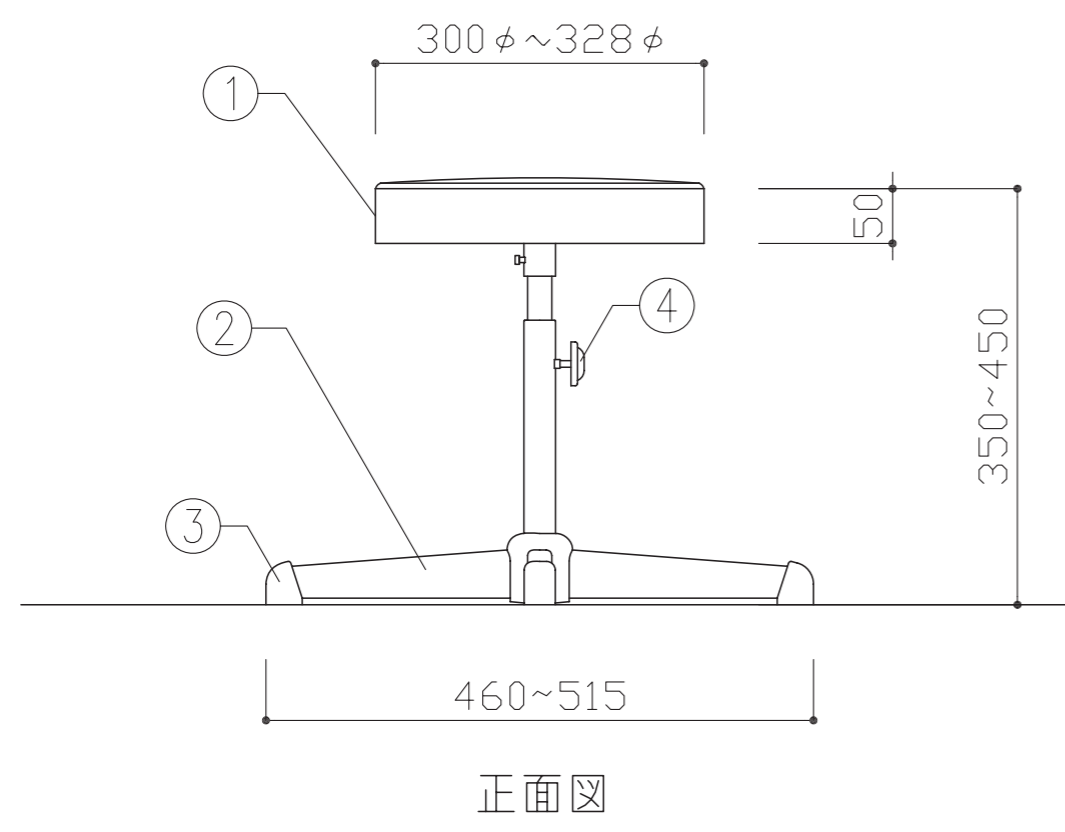
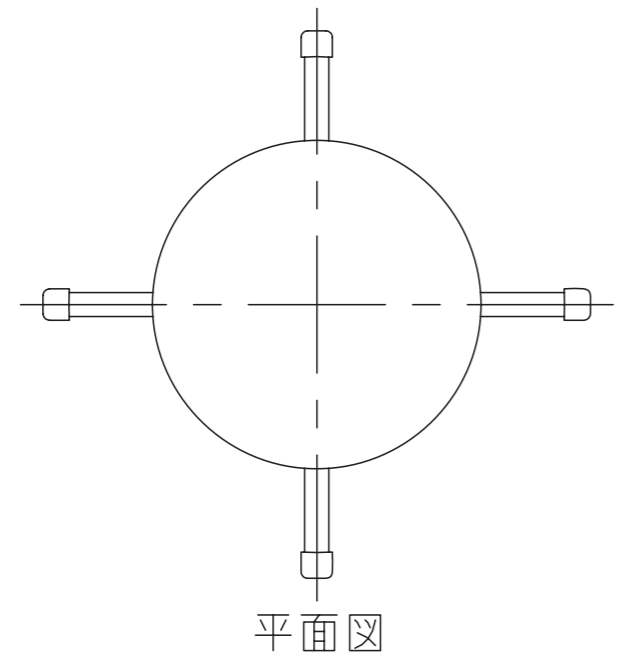
号数	H (机面の高さ)	標準身長	SH (椅子座高)	SW (椅子幅)	SD (椅子奥行)	ラベルの 地色
6号	760mm	180cm	460mm	360mm	400mm	白
5号	700mm	165cm	420mm	360mm	380mm	青
4号	640mm	150cm	380mm	360mm	360mm	緑
3号	580mm	135cm	340mm	360mm	330mm	黄
2号	520mm	120cm	300mm	360mm	290mm	橙

仕様書 NO, 301 K-301

名称 児童生徒用机及び椅子

横浜市教育委員会施設部教育施設課

多目的室（少人数）  
1, 2



K-102

記号	名称	材質	数量	備考
①	座板	鋼製ビニールレザー		
②	足	角パイプ		
③	元端	樹脂		
④	上下調節ハンドル	樹脂		

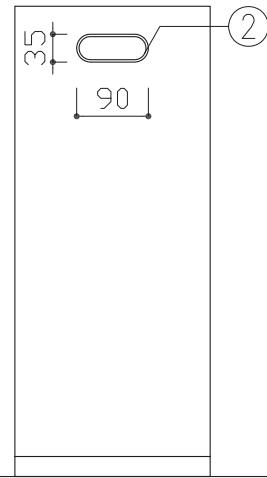
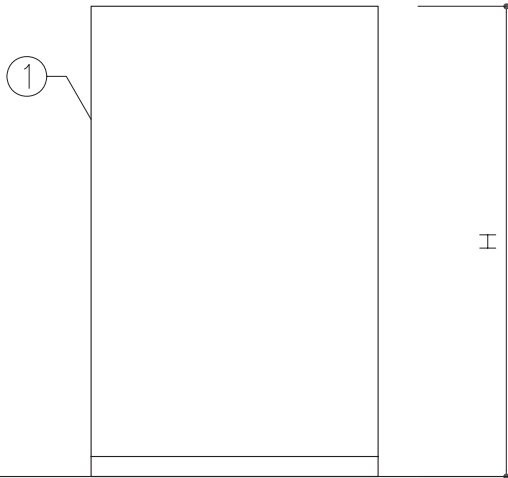
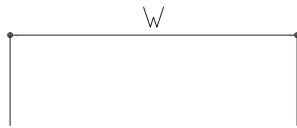
・グリーン購入法適合品とする。

名称	教師用丸椅子
----	--------

横浜市教育委員会施設部教育施設課



# 多目的室（少人数） 1, 2



K-104

記号	名称	材質	数量	備考
①	本体	SPCC 0.4 t	1	鋼板
②	取手	合成ゴム	2	

本体：メラミン焼付塗装（アイボリー）

【寸法】

A (標準) w360 d245 h590  
B (小型) w275 d190 h530

名称      椅子箱

横浜市教育委員会施設部教育施設課

A、B - 天井吊りフック 1/10,1/2

1/10,1/2

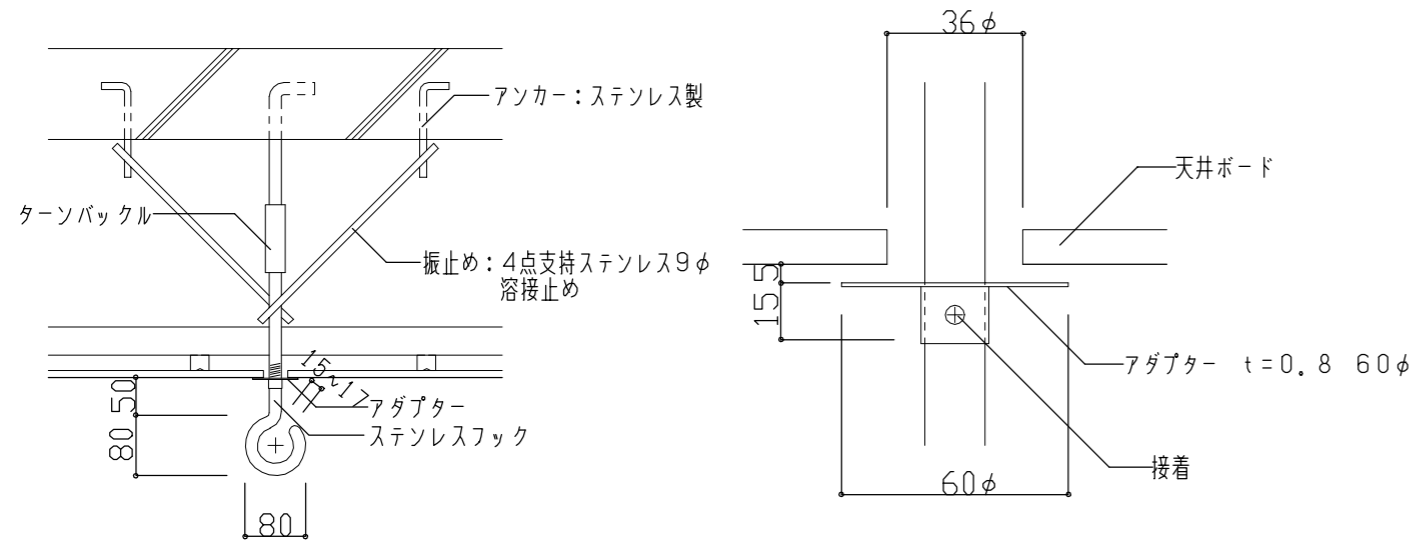
C - 柱型付フック 1/5

1/5

D - 梁型付フック 1/5

1/5

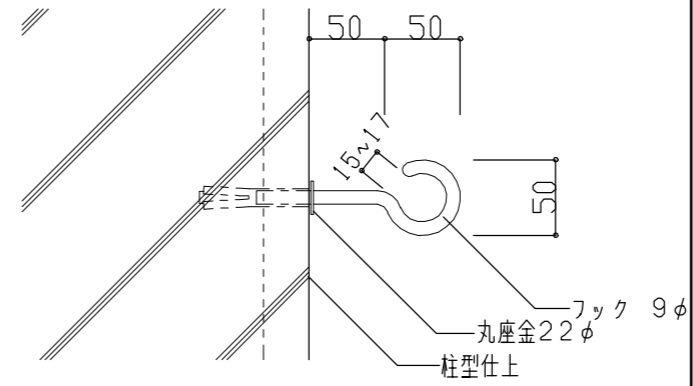
図工室



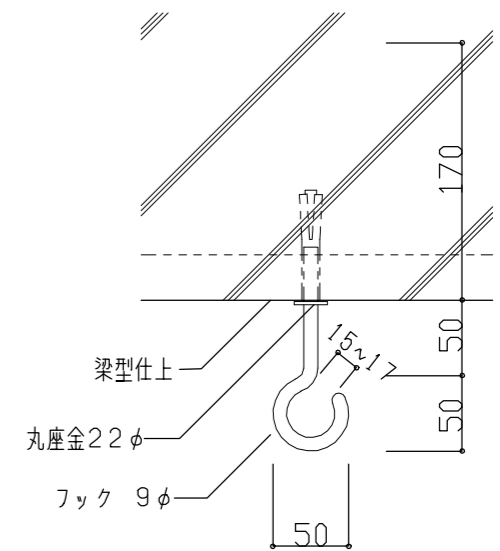
アダプター詳細図 縮尺1/2

\*天井材には接着しないこと

- A ステンレスフック16φ：個別支援学級（第二学習室）
- B ステンレスフック 9φ：個別支援学級（第一学習室）・理科準備室・家庭科教室・図画工作教室



図画工作教室

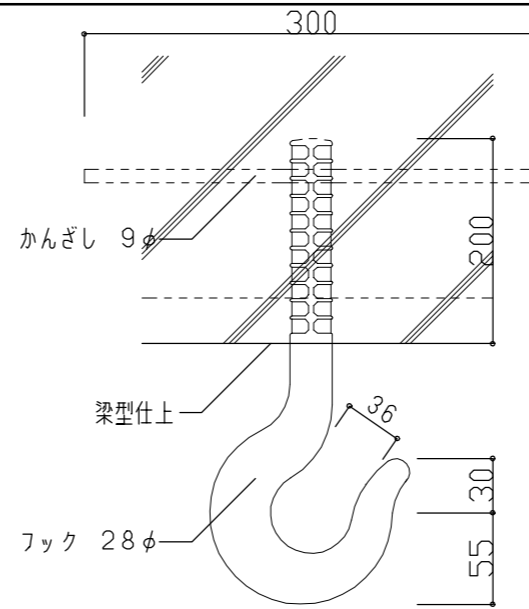


理科教室

\* 吊り下げ耐荷重200kg以上

E - 梁型付フック 1/5

1/5



変電室

\* 吊り下げ耐荷重1,000kg以上

仕様

- 1)
- 2)
- 3)

特記事項

- 1) Aは個別支援学級（第二学習室）に設置する
- 2) Bは個別支援学級（第一学習室）・理科準備室・家庭科教室・図画工作教室に設置する
- 3) Cは図画工作教室に設置する
- 4) Dは理科教室に設置する
- 5) Eは変電室に設置する

設計上の留意点

- 1)

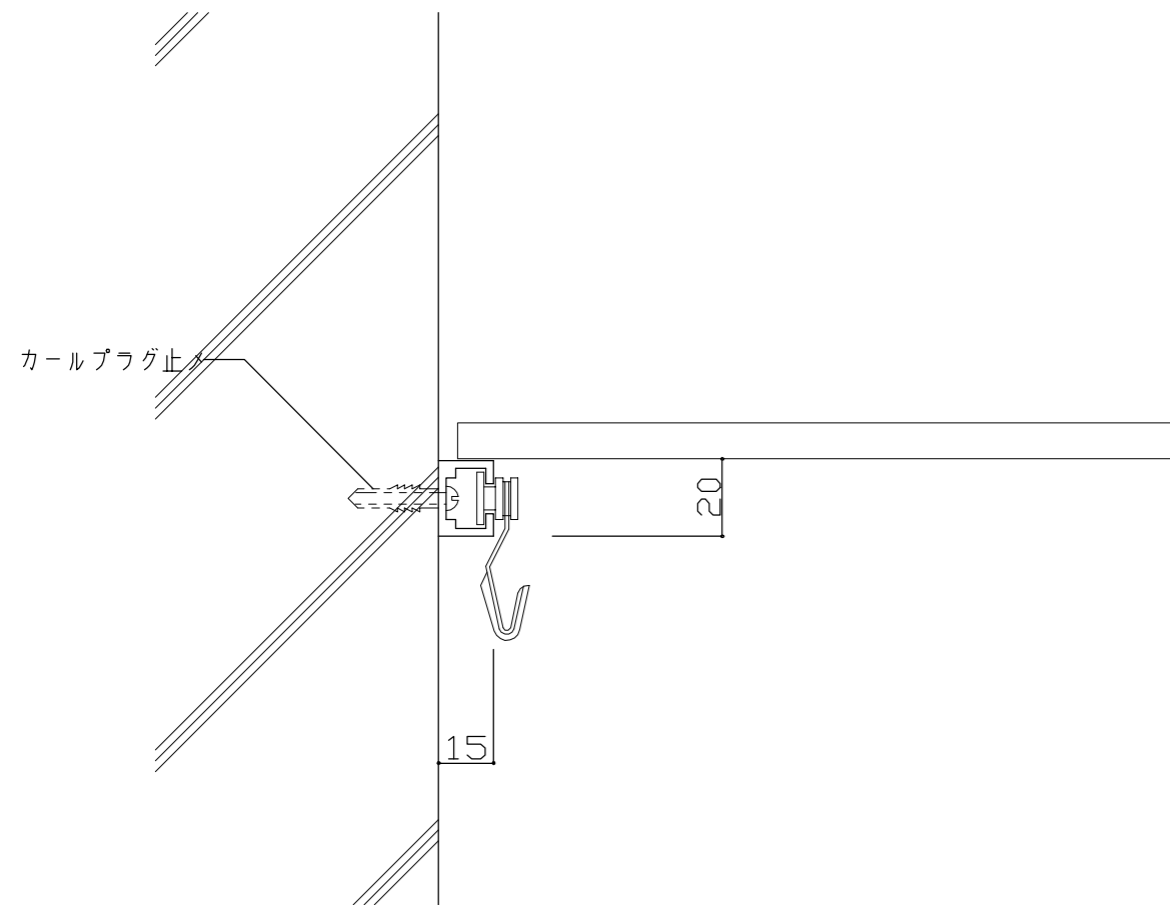
図面名称 ステンレスフック

縮尺 1/2,1/3,1/10

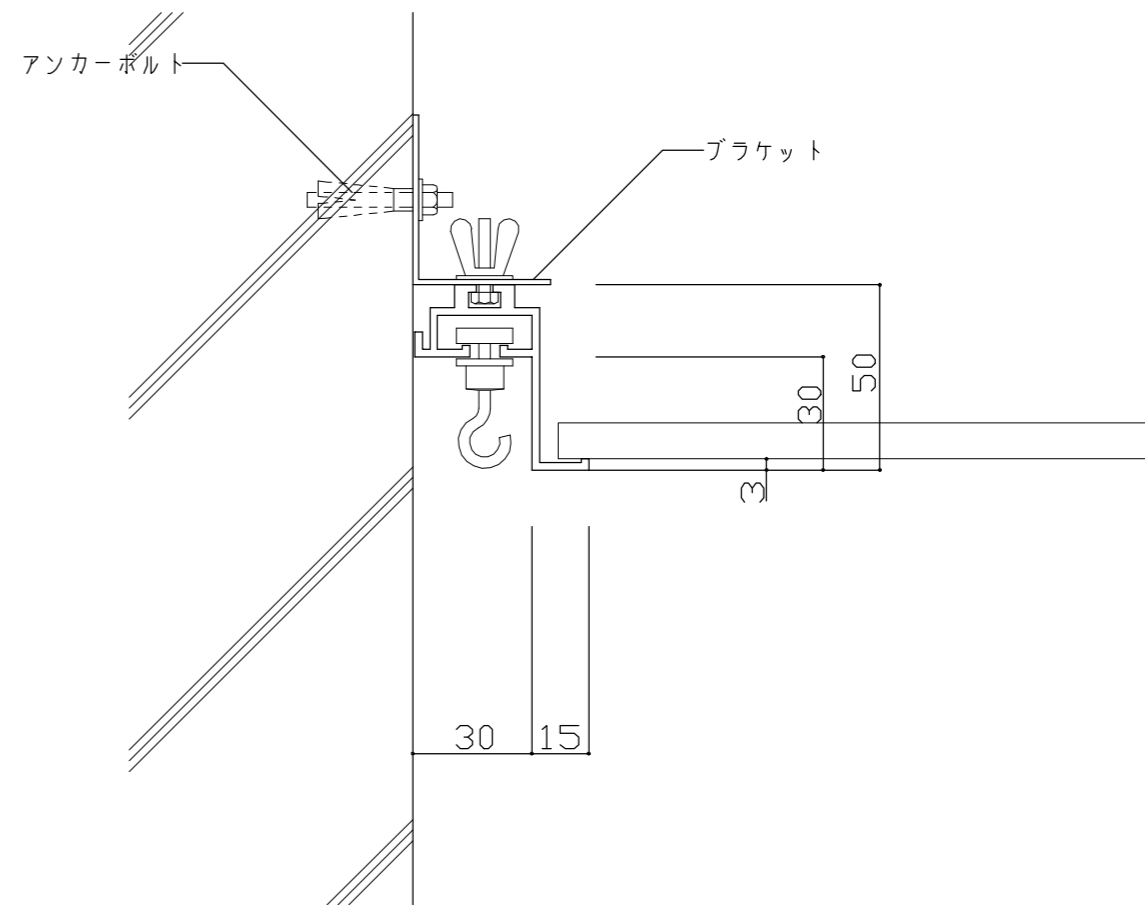
平成30年2月

横浜市建築局

I-208

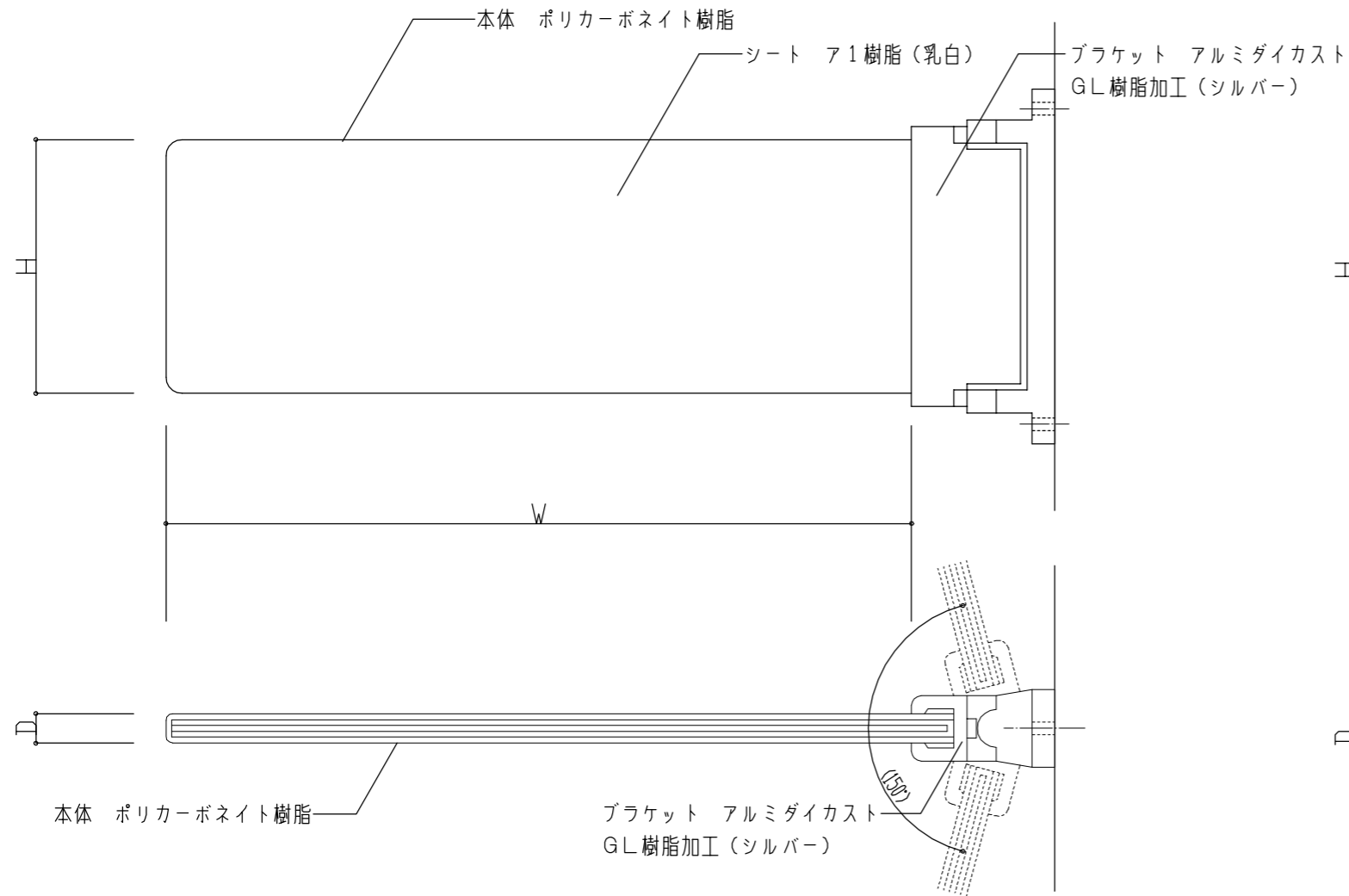


A 後付けタイプ (荷重: 25kg程度)

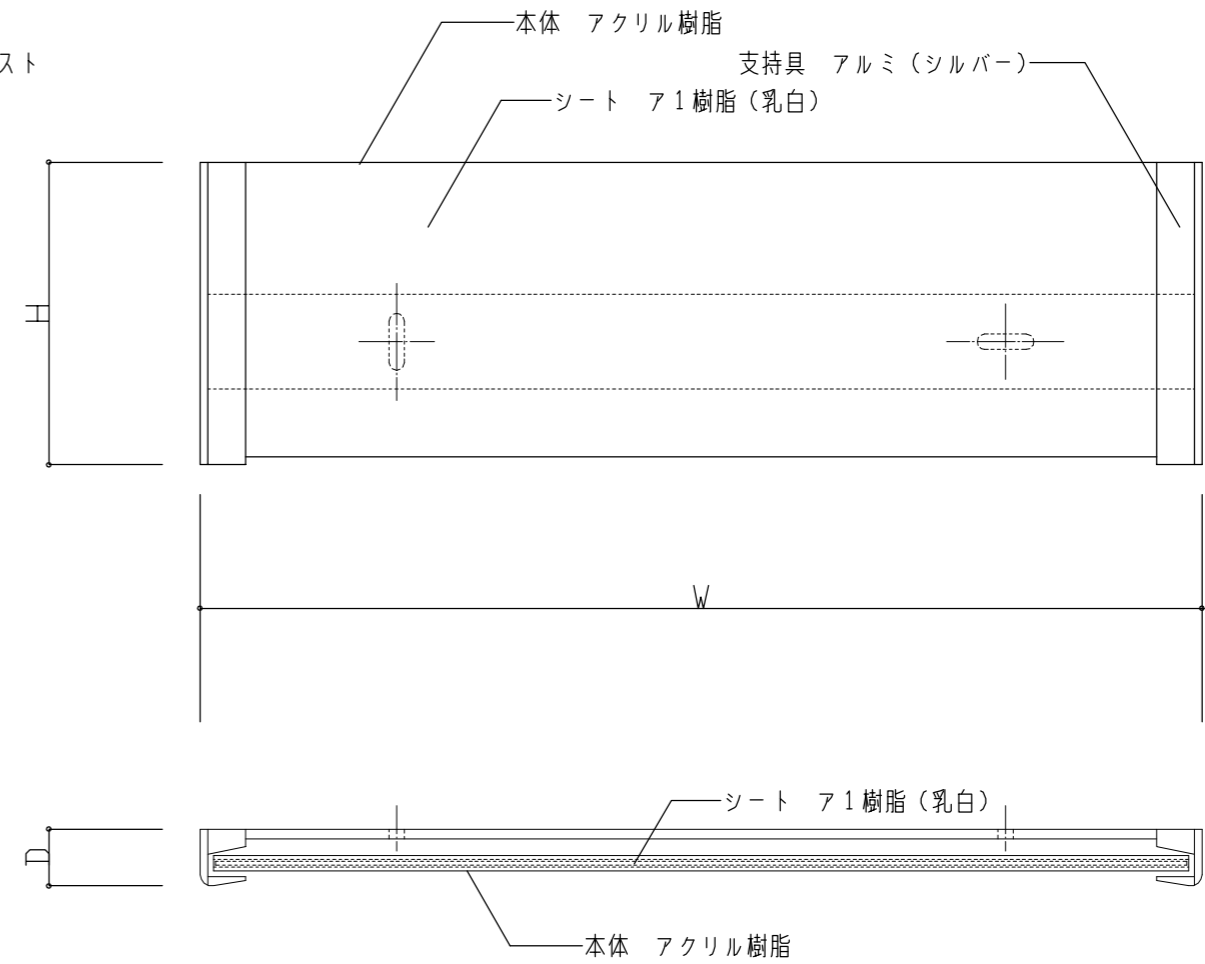


B 先付けタイプ (荷重: 30kg程度)

仕 様 1) レール: アルミ製 2) フック: アルミダイカスト製 3)	特記事項 1) Aは、図画工作教室・美術教室・教育相談室・進路指導室に適用。 2) Bは、校長室用とする。	設計上の留意点 1)	図面名称	ピクチャーレール	
			縮 尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-209

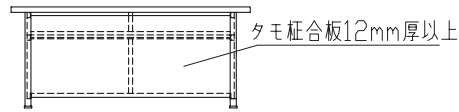


A 持出しタイプ

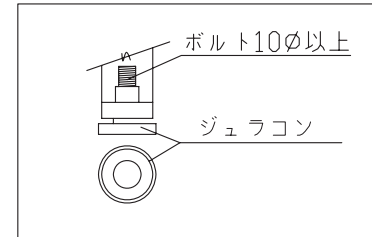
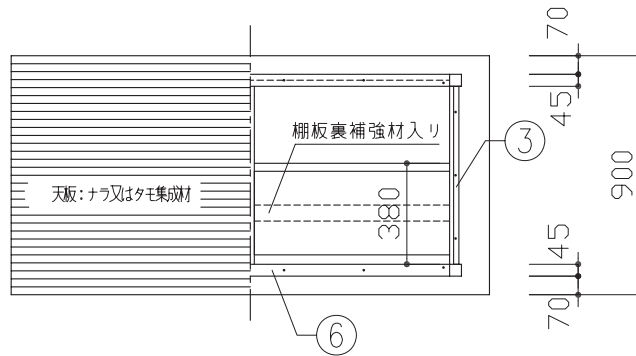


B 平付けタイプ

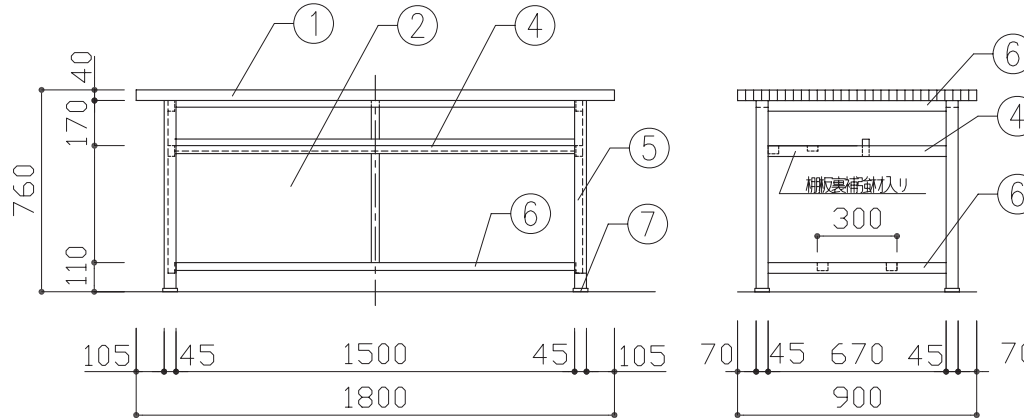
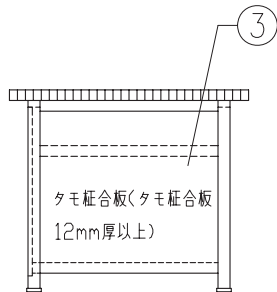
仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室 名 札	
			縮 尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204



生徒側



アジャスター詳細図



K-456

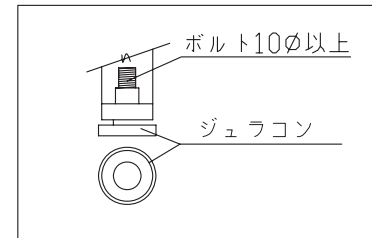
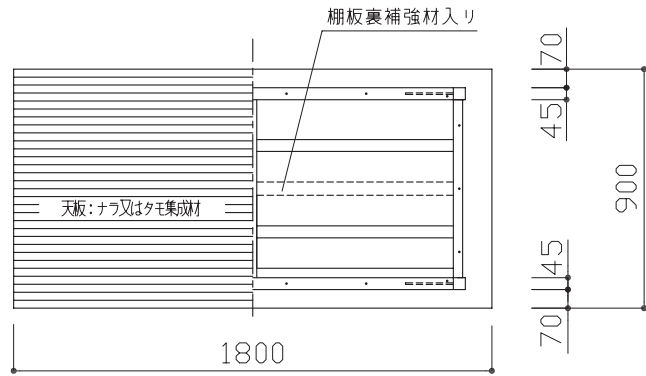
記号	名称	材質	備考
1	天板	ナラまたはタモ集成材 (40mm厚)	
2	裏板	タモ桎合板 (12mm厚以上)	
3	側板	タモ桎合板 (12mm厚以上)	
		木部塗装	自然塗料またはウレタン塗装仕上げ
4	棚板	SPCC t1.0mm	鋼板
5	脚	STKMR 45×45×t1.6mm	角型鋼管
6	幕板	STKMR 40×25×t1.2mm	角型鋼管
		鉄部塗装	粉体塗装 (アイボリー)
7	アジャスター	(詳細図参照)	4個

公差±3mm

名称 教師用木工台  
W1800×D900×H760

教育委員会施設部教育施設課

\*脚部(ステール部分)の組み立ては全て溶接により組み上げること  
(ボルト、ナット、及びタッピングビスによる組み立ては不可)



アジャスター詳細図

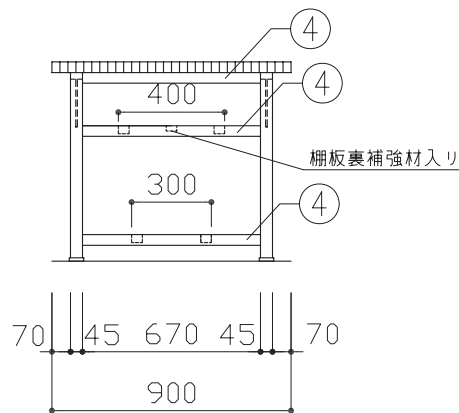
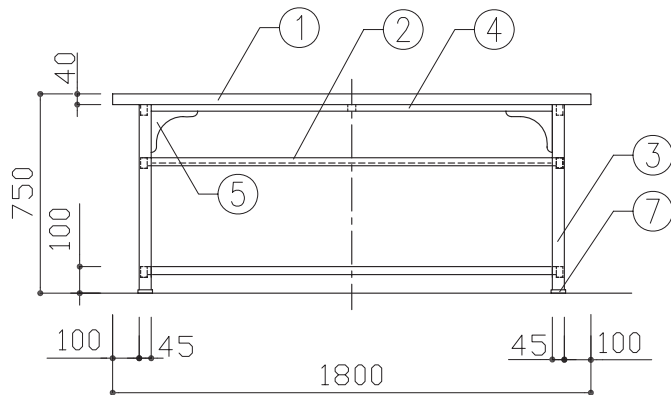
K-457

記号	名称	材質	備考
1	天板	ナラまたはタモ集成材(40mm厚)	
	木部塗装	自然塗料またはウレタン塗装仕上げ	
2	棚板	SPCC t1.0mm	鋼板
3	脚	STKMR 45×45×t1.6mm	角型鋼管
4	幕板	STKMR 40×25×t1.2mm	角型鋼管
5	補強	SECC t3mm厚以上	
	鉄部塗装	粉体塗装(アイボリー)	
7	アジャスター	(詳細図参照)	4個

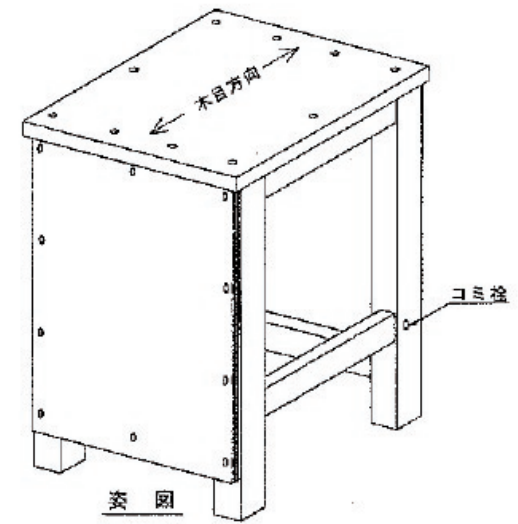
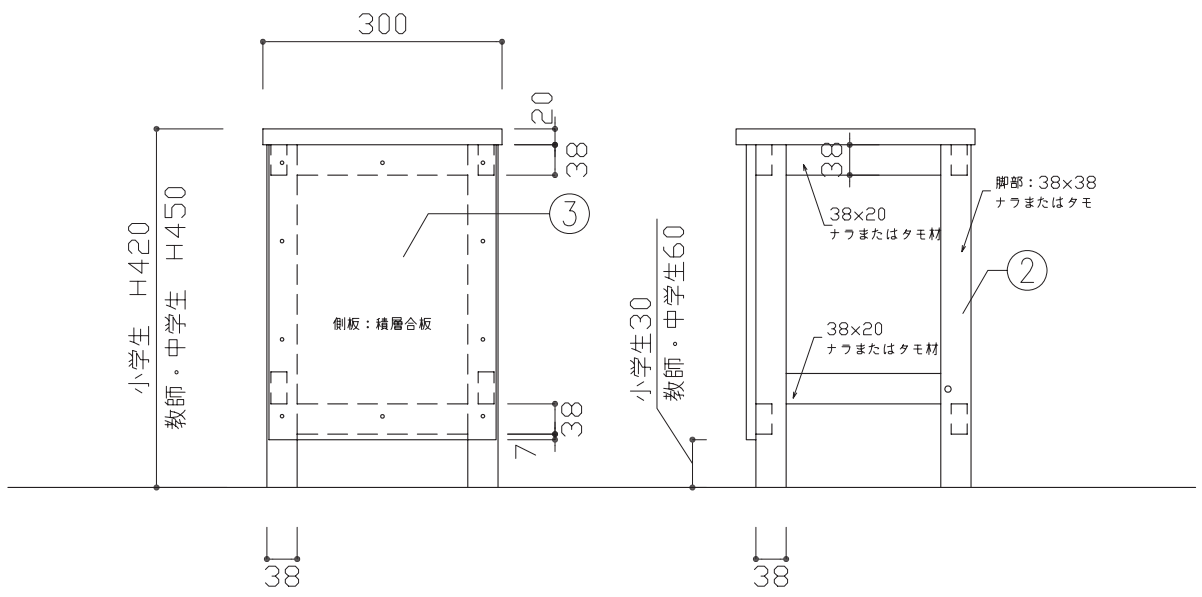
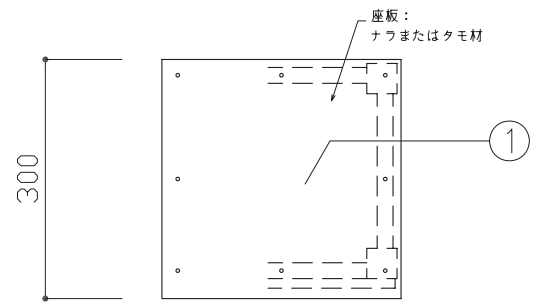
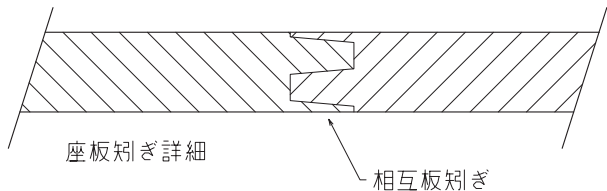
公差±3mm

名称 生徒用木工台  
W1800×D900×H750

教育委員会施設部教育施設課



\*脚部(スチール部分)の組み立ては全て溶接により組み上げること  
(ボルト、ナット、及びタッピングビスによる組み立ては不可)



K-401

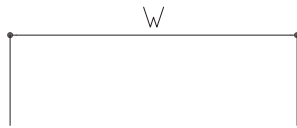
記号	名称	材質
①	座板	ナラ又はタモ材（相互板矧ぎ）
②	脚部	ナラ又はタモ材
③	側板	積層合板（F☆☆☆☆）

塗装：自然塗料又はCL仕上げ

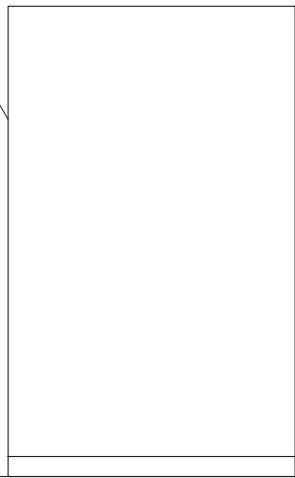
教師・中学生 H450  
小学生 H420

名称	木製角椅子
----	-------

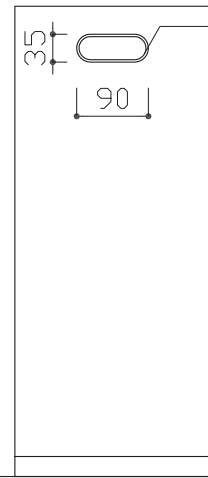
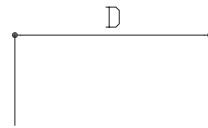
横浜市教育委員会施設部教育施設課



①



H



②



K-104

記号	名称	材質	数量	備考
①	本体	SPCC 0.4 t	1	鋼板
②	取手	合成ゴム	2	

本体：メラミン焼付塗装（アイボリー）

【寸法】

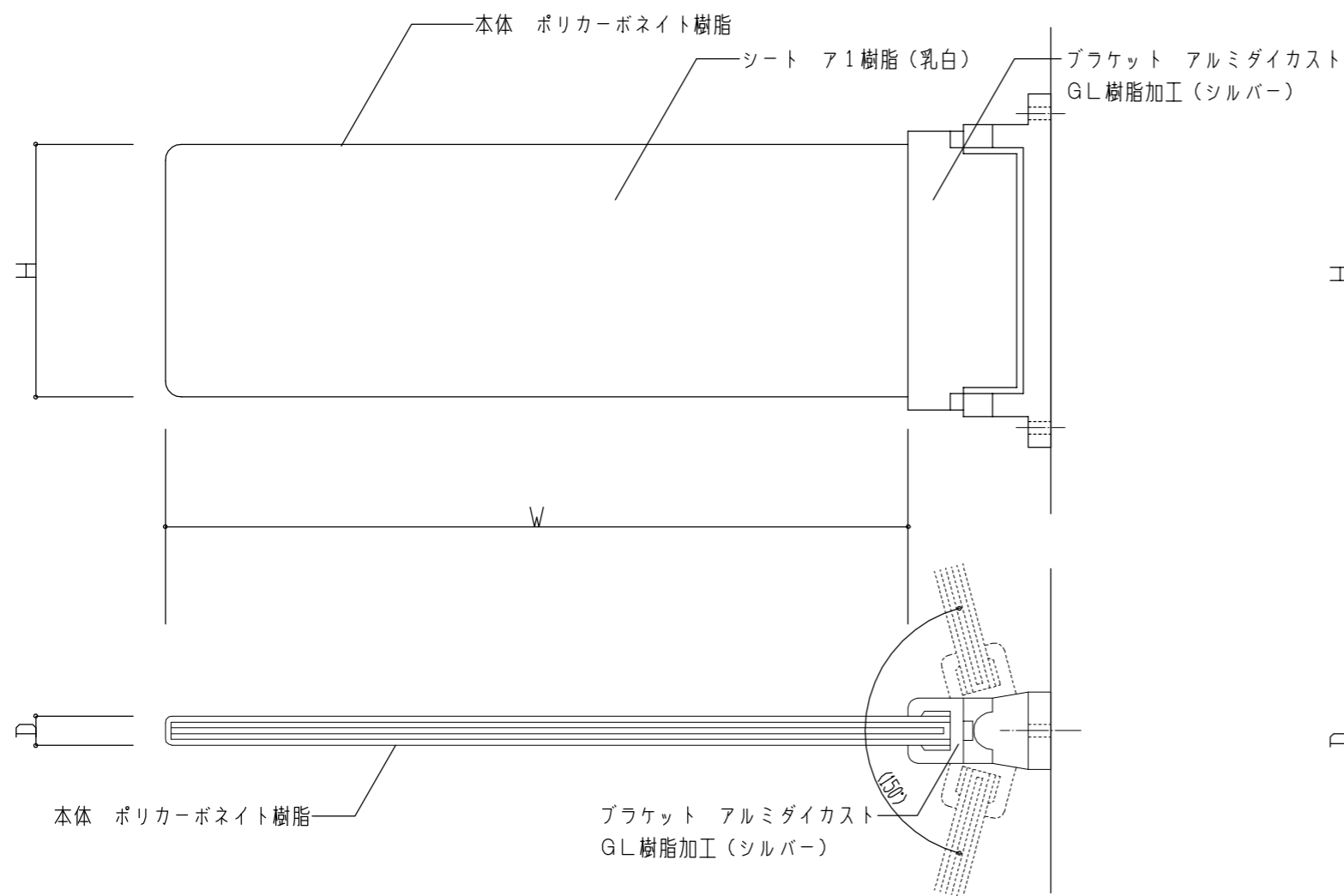
A (標準) w360 d245 h590  
B (小型) w275 d190 h530

名称

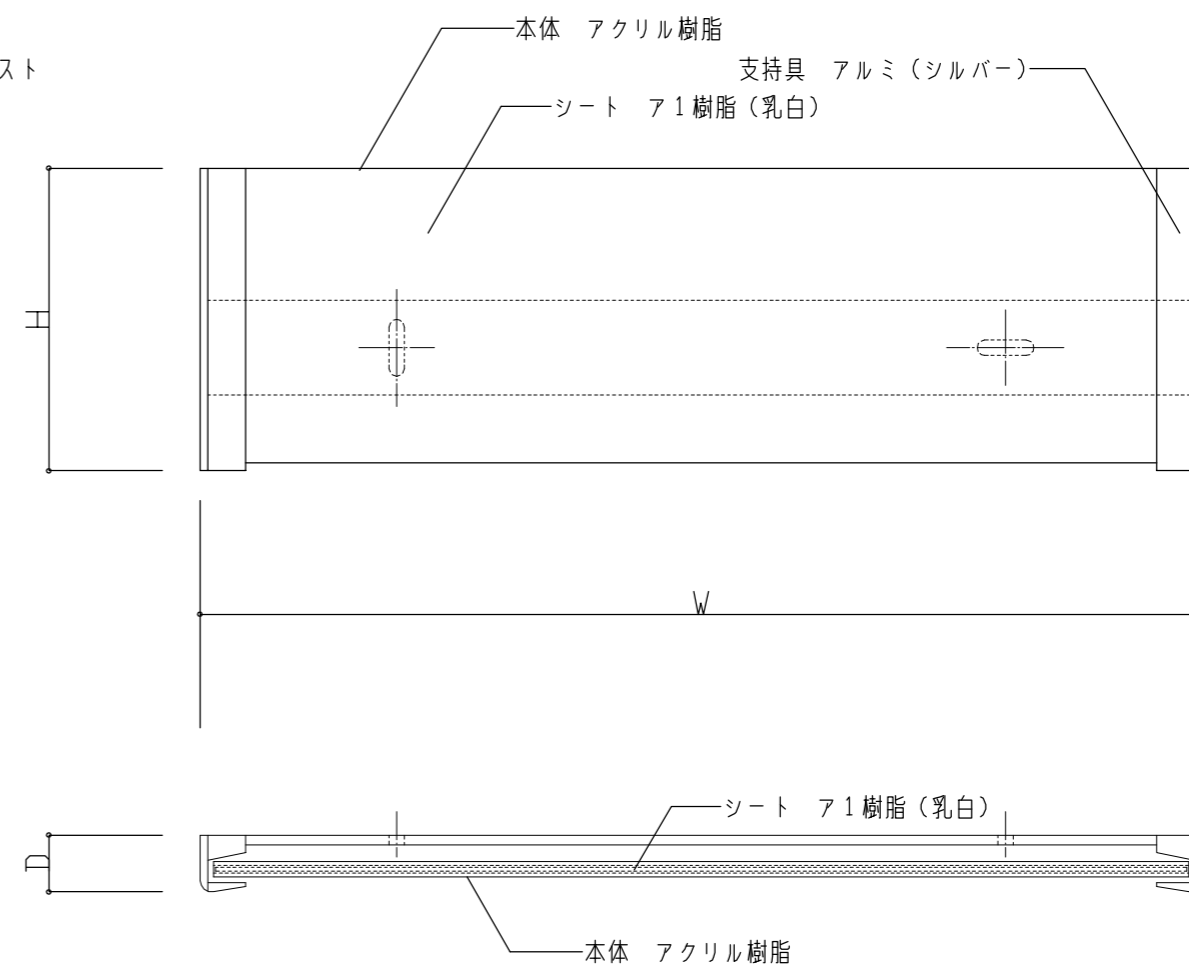
チリ箱

横浜市教育委員会施設部教育施設課



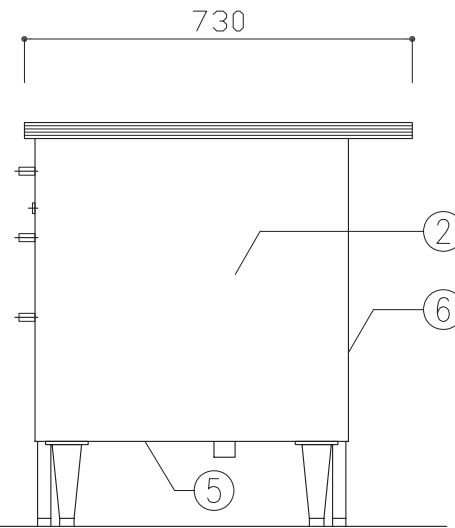
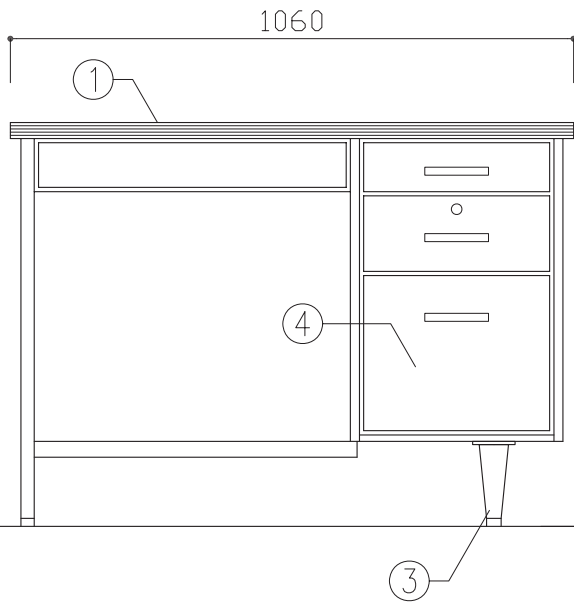
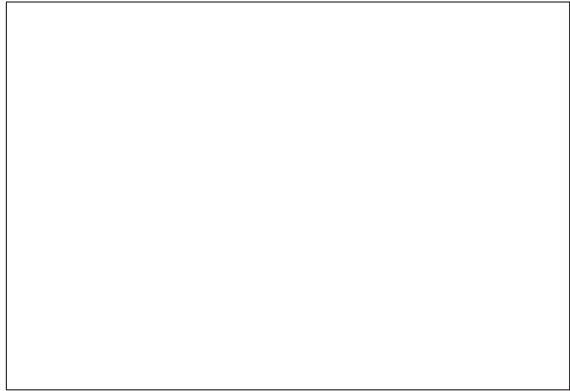


A 持出しタイプ



B 平付けタイプ

仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室 名 札	
			縮 尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204



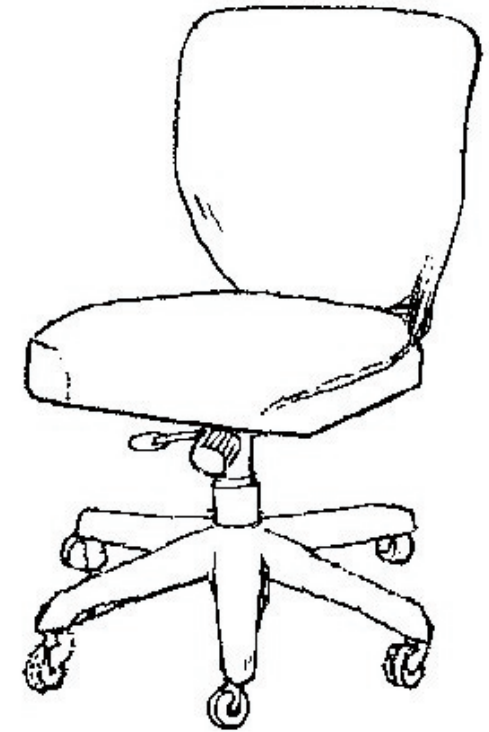
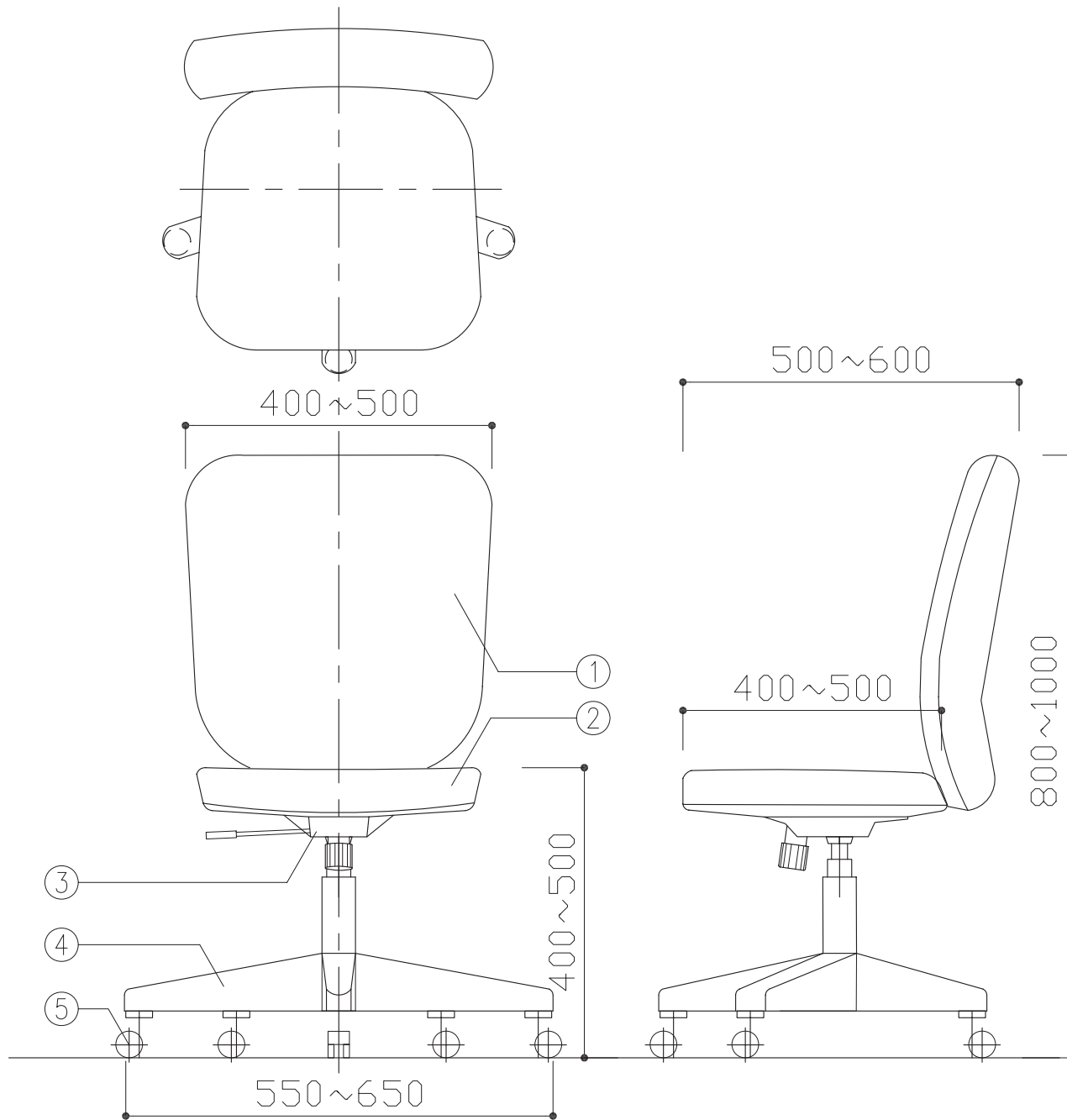
K-109

記号	名称	材質	加工	数量	備考
①	天板	SPCCメラミン 1.0t		1	鋼板
②	側板	SPCC 0.8t	塗装	2	鋼板
③	脚	SPCC 1.0t	塗装	4	鋼板
④	抽斗	SPCC 0.8t	塗装	4	鋼板
⑤	底板	SPCC 1.2t	塗装	1	鋼板
⑥	裏板	SPCC 0.8t	塗装	1	鋼板

・新古品(可)

名称 片袖机旧JIS5号(職員用)

横浜市教育委員会施設部教育施設課

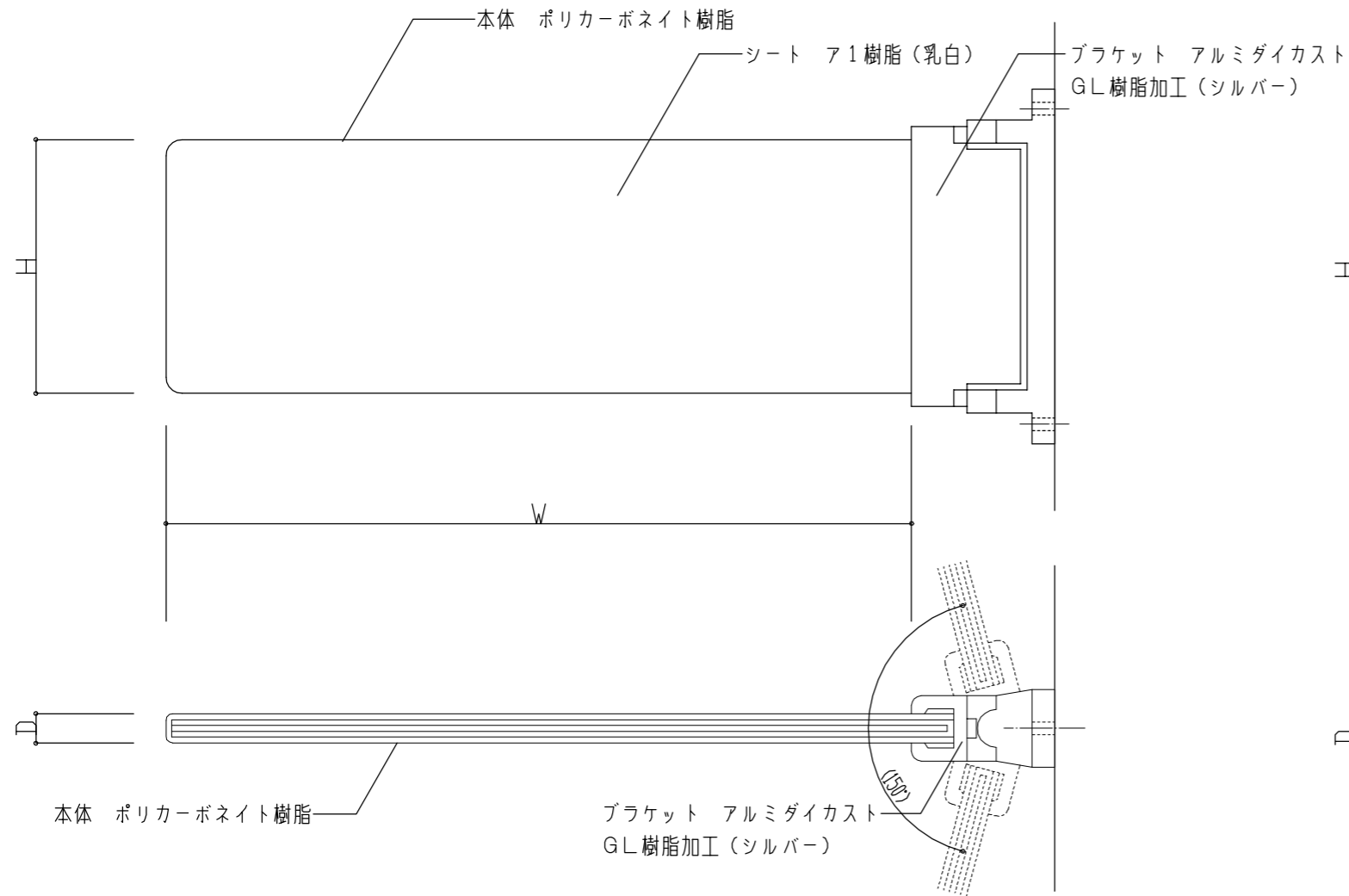


K-110-2

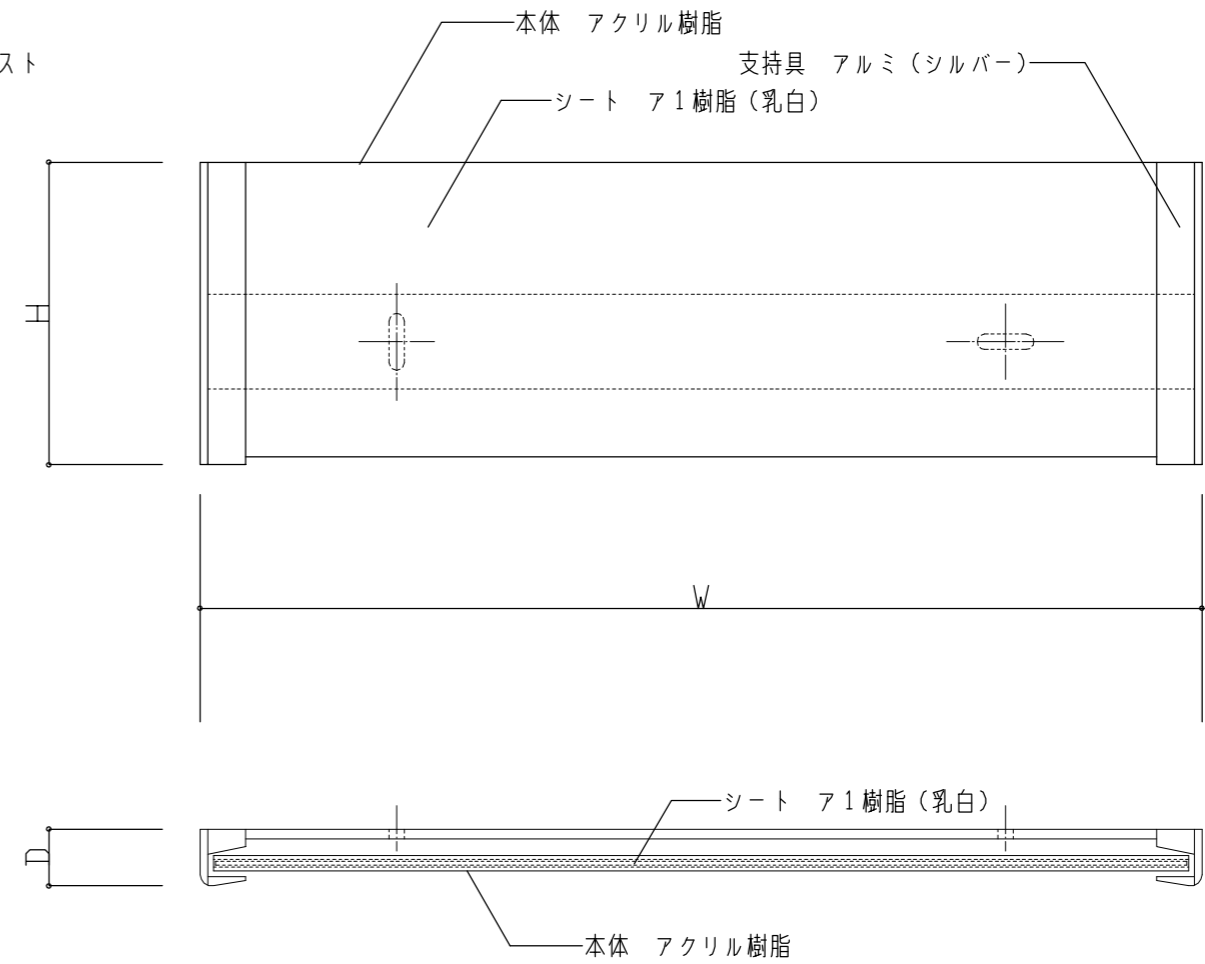
記号	名称	材質	数量	備考
①	背板	ポリエステル布貼り	1	
②	座板	ポリエステル布貼り	1	
③	リフト装置		1	
④	脚	強化ナイロン樹脂	1	
⑤	車	ナイロン双輪	5	(カーペット床)
		ウレタン双輪		(硬質床)

名称 職員用椅子 ②

横浜市教育委員会施設部教育施設課

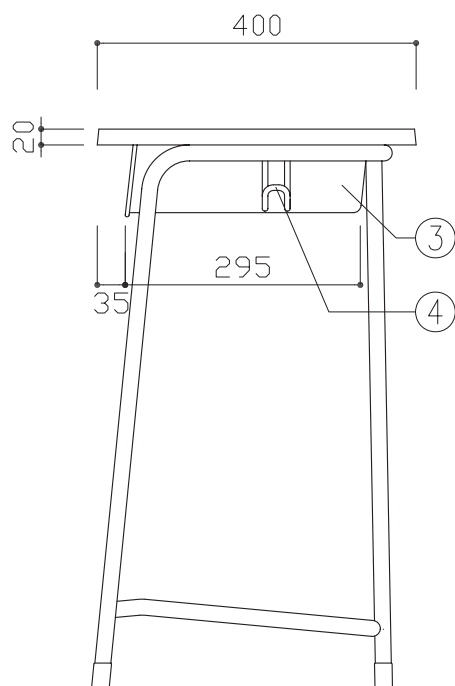
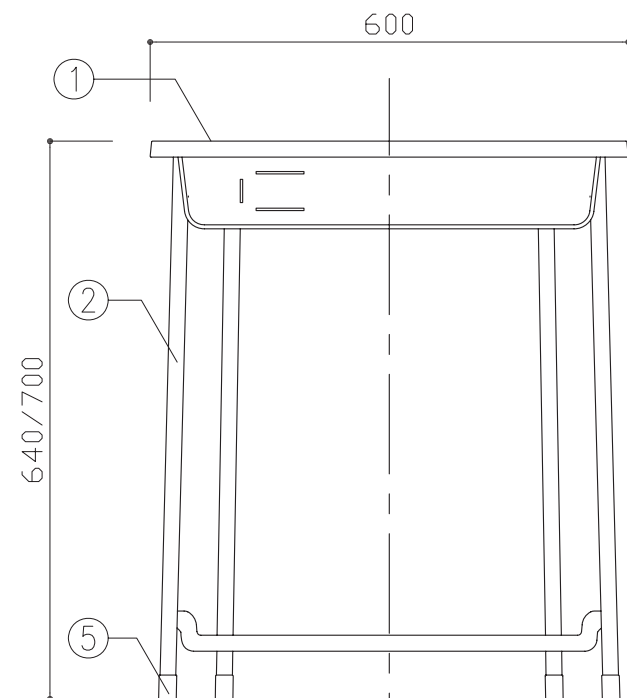
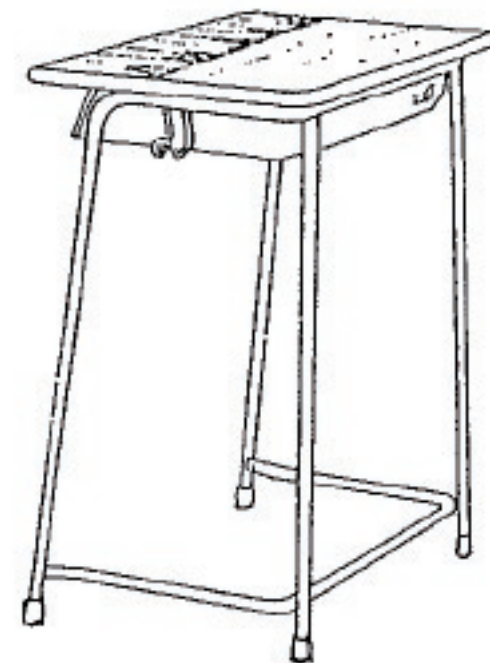
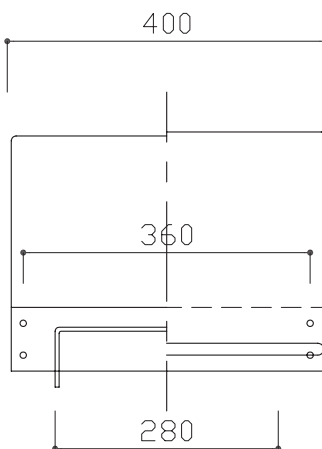
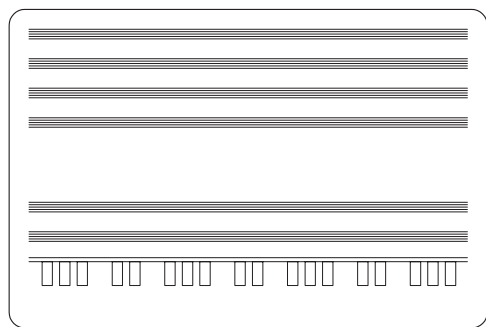


A 持出しタイプ



B 平付けタイプ

仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室 名 札	
			縮 尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204



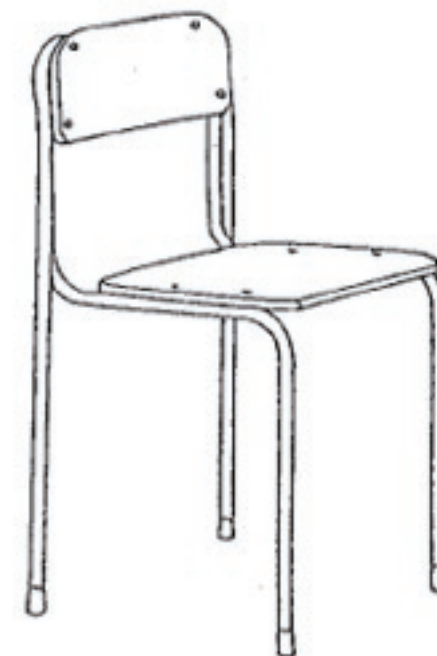
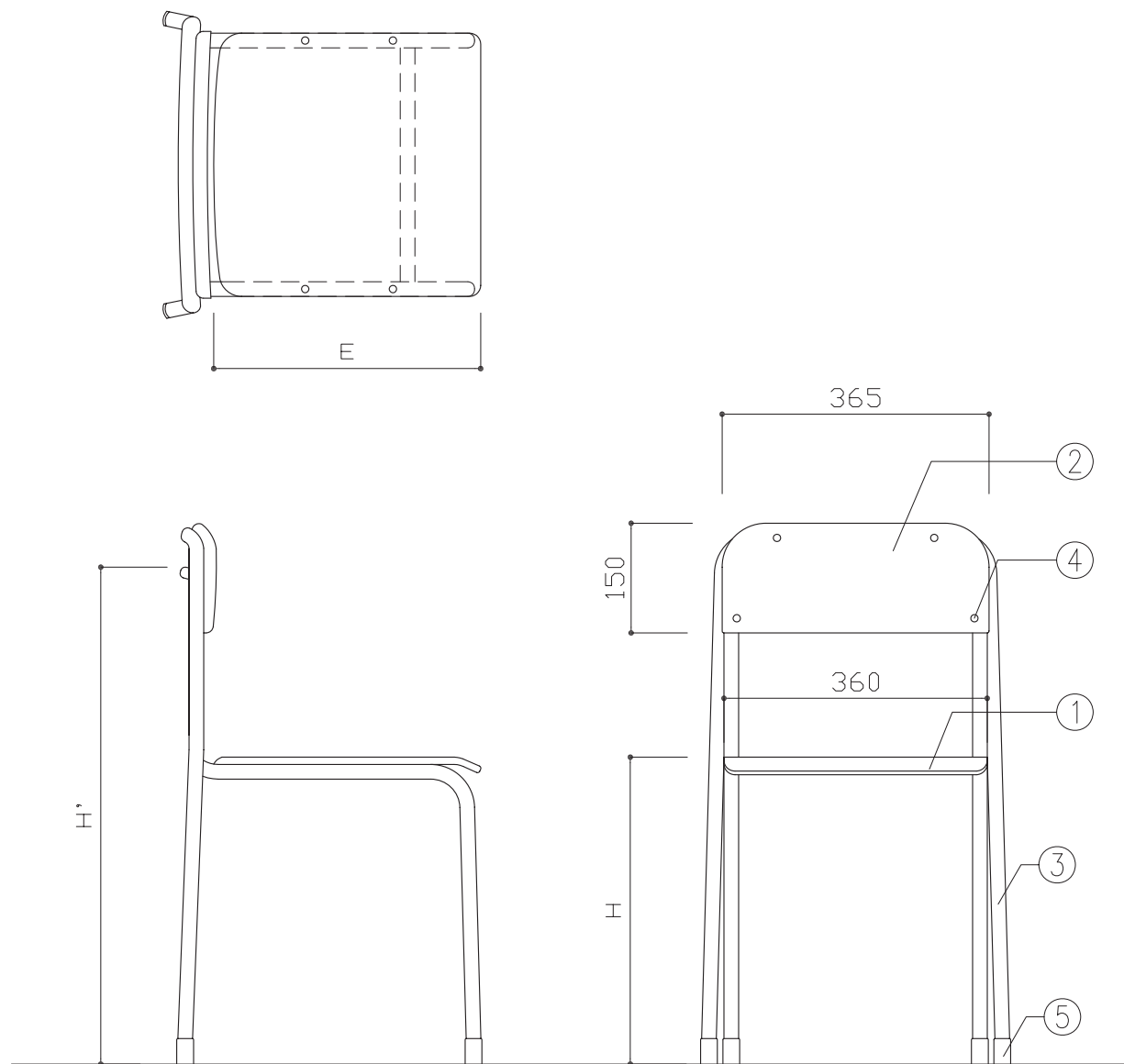
K-113

記号	名称	材質	数量	備考
①	甲板	モルパ		
②	脚	STKM11A		丸型鋼管
③	物入れ	SPCC		鋼板
④	フック	SWRM3		
⑤	脚端	合成樹脂		
⑥	スチールワイヤー	クロームメッキ仕上げ		

・中学校用 H700  
・小学校用 H640

名称 音楽室用机

横浜市教育委員会施設部教育施設課



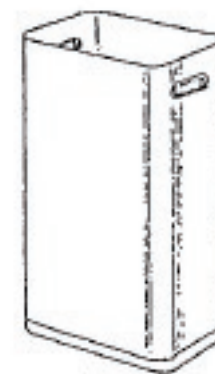
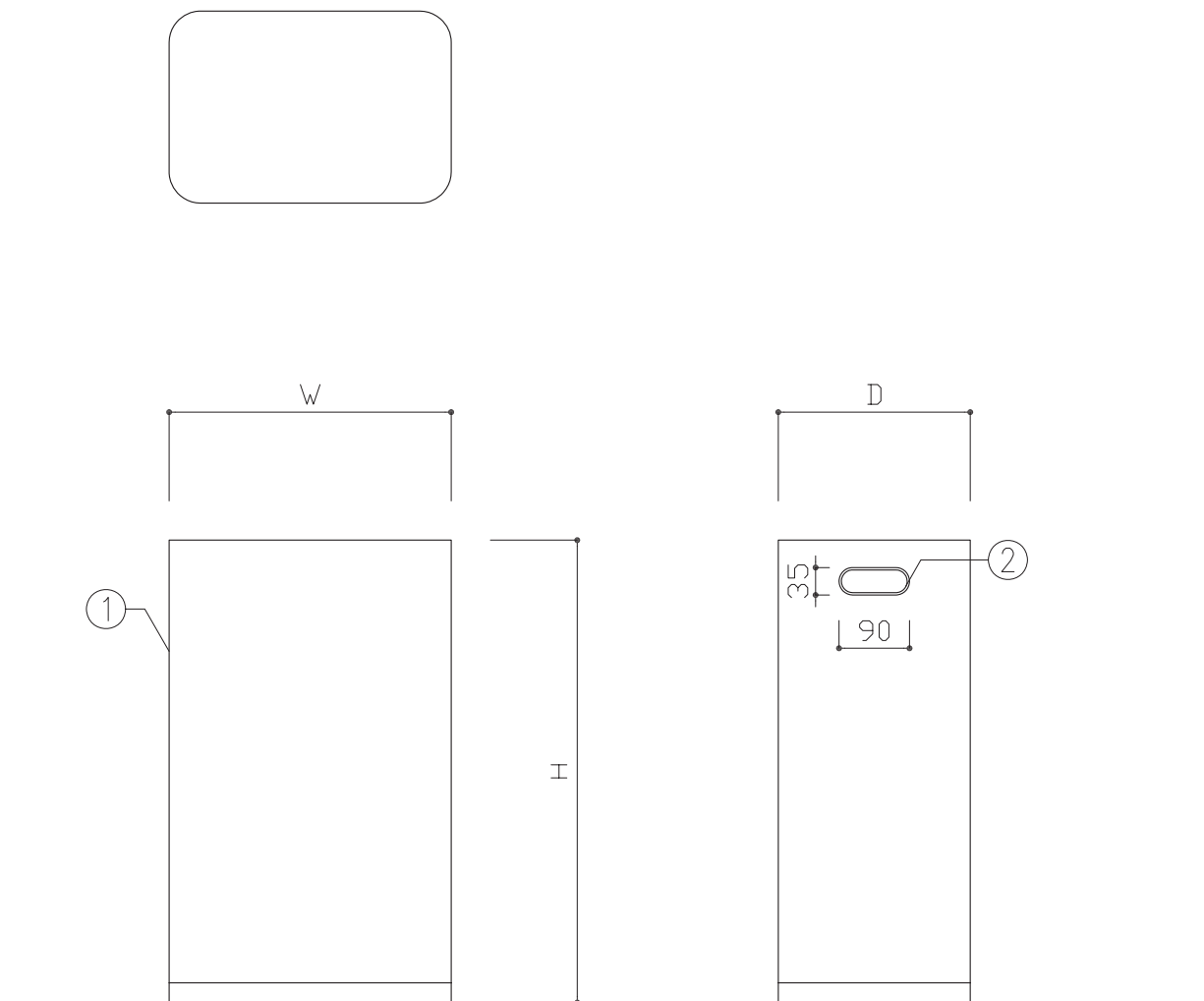
K-114

記号	名称	材質	数量	備考
①	座板	合板		
②	背	合板		
③	脚	STKM11A		丸型鋼管
④	穴付リベット	SWRM		
⑤	脚端	合成樹脂		

- ・ (中学校用 2号) H' 680 H420 E365
- ・ (小学校用 4号) H' 620 H380 E365

名称 音楽室用椅子

横浜市教育委員会施設部教育施設課



K-104

記号	名称	材質	数量	備考
①	本体	SPCC 0.4 t	1	鋼板
②	取手	合成ゴム	2	

本体：メラミン焼付塗装（アイボリー）

【寸法】

A (標準) w360 d245 h590  
B (小型) w275 d190 h530

名称 ちり箱

横浜市教育委員会施設部教育施設課

A、B - 天井吊りフック 1/10,1/2

1/10,1/2

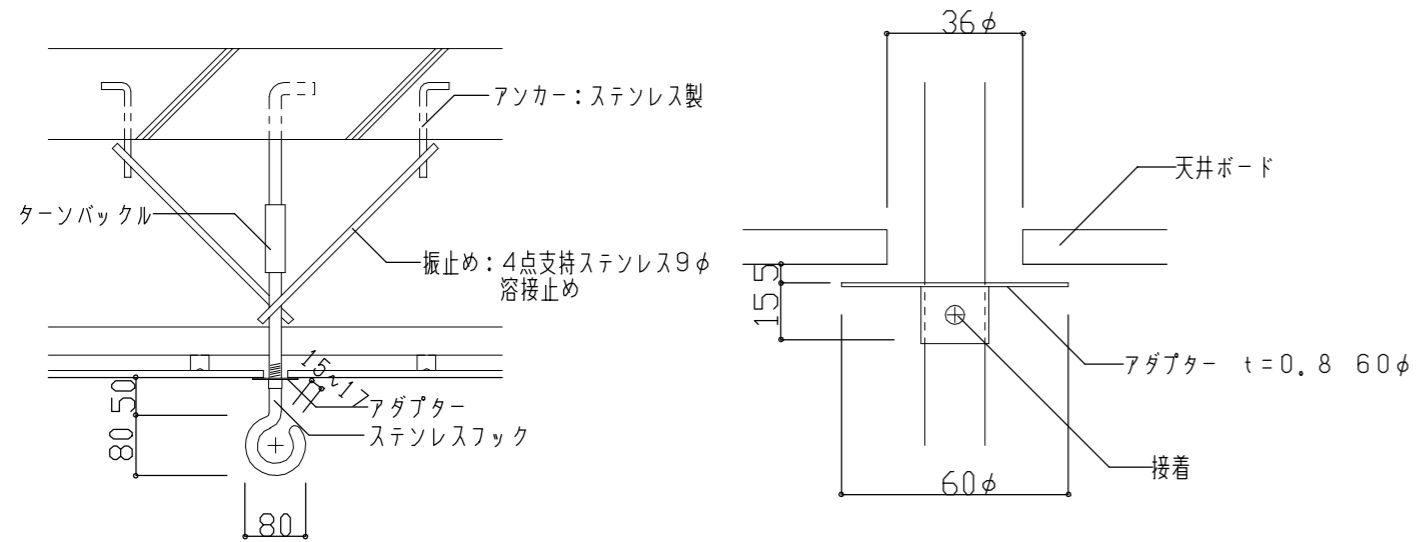
C - 柱型付フック 1/5

1/5

D - 梁型付フック 1/5

1/5

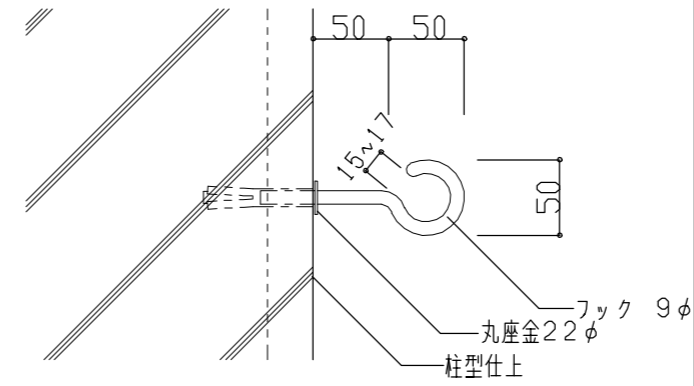
家庭科室



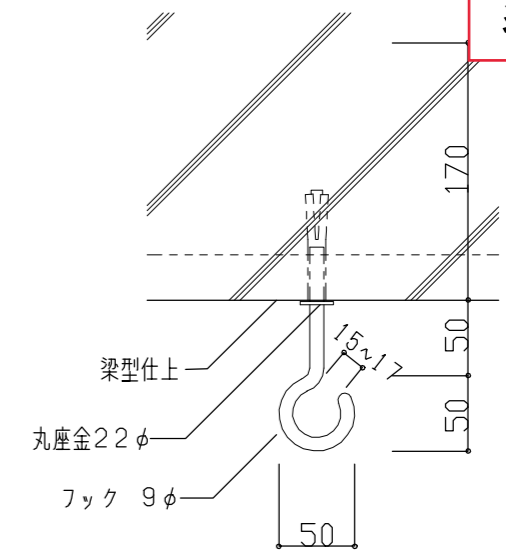
アダプター詳細図 縮尺1/2

\*天井材には接着しないこと

- A ステンレスフック16φ:個別支援学級(第二学習室)
- B ステンレスフック9φ:個別支援学級(第一学習室)・理科準備室・家庭科教室・図画工作教室



図画工作教室

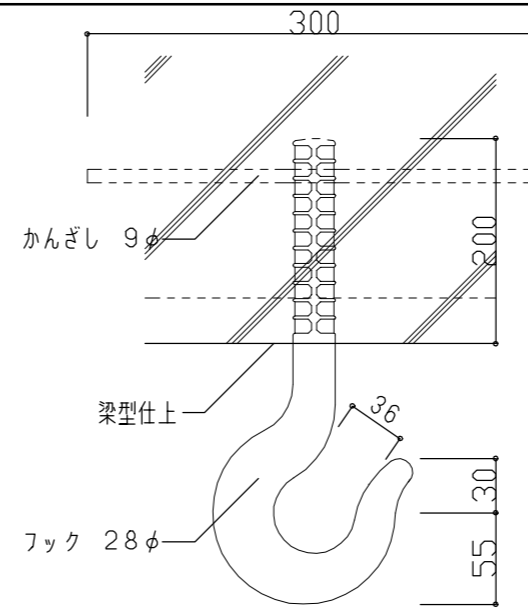


理科教室

\* 吊り下げ耐荷重200kg以上

E - 梁型付フック 1/5

1/5



変電室

\* 吊り下げ耐荷重1,000kg以上

仕様

- 1)
- 2)
- 3)

特記事項

- 1) Aは個別支援学級(第二学習室)に設置する
- 2) Bは個別支援学級(第一学習室)・理科準備室・家庭科教室・図画工作教室に設置する
- 3) Cは図画工作教室に設置する
- 4) Dは理科教室に設置する
- 5) Eは変電室に設置する

設計上の留意点

- 1)

図面名称 ステンレスフック

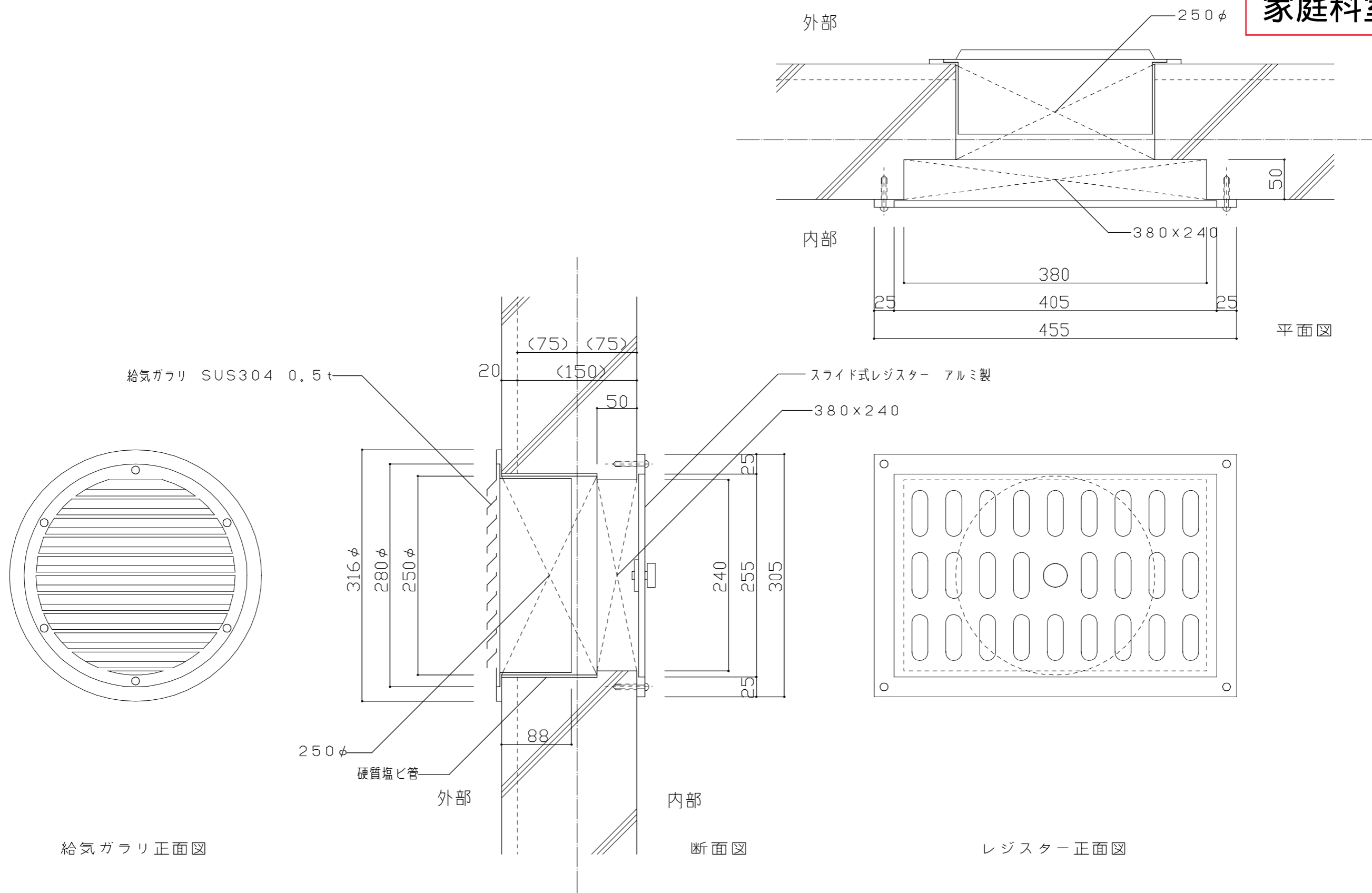
縮尺 1/2,1/3,1/10

平成30年2月

横浜市建築局

I-208





仕様

- 1) ガラリ SUS304 0.5t 電解研磨ツヤ消しクリアー塗装
- 2) レジスター スライド式 アルミ製 アルマイト処理

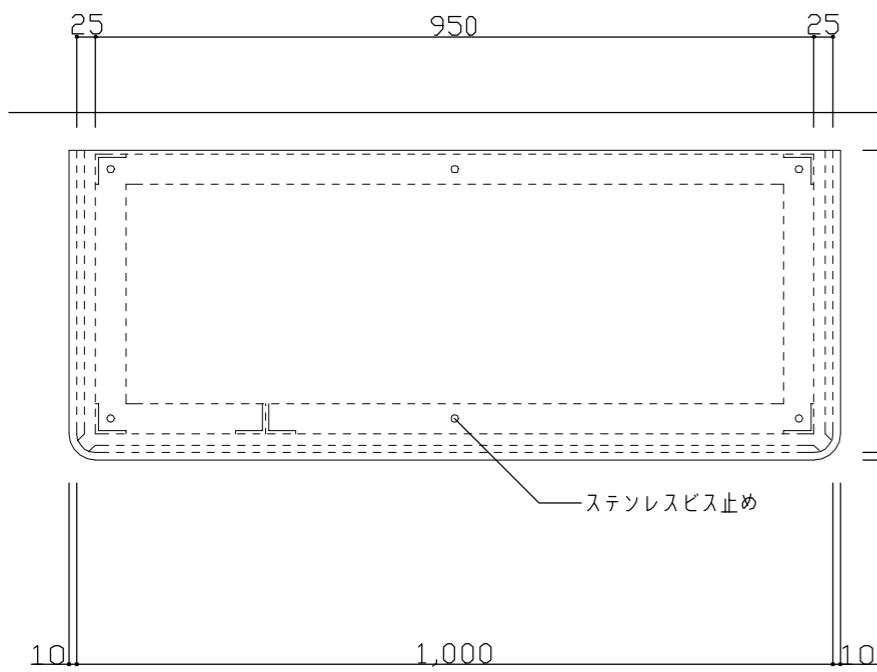
特記事項

- 1) 理科教室・家庭科教室・調理教室に適用する。

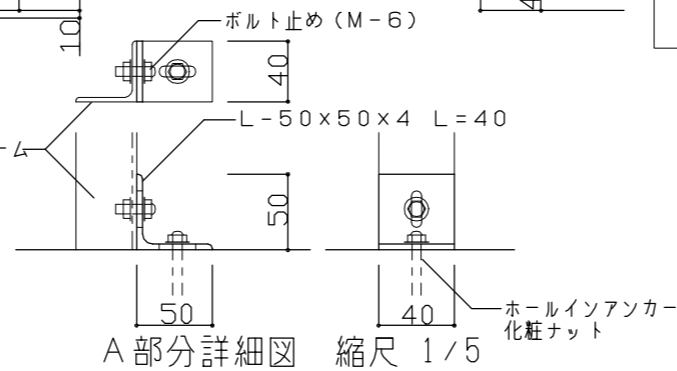
設計上の留意点

- 1) 火気使用室の給気口、バルコニー側の腰壁設置の場合を示す
- 2) 延焼線内に入る場合は、FD付きとする

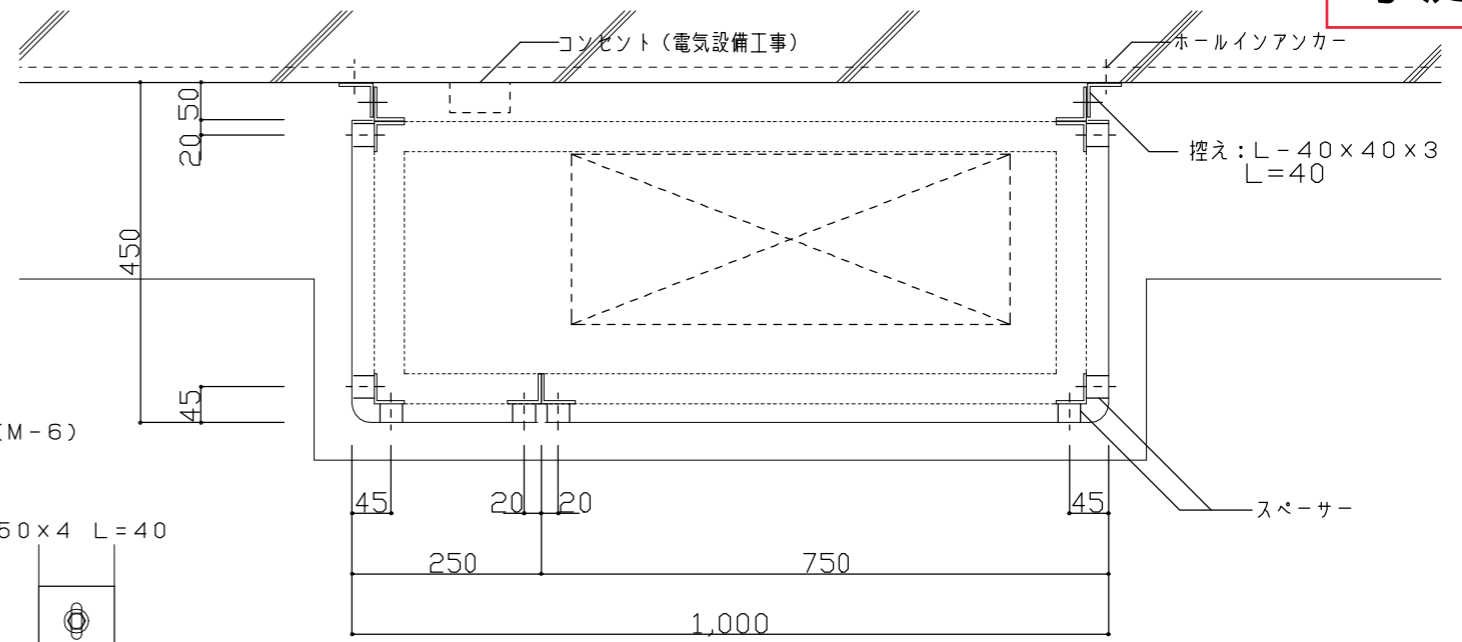
図面名称	給気孔 250φ	
縮尺	1/5	平成30年2月
横浜市建築局		I-206



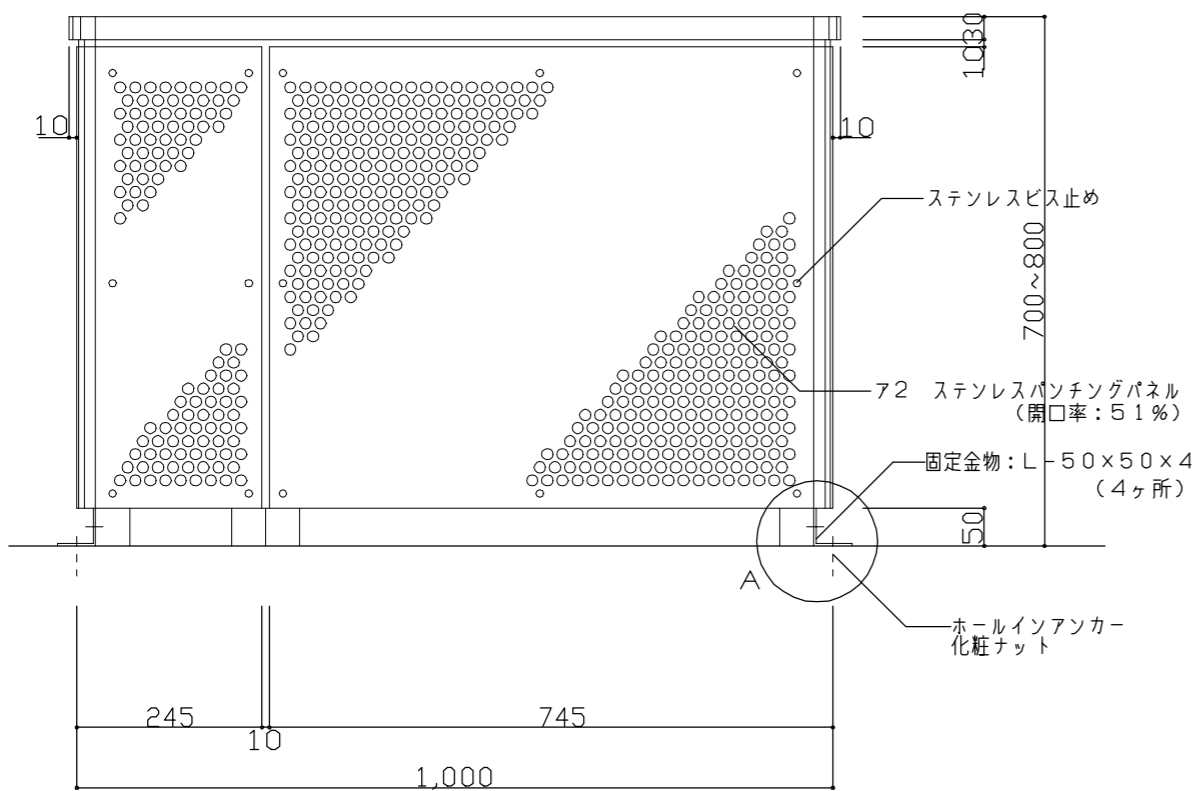
伏図



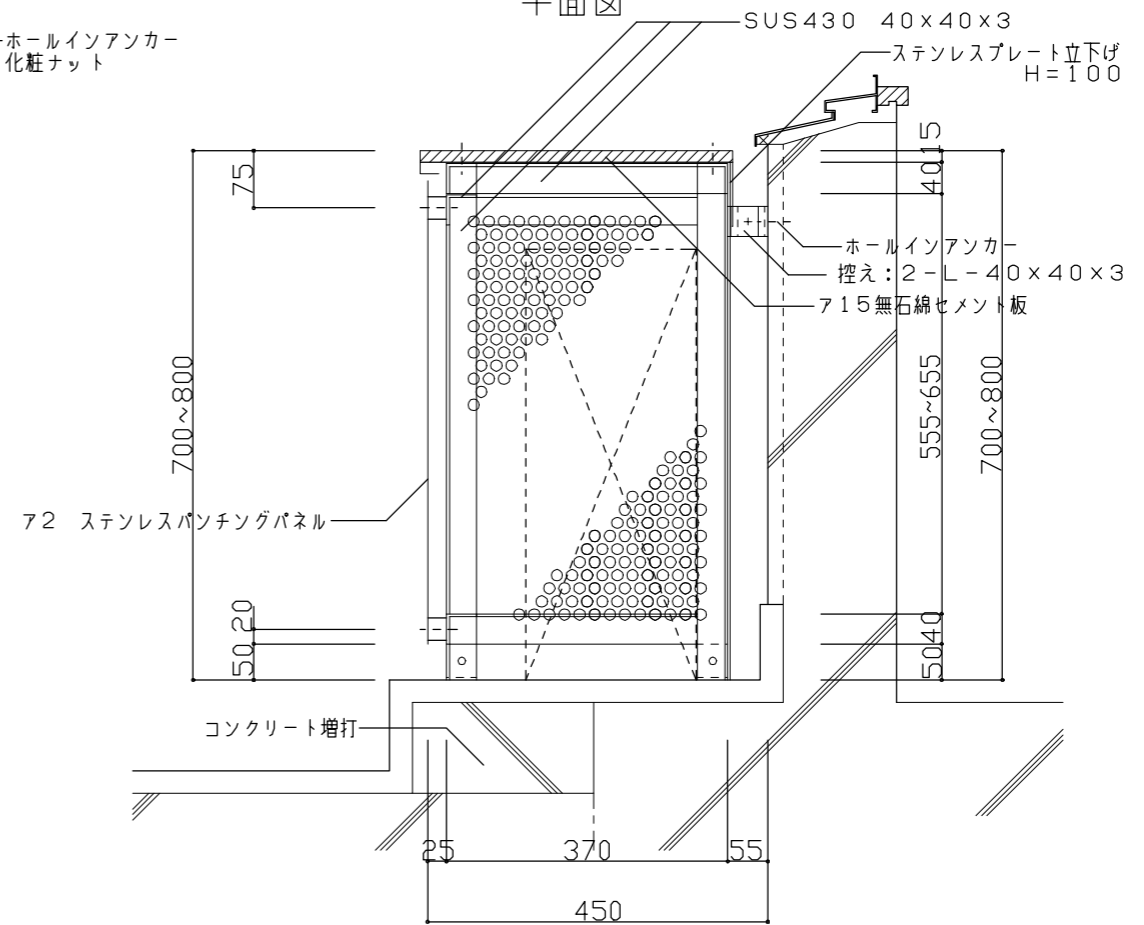
縮尺 1/5



平面図

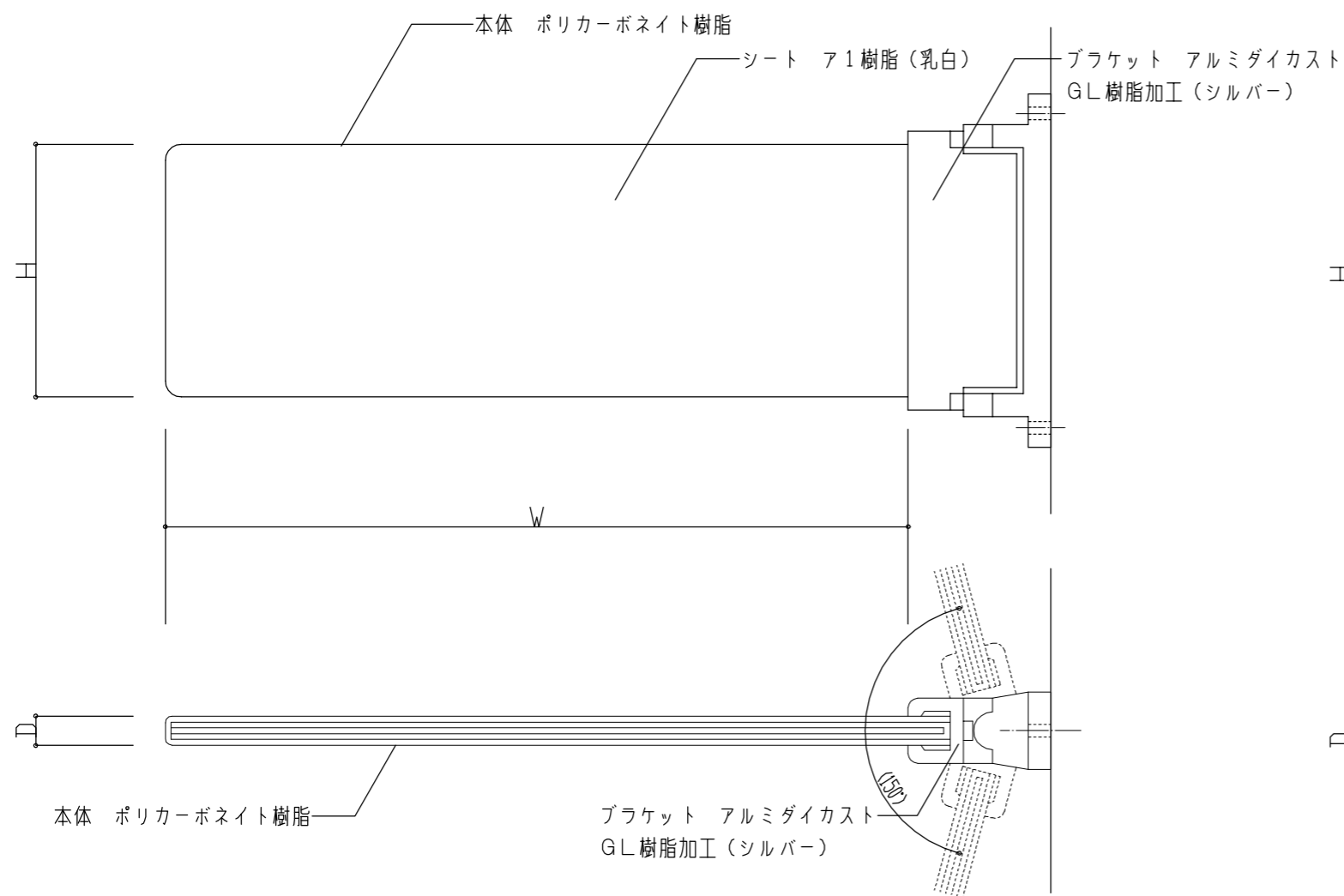


正面図

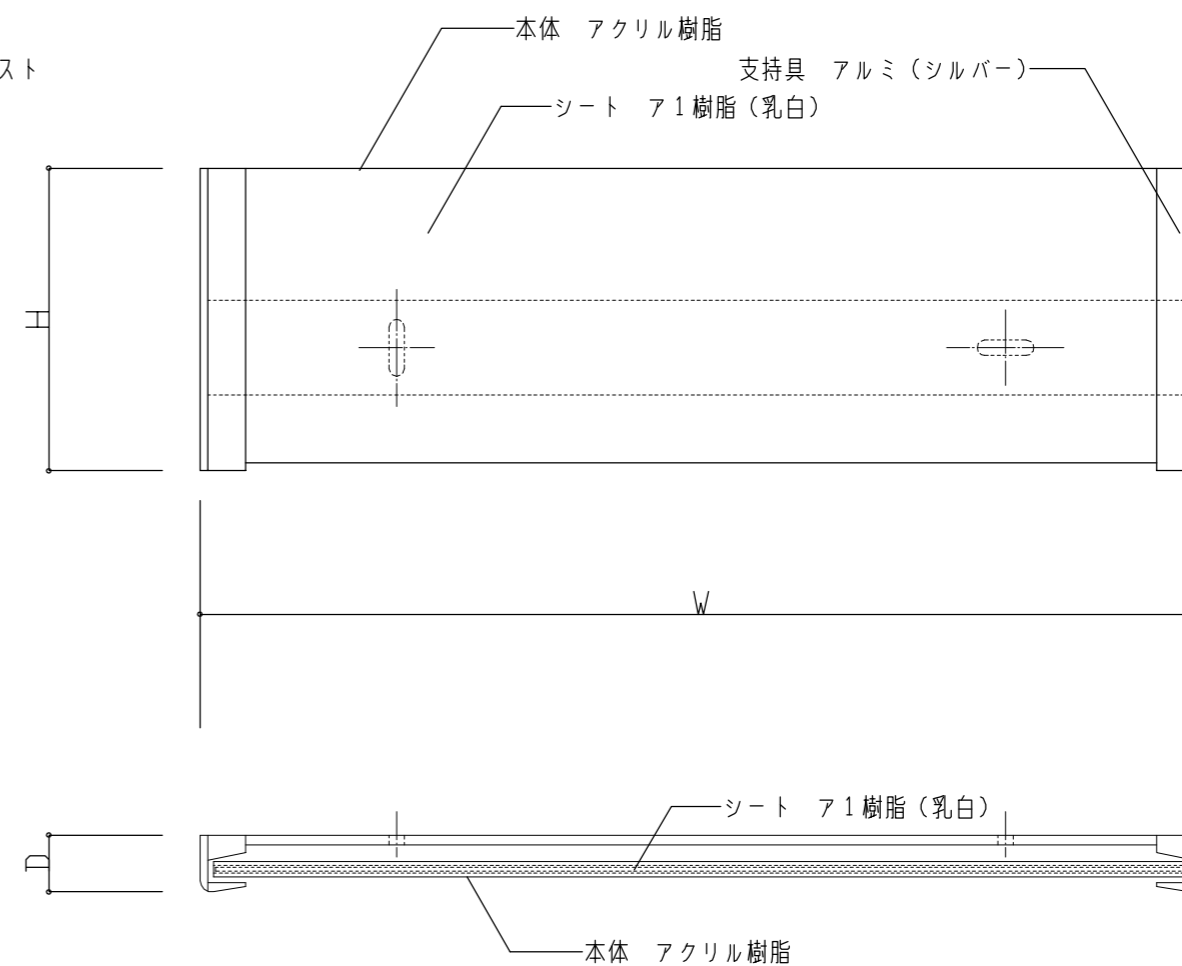


断面図

仕 様 1) 部材は、見え掛りはステンレスSUS304バフ400#とする。 2) 骨組みは、ステンレスSUS430とする。 3)	特記事項 1) バルコニー、及びガラス部分の床置き型給湯器カバーを示す 2) 個別支援学級(小・中)、理科教室、家庭科教室、調理教室、美術教室、保健室、技術員室、職員更衣室	設計上の留意点 1) 給湯器はメーカーによりサイズが異なる為、設備と打合せの上寸法を決定する事	図面名称	給湯器カバー(16~32号)	
			縮 尺	1/5, 1/10	平成30年2月
			横浜市建築局		I-105

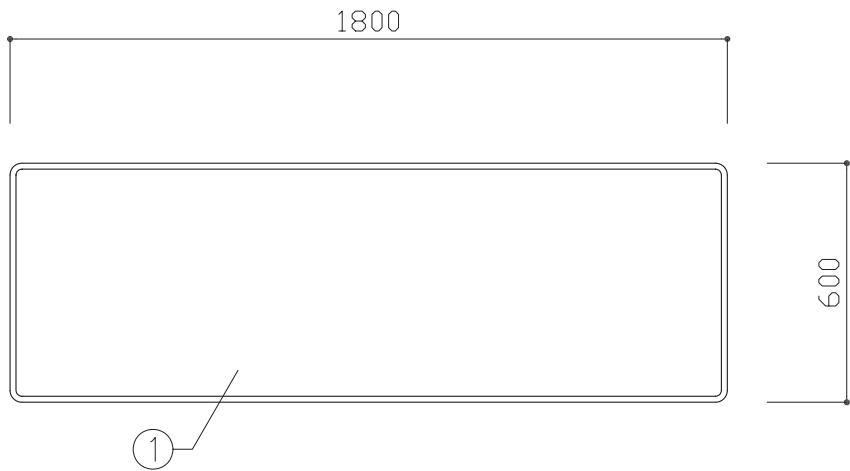


A 持出しタイプ

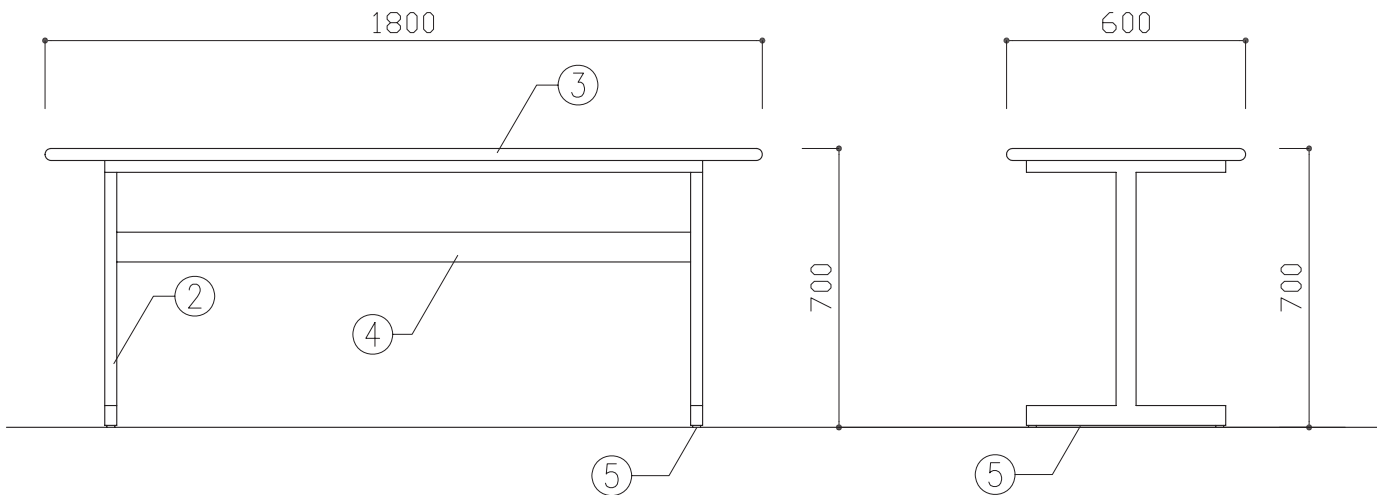


B 平付けタイプ

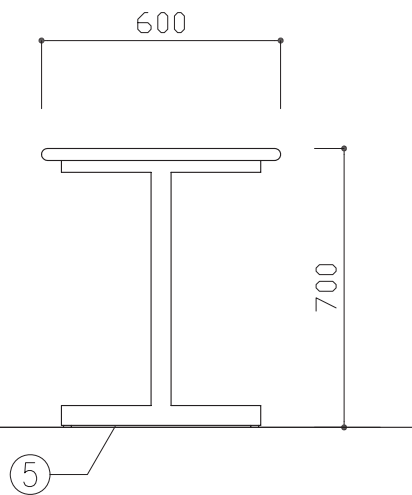
仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室 名 札	
			縮 尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204



平面図



正面図



側面図

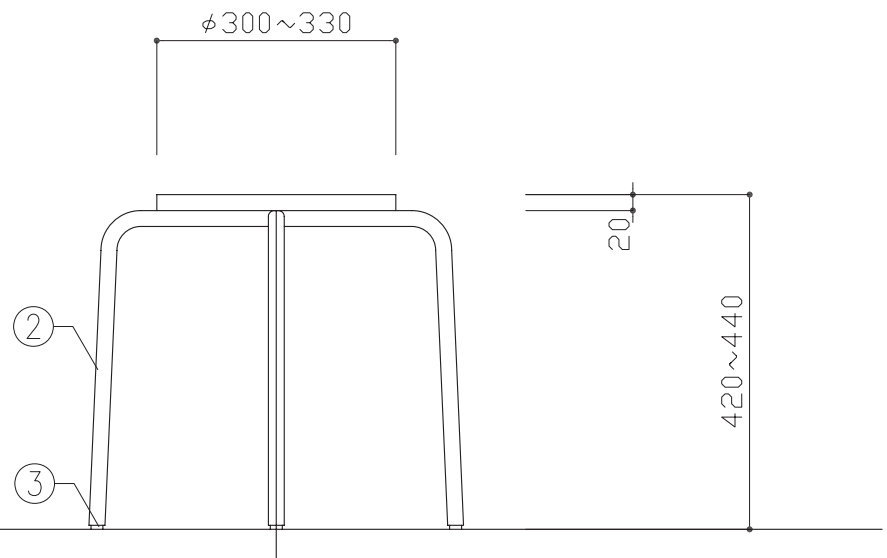
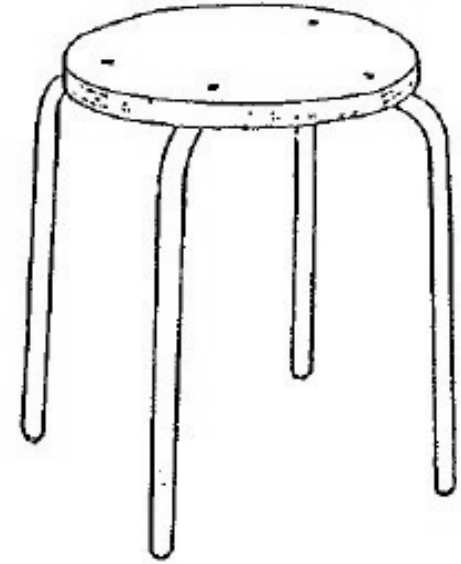
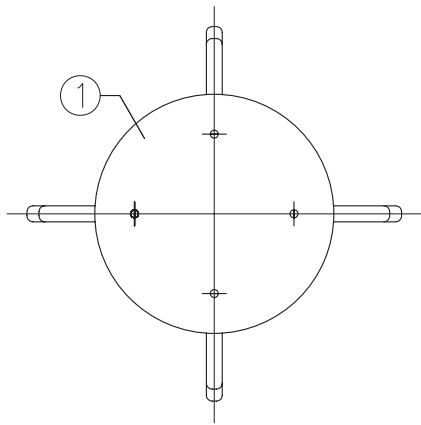
K-150

記号	名称	材質	数量	備考
①	甲板	積層合板 メラミン化粧板 730 アイボリー		
②	脚	STKM		丸型鋼管
③	天板受	STKM		丸型鋼管
④	補強用	STKM		丸型鋼管
⑤	アジャスター	樹脂		

名称

食卓テーブル：B  
(W1800×D600×H700)

教育委員会施設部教育施設課

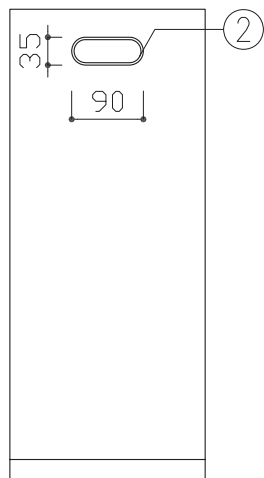
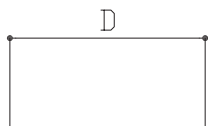
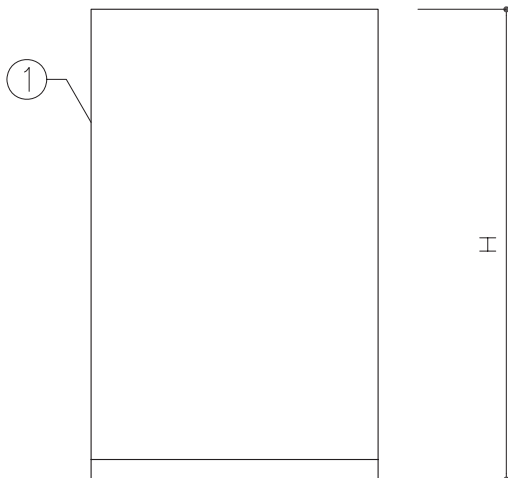
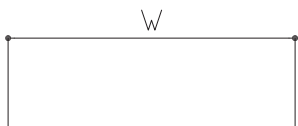


K-117

記号	名称	材質	数量	備考
①	座板	合板CR		
②	脚	STKM		丸型鋼管
③	脚端	ナイロン打込		

名称 食卓用丸椅子

教育委員会施設部教育施設課



K-104

記号	名称	材質	数量	備考
①	本体	SPCC 0.4 t	1	鋼板
②	取手	合成ゴム	2	

本体：メラミン焼付塗装（アイボリー）

【寸法】

A (標準) w360 d245 h590  
B (小型) w275 d190 h530

名称 ちり箱

横浜市教育委員会施設部教育施設課

A、B - 天井吊りフック 1/10,1/2

1/10,1/2

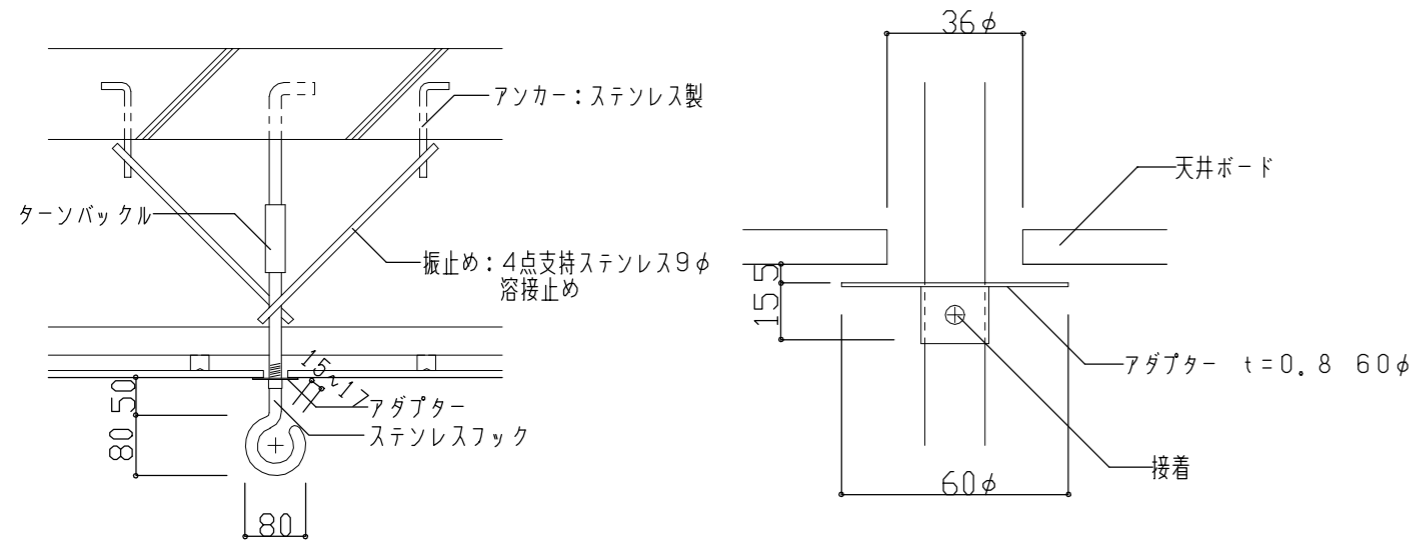
C - 柱型付フック 1/5

1/5

D - 梁型付フック 1/5

1/5

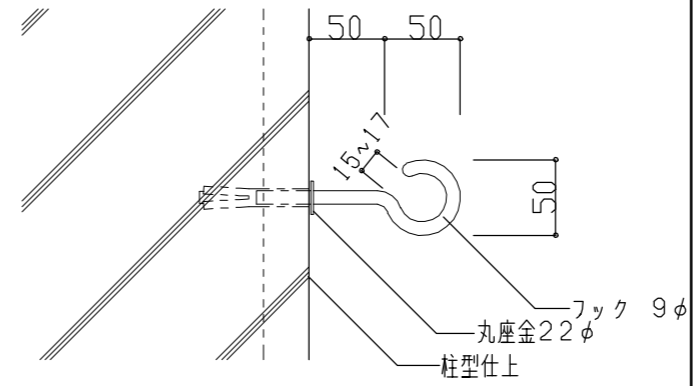
理科室



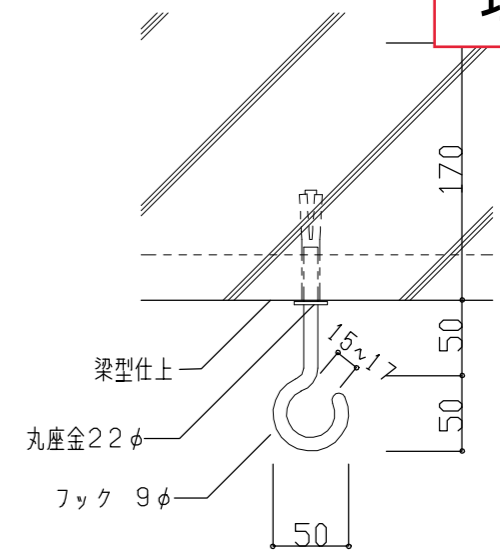
アダプター詳細図 縮尺1/2

\*天井材には接着しないこと

- A ステンレスフック16φ：個別支援学級（第二学習室）
- B ステンレスフック 9φ：個別支援学級（第一学習室）・理科準備室・家庭科教室・図画工作教室



図画工作教室

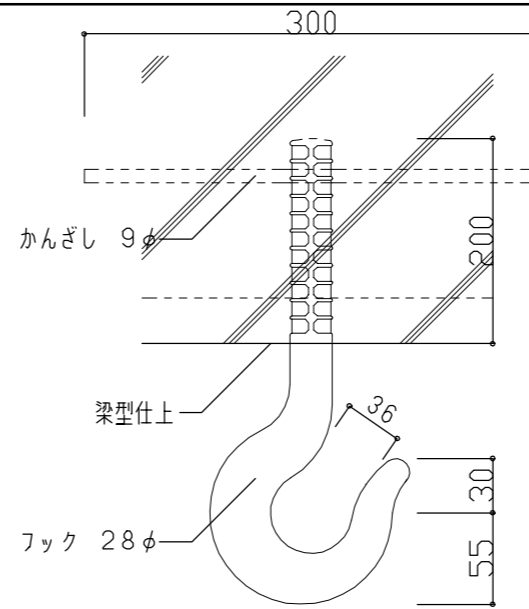


理科教室

\* 吊り下げ耐荷重200kg以上

E - 梁型付フック 1/5

1/5



変電室

\* 吊り下げ耐荷重1,000kg以上

仕様

- 1)
- 2)
- 3)

特記事項

- 1) Aは個別支援学級（第二学習室）に設置する
- 2) Bは個別支援学級（第一学習室）・理科準備室・家庭科教室・図画工作教室に設置する
- 3) Cは図画工作教室に設置する
- 4) Dは理科教室に設置する
- 5) Eは変電室に設置する

設計上の留意点

- 1)

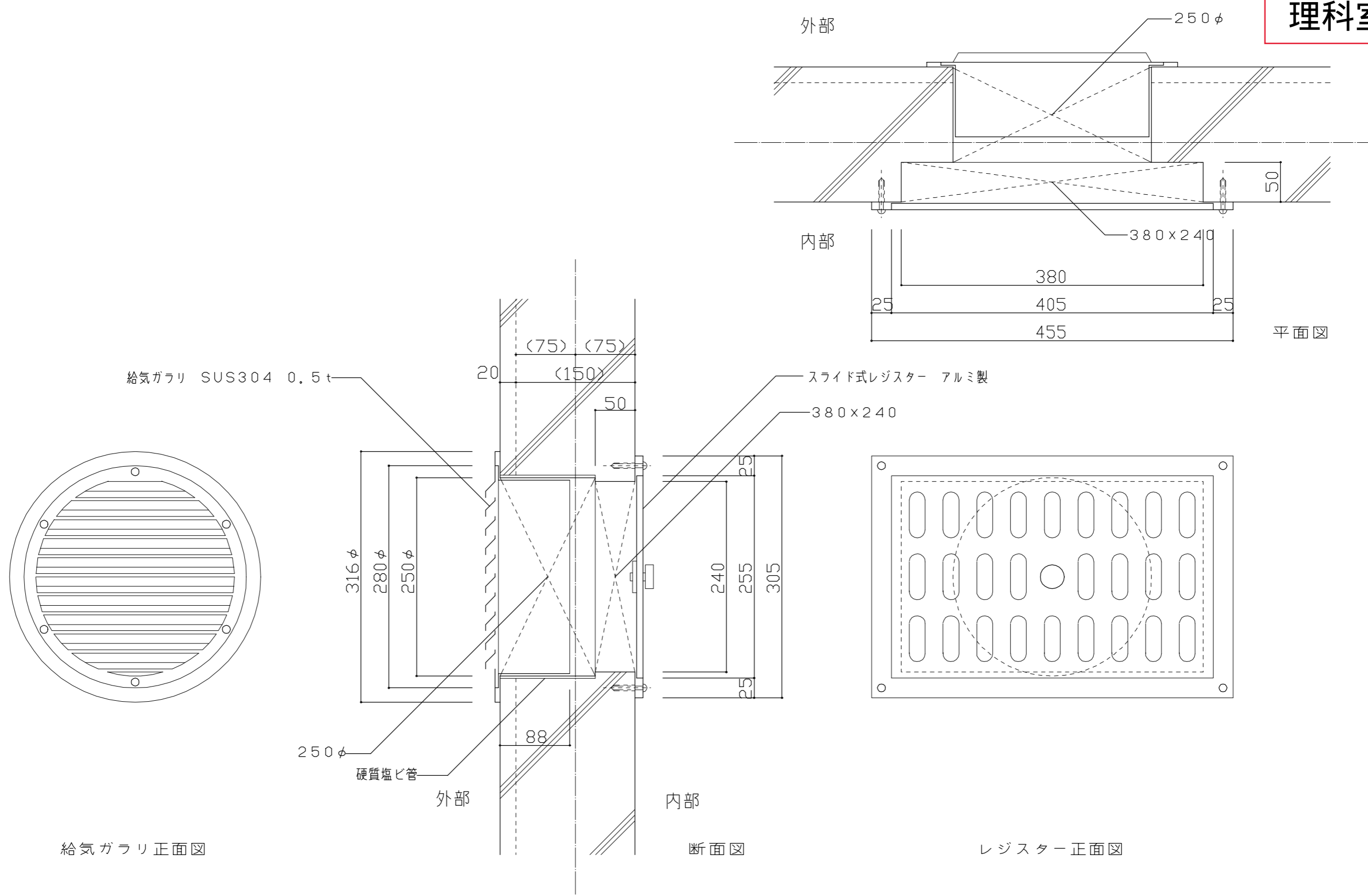
図面名称 ステンレスフック

縮尺 1/2,1/3,1/10

平成30年2月

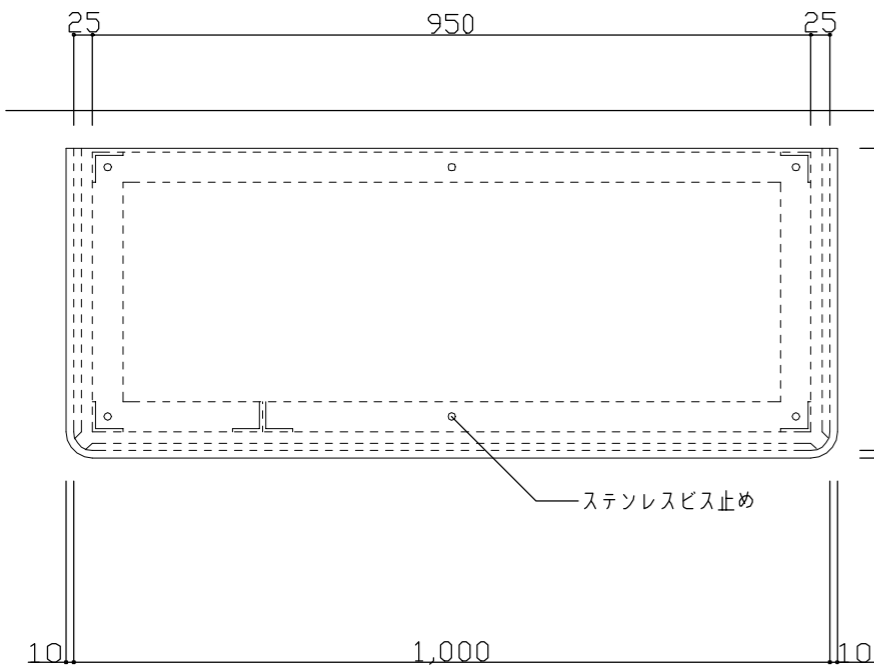
横浜市建築局

I-208

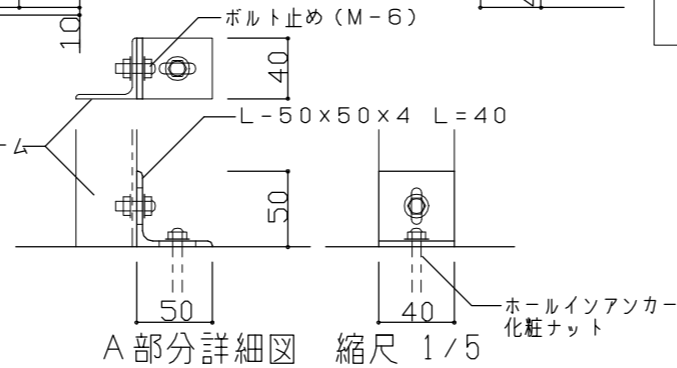


仕 様 1) ガラリ SUS304 0.5t 電解研磨ツヤ消しクリアー塗装 2) レジスター スライド式 アルミ製 アルマイト処理	特記事項 1) 理科室・家庭科教室・調理教室に適用する。	設計上の留意点 1) 火気使用室の給気口、バルコニー側の腰壁設置の場合を示す 2) 延焼線内に入る場合は、FD付きとする	図面名称	給気孔 250φ	
			縮 尺	1/5	平成30年2月
			横浜市建築局		I-206

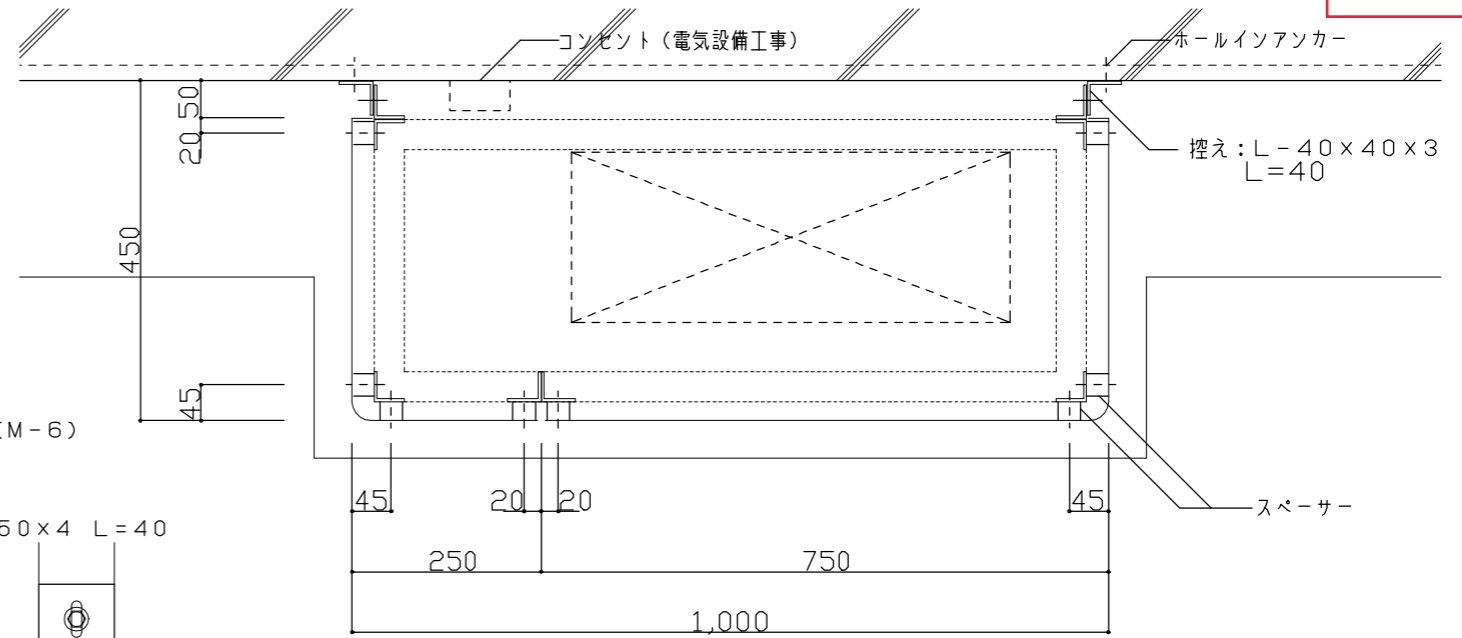




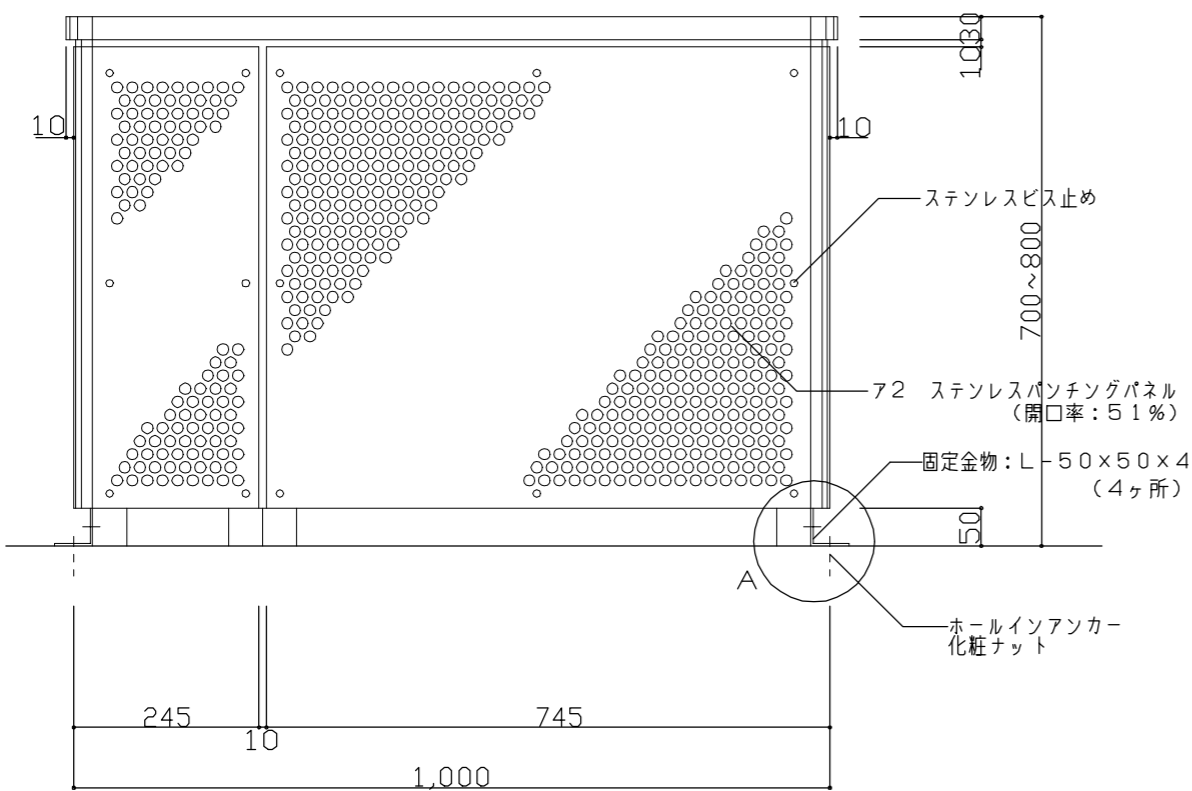
伏図



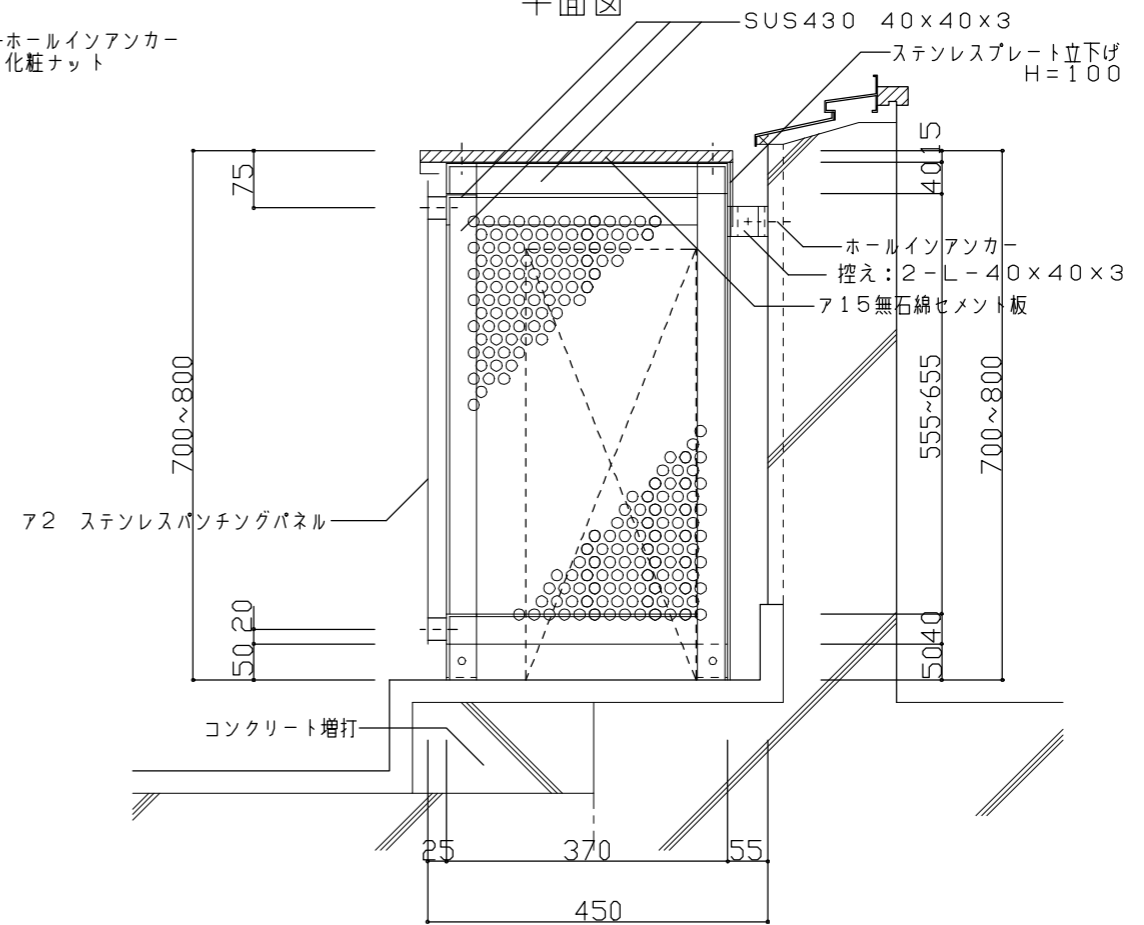
A部分詳細図 縮尺 1/5



平面図

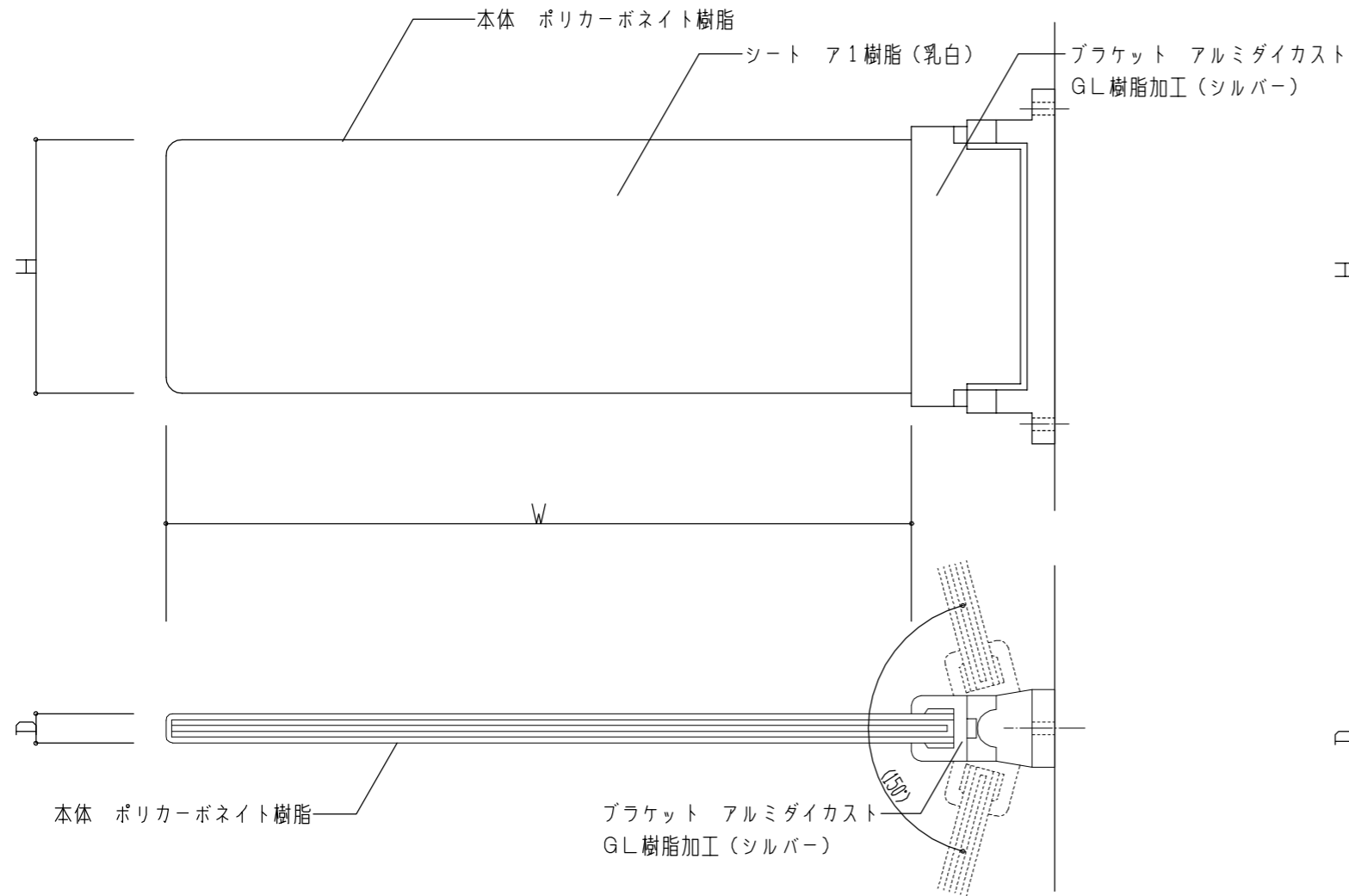


正面図

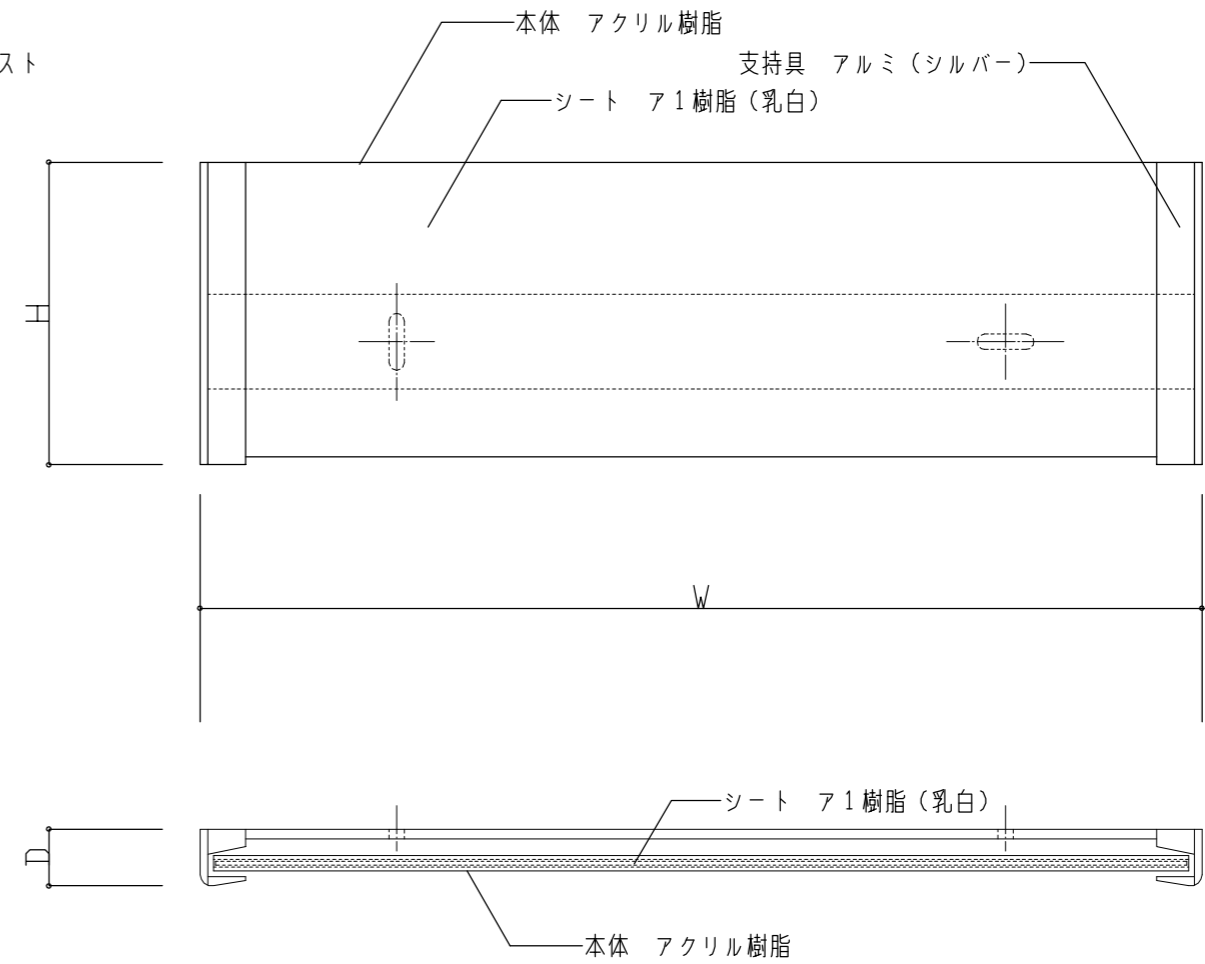


断面図

仕 様 1) 部材は、見え掛りはステンレスSUS304バフ400#とする。 2) 骨組みは、ステンレスSUS430とする。 3)	特記事項 1) バルコニー、及びガラス部分の床置き型給湯器カバーを示す 2) 個別支援学級(小・中)、理科教室、家庭科教室、調理教室、美術教室、保健室、技術員室、職員更衣室	設計上の留意点 1) 給湯器はメーカーによりサイズが異なる為、設備と打合せの上寸法を決定する事	図面名称	給湯器カバー(16~32号)	
			縮 尺	1/5, 1/10	平成30年2月
			横浜市建築局		I-105

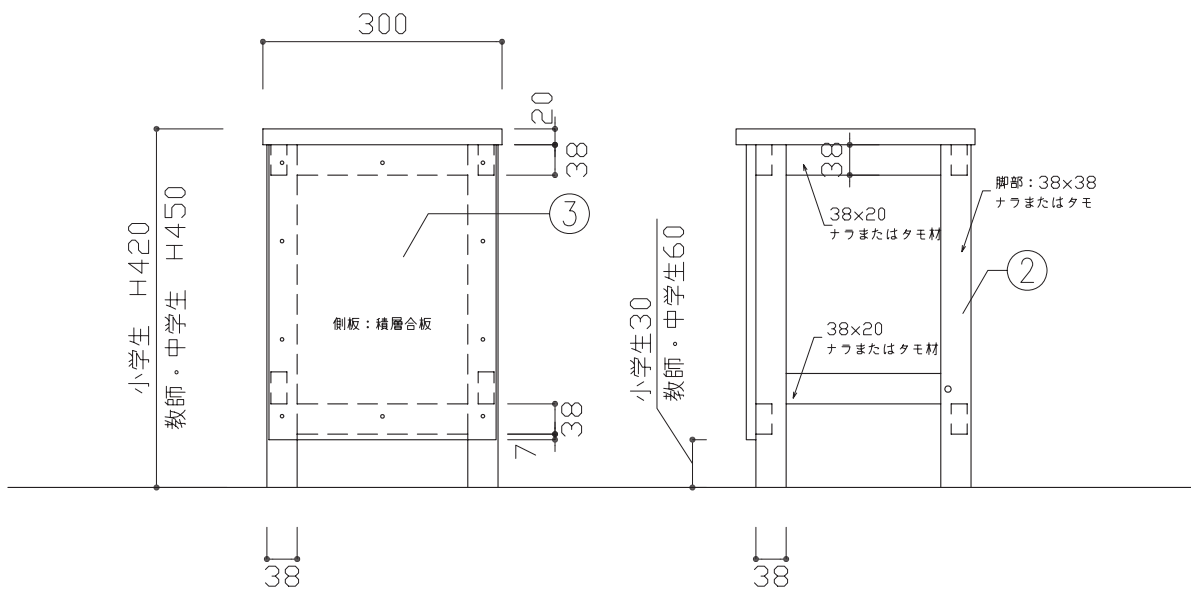
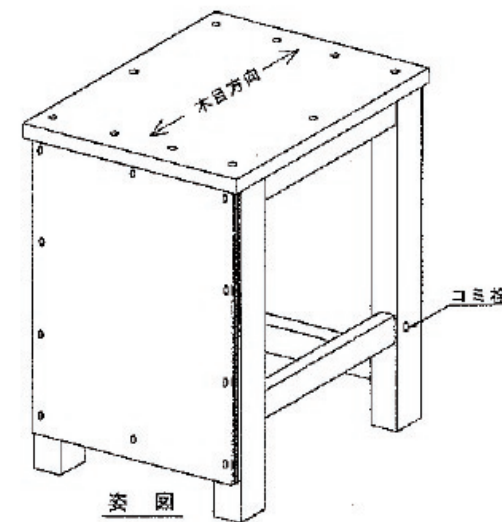
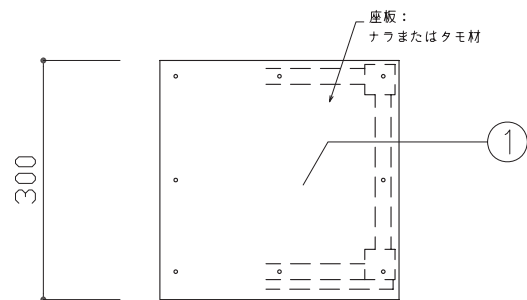
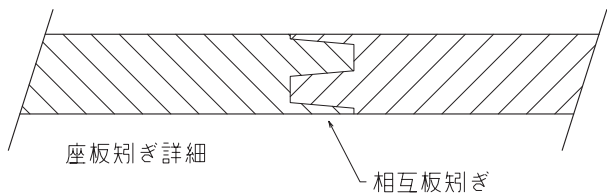


A 持出しタイプ



B 平付けタイプ

仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ(W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ(W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室 名 札	
			縮 尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204



K-401

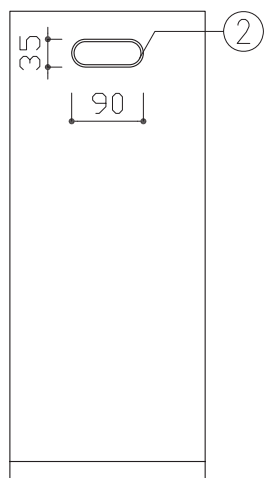
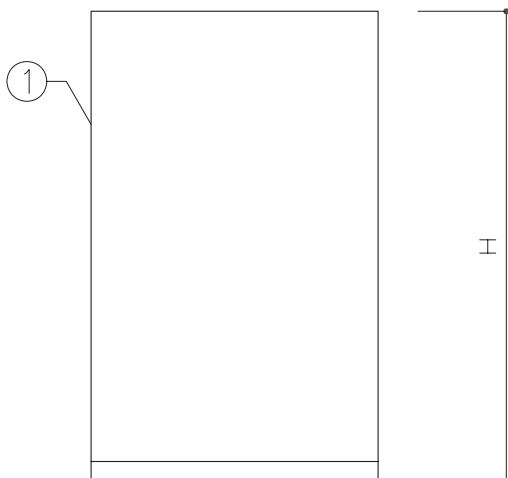
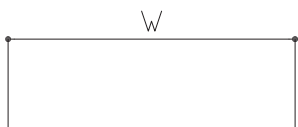
記号	名称	材質
①	座板	ナラ又はタモ材（相互板矧ぎ）
②	脚部	ナラ又はタモ材
③	側板	積層合板（F☆☆☆☆）

塗装：自然塗料又はCL仕上げ

教師・中学生 H450  
小学生 H420

名称 木製角椅子

横浜市教育委員会施設部教育施設課



K-104

記号	名称	材質	数量	備考
①	本体	SPCC 0.4 t	1	鋼板
②	取手	合成ゴム	2	

本体：メラミン焼付塗装（アイボリー）

【寸法】

A (標準) w360 d245 h590  
 B (小型) w275 d190 h530

名称 ちり箱

横浜市教育委員会施設部教育施設課

記号	出来上り寸法 W x H	巾使い (A)	H+0.2 (B)	数量 (C)	布地使用量 (A) x (B) x (C)	レール Wx (C)	備考
	m		m		m <sup>2</sup>	m	
1	x						
2	x						
3	x						
4	x						
5	x						
6	x						
7	x						
8	x						
9	x						
10	x						
11	x						
計	_____	_____	_____				_____

- 1.レールはステンレス製(ヨコタD型、又はトーソーC型) 同等品
- 2.ランナーはCランナー又はコロランナーを使用する
- 3.房掛バンド(タッセル)は共布地使用
- 4.房掛金具付(アルミニウム)
- 5.暗幕は原則として手引き片開とする。(1スパン1枚掛け)  
但し障害物がある場合、又は特別な事情がある場合は両開きとする。
- 6.両開の場合は交差(中央より30cm以上大きく重ね部分を必要とする。)にて取り付ける。
- 7.採寸は現場にて確認すること。
- 8.使用生地は指定生地又は同等品以上のものを使用する。
- 9.取り付け工事を含む。

(暗幕布地使用巾使い表)

取寸法(巾) W	使用布巾	取寸法(巾) W	使用布巾
0.70m以下	1.0巾	4.81~5.20m	6.5巾
0.71~1.10m	1.5	5.21~5.60m	7.0
1.11~1.50m	2.0	5.61~6.00m	7.5
1.51~2.00m	2.5	6.01~6.40m	8.0
2.01~2.40m	3.0	6.41~6.80m	8.5
2.41~2.80m	3.5	6.81~7.20m	9.0
2.81~3.20m	4.0	7.21~7.60m	9.5
3.21~3.60m	4.5	7.61~8.00m	10.0
3.61~4.00m	5.0	8.01~8.40m	10.5
4.01~4.40m	5.5	8.41~8.80m	11.0
4.41~4.80m	6.0	8.81~9.20m	11.5

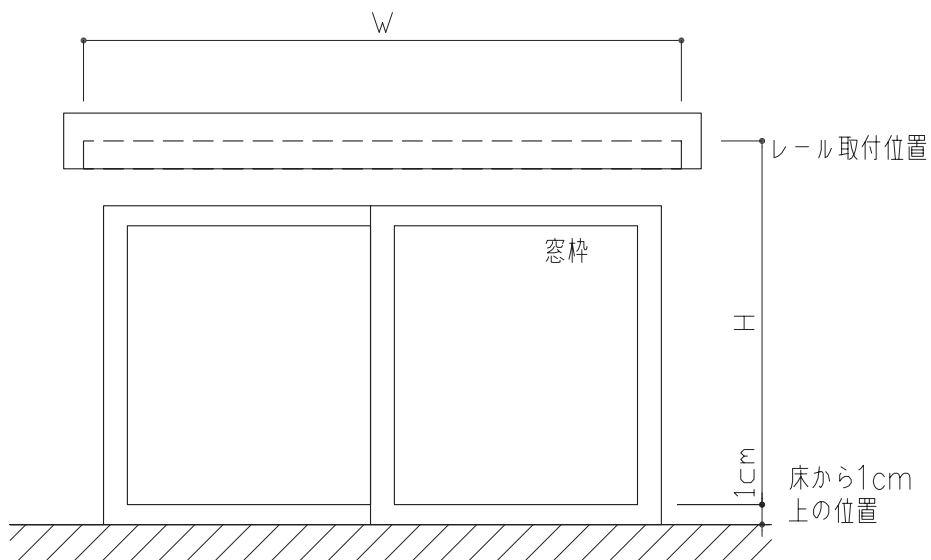
※暗幕使用布地 先染織物の朱子織 100cm巾  
K-601

使用布地	カネロン 100% コーデラン100%
名称	学校暗幕仕様書(1)
横浜市教育委員会施設部教育施設課	

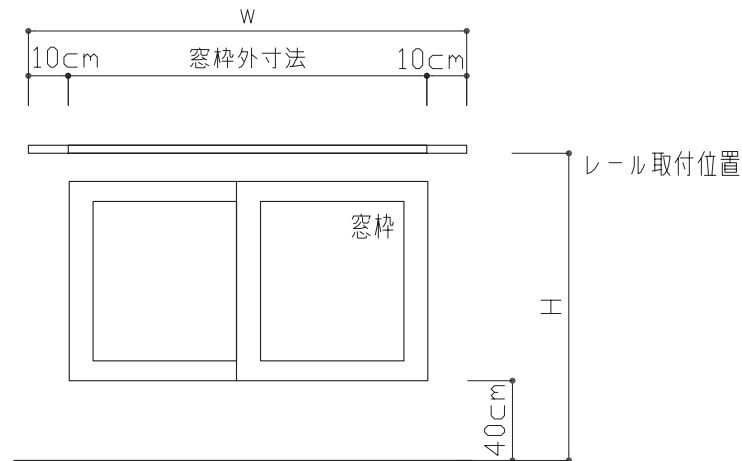
## 「出来上り寸法」の採寸方法

		暗幕ボックスがある場合	暗幕ボックスがない場合
Wの採寸	床までの窓腰窓	ボックス内の長さ	窓枠外寸法+20cm (左右各10cm)
Hの採寸	床までの窓	(レール取付位置から床までの長さ) - 1cm	
	腰窓		

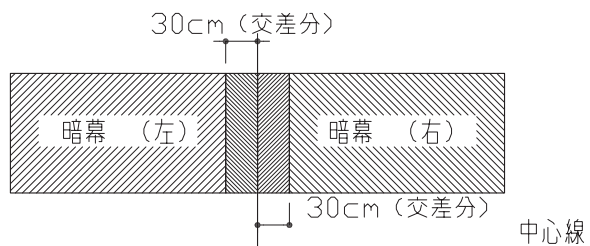
1 床までの窓で暗幕ボックスがある場合の例



2 腰窓で暗幕ボックスがない場合の例



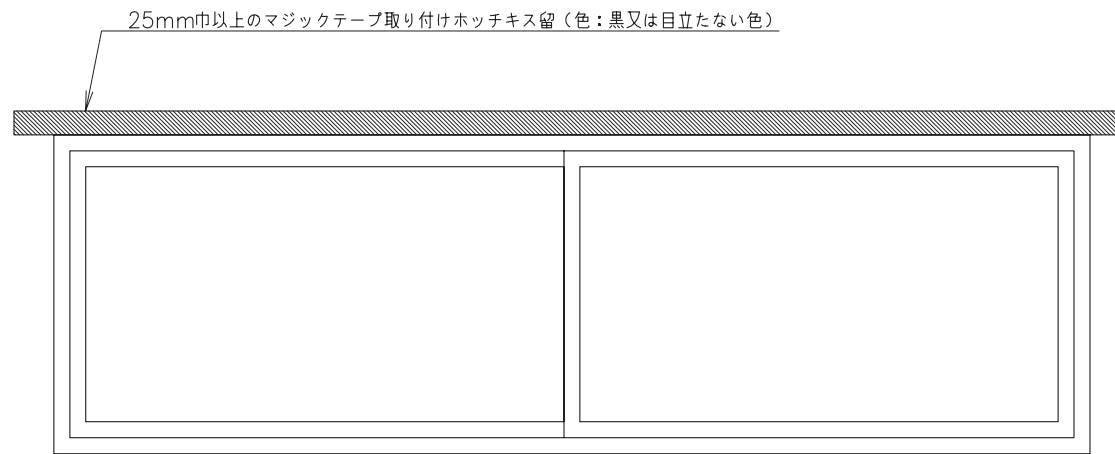
3 両開きで取付ける場合の採寸方法



K-601-付1

名称		学校暗幕仕様書(2)
横浜市教育委員会施設部教育施設課		

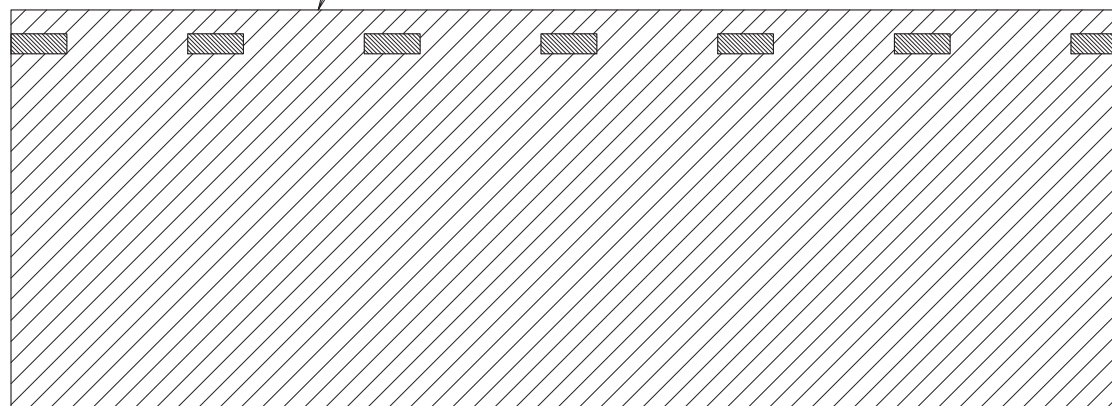
掃き出窓レール仕様書



掃 出 窓

150~200

マジックテープ長さ50mm



暗 幕 窓 側 面

K-601-付2

名 称

学校暗幕仕様書(3)

横浜市教育委員会施設部教育施設課

A、B - 天井吊りフック 1/10,1/2

1/10,1/2

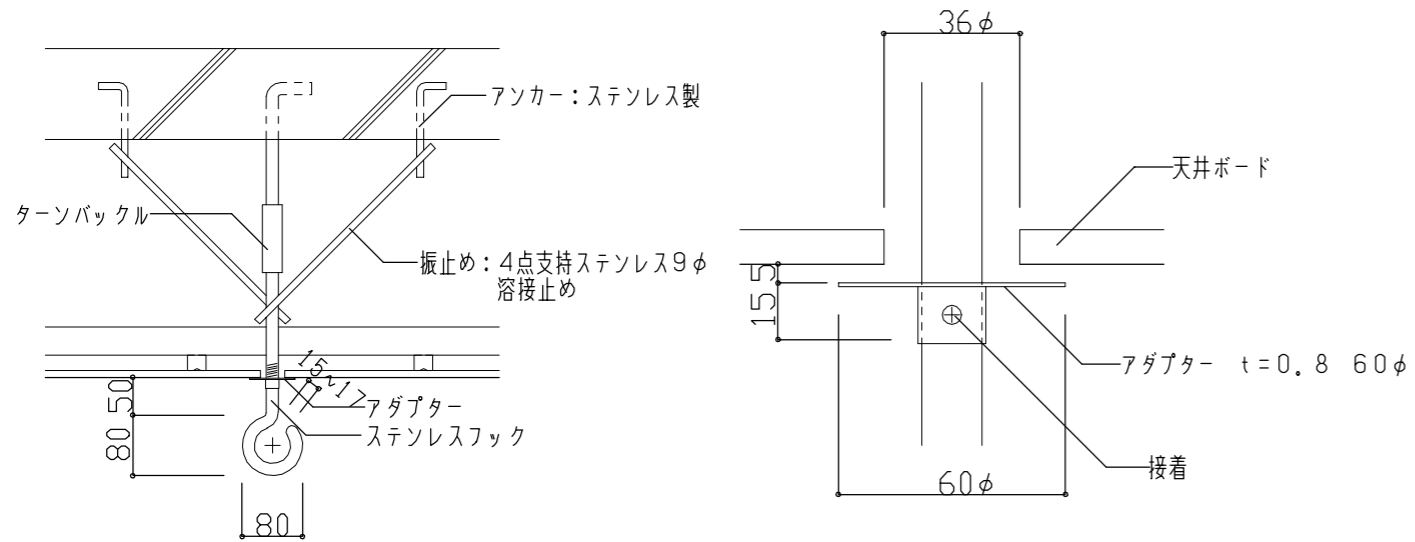
C - 柱型付フック 1/5

1/5

D - 梁型付フック 1/5

1/5

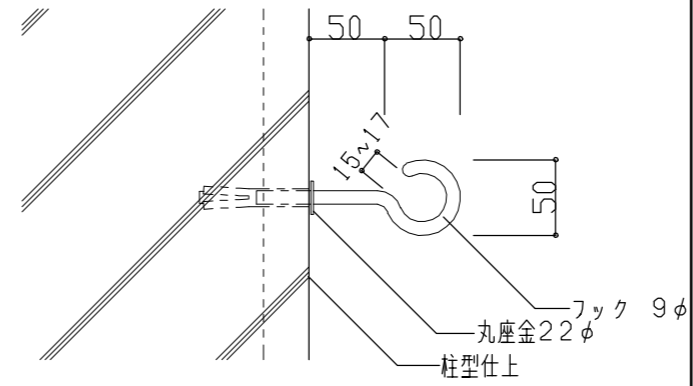
理科準備室



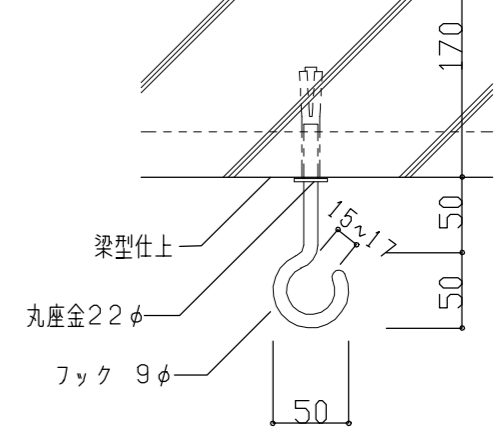
アダプター詳細図 縮尺1/2

\*天井材には接着しないこと

- A ステンレスフック16φ:個別支援学級(第二学習室)
- B ステンレスフック9φ:個別支援学級(第一学習室)・理科準備室・家庭科教室・図画工作教室



図画工作教室

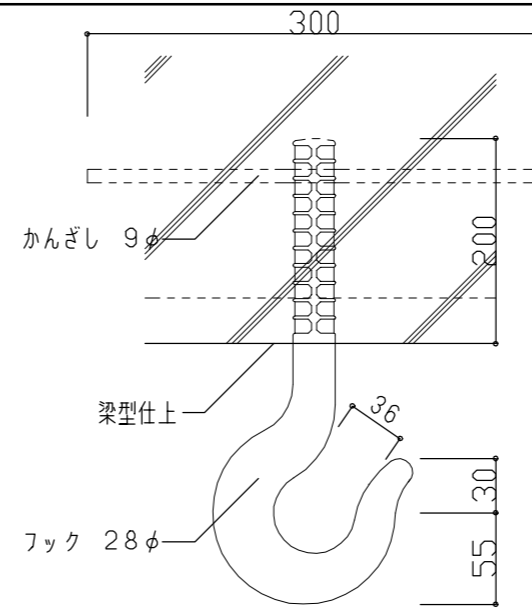


理科教室

\* 吊り下げ耐荷重200kg以上

E - 梁型付フック 1/5

1/5



変電室

\* 吊り下げ耐荷重1,000kg以上

仕様

- 1)
- 2)
- 3)

特記事項

- 1) Aは個別支援学級(第二学習室)に設置する
- 2) Bは個別支援学級(第一学習室)・理科準備室・家庭科教室・図画工作教室に設置する
- 3) Cは図画工作教室に設置する
- 4) Dは理科教室に設置する
- 5) Eは変電室に設置する

設計上の留意点

- 1)

図面名称 ステンレスフック

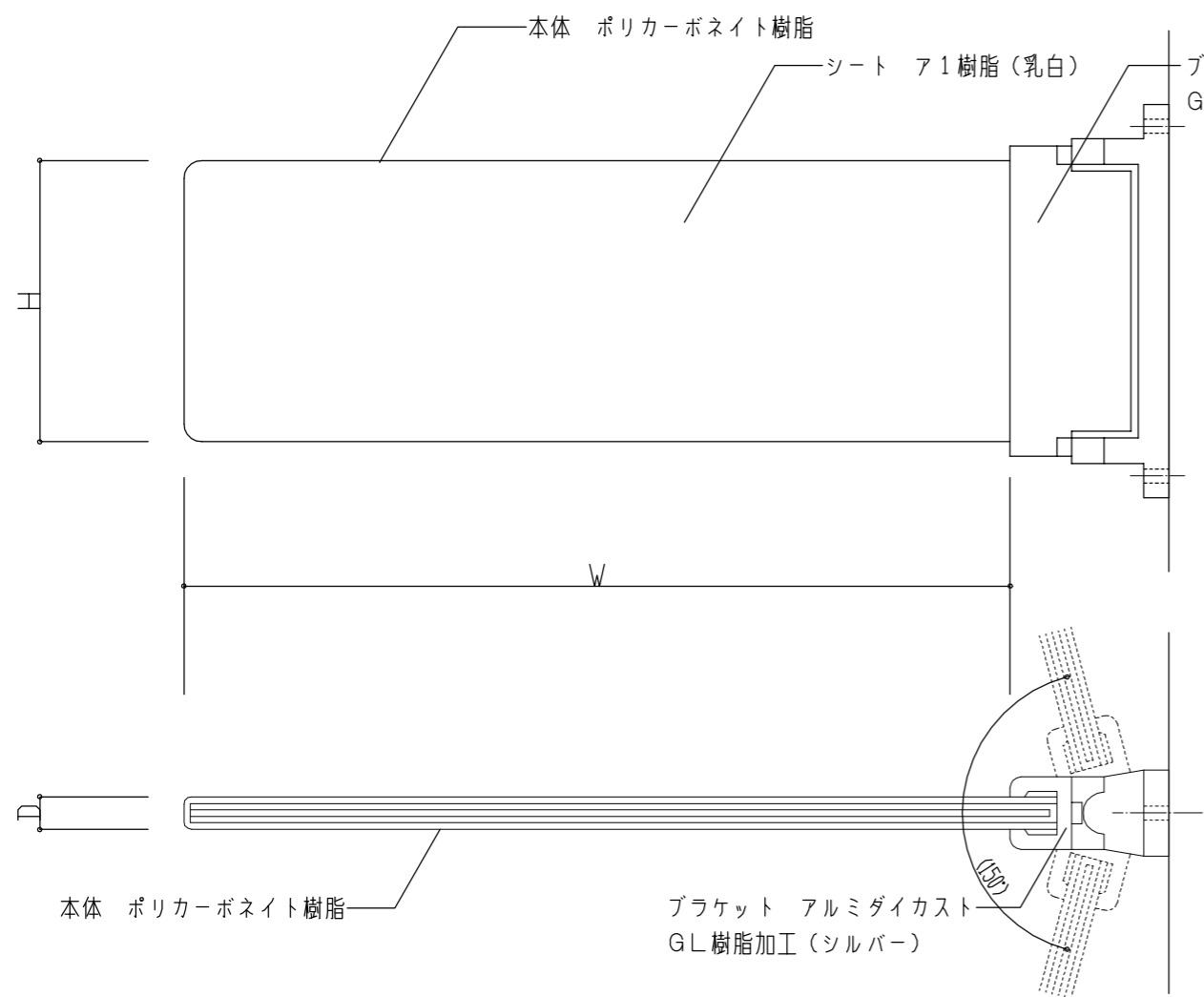
縮尺 1/2,1/3,1/10

平成30年2月

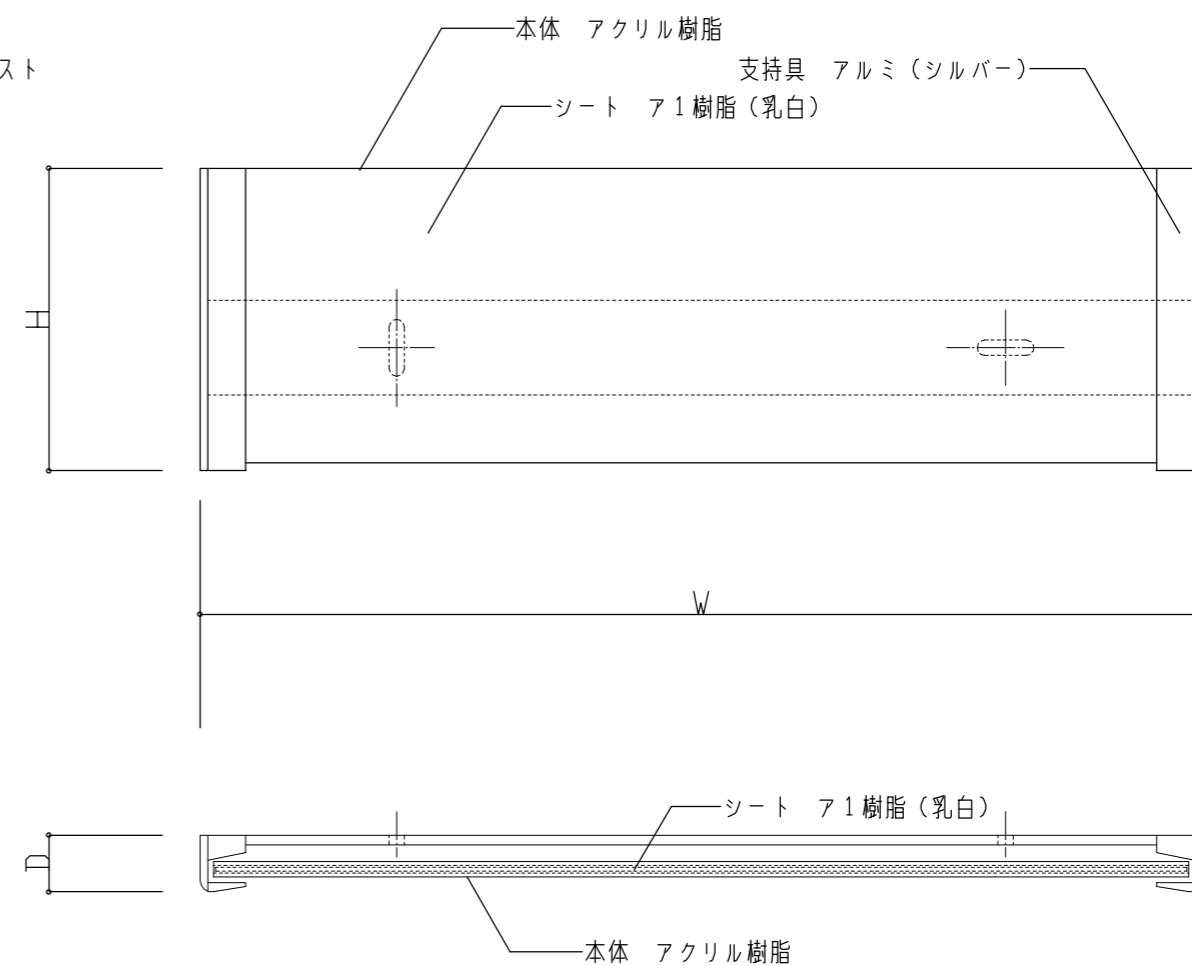
横浜市建築局

I-208



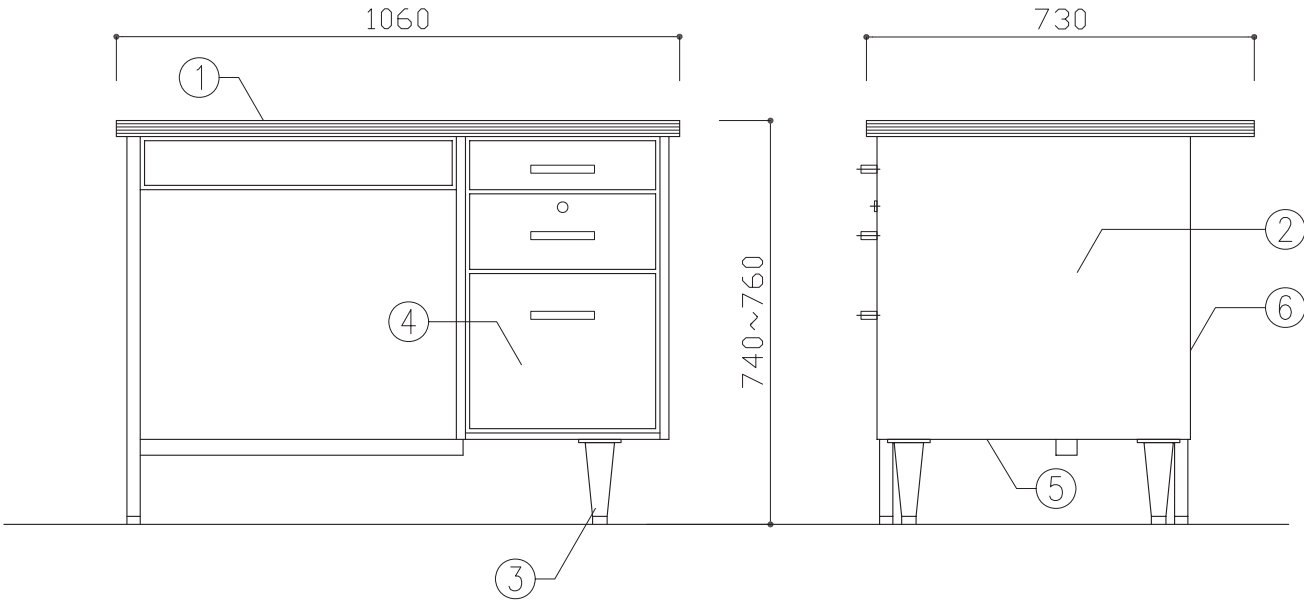
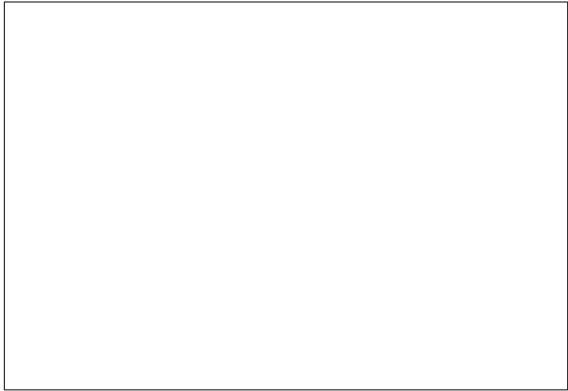


A 持出しタイプ



B 平付けタイプ

仕 様 1) 2) 3)	特記事項 1) A:小学校 持出しタイプ (W229×D9×H78) 2) B:中学校 平付けタイプ (W265×D15×H80)	設計上の留意点 1)	図面名称	室 名 札	
			縮 尺	1/2	平成30年2月
			横浜市建築局		I-204

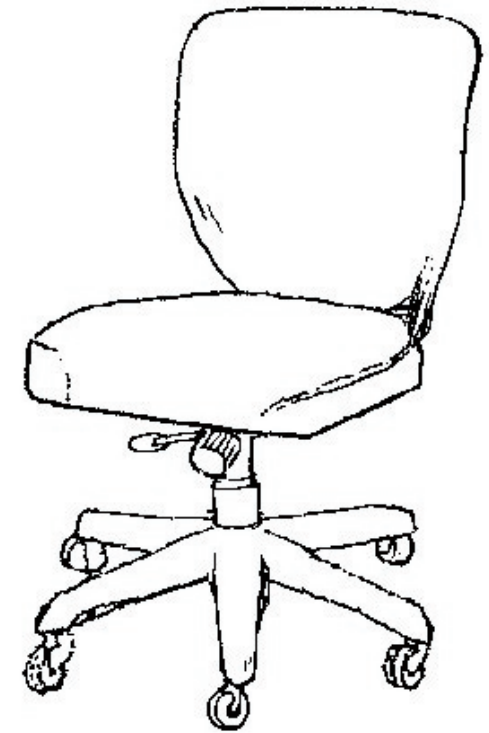
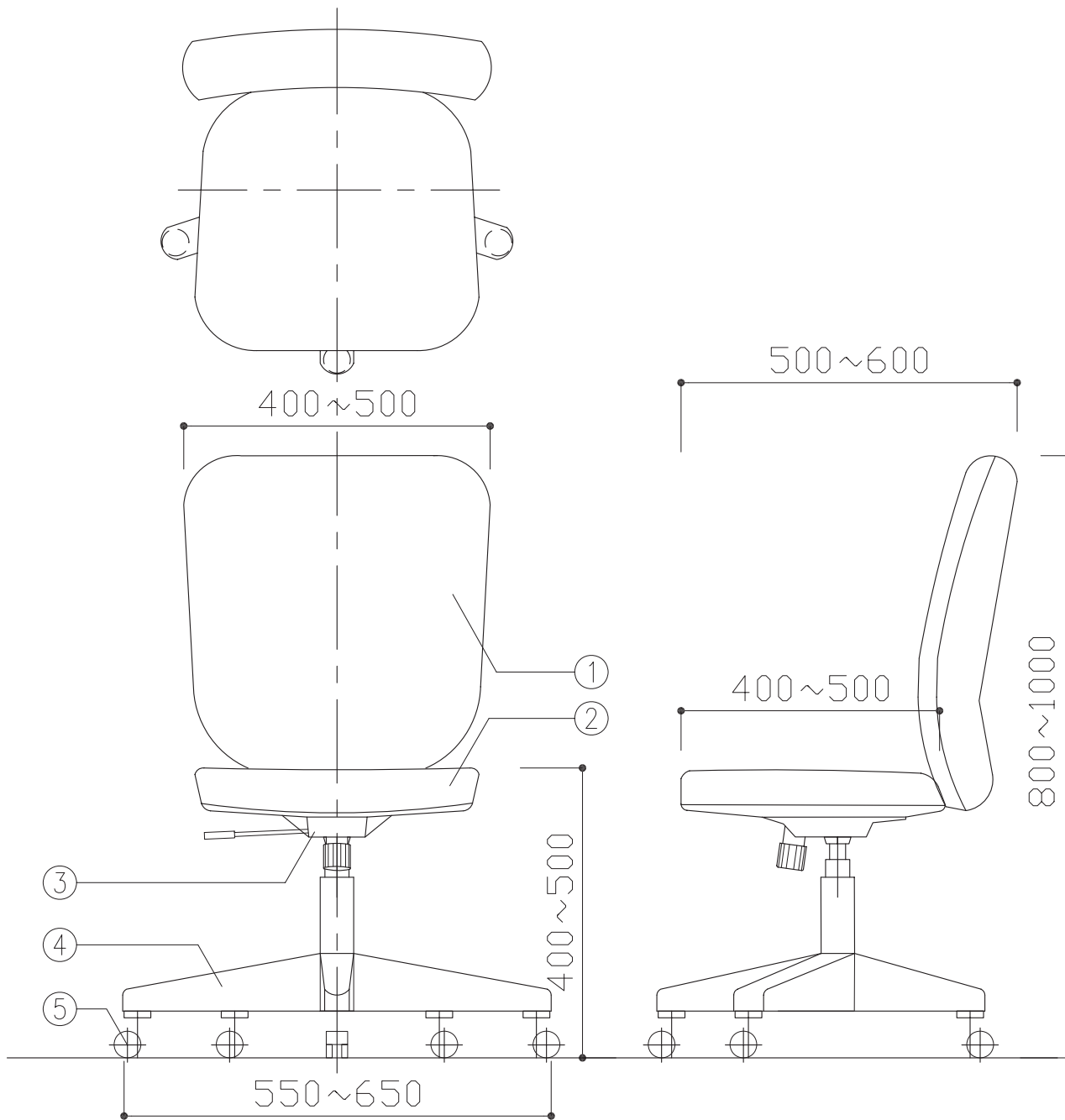


K-109

記号	名称	材質	加工	数量	備考
①	天板	SPCCメラミン 1.0t		1	鋼板
②	側板	SPCC 0.8t	塗装	2	鋼板
③	脚	SPCC 1.0t	塗装	4	鋼板
④	抽斗	SPCC 0.8t	塗装	4	鋼板
⑤	底板	SPCC 1.2t	塗装	1	鋼板
⑥	裏板	SPCC 0.8t	塗装	1	鋼板

・新古品(可)

名称	片袖机旧JIS5号(職員用)
----	----------------



K-110-2

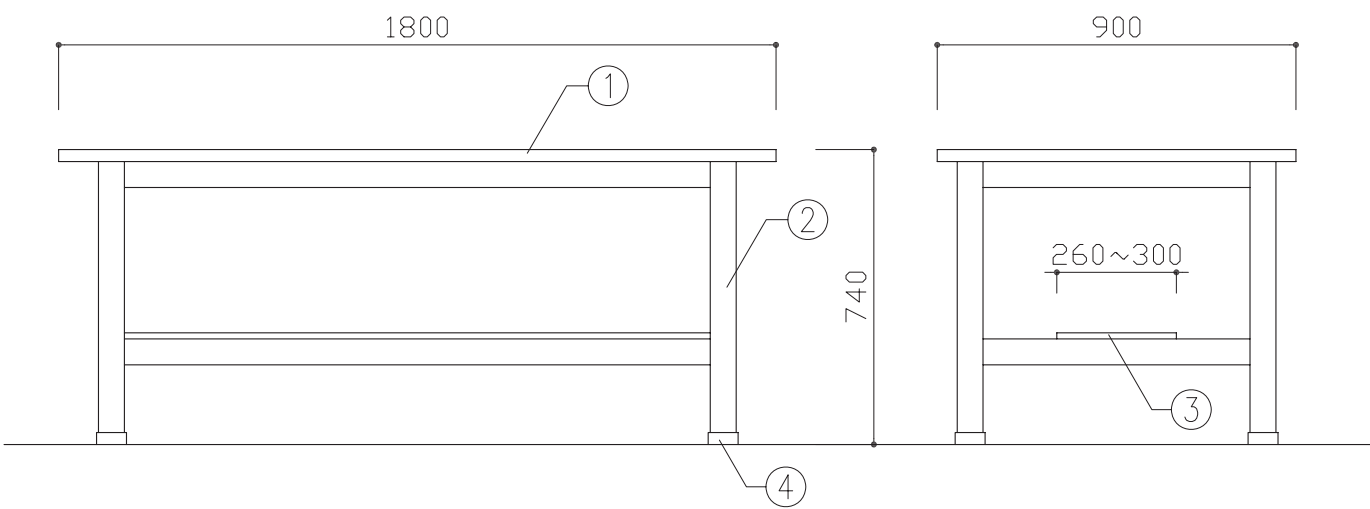
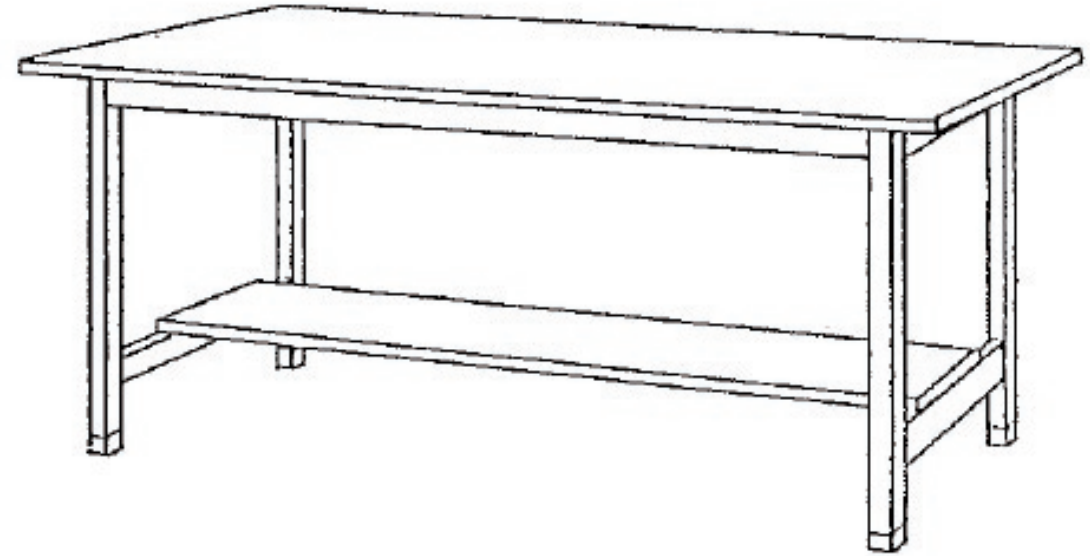
記号	名称	材質	数量	備考
①	背板	ポリエステル布貼り	1	
②	座板	ポリエステル布貼り	1	
③	リフト装置		1	
④	脚	強化ナイロン樹脂	1	
⑤	車	ナイロン双輪	5	(カーペット床)
		ウレタン双輪		(硬質床)

名称 職員用椅子 ②

横浜市教育委員会施設部教育施設課



平面図



正面図

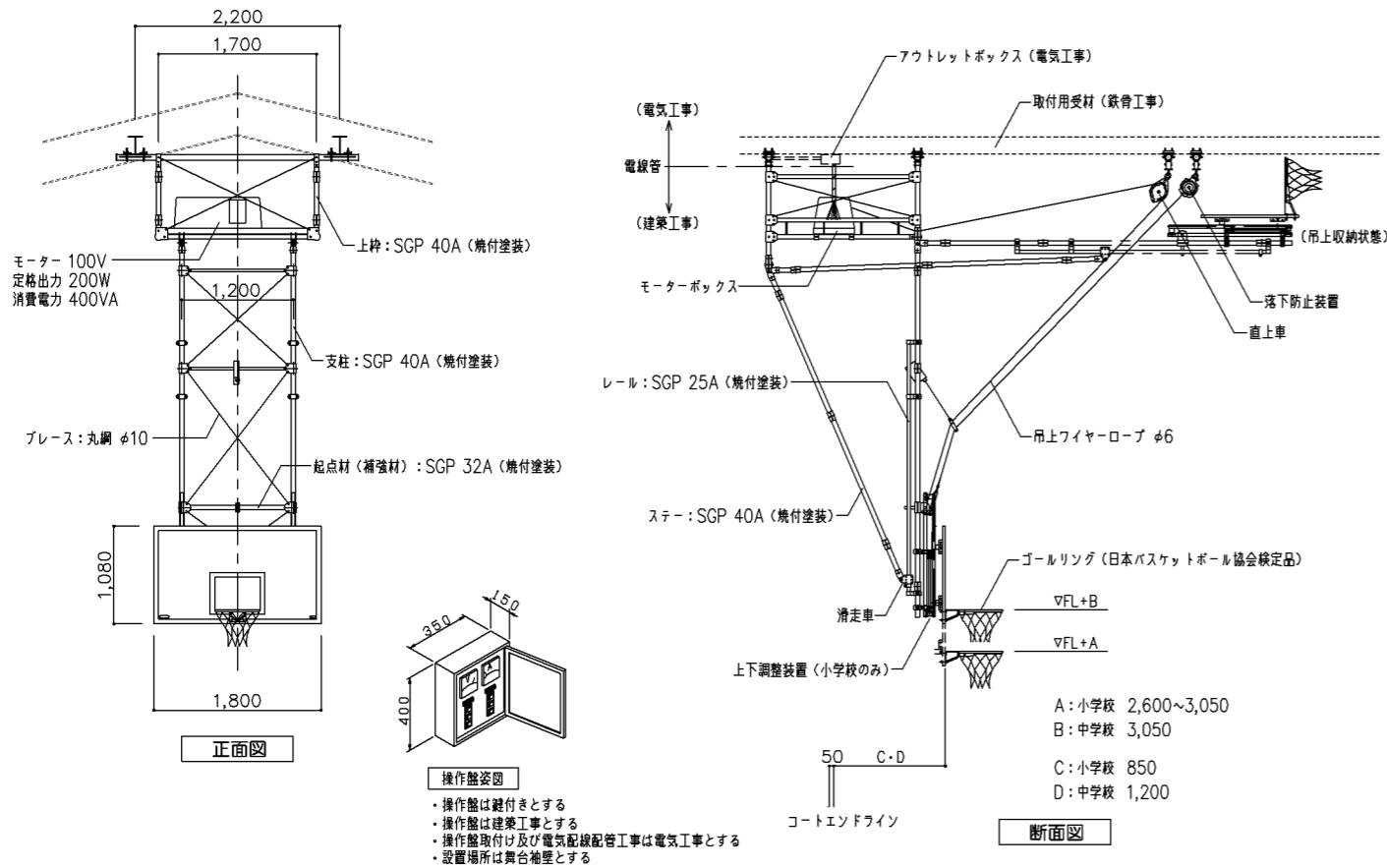
側面図

K-137

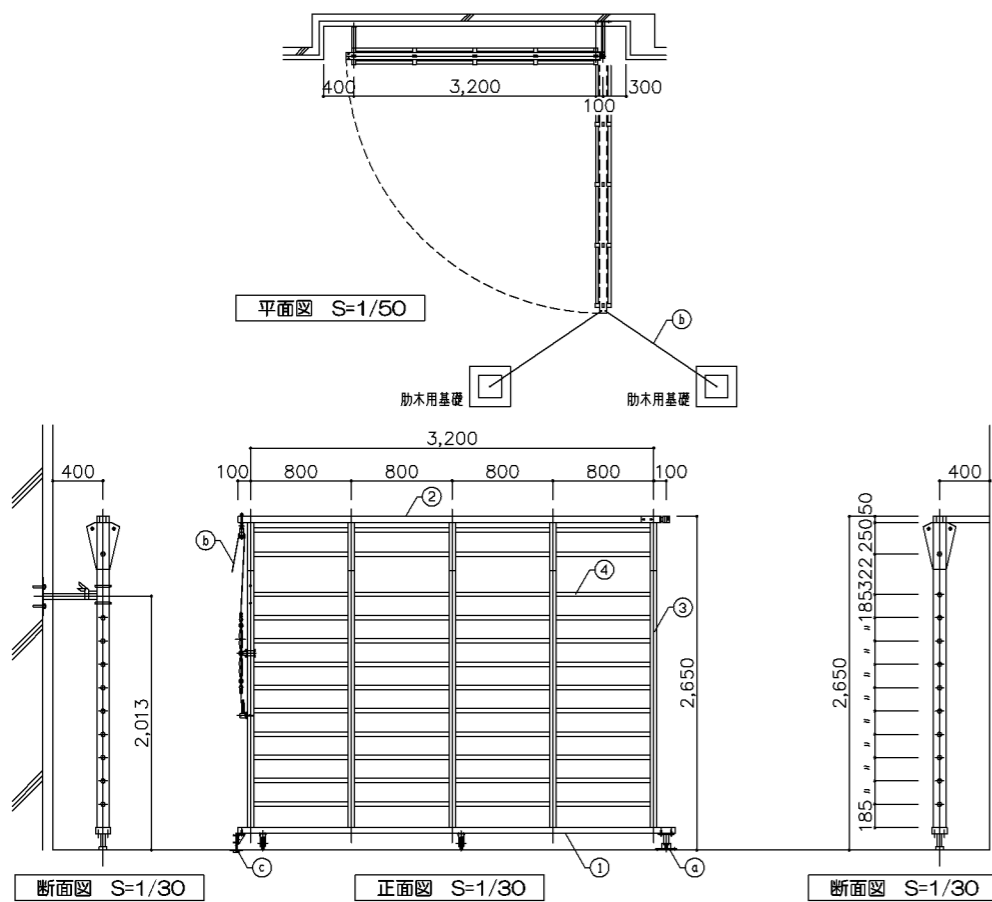
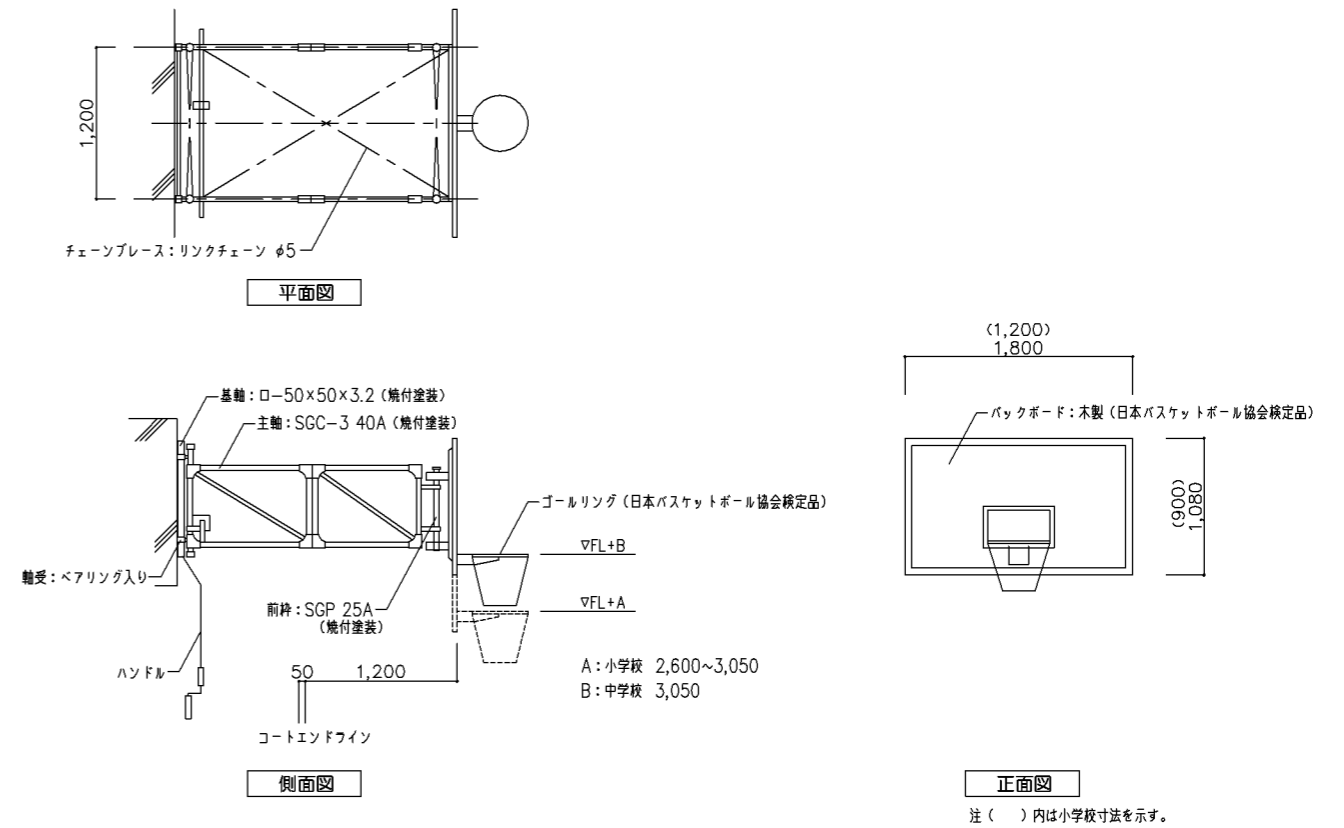
記号	名称	材質	数量	備考
①	天板	SPCC	1	鋼板
②	脚	C Chan	4	
③	棚	SPCC	1	鋼板
④	脚端	プラスチック	4	

名称	スチール製作業台（棚付）A
----	---------------

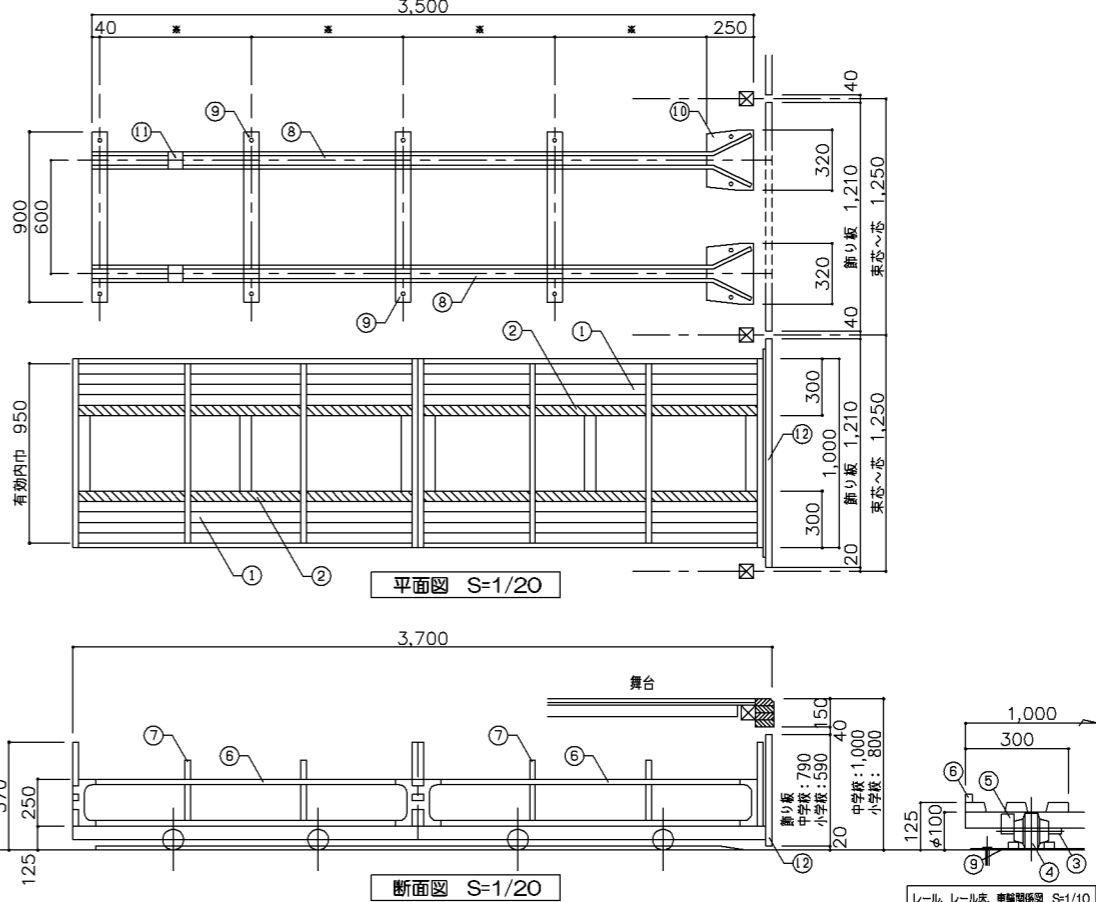
・仕様については、メーカー仕様による。



・仕様については、メーカー仕様による。



寸法			
W 3,200 × D 400 × H 2,650			
使用箇所			
体育場			
仕様			
番号	名称	材質	仕上
①	土台	集成材 125×50	UV
②	支柱	集成材 100×50	UV
③	支柱	集成材 100×50	UV
④	肋木	集成材 φ36	
付属器具			
番号	名称	仕様	
a	回転軸受け		
b	突張ワイヤー（ビニル被覆）		
c	ストッパー		
特記事項			
・仕様については、メーカー仕様による。			
・肋木用基礎及び床金具は別途計上する。			



寸法			
W × D × H			
使用箇所			
体育場（舞台下部）			
仕様			
番号	名称	材質	仕上
①	床板	亜鉛メッキ鋼板 t0.9曲げ加工	亜鉛メッキ
②	椅子滑り止め	ポリエチレン樹脂発泡材	
③	車軸	鋼線織造用炭素鋼管 φ25.4×2.8	焼付塗装
④	車輪	冷延鋼板 t2.0絞り加工 外周に合成ゴムをモールドした一体型	
⑤	軸受	熱延鋼板 t4.5曲げ加工	焼付塗装
⑥	サイド枠	亜鉛メッキ鋼板フォレンジ加工	亜鉛メッキ
⑦	椅子滑り止め	亜鉛メッキ鋼板フォレンジ加工	亜鉛メッキ
⑧	レール	亜鉛メッキ鋼板 t1.6フォレンジ加工	亜鉛メッキ
⑨	枕板	亜鉛メッキ鋼板 t1.6プレス加工	亜鉛メッキ
⑩	車輪ガイド	亜鉛メッキ鋼板 t6.0絞り加工	焼付塗装
⑪	ストッパー	一般織造用圧延鋼板 t6.0加工	焼付塗装
⑫	脚り板	鋼と鋼板 t1.2曲げ加工 合成ゴム製安全パッドにてトリム保護	
付属器具			
番号	名称	仕様	
特記事項			
・1台車椅子収納数70脚とする。			
・指詰め防止仕様とする。			
※はメーカー仕様による寸法とする。			
その他の仕様については、メーカー仕様による。			

改定の経緯

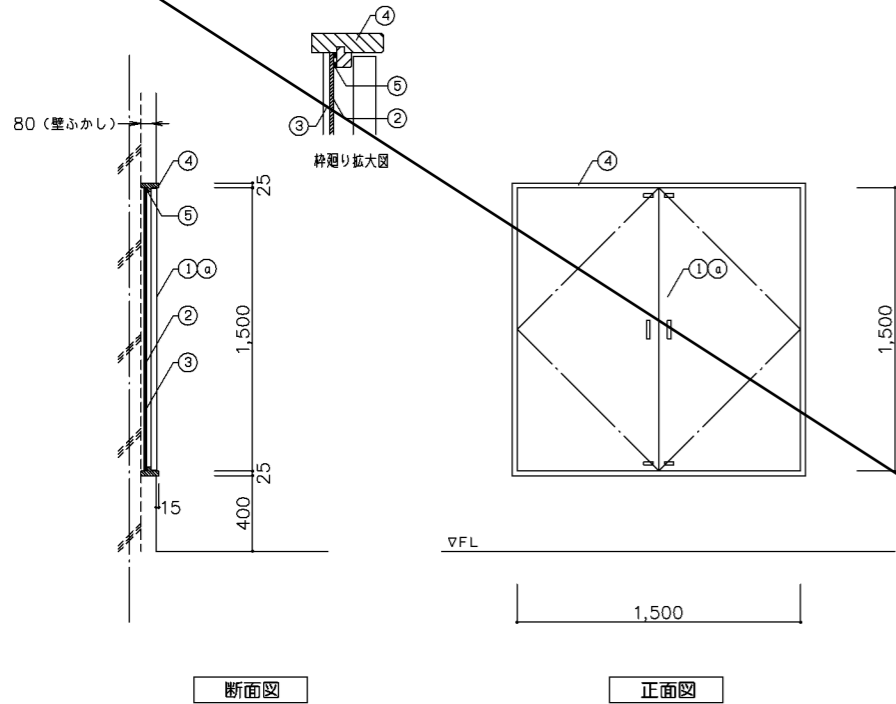
設計上の留意点

横浜市建築局

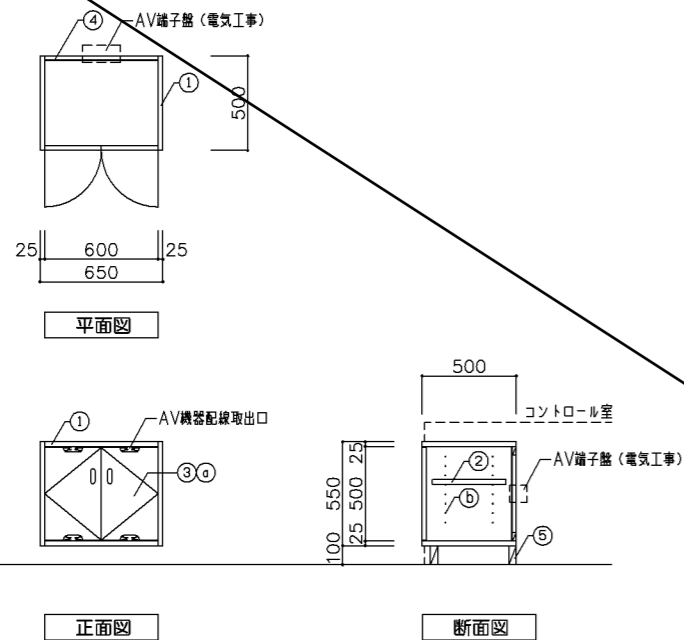
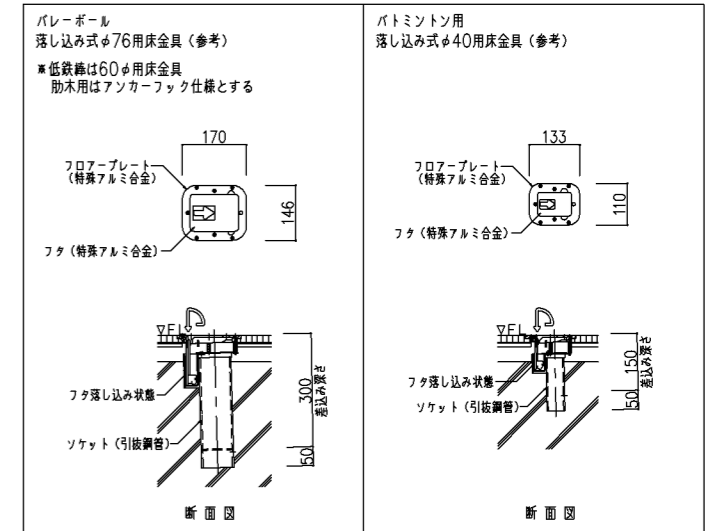
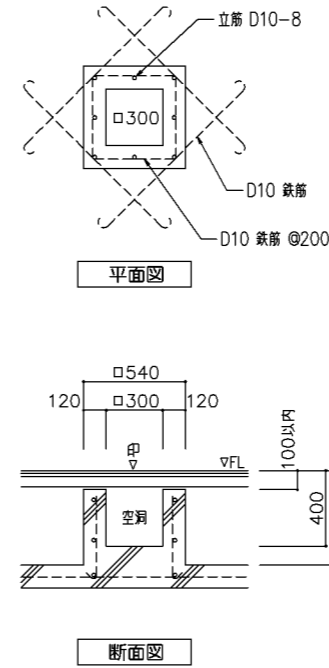
工事名 横浜市小・中学校標準図屋内運動場95型18改

年月日 平成31年3月 縮尺 1/101/201/301/401/50 図面名称 詳細図-3

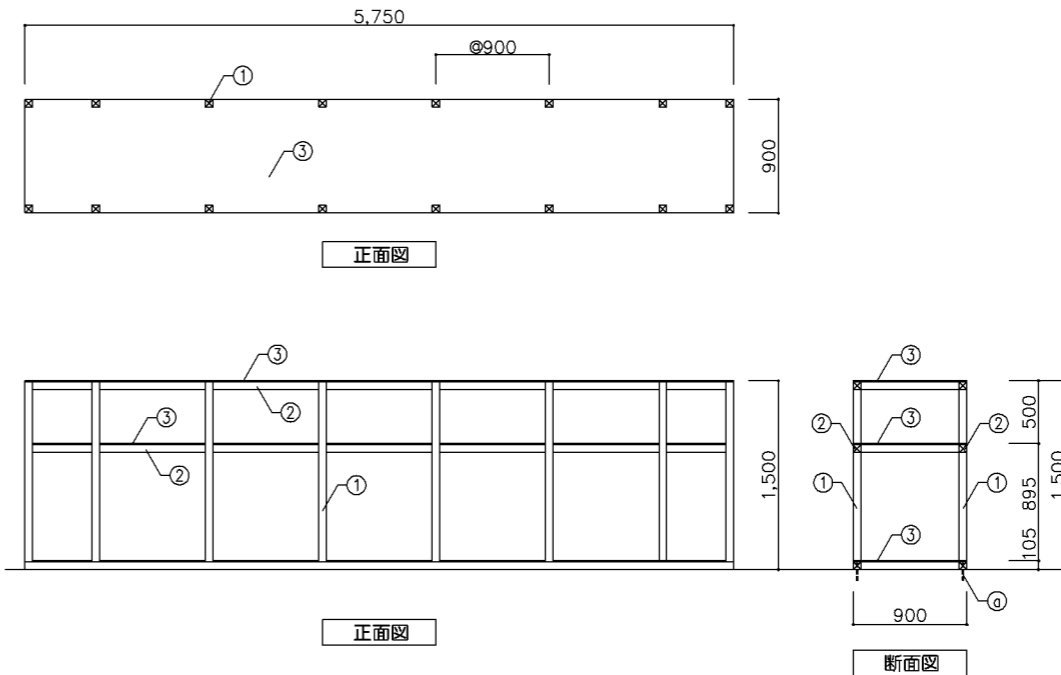
設計者 施設番号 備考 年度 図面種類 図面枚数 図面番号



寸法			
W 1,500 × H 1,500			
使用箇所			
体育場			
仕様			
番号	名称	芯材	材質
①	扉	A-1	体育場側: 75.5 しな合板張り・UC (現場塗装) 裏面: 75.5 しな合板張り
②	溝		75
③	両面張り		79 針葉樹合板
④	枠		米ヒバ (糸面取) ・ UC (現場塗装)
⑤	枠縁		フェルト張り
付属器具			
番号	名称	仕様	
a	扉	隠し丁香・マグネットキャッチ ステンレス脚辺引手、アオリ止めマグネット	
特記事項			



寸法			
W 650 × D 500 × H 550			
使用箇所			
体育場			
仕様			
番号	名称	芯材	材質
①	本体	A-1	しな合板・UC (現場塗装)
②	可動棚板	A-1	しな合板
③	両面張り	A-1	75.5 しな合板・UC (現場塗装)
④	背板	A-1	しな合板
⑤	巾木	B-1	
付属器具			
番号	名称	仕様	
a	扉金物	ステンレス丁香・シリンドー錠錠、 マグネットキャッチ、ステンレス脚辺引手	
b	扉受ダボ	ステンレス製	
特記事項			
・AV端子盤位置は電気と調整の上、決定すること。			



寸法			
W 5,750 × D 900 × H 1,500			
使用箇所			
体育場 (器具庫)			
仕様			
番号	名称	芯材	材質
①	支柱		杉 90角 @900
②	枠		杉 90角
③	棚板		715 針葉樹合板
付属器具			
番号	名称	仕様	
a	扉金物	φ13 アンカーボルト @1,800	
特記事項			

改定の経緯

設計上の留意点

横浜市建築局

I事名 横浜市小・中学校標準図屋内運動場95型18改

年月日 平成31年3月 縮尺 1/20.1/30

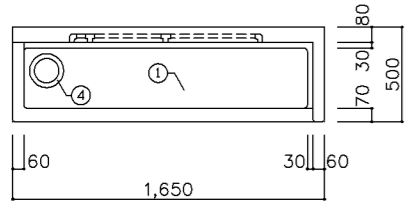
図面名称 詳細図-4

設計者

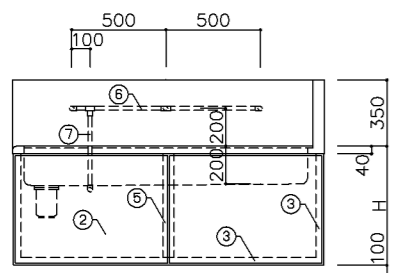
施設番号 備考 完成年度 図面種類 図面枚数 図面番号

一槽流し G-1122A・B

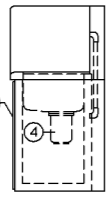
1/20



平面図



正面図

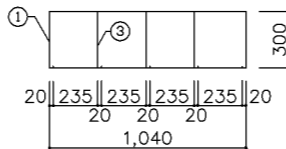


側面図

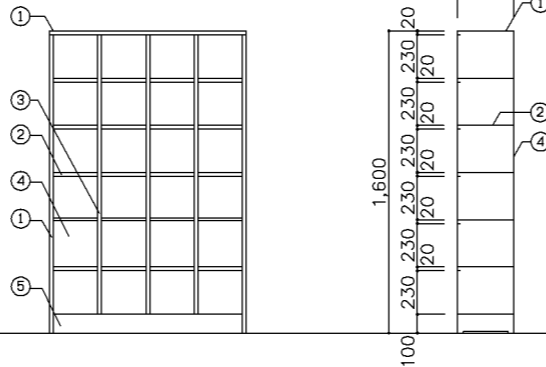
寸法		
A:小学校 W1,650 × D 500 × H 480		
B:中学校 W1,650 × D 500 × H 630		
使用箇所		
開放用附帯施設(ホール)		
仕様		
番号	名称	材質
①	甲板・木着	SUS 304-1.0t
②	裏板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3×40×40
④	排水トップ	50T14AVP用 コミ取納付
⑤	補強材	SUS 430-1.5t×60
⑥	給水導引管	20A VA
⑦	給水導引管	20A VA
付属器具		
番号	名称	仕様
特記事項		
・給水×3		
・ソックの裏面及び給水管は、アクリル樹脂系耐熱断熱塗料 72を施すこと。		

靴入 G-1290

1/20



平面図



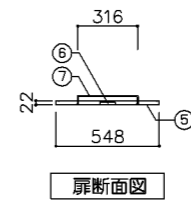
正面図

側面図

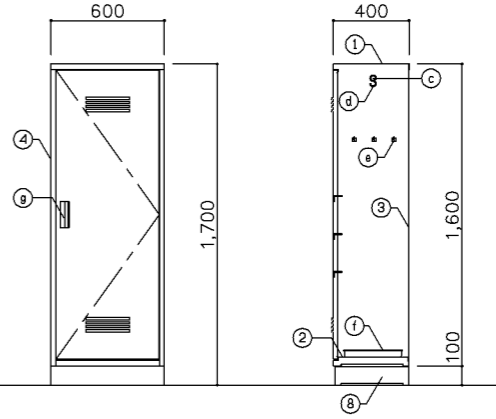
寸法		
W 1,040 × D 300 × H 1,600		
使用箇所		
開放用附帯施設(ホール)		
仕様		
番号	名称	材質
①	本体	SPCC 0.8(焼付塗装)
②	裏板	SPCC 0.8(焼付塗装)
③	仕切板	SPCC 0.8(焼付塗装)
④	裏板	SPCC 0.8(焼付塗装)
⑤	ベース	SPCC 1.0(焼付塗装)
付属器具		
番号	名称	仕様
特記事項		

掃除用具入 G-1280

1/20



扉断面図



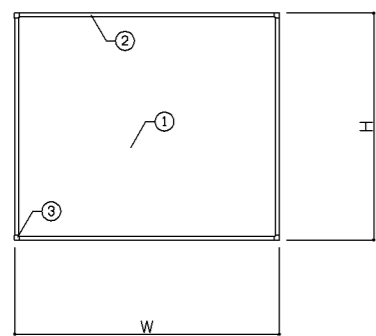
正面図

断面図

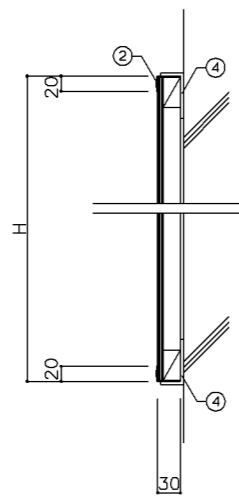
寸法		
W 600 × D 400 × H 1,700		
使用箇所		
開放用附帯施設(ホール)		
仕様		
番号	名称	材質
①	天板	SPCC 0.8(焼付塗装)
②	地板	SPCC 0.8(焼付塗装)
③	裏板	SPCC 0.8(焼付塗装)
④	側板	SPCC 0.8(焼付塗装)
⑤	扉板	SPCC 0.8(焼付塗装)
⑥	扉補強	SPCC 0.8(焼付塗装)
⑦	鍵付錠	SWRM 6φ
⑧	ベース	SPCC 1.0
⑨	隙金具	SPCC 2.3
⑩	アジャスター	SWRM PE
付属器具		
番号	名称	仕様
①	丁番	SPCC 1.2
②	マグネット	
③	リフトレール	7x7x7 (SUS) 25φ
④	Sカン	SWRM 3φ
⑤	フック	ABS
⑥	トレイ	SUS304
⑦	把手	A6063S
特記事項		

掲示板 G-1680

1/5, 1/20



正面図 S=1/20

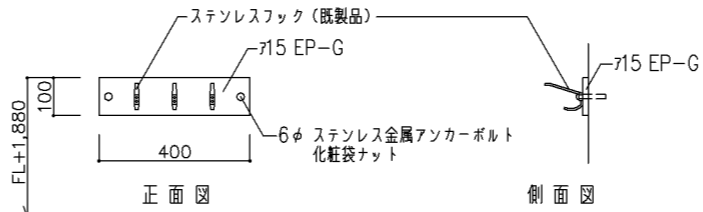


断面図 S=1/5

寸法		
W 1,900 × H 1,000		
使用箇所		
開放用附帯施設(ホール)		
仕様		
番号	名称	材質
①	掲示板	掲示板用難燃クロス 75.5 ラワン合板下地
②	枠	アルミ製
③	フック	樹脂製
④	受け金物	74 スチールユニクロメッキ @900
付属器具		
番号	名称	仕様
特記事項		

モップ掛けフック

1/10



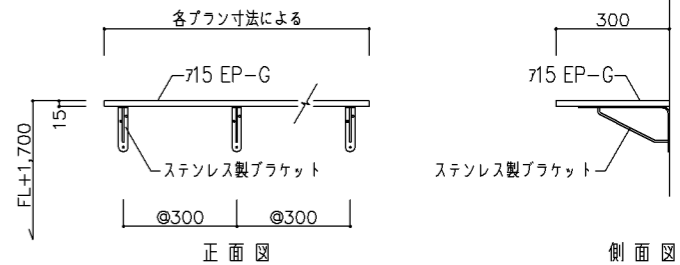
正面図

側面図

・ブース外部から手の届かない位置とする

棚

1/10



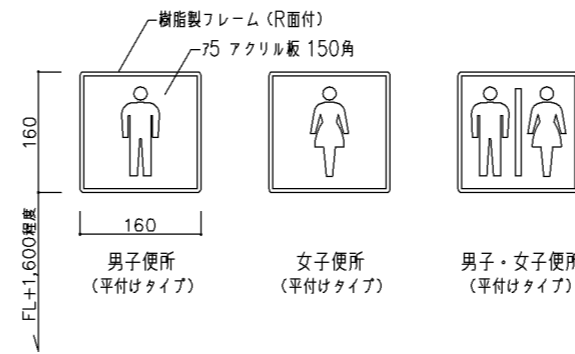
正面図

側面図

・ブース外部から手の届かない位置とする

ピクトサイン

1/5



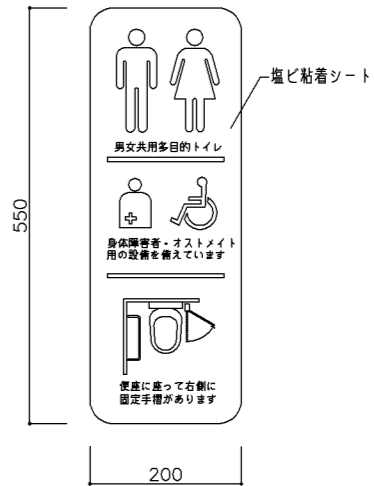
男子便所  
(平付けタイプ)

女子便所  
(平付けタイプ)

男子・女子便所  
(平付けタイプ)

トイレサイン

1/10



200

改定の経緯

設計上の留意点

横浜市建築局

工事名 横浜市小・中学校標準図屋内運動場95型18改

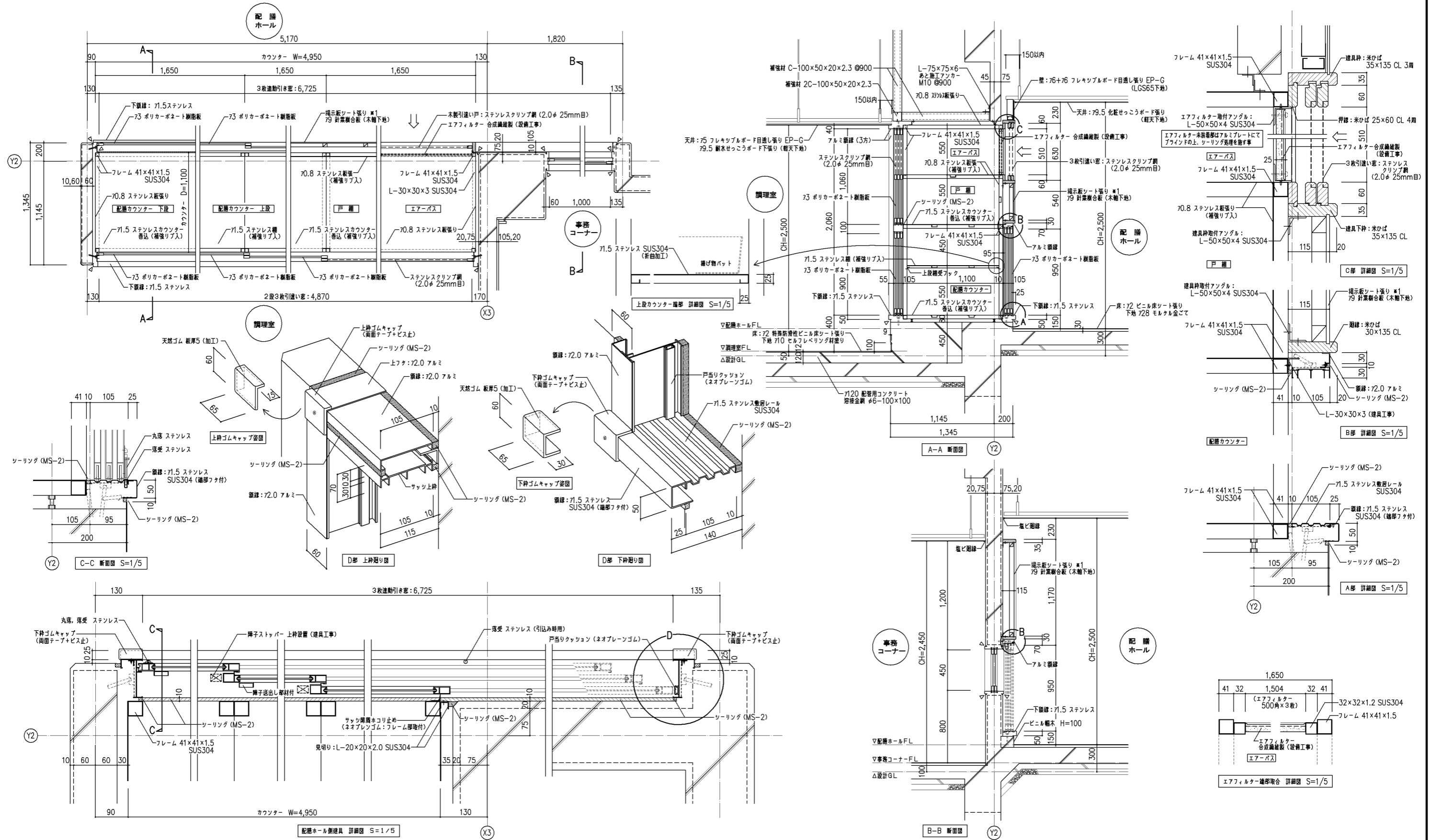
年月日 平成31年3月 縮尺 1/5,1/10,1/20

図面名称 詳細図-5

設計者

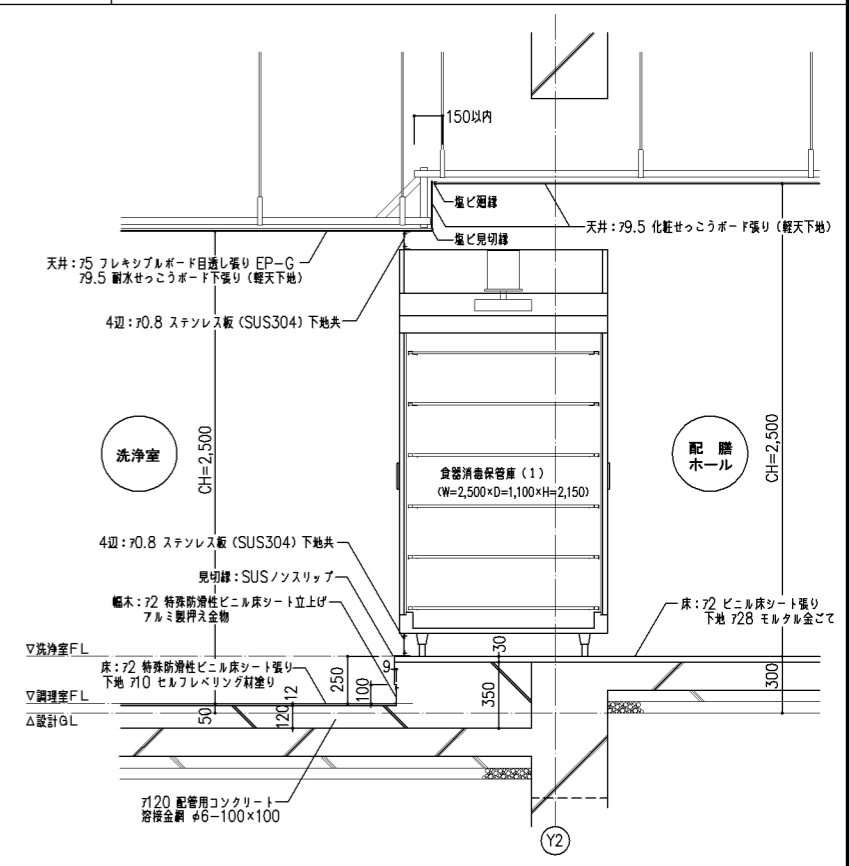
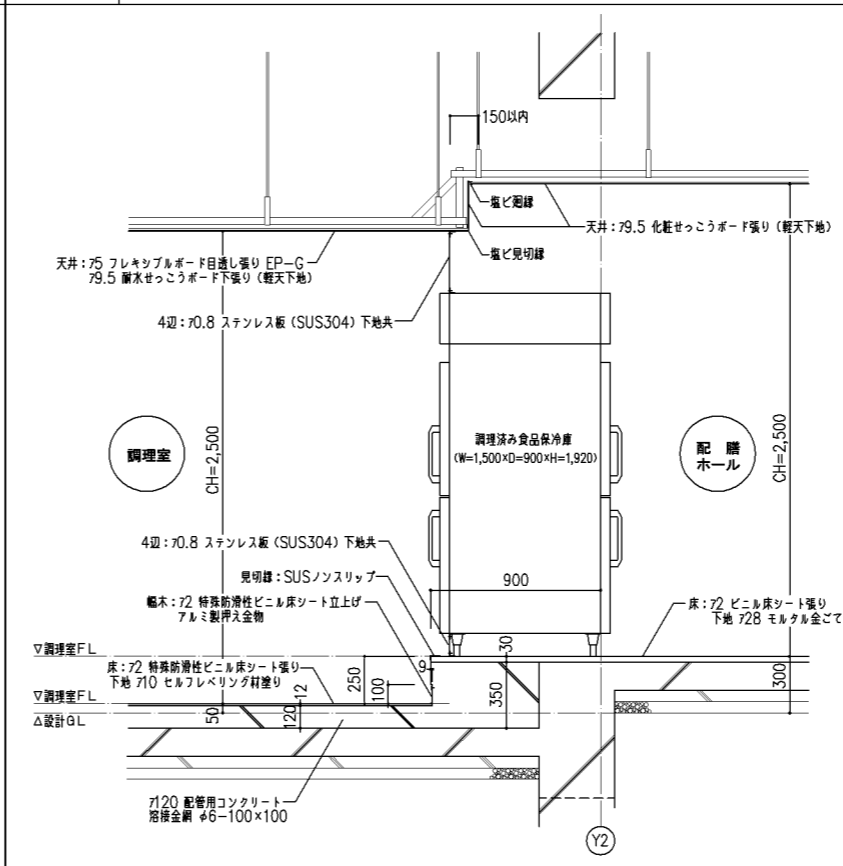
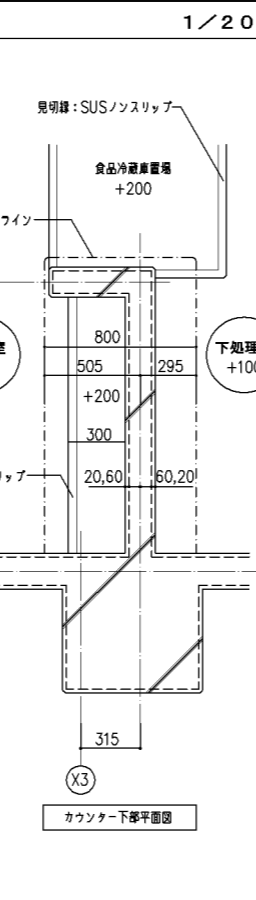
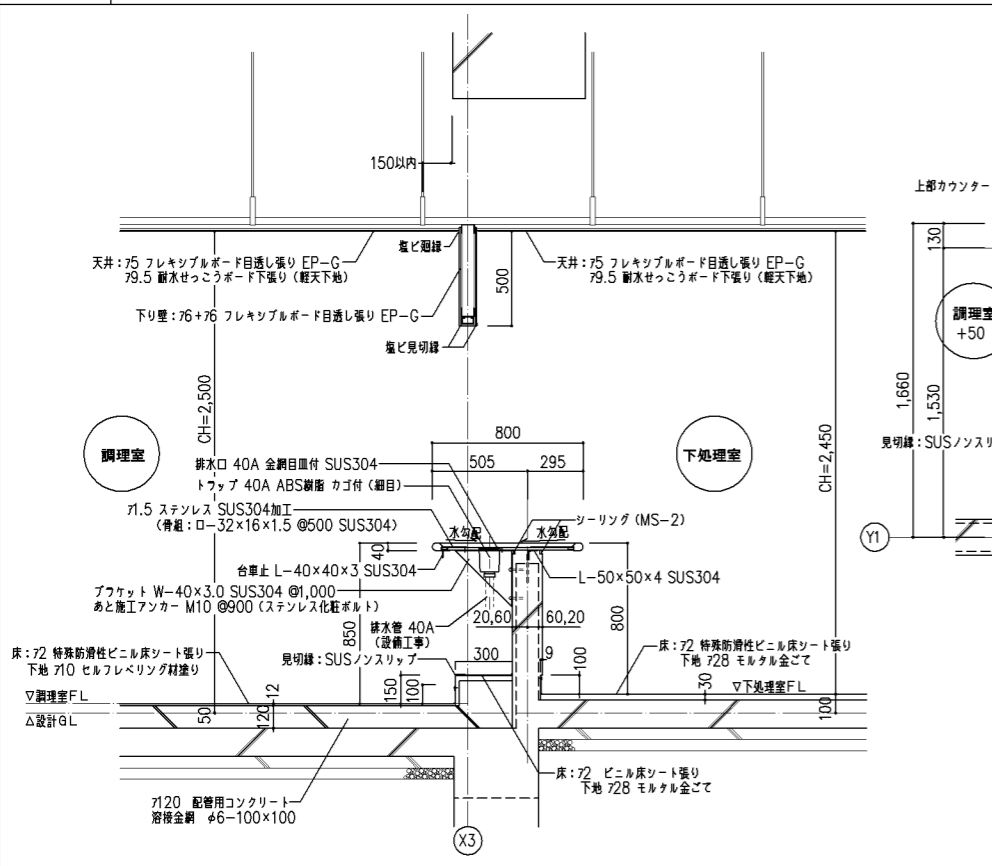
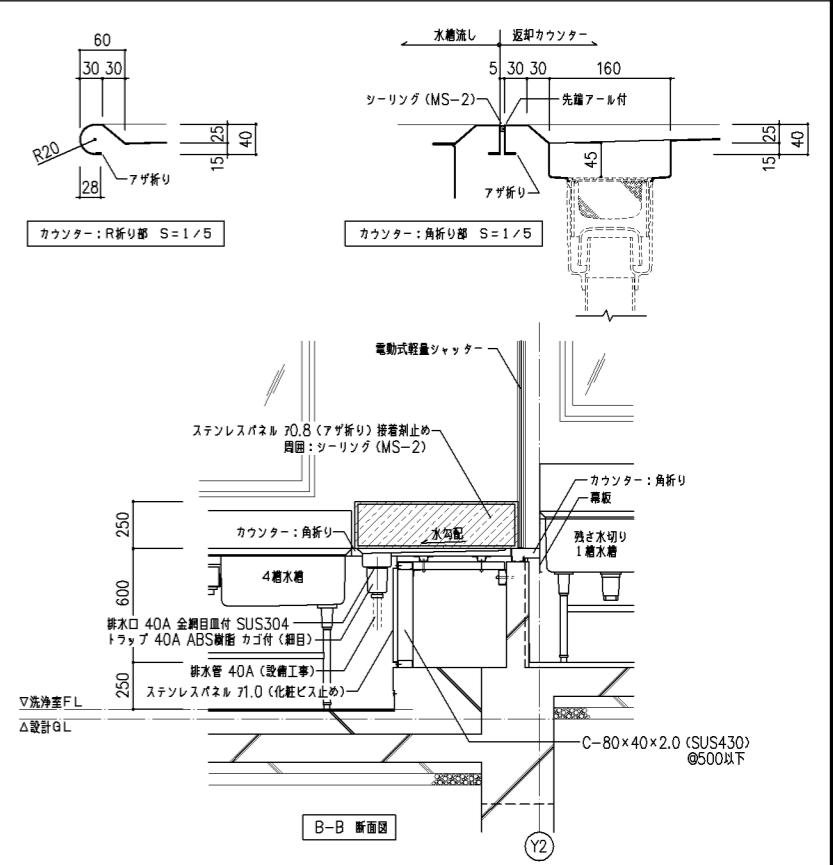
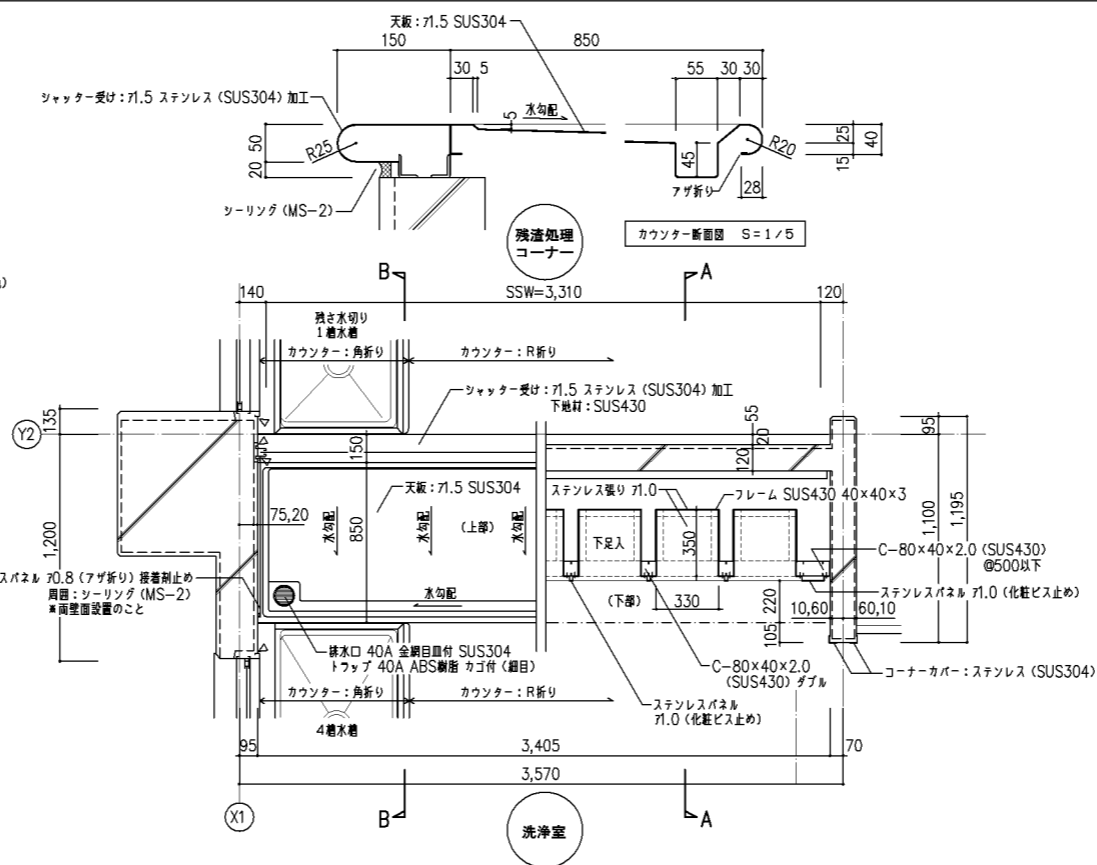
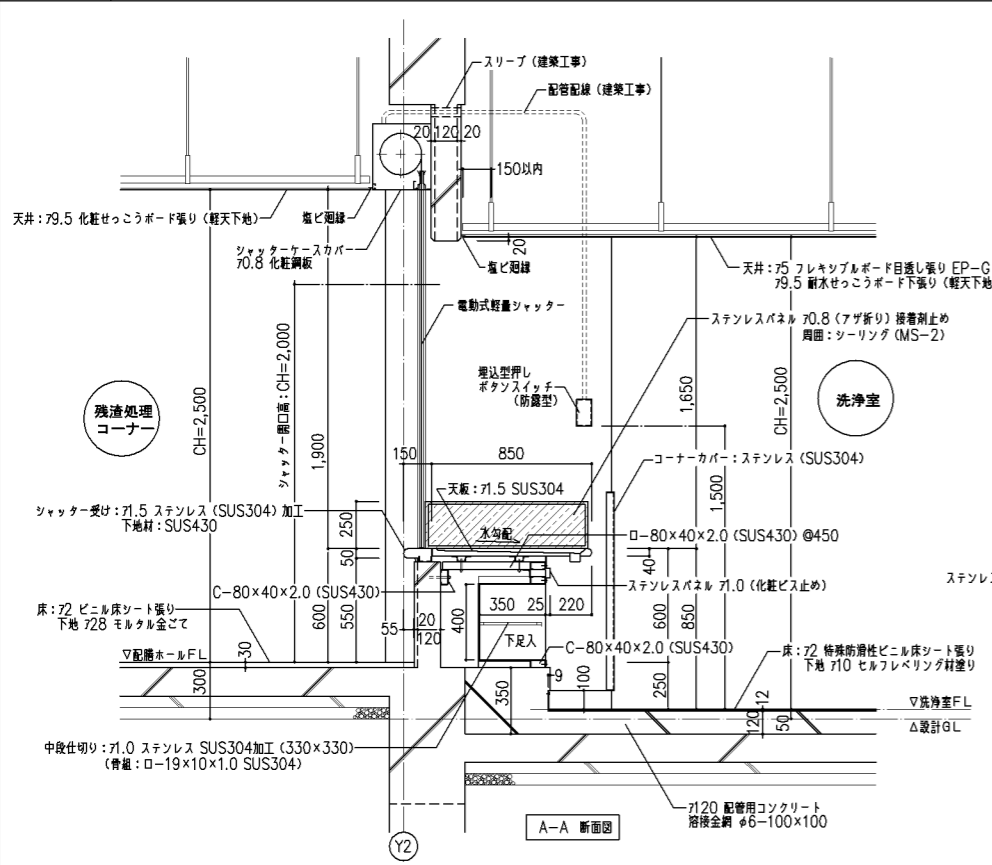
図面番号

施設番号 備考 年度 図面種類 図面枚数 図面番号



改定の経緯	設計上の留意点 凡例 △:ソーリング材 変性シリコン系 (MS-2) を示す ※1: 指示板の仕様については指示板シート張りを基本とするが、仕様変更 (カバー鋼板張り等) の場合には実施設計にて調整すること。	<b>横浜市建築局</b>		工事名	給食室 (ドライシステム) 10改 (令和元年度改訂版)
		年月日	令和2年2月	縮尺	1/5.1/20
		設計者		施設番号	
				備考	
				完成年度	
				図面枚数	
				図面番号	





改定の経緯

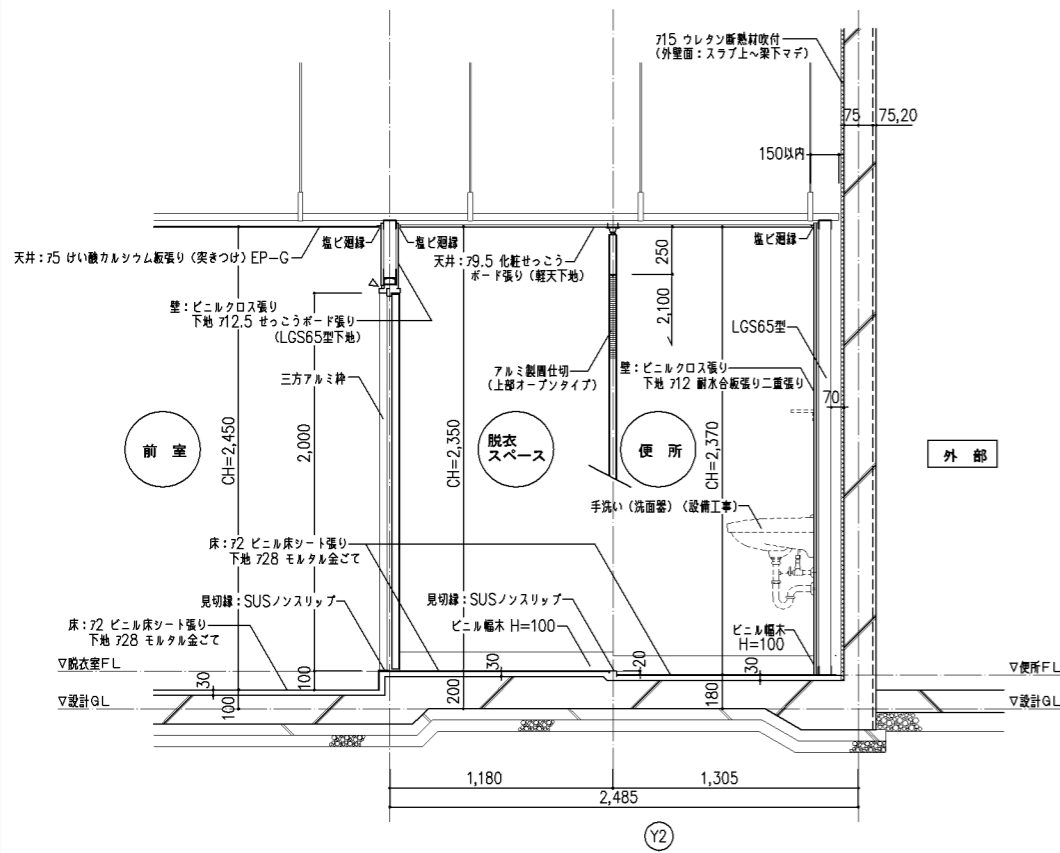
設計上の留意点  
 凡例  
 △：ソーリング材 変性シリコン系 (MS-2) を示す

横浜市建築局		工事名	給食室(ドライシステム)10改【令和元年度改訂版】		
年月日	令和2年2月	縮尺	1/5.1/20		
図面名称	ディテールシート(3)				
設計者	施設番号	継番号	完成年度	図面種類	図面枚数
A-24					

D-36

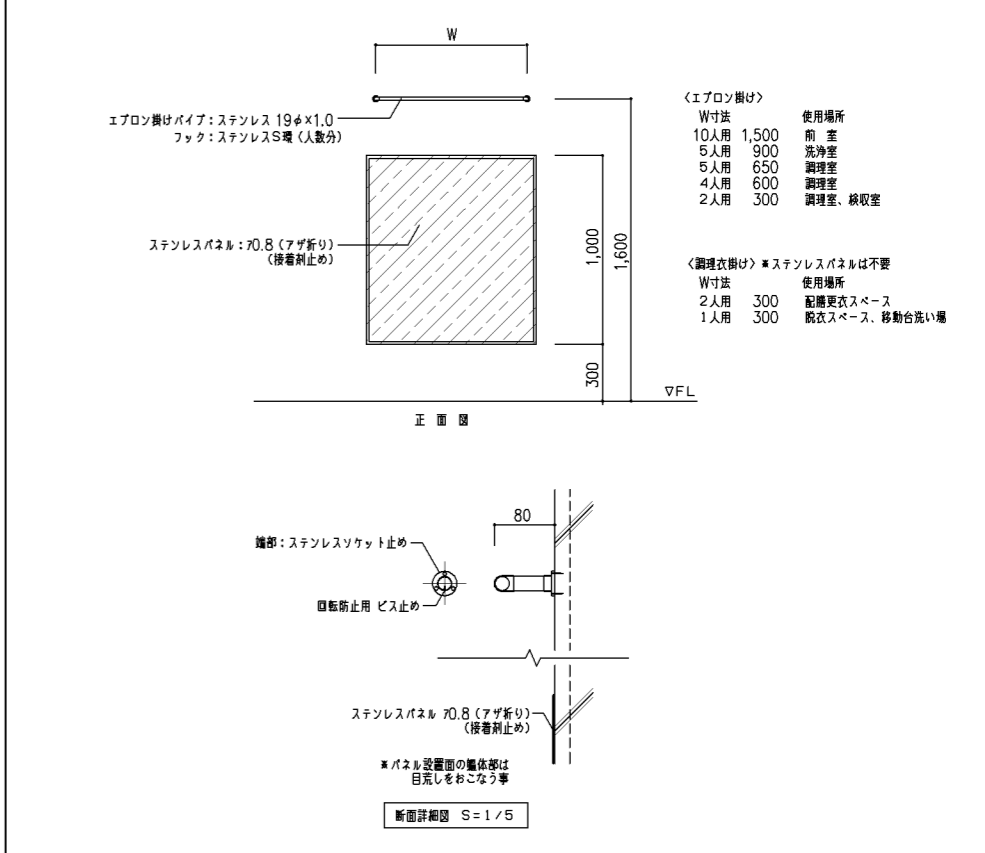
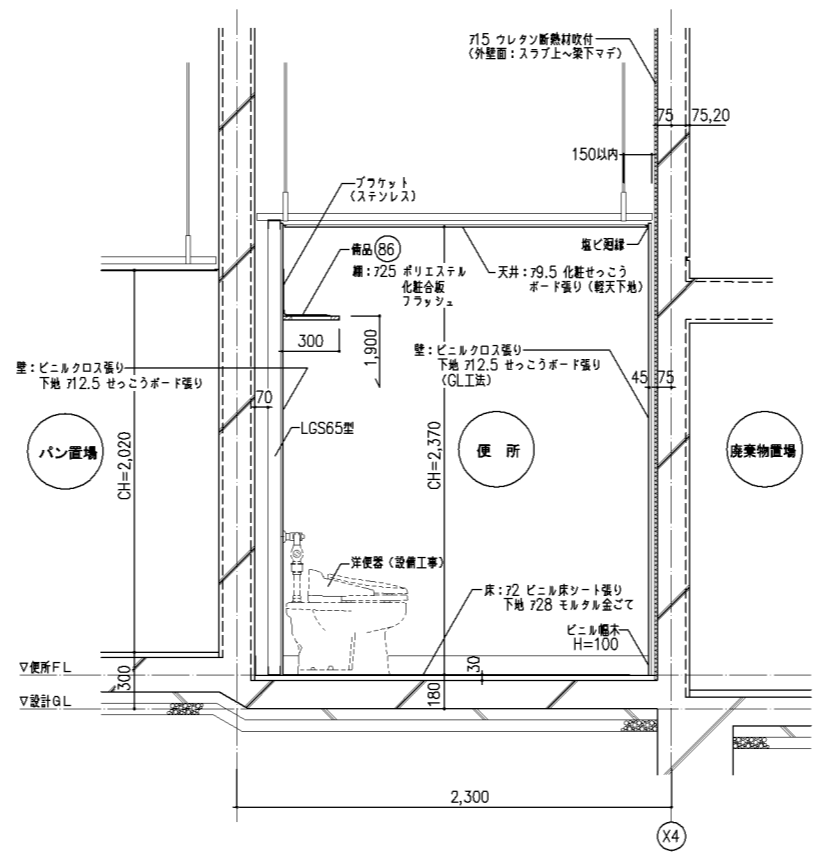
便所、脱衣スペース廻り 詳細図

1/20



D-37 エプロン掛け、調理衣掛け廻り 詳細図

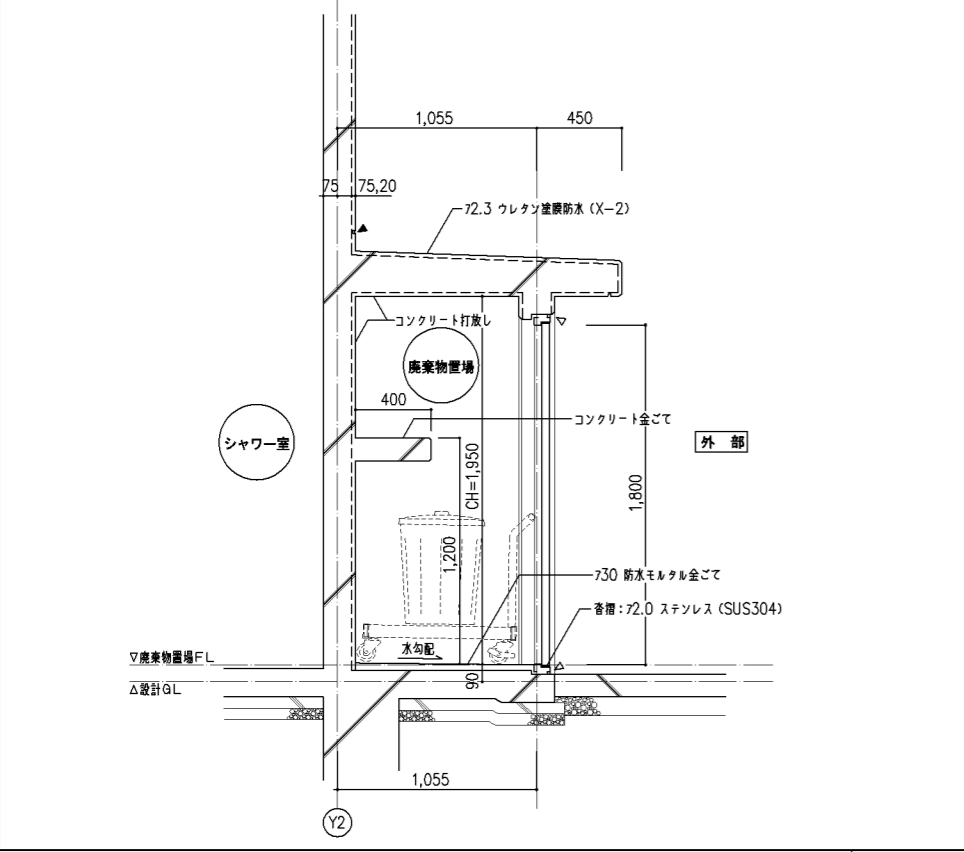
1/5・1/20



D-38

廃棄物置場 詳細図

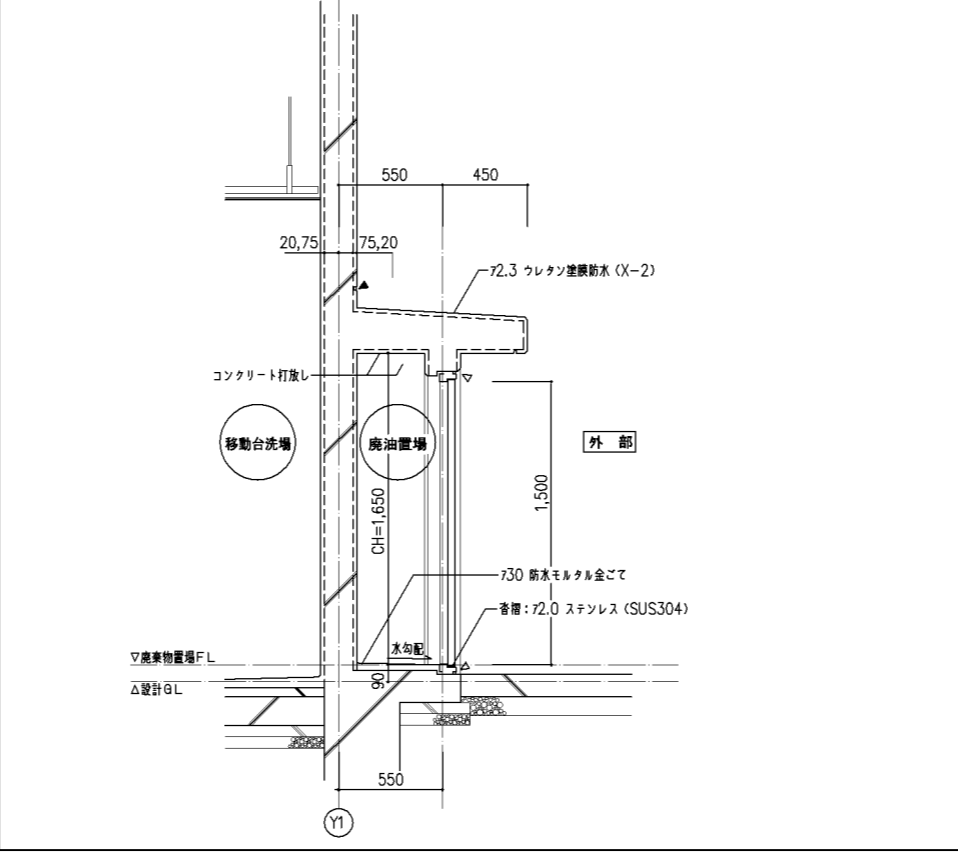
1/20



D-39

廃油置場 詳細図

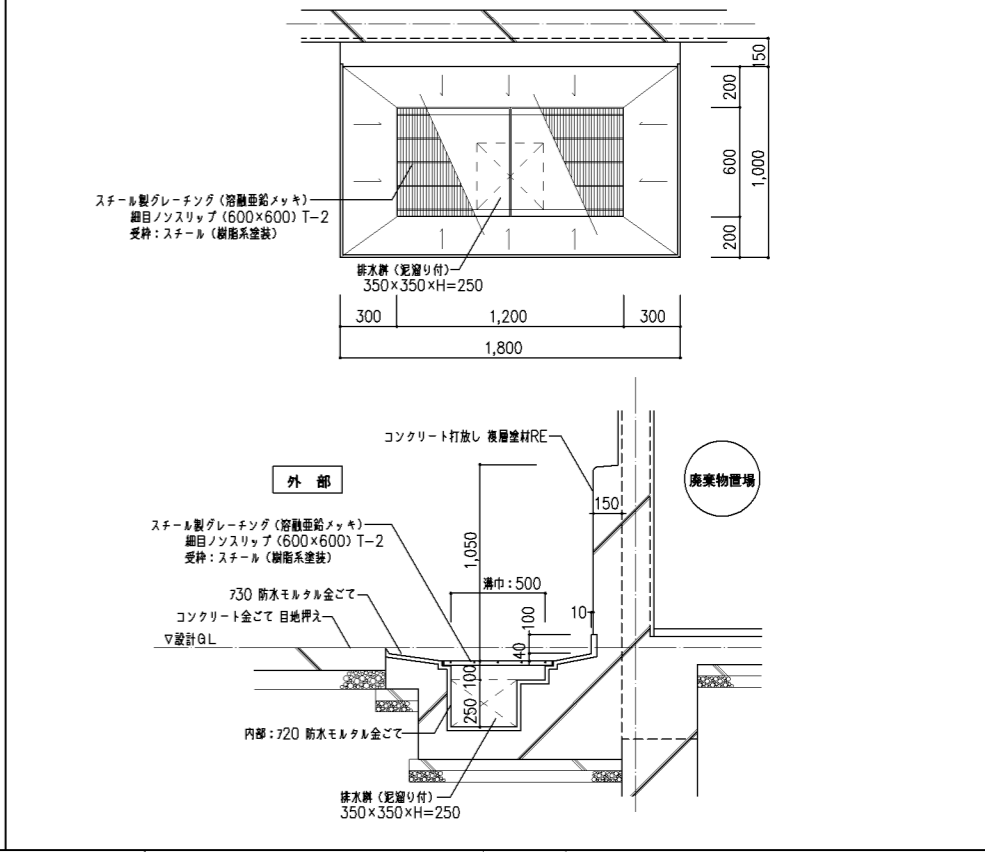
1/20



D-40

外部ポリバケツ洗い場廻り 詳細図

1/20



改定の経緯

設計上の留意点  
 凡例  
 △：シーリング材 変性シリコン系 (MS-2) を示す  
 ▲：シーリング材 ポリウレタン系 (PU-2) を示す

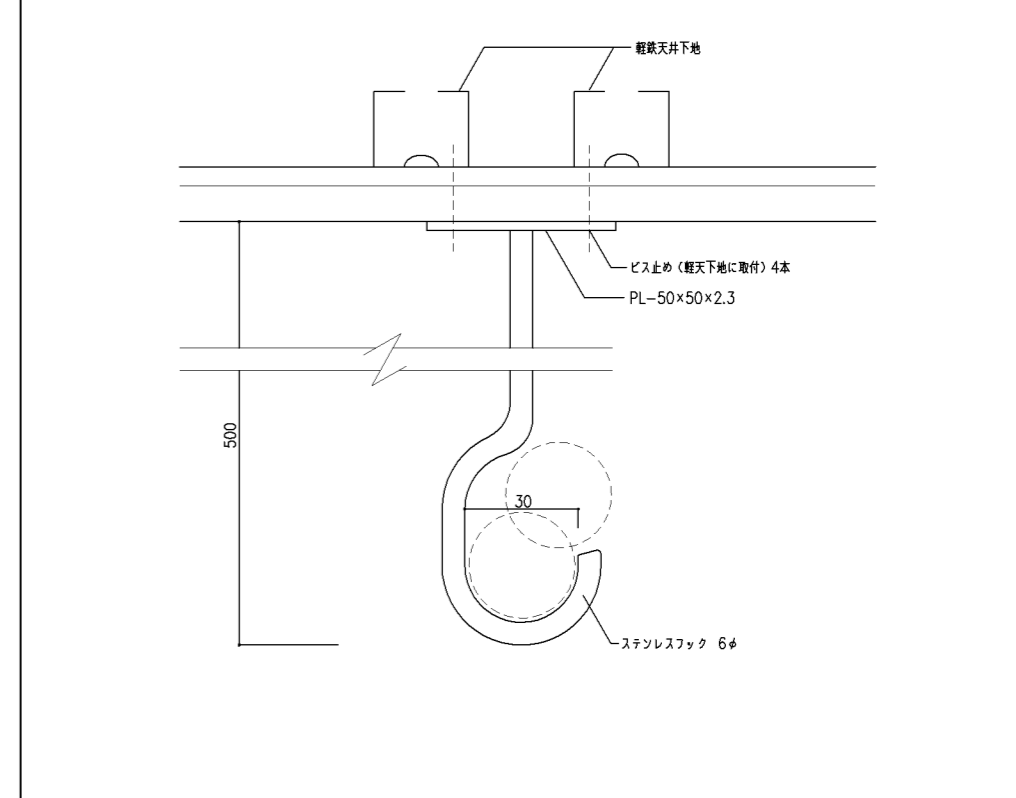
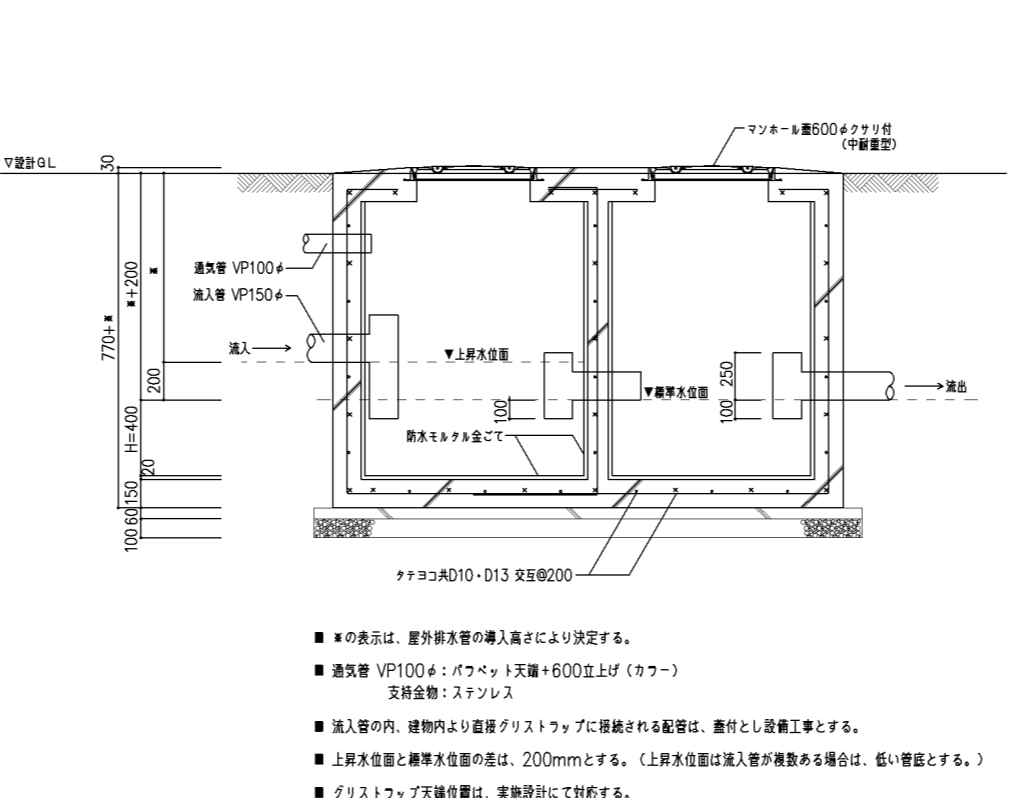
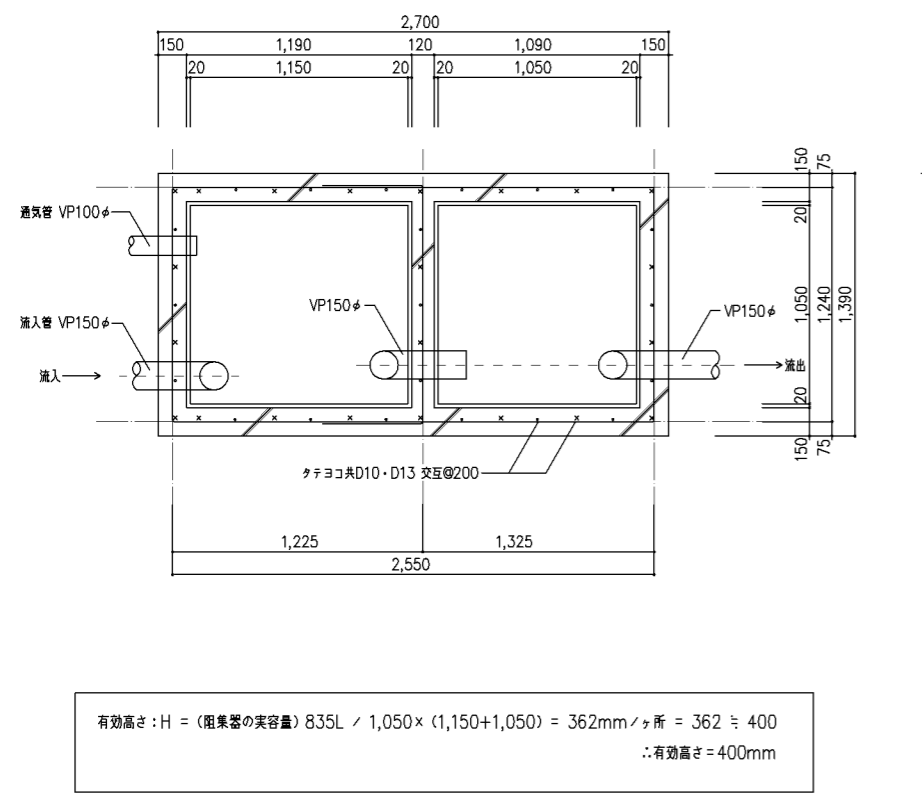
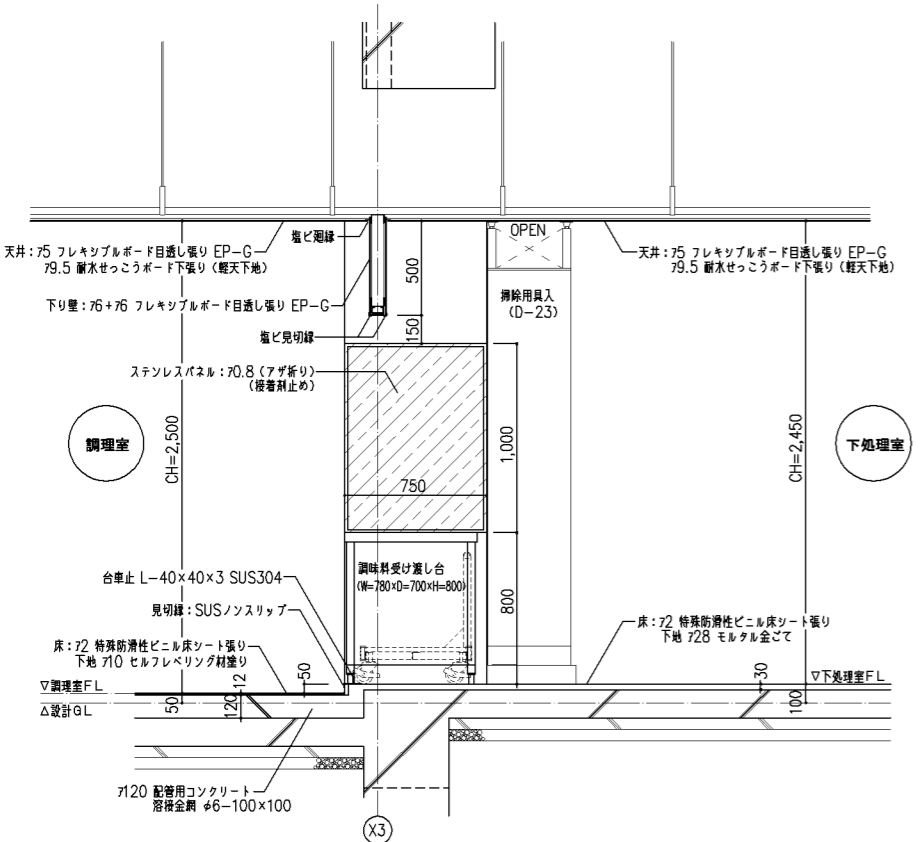
横浜市建築局

I事名 給食室(ドライシステム)10改【令和元年度改訂版】

年月日 令和2年2月 縮尺 1/5, 1/20 図面名称 デTAILシート(9)

設計者

図面番号	図面名称	図面枚数	図面番号
A-30			



改定の経緯

設計上の留意点

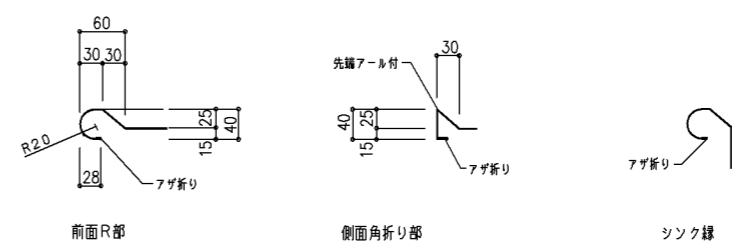
横浜市建築局				工事名 給食室(ドライシステム)10改【令和元年度改訂版】			
年月日	令和2年2月	縮尺	1/1.1/20	図面名称	ディテールシート(10)		
設計者				施設番号	備考	完成年度	図面枚数
							図面番号
				A-31			

調理機器・家具備品 仕様書

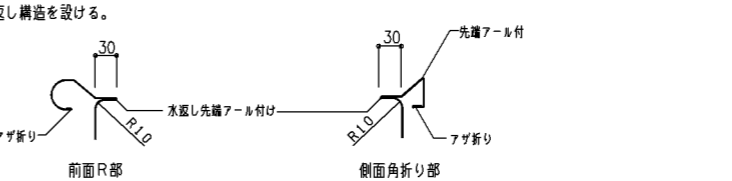
1 適用範囲	<p>1. 本仕様は、横浜市建築局施設整備課発注の給食調理機器・家具に適用する。                  2. 本仕様に記載されていない事項については、横浜市建築局施設整備課、「横浜市立 小中学校 備品関係標準図G(家具)仕様書」を適用する。</p>	5 付属金物	<p>付ける。但し、最大支持間隔は、1200とする。                  5. 給水管、給湯管のネジ接合部にはシール材を使用し、規定の締め付けを行う。</p>								
2 材料及び規格	<p>1. 調理機器に使用する材料は、下表による。家具については別項による。</p> <table border="1" data-bbox="270 359 789 457"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ステンレス板</td> <td>外装</td> <td>JIS G 4304 (熱間圧延ステンレス鋼板・及び鋼帯) JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板・及び鋼帯)</td> </tr> <tr> <td>内装</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>種類は、SUS 304 及び SUS 430とする。                  板厚は、各詳細図の仕様による。</p> <p>2. 使用する給水管は、JWWA K132水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管「SGP-PA (一般配管用)」とし、継手類はJPF MP 003水道用ねじ込み式管端防食管継手とする。                  3. 使用する給湯管は、WSP 043給湯用塩化ビニルライニング鋼管「C-VA」とし、継手類はJPF MP 005給湯用ねじ込み式管端防食継手とする。</p>	種別	区分	規格	ステンレス板	外装	JIS G 4304 (熱間圧延ステンレス鋼板・及び鋼帯) JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板・及び鋼帯)	内装	同上	6 組立・取付	<p>1. 小ネジ、ナット等は、日本工業規格(JIS)に適合したものを使用する。                  2. 引手及び取手は、ステンレスSUS 304とする。                  3. 使用するビスは、ステンレスとする。                  4. 排水トランプは、樹脂製としゴミ収納器(ステンレス製)付防臭排水トランプ50VP用とする。オーバーフロー付の場合も同様とする。</p>
種別	区分	規格									
ステンレス板	外装	JIS G 4304 (熱間圧延ステンレス鋼板・及び鋼帯) JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板・及び鋼帯)									
	内装	同上									
3 仕上	<p>1. ステンレス鋼板表面は、JIS R6001により研磨を行った、#320以上の仕上としたもの。                  2. 前項の給水管、給湯管は保温厚さ20mmのグラスウール保温筒を使用し、鉄線、原紙、綿布の順に仕上げ、綿布上に塗装(下塗り、中塗り、上塗り)を施したものとす。                  3. 給水管は、アクリル樹脂系防露断熱塗装 厚2mmを施すものとする。</p>	7 検査及び試験	<p>1. 製品は、図面と適合していなければならない。                  2. 仕上は、良好で、著しい傷、変形、亀裂及び溶接ずれなどがあってはならない。                  3. ネジ類の締め付け、溶接が完全に行われていなければならない。                  4. 製品の寸法精度は、±2mm以下とする。                  5. 給水管及び給湯管は、10kg/m<sup>2</sup>による20分間の水圧試験を行う。                  6. シンク及びトランプ取付部は、満水試験(20分間)により漏水がないものとする。</p>								
4 製作	<p>1. 溶接は、直流アルゴンアーク溶接とする。但し、骨組部は、交流アーク溶接も可とする。                  2. 骨組及び補強材の溶接は、連続溶接とし、その強度は、部材と同等以上とする。                  3. 水栓取付部の穴は、φ26とし、その裏面に補強材をスポット溶接として取付ける。(図示)                  4. 給水管及び給湯管取付金物は、壁管は1箇所、横引管は、両端に1箇所ずつ取</p>	8 その他	<p>1. オーバーフロー部分には、野菜クズ等が排水管へ流れ込まないように、網などを設けること。                  2. シンク類の補強材の高さは、300以上とする。                  3. 給水、給湯管の立上げ位置は、実施設計時に設備と協議の上決めること。                  4. 保証期間は2年以上とする。                  5. その他の事項は監督職員の指示による。</p>								

縁及び水返し構造

1. 水槽、移動台等の作業時に身体等が触れる部分にはフェールや折り返しを設け、安全性には充分考慮すること。 ※ 参考図 寸法・形状は各メーカー規格に依る。

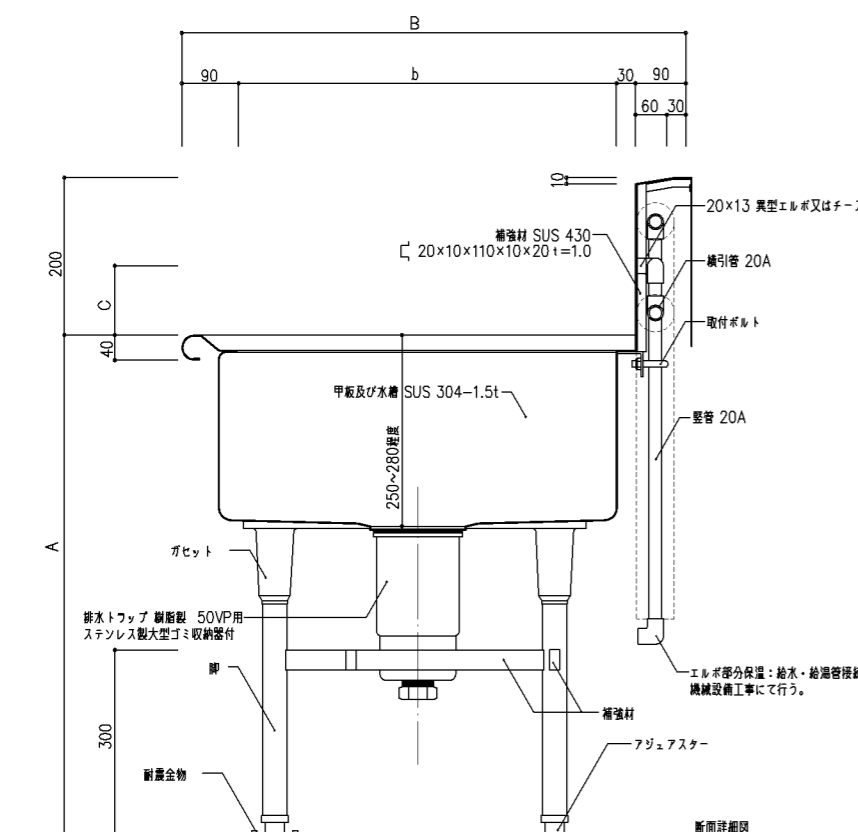


2. 水返し構造を設ける。



※各部屋の水槽の仕様について

検収室	調理室
1 槽水槽 水返し無し	2 槽水槽 水返し無し
下処理室	洗浄室
3 槽水槽 (加熱食材用) 水返し無し	4 槽水槽 (食缶用) 水返し有り
3 槽水槽 (非加熱食材用) 水返し無し	4 槽水槽 (食器用) 水返し有り
3 槽水槽 (器具用) 水返し有り	残渣処理コーナー
	残渣水切り水槽 水返し無し



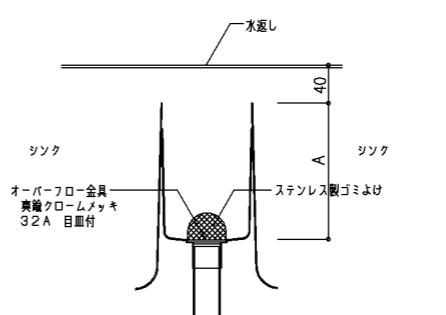
□ A寸法(床面より高さ)	
検収室	
1 槽水槽	: 800
下処理室	
3 槽水槽	: 800
調理室	
2 槽水槽	: 800
洗浄室	
食器用4槽水槽	: 850
食缶用4槽水槽	: 850
水切り台	: 850
残渣処理コーナー	
残渣水切り水槽	: 800
□ B寸法	
検収室	
1 槽水槽	: 800
下処理室	
3 槽水槽	: 800
調理室	
2 槽水槽	: 800
洗浄室	
食器用4槽水槽	: 900
食缶用4槽水槽	: 900
水切り台	: 900
残渣処理コーナー	
残渣水切り水槽	: 800

注) □寸法は、各商品図面参照

槽間オーバーフロー構造

1. シンク間には、仕切り又は、あふれ出ようとする水を受けるためのオーバーフローを設ける。 ※ 参考図 寸法・形状は各メーカー規格に依る。  
 2. 槽間オーバーフローはシンク間の水が混ざらないような構造とする。

槽間オーバーフロー



※各部屋の水槽の仕様について

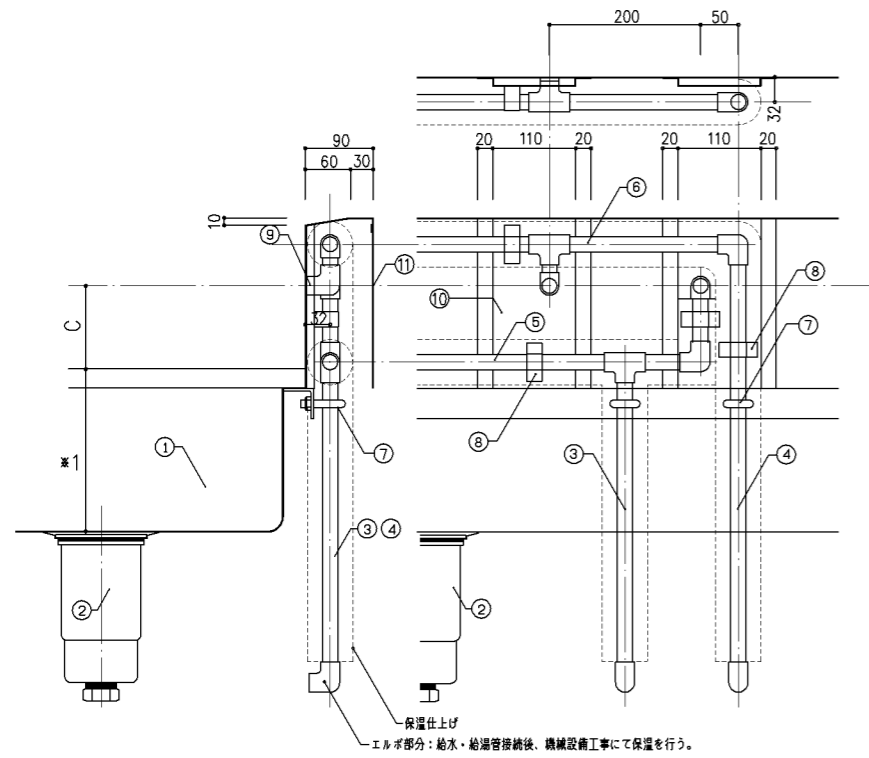
下処理室	
3 槽水槽 (加熱食材用)	槽間オーバーフロー無し
3 槽水槽 (非加熱食材用)	槽間オーバーフロー無し
3 槽水槽 (器具用)	槽間オーバーフロー有り
調理室	
2 槽水槽	槽間オーバーフロー無し
洗浄室	
4 槽水槽 (食缶用)	槽間オーバーフロー有り
4 槽水槽 (食器用)	槽間オーバーフロー有り

(槽間オーバーフローが無い場合は、槽内にオーバーフローを設ける)

改定の経緯	設計上の留意点
-------	---------

横浜市建築局				工事名	給食室(ドライシステム)10改【令和元年度改訂版】				
年月日	令和2年2月	縮尺	NO.SCALE	図面名称	調理機器・家具備品 仕様書(1)				
設計者				施設番号	継番号	完成年度	図面種類	図面枚数	図面番号
									A-32

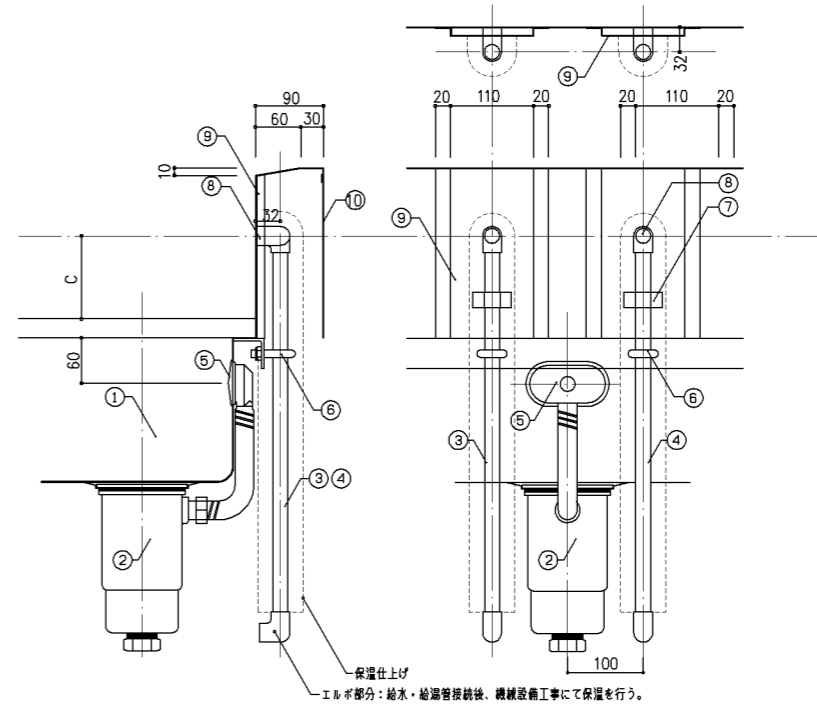
調理機器・家具備品 仕様書



仕 様		
番号	名称	材質
①	甲板及び槽	SUS-304 t=1.5
②	排水トラップ	樹脂製50VP用 ユニオンネット ステンレス製大型ゴミ収納器付
③	給水配管	PA (ポリプロピレン樹脂製)
④	給湯配管	CVA (給湯用塩ビフィニッシュ鋼管)
⑤	給水配管	PA (ポリプロピレン樹脂製)
⑥	給湯配管	CVA (給湯用塩ビフィニッシュ鋼管)
⑦	取付ボルト	
⑧	取付金具	
⑨	給水・給湯管カット	
⑩	補強材	SUS-430 t=1.0
⑪	薄板	SUS-304 t=1.0

注) 1) C寸法は、各備品図面参照  
 2) 排水トラップ ゴミ収納カゴはステンレス大型  
 ゴミ収納器とする  
 3) バックガードトップには水はけを考慮し補強  
 を付けること

※1 水巻深さは、250~280程度とし  
 メーカー仕様とする。



仕 様		
番号	名称	材質
①	甲板及び槽	SUS-304 t=1.5
②	排水トラップ	樹脂製50VP用 ユニオンネット ステンレス製大型ゴミ収納器付
③	給水配管	PA (ポリプロピレン樹脂製)
④	給湯配管	CVA (給湯用塩ビフィニッシュ鋼管)
⑤	オーバーフロー	25A11トナ (ステンレス鋼) 付
⑥	取付ボルト	
⑦	取付金具	
⑧	給水・給湯管カット	
⑨	補強材	SUS-430 t=1.0
⑩	薄板	SUS-304 t=1.0

注) 1) C寸法は、各備品図面参照  
 2) 排水トラップ ゴミ収納カゴはステンレス大型  
 ゴミ収納器とする  
 3) バックガードトップには水はけを考慮し補強  
 を付けること

製 作

1. 構造は充分な強度をもち、工作は確実でなければならない。
2. 接着や溶接は確実にし、見えがかりの接合面は、滑らかに仕上げなければならない。又、組立は緩みを生じないように確実に締め付けなければならない。
3. 部材には、面を取り、手ざわりよく仕上げなければならない。
4. 錠、取手、丁番は戸締まりされた状態で、破損以外の方法による取り外し  
 ができない構造とする。

仕 様

1. 収納家具等の木口材及び芯材は下記による。
2. 部位別の表面材と木口材は、下記リスト表より選定するものとする。  
 尚リスト表に記載されていないものに関しては、監督職員の承認を得るものとする。
3. 芯材は原則として、リスト表によるものとする。
4. 本仕様で明記されていない事項については、横浜市建築局施設整備課、「横浜市立 小中学校 備品関係標準図G(家具)」仕様書のG-400収納家具(木・その他)共通事項を適用する。

部位別による表面材と木口形状リスト					芯材リスト(凡例)	
本体(枠板)	天板形状(甲板)		扉	扉板形状(可動部)	※各図面の芯材の裏の表記は下記による	
① ポリエステル化粧合板 木口：タモ ヌ6 (面取加工)	① ノフミン化粧板 木口：タモ ヌ6 (面取加工)	① グラツル系 木口：タモ集成材	① ポリエステル化粧合板 木口：タモ ヌ6 (面取加工)	① ポリエステル化粧合板 木口：ノフミン化粧板	A-1	フッシュ
② ポリエステル化粧合板 木口：塩ビエッジ	② ノフミン化粧板 木口：タモ (アール加工)	② グラツル系 木口：硬質塩ビエッジ		② ポリエステル化粧合板 木口：塩ビエッジ	B-1	ブロックコア
	③ ノフミン化粧板 木口：塩ビエッジ					

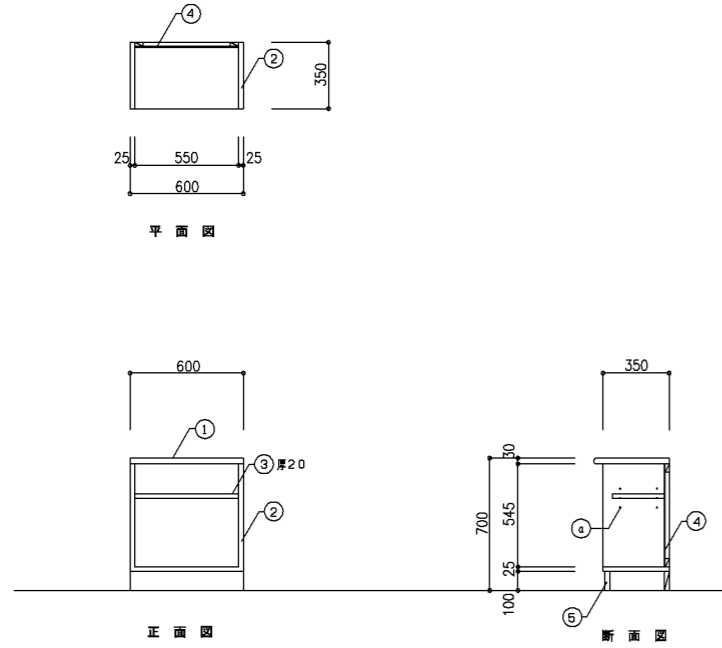
改定の経緯

設計上の留意点

横浜市建築局				工事名	給食室(ドライシステム)10改【令和元年度改訂版】			
年月日	令和2年2月	縮尺	NO.SCALE	図面名称	調理機器・家具備品 仕様書(2)			
設 計 者				施設番号	備考	完成年度	図面枚数	図面番号
								A-33

② 下足入兼押印台

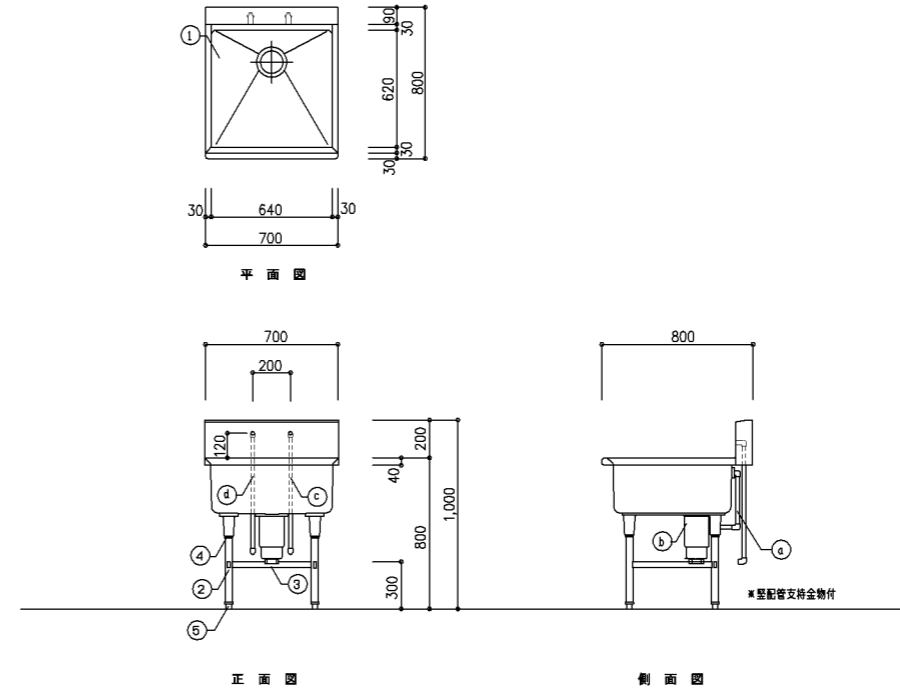
1/20



寸法				
600 x 350 x 700				
使用箇所				
検収室				
仕 様				
番号	名称	仕様	材質	仕上
①	天板		クモ集成材	PUC
②	側板	A-1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚板	A-1	ポリエステル化粧合板	
④	背板	片A-1	ポリエステル化粧合板	
⑤	脚木	B-1	ポリエステル化粧合板	
付属器具				
番号	名称	仕様		
①	脚受ダボ	ステンレス製		
特記事項				
・耐震金物にて固定				

⑤ 1槽水槽

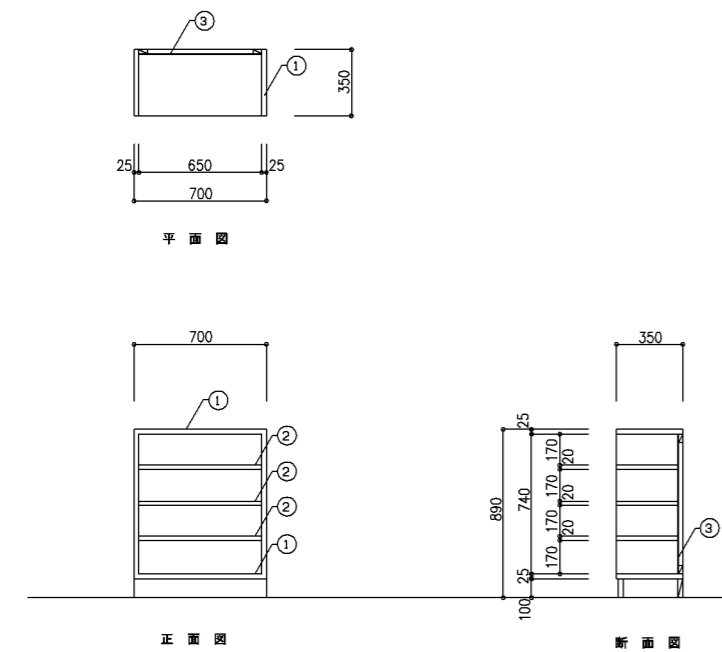
1/20



寸法			
700 x 800 x 800			
使用箇所			
検収室			
仕 様			
番号	名称	仕様	材質
①	水槽及び脚	SUS-304 t=1.5	
②	脚材	SUS-304 t=1.2 φ38	
③	補強材	SUS-304 t=1.2 口-32x16	
④	ガセット	SUS-304	
⑤	ワッシャー	SUS-304	
付属器具			
番号	名称	仕様	
①	クイックジョイント	小判型大型 25A ステンレス鋼付	
②	トップ	50A ABS樹脂 ステンレス製ミニ取付	
③	給水管	20A PA (ポリエチレン樹脂ワイピング鋼管)	
④	給湯管	20A CVA (給湯用型ワイピング鋼管)	
特記事項			
・水返しは設けない			
・石-給水、左-給湯			
・給水、給湯管の立上げ位置は実設計時に設備と協議の上決めること			
・耐震金物にて床に固定			
・詳細、寸法はメーカー仕様による			

⑦ 下足入

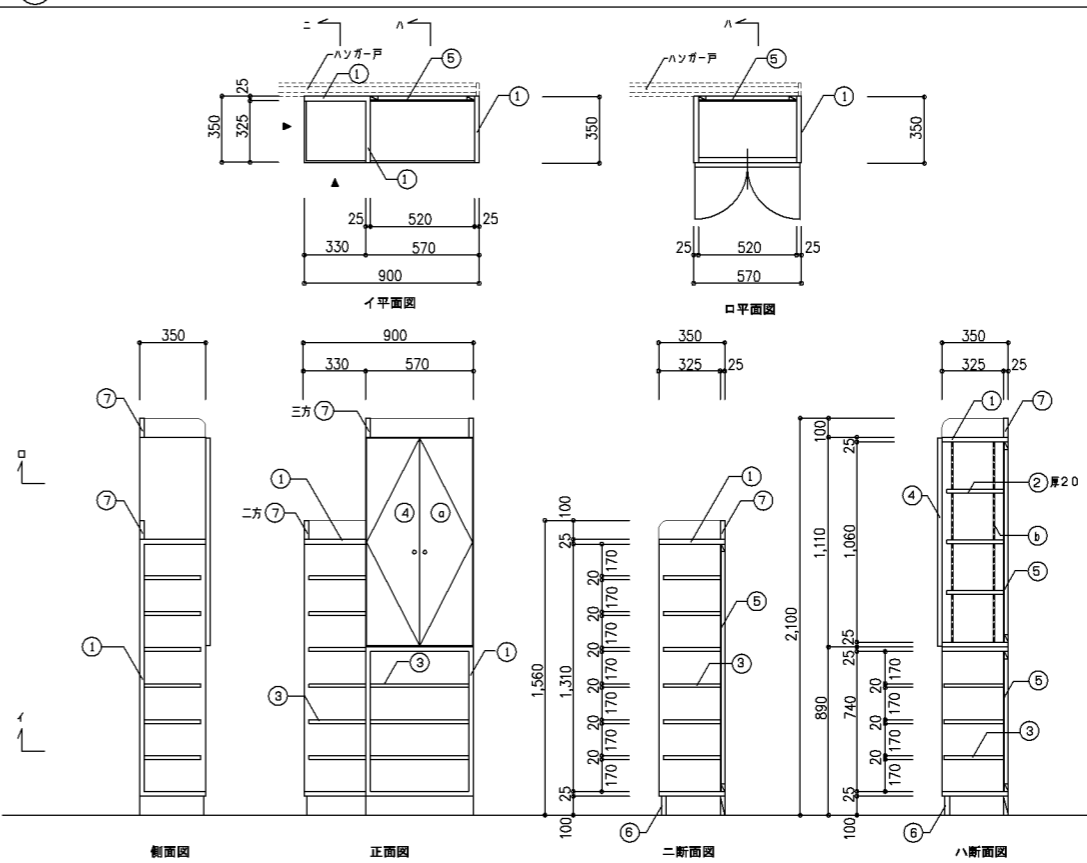
1/20



寸法			
700 x 350 x 890			
使用箇所			
前室			
仕 様			
番号	名称	仕様	材質
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板
②	固定棚板	A-1	ポリエステル化粧合板
③	背板	片A-1	ポリエステル化粧合板
④	脚木	B-1	ポリエステル化粧合板
付属器具			
番号	名称	仕様	
①	脚受ダボ	全可動脚受、ダボ	
特記事項			
・耐震金物にて固定			

⑧ 収納棚・下足入

1/20



寸法			
330・570 x 350 x 1,560・2,100			
使用箇所			
前室・事務コーナー			
仕 様			
番号	名称	仕様	材質
①	本体	A-1	ポリエステル化粧合板
②	可動棚板	A-1	ポリエステル化粧合板
③	固定棚	A-1	ポリエステル化粧合板
④	両面扉	A-1	ポリエステル化粧合板
⑤	背板	片A-1	ポリエステル化粧合板
⑥	脚木	B-1	ポリエステル化粧合板
⑦	立上り	A-1	ポリエステル化粧合板
付属器具			
番号	名称	仕様	
①	扉金物	スライドドア、ステンレス製、セーフタッチ面付ツリコギ	
②	脚受ダボ	全可動脚受、ダボ	
特記事項			
・耐震金物にて固定 (床、壁)			

改定の経緯

設計上の留意点

横浜市建築局

工事名 給食室(ドライシステム)10改【令和元年度改訂版】

年月日 令和2年2月 縮尺 1/20

図面名称 調理機器・家具備品図(1)

設計者

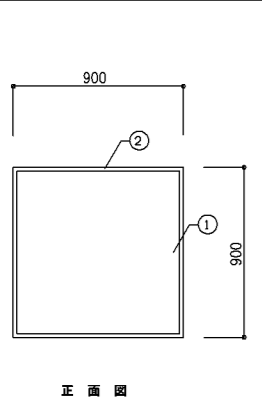
図面番号

図面枚数

図面番号

10 ホワイトボード

1/20

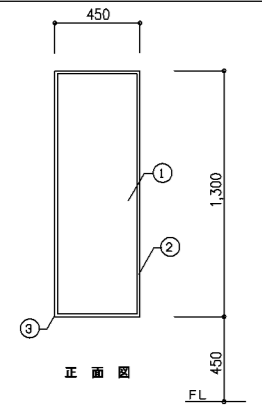


寸法		
900 x 900		
使用箇所		
前室・事務コーナー		
仕様		
番号	名称	材質
1	本体	スチールホロー
2	枠	アルミ製
付属器具		
番号	名称	仕様
特記事項		
-G-611A (粘受け無し)		

正面図

13 姿見

1/20

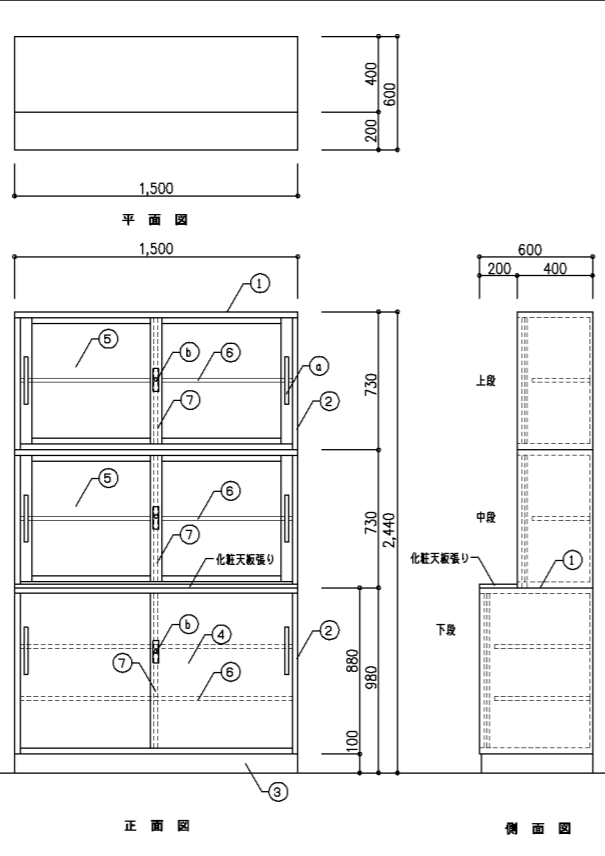


寸法		
450 x 15 x 1,300		
使用箇所		
前室・事務コーナー		
仕様		
番号	名称	材質
1	本体	鏡 t=5.0
2	四方枠	SUS304 t=0.8HL自加工品
付属器具		
番号	名称	仕様
3	コーナーガード	SUS304 t=0.8HL自加工品
特記事項		
・枠及びコーナーガードは、R1.5程度丸面とする		
・下枠には本装の穴を設ける。(φ5程度・1か所)		
-G-832		

正面図

12 物品戸棚

1/20



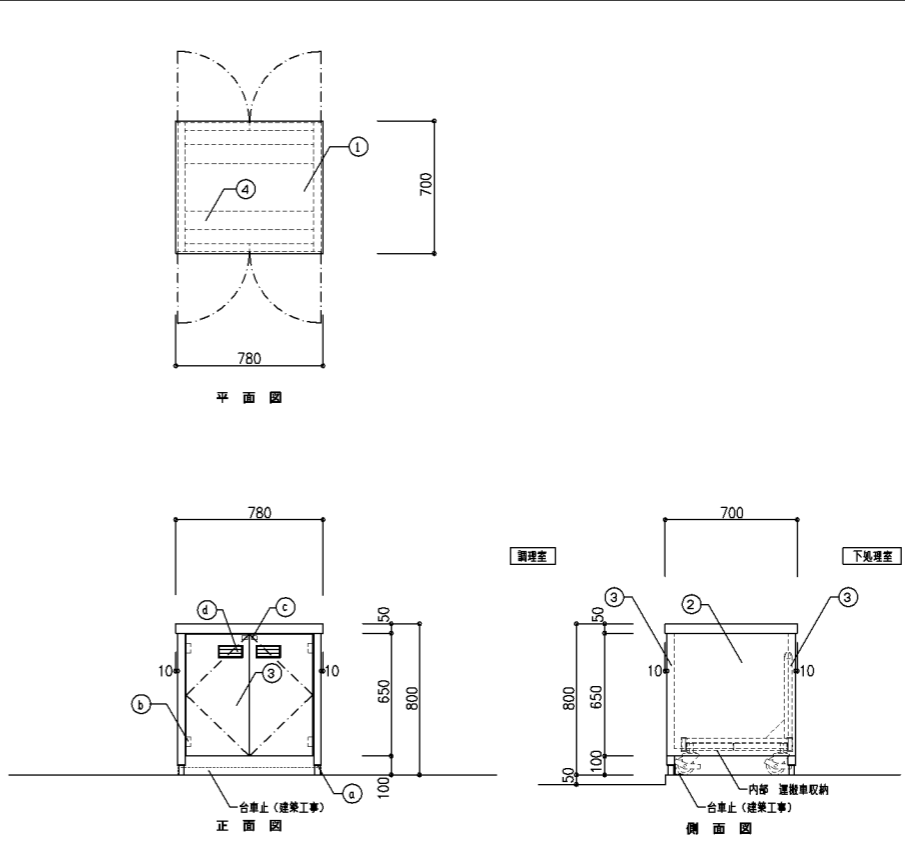
正面図

側面図

寸法		
1,500x400・600x2,440		
上段 1,500x400x730		
中段 1,500x400x730		
下段 1,500x600x880		
使用箇所		
前室・事務コーナー		
仕様		
番号	名称	材質
1	天板	SPCC 1.0 焼付塗装
2	扉板	SPCC 0.8 焼付塗装
3	ベース	SPCC 1.0 焼付塗装
4	引出戸	SPCC 0.8 焼付塗装
5	引出戸	SPCC 0.8 焼付塗装
6	扉板	SPCC 0.8 焼付塗装
7	中仕切	SPCC 0.8 焼付塗装
特記事項		
・上段 G218A		
・中段 G218A		
・下段 G211C		
・耐震金物にて床・壁に固定		
・化粧天板張り:G-201		
・仕様は、小中学校標準図 (G家具) に準ずる。		

17 調味料受け渡し台

1/20



正面図

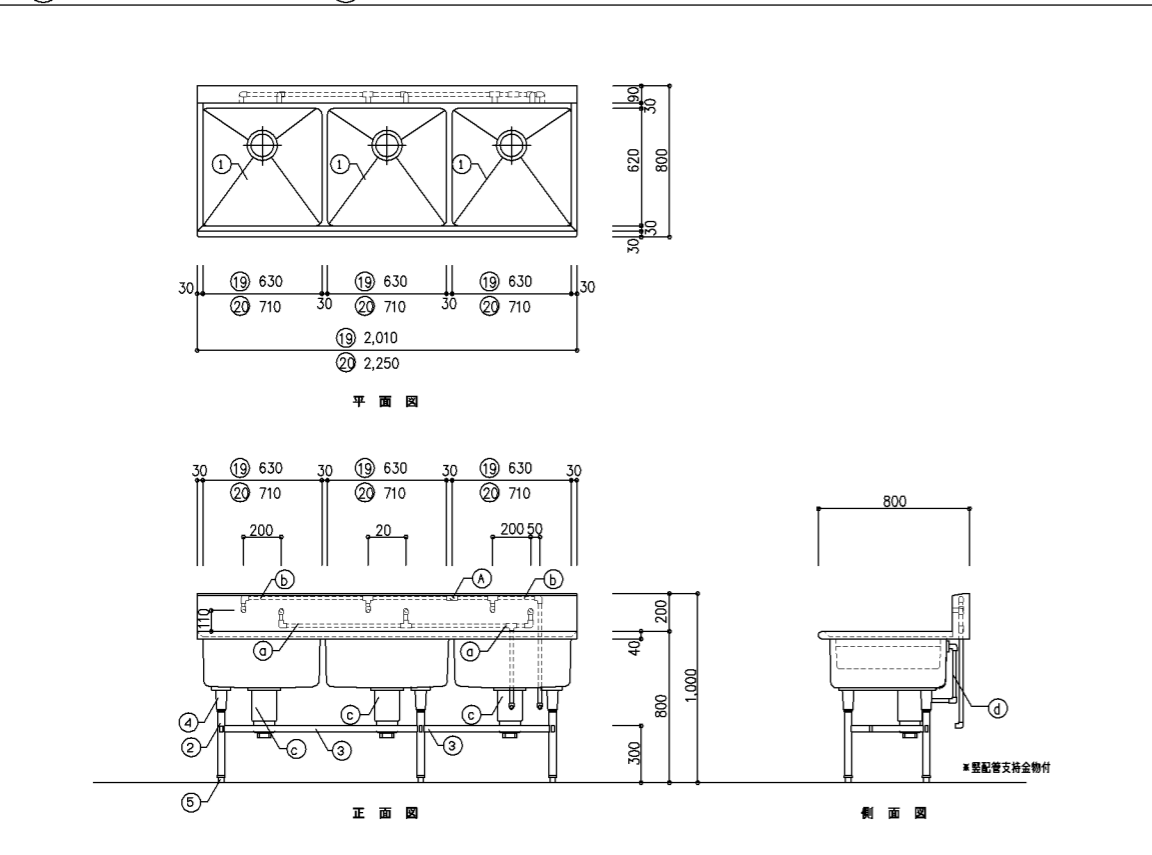
側面図

寸法		
780 x 700 x 800		
使用箇所		
下処理室		
仕様		
番号	名称	材質
1	甲板	SUS-304 t=1.2
2	化粧板	SUS-304 t=1.2
3	扉	SUS-304 t=1.2
4	補強	SUS-304 t=1.0
付属器具		
番号	名称	仕様
a	アジャスター	SUS-304
b	丁番	SUS-304
c	キャッチ	アジャスター
d	脚立引手	SUS-304
特記事項		
・耐震金物にて床・壁に固定		
・台車止は建築工事とする		

19 3槽水槽 (加熱用)

20 3槽水槽 (非加熱用)

1/20



平面図

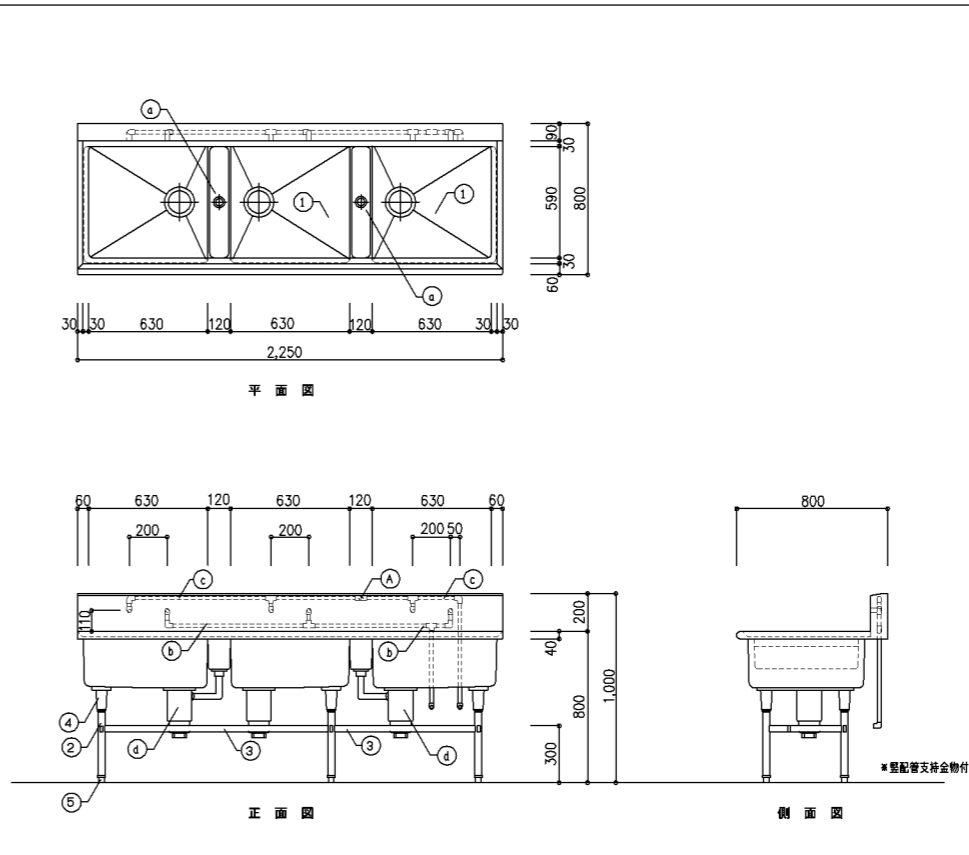
正面図

側面図

寸法		
① 2,010 x 800 x 800		
② 2,250 x 800 x 800		
使用箇所		
下処理室		
A: 水漏れ排水栓位置		
仕様		
番号	名称	材質
1	甲板及び槽	SUS-304 t=1.5
2	脚	SUS-304 t=1.2 φ38
3	補強材	SUS-304 t=1.2 □-32x16
4	ガレット	SUS-304
5	アジャスター	SUS-304
付属器具		
番号	名称	仕様
a	給水管	25A PA (ポリエチレン熱収縮フィニッシュ管)
b	給湯管	25A CVA (給湯用熱収縮フィニッシュ管)
c	トフツ	50A ABS樹脂 ステンレス製ゴミ取網管付
d	オキ70	小判型大型 25A ステンレス鋼付
特記事項		
・右-給水、左-給湯		
・給水、給湯管の立上げ位置は実施設計時に設備と協議の上決めること		
・耐震金物にて床に固定		
・水返しは設けない		
・詳細、寸法はメーカー仕様による		

21 3槽水槽 (器具用)

1/20



平面図

正面図

側面図

寸法		
2,250 x 800 x 800		
使用箇所		
下処理室		
A: 水漏れ排水栓位置		
仕様		
番号	名称	材質
1	甲板及び槽	SUS-304 t=1.5
2	脚	SUS-304 t=1.2 φ38
3	補強材	SUS-304 t=1.2 □-32x16
4	ガレット	SUS-304
5	アジャスター	SUS-304
付属器具		
番号	名称	仕様
a	オキ70	32A 異径フロムメッキ目黒付 ステンレス鋼付
b	給水管	25A PA (ポリエチレン熱収縮フィニッシュ管)
c	給湯管	25A CVA (給湯用熱収縮フィニッシュ管)
d	トフツ	50A ABS樹脂 ステンレス製ゴミ取網管付
特記事項		
・右-給水、左-給湯		
・給水、給湯管の立上げ位置は実施設計時に設備と協議の上決めること		
・耐震金物にて床に固定		
・詳細、寸法はメーカー仕様による		

改定の経緯

設計上の留意点

横浜市建築局

I事名 給食室(ドライシステム)10改【令和元年度改訂版】

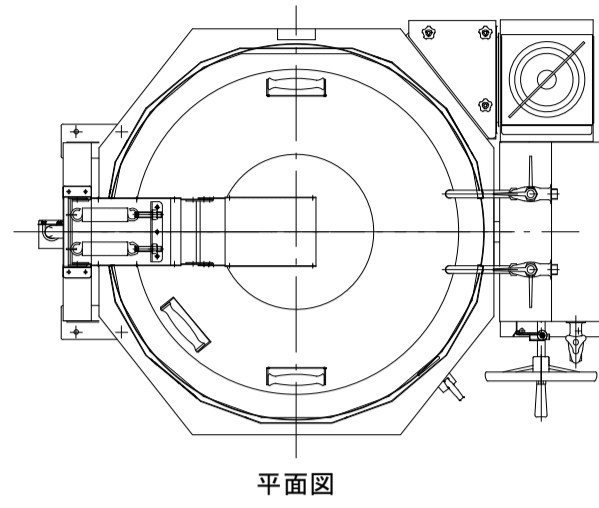
図面名称 調理機器・家具備品図(2)

年月日 令和2年2月 縮尺 1/20 設計者

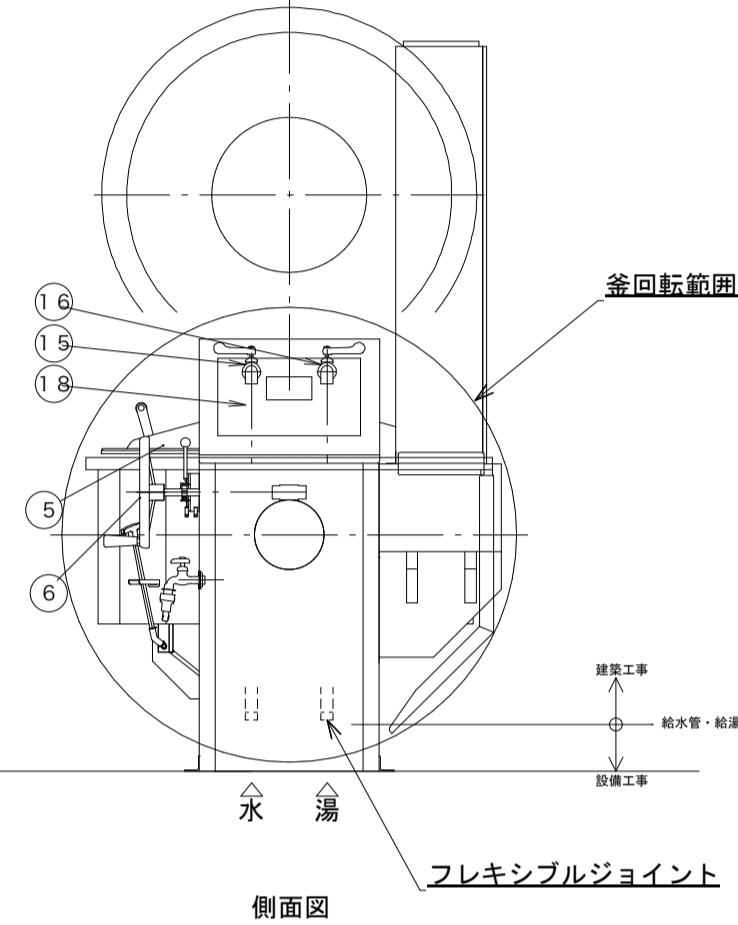
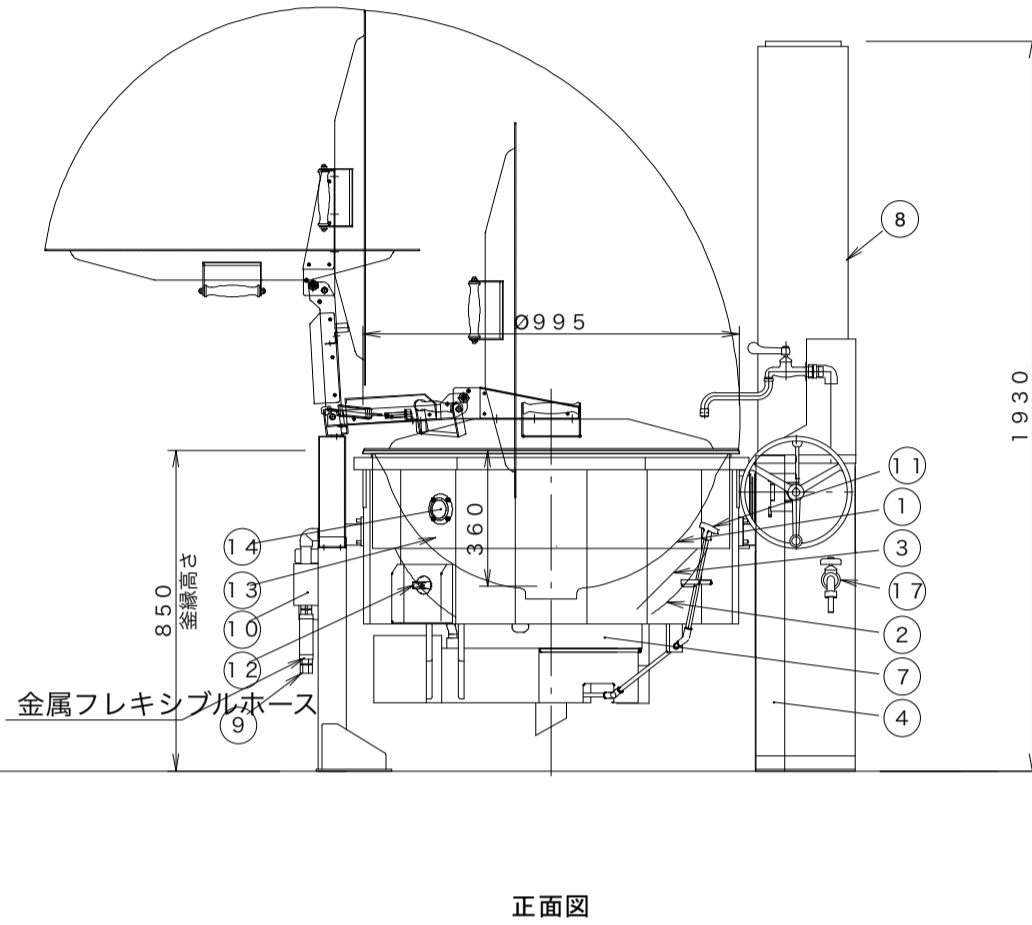
図面番号 施設番号 備考号 完成年度 図面種類 図面枚数 図面番号

A-35

26 低放射ガス回転窯



フレキシブルジョイント  
ステンレス製ユニオン式20Aベローズ形フレキシブルジョイント  
保護銅帯及び溶接部は、JIS G 4305によるSUS304とし、  
充分な可とう性と耐圧強度を有するもので、その全長は300mm以上とする。



1/20

寸法  
容量 150 L (最大容量150 L)

使用箇所  
調理室

規格等

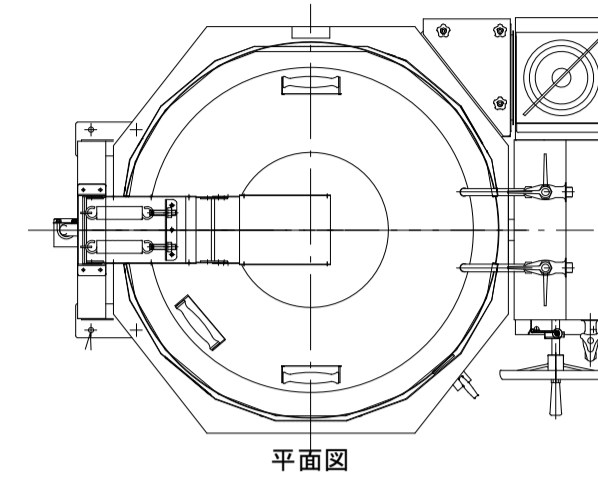
- 有効内容量 110 L  
ガス消費量 31000 kcal/h  
・排気口は作業面を避けること。  
・ハンドル位置は、体位に負担のかからないよう主軸の上にもってくること。  
・断熱材は断熱効果が高く、かつ釜本体と同程度の耐久年数のものとする。  
・口火は着火口まで銅管で配管し、メインバーナーへの着火が容易なこと。  
・メインバーナーは、それぞれの火力調整が可能なこと。  
・立ち消え安全装置を取り付けること。  
・排水はドローコック式とする。

仕様

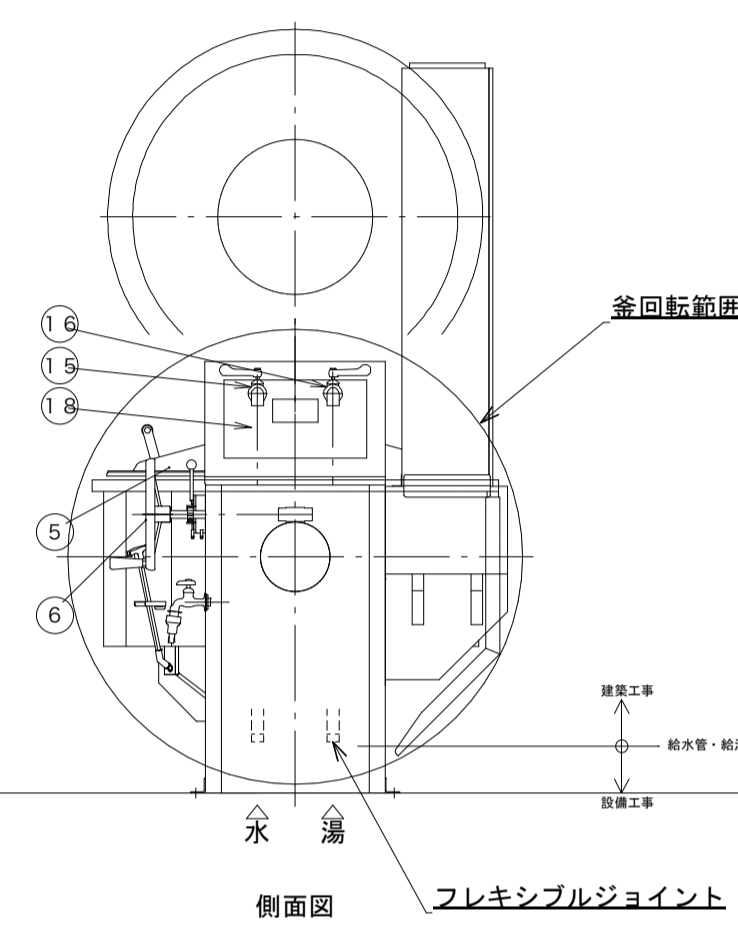
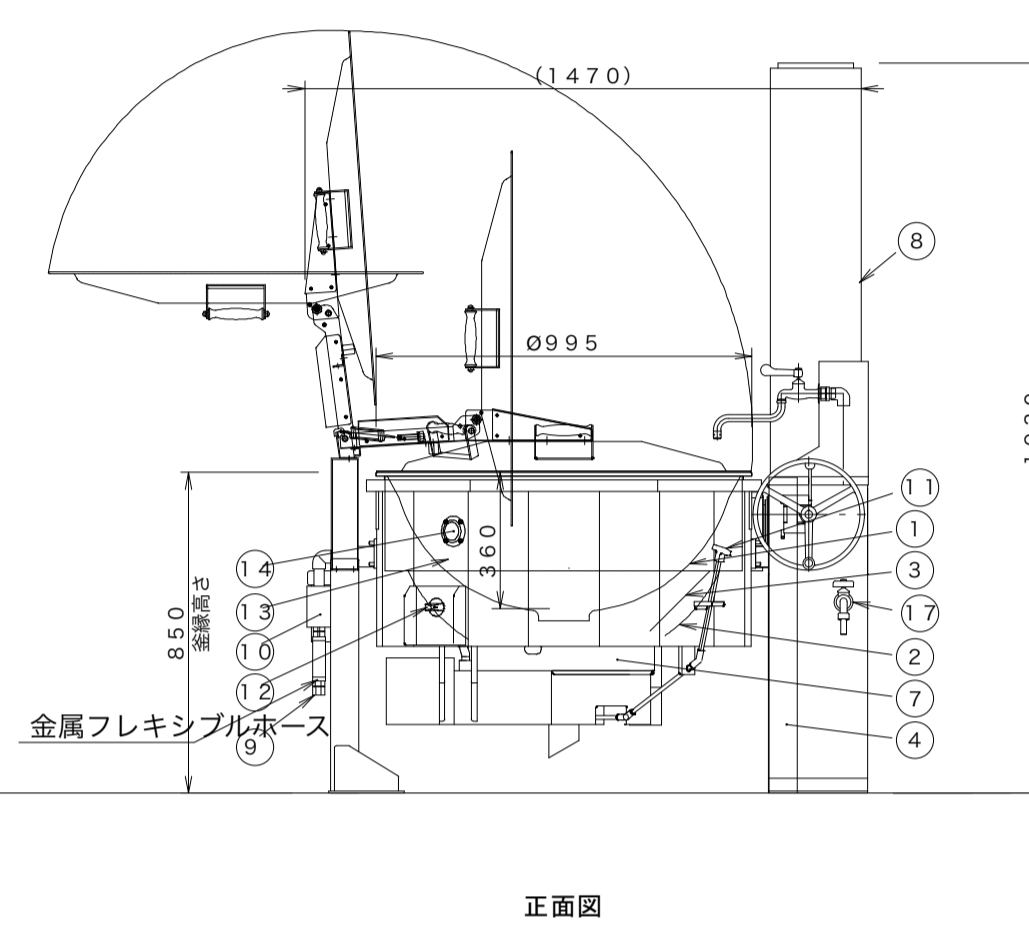
番号	名称	材質
1	内釜	FC
2	外釜	SUS304, t1.5
3	断熱材	スーパーウールマット
4	架台	SUS304
5	蓋	Al, t2.0
6	回転ハンドル	SCS
7	バーナー	SUS304
8	集中排気筒	SUS304
9	ガス接続口	C3604, SUS304, 他
10	ガバナ	
11	ドローコック	SUS
12	バーナーコック	
13	過熱防止装置	
14	覗き窓	耐熱ガラス
15	給水	20A (泡沫水栓)
16	給湯	20A (泡沫水栓)
17	掃除用水栓	15A (お湯)
18	点検窓	SUS

一特記事項一  
・蓋を開けた時の水滴を受ける水切りを設けること。(大型)  
・耐震金物にて床に固定。  
・改良の場合は高さを学校と打合せする。  
・配管カバーは、内部点検のために取り外しができる仕様とする。  
・エプロン用水抜き穴を設けること。  
・水栓は泡沫水栓とする。  
・詳細、寸法はメーカー仕様による。

27 低放射ガス回転窯(揚物用)



フレキシブルジョイント  
ステンレス製ユニオン式20Aベローズ形フレキシブルジョイント  
保護銅帯及び溶接部は、JIS G 4305によるSUS304とし、  
充分な可とう性と耐圧強度を有するもので、その全長は300mm以上とする。



1/20

寸法  
容量 150 L (最大容量150 L)

使用箇所  
調理室

規格等

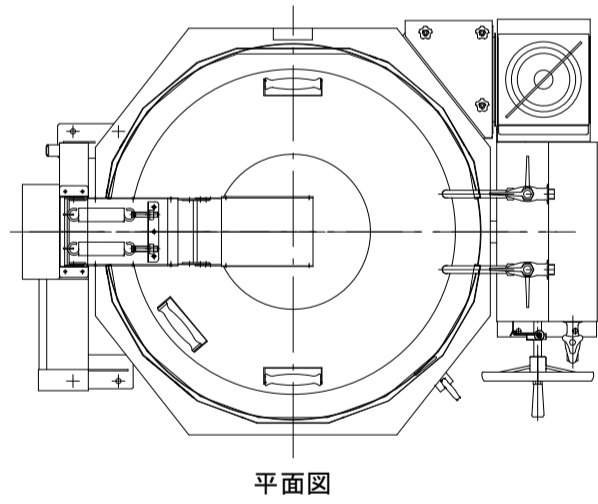
- 有効内容量 110 L  
ガス消費量 31000 kcal/h  
・排気口は作業面を避けること。  
・ハンドル位置は、体位に負担のかからないよう主軸の上にもってくること。  
・断熱材は断熱効果が高く、かつ釜本体と同程度の耐久年数のものとする。  
・口火は着火口まで銅管で配管し、メインバーナーへの着火が容易なこと。  
・メインバーナーは、それぞれの火力調整が可能なこと。  
・立ち消え安全装置を取り付けること。  
・排水はドローコック式とする。

仕様

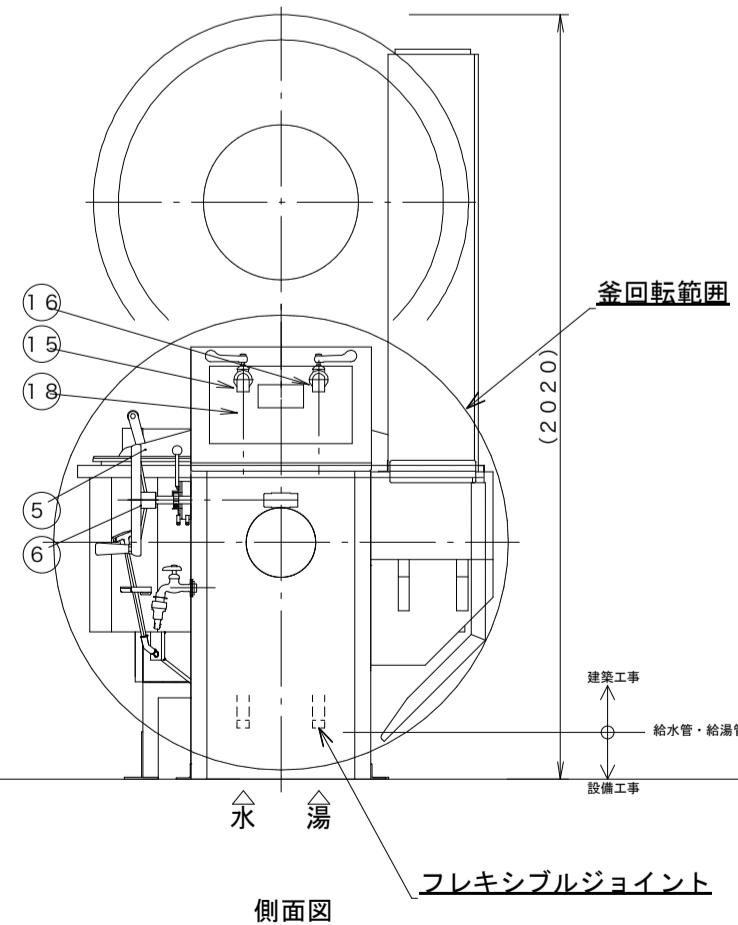
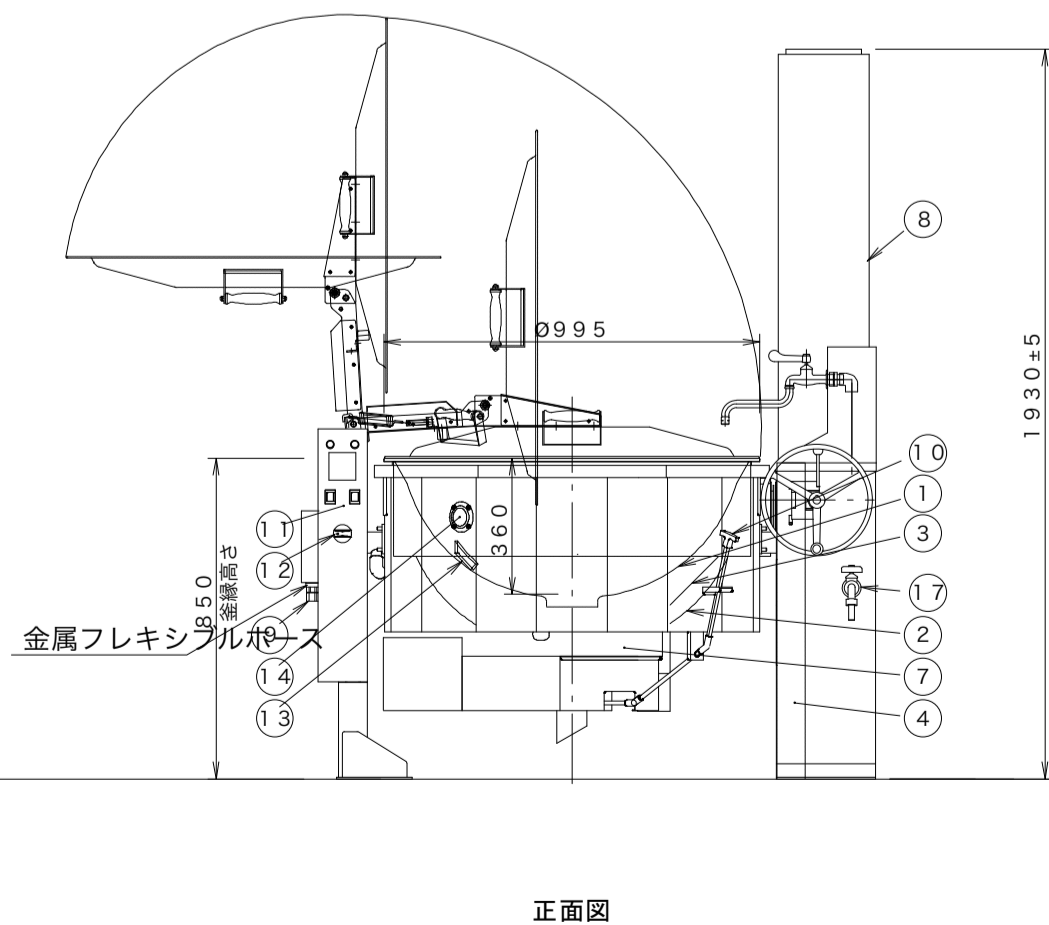
番号	名称	材質
1	内釜	FC
2	外釜	SUS304, t1.5
3	断熱材	スーパーウールマット
4	架台	SUS304
5	蓋	Al, t2.0
6	回転ハンドル	SCS
7	バーナー	SUS304
8	集中排気筒	SUS304
9	ガス接続口	C3604, SUS304, 他 20A
10	ガバナ	
11	ドローコック	SUS
12	バーナーコック	
13	過熱防止装置	
14	覗き窓	耐熱ガラス
15	給水	20A (泡沫水栓)
16	給湯	20A (泡沫水栓)
17	掃除用水栓	15A (お湯)
18	点検窓	SUS

一特記事項一  
・蓋を開けた時の水滴を受ける水切りを設けること。(大型)  
・耐震金物にて床に固定。  
・改良の場合は高さを学校と打合せする。  
・配管カバーは、内部点検のために取り外しができる仕様とする。  
・エプロン用水抜き穴を設けること。  
・水栓は泡沫水栓とする。  
・詳細、寸法はメーカー仕様による。

28 低放射ガス回転窯(和物用)



フレキシブルジョイント  
ステンレス製ユニオン式20Aベローズ形フレキシブルジョイント  
保護銅帯及び溶接部は、JIS G 4305によるSUS304とし、  
充分な可とう性と耐圧強度を有するもので、その全長は300mm以上とする。



1/20

寸法  
容量 150 L (最大容量150 L)

使用箇所  
調理室

規格等

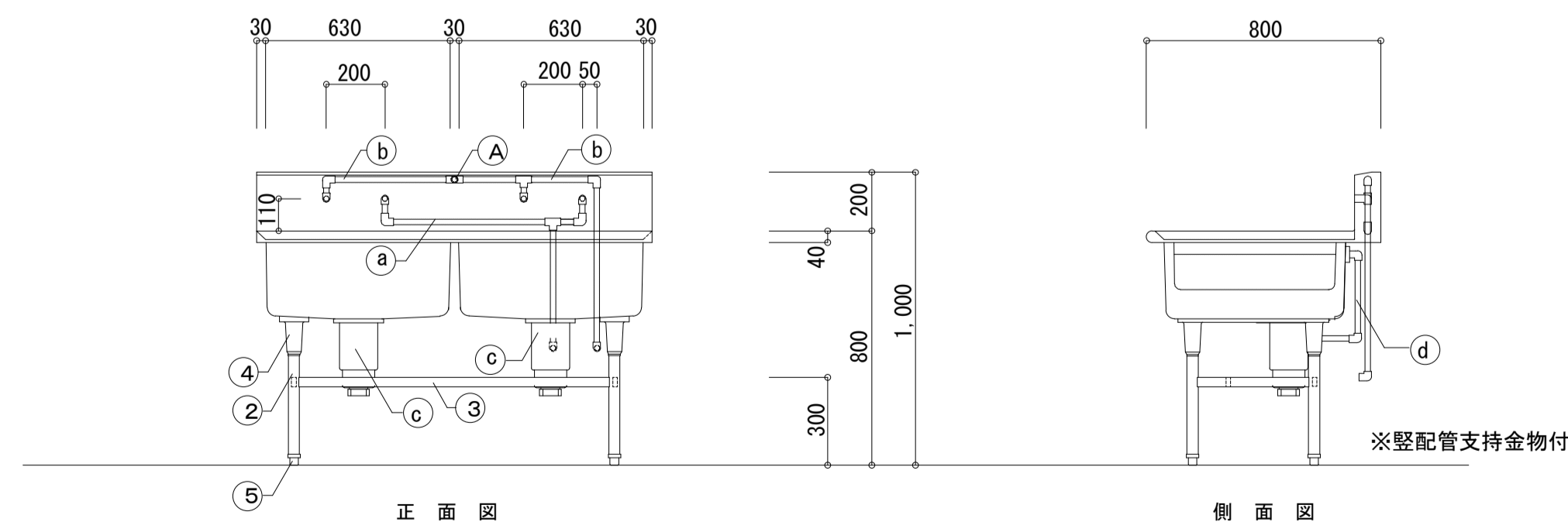
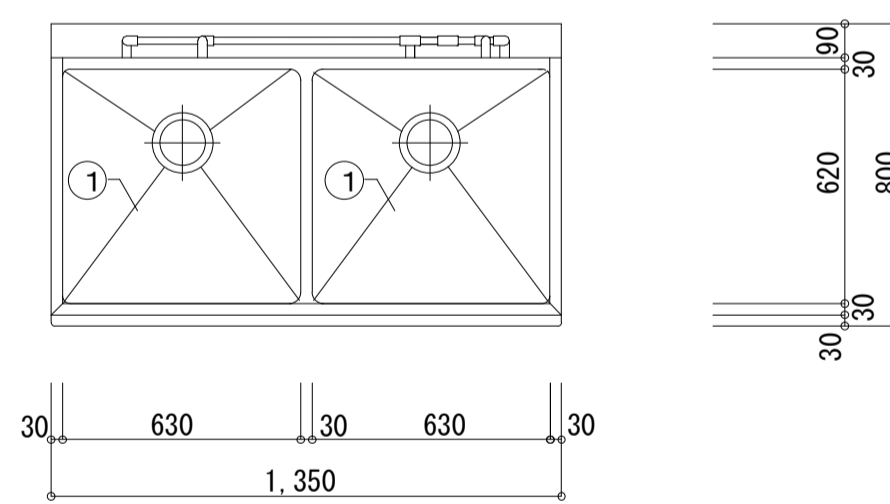
- 有効内容量 110 L  
ガス消費量 31000 kcal/h  
・排気口は作業面を避けること。  
・ハンドル位置は、体位に負担のかからないよう主軸の上にもってくること。  
・断熱材は断熱効果が高く、かつ釜本体と同程度の耐久年数のものとする。  
・口火は着火口まで銅管で配管し、メインバーナーへの着火が容易なこと。  
・メインバーナーは、それぞれの火力調整が可能なこと。  
・立ち消え安全装置を取り付けること。  
・排水はドローコック式とする。

仕様

番号	名称	材質
1	内釜	FC
2	外釜	SUS304, t1.5
3	断熱材	スーパーウールマット
4	架台	SUS304
5	蓋	Al, t2.0
6	回転ハンドル	SCS
7	バーナー	SUS304
8	集中排気筒	SUS304
9	ガス接続口	C3604, SUS304, 他 20A
10	ドローコック	SUS
11	操作ボックス	SUS
12	バーナーコック	
13	感熱部	
14	覗き窓	耐熱ガラス
15	給水	20A (泡沫水栓)
16	給湯	20A (泡沫水栓)
17	掃除用水栓	15A (お湯)
18	点検窓	SUS

一特記事項一  
・蓋を開けた時の水滴を受ける水切りを設けること。(大型)  
・耐震金物にて床に固定。  
・改良の場合は高さを学校と打合せする。  
・配管カバーは、内部点検のために取り外しができる仕様とする。  
・エプロン用水抜き穴を設けること。  
・水栓は泡沫水栓とする。  
・詳細、寸法はメーカー仕様による。

29 2槽水槽



1/20

寸法  
1,350 x 800 x 800

使用箇所  
調理室

仕様

A: 水槽清掃用水栓位置

番号	名称	材質
①	甲板及び中継	SUS-304 t=1.5
②	脚材	SUS-304 t=1.2 φ38
③	補強材	SUS-304 t=1.2 □-32x16
④	ダボ	SUS-304
⑤	フタ	SUS-304

付属器具

番号	名称	仕様
a	給水管	20A P A (ホリシロ粉体リソソ)鋼管
b	給湯管	20A C V A (給湯用塩ビライソソ)鋼管
c	トラフ	50A ABS樹脂 スチレン製 排水収納付
d	エプロン	小判型大型 25A スチレン製

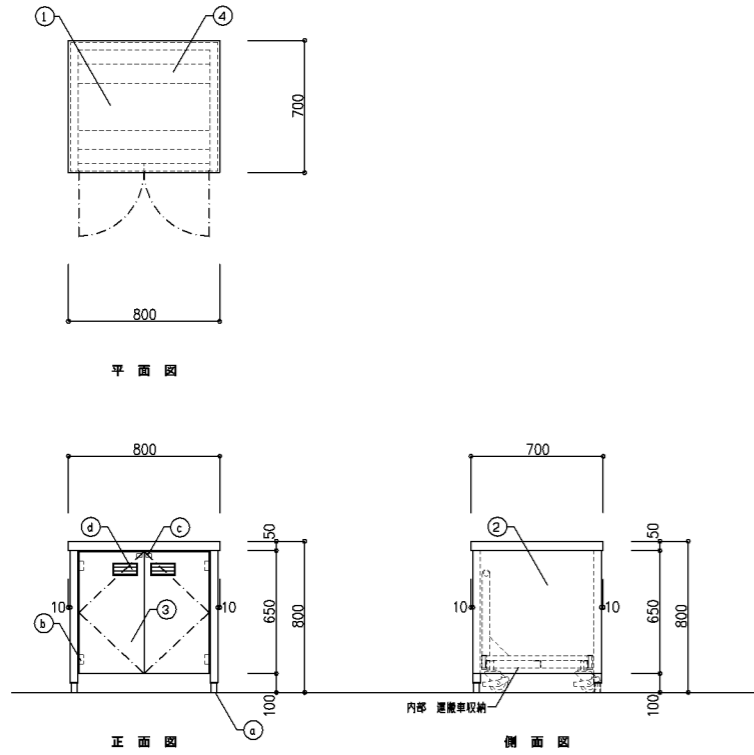
特記事項

- ・右一給水、左一給湯
- ・給水、給湯管の立上げ位置は実施設計時に設備監督員と協議の上決めること
- ・耐震金物にて床に固定
- ・水返しは設けない
- ・詳細、寸法はメーカー仕様による



30 コンロ台

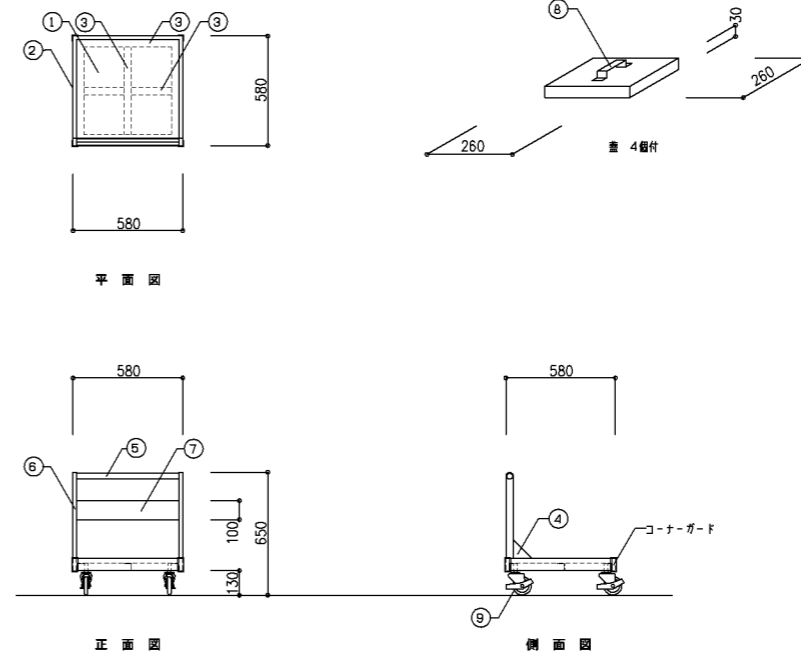
1/20



寸法		
800 x 700 x 800		
使用箇所		
調理室		
仕様		
番号	名称	材質
①	甲板	SUS-304 t=1.2
②	化粧板	SUS-304 t=1.2
③	扉	SUS-304 t=1.2
④	補強	SUS-304 t=1.0
付属器具		
番号	名称	仕様
a	フタキャッチ	SUS-304
b	丁香	SUS-304
c	キャッチ	フタキャッチ
d	扉引手	SUS-304
特記事項		
・耐震金物にて床に固定		

32 油運搬車

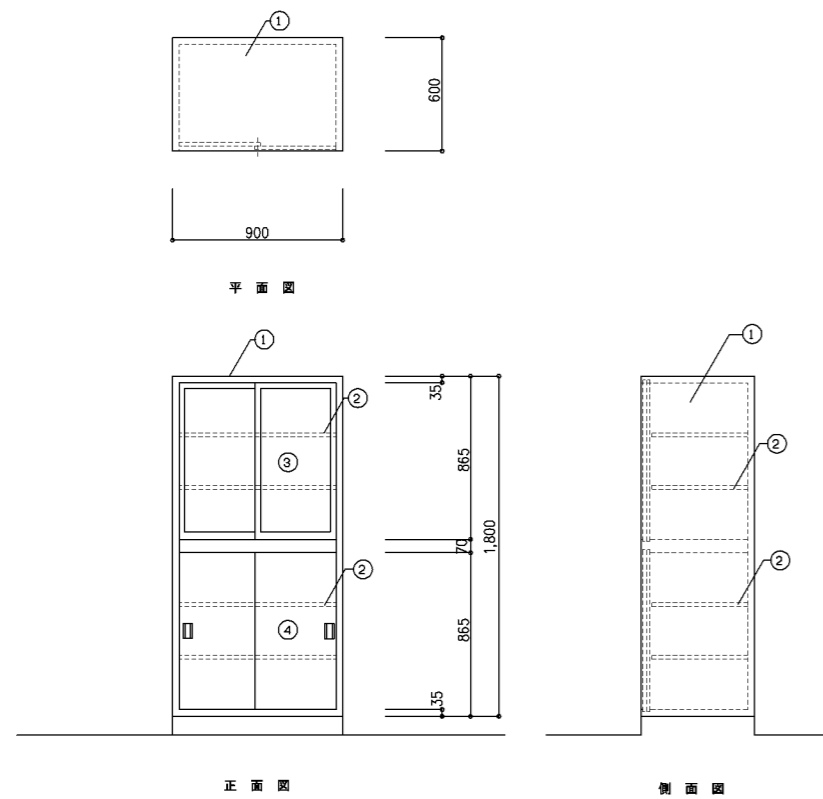
1/20



寸法		
580 x 580 x 650		
使用箇所		
調理室		
仕様		
番号	名称	材質
①	甲板	SUS-304 t=1.0
②	枠	SUS-304 t=1.5 □65×18
③	補強	SUS-304 t=3.0 L40×40
④	補強	SUS-304 t=1.2
⑤	手板	SUS-304 φ32
⑥		SUS-304 t=1.5 □65×18
⑦		SUS-304 t=2.0
⑧	取手	SUS-304 t=1.0加工
⑨	キャスター	自在キャスターφ100 ゴム製 対角方向ストッパー付：2か所
付属器具		
番号	名称	仕様
特記事項		
・コンロ台下部に収納する		
・蓋：4か所		
・コーナー部ゴム製ガードを取付ける		
・5の手板は回転しないこと		

42 ステンレス戸棚

1/20

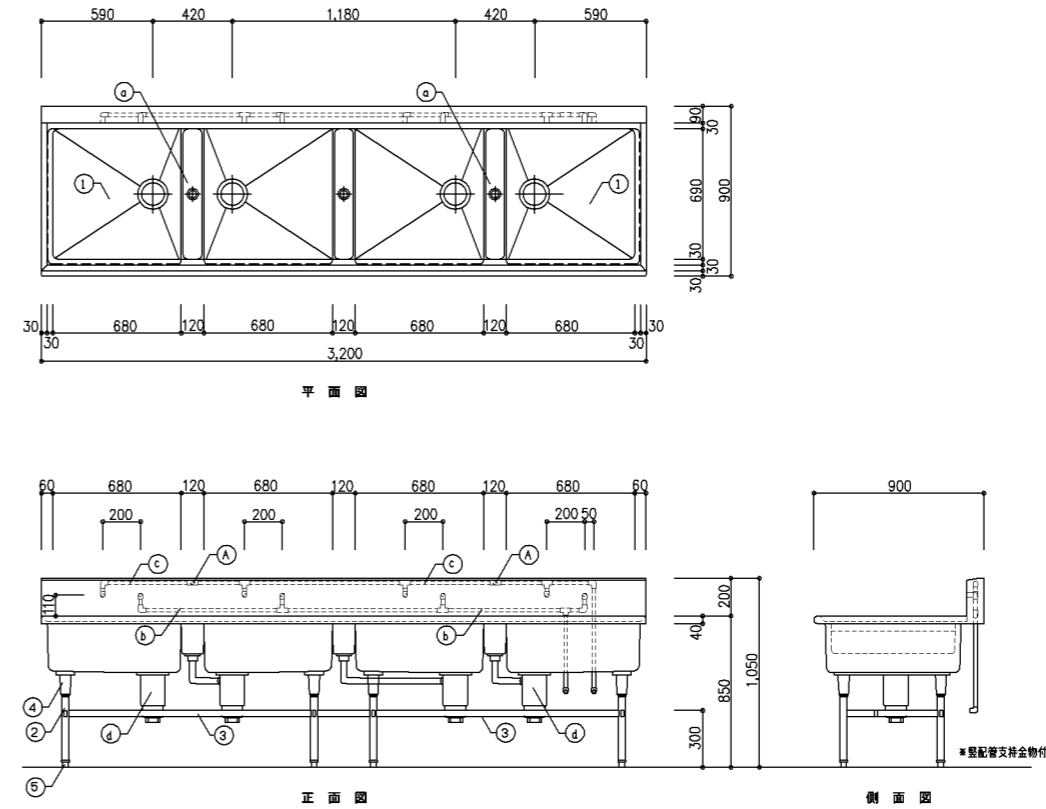


寸法		
900 x 600 x 1,800		
使用箇所		
調理室		
仕様		
番号	名称	材質
①	外装	SUS-430 t=0.8
②	可動部	SUS-430 t=0.8
③	引違扉	アルミラック ポリカーボネイト厚3
④	引違扉	SUS-430 t=0.8
付属器具		
番号	名称	仕様
特記事項		
・耐震金物にて壁に固定		
・詳細、寸法はメーカー仕様による		

52 4槽水槽 (食缶・器具用)

53 4槽水槽 (食器用)

1/20



寸法		
3,200 x 900 x 850		
使用箇所		
洗浄室		
A: 水漏れ検知水量 (2か所)		
仕様		
番号	名称	材質
①	甲板及び側	SUS-304 t=1.5
②	脚	SUS-304 t=1.2 φ38
③	補強材	SUS-304 t=1.2 □65×18
④	ガゼット	SUS-304
⑤	フタキャッチ	SUS-304
付属器具		
番号	名称	仕様
a	エアーバルブ	3/2A 鋼製クロムメッキ目取付 ステンレス製付
b	給水管	25A PA (ポリエチレン樹脂フィニッシュ鋼管)
c	給湯管	25A CVA (給湯用電化フィニッシュ鋼管)
d	トップ	50A ABS樹脂 ステンレス製ゴム製取付
特記事項		
・右-給水、左-給湯		
・給水、給湯管の立上げ位置は実務設計時に設備と協議の上決めること		
・耐震金物にて床に固定		
・詳細、寸法はメーカー仕様による		

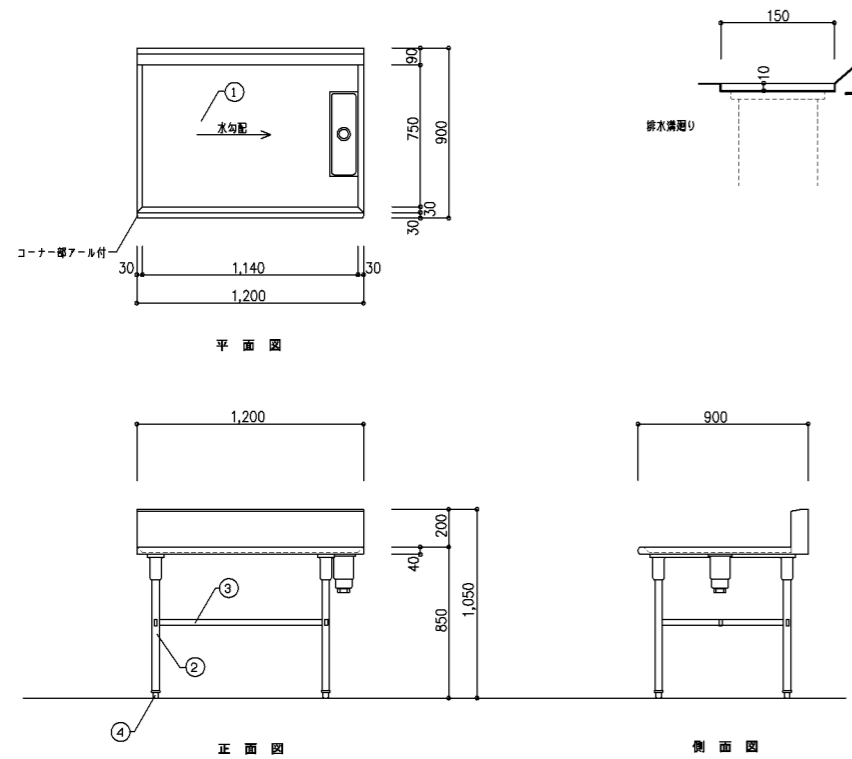
改定の経緯

設計上の留意点

横浜市建築局				工事名	給食室(ドライシステム)10改【令和元年度改訂版】
年月日	令和2年2月	縮尺	1/20	図面名称	調理機器・家具備品図(4)
設計者				施設番号	
				備考	
				完成年度	
				図面種類	
				図面枚数	
				図面番号	

54 水切り台

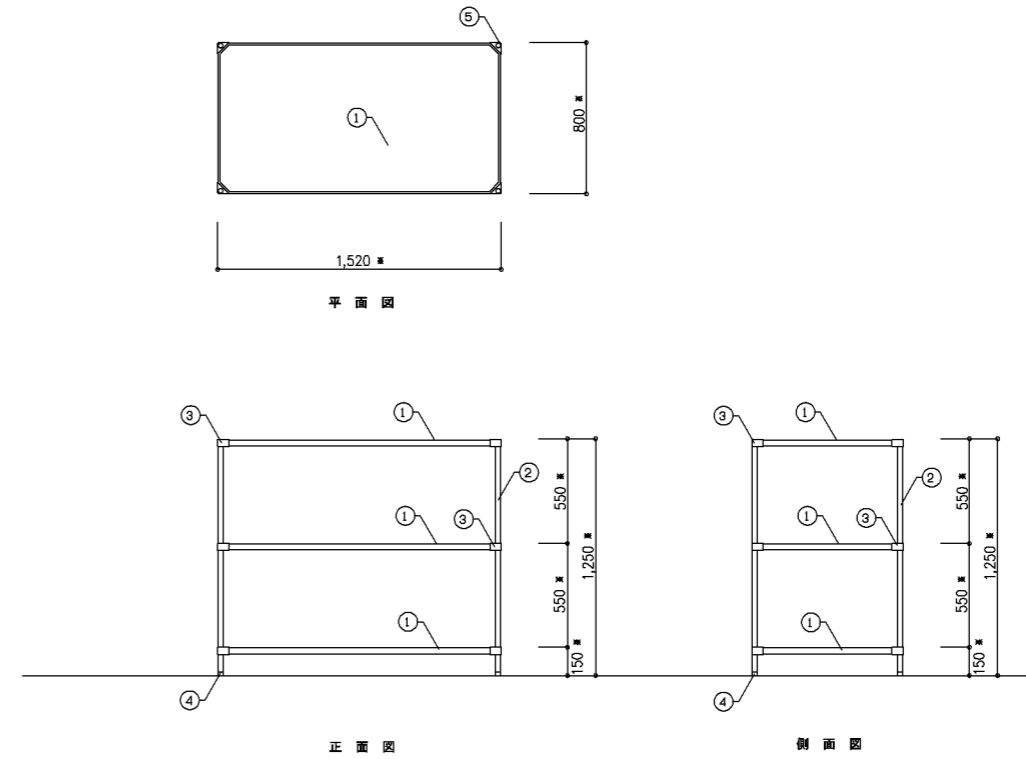
1/20



寸法	
1,200×900×850	
使用箇所	
洗浄室	
仕様	
番号	名称 材質
①	甲板及び脚 SUS-304 t=1.5
②	脚材 SUS-304 t=1.2 φ38
③	補強材 SUS-304 t=1.2 ロ-32×16
④	フタ、スト SUS-304
付属器具	
番号	名称 仕様
a	トップ 40A ABS樹脂 ステンレス製ゴミ収納器付
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新着金物にて床に固定</li> <li>・有立の高さは、4層並しの有立との取合いに注意すること</li> <li>・詳細、寸法はメーカー仕様による</li> </ul>	

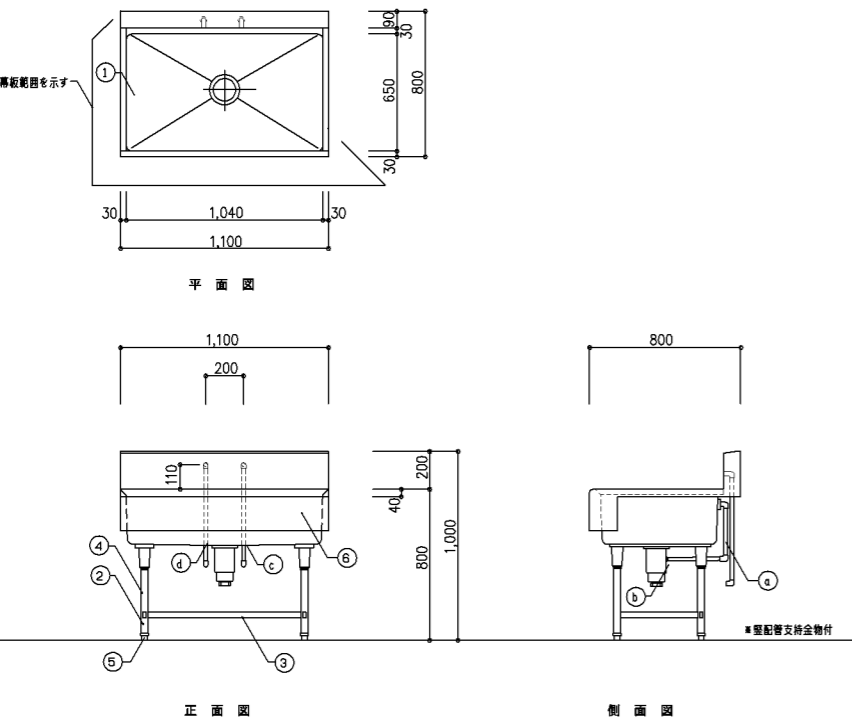
60 食缶返却台

1/20



寸法	
1,520×800×1,250	
使用箇所	
配膳ホール(残渣処理コーナー)	
仕様	
番号	名称 材質
①	脚板 SUS-304 t=1.2
②	脚パイプ SUS-304 t=1.2 φ25.4
③	コーナー SUS-304製
④	脚部 フラットボルト:SUS-304製 ナット:SUS-304製
⑤	ボールキャップ SUS-304製
付属器具	
番号	名称 仕様
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新着金物にて固定(床・壁)</li> <li>・詳細、寸法はメーカー仕様による</li> </ul>	

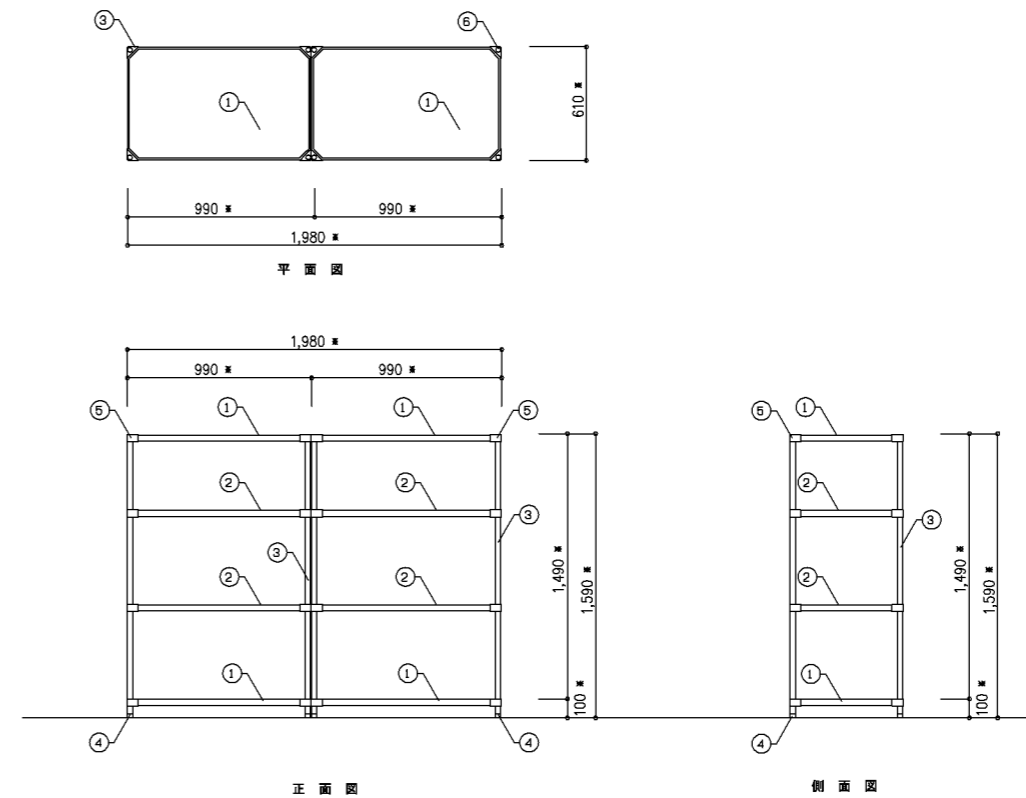
61 残渣水切り1槽水槽



寸法	
1,100×800×800	
使用箇所	
配膳ホール(残渣処理コーナー)	
仕様	
番号	名称 材質
①	甲板及び脚 SUS-304 t=1.5
②	脚材 SUS-304 t=1.2 φ38
③	補強材 SUS-304 t=1.2 ロ-32×16
④	ゴセット SUS-304
⑤	フタ、スト SUS-304
⑥	脚板 SUS-304 t=1.0
付属器具	
番号	名称 仕様
a	ボ-ボ-小判型大型 25A ステンレス網付
b	トップ 40A ABS樹脂 ステンレス製ゴミ収納器付
c	給水管 20A PA (ポリエチレン樹脂ワイピング鋼管)
d	給水管 20A OVA (給湯用樹脂ワイピング鋼管)
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水返しは設けない</li> <li>・右-給水、左-給湯</li> <li>・給水、給湯管の立上げ位置は実施設計時に設備と協議の上決めること</li> <li>・新着金物にて床に固定</li> <li>・詳細、寸法はメーカー仕様による</li> </ul>	

63 食品棚

1/20



寸法	
1,980×610×1,590	
使用箇所	
食品庫	
仕様	
番号	名称 材質
①	固定脚 SUS-304 t=1.2
②	可動脚 SUS-304 t=1.2 自在
③	脚パイプ SUS-304 t=1.2 φ25.4
④	脚部 フラットボルト:SUS-304製 ナット:SUS-304製
⑤	コーナー SUS-304製
⑥	ボールキャップ SUS-304製
付属器具	
番号	名称 仕様
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新着金物にて固定(床・壁)</li> <li>・詳細、寸法はメーカー仕様による</li> <li>・可動脚は、25.4mmピッチの任意の位置でボールに取付けたテーパーにて固定する</li> <li>・可動脚の固定高さは、学校と協議して決定すること</li> </ul>	

改定の経緯

設計上の留意点

横浜市建築局

工事名 給食室(ドライシステム)10改【令和元年度改訂版】

年月日 令和2年2月 縮尺 1/20

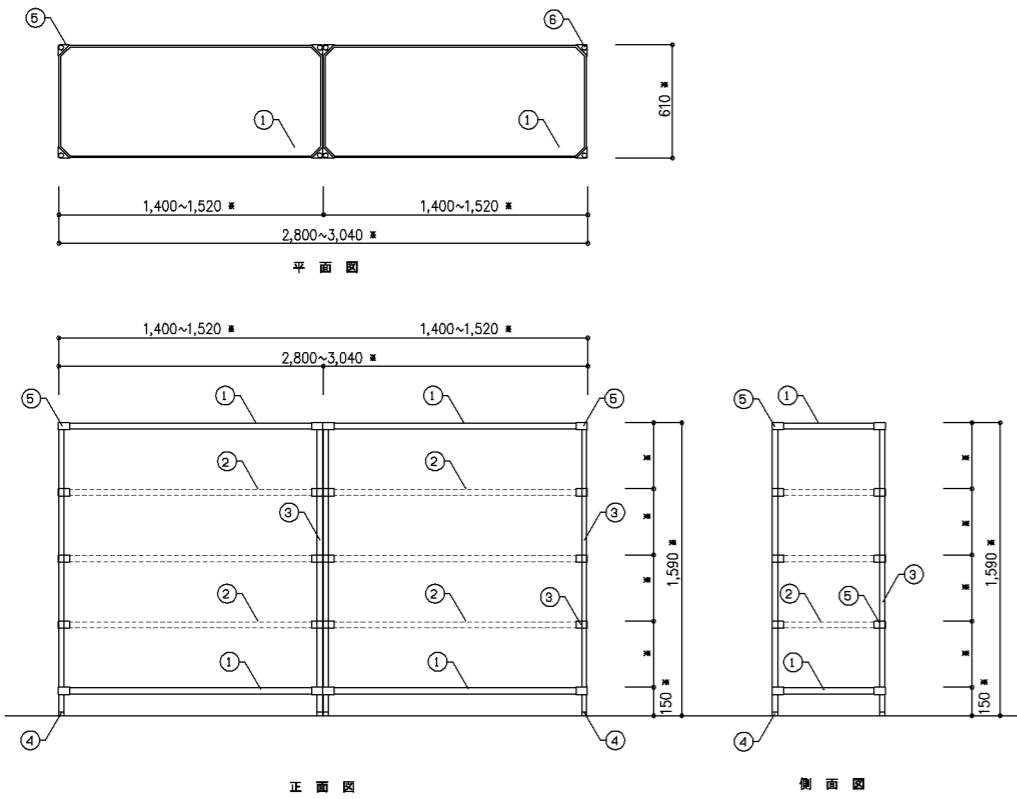
図面名称 調理機器・家具備品図(5)

設計者

施設番号 備考号 完成年度 図面種類 図面枚数 図面番号

64 パン棚

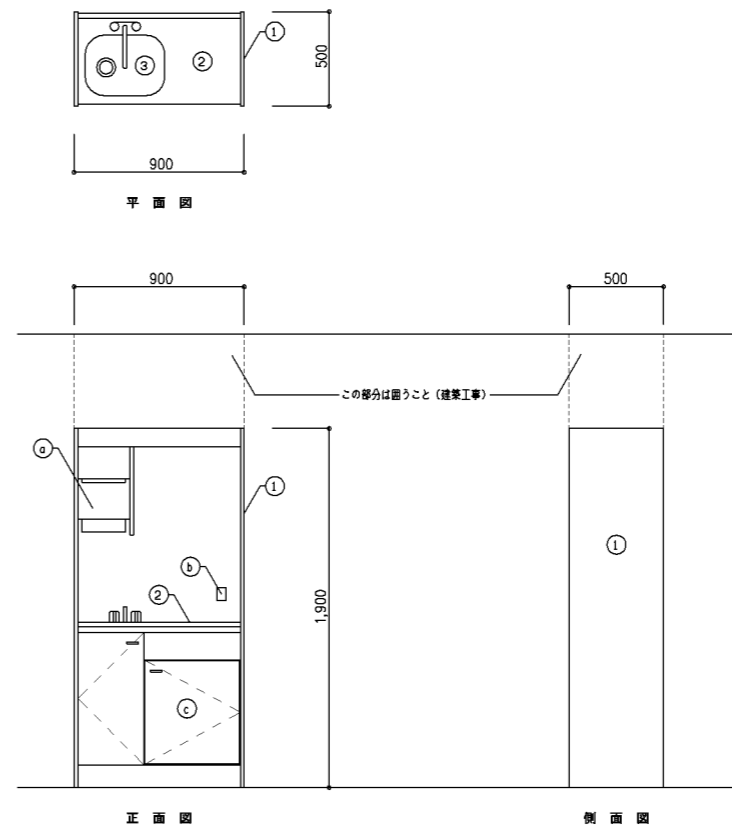
1/20



寸法	
1,400~1,520 x 610 x 1,590	
2連式	
使用箇所	
配膳ホール	
仕様	
番号	名称 材質
①	固定脚 SUS-304 t=1.2
②	可動脚 SUS-304 t=1.2 自在
③	脚パイプ SUS-304 t=1.2 φ25.4
④	脚部 アジャストボルト:SUS-304製 ナット:SUS-304製
⑤	コーナー SUS-304製
⑥	ポールキャップ SUS-304製
付属器具	
番号	名称 仕様
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震金物にて固定(床・壁)</li> <li>・詳細、寸法等はメーカー仕様による</li> <li>・可動脚は、25.4mmピッチの任意の位置でポールに取付けたナットにて固定する</li> <li>・可動脚の固定高さは、学校と協議して決定すること</li> </ul>	

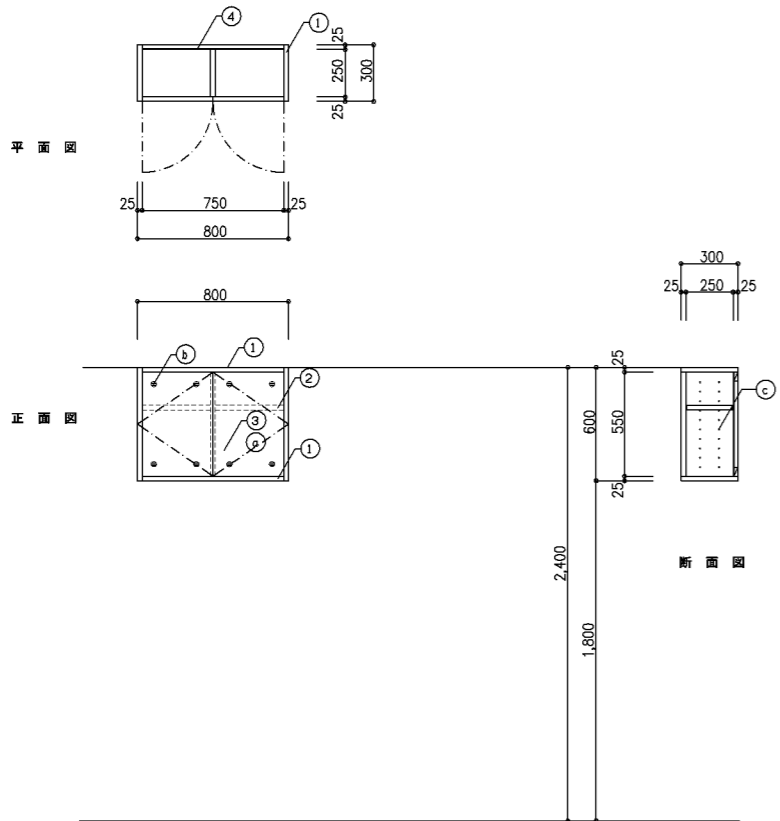
75 流し台

1/20



寸法	
900 x 500 x 1,900	
使用箇所	
休憩室	
仕様	
番号	名称 材質
①	本体 ポリエステル化粧合板
②	排水口 ステンレス又はメッキ樹脂
③	ソケット ステンレス(排水トラップ付)
付属器具	
番号	名称 仕様
④	巾戸棚
⑤	コック
⑥	冷蔵庫
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・換気扇は不要とする</li> <li>・電気ヒーターは不要とする</li> <li>・2バルブの先止め水栓とする</li> <li>・耐震金物にて固定(床・壁)</li> <li>・詳細、寸法等はメーカー仕様による</li> </ul>	

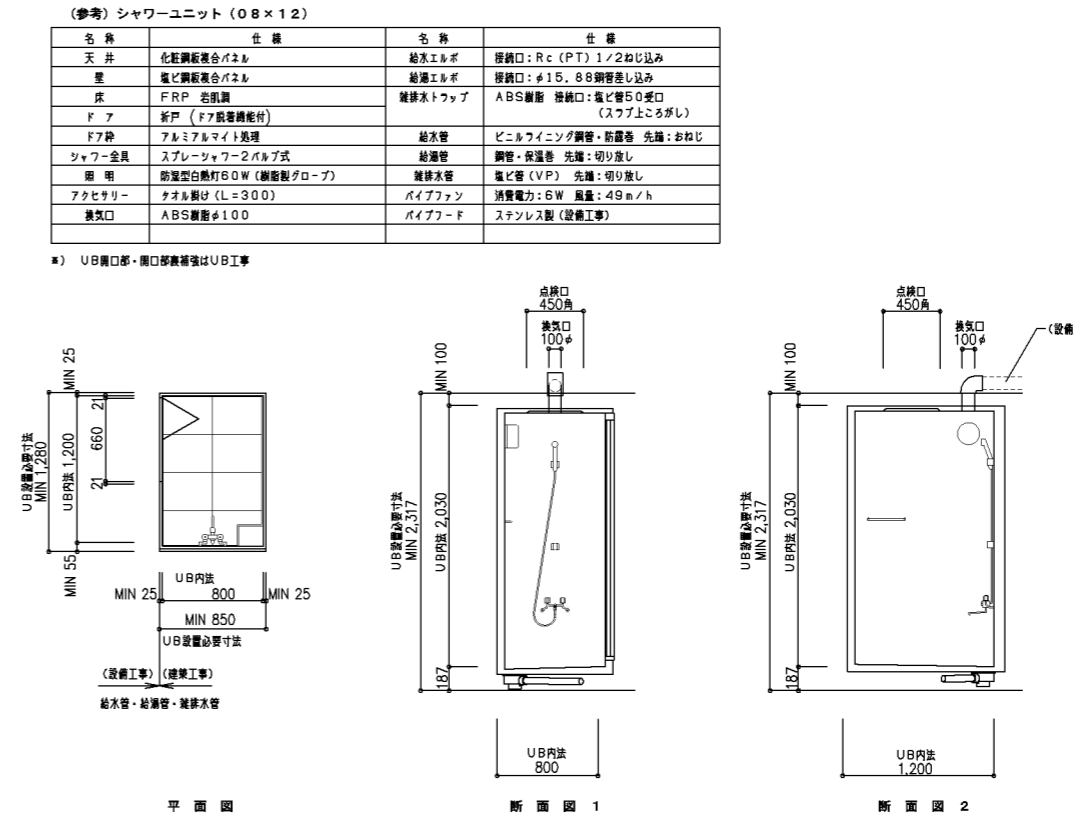
79 吊戸棚



寸法	
800 x 300 x 600	
使用箇所	
休憩室	
仕様	
番号	名称 石材 材質
①	本体 A-1 ポリエステル化粧合板
②	可動脚板 A-1 ポリエステル化粧合板
③	可動脚 A-1 ポリエステル化粧合板
④	脚板 片A-1 ポリエステル化粧合板
付属器具	
番号	名称 仕様
①	脚金物 ステンレス丁番、ステンレス締め、ヒーフラック
②	排水口 ステンレス製
③	排水パイプ ステンレス製
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既製品</li> <li>・仕上、寸法等はメーカーによる</li> </ul>	

82 シャワーユニット

1/30



寸法	
800 x 1,200 x 2,030	
使用箇所	
シャワー室	
仕様	
番号	名称 石材 材質
①	本体 A-1 ポリエステル化粧合板
②	可動脚板 A-1 ポリエステル化粧合板
③	可動脚 A-1 ポリエステル化粧合板
④	脚板 片A-1 ポリエステル化粧合板
付属器具	
番号	名称 仕様
①	脚金物 ステンレス丁番、ステンレス締め、ヒーフラック
②	排水口 ステンレス製
③	排水パイプ ステンレス製
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震金物にて床に固定</li> <li>・既製品</li> <li>・仕上、寸法等はメーカーによる</li> </ul>	

改定の経緯

設計上の留意点

横浜市建築局

工事名 給食室(ドライシステム)10改【令和元年度改訂版】

図面名称 調理機器・家具備品図(6)

年月日 令和2年2月 縮尺 1/20, 1/30

設計者

図面番号

図面番号 A-39

調理機器・家具備品リスト  
衛生器具の型番は参考とする。

(水栓ハンドルビス等の識別は給水：青、給湯：赤とする。)

NO	名称	数量	工事区分				規格・寸法			給水			給湯			排水			ガス			備考
			建築	電気	衛生	教育	W x D x H	熱消費量	電圧	電気容量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量			
	検収室																					
1	台秤	1			○																	
2	下足兼押印台	1	○																			
3	球根皮むき機	1			○																	
4	移動作業台	2			○																	
5	1層水槽	1	○																			
6	手洗い(中)	1			●																	
	前室・事務コーナー																					
7	下足入	1	○																			
8	収納棚・下足入	1	○																			
9	事務机・椅子	1			○																	
10	ホワイトボード	1	○																			
11	保存食用冷凍庫	1			○																	
12	物品戸棚	1	○																			
13	委員	1	○																			
14	手洗い(大)	1			●																	
	下処理室																					
15	食品冷蔵庫	1			●																	
16	食品冷凍庫	1			●																	
17	調味料受け渡し戸棚	1	○																			
18	器具消毒保管庫(5)	1			○																	
19	3槽流し(加熱用)	1	○																			
20	3槽流し(非加熱用)	1	○																			
21	3槽流し(食器用)	1	○																			
22	移動調理台	2			○																	
23	手洗い(中)	1			●																	
24	掃除用流し	1			●																	
	調理室・洗浄室																					
25	調理済食品保冷庫	1			●																	
26	低放射ガス回転窯	3	○																			
27	低放射ガス回転窯(掃物兼用)	1	○																			
28	低放射ガス回転窯(和物用)	1	○																			
29	2層水槽	2	○																			
30	コンロ台	1	○																			
31	IHコンロ	1	○																			
32	油運搬車	2	○																			
33	器具消毒保管庫(4)	1			○																	
34	スチームコンベクションオープン	1			●																	
35	カート予備	1			●																	
36	フードスライサー	1			○																	
37	フードスライサー設置台車	1			○																	
38	移動食材受け	1			○																	
39	ミキサー	1			○																	
40	電動缶切り機	1			○																	
41	電動缶切り機用移動台	1			○																	
42	ステンレス戸棚	1	○																			
43	移動台	4			○																	
44	移動台	2			○																	
45	移動台	2			○																	
46	移動調理台	2			○																	
47	手洗い(大)	1			●																	
48	食器洗浄機(2槽式)	1			●																	
49	食器消毒保管庫(1)	1			○																	
50	食器消毒保管庫(2)	1			○																	

備品番号凡例  
○：建築工事 ○：電気工事 ○：機械工事 □：教育工事

1. 下処理室  
冷凍庫、冷蔵庫は原則分業型とするが設置スペースにより一体型も可能  
※ 冷凍庫、冷蔵庫等の寸法はメーカーの仕様に合わせて(建築工事と電気工事との調整を必ず行う事)

器具表

衛生器具の型番は参考とする。

設置場所	器具名	記号	数量	仕様
屋上	瞬間給湯器 (高効率潜熱回収型)	屋外壁掛形	1組	50号(参考 最大ガス消費量108.0kW以下) × 2(2連結) 配管カバー、リモコンスイッチ(コード共)、防水形プラグ付
便所	洋風大便器 グリーン購入適合品	YCF5464MRNA+ YTCF5503AL YTH343R+YH650	1	洋風サイホン便器、節水自動フラッシュバルブ(AC100V) 多機能便座(縦着装置付)、紙巻器(スプアー付)共
	手洗い(洗面器)	YL250CM+ YTENA41A+YTLK02S01J	1	壁掛洗面器、自動水栓、自動水石けん入れ付
検収室、下処理室 洗浄室、配膳ホール 休憩室	手洗い(中)	YL210DM+YTENA50A	5	自動水栓(混合栓・高温出湯規制)、排水金具
前室 調理室	手洗い(大)	YWS-3000BG YKF800WSA	2	泡沫吐水口自動水栓(混合栓)、自動水石けん入れ付、 自動消毒液入れ付、排水金具
洗濯機 掃除用具入 掃除用具入 休憩室 洗濯機	掃除用流し	NS210(YSK322)	3	リムカバー ストラップ シングルレバー混合栓、共栓、取付金具
洗濯機 掃除用具入 前室、調理室 配膳ホール、休憩室	洗濯機用水栓	YTW11R	2	緊急止水弁付横水栓
検収室、下処理室 洗浄室、配膳ホール 休憩室	化粧鏡	YYM3545A	4	360×450 程度
検収室、下処理室 洗浄室、配膳ホール 休憩室	化粧棚	YYAK600CR	5	陶器製 450×140程度 *ライニングの甲板が有る場合は不要
検収室、前室 下処理室、調理室 洗浄室、配膳ホール 便所	ペーパーホルダー	樹脂製	8	300枚収納タイプ
検収室、下処理室 洗浄室、配膳ホール 休憩室	自動水石けん入れ	YUD-8600S-PHJ	5	乾電池式、トレー
検収室、下処理室 洗浄室、配膳ホール 休憩室	自動消毒液入れ	YUD-8600A-PHJ	6	乾電池式、トレー

食器洗浄機 仕様

機種	ボイラー内蔵型水圧式食器洗浄機(2槽式) ※ドライ仕様 自動ストップ機能付き
給湯方式	洗浄機専用内蔵ボイラーにより昇温 ※排気温度260℃以下
洗浄能力	1時間当たり 6,000個以上の処理が可能なものとする(直径140mmの食器洗浄時)
電機容量	3相-200V、コンベアモーター、ポンプモーター 他 5.9kW以下
ガス消費量	19.8 ~ 27.9kW以下
外形寸法	3,000×1,250×1,400 程度
備 考	<p>1 材質はSUS430とする。</p> <p>2 スイッチボックス及びモーター等は水のかからない構造とする。</p> <p>3 側面はすべてステンレスで覆い、保守を要する場合は着脱式とする。</p> <p>4 内蔵ボイラーの排気筒は直径150φとし、材質はSUS304とする。</p> <p>5 ボイラー上部の排気筒は床面より1,800Hまでの部分には、カバー(網等)とする。</p> <p>6 水道直結部は水道局基準とする。</p> <p>7 内蔵ボイラーにはボルトアップを使用する。</p> <p>8 スイッチボックス内部はマグネット式安全装置付とする。</p> <p>9 洗浄室内(コンベア左右)に消音用カーテンを取り付ける。</p> <p>10 コンベアの有効幅は750以上とし、高さは850程度とする。</p> <p>11 コンベアの速度は可変とする。</p> <p>12 ノズルパイプは容易に取り外し可能な構造とする。</p> <p>13 仕上げ用給湯シャワー付とする。</p> <p>14 自動点火(圧電着火)とする。</p> <p>15 湯栓取付(YT200SNR13相当を附属)。</p> <p>16 動力制御盤は手元開閉器(漏電遮断器)を組込む。 尚、下記の安全装置を内蔵するものとする。 1. 立ち消え安全装置。2. 空焚き防止装置。3. 非常停止装置。</p>

ガス消費量

設置場所	器具名	数量	ガス消費量(kW)	
			1台あたり	計
屋外	瞬間給湯機	2	108.0	216.0
	(室外計)			216.0
Q1 洗浄室	食器洗浄機	1	27.9	27.9
Q2 調理室	回転釜	4	37.2	148.8
Q3	回転釜	1	37.2	37.2
Q5	スチームコンベクションオープン	1	75.6	75.6
洗浄室 調理室	(計)			(289.5)
	合計			505.5
	(室内計)			*1(289.5)

- 給食室の最大消費熱量のチェック(参考計算例)  
 ガス器具の消費熱量 \*1 289.5kW  
 電気機器(ヒーター等) 25.2kW  
 \* (保管庫交互運転)  
 計 314.7kW < 350kW
- ④ \*1 ・最大消費熱量が350kW以上で、床面積が200m<sup>2</sup>以上の場合には、不活性ガス消火設備、ハロゲン化合物消火設備又は粉末消火設備が必要となる。(消防法施行令第13条)  
 ・最大消費熱量の合計が350kW以上の場合には、火災伝送防止装置として自動消火装置が必要となる場合がある。(横浜市火災予防条例第4条の4)

電気機器 発熱量

設置場所	器具名	ヒーター電気容量 (kW)	
		保管庫交互運転	
洗浄室	食器消毒保管庫	19.2(最大値)	
"	食缶消毒保管庫		
調理室	器具消毒保管庫2台		
下処理室	器具消毒保管庫1台		
調理室	IHコンロ	6.0	
計		25.2 *1	

\* 電気容量(ヒーター)の算定は、保管庫交互運転を標準とする。  
 上表の数値は参考値とする。実施設計に於いては、空欄部を含め電気担当者に確認する。

● 火を使用する室に設置する換気設備(建設省告示1826号)  
 (調理室・洗浄室系統) (食器洗浄機・スチームコンベクションオープン)  
 $V=40 \cdot K \cdot Q$ 、 $V=30 \cdot K \cdot Q$

$K=都市ガス:0.93m^3/h$   
 (参考計算例)  $Q1=27.9kW$ 、 $Q2=148.8kW$   
 $Q3=37.2kW$   
 $Q5=75.6kW$   
 $V1=30 \times 0.93m^3/h \times 27.9kW = 778m^3/h$   
 $V2=40 \times 0.93m^3/h \times 148.8kW = 5535m^3/h$   
 $V3=40 \times 0.93m^3/h \times 37.2kW = 1384m^3/h$   
 $V5=30 \times 0.93m^3/h \times 75.6kW = 2109m^3/h$

機器表

記号	名称	数量	機器仕様		備考
			仕 様	備 考	
⑤ (FS-1)	調理室回転釜(4釜用) 送風機	1	型式 片吸込シロッコファン 床置型 (防振架台耐震ストッパー付)	基礎(建築工事)	
⑤ (FE-1)	調理室回転釜(4釜用) 排風機	1	型式 片吸込シロッコファン 床置型 (防振架台耐震ストッパー付)	基礎(建築工事)	
⑤ (FS-2)	調理室 和え物用回転釜 送風機	1	型式 軸流ファン (防振吊金物付)		
④ (FE-2)	調理室 和え物用回転釜 排風機	1	型式 ストレートシロッコファン (防振吊金物付)		
④ (FE-3)	洗浄室 食器洗浄機用 排風機	1	型式 ストレートシロッコファン (耐熱仕様、防振吊金物付)		
(FE-4)	下処理室(湯気) 排風機	2	天井埋込形(耐湿仕様、低騒音形)	150φ×380CMH×120Pa(1φ×100V)	
⑤ (FE-5)	調理室IHコンロ用	1	天井埋込形(低騒音形)	150φ×200CMH×100Pa(1φ×100V)	
⑤ (FE-6)	洗浄室(湯気)	4	天井埋込形(耐湿仕様、低騒音形)	150φ×195CMH×100Pa(1φ×100V)	
⑤ (FE-7)	前室(事務コーナ)	1	"	150φ×150CMH×120Pa(1φ×100V)	
(FE-8)	食品庫	1	"	100φ×90CMH×100Pa(1φ×100V)	
(FE-9)	検収室	1	"	150φ×180CMH×100Pa(1φ×100V)	
⑤ (FE-10)	便所	1	天井埋込形(低騒音形)	100φ×100CMH×100Pa(1φ×100V)	
⑤ (FE-11)	シャワー・脱衣室	1	天井埋込形(低騒音形)2室換気用(耐湿形)	100φ×80CMH×120Pa(1φ×100V)	
④ (FE-12)	休憩室	1	天井埋込形(低騒音形)	150φ×170CMH×120Pa(1φ×100V)	
⑤ (FE-13)	牛乳置場(牛乳保冷库)	1	ストレートシロッコファン	150φ×300CMH×100Pa(1φ×100V) 温度スイッチ(30℃)	
② (FE-14)	配膳ホール・残さコーナー	2	天井埋込形(低騒音形)	150φ×430CMH×150Pa(1φ×100V)	
② (FE-15)	洗浄室(移動台洗場)	1	天井埋込形(低騒音・耐湿形)	100φ×100CMH×100Pa(1φ×100V)	
⑤ (FS-3)	配膳ホール	1	軸流ファン	300φ×700CMH×100Pa(1φ×100V)	
⑤ (FE-16)	下処理室(食品保冷库)	2	ストレートシロッコファン	150φ×350CMH×100Pa(1φ×100V) 温度スイッチ(30℃)	
④・②・① (FE-17)	調理室 スチームコンベクションオープン排風機	1	型式 ストレートシロッコファン (耐熱仕様、防振吊金物付)	NO.4 × 2,430CMH × 350Pa × 0.9kW (3φ×200V)	
②・① (AF-1)	エアフィルター	1	パネルエアフィルター(PS/600(参考品番) ポリエステル相当品 重量法75%以上) 500×500×2.5t×6パネル (2段式3パネル連結型、端パネル側面把手付)パネルスプリング押え兼着脱蓋付横取出しフランジ式フィルターケーシング (1,600×1,100(片面蓋付)×フランジ間150~250)共 付属品:エアフィルターエレメント100%		
③・②・① (AF-2) (AF-3)	エアフィルター	2	パネルエアフィルター(PS/600(参考品番) ポリエステル相当品 重量法75%以上) 500×500×2.5t×9パネル (直付型把手付)正面取出し直付上下板パネル6箇所/パネル押え式フィルター枠【ケーシング】別途(建築工事) 付属品:エアフィルターエレメント100%		
(AC-1)	休憩室 電気ヒートポンプ式エアコン 壁掛形	1	冷房能力 実施設計対応(熱負荷計算) 暖房能力 実施設計対応(熱負荷計算)	グリーン購入法調達基準適合商品、新冷媒使用	

※印のファン静圧、電気容量及び各寸法は、参考値とし、実施設計対応とする。

フード一覧表(ステンレス板 SUS304 ヘアライン仕上)

記号	器具名	数量	寸法	風量(CMH)	ダンパー寸法	グリッドフィルター		
						寸法(参考寸法)	数量	
(F-1)	食器洗浄機	1	3,400×1,300(箱形)	3,190	実施設計対応		0.2m/s	
⑤ (F-2)	回転釜	4	1,200×1,200(箱形)	1,560	実施設計対応	500×500×30t 火災伝送防止装置付	4	0.3m/s
⑥ (F-3)	回転釜(和え物用)	1	1,200×1,200(箱形)	1,560	実施設計対応	500×500×30t 火災伝送防止装置付	4	0.3m/s
⑤ (F-4)	スチームコンベクションオープン	1	1,500×1,500(箱形)	2,430	実施設計対応	500×500×30t 火災伝送防止装置付	4	0.3m/s

☆下処理室・調理室・洗浄室の給・排気量は同一になるようにエアバランスを考慮する。

スチームコンベクションオープン仕様（20段）

仕様概要	調理能力目安：250人、収納能力：1/1ホテルパン20枚
機能	プログラム調理、クールダウン、二重扉ガラス、風量・温度調整機能付 水道直結部分は水道局基準、ガス機器防火性能評定品
附属機器	軟水器、カート2台、1/1ホテルパン（深さ25mm×20枚、65mm×20枚、1/1穴あきホテルパン深さ40mm×20枚、焼き網×20枚）付
電気容量	AC100V 電気消費量 1.0kW以下
ガス消費量	75.6kW以下
外形寸法	1,000×900×1,900 程度

④

⑤ スチームコンベクションオープン仕様（10段）

仕様概要	調理能力目安：150人、収納能力：1/1ホテルパン10枚
機能	プログラム調理、クールダウン、二重扉ガラス、風量・温度調整機能付 水道直結部分は水道局基準、ガス機器防火性能評定品
附属機器	軟水器、カート2台、1/1ホテルパン（深さ25mm×10枚、65mm×10枚、1/1穴あきホテルパン深さ40mm×10枚、焼き網×10枚）付
電気容量	AC100V 電気消費量 0.53kW以下
ガス消費量	39.5kW以下
外形寸法	900×800×1,800 程度

※ スチームコンベクションオープン仕様は原則13CR以上20段とするが、教育との協議により決定する。

食品冷凍冷蔵庫 仕様（一体型）

有効内容量	冷蔵部分 900L以上 冷凍部分 450L以上
電気容量	冷蔵部分 単相100V 800W以下 冷凍部分 単相100V 430W以下
材質	SUS430 #4研磨クリアー塗装
外形寸法	1,800×870×2,000程度
温度調整	冷蔵部分 0～10℃ 冷凍部分 -18℃以下
摘要	<ol style="list-style-type: none"> <li>断熱材は硬質発泡ポリウレタン注入方式とする。</li> <li>両方向から取出し可能なバススルー方式とする。扉は片面6枚（冷蔵4枚、冷凍2枚）計12枚とし、マグネットバックリング方式とする。</li> <li>冷却機及びファンは上部または側面組込み方式とする。</li> <li>棚は着脱容易な構造とする。</li> <li>自動温度調節装置、自動霜取装置及び外部より見える温度計が装備されているものとする。</li> <li>特定フロン規制対応とする。</li> <li>排水パイプは本体に固定すること。（SUS又は塩ビフレキホース付）</li> <li>庫内排水及びドレンは1か所で集約すること。</li> <li>冷蔵部分、冷凍部分はそれぞれ別コンセントとすること。</li> </ol>

食品冷蔵庫 仕様（分離型）（18CR以下）

有効内容量	冷蔵部分 900L以上
電気容量	冷蔵部分 単相100V 800W以下
材質	SUS430 #4研磨クリアー塗装
外形寸法	1,200×870×2,000程度
温度調整	冷蔵部分 2～10℃
摘要	<ol style="list-style-type: none"> <li>断熱材は硬質発泡ポリウレタン注入方式とする。</li> <li>両方向から取出し可能なバススルー方式とする。扉は片面4枚、計8枚とし、マグネットバックリング方式とする。</li> <li>冷却機及びファンは上部または側面組込み方式とする。</li> <li>棚は着脱容易な構造とする。</li> <li>自動温度調節装置、自動霜取装置及び外部より見える温度計が装備されているものとする。</li> <li>特定フロン規制対応とする。</li> <li>排水パイプは本体に固定すること。（SUS又は塩ビフレキホース付）</li> <li>庫内排水及びドレンは1か所で集約すること。</li> <li>冷蔵部分、冷凍部分はそれぞれ別コンセントとすること。</li> </ol>

食品冷蔵庫 仕様（分離型）（19CR以上）

有効内容量	冷蔵部分 1100L以上
電気容量	冷蔵部分 単相100V 1000W以下
材質	SUS430 #4研磨クリアー塗装
外形寸法	1,500×870×2,000程度
温度調整	冷蔵部分 2～10℃
摘要	<ol style="list-style-type: none"> <li>断熱材は硬質発泡ポリウレタン注入方式とする。</li> <li>両方向から取出し可能なバススルー方式とする。扉は片面4枚、計8枚とし、マグネットバックリング方式とする。</li> <li>冷却機及びファンは上部または側面組込み方式とする。</li> <li>棚は着脱容易な構造とする。</li> <li>自動温度調節装置、自動霜取装置及び外部より見える温度計が装備されているものとする。</li> <li>特定フロン規制対応とする。</li> <li>排水パイプは本体に固定すること。（SUS又は塩ビフレキホース付）</li> <li>庫内排水及びドレンは1か所で集約すること。</li> <li>冷蔵部分、冷凍部分はそれぞれ別コンセントとすること。</li> </ol>

⑤ カートイン式バススルー牛乳保冷庫 仕様（カート2台用、間口1800mmタイプ）

外形寸法	1,800×1,000×2,400程度
内形寸法	1,700×900×1,800程度
材質	外装、内装/SUS430 1.0t
断熱材	硬質発泡ポリウレタン注入方式
電気容量	単相100V 982W以下
冷却装置	全密閉式
除霜装置	オフサイクル自動除霜
温度調節	0℃～10℃ 自動温度調節機付
温度計	デジタル式
扉	4枚扉（片面2枚 両方向で計4枚） マグネットバックリング方式
摘要	<ol style="list-style-type: none"> <li>アース線は電源コードと同軸とすること。</li> <li>モーター及びコンプレッサーは信頼性の高いメーカーのものを使用すること。</li> <li>上部機械部の背面もカバーすること。</li> <li>排水については適切な処理を行うこと。</li> <li>特定フロン規制対応とする。</li> <li>運転時間タイマーを設置すること。</li> <li>設置場所の段差について対応すること。</li> <li>カートは牛乳ケースが1段につき4箱、6段以上載せることが可能（24ケース以上）で、耐久性が高く保冷庫内の出入れが容易なものを2台付属する。（牛乳ケースの大きさは250×370×170、1ケースにつき200mLの牛乳、24パック入り）</li> <li>換気については前面給気が可能なもの（フロントエア）とする。</li> </ol>

⑤ 調理済み食品保冷庫 仕様

外形寸法	1,500×900×2,000程度
材質	本体 SUS430 0.5t
	アジャスター及び囲い縁 SUS304
電気容量	単相100V 1,000W以下
収納能力	食缶（305φ×290mm）が24缶以上収納可能なもの。
摘要	<ol style="list-style-type: none"> <li>断熱材は硬質発泡ポリウレタン注入方式とする。</li> <li>両方向から取出し可能なバススルー方式とする。扉は片面4枚、配膳室側扉施錠、マグネットバックリング方式とする。</li> <li>冷却機及びファンは上部または側面組込み方式とする。</li> <li>操作盤=スイッチ・温度計（マイコン制御 デジタル表示）・温度調節機</li> <li>温度調節=0℃～10℃、マイコン制御</li> <li>除湿装置=全自動オフサイクルデフロスト</li> <li>棚は鋼線樹脂コーティングで取外し可能なこと。</li> <li>特定フロン規制対応とする。</li> <li>庫内排水及びドレンは1か所に集約すること。</li> <li>排水パイプは本体に固定すること（SUSフレキホース付）。</li> <li>換気については前面換気が可能なもの（フロントエア）とする。</li> </ol>

食品冷凍庫 仕様（分離型）（18CR以下）

有効内容量	冷凍部分 532L以上
電気容量	冷凍部分 単相100V 1100W以下
材質	SUS430 #4研磨クリアー塗装
外形寸法	900×870×2,000程度
温度調整	冷凍部分 -20℃以下
摘要	<ol style="list-style-type: none"> <li>断熱材は硬質発泡ポリウレタン注入方式とする。</li> <li>両方向から取出し可能なバススルー方式とする。扉は片面4枚、計8枚とし、マグネットバックリング方式とする。</li> <li>冷却機及びファンは上部または側面組込み方式とする。</li> <li>棚は着脱容易な構造とする。</li> <li>自動温度調節装置、自動霜取装置及び外部より見える温度計が装備されているものとする。</li> <li>特定フロン規制対応とする。</li> <li>排水パイプは本体に固定すること。（SUS又は塩ビフレキホース付）</li> <li>庫内排水及びドレンは1か所で集約すること。</li> <li>冷蔵部分、冷凍部分はそれぞれ別コンセントとすること。</li> </ol>

食品冷凍庫 仕様（分離型）（19CR以上）

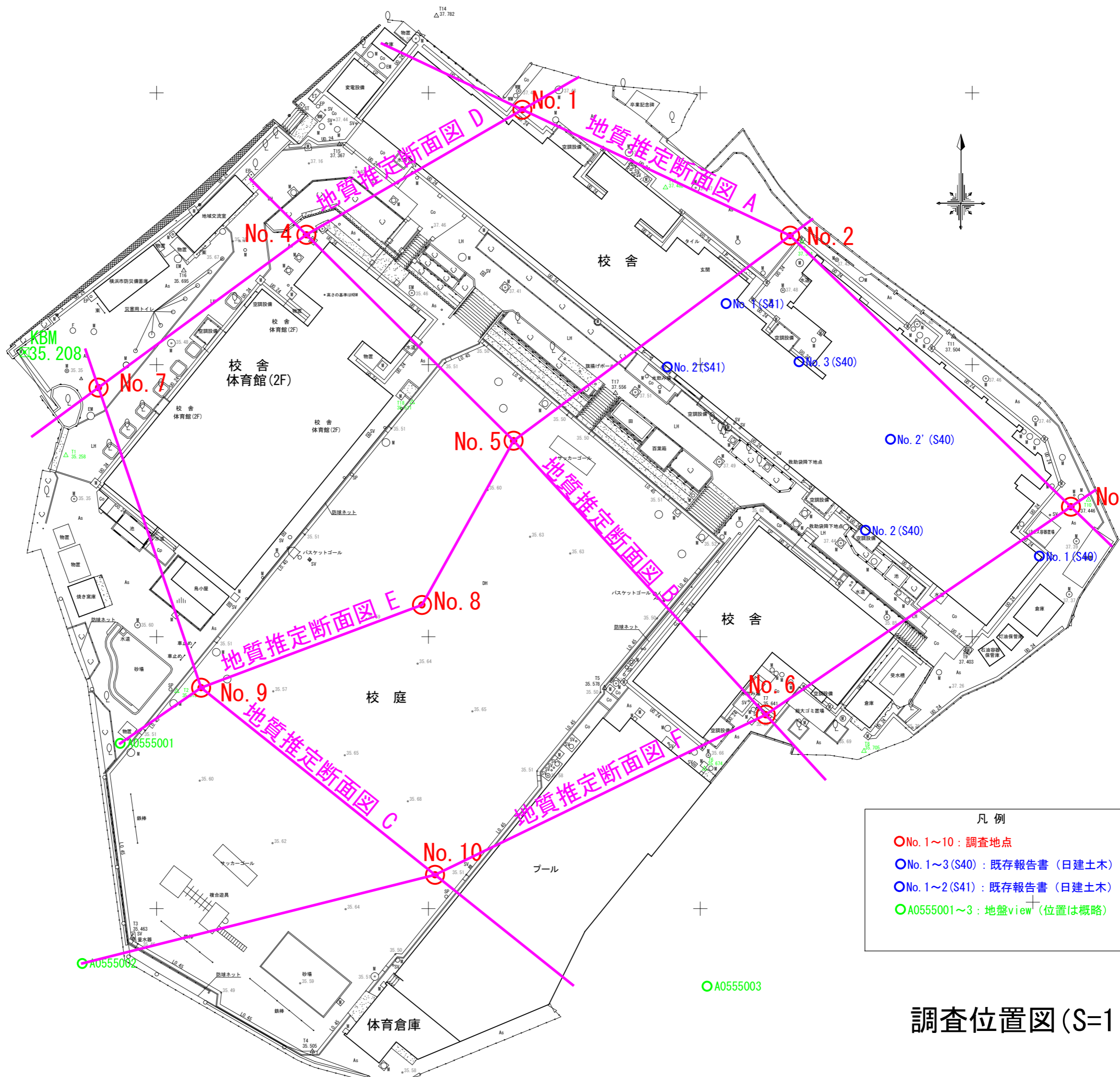
有効内容量	冷凍部分 710L以上
電気容量	冷凍部分 3相200V 1100W以下
材質	SUS430 #4研磨クリアー塗装
外形寸法	1,200×870×2,000程度
温度調整	冷凍部分 -20℃以下
摘要	<ol style="list-style-type: none"> <li>断熱材は硬質発泡ポリウレタン注入方式とする。</li> <li>両方向から取出し可能なバススルー方式とする。扉は片面4枚、計8枚とし、マグネットバックリング方式とする。</li> <li>冷却機及びファンは上部または側面組込み方式とする。</li> <li>棚は着脱容易な構造とする。</li> <li>自動温度調節装置、自動霜取装置及び外部より見える温度計が装備されているものとする。</li> <li>特定フロン規制対応とする。</li> <li>排水パイプは本体に固定すること。（SUS又は塩ビフレキホース付）</li> <li>庫内排水及びドレンは1か所で集約すること。</li> <li>冷蔵部分、冷凍部分はそれぞれ別コンセントとすること。</li> </ol>

# 資 料 編

- (1) 位置図・柱状図・断面図
- (2) 孔内載荷試験結果
- (3) 室内土質試験結果
- (4) 現場写真

# (1) 位置図・柱状図・断面図

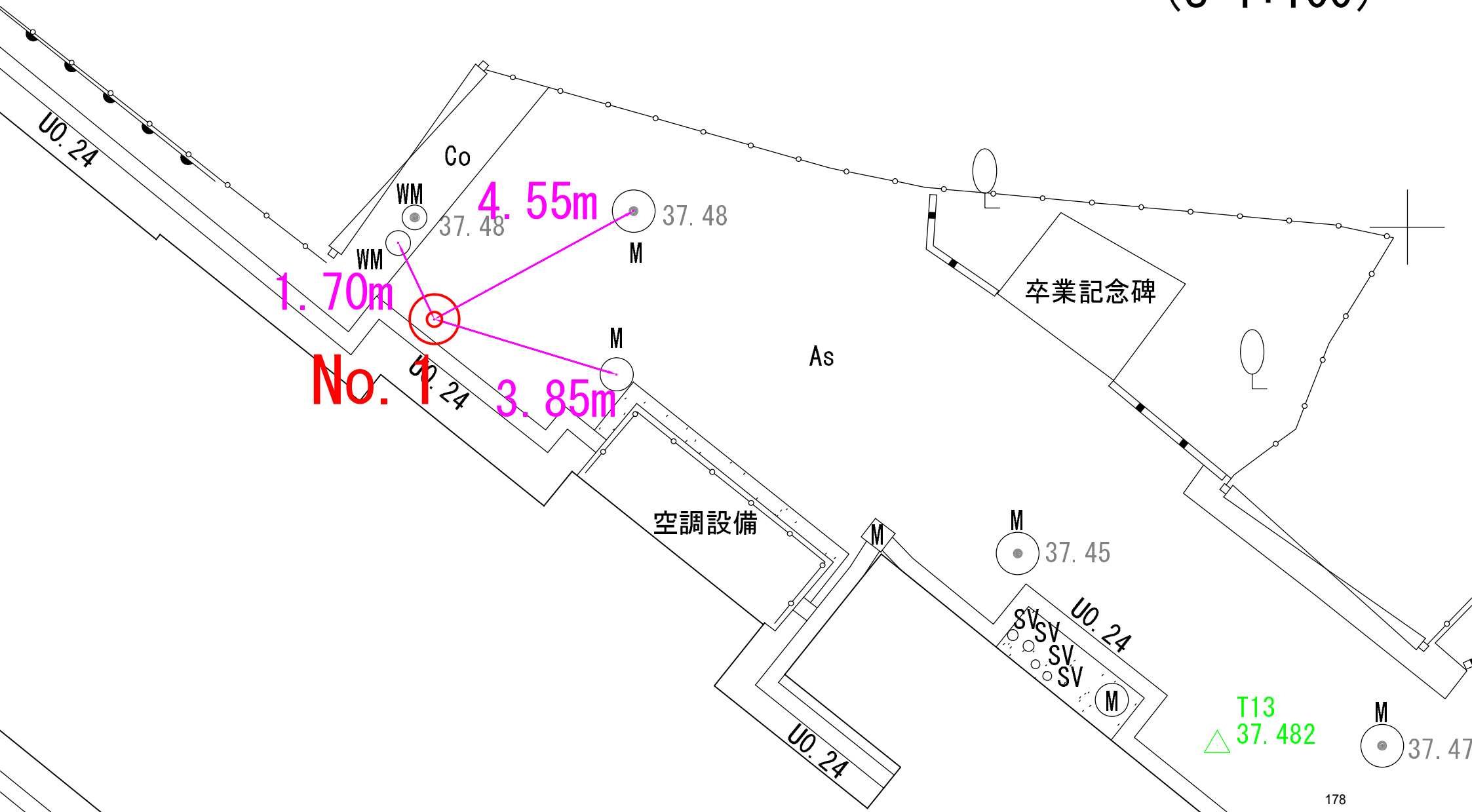




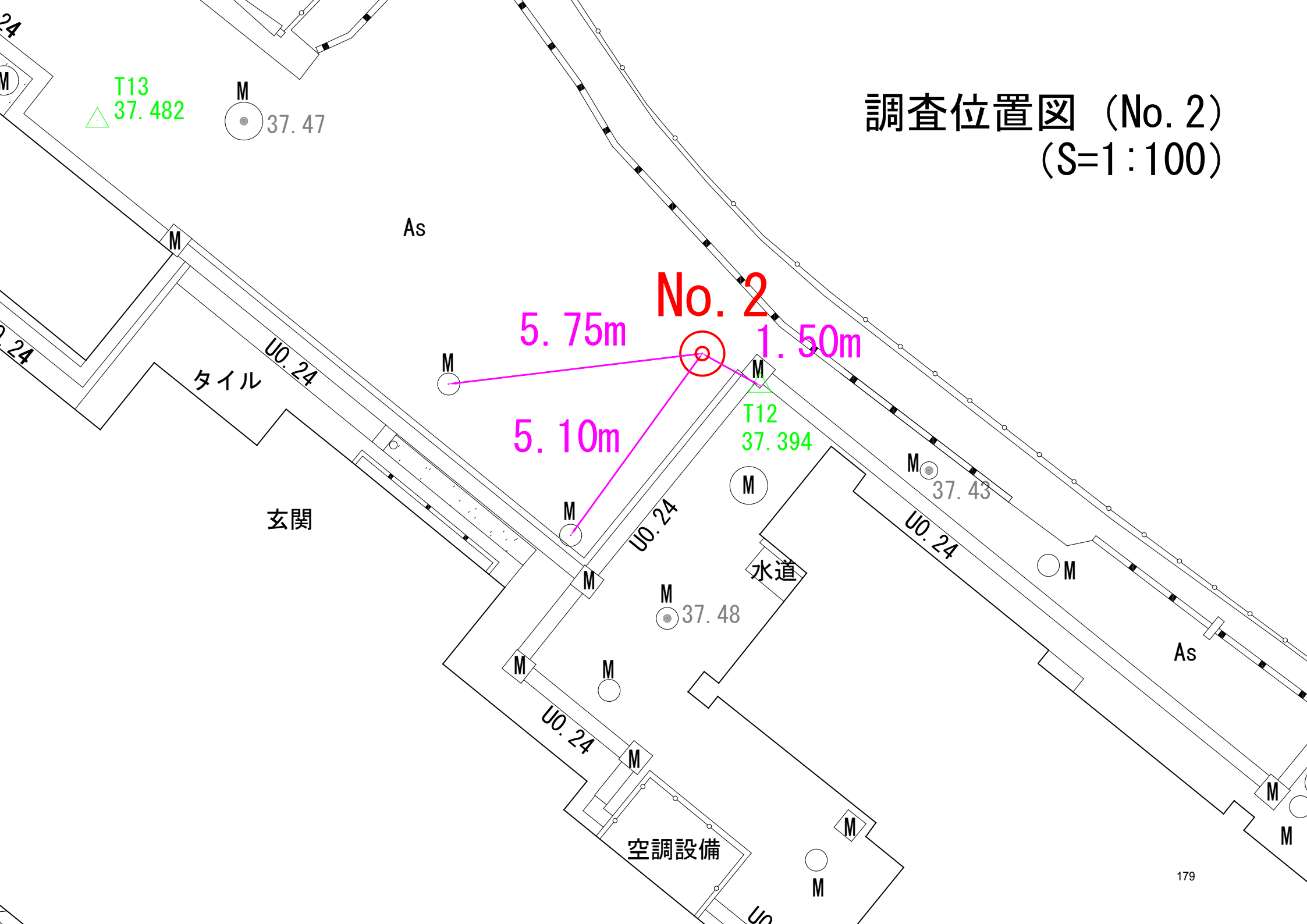
- 凡例
- No. 1～10 : 調査地点
  - No. 1～3 (S40) : 既存報告書 (日建土木)
  - No. 1～2 (S41) : 既存報告書 (日建土木)
  - A0555001～3 : 地盤view (位置は概略)

調査位置図 (S=1:400)

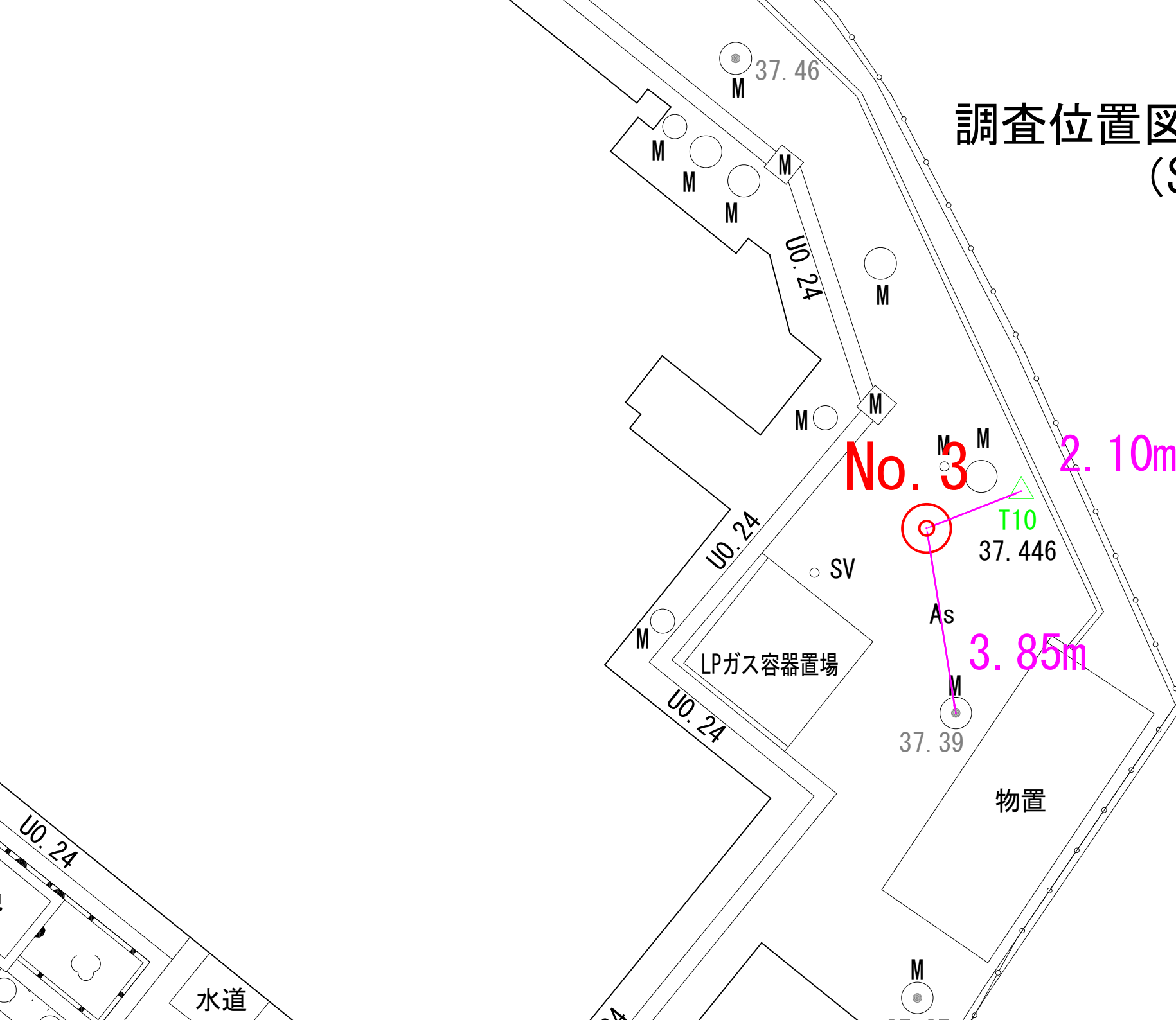
# 調査位置図 (No. 1) (S=1:100)

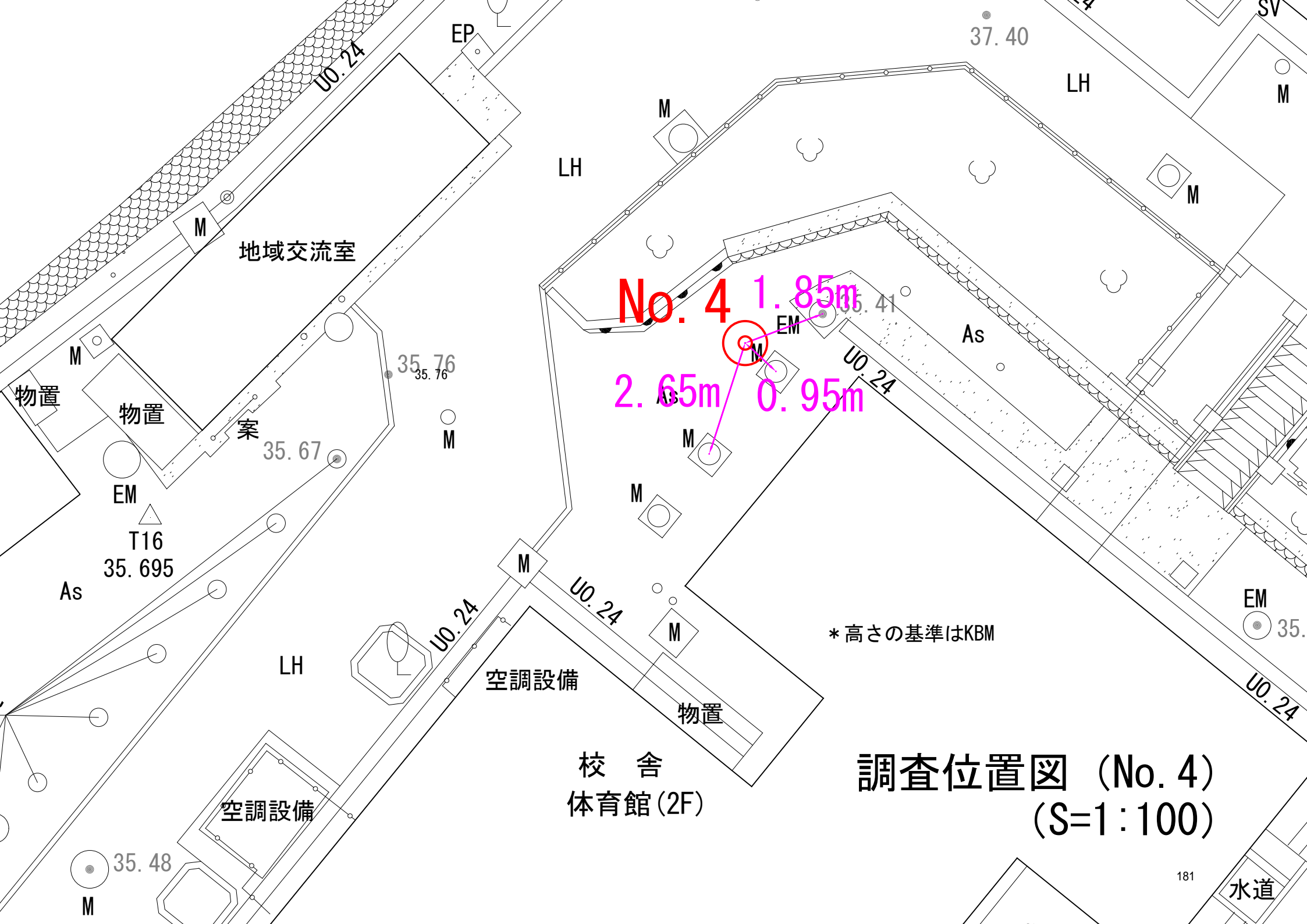


# 調査位置図 (No. 2) (S=1:100)



# 調査位置図 (No. 3) (S=1:100)





地域交流室

物置

物置

案

No. 4  
1.85m  
2.65m  
0.95m

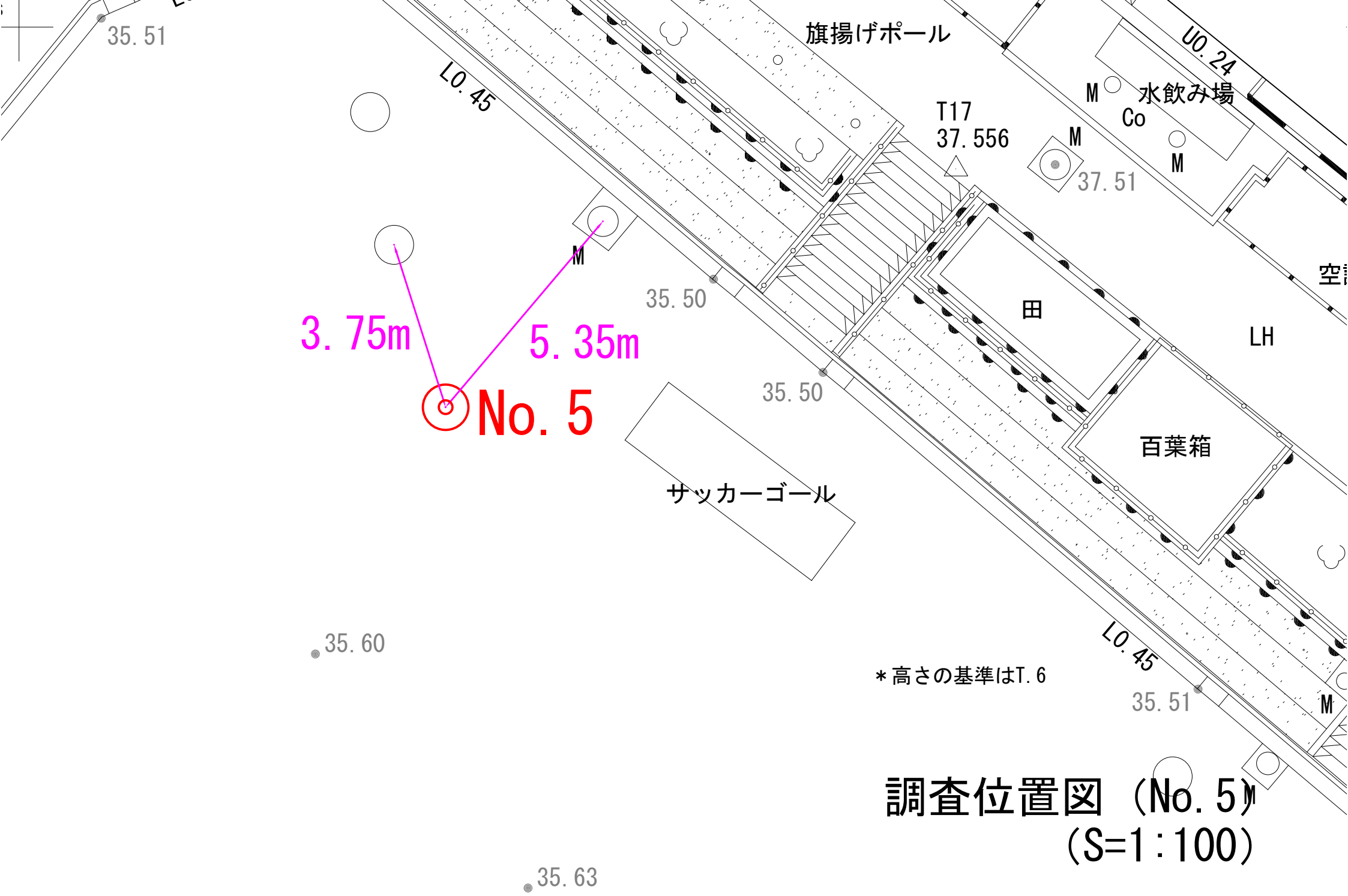
空調設備

校舎  
体育館(2F)

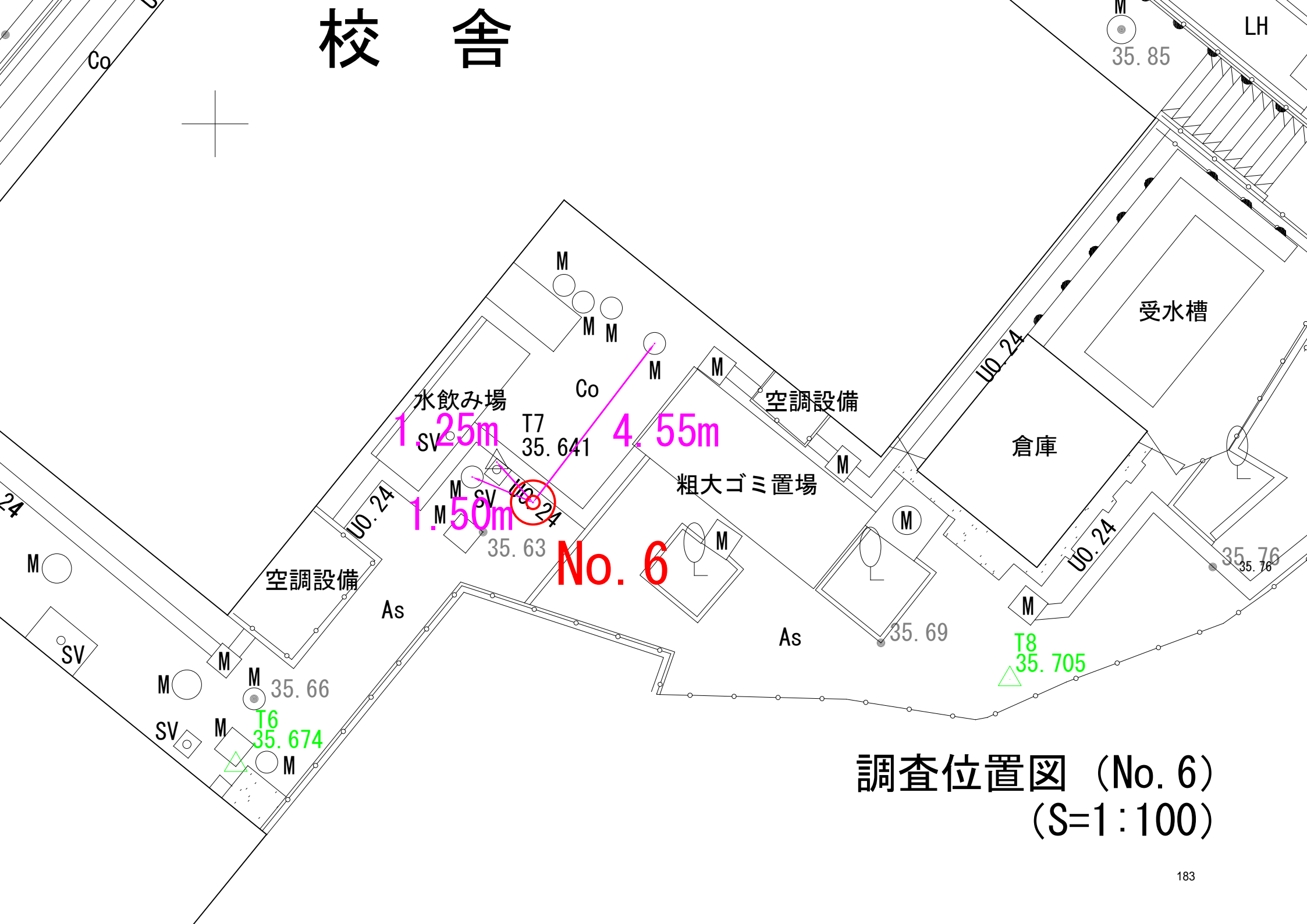
\* 高さの基準はKBM

調査位置図 (No. 4)  
(S=1:100)

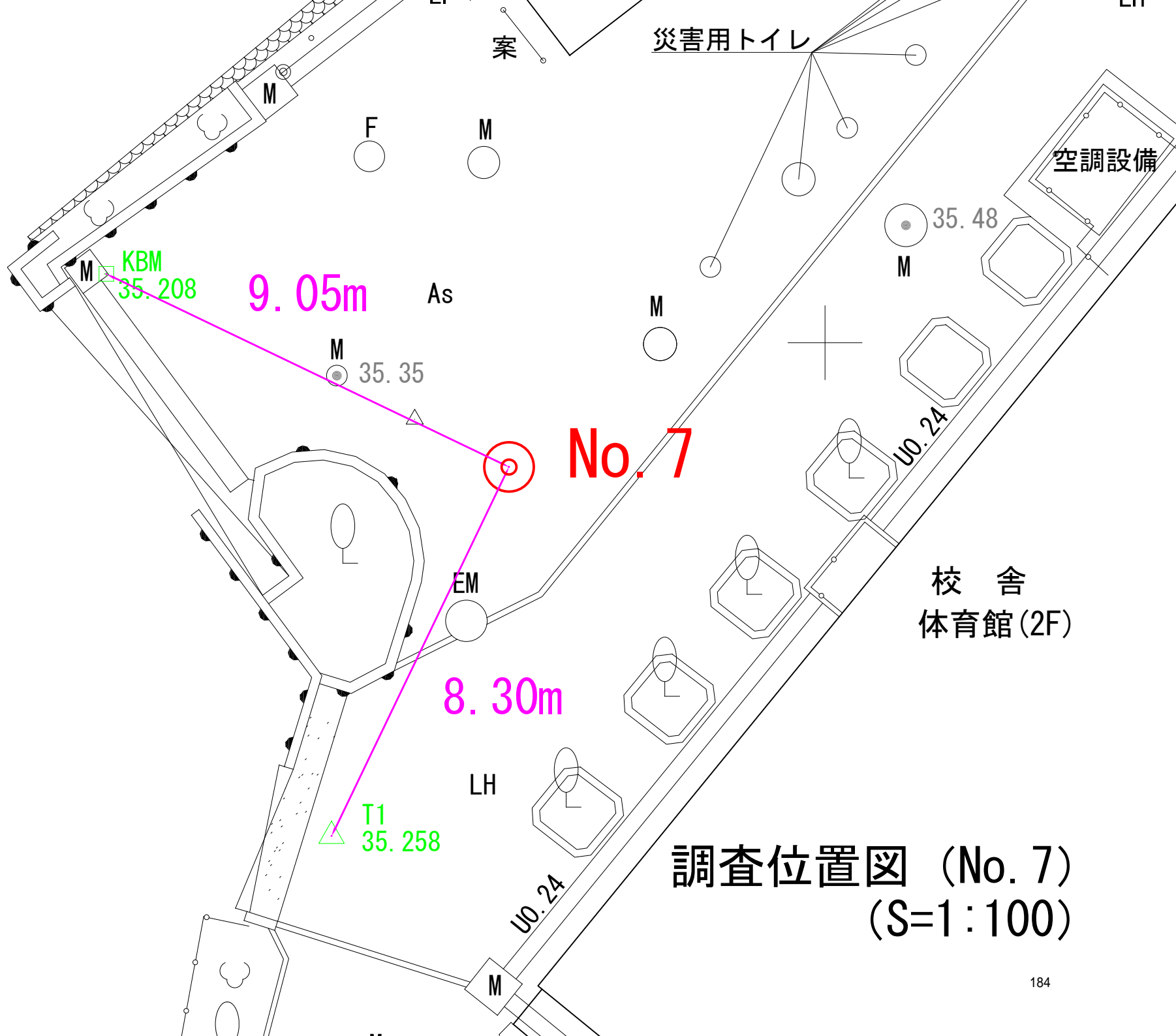
水道



# 校舎

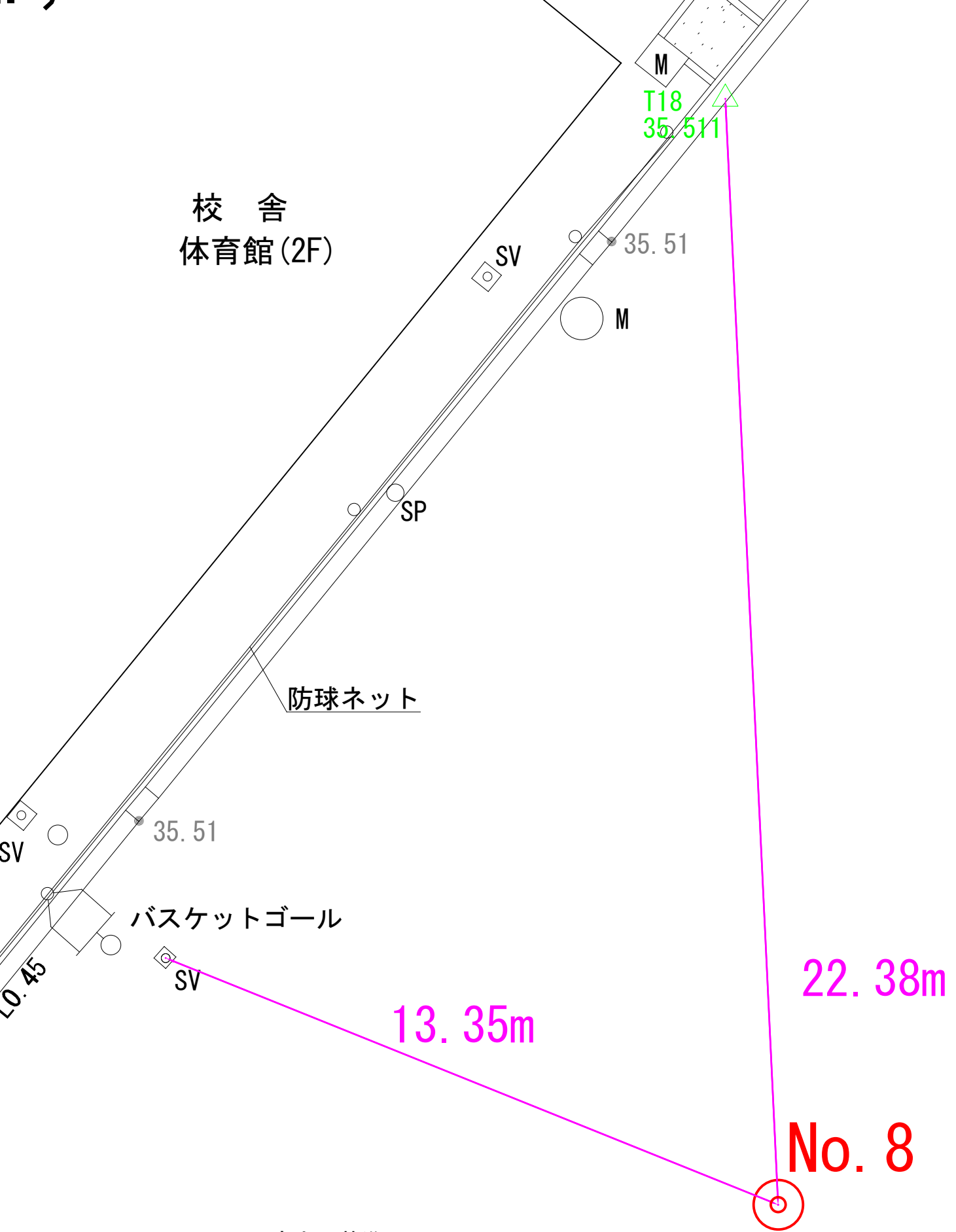


調査位置図 (No. 6)  
(S=1:100)



調査位置図 (No. 7)  
(S=1:100)

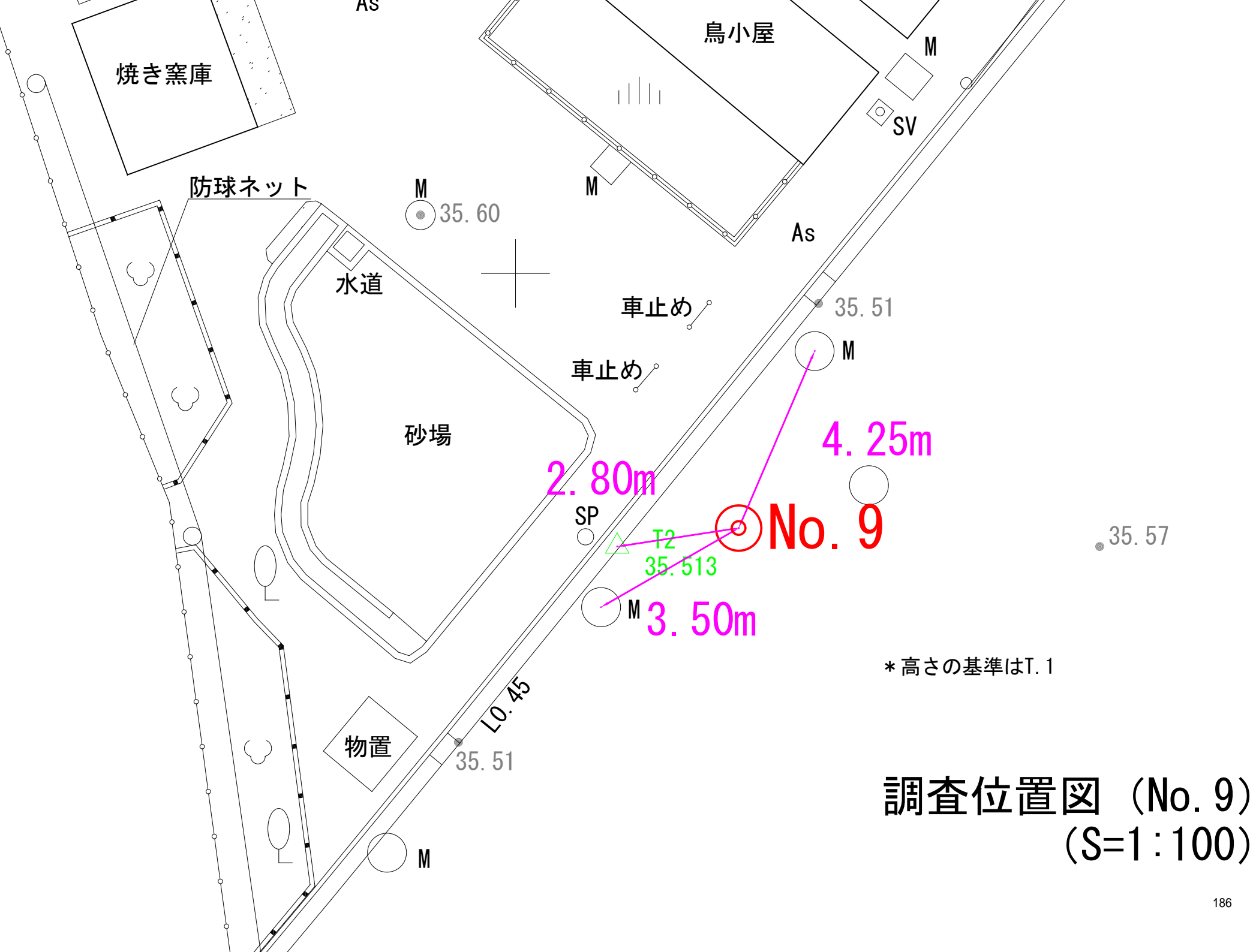




\* 高さの基準はT. 6

35.59

調査位置図 (No. 8)  
(S=1:100)



\* 高さの基準はT.1

調査位置図 (No. 9)  
(S=1:100)

35.68

L0.45

No. 10

4.00m

SV

35.51

2.70m

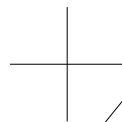
SP

3.50m

プール

35.64

\* 高さの基準はT.6



35.50

M

SV

M

調査位置図 (No. 10)  
(S=1:100)

# ボーリング柱状図

調査名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.                   No. 1

事業・工事名

シートNo. 1-2446

ボーリング名	No. 1	調査位置	横浜市港南区日野二丁目20番40号				北緯	35° 23' 51.60"							
発注機関	横浜市建築局学校整備課			調査期間	2022年8月23日～2022年8月24日			東経	139° 35' 0.21"						
調査業者名	株式会社建設技術コンサルタント 電話 (045-453-3241)		主任技師	森田 亮		現場代理人	永峯功	コア鑑定者	森田 亮	ボーリング責任者	高田 誉				
孔口標高	TP +37.39m	角			方			地盤勾配	水平 0°	使用機種	試験機	カノーKR-100H	ハンマー落下用具	半自動落下装置	
総掘進長	15.15m	度			向			鉛直	90°	エンジン	ヤンマーNS90	ポンプ	カノーV6		

標尺 m	層厚 m	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記 事	孔内水位 m / 測定月日	標準貫入試験				N 値 ○	原位置試験		試料採取		室内試験 ( 月 日)	掘 進				
									深 度 m	10cm毎の 打撃回数				打撃回数 / 貫入量 cm	深 度 m	試験名 および結果	深 度 m			試料 番号	採取 方法		
										0	10	20											
1	35.79	1.60	1.60	盛土	暗灰～暗茶褐色・黒褐色		上部5cmはアスファルト舗装。舗装下約0.3m、碎石。碎石下、礫混じり粘性土。1.00m付近、ビニール等のゴミを混入。	8/24 4.80	1.15	1	1	2	2.0										
2				凝灰質シルト	暗茶褐色		全体的に粘性強位。暗茶褐色を呈す。炭化物点在。水位は、掘削終了後、汲み上げ後の回復水位。		1.45	18	12	30	1.8										
3				シルト	黄褐色		上部粘性強位。斑点状に酸化した部分(暗褐色)が多く見られる。6.35m付近より凝固状の部分が多くなる。少量の砂を含有。		3.00	1	1	2	1.8										
4									3.34	20	14	34	4.15	1	1	2	1.7						
5	32.39	3.40	5.00	シルト	暗灰		所々、ポケット状に砂を混入。腐植物・炭化物を混入。8.0m付近、砂の混入は減少する。細かい腐植物を多く混入。10.0m付近より貝殻片を多く混入。L=5～20cmの棒状コアにて採取される。コア中、斜めクラック多い。		4.50	19	16	35	3.0										
6									5.15	1	1	1	3	6.0									
7	30.89	1.50	6.50						6.15	1	1	4	6	7.15	12	15	18	45	45.0				
8				凝灰質シルト	暗灰		12m付近、腐植物・砂を多く混入。13m付近、砂粒状の火砕物を混入。L=5～20cmの棒状コアにて採取される。		7.45	10	11	18	39	39.0									
9									8.45	1	1	4	6	8.15	10	11	18	39	39.0				
10				細砂	暗灰		全体的に極密に締まる。粗中砂を混入し、砂粒子不均一含水率中位。浮石粒を多く混入。腐植物を混入。		9.15	14	16	18	48	48.0									
11									9.45	14	16	18	48	10.15	14	15	18	47	47.0				
12	25.39	5.50	12.00						10.45	15	20	15	50	68.2									
13									11.15	18	22	10	50	71.4									
14	23.59	1.80	13.80						12.15	18	22	1	21										
15									12.36	18	21	11	50	68.2									
									13.15	14	15	18	47	47.0									
									13.37	14	14	9	9	66.7									
									14.05	50			50										
									14.14	9			9										
									15.05	52			52										
									15.13	10			10										

# ボーリング柱状図

調査名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.                No. 2

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2		調査位置	横浜市港南区日野二丁目20番40号				北緯	35° 23' 51.07"			
発注機関	横浜市建築局学校整備課				調査期間	2022年8月19日～2022年8月22日			東経	139° 35' 1.40"		
調査業者名	株式会社建設技術コンサルタント 電話 (045-453-3241)		主任技師	森田 亮		現場代理人	永峯功	コア鑑定者	高田 誉	ボーリング責任者	高田 誉	
孔口標高	TP +37.42m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試験機	TOHO-D0	ハンマー落下用具	自動落下装置
総掘進長	16.30m	度		向				エンジン		ヤンマー	ポンプ	V-5P

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 m / 測定月日	標準貫入試験				N 値 — ○ —	原位置試験		試料採取		室内試験 ( )	掘進 月日		
										深	10cm毎の打撃回数				貫入量 cm	深	試験名 および結果	深			試料番号	採取方法
											m	0	10									
1	35.62	1.80	1.80	盛土	暗灰～暗褐			上部As。以下、礫混じりローム質粘土。 1m以下は有機質土と凝灰質シルトの混合土。	8/20 2.60	1.15	1	1	2	1.9								
2	34.72	0.90	2.70	シルト	褐灰			比較的混入物の少ないシルト。水位は、掘削終了後、汲み上げ後の翌朝水位。		1.47	22		32	8.0								
3				凝灰質シルト	褐灰			砂粒子状の火砕物を混入するシルト。礫状で採取される。		2.45	2	2	4	8								
4	32.62	2.10	4.80	凝灰質シルト	褐灰			砂粒子状の火砕物を混入するシルト。礫状で採取される。		3.15	8	10	14	32	32.0							
5				シルト質細砂	黄褐灰			微細砂主体の砂質土。5m付近はゆるい。細粒分が多く目視、手触りでFc=50%近い中間土である。力学挙動は粘性土と思われる。		3.45			30	23.0								
6	30.42	2.20	7.00	シルト質細砂	黄褐灰			微細砂主体の砂質土。5m付近はゆるい。細粒分が多く目視、手触りでFc=50%近い中間土である。力学挙動は粘性土と思われる。		4.15	6	7	10	23	23.0							
7	29.82	0.60	7.60	砂混じりシルト	暗灰			砂をポケット状に混入する。軽石を混入する。		4.45			30	7.0	5.30	LLT						
8				砂混じりシルト	暗灰			砂をポケット状に混入する。軽石を混入する。		5.15	2	2	3	7	7.0							
9	27.62	2.20	9.80	凝灰質シルト	暗灰			砂状の火砕物、軽石を多く混入する。細かい腐植物を少量混入する。		6.15	4	6	9	19	19.0							
10				凝灰質シルト	暗灰			砂状の火砕物、軽石を多く混入する。細かい腐植物を少量混入する。		6.45			30	15.0								
11				凝灰質シルト	暗灰			砂状の火砕物、軽石を多く混入する。細かい腐植物を少量混入する。		7.15	3	4	8	15	15.0							
12				凝灰質シルト	暗灰			砂状の火砕物、軽石を多く混入する。細かい腐植物を少量混入する。		7.45			30	53.8								
13				凝灰質シルト	暗灰			砂状の火砕物、軽石を多く混入する。細かい腐植物を少量混入する。		8.15	12	15	25	52	53.8							
14				凝灰質シルト	暗灰			砂状の火砕物、軽石を多く混入する。細かい腐植物を少量混入する。		8.44			9	29	25.0							
15				凝灰質シルト	暗灰			砂状の火砕物、軽石を多く混入する。細かい腐植物を少量混入する。		9.15	8	8	9	25	25.0							
16	21.12	6.50	16.30	凝灰質シルト	暗灰			砂状の火砕物、軽石を多く混入する。細かい腐植物を少量混入する。		9.45			30	30.0								
17				凝灰質シルト	暗灰			11～12mは粘土状。12.3m付近に腐食した木塊を混入する。13m付近は腐植物を混入し、色調が褐色を帯びる。14m付近は軽石、腐植物が多い。砂の薄層(5～10cm)を挟在する。		10.15	10	15	25	50	51.7							
				凝灰質シルト	暗灰			11～12mは粘土状。12.3m付近に腐食した木塊を混入する。13m付近は腐植物を混入し、色調が褐色を帯びる。14m付近は軽石、腐植物が多い。砂の薄層(5～10cm)を挟在する。		10.44			9	29	51.7							
				凝灰質シルト	暗灰			11～12mは粘土状。12.3m付近に腐食した木塊を混入する。13m付近は腐植物を混入し、色調が褐色を帯びる。14m付近は軽石、腐植物が多い。砂の薄層(5～10cm)を挟在する。		11.15	10	10	12	32	32.0							
				凝灰質シルト	暗灰			11～12mは粘土状。12.3m付近に腐食した木塊を混入する。13m付近は腐植物を混入し、色調が褐色を帯びる。14m付近は軽石、腐植物が多い。砂の薄層(5～10cm)を挟在する。		11.45			30	30.0								
				凝灰質シルト	暗灰			11～12mは粘土状。12.3m付近に腐食した木塊を混入する。13m付近は腐植物を混入し、色調が褐色を帯びる。14m付近は軽石、腐植物が多い。砂の薄層(5～10cm)を挟在する。		12.15	16	18	16	50	58.2							
				凝灰質シルト	暗灰			11～12mは粘土状。12.3m付近に腐食した木塊を混入する。13m付近は腐植物を混入し、色調が褐色を帯びる。14m付近は軽石、腐植物が多い。砂の薄層(5～10cm)を挟在する。		12.37			2	22	58.2							
				凝灰質シルト	暗灰			11～12mは粘土状。12.3m付近に腐食した木塊を混入する。13m付近は腐植物を混入し、色調が褐色を帯びる。14m付近は軽石、腐植物が多い。砂の薄層(5～10cm)を挟在する。		13.15	21	29		50	75.0							
				凝灰質シルト	暗灰			11～12mは粘土状。12.3m付近に腐食した木塊を混入する。13m付近は腐植物を混入し、色調が褐色を帯びる。14m付近は軽石、腐植物が多い。砂の薄層(5～10cm)を挟在する。		13.35				20	75.0							
				凝灰質シルト	暗灰			11～12mは粘土状。12.3m付近に腐食した木塊を混入する。13m付近は腐植物を混入し、色調が褐色を帯びる。14m付近は軽石、腐植物が多い。砂の薄層(5～10cm)を挟在する。		14.15	14	20	16	50	55.2							
				凝灰質シルト	暗灰			11～12mは粘土状。12.3m付近に腐食した木塊を混入する。13m付近は腐植物を混入し、色調が褐色を帯びる。14m付近は軽石、腐植物が多い。砂の薄層(5～10cm)を挟在する。		14.38			3	23	55.2							
				凝灰質シルト	暗灰			11～12mは粘土状。12.3m付近に腐食した木塊を混入する。13m付近は腐植物を混入し、色調が褐色を帯びる。14m付近は軽石、腐植物が多い。砂の薄層(5～10cm)を挟在する。		15.15	12	19	19	50	60.0							
				凝灰質シルト	暗灰			11～12mは粘土状。12.3m付近に腐食した木塊を混入する。13m付近は腐植物を混入し、色調が褐色を帯びる。14m付近は軽石、腐植物が多い。砂の薄層(5～10cm)を挟在する。		15.40			5	25	60.0							
				凝灰質シルト	暗灰			11～12mは粘土状。12.3m付近に腐食した木塊を混入する。13m付近は腐植物を混入し、色調が褐色を帯びる。14m付近は軽石、腐植物が多い。砂の薄層(5～10cm)を挟在する。		16.15	24	26		50	100.0							
				凝灰質シルト	暗灰			11～12mは粘土状。12.3m付近に腐食した木塊を混入する。13m付近は腐植物を混入し、色調が褐色を帯びる。14m付近は軽石、腐植物が多い。砂の薄層(5～10cm)を挟在する。		16.30			5	15	100.0							

# ボーリング柱状図

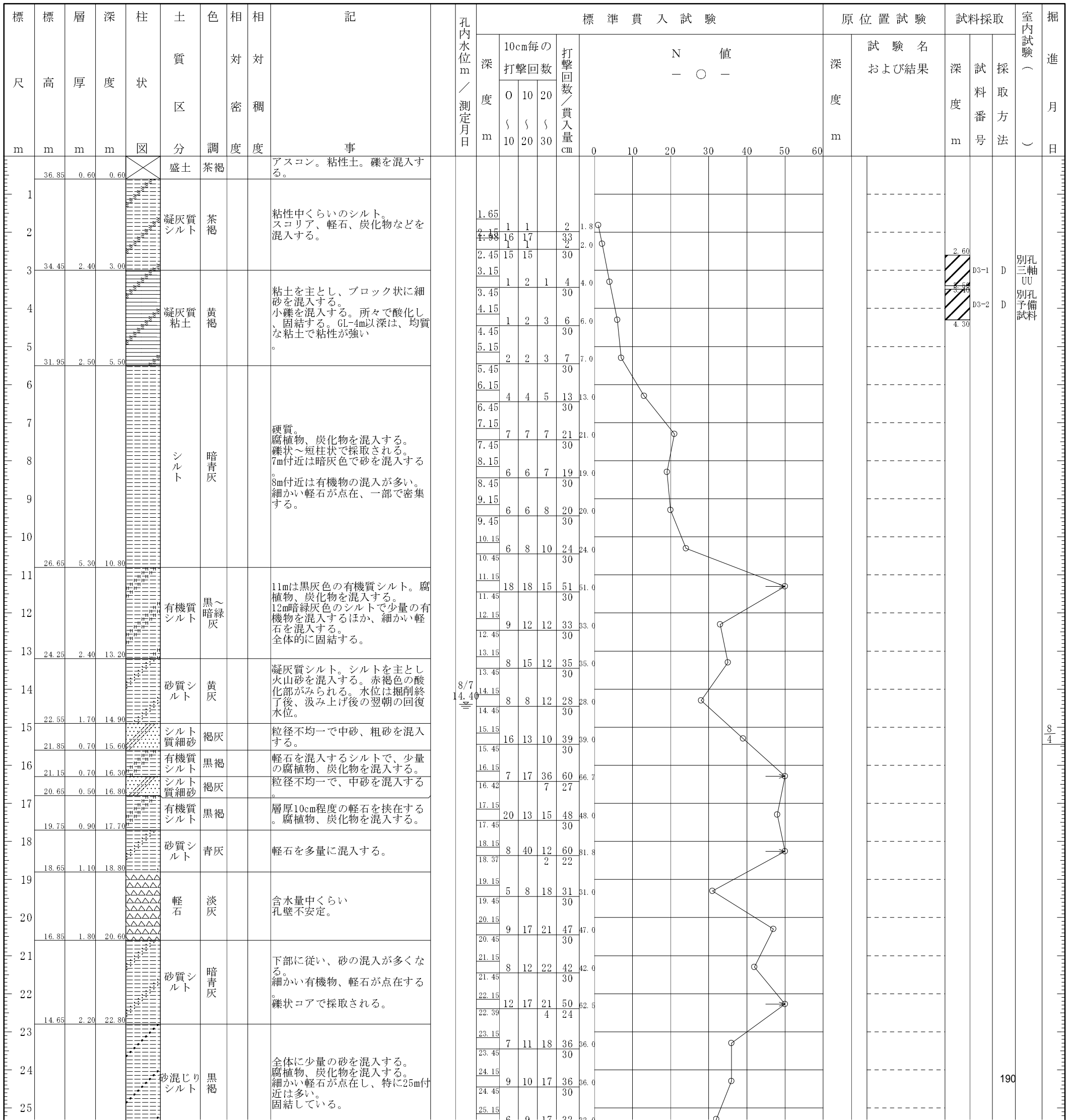
調査名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査業務委託

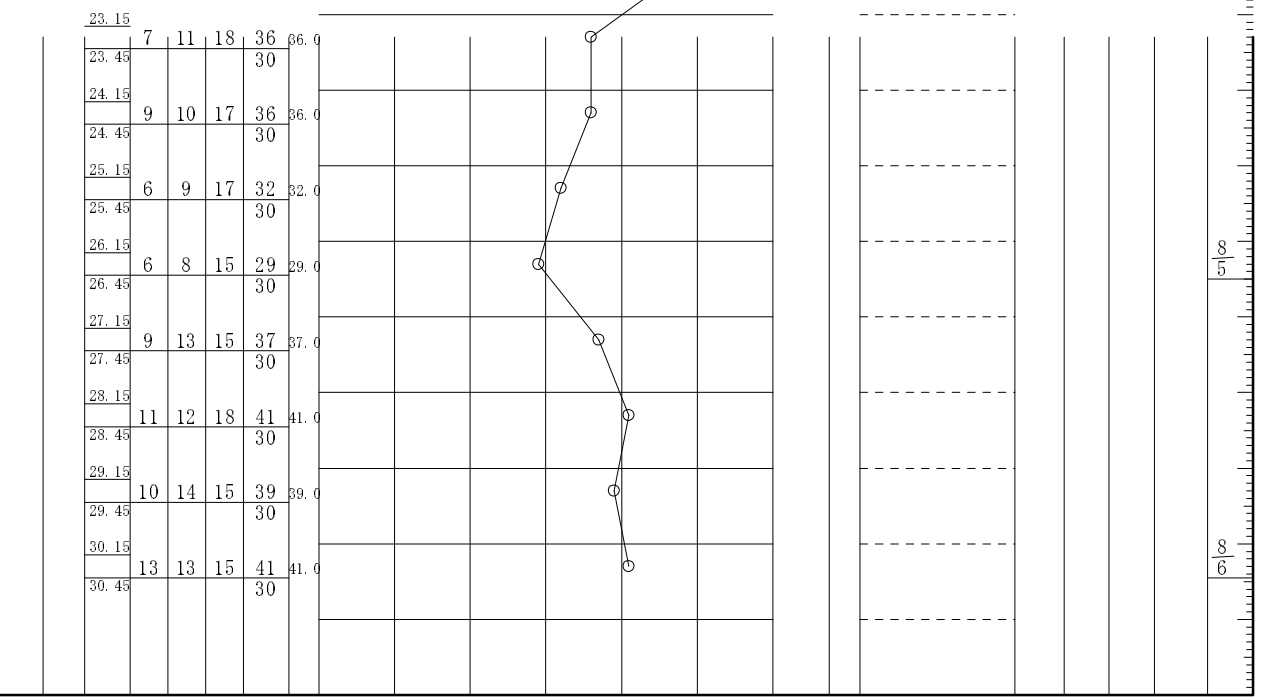
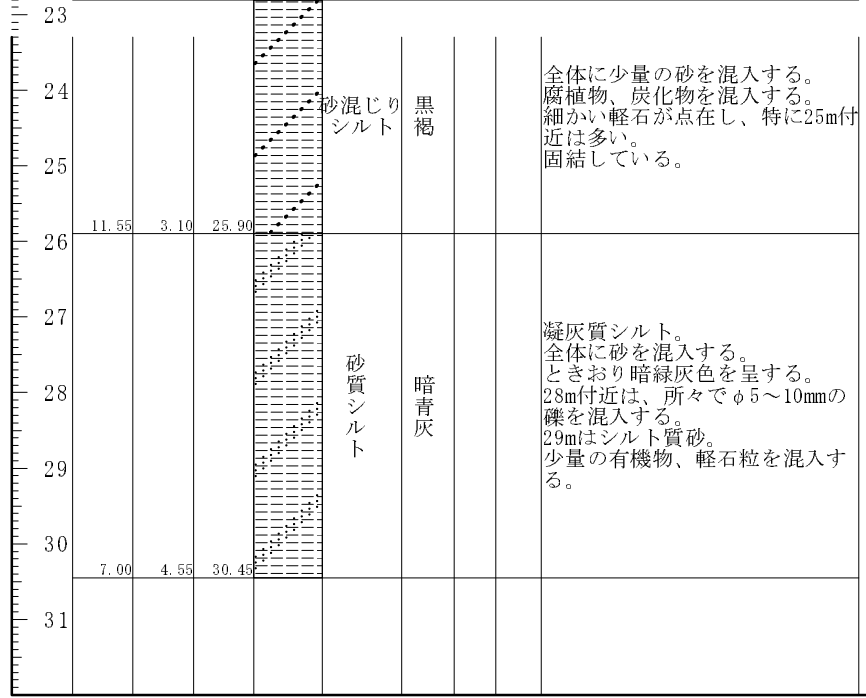
ボーリングNo.                               No. 3

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 3		調査位置	横浜市港南区日野二丁目20番40号				北緯	35° 23' 50.25"		
発注機関	横浜市建築局学校整備課				調査期間	2022年8月3日～2022年8月7日			東経	139° 35' 2.62"	
調査業者名	株式会社建設技術コンサルタント 電話 (045-453-3241)		主任技師	森田 亮		現場代理人	永峯功	コア鑑定者	森田 亮	ボーリング責任者	石田詠一
孔口標高	TP +37.45m	角			方			地盤勾配	水平 0°	使用機種	YBM-05D
総掘進長	30.45m	度			向			鉛直	90°	エンジン	NFAD
								ハンマー落下用具	自動落下装置		
								ポンプ	V-5P		





# ボーリング柱状図

調査名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.                               No. 4

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 4	調査位置	横浜市港南区日野二丁目20番40号				北緯	35° 23' 51.11"			
発注機関	横浜市建築局学校整備課			調査期間	2022年8月8日～2022年8月9日			東経	139° 34' 59.22"		
調査業者名	株式会社建設技術コンサルタント 電話 (045-453-3241)		主任技師	森田 亮		現場代理人	永峯功	コア鑑定者	堀内勝也		
孔口標高	TP +35.41m	角			方			地盤勾配			
総掘進長	18.27m	度			向			使用機種	自動落下装置		
						試錐機	YBM-05D		ハンマー落下用具	ポンプ	
						エンジン	ヤンマー			V-6P	

標尺 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 m / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 m	試験名 および結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験 ( )	掘進 月日					
										深 度 m	10cm毎の 打撃回数			N 値 ○												
											0 10	10 20	20 30													
1	34.61	0.80	0.80	盛土	褐灰			上部As。以下、砂質粘土。																		
2				砂質シルト	暗灰			固結した砂をブロック状に混入する粘性土。少量の軽石を全体に含む。低含水、粒子不均一。少量の炭化物、軽石を全体に含む。固結した部分と軟質部分が混在する。	1.65	8	11	13	32	32.0												
3									2.45	10	12	12	30	34.0												
4									3.15	17	22	11	50	50.0												
5	30.51	4.10	4.90						4.15	21	24	11	56	56.0												
6	29.91	0.60	5.50						4.45	21	24	11	56	56.0												
7				粘土	緑灰			含水は少ない。均質な粘性土。	5.15	7	10	10	27	27.0												
8									5.45	7	10	10	27	27.0												
9									6.15	10	12	15	37	37.0												
10	25.61	4.30	9.80						6.45	10	12	15	37	37.0												
11	25.11	0.50	10.30	凝灰質シルト	暗灰			全体に半固結状。短柱状コアで採取。少量の軽石を全体に混入する。5cm前後の短柱状コアで採取される。固結シルトを不規則に挟在する。地下水位は不明。8/8作業終了後GL-5.6mまで汲み上げた。翌朝水位はGL-5.8mまで低下して回復せず。	7.15	10	11	14	35	35.0												
12	24.61	0.50	10.80						7.45	10	11	14	35	35.0												
13				粘土 シルト質砂	淡灰 暗灰			混入物のないきれいな粘性土。 細砂主体で細粒分を含む。	8.15	15	22	13	50	50.0												
14	21.66	2.95	13.75						8.45	15	22	13	50	50.0												
15				有機質シルト	暗褐灰			均質で含水は少ない。少量の軽石、炭化物、腐植物を混入する。	9.15	12	15	14	41	41.0												
16	19.41	2.25	16.00						9.45	12	15	14	41	41.0												
17	18.41	1.00	17.00	凝灰質シルト	暗緑灰			シルト主体。不規則に細砂を混入する。全体少量の軽石、炭化物を混入する。L=5cmの短柱状コアで採取される。	10.15	42	8		50	36.4												
18	17.61	0.80	17.80						10.26	1		11	36.4													
19	17.14	0.47	18.27	凝灰質シルト	暗灰			シルト主体。炭化物、火砕物を含む。軽石を多く混入する。	11.15	14	15	19	48	48.0												
									11.45	14	15	19	48	48.0												
				粘土	暗灰			混入物のない粘性土。	12.15	16	21	13	50	65.2												
									12.38	16	21	13	50	65.2												
				凝灰質シルト	暗灰			シルト主体。混入物少ない。	13.15	13	19	18	50	53.6												
									13.43	13	19	18	50	53.6												
				凝灰質シルト	暗灰			シルト主体。炭化物、火砕物を含む。軽石を多く混入する。	14.15	12	12	15	39	39.0												
									14.45	12	12	15	39	39.0												
				凝灰質シルト	暗灰			シルト主体。炭化物、火砕物を含む。軽石を多く混入する。	15.15	13	16	19	48	48.0												
									15.45	13	16	19	48	48.0												
				粘土	暗灰			混入物のない粘性土。	16.15	18	20	12	50	60.0												
									16.40	18	20	12	50	60.0												
				凝灰質シルト	暗灰			シルト主体。混入物少ない。	17.15	27	23		50	78.9												
									17.34	27	23		50	78.9												
				凝灰質シルト	暗灰			シルト主体。混入物少ない。	18.15	33	17		50	25.0												
									18.27	33	17		50	25.0												



# ボーリング柱状図

調査名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.                   No. 5

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 5	調査位置	横浜市港南区日野二丁目20番40号				北緯	35° 23' 50.33"
発注機関	横浜市建築局学校整備課			調査期間	2022年8月16日～2022年8月18日		東経	139° 35' 0.25"
調査業者名	株式会社建設技術コンサルタント 電話 (045-453-3241)		主任技師	森田 亮	現場代理人	永峯功	コア鑑定者	高田 誉
ボーリング責任者							高田 誉	
孔口標高	TP +35.54m	角	180° 上	90°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	11.35m	度	下 0°		向		使用機種	試験機
							TOHO-D0	ハンマー落下用具
							エンジン	ポンプ
								自動落下装置
								V-5P

標尺 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験 深度 m	試験名 および結果	試料採取		室内試験 ( 掘進 月日)			
									深 度 m	10cm毎の 打撃回数					N 値 - ○ -	深 度 m		試料番号	採取方法	
										0	10	20								
	35.04	0.50	0.50	盛土	暗茶褐色			礫混じり土												
1				凝灰質シルト	暗褐色 暗灰			砂粒状の火砕物を混入するシルト。 軽石、細礫を少量混入する。 上部、暗褐色を呈す。 1m以深、暗灰色。 2mまで無水掘削するが、地下水なし。 以深、硬質のため送水掘削。	1.15	7	10	15	32	32.0						
2						1.45					2.15	6	9	10	25	25.0				
3						2.45					3.15	10	11	14	35	35.0				
4						3.45					4.15	10	12	23	45	45.0				
5	30.74	4.30	4.80			4.45					5.15	10	17	23	50	53.6				
6						5.43					6.15	14	21	15	50	68.2				
7						6.37					7.15	12	15	23	50	53.6				
8						7.43					8.15	12	14	22	48	48.0				
9						8.45					9.15	10	12	18	40	40.0				
10						9.45					10.15	15	24	11	50	68.2				
11	24.74	6.00	10.80	10.37				11.15	14	36		50	75.0							
	24.19	0.55	11.35	11.35	有機質シルト	暗茶褐色		11m以深は未分解の有機物を混入するシルト。 腐植した木根を混入する。	11.35				20							

# ボーリング柱状図

調査名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.                   No. 6

事業・工事名

シートNo. 1-2446

ボーリング名	No. 6	調査位置	横浜市港南区日野二丁目20番40号				北緯	35° 23' 49.38"				
発注機関	横浜市建築局学校整備課			調査期間	2022年8月8日～2022年8月10日			東経	139° 35' 1.27"			
調査業者名	(株)建設技術コンサルタント 電話 (045-453-3241)		主任技師	森田亮		現場代理人	森田亮	コア鑑定者	森田亮	ボーリング責任者	石田詠一	
孔口標高	TP +35.66m	角			方			使用機種	YBM-05D		自動落下装置	
総掘進長	18.45m	度			向			エンジン	NFAD		ポンプ	V-5P

標尺 m	層厚 m	柱状 図	土質 区分	色調 密度	相対 稠度	相対 稠度	記 事	孔内水位 m / 測定月日	標準貫入試験				N 値 ○	原位置試験		試料採取		室内試験 ( 月 日 )	掘 進	
									深 度 m	10cm毎の 打撃回数				打撃回数 / 貫入量 cm	深 度 m	試 験 名 および結果	深 度 m			採 取 方 法
										0 10	10 20	20 30								
35.16	0.50	0.50	盛土	褐灰			上部約5cmはAs。以深、粘性土。礫、碎石混入。													
33.16	2.00	2.50	凝灰質粘土	黄灰			1.0m付近迄、粘性非常に強位。1.4m以深、互層状に5~10cmの砂層を挟在する。細かい有機物点在。	8/10 7.60	1.65	1 2 2 5	5.0									
27.06	6.10	8.60	シルト	暗青灰			5m付近迄、全体的に細砂を多量に混入する。腐植物、浮石粒を点在する。6m付近、レンズ上に細砂を挟在する。炭化物を混入。7m付近、帯状に細砂を混入。7~8m間、有機質シルト、細砂を挟在する。水位は、掘削終了後、汲み上げ後の翌朝水位。		2.45	3 4 3 10	10.0									
24.76	2.30	10.90	有機質シルト	黒~暗灰			固結する。腐植物、炭化物を混入する。10m以深、細かい浮石を混入する。		3.15	5 5 8 18	18.0									
22.66	2.10	13.00	シルト質細砂	茶褐			赤褐色~黒褐色に酸化している固結状を呈す。12m附近は、ブロック状に黄灰色の砂質粘土を多量に混入する。		3.45	6 8 7 21	21.0									
21.36	1.30	14.30	シルト	暗緑灰			浮石粒点在。不規則に細砂を混入。下部、有機質シルトを挟在。		4.15	4 5 7 16	16.0									
20.86	0.50	14.80	浮石	淡灰			含水中位。		4.45	4 4 8 16	16.0									
17.21	3.65	18.45	シルト	暗青灰			全体的に少量の砂を混入する。浮石粒を点在する。腐植物を混入する。18m、砂をやや多く混入する。炭化物を混入する。		5.15	4 5 7 16	16.0									
									6.15	4 4 8 16	16.0									
									6.45	4 4 8 16	16.0									
									7.15	5 8 7 20	20.0									
									7.45	5 8 7 20	20.0									
									8.15	5 8 9 22	22.0									
									8.45	5 8 9 22	22.0									
									9.15	12 16 16 44	44.0									
									9.45	12 16 16 44	44.0									
									10.15	12 13 18 43	43.0									
									10.45	12 13 18 43	43.0									
									11.15	11 16 21 48	48.0									
									11.45	11 16 21 48	48.0									
									12.15	3 9 38 50	53.6									
									12.43	3 9 38 50	53.6									
									13.15	9 41 50	75.0									
									13.35	9 41 50	75.0									
									14.15	7 11 32 50	51.7									
									14.44	7 11 32 50	51.7									
									15.15	12 19 19 50	57.7									
									15.41	12 19 19 50	57.7									
									16.15	11 16 20 47	47.0									
									16.43	11 16 20 47	47.0									
									17.15	10 10 16 36	36.0									
									17.45	10 10 16 36	36.0									
									18.15	9 12 18 39	39.0									
									18.45	9 12 18 39	39.0									

# ボーリング柱状図

調査名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.                   No. 7

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 7	調査位置	横浜市港南区日野二丁目20番40号				北緯	35° 23' 50.58"				
発注機関	横浜市建築局学校整備課			調査期間	2022年8月12日～2022年8月12日			東経	139° 34' 58.30"			
調査業者名	株式会社建設技術コンサルタント 電話 (045-453-3241)		主任技師	森田 亮		現場代理人	永峯功	コア鑑定者	高田誉	ボーリング責任者	高田誉	
孔口標高	TP +35.43m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試験機	TOHO-D0	ハンマー落下用具	自動落下装置
総掘進長	12.35m	度		向				エンジン		ヤンマー	ポンプ	カノーV5

標尺 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 m / 測定月日	標準貫入試験				N 値 — ○ —	原位置試験		試料採取		室内試験 ( ) 掘進 月日		
										深 度 m	10cm毎の 打撃回数				打撃回数 / 貫入量 cm	深 度 m	試験名 および結果	深 度 m		試料 番号	採取 方法
											0	10	20								
1	34.63	0.80	0.80	盛土	暗灰～黒灰			上部5cmアスコン。下約10cm改良土。以深0.40mまで碎石。以深礫混じり粘性土。		1.15	1	2	2	5	5.0						
	33.93	0.70	1.50	凝灰質シルト	暗茶褐			粘性非常に強位。若干、孔壁の膨らみ有り。		1.45	1	2	2	30							
2				シルト	暗褐灰			部分的に凝固状を呈し、所々礫状コアにて採取される。3.00m付近、全体的に微砂を混入。粘性弱。GL-2mまで無水掘削するが水位は不明。		2.15	1	2	1	4	4.0						
3										2.45	1	3	1	5	5.0						
4	31.53	2.40	3.90							3.15	1	3	1	5	5.0						
5				粘土	暗灰			全体的に貝殻片を混入。固結状の部分が多く、短柱状・棒状コアにて採取される。5.00m付近、貝殻片を多く混入。6.00m付近、貝殻片・腐植物・炭化物を混入。7.00m付近、砂を多く含有。貝殻片・腐植物を混入。8.00m付近、浮石粒を多く混入する。		3.45	7	9	16	32	32.0						
6										4.15	7	9	16	32	32.0						
7										4.45	7	9	16	30							
8										5.15	21	29	50	50	83.3						
9	26.63	4.90	8.80	凝灰質シルト	暗灰～暗緑灰			粒状の浮石・砂粒状の火砕物を多く混入する。粗粒状で粘性無し。引拔力が非常に強い。礫状・短柱状コアにて採取される。14.00m付近より暗緑灰色を混入する。		5.33	8	8	18	18							
10										6.15	12	13	20	45	45.0						
11										6.45	12	13	20	30							
12	23.08	3.55	12.35							7.15	24	26	50	50	75.0						
										7.35	24	26	50	20							
										8.15	18	20	12	50	60.0						
										8.40	18	20	12	5	25						
										9.15	7	10	11	28	28.0						
										9.45	7	10	11	30							
										10.15	14	15	16	45	45.0						
										10.45	14	15	16	30							
										11.15	15	15	18	48	48.0						
										11.45	15	15	18	30							
										12.15	20	30	50	50	75.0						
										12.35	20	30	50	20							

# ボーリング柱状図

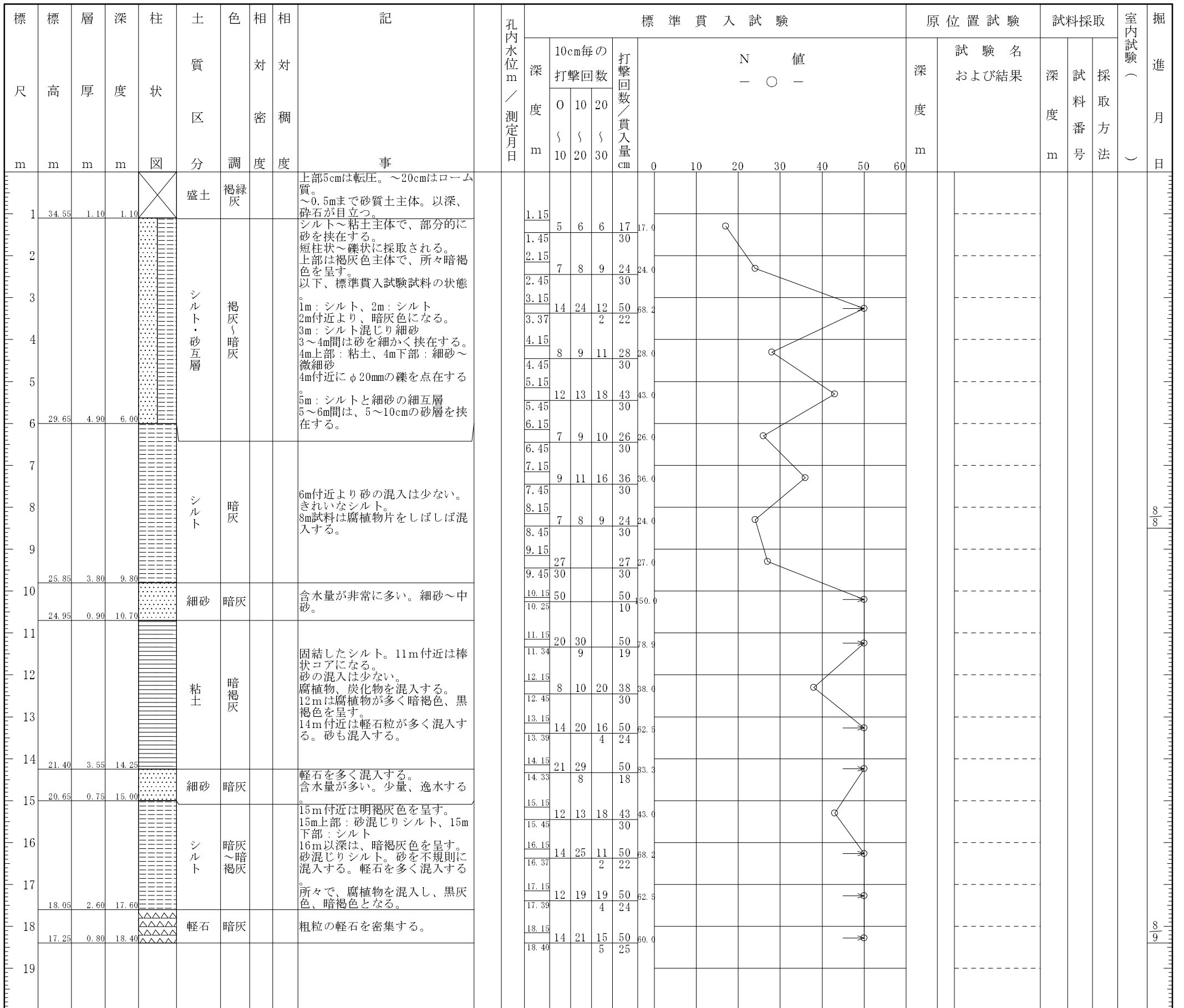
調査名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.                               No. 8

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 8		調査位置	横浜市港南区日野二丁目20番40号				北緯	35° 23' 49.63"						
発注機関	横浜市建築局学校整備課				調査期間	2022年8月8日～2022年8月10日			東経	139° 34' 59.84"					
調査業者名	株式会社建設技術コンサルタント 電話 (045-453-3241)		主任技師	森田 亮		現場代理人	永峯功	コア鑑定者	高田 誉	ボーリング責任者	高田 誉				
孔口標高	TP +35.65m	角			方			地盤勾配	水平 0°	使用機種	試験機	TOHO-D0	ハンマー落下用具	自動落下装置	
総掘進長	18.40m		度	0°		向	鉛直 90°		エンジン	ヤンマー	ポンプ	V-5P			



# ボーリング柱状図

調査名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo.                   No. 9

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 9	調査位置	横浜市港南区日野二丁目20番40号				北緯	35° 23' 49.48"									
発注機関	横浜市建築局学校整備課			調査期間	2022年8月8日～2022年8月10日			東経	139° 34' 58.84"								
調査業者名	株式会社建設技術コンサルタント 電話 (045-453-3241)		主任技師	森田 亮		現場代理人	永峯功	コア鑑定者	松倉 友也	ボーリング責任者	松倉 友也						
孔口標高	TP +35.56m	角			方			地盤勾配			使用機種	試験機	YBM-05		ハンマー落下用具	自動落下装置	
総掘進長	18.37m	度			向			鉛直			エンジン	ヤンマー		ポンプ	カノーV5		

標尺 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記述	孔内水位 m / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 m	試験名 および結果	試料採取 深度 m 試料番号	採取方法	室内試験 ( 掘進 月日	
										深 度 m	10cm毎の 打撃回数			打撃回数 / 貫入量 cm						N 値 ○
											0 10	10 20	20 30							
1			X	盛土	暗褐灰			上部15cmは砂質土。以下、泥岩片混じり粘性土。0.4m付近はゴミ(缶)を混じる。1.8m前後は礫を混入する。		1.15	3	3	4	10	10.0					
2	33.66	1.90	1.90	〰〰〰	火山灰質粘性土	茶褐		炭化物、軽石を混入する。3m付近は砂を混入する。		1.45	1	2	2	5	5.0		2.00	D9-1	D	別孔三軸UU
3	31.96	1.70	3.60	〰〰〰	砂質シルト	暗灰		粒径不均一で中砂を混入する。軽石を混入する。しばしば逸水する。		2.15	1	1	1	3	3.0		2.80			
4	30.96	1.00	4.60	〰〰〰	粘土	暗灰		粘土～シルト。少量の軽石を混入する粘土。6.95～7.45mは軽石、砂を多く混入する。		3.45	1	13	7	30	30.0					
5				〰〰〰	粘土	暗灰				4.15	1	1	3	5	5.0					
6				〰〰〰	粘土	暗灰				4.45				30	24.0					
7				〰〰〰	粘土	淡黒灰		やや黒みを帯びる粘土。少量の有機物を混入する。		5.15	5	8	11	24	24.0					
8				〰〰〰	粘土	暗緑灰		14m付近は砂を混入する。15m付近は軽石を混入する。		5.45	8	11	14	33	33.0					
9				〰〰〰	粘土	暗青灰		軽石を混入する細砂。少量の粘土と中砂を混入する。		6.15	8	11	14	33	33.0					
10				〰〰〰	粘土	暗緑灰				6.45	8	11	14	33	33.0					
11	24.56	6.40	11.00	〰〰〰	粘土	暗黒灰				7.15	6	9	15	30	30.0					
12				〰〰〰	粘土	暗黒灰				7.45	7	11	15	33	33.0					
13				〰〰〰	粘土	暗緑灰				8.15	7	11	15	33	33.0					
14	21.56	3.00	14.00	〰〰〰	粘土	暗緑灰				8.45				30	31.0					
15	19.86	1.70	15.70	〰〰〰	粘土	暗青灰				9.15	7	10	14	31	31.0					
16				〰〰〰	粘土	暗青灰				9.45				30	44.0					
17				〰〰〰	粘土	暗青灰				10.15	8	14	22	44	44.0					
18	17.19	2.67	18.37	〰〰〰	粘土	暗青灰				10.45	8	13	14	35	35.0					
19				〰〰〰	粘土	暗青灰				11.15	10	15	20	45	45.0					
				〰〰〰	粘土	暗青灰				11.45	14	20	16	50	50.0					
				〰〰〰	粘土	暗青灰				12.15	14	13	15	42	42.0					
				〰〰〰	粘土	暗青灰				12.45	13	16	16	45	45.0					
				〰〰〰	粘土	暗青灰				13.15	14	15	16	45	45.0					
				〰〰〰	粘土	暗青灰				13.45	14	15	16	45	45.0					
				〰〰〰	粘土	暗青灰				14.15	14	17	19	50	50.0					
				〰〰〰	粘土	暗青灰				14.45	14	31	5	50	68.2					
				〰〰〰	粘土	暗青灰				15.15			2	22						

# ボーリング柱状図

調査名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査業務委託

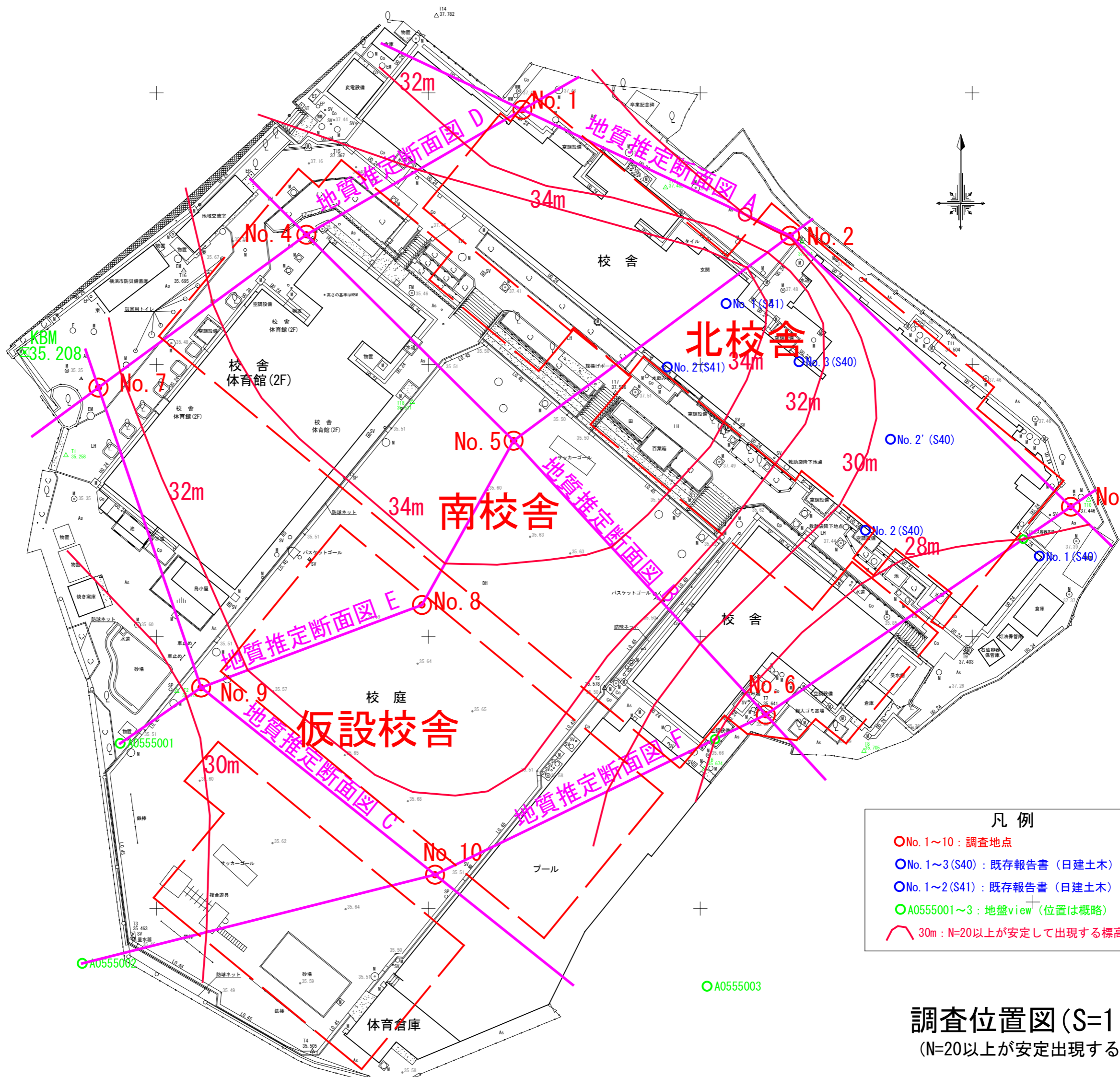
ボーリングNo.             No. 10

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 10	調査位置	横浜市港南区日野二丁目20番40号				北緯	35° 23' 48.86"		
発注機関	横浜市建築局学校整備課			調査期間	2022年8月15日～2022年8月16日		東経	139° 34' 59.92"		
調査業者名	株式会社建設技術コンサルタント 電話 (045-453-3241)		主任技師	森田 亮		現場代理人	永峯功	コア鑑定者	高田誉	
ボーリング責任者	高田誉									
孔口標高	TP +35.58m	角			方			地盤勾配	水平 0°	
総掘進長	12.30m	度			使用機種	試験機	TOHO-D0		ハンマー落下用具	自動落下装置
					エンジン	ヤンマー		ポンプ	カノーV5	

標尺 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記述	孔内水位 m / 測定月日	標準貫入試験				N 値 — ○ —	原位置試験		試料採取		室内試験 ( )	掘進 月日			
										深 度 m	10cm毎の 打撃回数				貫入量 cm	深 度 m	試 験 名 および結果	深 度 m			試 料 採 取 方 法		
											0	10	20										
	35.38	0.20	0.20	盛土	褐色			上部、砂。酸化したシルト。															
1				シルト	暗灰 褐色			軽石などを混入するやや凝灰質のシルト。	1.15	5	6	6	17	17.0									
2			1.45																				
3			2.15			3	4		5	12	12.0												
4	31.88	3.50	3.70			3.45	6		6	7	19	19.0											
5				シルト	暗灰			シルト主体。所々粘土を混入する。10cm程度の棒状コアとなる。7m付近より、細かい腐植物を混入する。	4.15	7	9	14	30	30.0									
6			4.45																				
7			5.15			5	8		14	27	27.0												
8			6.15			10	15		18	43	43.0												
9	26.43	5.45	9.15			6.45	12		15	22	49	49.0											
10	25.78	0.65	9.80			7.45	7		9	12	28	28.0											
11				中砂	暗灰			中砂～粗砂よりなる。	8.15	36	14	50	25.0										
12	23.28	2.50	12.30			9.27	2		12														
13				シルト	暗茶 褐色～ 暗灰			シルト主体。腐植物をしばしば混入する。1.0m付近に木塊を混入する。1.2m付近は軽石を少量混入する。	10.15	30	20	50	07.1										
			10.28			4	14																
			11.15			21	29		50	75.0													
			11.35			20																	
			12.15	25	25	50	00.0																
			12.30	5	15																		

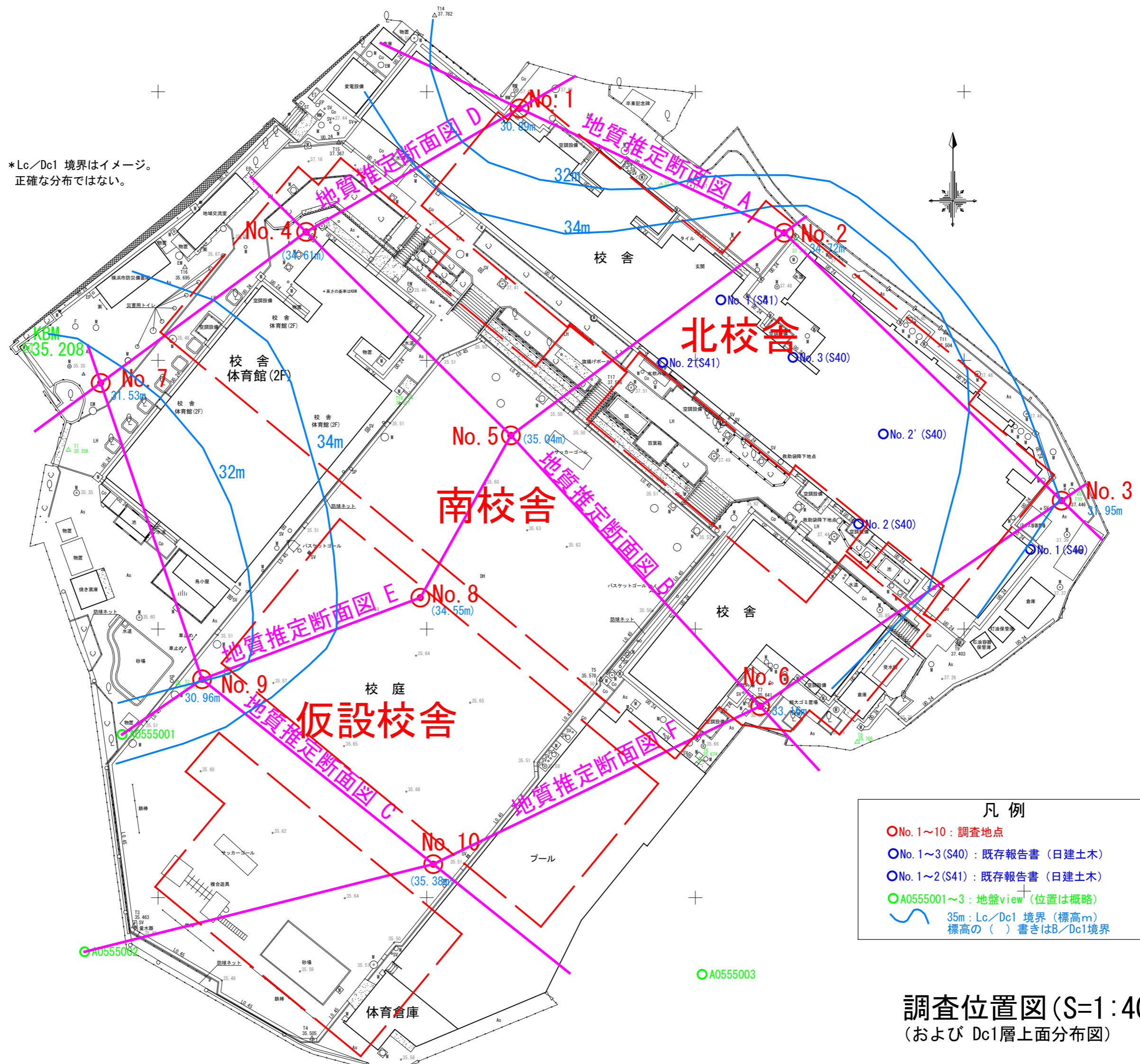


**凡例**

- No. 1~10 : 調査地点
- No. 1~3 (S40) : 既存報告書 (日建土木)
- No. 1~2 (S41) : 既存報告書 (日建土木)
- A0555001~3 : 地盤view (位置は概略)
- 〰 30m : N=20以上が安定して出現する標高 (TP)

**調査位置図 (S=1:400)**  
(N=20以上が安定出現する標高)

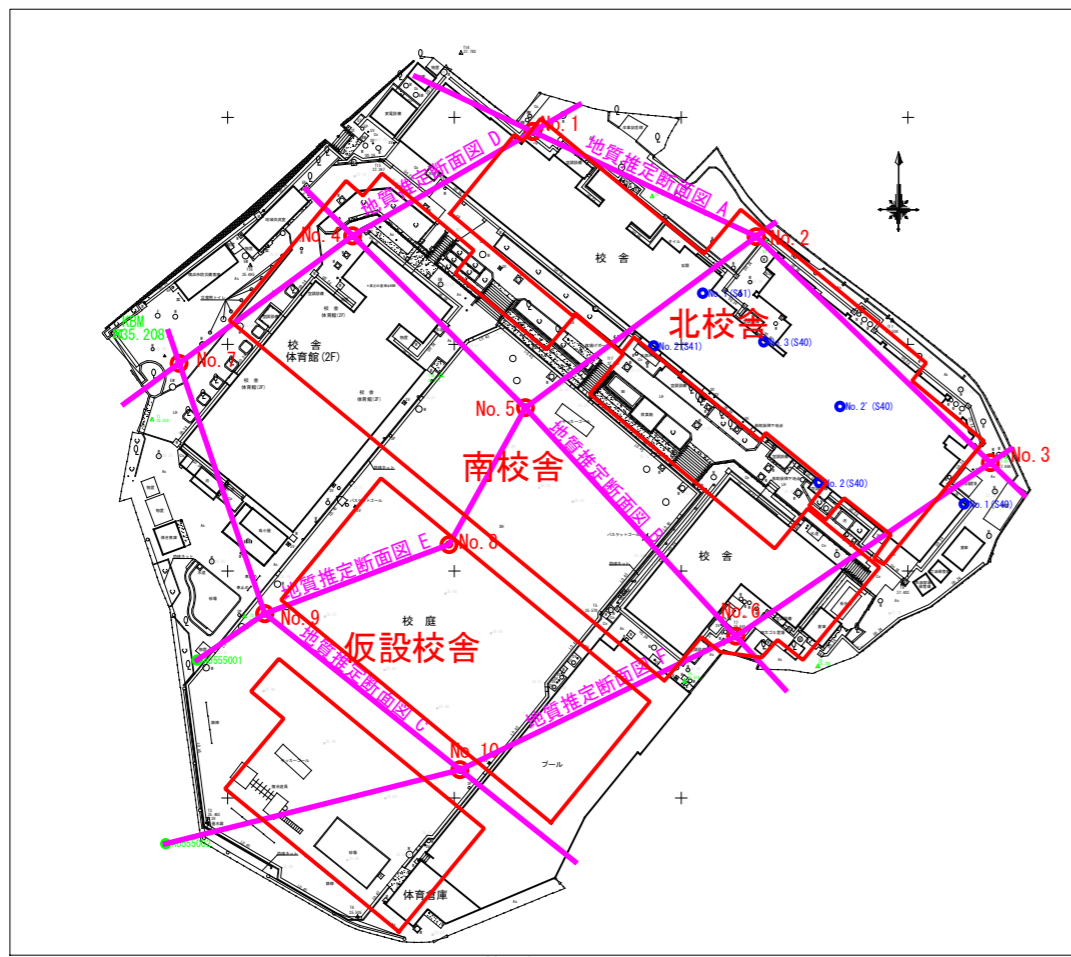
\*Lc/Dc1 境界はイメージ。  
正確な分布ではない。



凡例	
○No. 1~10	調査地点
○No. 1~3 (S40)	既存報告書 (日建土木)
○No. 1~2 (S41)	既存報告書 (日建土木)
○A0555001~3	地盤view (位置は概略)
〰	35m: Lc/Dc1 境界 (標高m) 標高の ( ) 書きはB/Dc1境界

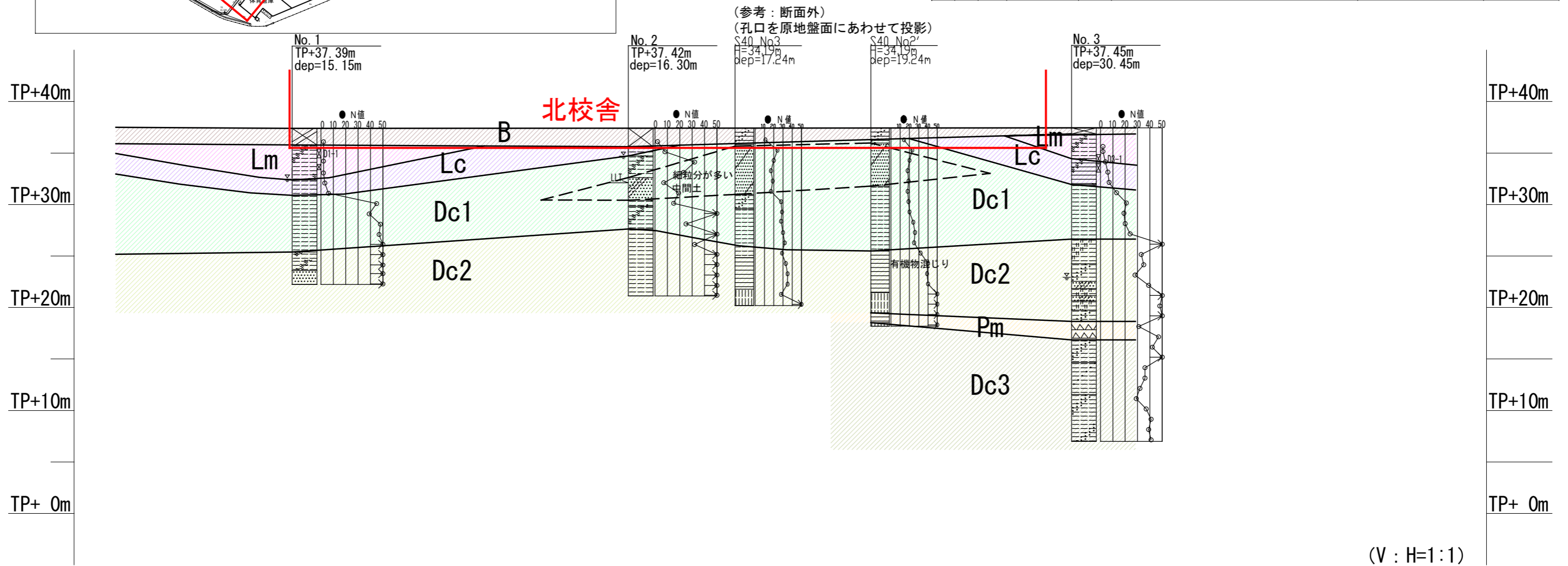
調査位置図 (S=1:400)  
(および Dc1層上面分布図)



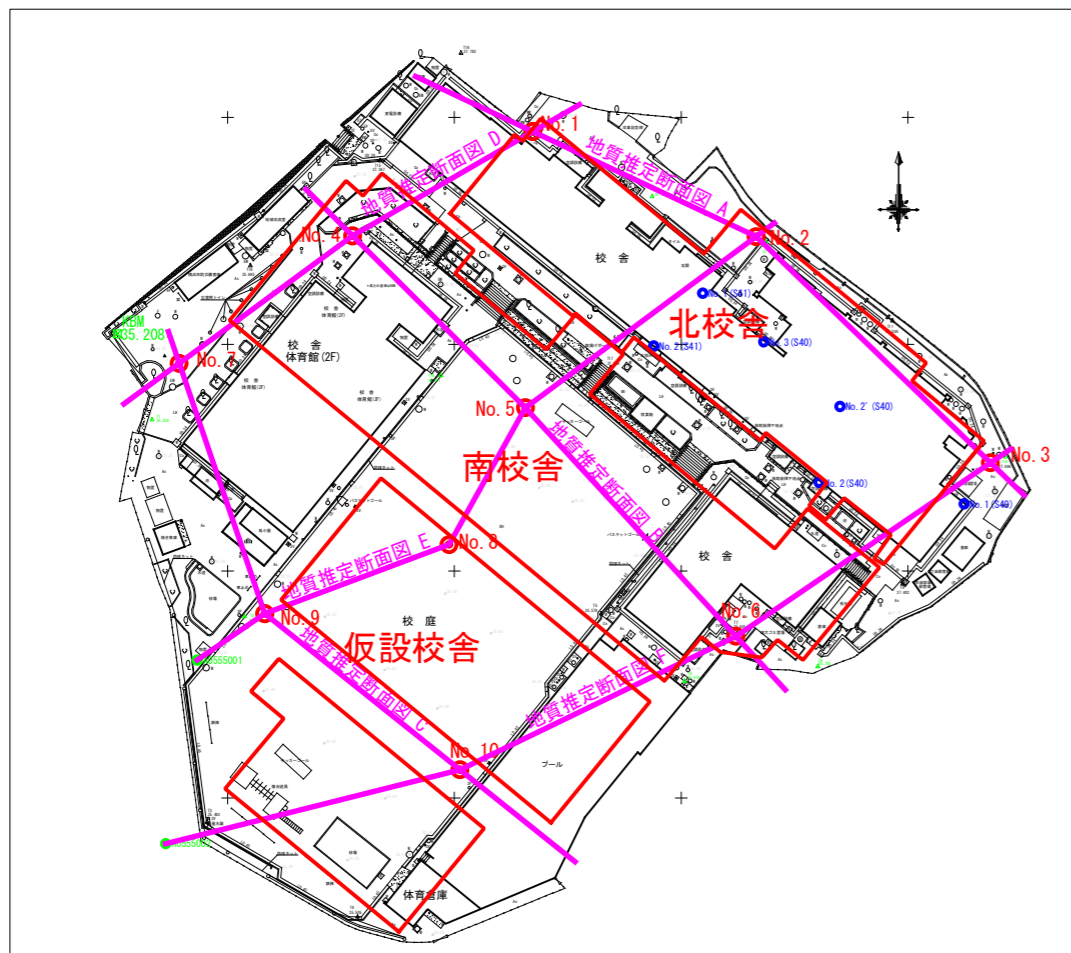


凡例

時代	地層名	記号	特徴	N値	備考
現世 第四紀 更新世 洪積層	盛土	B	学校敷地造成等のための盛土。 粘性土主体。	2 (一部 10) 平均 2.0	-
	ローム層	Lm	ボーリングNo. 1, 3, 6, 7, 9付近のTP+32m付近より上位に分布する。 火山灰を主とする粘性土である。茶褐~暗茶褐色を呈する。	2~5 平均 3.0	新期ローム層 (Y1) あるいは下末吉面上のローム層 (Y4)
	凝灰質粘土層	Lc	ボーリングNo. 1, 3, 6, 7, 9付近のTP+31m付近より上位に分布する。 火山灰を混入する粘性土で、微細砂~細砂、ときに中砂を混入する。黄褐~黄褐色を呈する。	3~10 平均 5.7	
	粘性土層1	Dc1	シルト~粘土を主とする。場所により凝灰質シルトとなるほか、砂を多く混入しシルト質砂の部分も見られる。ときおり腐植物、炭化物、貝殻片を混入する。	7~136 平均 37.2 縁辺部 (N=45以上を特異値とすると) 平均N=25.1 中央部 (N=50以上を特異値とすると) 平均N=29.0	相模層群 ?風ヶ浦層
	粘性土層2	Dc2	シルト、有機質シルト、凝灰質シルト、粘土を主とし、ときおり砂を挟入する。頻りに腐植物を混入するほか、軽石を混入する。	28~166 平均 64.3 N=60以上を特異値とすると 平均N=40.7	
	軽石層	Pm	軽石が密集する部分である。柱状図で軽石と記載され部分のほか、軽石を多く混入する凝灰質シルト、軽石を混入する細砂がこれに相当する。	31~68 平均 51.5 N=50以上を特異値とすると 平均N=41.0	
粘性土層3	Dc3	Pm層の下位に分布する粘土、凝灰質シルト、砂質シルト、砂混じりシルトである。全体に砂を多く混入する。	29~125 平均 48.6 N=50以上を特異値とすると 平均N=37.9		

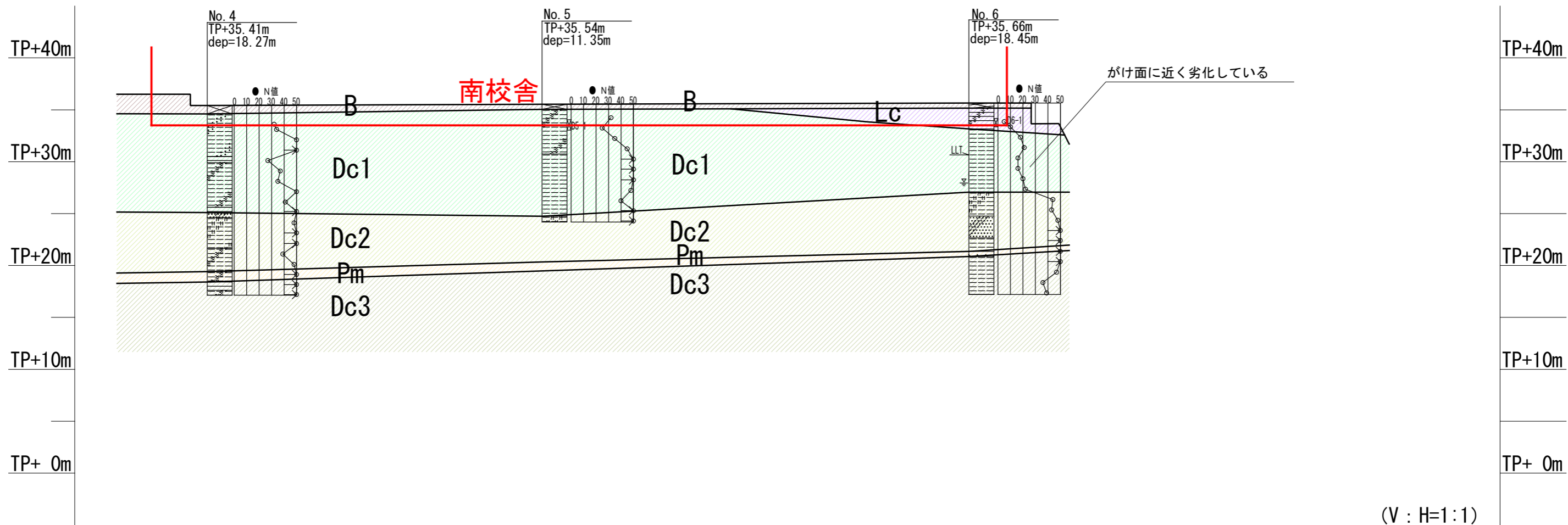


地質推定断面図\_A  
(VS=1:400)

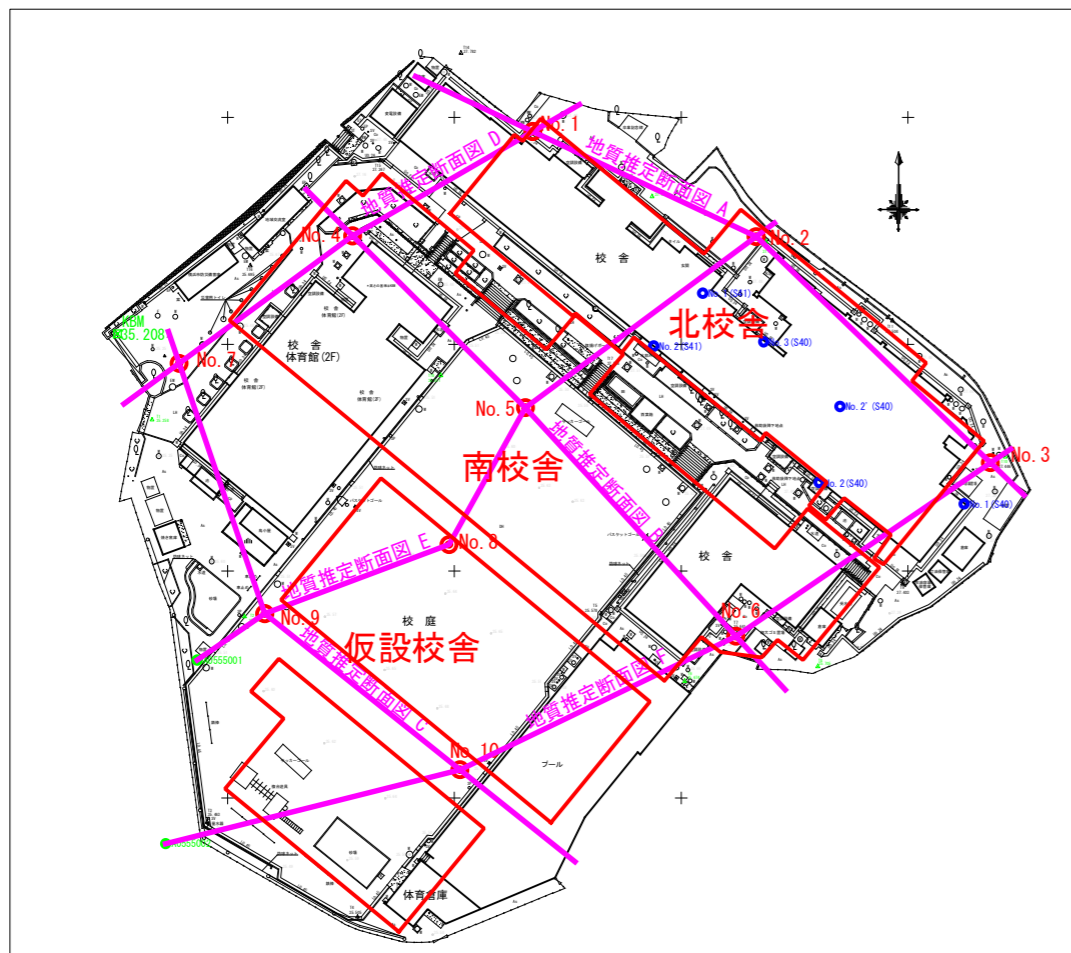


凡例

時代	地層名	記号	特徴	N値	備考
第四紀 更新世 洪積層	盛土	B	学校敷地造成等のための盛土。 粘性土主体。	2 (一部 10) 平均 2.0	-
	ローム層	Lm	ボーリングNo. 1, 3, 6, 7, 9付近のTP+32m付近より上位に分布する。 火山灰を主とする粘性土である。茶褐~暗茶褐色を呈する。	2~5 平均 3.0	新期ローム層 (Y1) あるいは下末吉面上のローム層 (Y4)
	凝灰質粘土層	Lc	ボーリングNo. 1, 3, 6, 7, 9付近のTP+31m付近より上位に分布する。 火山灰を混入する粘性土で、微細砂~細砂、ときに中砂を混入する。黄褐~黄褐色を呈する。	3~10 平均 5.7	
	粘性土層1	Dc1	シルト~粘土を主とする。場所により凝灰質シルトとなるほか、砂を多く混入しシルト質砂の部分も見られる。ときおり腐植物、炭化物、貝殻片を混入する。	7~136 平均 37.2 縁辺部 (N=45以上を特異値とする) 平均N=25.1 中央部 (N=50以上を特異値とする) 平均N=29.0	相模層群 ?風ヶ浦層
	粘性土層2	Dc2	シルト、有機質シルト、凝灰質シルト、粘土を主とし、ときおり砂を挟入する。頻りに腐植物を混入するほか、軽石を混入する。	28~166 平均 64.3 N=60以上を特異値とする 平均N=40.7	
	軽石層	Pm	軽石が密集する部分である。柱状図で軽石と記載され部分のほか、軽石を多く混入する凝灰質シルト、軽石を混入する細砂がこれに相当する。	31~68 平均 51.5 N=50以上を特異値とする 平均N=41.0	
粘性土層3	Dc3	Pm層の下位に分布する粘土、凝灰質シルト、砂質シルト、砂混じりシルトである。全体に砂を多く混入する。	29~125 平均 48.6 N=50以上を特異値とする 平均N=37.9		

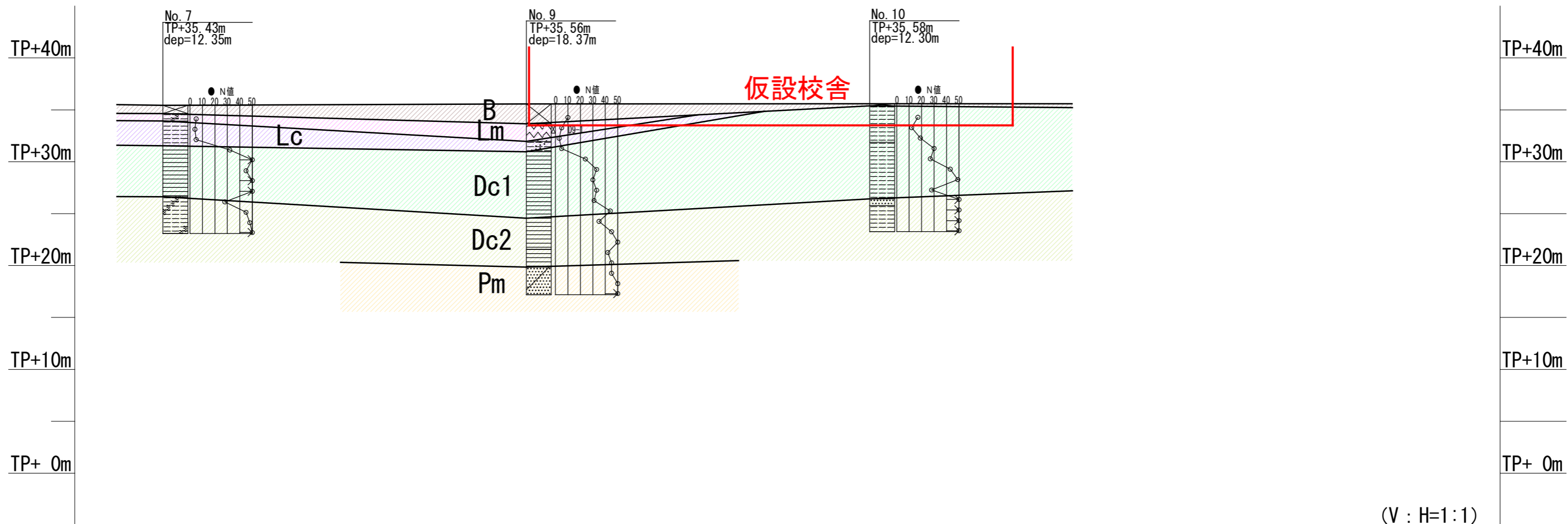


地質推定断面図\_B  
(VS=1:400)

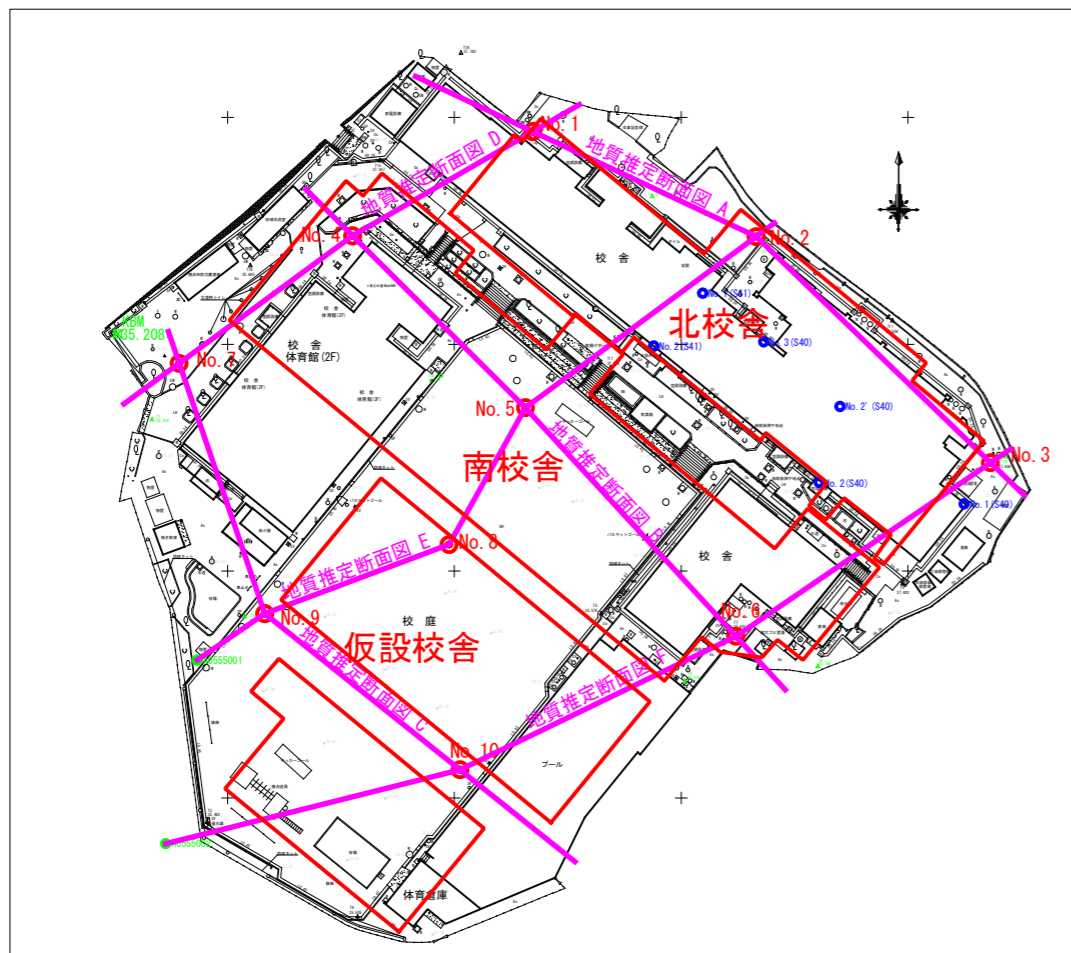


凡例

時代	地層名	記号	特徴	N値	備考
第四紀 更新世	洪積層	盛土	B 学校敷地造成等のための盛土。 粘性土主体。	2 (一部 10) 平均 2.0	-
		ローム層	Lm ボーリングNo. 1, 3, 6, 7, 9付近のTP+32m付近より上位に分布する。 火山灰を主とする粘性土である。茶褐~暗茶褐色を呈する。	2~5 平均 3.0	新期ローム層 (Y1) あるいは下末吉面上のローム層 (Y4)
		凝灰質粘土層	Lc ボーリングNo. 1, 3, 6, 7, 9付近のTP+31m付近より上位に分布する。 火山灰を混入する粘性土で、微細砂~細砂、ときに中砂を混入する。黄褐~黄褐色を呈する。	3~10 平均 5.7	
		粘性土層1	Dc1 シルト~粘土を主とする。場所により凝灰質シルトとなるほか、砂を多く混入しシルト質砂の部分も見られる。ときおり腐植物、炭化物、貝殻片を混入する。	7~136 平均 37.2 縁辺部 (N=45以上を特異値とする) 平均N=25.1 中央部 (N=50以上を特異値とする) 平均N=29.0	相模層群 ?風ヶ浦層
		粘性土層2	Dc2 シルト、有機質シルト、凝灰質シルト、粘土を主とし、ときおり砂を挟入する。頻りに腐植物を混入するほか、軽石を混入する。	28~166 平均 64.3 N=60以上を特異値とする 平均N=40.7	
		軽石層	Pm 軽石が密集する部分である。柱状図で軽石と記載され部分のほか、軽石を多く混入する凝灰質シルト、軽石を混入する細砂がこれに相当する。	31~68 平均 51.5 N=50以上を特異値とする 平均N=41.0	
粘性土層3	Dc3 Pm層の下位に分布する粘土、凝灰質シルト、砂質シルト、砂混じりシルトである。全体に砂を多く混入する。	29~125 平均 48.6 N=50以上を特異値とする 平均N=37.9			

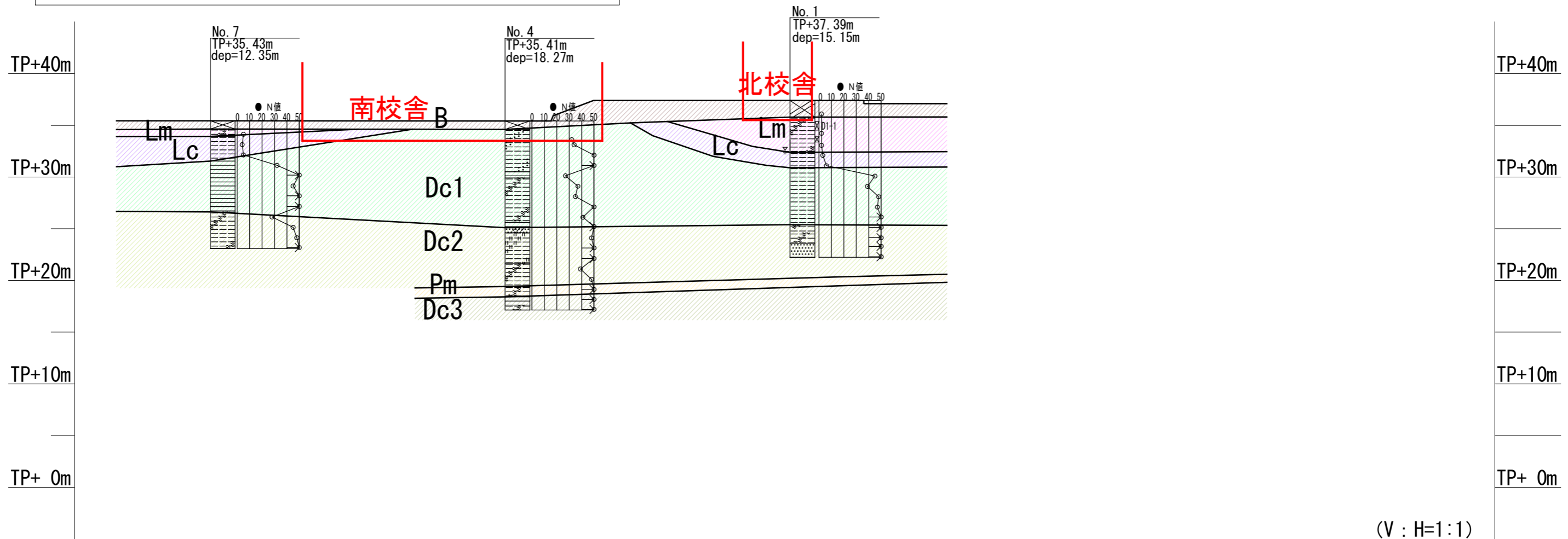


地質推定断面図\_C  
(VS=1:400)

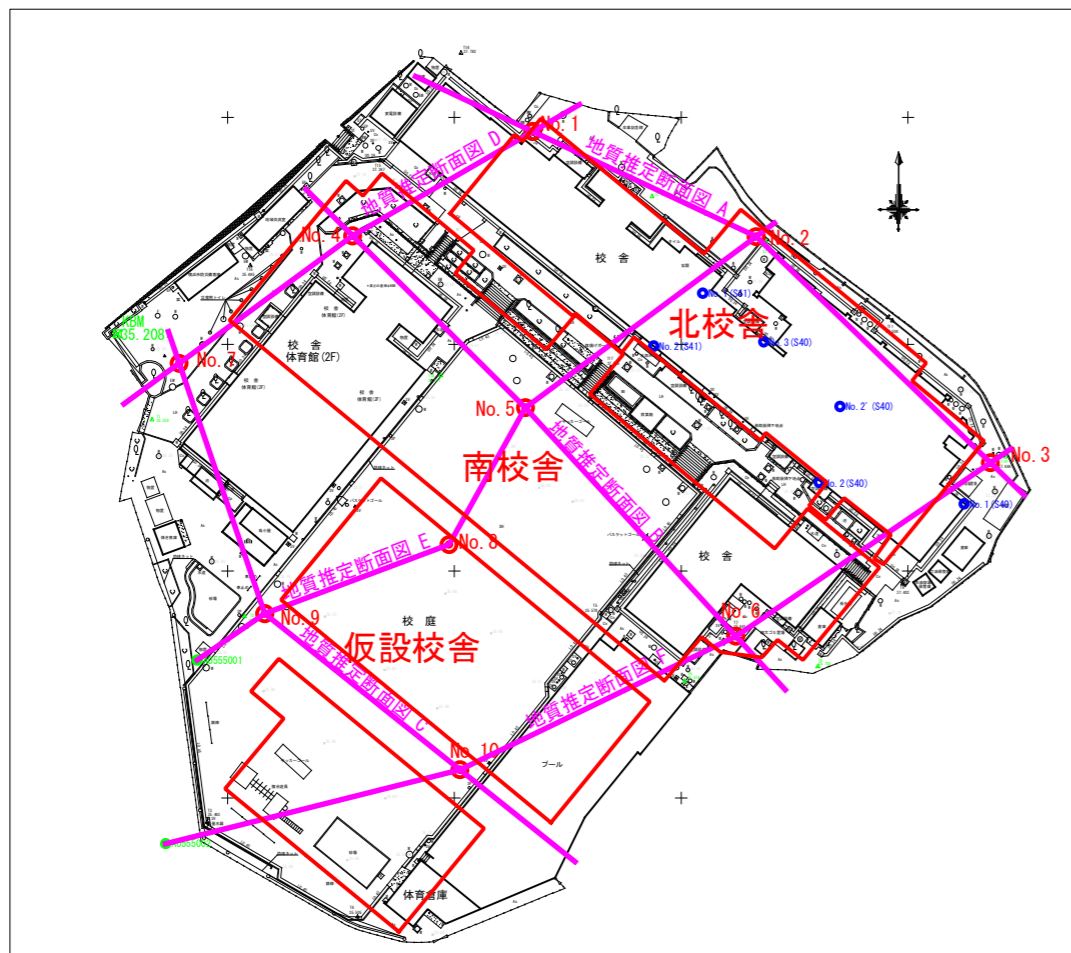


凡例

時代	地層名	記号	特徴	N値	備考
第四紀 更新世 洪積層	盛土	B	学校敷地造成等のための盛土。 粘性土主体。	2 (一部 10) 平均 2.0	-
	ローム層	Lm	ボーリングNo. 1, 3, 6, 7, 9付近のTP+32m付近より上位に分布する。 火山灰を主とする粘性土である。茶褐~暗茶褐色を呈する。	2~5 平均 3.0	新期ローム層 (Y1) あるいは 下末吉面上の ローム層 (Y4)
	凝灰質粘土層	Lc	ボーリングNo. 1, 3, 6, 7, 9付近のTP+31m付近より上位に分布する。 火山灰を混入する粘性土で、微細砂~細砂、ときに中砂を混入する。黄褐~黄褐色を呈する。	3~10 平均 5.7	
	粘性土層1	Dc1	シルト~粘土を主とする。場所により凝灰質シルトとなるほか、砂を多く混入しシルト質砂の部分も見られる。ときおり腐植物、炭化物、貝殻片を混入する。	7~136 平均 37.2 縁辺部(N=45以上を特異値とする) 平均N=25.1 中央部(N=50以上を特異値とする) 平均N=29.0	相模層群 ?風ヶ浦層
	粘性土層2	Dc2	シルト、有機質シルト、凝灰質シルト、粘土を主とし、ときおり砂を挟入する。頻りに腐植物を混入するほか、軽石を混入する。	28~166 平均 64.3 N=60以上を特異値とする 平均N=40.7	
	軽石層	Pm	軽石が密集する部分である。柱状図で軽石と記載され部分のほか、軽石を多く混入する凝灰質シルト、軽石を混入する細砂がこれに相当する。	31~68 平均 51.5 N=50以上を特異値とする 平均N=41.0	
粘性土層3	Dc3	Pm層の下位に分布する粘土、凝灰質シルト、砂質シルト、砂混じりシルトである。全体に砂を多く混入する。	29~125 平均 48.6 N=50以上を特異値とする 平均N=37.9		

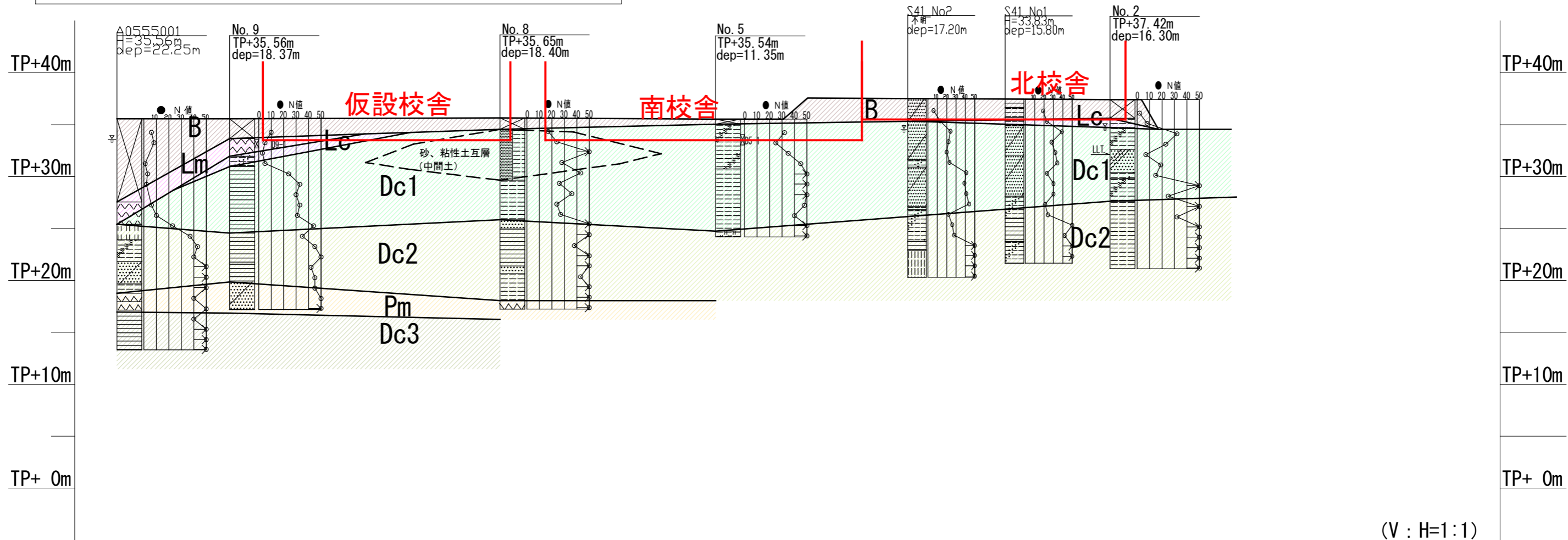


地質推定断面図\_D  
(VS=1:400)

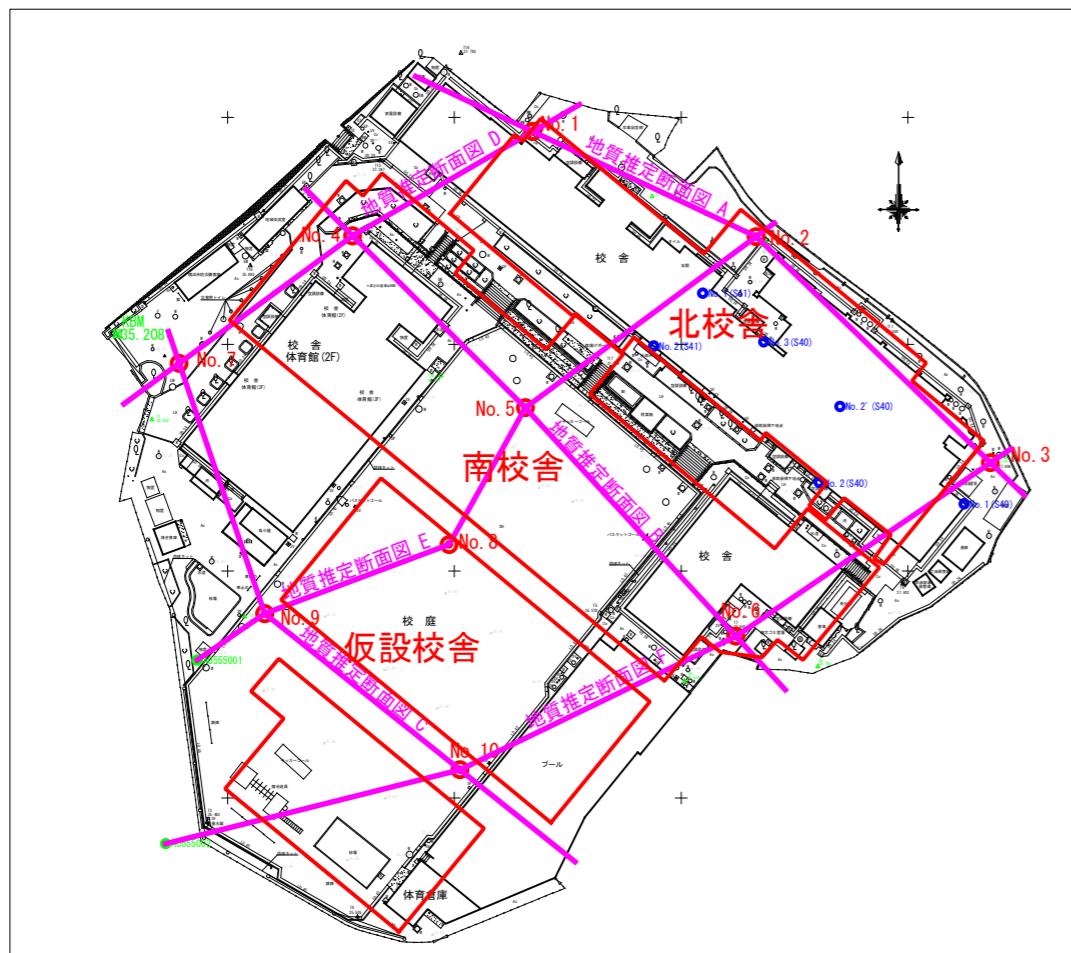


凡例

時代	地層名	記号	特徴	N値	備考
第四紀 更新世 洪積層	盛土	B	学校敷地造成等のための盛土。 粘性土主体。	2 (一部 10) 平均 2.0	-
	ローム層	Lm	ボーリングNo. 1, 3, 6, 7, 9付近のTP+32m付近より上位に分布する。 火山灰を主とする粘性土である。茶褐~暗茶褐色を呈する。	2~5 平均 3.0	新期ローム層 (Y1) あるいは下末吉面上のローム層 (Y4)
	凝灰質粘土層	Lc	ボーリングNo. 1, 3, 6, 7, 9付近のTP+31m付近より上位に分布する。 火山灰を混入する粘性土で、微細砂~細砂、ときに中砂を混入する。黄褐~黄褐色を呈する。	3~10 平均 5.7	
	粘性土層1	Dc1	シルト~粘土を主とする。場所により凝灰質シルトとなるほか、砂を多く混入しシルト質砂の部分も見られる。ときおり腐植物、炭化物、貝殻片を混入する。	7~136 平均 37.2 縁辺部(N=45以上を特異値とする) 平均N=25.1 中央部(N=50以上を特異値とする) 平均N=29.0	相模層群 ?風ヶ浦層
	粘性土層2	Dc2	シルト、有機質シルト、凝灰質シルト、粘土を主とし、ときおり砂を挟入する。頻りに腐植物を混入するほか、軽石を混入する。	28~166 平均 64.3 N=60以上を特異値とする 平均N=40.7	
	軽石層	Pm	軽石が密集する部分である。柱状図で軽石と記載され部分のほか、軽石を多く混入する凝灰質シルト、軽石を混入する細砂がこれに相当する。	31~68 平均 51.5 N=50以上を特異値とする 平均N=41.0	
粘性土層3	Dc3	Pm層の下位に分布する粘土、凝灰質シルト、砂質シルト、砂混じりシルトである。全体に砂を多く混入する。	29~125 平均 48.6 N=50以上を特異値とする 平均N=37.9		

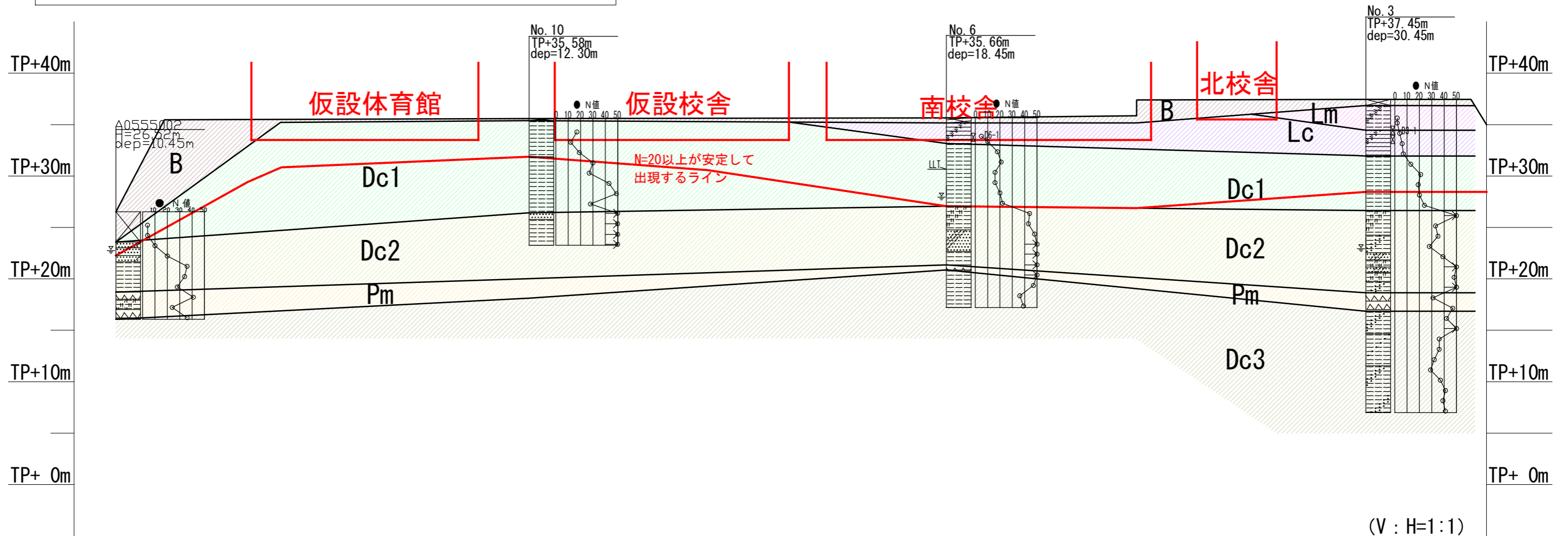


地質推定断面図\_E  
(VS=1:400)



凡例

時代	地層名	記号	特徴	N値	備考
第四紀 更新世 洪積層	盛土	B	学校敷地造成等のための盛土。 粘性土主体。	2 (一部 10) 平均 2.0	-
	ローム層	Lm	ボーリングNo. 1, 3, 6, 7, 9付近のTP+32m付近より上位に分布する。 火山灰を主とする粘性土である。茶褐~暗茶褐色を呈する。	2~5 平均 3.0	新期ローム層(Y1)あるいは下末吉面上のローム層(Y4)
	凝灰質粘土層	Lc	ボーリングNo. 1, 3, 6, 7, 9付近のTP+31m付近より上位に分布する。 火山灰を主とする粘性土で、微細砂~細砂、ときに中砂を混入する。黄褐~黄褐色を呈する。	3~10 平均 5.7	
	粘性土層1	Dc1	シルト~粘土を主とする。場所により凝灰質シルトとなるほか、砂を多く混入しシルト質砂の部分も見られる。ときおり腐植物、炭化物、貝殻片を混入する。	7~136 平均 37.2 縁辺部(N=45以上を特異値とすると)平均N=25.1 中央部(N=50以上を特異値とすると)平均N=29.0	相模層群? 風ヶ浦層
	粘性土層2	Dc2	シルト、有機質シルト、凝灰質シルト、粘土を主とし、ときおり砂を挟入する。頻りに腐植物を混入するほか、軽石を混入する。	28~166 平均 64.3 N=60以上を特異値とすると平均N=40.7	
	軽石層	Pm	軽石が密集する部分である。柱状図で軽石と記載され部分のほか、軽石を多く混入する凝灰質シルト、軽石を混入する細砂がこれに相当する。	31~68 平均 51.5 N=50以上を特異値とすると平均N=41.0	
粘性土層3	Dc3	Pm層の下位に分布する粘土、凝灰質シルト、砂質シルト、砂混じりシルトである。全体に砂を多く混入する。	29~125 平均 48.6 N=50以上を特異値とすると平均N=37.9		



地質推定断面図\_F  
(VS=1:400)

## (2) 孔内载荷试验结果

## 孔内載荷試験結果図

調査件名:	吉原小学校建替え工事に伴う地質調査業務委託		
試験地点:	No.2	試験日時:	2022年8月20日
試験深度:	GL- 5.30 m	使用ゴム筒:	生ゴムハイカー
地質名:	シルト質細砂	N値:	7 /30
		ポアソン比 $\nu$ :	0.3

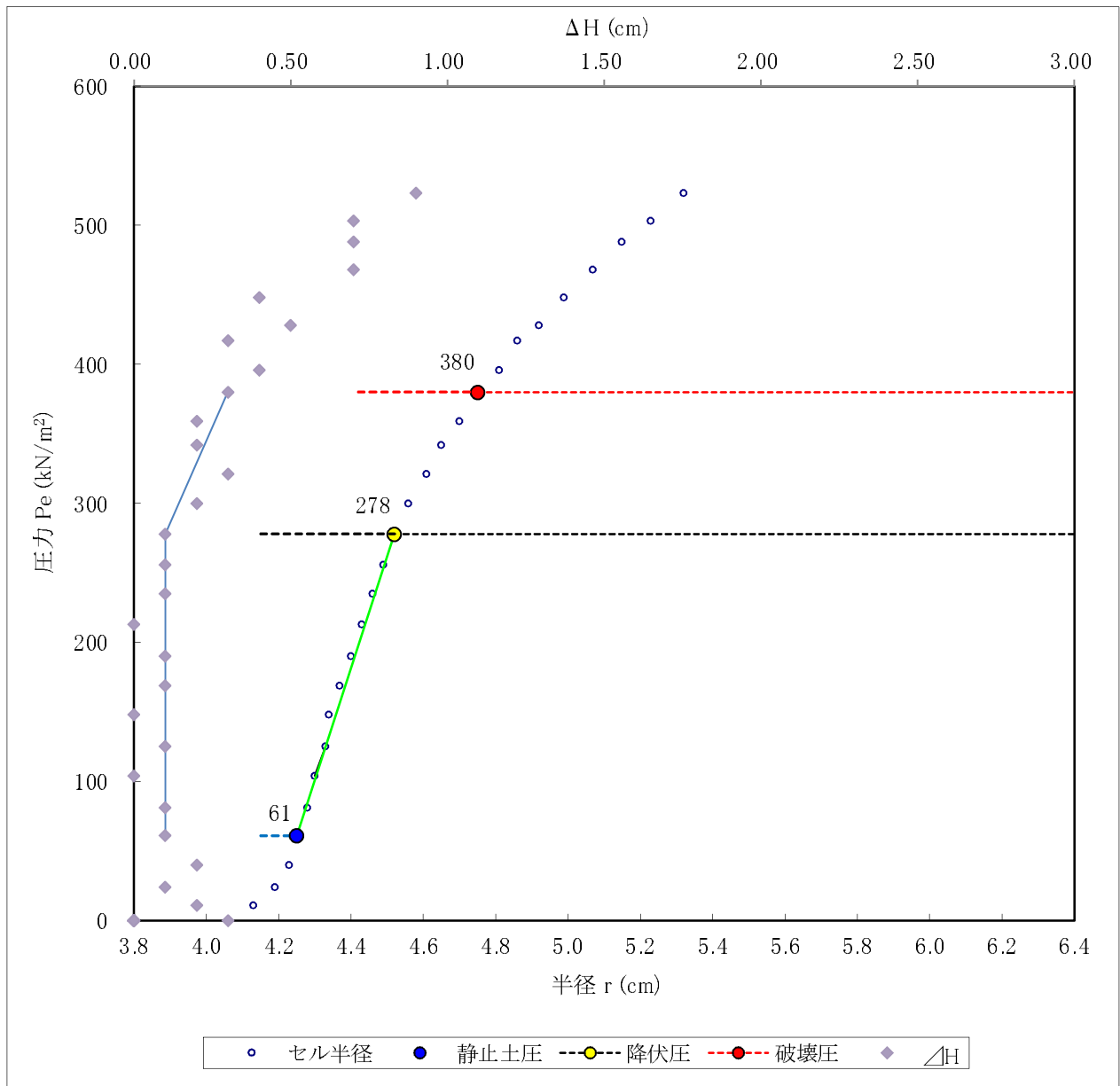
初期半径	$r_o$	4.25 cm	静止土圧	$P_o$	61 kN/m <sup>2</sup>		
降伏時半径	$r_y$	4.52 cm	降伏圧	$P_y$	278 kN/m <sup>2</sup>	真の降伏圧	$P_y$ 217 kN/m <sup>2</sup>
破壊時半径	$r_l$	4.75 cm	破壊圧	$P_l$	380 kN/m <sup>2</sup>	真の破壊圧	$P_l$ 319 kN/m <sup>2</sup>
中間半径	$r_m$	4.39 cm	地盤係数	K	80,400 kN/m <sup>3</sup>	変形係数	E <b>4,580</b> kN/m <sup>2</sup>

$$r_m \text{ (cm)} = (r_o + r_y) / 2 \qquad K \text{ (kN/m}^3\text{)} = \Delta P / \Delta r = (P_y - P_o) / ((r_y - r_o) / 100) \qquad E \text{ (kN/m}^2\text{)} = (1 + \nu) \cdot (r_m / 100) \cdot K$$

有効数字3桁 有効数字3桁

$$K = \frac{P_y - P_o}{r_y - r_o} \times 100 = 80,400 \text{ (kN/m}^3\text{)}$$

$$E = (1 + 0.3) \times \frac{4.39}{100} \times 80,400 = 4,580 \text{ (kN/m}^2\text{)}$$





JGS 1421	孔内載荷試験データシート	記録用紙
----------	--------------	------

調査件名： 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査業務委託  
 試験地点： No. 2                          試験者： 高田 誉                          試験日時： 2022年8月20日  
 試験深度： GL- 5.30 m                  自然水位： GL- 2.60 m                  孔内水位： GL- 1.00m

タンク高さ 1.20 m		セル半径 4.00 cm		初期スタンドパイプ水位 H <sub>0</sub> 3.00 cm							
ボアソン比 0.30		有効セル長 60.0 cm		挿入後スタンドパイプ水位 H <sub>0</sub> ' 3.20 cm							
静水圧 -4 kN/m <sup>2</sup>		タンク断面 98.52 cm <sup>2</sup>		載荷方式 A型 (等分布加重方式・・・1室式)							
セル水圧 kN/m <sup>2</sup>	ガス圧 kN/m <sup>2</sup>	スタンドパイプの読み値 H' (cm)				ΔH cm	H cm	PG kN/m <sup>2</sup>	PG-P kN/m <sup>2</sup>	Pe kN/m <sup>2</sup>	r cm
		15秒	30秒	1分	2分						
25	25	3.60	3.80	4.10		0.30	1.10	21	-4	0	4.07
50	50	4.50	4.80	5.00		0.20	2.00	35	-15	11	4.13
75	75	5.50	5.80	5.90		0.10	2.90	47	-28	24	4.19
100	100	6.30	6.40	6.60		0.20	3.60	56	-44	40	4.23
125	125	6.80	6.90	7.00		0.10	4.00	60	-65	61	4.25
150	150	7.30	7.40	7.50		0.10	4.50	65	-85	81	4.28
175	175	7.70	7.80	7.80		0.00	4.80	67	-108	104	4.30
200	200	8.00	8.10	8.20		0.10	5.20	71	-129	125	4.33
225	225	8.40	8.50	8.50		0.00	5.50	73	-152	148	4.34
250	250	8.80	8.90	9.00		0.10	6.00	77	-173	169	4.37
275	275	9.30	9.40	9.50		0.10	6.50	81	-194	190	4.40
300	300	9.70	9.90	9.90		0.00	6.90	83	-217	213	4.43
325	325	10.20	10.30	10.40		0.10	7.40	86	-239	235	4.46
350	350	10.70	10.90	11.00		0.10	8.00	90	-260	256	4.49
375	375	11.30	11.40	11.50		0.10	8.50	93	-282	278	4.52
400	400	11.80	12.00	12.20		0.20	9.20	96	-304	300	4.56
425	425	12.50	12.70	13.00		0.30	10.00	100	-325	321	4.61
450	450	13.40	13.60	13.80		0.20	10.80	104	-346	342	4.65
470	475	14.10	14.40	14.60		0.20	11.60	107	-363	359	4.70
495	500	15.00	15.20	15.50		0.30	12.50	111	-384	380	4.75
515	525	15.80	16.20	16.60		0.40	13.60	115	-400	396	4.81
540	550	17.00	17.20	17.50		0.30	14.50	119	-421	417	4.86
555	575	17.90	18.20	18.70		0.50	15.70	123	-432	428	4.92
580	600	19.20	19.60	20.00		0.40	17.00	128	-452	448	4.99
605	625	20.40	20.80	21.50		0.70	18.50	133	-472	468	5.07
630	650	22.00	22.50	23.20		0.70	20.20	138	-492	488	5.15
650	675	23.60	24.10	24.80		0.70	21.80	143	-507	503	5.23
675	700	25.20	25.70	26.60		0.90	23.60	148	-527	523	5.32

【備考】

## 孔内載荷試験結果図

調査件名:	吉原小学校建替え工事に伴う地質調査業務委託		
試験地点:	No.6	試験日時:	2022年8月9日
試験深度:	GL- 5.00 m	使用ゴム筒:	生ゴムハイカー
地質名:	シルト	N値:	16 /30
		ポアソン比 $\nu$ :	0.3

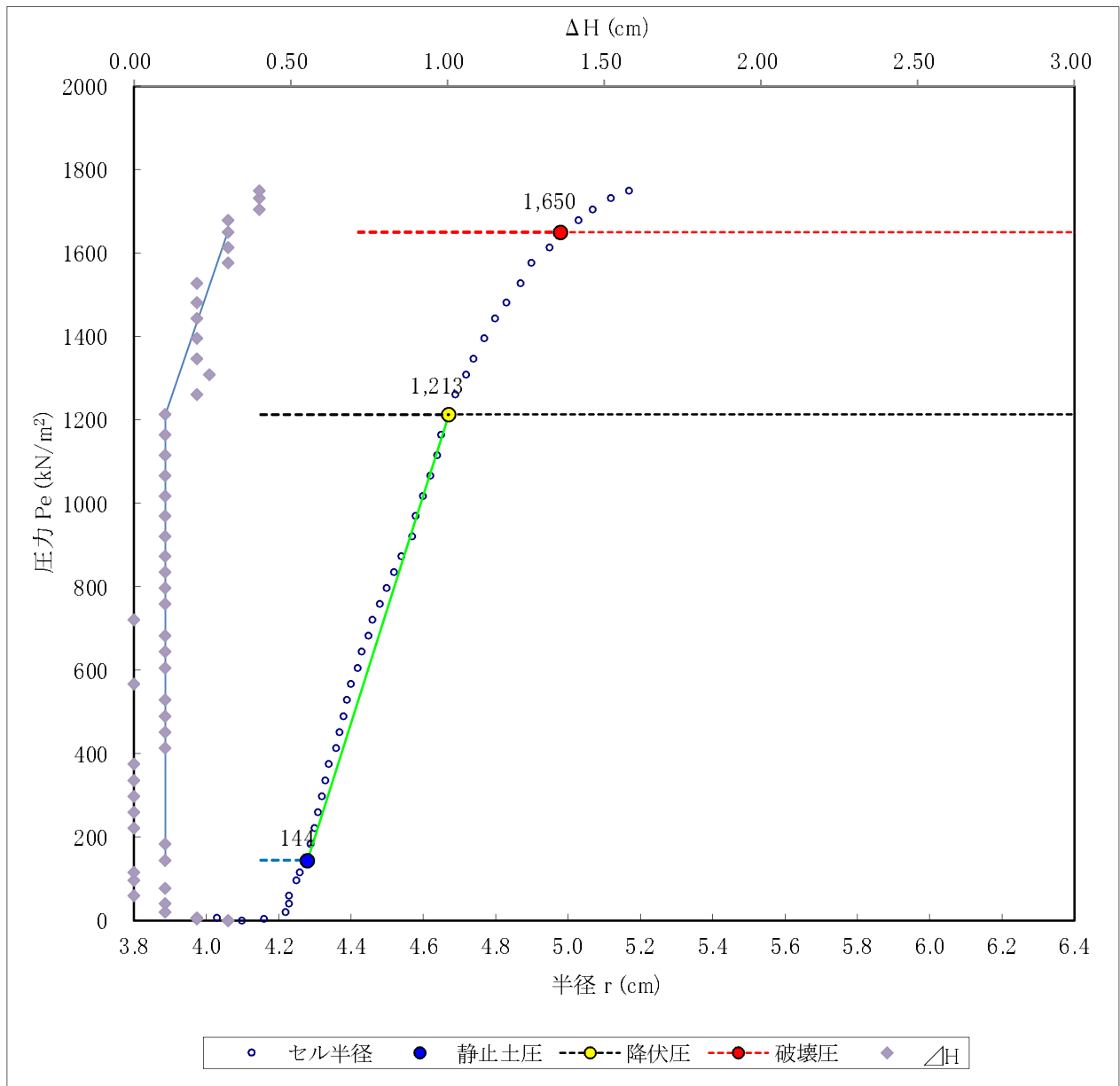
初期半径 $r_o$	4.28 cm	静止土圧 $P_o$	144 kN/m <sup>2</sup>		
降伏時半径 $r_y$	4.67 cm	降伏圧 $P_y$	1,213 kN/m <sup>2</sup>	真の降伏圧 $P_y$	1069 kN/m <sup>2</sup>
破壊時半径 $r_l$	4.98 cm	破壊圧 $P_l$	1,650 kN/m <sup>2</sup>	真の破壊圧 $P_l$	1506 kN/m <sup>2</sup>
中間半径 $r_m$	4.48 cm	地盤係数 $K$	274,000 kN/m <sup>3</sup>	変形係数 $E$	<b>15,900</b> kN/m <sup>2</sup>

$$r_m \text{ (cm)} = (r_o + r_y) / 2 \qquad K \text{ (kN/m}^3\text{)} = \Delta P / \Delta r = (P_y - P_o) / ((r_y - r_o) / 100) \qquad E \text{ (kN/m}^2\text{)} = (1 + \nu) \cdot (r_m / 100) \cdot K$$

有効数字3桁 有効数字3桁

$$K = \frac{P_y - P_o}{r_y - r_o} \times 100 = 274,000 \text{ (kN/m}^3\text{)}$$

$$E = (1 + 0.3) \times \frac{4.48}{100} \times 274,000 = 15,900 \text{ (kN/m}^2\text{)}$$



JGS 1421	孔内載荷試験データシート	記録用紙
----------	--------------	------

調査件名： 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査業務委託  
 試験地点： No.6 試験者： 石田 詠一 試験日時： 2022年8月9日  
 試験深度： GL- 5.00 m 自然水位： GL- 7.60 m 孔内水位： GL- 1.00m

タンク高さ	1.20 m	セル半径	4.00 cm	初期スタンドパイプ水位 $H_0$ 4.50 cm							
ボアソン比	0.30	有効セル長	60.0 cm	挿入後スタンドパイプ水位 $H_0'$ 3.50 cm							
静水圧	-22 $\text{kN/m}^2$	タンク断面	98.52 $\text{cm}^2$	載荷方式 A型 (等分布加重方式・・・1室式)							
セル水圧 $\text{kN/m}^2$	ガス圧 $\text{kN/m}^2$	スタンドパイプの読み値 $H'$ (cm)				$\Delta H$ cm	H cm	PG $\text{kN/m}^2$	PG-P $\text{kN/m}^2$	Pe $\text{kN/m}^2$	r cm
		15秒	30秒	1分	2分						
20	20	3.90	4.10	4.40	0.30	-0.10	-2	-22	0	3.99	
38	40	4.60	4.80	5.00	0.20	0.50	10	-28	6	4.03	
50	60	5.40	5.70	6.00	0.30	1.50	28	-22	0	4.10	
68	80	6.40	6.80	7.00	0.20	2.50	42	-26	4	4.16	
95	100	7.60	7.80	7.90	0.10	3.40	53	-42	20	4.22	
118	120	8.00	8.00	8.10	0.10	3.60	56	-62	40	4.23	
138	140	8.20	8.20	8.20	0.00	3.70	57	-81	59	4.23	
158	160	8.30	8.30	8.40	0.10	3.90	59	-99	77	4.25	
178	180	8.50	8.50	8.50	0.00	4.00	60	-118	96	4.25	
198	200	8.60	8.60	8.60	0.00	4.10	61	-137	115	4.26	
230	240	8.70	8.80	8.90	0.10	4.40	64	-166	144	4.28	
272	280	9.00	9.00	9.10	0.10	4.60	66	-206	184	4.29	
310	320	9.20	9.20	9.20	0.00	4.70	67	-243	221	4.30	
350	360	9.40	9.40	9.40	0.00	4.90	68	-282	260	4.31	
390	400	9.50	9.60	9.60	0.00	5.10	70	-320	298	4.32	
430	440	9.70	9.80	9.80	0.00	5.30	72	-358	336	4.33	
470	480	9.90	10.00	10.00	0.00	5.50	73	-397	375	4.34	
510	520	10.10	10.10	10.20	0.10	5.70	75	-435	413	4.36	
550	560	10.30	10.30	10.40	0.10	5.90	76	-474	452	4.37	
590	600	10.50	10.50	10.60	0.10	6.10	78	-512	490	4.38	
630	640	10.70	10.70	10.80	0.10	6.30	79	-551	529	4.39	
670	680	10.90	11.00	11.00	0.00	6.50	81	-589	567	4.40	
710	720	11.10	11.20	11.30	0.10	6.80	83	-627	605	4.42	
750	760	11.40	11.40	11.50	0.10	7.00	84	-666	644	4.43	
790	800	11.60	11.70	11.80	0.10	7.30	86	-704	682	4.45	
830	840	11.90	12.00	12.00	0.00	7.50	87	-743	721	4.46	
870	880	12.20	12.20	12.30	0.10	7.80	89	-781	759	4.48	
910	920	12.50	12.60	12.70	0.10	8.20	91	-819	797	4.50	
950	960	12.80	12.90	13.00	0.10	8.50	93	-857	835	4.52	
990	1000	13.20	13.30	13.40	0.10	8.90	95	-895	873	4.54	
1040	1050	13.60	13.70	13.80	0.10	9.30	97	-943	921	4.57	
1090	1100	13.90	14.00	14.10	0.10	9.60	98	-992	970	4.58	
1140	1150	14.20	14.30	14.40	0.10	9.90	100	-1040	1018	4.60	
1190	1200	14.50	14.60	14.70	0.10	10.20	101	-1089	1067	4.62	
1240	1250	14.80	14.90	15.00	0.10	10.50	103	-1137	1115	4.64	
1290	1300	15.10	15.20	15.30	0.10	10.80	104	-1186	1164	4.65	
1340	1350	15.40	15.50	15.60	0.10	11.10	105	-1235	1213	4.67	
1390	1400	15.70	15.80	16.00	0.20	11.50	107	-1283	1261	4.69	
1440	1450	16.20	16.30	16.54	0.24	12.04	109	-1331	1309	4.72	
1480	1500	16.60	16.70	16.90	0.20	12.40	111	-1369	1347	4.74	
1530	1550	17.10	17.20	17.40	0.20	12.90	113	-1417	1395	4.77	
1580	1600	17.60	17.80	18.00	0.20	13.50	115	-1465	1443	4.80	
1620	1650	18.20	18.40	18.60	0.20	14.10	117	-1503	1481	4.83	
1670	1700	18.80	19.00	19.20	0.20	14.70	120	-1550	1528	4.87	
1720	1750	19.40	19.60	19.90	0.30	15.40	122	-1598	1576	4.90	
1760	1800	20.20	20.40	20.70	0.30	16.20	125	-1635	1613	4.95	
1800	1850	20.90	21.10	21.40	0.30	16.90	128	-1672	1650	4.98	
1830	1900	21.70	21.90	22.20	0.30	17.70	130	-1700	1678	5.03	
1860	1950	22.50	22.70	23.10	0.40	18.60	133	-1727	1705	5.07	
1890	2000	23.40	23.70	24.10	0.40	19.60	137	-1753	1731	5.12	
1910	2050	24.40	24.60	25.00	0.40	20.50	139	-1771	1749	5.17	

【備考】

### (3) 室内土質試験結果

# 土質試験結果一覧表（基礎地盤）

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

整理年月日

2022年 9月 8日

整理担当者

中島 隆志

試料番号 (深 さ)		D1-1 (2.00~2.85m)	D3-1U (2.60~3.40m)	D3-1L (2.60~3.40m)	D5-1 (1.50~2.30m)	D6-1 (1.50~2.30m)	D9-1 (2.00~2.80m)	
一般	湿潤密度 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>	1.605	1.321	1.663	1.715	1.734	1.550	
	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	0.998	0.617	1.070	1.207	1.185	0.974	
	土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.682	2.817	2.742	2.765	2.722	2.776	
	自然含水比 $w_n$ %	60.9	114.1	55.4	42.1	46.3	59.1	
	間隙比 $e$	1.687	3.566	1.563	1.291	1.297	1.850	
	飽和度 $S_r$ %	96.8	90.1	97.2	90.2	97.2	88.7	
粒度	石分 (75mm以上) %							
	礫分 <sup>1)</sup> (2~75mm) %	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	
	砂分 <sup>1)</sup> (0.075~2mm) %	21.2	16.0	24.6	57.1	14.0	24.1	
	シルト分 <sup>1)</sup> (0.005~0.075mm) %	25.4	27.8	31.6	22.2	44.0	27.1	
	粘土分 <sup>1)</sup> (0.005mm未満) %	53.2	56.2	43.8	20.5	42.0	48.6	
	最大粒径 mm	4.75	2	2	4.75	0.850	4.75	
均等係数 $U_c$	-	-	-	-	-	-		
コンシステンシー特性	液性限界 $w_L$ %	86.6	145.2	100.5	49.0	70.6	98.9	
	塑性限界 $w_p$ %	40.5	76.8	45.5	34.6	38.3	53.1	
	塑性指数 $I_p$	46.1	68.4	55.0	14.4	32.3	45.8	
分類	地盤材料の分類名	砂質火山灰質粘性土 (II型)	砂質火山灰質粘性土 (II型)	砂質火山灰質粘性土 (II型)	細粒分質砂	砂まじり火山灰質粘性土 (I型)	砂質火山灰質粘性土 (II型)	
	分類記号	(VH <sub>2</sub> S)	(VH <sub>2</sub> S)	(VH <sub>2</sub> S)	(SF)	(VH <sub>1</sub> -S)	(VH <sub>2</sub> S)	
圧密	試験方法							
	圧縮指数 $C_c$							
一軸圧縮	一軸圧縮強さ $q_u$ kN/m <sup>2</sup>							
	一軸圧縮強さ $q_u$ kN/m <sup>2</sup>							
	一軸圧縮強さ $q_u$ kN/m <sup>2</sup>							
	一軸圧縮強さ $q_u$ kN/m <sup>2</sup>							
せん断	試験条件	UU三軸	UU三軸	UU三軸	UU三軸	UU三軸	UU三軸	
	全応力	$c$ kN/m <sup>2</sup>	33.8	45.6	41.1	137.0	71.0	31.7
		$\phi$ °	3.50	20.60	12.78	31.10	10.50	6.22
	有効応力	$c'$ kN/m <sup>2</sup>						
$\phi'$ °								
特記事項			採取試料の上部(Upper) 2.6~3.0m	採取試料の下部(Lower) 3.0~3.4m	Fc=40%以上と大きいので三軸圧縮試験は非排水条件で実施した。			

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

JIS A 1202 JGS 0111	土 粒 子 の 密 度 試 験 (測定)
------------------------	----------------------

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 31日

試験者 大竹 伸一

試料番号 (深さ)		D1-1 (2.00~2.85m)					
ピクノメーター No.		169	170	171			
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_b$ g		151.888	155.777	154.709			
$m_b$ をはかったときの内容物の温度 $T$ °C		25.0	25.0	25.0			
$T$ °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm <sup>3</sup>		0.99704	0.99704	0.99704			
温度 $T$ °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_a$ g		145.650	149.581	148.797			
試料の 炉乾燥質量	容器 No.	169	170	171			
	(炉乾燥試料+容器)質量g	103.537	105.488	109.496			
	容器質量 g	93.617	95.647	100.059			
$m_s$ g		9.920	9.841	9.437			
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.686	2.692	2.669			
平均値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.682					
試料番号 (深さ)		D3-1U (2.60~3.40m)			D3-1L (2.60~3.40m)		
ピクノメーター No.		184	185	186	187	188	189
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_b$ g		159.113	155.609	153.339	161.648	165.283	156.520
$m_b$ をはかったときの内容物の温度 $T$ °C		25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
$T$ °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm <sup>3</sup>		0.99704	0.99704	0.99704	0.99704	0.99704	0.99704
温度 $T$ °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_a$ g		153.953	150.661	149.083	155.182	158.769	150.608
試料の 炉乾燥質量	容器 No.	184	185	186	187	188	189
	(炉乾燥試料+容器)質量g	98.677	102.259	101.930	103.386	105.750	104.338
	容器質量 g	90.717	94.589	95.329	93.221	95.524	95.042
$m_s$ g		7.960	7.670	6.601	10.165	10.226	9.296
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.834	2.809	2.807	2.740	2.747	2.739
平均値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.817			2.742		
試料番号 (深さ)		D5-1 (1.50~2.30m)					
ピクノメーター No.		166	167	168			
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_b$ g		152.448	148.923	159.748			
$m_b$ をはかったときの内容物の温度 $T$ °C		25.0	25.0	25.0			
$T$ °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm <sup>3</sup>		0.99704	0.99704	0.99704			
温度 $T$ °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_a$ g		145.110	141.395	151.784			
試料の 炉乾燥質量	容器 No.	166	167	168			
	(炉乾燥試料+容器)質量g	107.053	107.681	106.731			
	容器質量 g	95.579	95.929	94.252			
$m_s$ g		11.474	11.752	12.479			
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.766	2.774	2.756			
平均値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.765					

特記事項

1) ピクノメーターの検定結果から求める。

$$\rho_s = \frac{m_s}{m_s + (m_a - m_b)} \times \rho_w(T)$$

JIS A 1202 JGS 0111	土 粒 子 の 密 度 試 験 (測定)	
------------------------	----------------------	--

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 22日

試験者 大竹 伸一

試料番号 (深さ)		D6-1 (1.50~2.30m)					
ピクノメーター No.		94	95	96			
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_b$ g		157.605	164.788	158.184			
$m_b$ をはかったときの内容物の温度 $T$ °C		24.8	24.8	24.8			
$T$ °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm <sup>3</sup>		0.99709	0.99709	0.99709			
温度 $T$ °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_a$ g		150.850	158.054	151.422			
試料の 炉乾燥質量	容器 No.	94	95	96			
	(炉乾燥試料+容器)質量g	106.927	107.269	107.422			
	容器質量 g	96.269	96.661	96.729			
$m_s$ g		10.658	10.608	10.693			
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.723	2.730	2.712			
平均値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.722					
試料番号 (深さ)		D9-1 (2.00~2.80m)					
ピクノメーター No.		97	98	99			
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_b$ g		155.655	182.385	156.121			
$m_b$ をはかったときの内容物の温度 $T$ °C		24.8	24.8	24.8			
$T$ °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm <sup>3</sup>		0.99709	0.99709	0.99709			
温度 $T$ °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_a$ g		149.946	177.497	150.972			
試料の 炉乾燥質量	容器 No.	97	98	99			
	(炉乾燥試料+容器)質量g	105.633	104.814	104.965			
	容器質量 g	96.708	97.181	96.950			
$m_s$ g		8.925	7.633	8.015			
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.767	2.773	2.788			
平均値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.776					
試料番号 (深さ)							
ピクノメーター No.							
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_b$ g							
$m_b$ をはかったときの内容物の温度 $T$ °C							
$T$ °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm <sup>3</sup>							
温度 $T$ °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_a$ g							
試料の 炉乾燥質量	容器 No.						
	(炉乾燥試料+容器)質量g						
	容器質量 g						
$m_s$ g							
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>							
平均値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>							

特記事項

1) ピクノメーターの検定結果から求める。

$$\rho_s = \frac{m_s}{m_s + (m_a - m_b)} \times \rho_w(T)$$

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 30日

試験者 三ツ森 豊

試料番号 (深さ)	D1-1 (2.00~2.85m)					
容器 No.	869	909	893			
$m_a$ g	317.58	313.25	309.57			
$m_b$ g	202.04	193.77	189.11			
$m_c$ g	0.00	0.00	0.00			
$w$ %	57.2	61.7	63.7			
平均値 $w$ %	60.9					
特記事項						

試料番号 (深さ)	D3-1U (2.60~3.40m)			D3-1L (2.60~3.40m)		
容器 No.	820	315	887	879	987	865
$m_a$ g	263.88	255.35	255.62	340.33	321.87	309.89
$m_b$ g	126.17	117.27	118.59	236.60	210.43	182.99
$m_c$ g	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
$w$ %	109.1	117.7	115.5	43.8	53.0	69.3
平均値 $w$ %	114.1			55.4		
特記事項						

試料番号 (深さ)	D5-1 (1.50~2.30m)					
容器 No.	959	868	826			
$m_a$ g	333.17	331.05	336.85			
$m_b$ g	230.14	234.11	240.69			
$m_c$ g	0.00	0.00	0.00			
$w$ %	44.8	41.4	40.0			
平均値 $w$ %	42.1					
特記事項						

試料番号 (深さ)	D6-1 (1.50~2.30m)					
容器 No.	98	99	100			
$m_a$ g	132.00	132.01	137.94			
$m_b$ g	88.76	89.05	97.24			
$m_c$ g	0.00	0.00	0.00			
$w$ %	48.7	48.2	41.9			
平均値 $w$ %	46.3					
特記事項						

試料番号 (深さ)	D9-1 (2.00~2.80m)					
容器 No.	820	315	887			
$m_a$ g	314.19	293.62	297.13			
$m_b$ g	213.57	177.35	180.65			
$m_c$ g	0.00	0.00	0.00			
$w$ %	47.1	65.6	64.5			
平均値 $w$ %	59.1					
特記事項						

$$w = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

$m_a$  : (試料+容器)質量  
 $m_b$  : (炉乾燥試料+容器)質量  
 $m_c$  : 容器質量

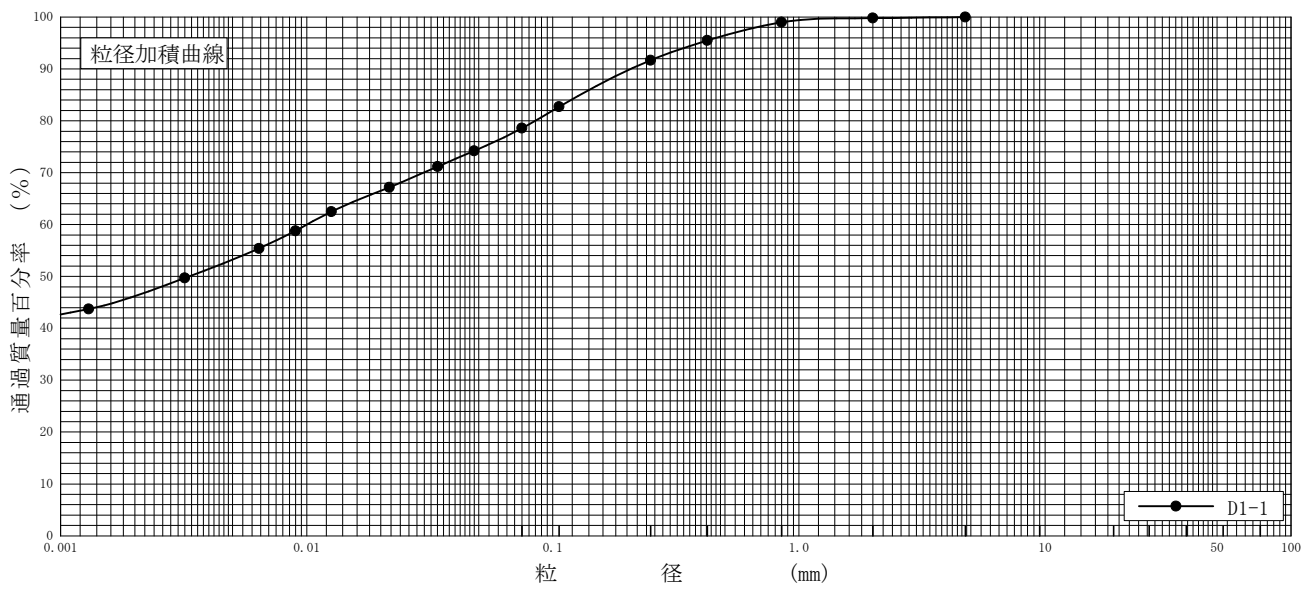


調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 31日

試験者 大竹 伸一

試料番号 (深 さ)	D1-1 (2.00~2.85m)				試料番号 (深 さ)		D1-1 (2.00~2.85m)	
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗 礫 分 %		粗 礫 分 %	
ふ る い 分 析	75		75		中 礫 分 %		0.0	
	53		53		細 礫 分 %		0.2	
	37.5		37.5		粗 砂 分 %		0.8	
	26.5		26.5		中 砂 分 %		7.3	
	19		19		細 砂 分 %		13.1	
	9.5		9.5		シ ル ト 分 %		25.4	
	4.75	100.0	4.75		粘 土 分 %		53.2	
	2	99.8	2		2mmふるい通過質量百分率 %		99.8	
	0.850	99.0	0.850		425μmふるい通過質量百分率 %		95.5	
	0.425	95.5	0.425		75μmふるい通過質量百分率 %		78.6	
	0.250	91.7	0.250		最 大 粒 径 mm		4.75	
	0.106	82.7	0.106		60 % 粒 径 $D_{60}$ mm		0.0101	
	0.075	78.6	0.075		50 % 粒 径 $D_{50}$ mm		0.0033	
沈 降 分 析	0.0479	74.2			30 % 粒 径 $D_{30}$ mm		-	
	0.0341	71.2			10 % 粒 径 $D_{10}$ mm		-	
	0.0217	67.2			均 等 係 数 $U_c$		-	
	0.0126	62.5			曲 率 係 数 $U'_c$		-	
	0.0090	58.8			土 粒 子 の 密 度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.682	
	0.0064	55.4			使用した分散剤		高分子分散剤	
	0.0032	49.7			溶液濃度, 溶液添加量		, 10ml	
0.0013	43.7			20 % 粒 径 $D_{20}$ mm		-		



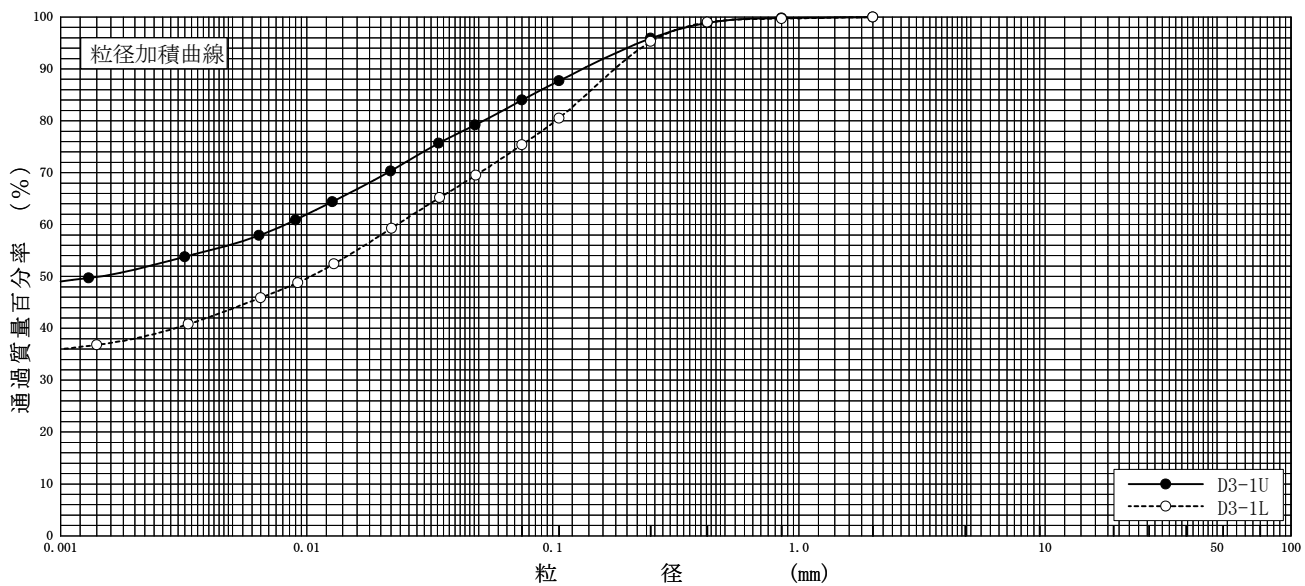
特記事項

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 16日

試験者 木村 直紀

試料番号 (深 さ)	D3-1U (2.60~3.40m)		D3-1L (2.60~3.40m)		試料番号 (深 さ)	D3-1U (2.60~3.40m)	D3-1L (2.60~3.40m)
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%		粗 礫 分 %	0.0
ふる る い 分 析	75		75		中 礫 分 %	0.0	0.0
	53		53		細 礫 分 %	0.0	0.0
	37.5		37.5		粗 砂 分 %	0.2	0.3
	26.5		26.5		中 砂 分 %	3.9	4.4
	19		19		細 砂 分 %	11.9	19.9
	9.5		9.5		シ ル ト 分 %	27.8	31.6
	4.75		4.75		粘 土 分 %	56.2	43.8
	2	100.0	2	100.0	2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	100.0
	0.850	99.8	0.850	99.7	425μmふるい通過質量百分率 %	98.9	99.0
	0.425	98.9	0.425	99.0	75μmふるい通過質量百分率 %	84.0	75.4
	0.250	95.9	0.250	95.3	最 大 粒 径 mm	2	2
	0.106	87.7	0.106	80.5	60 % 粒 径 $D_{60}$ mm	0.0082	0.0234
	0.075	84.0	0.075	75.4	50 % 粒 径 $D_{50}$ mm	0.0014	0.0104
沈 降 分 析	0.0484	79.2	0.0487	69.5	30 % 粒 径 $D_{30}$ mm	-	-
	0.0344	75.7	0.0347	65.2	10 % 粒 径 $D_{10}$ mm	-	-
	0.0219	70.3	0.0221	59.3	均 等 係 数 $U_c$	-	-
	0.0127	64.4	0.0129	52.4	曲 率 係 数 $U_c'$	-	-
	0.0090	60.9	0.0092	48.8	土 粒 子 の 密 度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.817	2.742
	0.0064	57.9	0.0065	45.9	使用した分散剤	高分子分散剤	高分子分散剤
	0.0032	53.8	0.0033	40.8	溶液濃度, 溶液添加量	, 10ml	, 10ml
	0.0013	49.7	0.0014	36.8	20 % 粒 径 $D_{20}$ mm	-	-



0.005	0.075	0.250	0.850	2	4.75	19	75
粘 土	シ ル ト	細 砂	中 砂	粗 砂	細 礫	中 礫	粗 礫

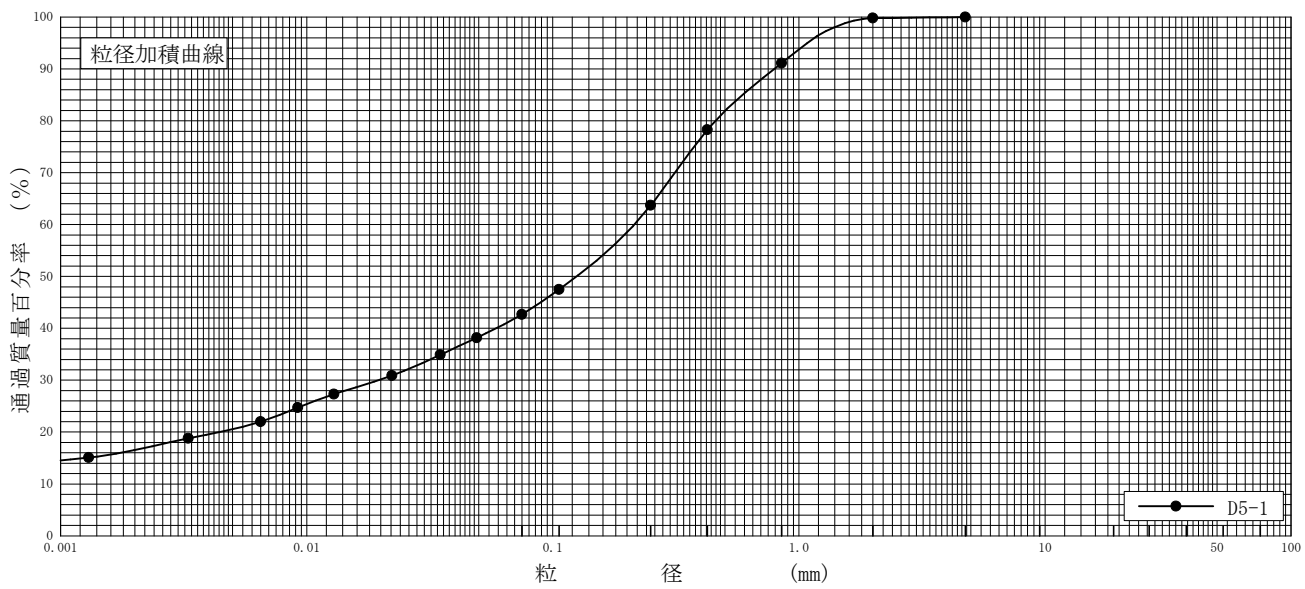
特記事項

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 31日

試験者 大竹 伸一

試料番号 (深 さ)	D5-1 (1.50~2.30m)				試料番号 (深 さ)		D5-1 (1.50~2.30m)	
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗 礫 分 %		0.0	
ふる る い 分 析	75		75		中 礫 分 %		0.0	
	53		53		細 礫 分 %		0.2	
	37.5		37.5		粗 砂 分 %		8.7	
	26.5		26.5		中 砂 分 %		27.4	
	19		19		細 砂 分 %		21.0	
	9.5		9.5		シ ル ト 分 %		22.2	
	4.75	100.0	4.75		粘 土 分 %		20.5	
	2	99.8	2		2mmふるい通過質量百分率 %		99.8	
	0.850	91.1	0.850		425μmふるい通過質量百分率 %		78.3	
	0.425	78.3	0.425		75μmふるい通過質量百分率 %		42.7	
	0.250	63.7	0.250		最 大 粒 径 mm		4.75	
	0.106	47.5	0.106		60 % 粒 径 $D_{60}$ mm		0.2146	
	0.075	42.7	0.075		50 % 粒 径 $D_{50}$ mm		0.1251	
沈 降 分 析	0.0491	38.2			30 % 粒 径 $D_{30}$ mm		0.0196	
	0.0349	34.9			10 % 粒 径 $D_{10}$ mm		-	
	0.0222	30.9			均 等 係 数 $U_c$		-	
	0.0129	27.3			曲 率 係 数 $U'_c$		-	
	0.0092	24.7			土 粒 子 の 密 度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.765	
	0.0065	22.0			使用した分散剤		高分子分散剤	
	0.0033	18.8			溶液濃度, 溶液添加量		, 10ml	
0.0013	15.1			20 % 粒 径 $D_{20}$ mm		0.0044		



0.005	0.075	0.250	0.850	2	4.75	19	75
粘 土	シ ル ト	細 砂	中 砂	粗 砂	細 礫	中 礫	粗 礫

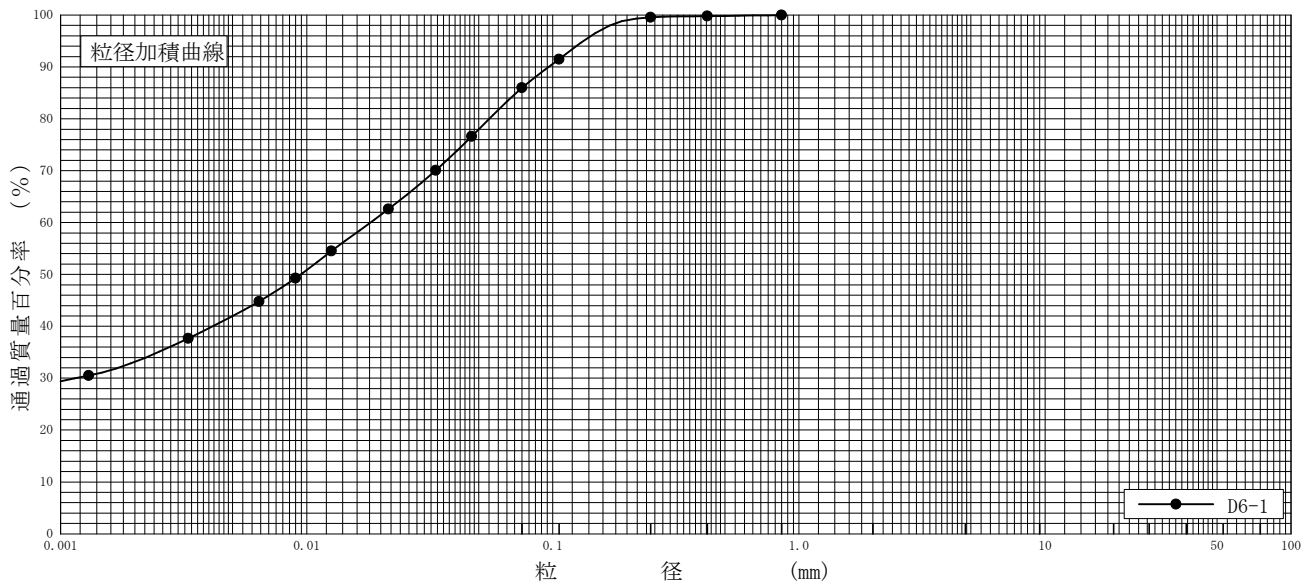
特記事項

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 22日

試験者 大竹 伸一

試料番号 (深 さ)	D6-1 (1.50~2.30m)				試料番号 (深 さ)		D6-1 (1.50~2.30m)	
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗 礫 分 %		0.0	
ふ る い 分 析	75		75		中 礫 分 %		0.0	
	53		53		細 礫 分 %		0.0	
	37.5		37.5		粗 砂 分 %		0.0	
	26.5		26.5		中 砂 分 %		0.4	
	19		19		細 砂 分 %		13.6	
	9.5		9.5		シ ル ト 分 %		44.0	
	4.75		4.75		粘 土 分 %		42.0	
	2		2		2mmふるい通過質量百分率 %		100.0	
	0.850	100.0	0.850		425μmふるい通過質量百分率 %		99.8	
	0.425	99.8	0.425		75μmふるい通過質量百分率 %		86.0	
沈 降 分 析	0.250	99.6	0.250		最 大 粒 径 mm		0.850	
	0.106	91.5	0.106		60 % 粒 径 $D_{60}$ mm		0.0182	
	0.075	86.0	0.075		50 % 粒 径 $D_{50}$ mm		0.0094	
	0.0468	76.6			30 % 粒 径 $D_{30}$ mm		0.0012	
	0.0335	70.1			10 % 粒 径 $D_{10}$ mm		-	
	0.0215	62.6			均 等 係 数 $U_c$		-	
	0.0126	54.5			曲 率 係 数 $U'_c$		-	
	0.0090	49.3			土 粒 子 の 密 度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.722	
	0.0064	44.8			使用した分散剤		高分子分散剤	
	0.0033	37.7			溶液濃度, 溶液添加量		, 10ml	
0.0013	30.5			20 % 粒 径 $D_{20}$ mm		-		



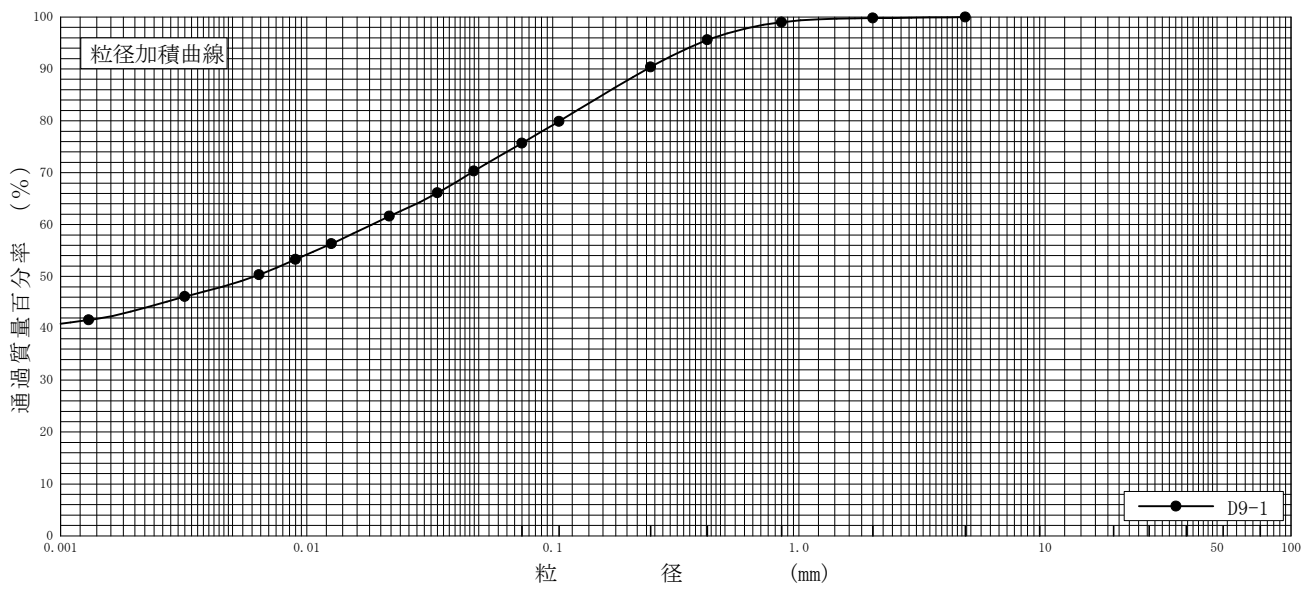
特記事項

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 22日

試験者 大竹 伸一

試料番号 (深 さ)	D9-1 (2.00~2.80m)				試料番号 (深 さ)		D9-1 (2.00~2.80m)	
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%	粗 礫 分 %		0.0	
ふ る い	75		75		中 礫 分 %		0.0	
	53		53		細 礫 分 %		0.2	
	37.5		37.5		粗 砂 分 %		0.8	
	26.5		26.5		中 砂 分 %		8.6	
	19		19		細 砂 分 %		14.7	
	9.5		9.5		シ ル ト 分 %		27.1	
	4.75	100.0	4.75		粘 土 分 %		48.6	
	2	99.8	2		2mmふるい通過質量百分率 %		99.8	
	0.850	99.0	0.850		425μmふるい通過質量百分率 %		95.6	
	0.425	95.6	0.425		75μmふるい通過質量百分率 %		75.7	
分 析	0.250	90.4	0.250		最 大 粒 径 mm		4.75	
	0.106	79.9	0.106		60 % 粒 径 $D_{60}$ mm		0.0184	
	0.075	75.7	0.075		50 % 粒 径 $D_{50}$ mm		0.0062	
	0.0478	70.3			30 % 粒 径 $D_{30}$ mm		-	
	0.0340	66.1			10 % 粒 径 $D_{10}$ mm		-	
	0.0217	61.6			均 等 係 数 $U_c$		-	
	0.0126	56.3			曲 率 係 数 $U'_c$		-	
	0.0090	53.3			土 粒 子 の 密 度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.776	
	0.0064	50.3			使用した分散剤		高分子分散剤	
	0.0032	46.1			溶液濃度, 溶液添加量		, 10ml	
沈 降 分 析	0.0013	41.6			20 % 粒 径 $D_{20}$ mm		-	



0.005	0.075	0.250	0.850	2	4.75	19	75
粘 土	シ ル ト	細 砂	中 砂	粗 砂	細 礫	中 礫	粗 礫

特記事項

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 31日

試験者 木村 直紀

試料番号 (深さ) D1-1 (2.00~2.85m)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
				86.6
46	82.9	41.0	塑性限界 $w_p$ %	
35	84.6	40.5		40.5
28	85.7	40.1	塑性指数 $I_p$	
20	88.1			46.1
13	90.4			
6	95.3			

試料番号 (深さ) D3-1U (2.60~3.40m)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
				145.2
45	140.6	77.1	塑性限界 $w_p$ %	
34	142.8	76.6		76.8
28	144.5	76.7	塑性指数 $I_p$	
20	147.0			68.4
12	150.9			
6	156.0			

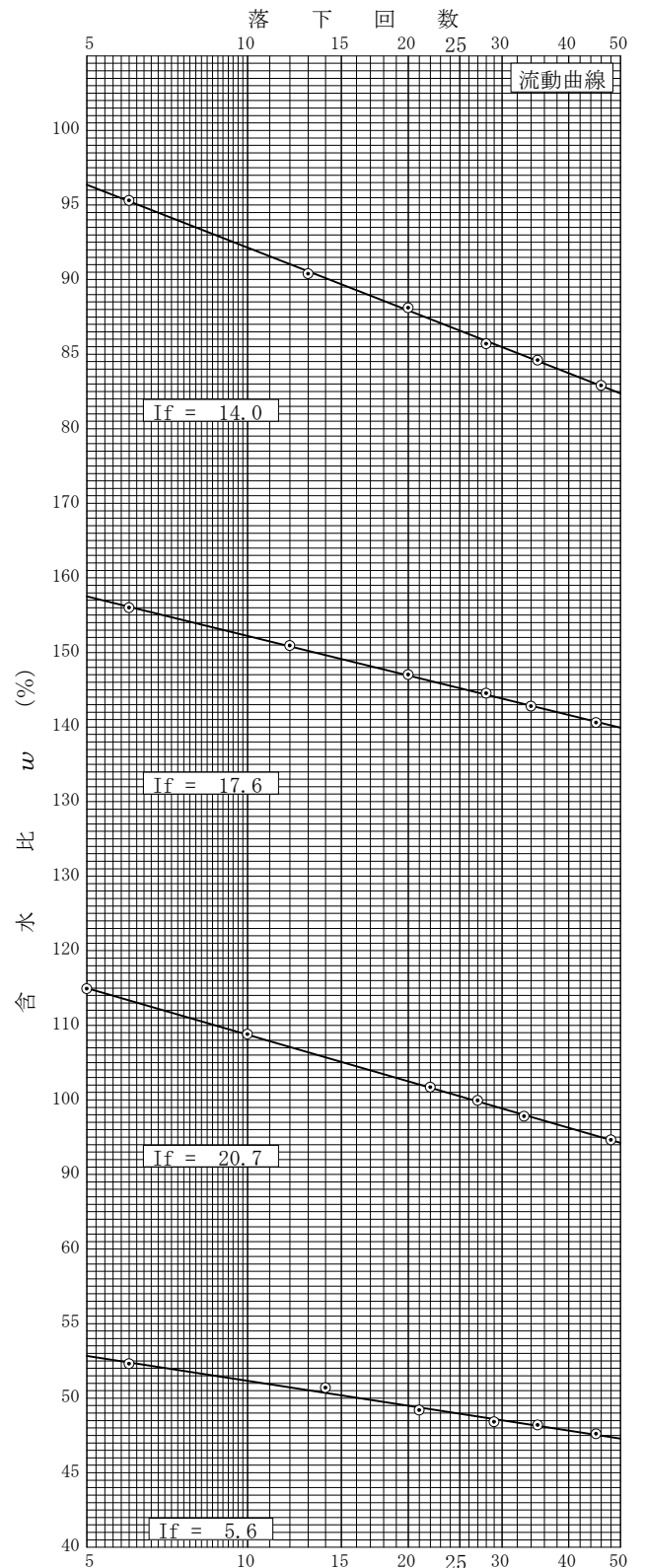
試料番号 (深さ) D3-1L (2.60~3.40m)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
				100.5
48	94.6	45.2	塑性限界 $w_p$ %	
33	97.8	45.7		45.5
27	99.9	45.7	塑性指数 $I_p$	
22	101.7			55.0
10	108.8			
5	114.9			

試料番号 (深さ) D5-1 (1.50~2.30m)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
				49.0
45	47.6	34.5	塑性限界 $w_p$ %	
35	48.2	34.6		34.6
29	48.4	34.6	塑性指数 $I_p$	
21	49.2			14.4
14	50.7			
6	52.3			

特記事項



調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 22日

試験者 木村 直紀

試料番号 (深さ) D6-1 (1.50~2.30m)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
				70.6
41	66.7	38.5	塑性限界 $w_p$ %	
33	68.4	38.5		38.3
27	70.0	38.0	塑性指数 $I_p$	
20	72.3			32.3
13	75.7			
7	80.7			

試料番号 (深さ) D9-1 (2.00~2.80m)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
				98.9
44	93.8	53.0	塑性限界 $w_p$ %	
35	95.8	53.1		53.1
28	97.9	53.3	塑性指数 $I_p$	
22	99.9			45.8
17	102.5			
10	107.3			

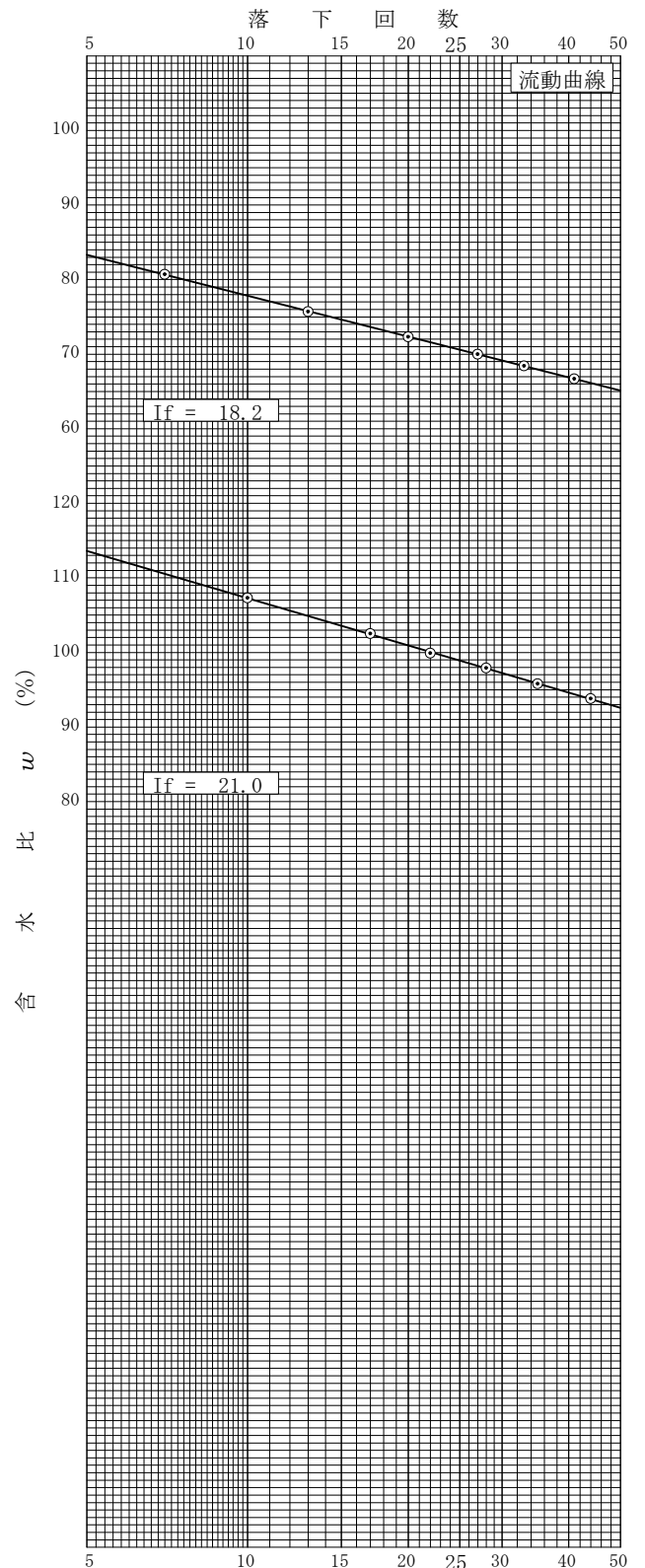
試料番号 (深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
			塑性限界 $w_p$ %	
			塑性指数 $I_p$	

試料番号 (深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
			塑性限界 $w_p$ %	
			塑性指数 $I_p$	

特記事項



JIS A 1225 JGS 0191	土の湿潤密度試験（ノギス法）	
------------------------	----------------	--

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 30日

試料番号（深さ） D1-1 (2.00~2.85m)

試験者 三ツ森 豊

供 試 体 No.		1	2	3		
供試体の質量 $m$ g		317.58	313.25	309.57		
供 試 体	直 上 部 cm	5.00	5.00	5.00		
		5.00	5.00	5.00		
	中 部 cm	4.99	5.00	5.00		
		4.99	5.00	5.00		
	下 部 cm	5.00	5.00	5.00		
		5.00	5.00	5.00		
平均値 $D$ cm		5.00	5.00	5.00		
体 高 積 高さ	cm	9.94	9.95	9.94		
		9.94	9.95	9.94		
	平均値 $H$ cm	9.94	9.95	9.94		
体積 $V = (\pi D^2/4)H$ cm <sup>3</sup>		195.17	195.37	195.17		
含 水 比	容 器 No.	869	909	893		
	$m_a$ g	317.58	313.25	309.57		
	$m_b$ g	202.04	193.77	189.11		
	$m_c$ g	0.00	0.00	0.00		
	$w$ %	57.2	61.7	63.7		
比	容 器 No.					
	$m_a$ g					
	$m_b$ g					
	$m_c$ g					
	$w$ %					
平均値 $w$ %		57.2	61.7	63.7		
湿潤密度 $\rho_t = m/V$ g/cm <sup>3</sup>		1.627	1.603	1.586		
乾燥密度 $\rho_d = \rho_t / (1 + w/100)$ g/cm <sup>3</sup>		1.035	0.991	0.969		
間隙比 $e = (\rho_s / \rho_d) - 1$		1.591	1.706	1.768		
飽和度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %		96.4	97.0	96.6		
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.682	平均値 $w$ %	60.9	平均値 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>	1.605
平均値 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		0.998	平均値 $e$	1.688	平均値 $S_r$ %	96.7

特記事項



調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 15日

試料番号（深さ） D3-1U (2.60~3.40m)

試験者 三ツ森 豊

供 試 体 No.		1	2	3				
供試体の質量 $m$		g	263.88	255.35	255.62			
供 試 体	直 上 部	cm	4.98	5.01	5.01			
			4.98	5.01	5.01			
	中 部	cm	4.99	5.01	5.00			
			4.99	5.01	5.00			
	下 部	cm	5.00	5.02	4.99			
			5.00	5.02	4.99			
	平 均 値 $D$		cm	4.99	5.01	5.00		
	体 高 積 寸	高	cm	9.96	9.97	9.94		
				9.95	9.97	9.95		
		平 均 値 $H$		cm	9.96	9.97	9.95	
体 積 $V = (D^2/4)H$		cm <sup>3</sup>	194.78	196.54	195.37			
含 水 比	容 器 No.		820	315	887			
	$m_a$		g	263.88	255.35	255.62		
	$m_b$		g	126.17	117.27	118.59		
	$m_c$		g	0.00	0.00	0.00		
	$w$		%	109.1	117.7	115.5		
比	容 器 No.							
	$m_a$		g					
	$m_b$		g					
	$m_c$		g					
	$w$		%					
平 均 値 $w$		%	109.1	117.7	115.5			
湿潤密度 $\rho_t = m/V$		g/cm <sup>3</sup>	1.355	1.299	1.308			
乾燥密度 $\rho_d = \rho_t / (1 + w/100)$		g/cm <sup>3</sup>	0.648	0.597	0.607			
間 隙 比 $e = (\rho_s / \rho_d) - 1$			3.347	3.719	3.641			
飽 和 度 $S_r = w_s / (e w)$		%	91.8	89.2	89.4			
土 粒 子 の 密 度 $\rho_s$		g/cm <sup>3</sup>	2.817	平 均 値 $w$ %	114.1	平 均 値 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>	1.321	
平 均 値 $\rho_d$		g/cm <sup>3</sup>	0.617	平 均 値 $e$	3.569	平 均 値 $S_r$ %	90.1	

特記事項

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 15日

試料番号（深さ） D3-1L (2.60~3.40m)

試験者 三ツ森 豊

供試体 No.		1	2	3		
供試体の質量 $m$ g		340.33	321.87	309.89		
供試体径	上部 cm	4.98	5.01	5.00		
		4.98	5.01	5.00		
	中部 cm	4.98	5.00	4.99		
		4.98	5.00	4.99		
	下部 cm	4.98	4.99	5.01		
		4.98	4.99	5.01		
平均値 $D$ cm		4.98	5.00	5.00		
体積	高さ cm	9.94	9.96	9.95		
		9.94	9.95	9.94		
	平均値 $H$ cm	9.94	9.96	9.95		
体積 $V = (D^2/4)H$ cm <sup>3</sup>		193.61	195.56	195.37		
含水比	容器 No.	879	987	865		
	$m_a$ g	340.33	321.87	309.89		
	$m_b$ g	236.60	210.43	182.99		
	$m_c$ g	0.00	0.00	0.00		
	$w$ %	43.8	53.0	69.3		
水比	容器 No.					
	$m_a$ g					
	$m_b$ g					
	$m_c$ g					
	$w$ %					
平均値 $w$ %		43.8	53.0	69.3		
湿潤密度 $\rho_t = m/V$ g/cm <sup>3</sup>		1.758	1.646	1.586		
乾燥密度 $\rho_d = \rho_t / (1 + w/100)$ g/cm <sup>3</sup>		1.223	1.076	0.937		
間隙比 $e = (\rho_s / \rho_d) - 1$		1.242	1.548	1.926		
飽和度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %		96.7	93.9	98.7		
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.742	平均値 $w$ %	55.4	平均値 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>	1.663
平均値 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		1.079	平均値 $e$	1.572	平均値 $S_r$ %	96.4

特記事項

JIS A 1225 JGS 0191	土の湿潤密度試験（ノギス法）	
------------------------	----------------	--

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 9月 7日

試料番号（深さ） D5-1（1.50～2.30m）

試験者 三ツ森 豊

供 試 体 No.		1	2	3			
供試体の質量 $m$ g		333.17	331.05	336.85			
供 試 体	直 上 部 cm	5.00	5.01	5.00			
		5.00	5.01	5.00			
	中 部 cm	5.00	4.98	4.99			
		5.00	4.98	4.99			
	下 部 cm	4.98	4.97	4.97			
		4.98	4.97	4.97			
	平均値 $D$ cm		4.99	4.99	4.99		
	体 高 積 寸	高 cm	9.94	9.95	9.96		
			9.93	9.94	9.95		
		平均値 $H$ cm		9.94	9.95	9.96	
体積 $V = (\pi D^2 / 4) H$ cm <sup>3</sup>		194.39	194.59	194.78			
含 水 比	容 器 No.	959	868	826			
	$m_a$ g	333.17	331.05	336.85			
	$m_b$ g	230.14	234.11	240.69			
	$m_c$ g	0.00	0.00	0.00			
	$w$ %	44.8	41.4	40.0			
比	容 器 No.						
	$m_a$ g						
	$m_b$ g						
	$m_c$ g						
	$w$ %						
平均値 $w$ %		44.8	41.4	40.0			
湿潤密度 $\rho_t = m/V$ g/cm <sup>3</sup>		1.714	1.701	1.729			
乾燥密度 $\rho_d = \rho_t / (1 + w/100)$ g/cm <sup>3</sup>		1.184	1.203	1.235			
間隙比 $e = (\rho_s / \rho_d) - 1$		1.335	1.298	1.239			
飽和度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %		92.8	88.2	89.3			
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.765	平均値 $w$ %	42.1	平均値 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>	1.715	
平均値 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		1.207	平均値 $e$	1.291	平均値 $S_r$ %	90.1	

特記事項

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 18日

試料番号（深さ） D6-1 (1.50~2.30m)

試験者 三ツ森 豊

供 試 体 No.		1	2	3		
供試体の質量 $m$ g		132.00	132.01	137.94		
供 試 体 径	上 部 cm	3.52	3.51	3.50		
		3.52	3.51	3.50		
	中 部 cm	3.50	3.50	3.50		
		3.50	3.50	3.50		
	下 部 cm	3.51	3.50	3.50		
		3.51	3.50	3.50		
平均値 $D$ cm		3.51	3.50	3.50		
体 高 積 寸	高 度 cm	8.01	8.03	8.00		
		8.02	8.03	8.00		
	平均値 $H$ cm	8.02	8.03	8.00		
体積 $V = (D^2/4)H$ cm <sup>3</sup>		77.60	77.26	76.97		
含 水 比	容 器 No.	98	99	100		
	$m_a$ g	132.00	132.01	137.94		
	$m_b$ g	88.76	89.05	97.24		
	$m_c$ g	0.00	0.00	0.00		
	$w$ %	48.7	48.2	41.9		
比	容 器 No.					
	$m_a$ g					
	$m_b$ g					
	$m_c$ g					
	$w$ %					
平均値 $w$ %		48.7	48.2	41.9		
湿潤密度 $\rho_t = m/V$ g/cm <sup>3</sup>		1.701	1.709	1.792		
乾燥密度 $\rho_d = \rho_t / (1 + w/100)$ g/cm <sup>3</sup>		1.144	1.153	1.263		
間隙比 $e = (\rho_s / \rho_d) - 1$		1.379	1.361	1.155		
飽和度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %		96.1	96.4	98.7		
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.722	平均値 $w$ %	46.3	平均値 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>	1.734
平均値 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		1.187	平均値 $e$	1.298	平均値 $S_r$ %	97.1

特記事項

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 18日

試料番号（深さ） D9-1 (2.00~2.80m)

試験者 三ツ森 豊

供 試 体 No.		1	2	3		
供試体の質量 $m$ g		314.19	293.62	297.13		
供 試 体 径	上 部 cm	5.02	5.00	5.00		
		5.02	5.00	5.00		
	中 部 cm	5.00	5.00	4.97		
		5.00	5.00	4.97		
	下 部 cm	4.98	4.98	4.97		
		4.98	4.98	4.97		
平 均 値 $D$ cm		5.00	4.99	4.98		
体 高 積 寸	高 度 cm	9.95	9.95	9.95		
		9.95	9.94	9.95		
	平 均 値 $H$ cm	9.95	9.95	9.95		
体 積 $V = (D^2/4)H$ cm <sup>3</sup>		195.37	194.59	193.81		
含 水 比	容 器 No.	820	315	887		
	$m_a$ g	314.19	293.62	297.13		
	$m_b$ g	213.57	177.35	180.65		
	$m_c$ g	0.00	0.00	0.00		
	$w$ %	47.1	65.6	64.5		
比	容 器 No.					
	$m_a$ g					
	$m_b$ g					
	$m_c$ g					
	$w$ %					
平 均 値 $w$ %		47.1	65.6	64.5		
湿潤密度 $\rho_t = m/V$ g/cm <sup>3</sup>		1.608	1.509	1.533		
乾燥密度 $\rho_d = \rho_t / (1 + w/100)$ g/cm <sup>3</sup>		1.093	0.911	0.932		
間 隙 比 $e = (\rho_s / \rho_d) - 1$		1.540	2.047	1.979		
飽 和 度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %		84.9	89.0	90.5		
土 粒 子 の 密 度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.776	平 均 値 $w$ %	59.1	平 均 値 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>	1.550
平 均 値 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		0.979	平 均 値 $e$	1.855	平 均 値 $S_r$ %	88.1

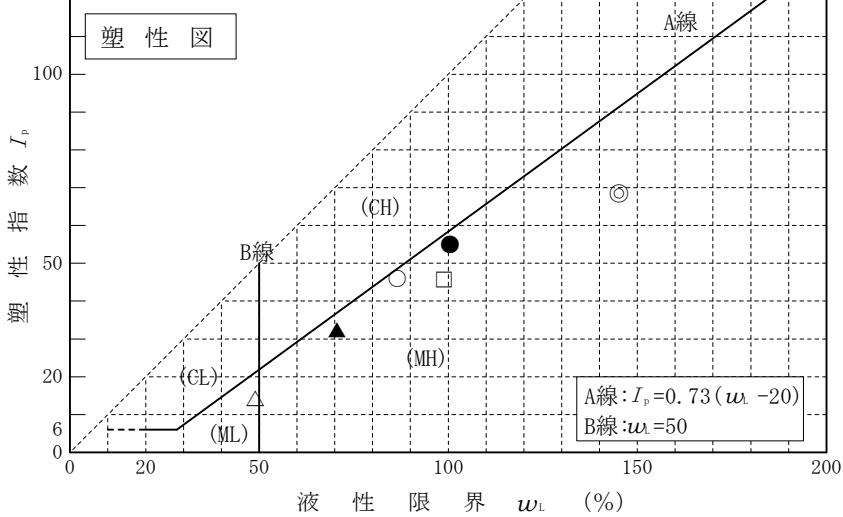
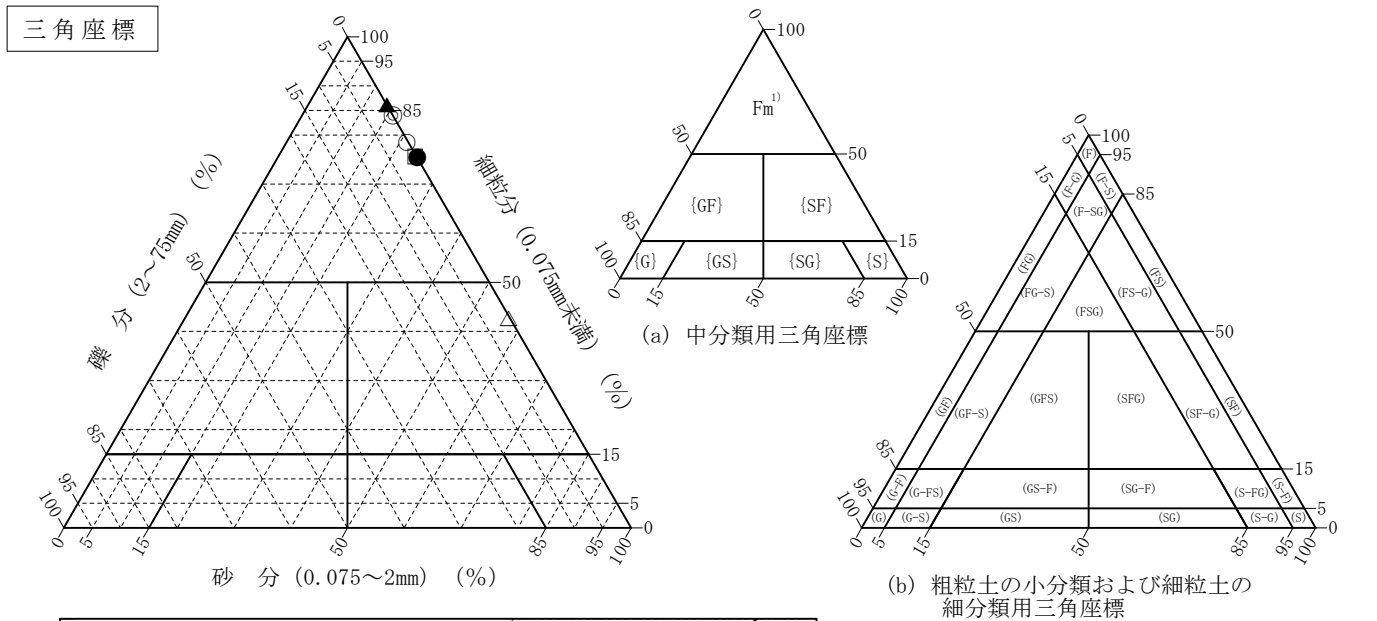
特記事項

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 31日

試験者 大竹 伸一

試料番号 (深さ)	D1-1 (2.00~2.85m)	D3-1U (2.60~3.40m)	D3-1L (2.60~3.40m)	D5-1 (1.50~2.30m)	D6-1 (1.50~2.30m)	D9-1 (2.00~2.80m)
石分(75mm以上) %						
礫分(2~75mm) %	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2
砂分(0.075~2mm) %	21.2	16.0	24.6	57.1	14.0	24.1
細粒分(0.075mm未満) %	78.6	84.0	75.4	42.7	86.0	75.7
シルト分(0.005~0.075mm) %	25.4	27.8	31.6	22.2	44.0	27.1
粘土分(0.005mm未満) %	53.2	56.2	43.8	20.5	42.0	48.6
最大粒径 mm	4.75	2	2	4.75	0.850	4.75
均等係数 $U_c$	-	-	-	-	-	-
液性限界 $w_L$ %	86.6	145.2	100.5	49.0	70.6	98.9
塑性限界 $w_p$ %	40.5	76.8	45.5	34.6	38.3	53.1
塑性指数 $I_p$	46.1	68.4	55.0	14.4	32.3	45.8
地盤材料の分類名	砂質火山灰質粘性土 (II型)	砂質火山灰質粘性土 (II型)	砂質火山灰質粘性土 (II型)	細粒分質砂	砂まじり火山灰質 粘性土 (I型)	砂質火山灰質粘性土 (II型)
分類記号	(VH <sub>2</sub> S)	(VH <sub>2</sub> S)	(VH <sub>2</sub> S)	(SF)	(VH <sub>1</sub> -S)	(VH <sub>2</sub> S)
凡例記号	○	◎	●	△	▲	□



特記事項 1) 主に観察と塑性図で判別分類

JGS	0520	土の三軸試験の供試体作製・設置
-----	------	-----------------

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 30日

試料番号 (深さ) D1-1 (2.00~2.85m)

試験者 三ツ森 豊

供試体を用いる試験の基準番号と名称		JGS 0521 土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験					
試料の状態 <sup>1)</sup>	乱さない	土粒子の密度 $\rho_s$ <sup>3)</sup> g/cm <sup>3</sup>		2.682			
供試体の作製 <sup>2)</sup>	トリミング法	液性限界 $w_L$ % <sup>4)</sup>		86.6			
土質名称	砂質火山灰質粘性土(II型) (VH <sub>S</sub> )	塑性限界 $w_p$ % <sup>4)</sup>		40.5			
供試体	No.	1	2	3	4		
初期状態	直径	cm	5.00	5.00	5.00	5.00	
			4.99	5.00	5.00	5.00	
			5.00	5.00	5.00	4.99	
	平均直径 $D_i$	cm	5.00	5.00	5.00	5.00	
		高さ	cm	9.94	9.95	9.94	9.95
				9.94	9.95	9.94	9.94
	平均高さ $H_i$	cm	9.94	9.95	9.94	9.95	
	体積 $V_i$	cm <sup>3</sup>	195.17	195.37	195.17	195.37	
	含水比 $w_i$	%	57.2	61.7	63.7	62.5	
	質量 $m_i$	g	317.58	313.25	309.57	311.04	
	湿潤密度 $\rho_{wi}$ <sup>3)</sup>	g/cm <sup>3</sup>	1.627	1.603	1.586	1.592	
	乾燥密度 $\rho_{di}$ <sup>3)</sup>	g/cm <sup>3</sup>	1.035	0.991	0.969	0.980	
	間隙比 $e_i$ <sup>3)</sup>		1.591	1.706	1.768	1.737	
飽和度 $S_{ri}$ <sup>3)</sup>	%	96.4	97.0	96.6	96.5		
相対密度 $D_{ri}$ <sup>3)</sup>	%						
設置・飽和過程	軸変位量の測定方法		外部変位計によって測定				
	設置時の軸変位量	cm	0.00	0.00	0.00	0.00	
	飽和過程の軸変位量	cm	0.00	0.00	0.00	0.00	
	軸変位量 $\Delta H_i$ <sup>5)</sup>	cm	0.00	0.00	0.00	0.00	
	体積変化量の測定方法		計算による				
	設置時の体積変化量	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	0.00	
飽和過程の体積変化量	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	0.00		
体積変化量 $\Delta V_i$ <sup>5)</sup>	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	0.00		
圧密前(試験前)	高さ $H_0$	cm	9.94	9.95	9.94	9.95	
	直径 $D_0$	cm	5.00	5.00	5.00	5.00	
	体積 $V_0$	cm <sup>3</sup>	195.17	195.37	195.17	195.37	
	乾燥密度 $\rho_{d0}$ <sup>3)</sup>	g/cm <sup>3</sup>	1.035	0.991	0.969	0.980	
	間隙比 $e_0$ <sup>3)</sup>		1.591	1.706	1.768	1.737	
相対密度 $D_{r0}$ <sup>3)</sup>	%						
炉乾燥後	容器 No.		869	909	893	933	
	(炉乾燥供試体+容器)質量	g	202.04	193.77	189.11	191.42	
	容器質量	g	0.00	0.00	0.00	0.00	
	炉乾燥質量 $m_s$	g	202.04	193.77	189.11	191.42	

特記事項

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときはぐされた)等を記載する。
- 2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3) 必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5) 設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。





[1kN/m<sup>2</sup>≒0.1012kgf/cm<sup>2</sup>]

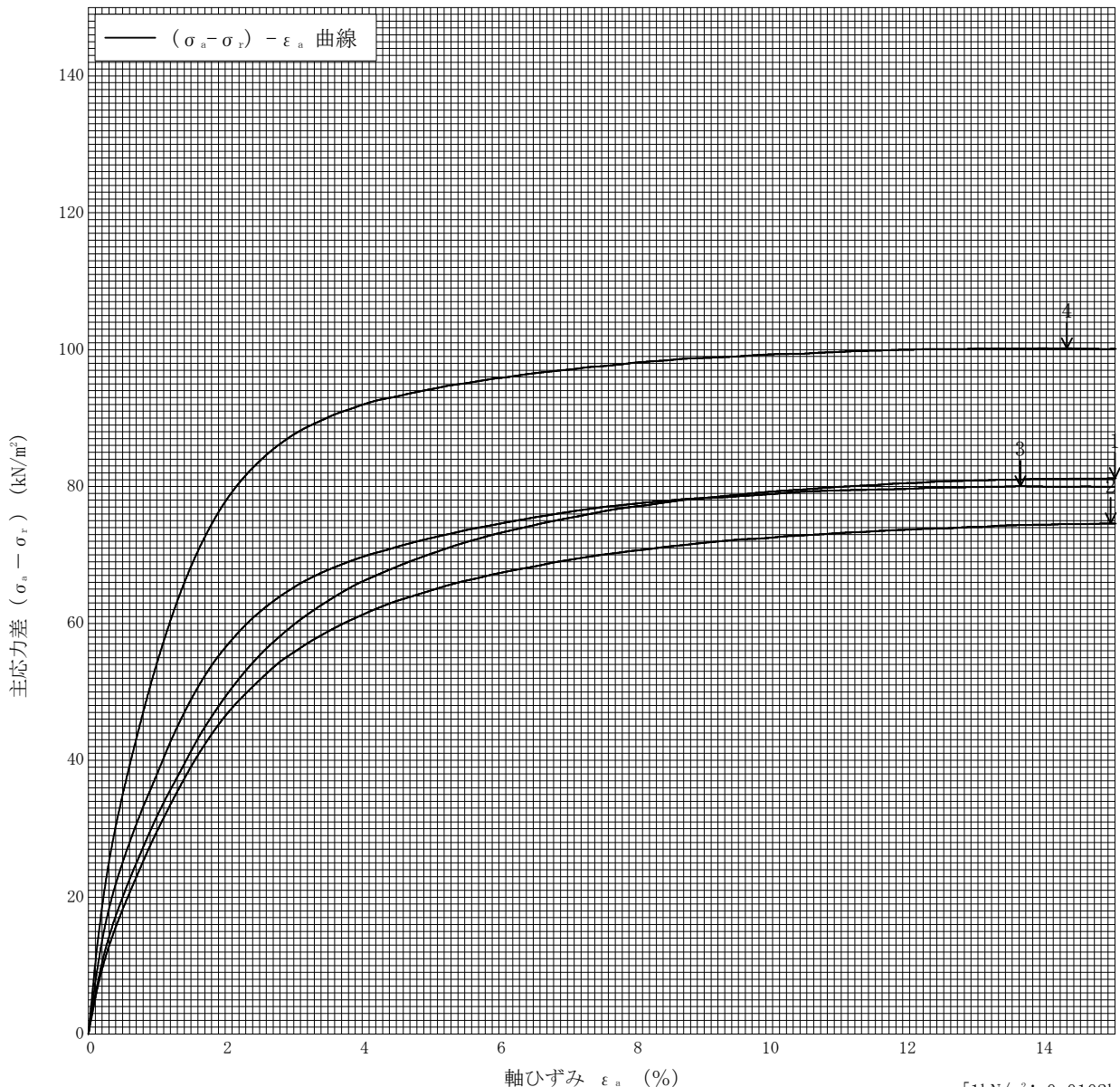
調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 30日

試料番号 (深さ) D1-1 (2.00~2.85m)

試験者 三ツ森 豊

土質名称	砂質火山灰質粘性土 (II型) (R3)	供試体 No.	1	2	3	4
液性限界 $w_L$ %	86.6	セル圧・圧密応力 $kN/m^2$	25.0	50.0	100.0	200.0
塑性限界 $w_P$ %	40.5	背 圧 $u_b$ $kN/m^2$	0.0	0.0	0.0	0.0
ひずみ速度 %/min	1.0	圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{max}$ $kN/m^2$	81.2	74.6	80.0	100.2
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。	主応力差最大時	軸ひずみ $\epsilon_{af}$ %	15.00	14.94	13.62	14.30
	CU	間隙水圧 $u_f$ $kN/m^2$				
		有効軸方向応力 $\sigma'_{af}$ $kN/m^2$				
	CD	有効側方向応力 $\sigma'_{rf}$ $kN/m^2$				
		体積ひずみ $\epsilon_{vf}$ %				
供試体の破壊状況						



[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]



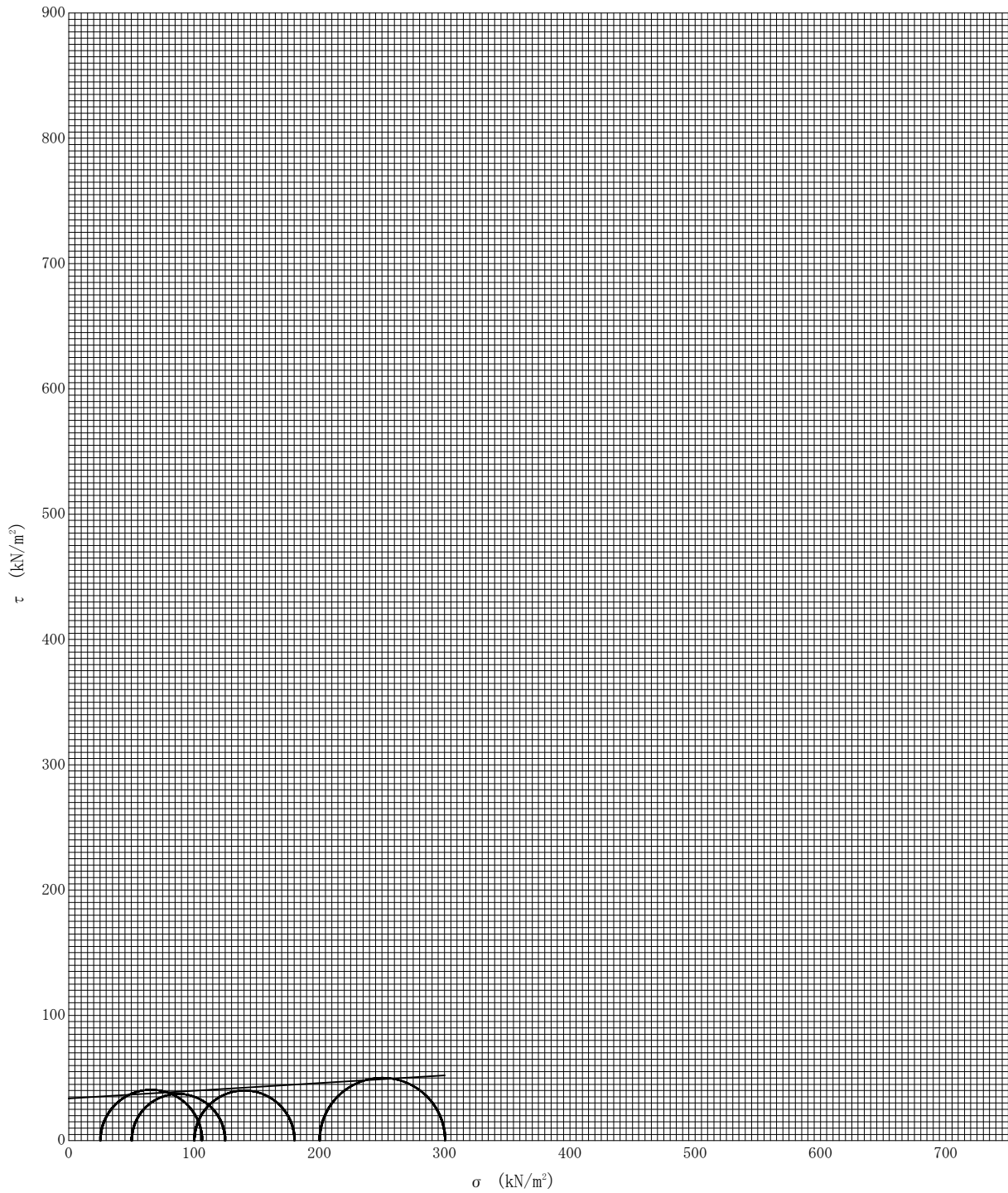
調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 30日

試料番号 (深さ) D1-1 (2.00~2.85m)

試験者 三ツ森 豊

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	c kN/m <sup>2</sup>	φ °	tan φ	c' kN/m <sup>2</sup>	φ' °
正規圧密領域					
過圧密領域	33.8	3.50	0.061		



特記事項

[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]

JGS	0520	土の三軸試験の供試体作製・設置
-----	------	-----------------

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 15日

試料番号 (深さ) D3-1U (2.60~3.40m)

試験者 三ツ森 豊

供試体を用いる試験の基準番号と名称		JGS 0521 土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験				
試料の状態 <sup>1)</sup>	乱さない		土粒子の密度 $\rho_s$ <sup>3)</sup> g/cm <sup>3</sup>		2.817	
供試体の作製 <sup>2)</sup>	トリミング法		液性限界 $w_L$ % <sup>4)</sup>		145.2	
土質名称	砂質火山灰質粘性土 (II型) (VH <sub>S</sub> )		塑性限界 $w_P$ % <sup>4)</sup>		76.8	
供試体 No.		1	2	3		
初期 状 態	直 径	cm	4.98	5.01	5.01	
			4.99	5.01	5.00	
			5.00	5.02	4.99	
	平 均 直 径 $D_i$	cm	4.99	5.01	5.00	
		高 さ	cm	9.96	9.97	9.94
				9.95	9.97	9.95
	平 均 高 さ $H_i$	cm	9.96	9.97	9.95	
	体 積 $V_i$	cm <sup>3</sup>	194.78	196.54	195.37	
	含 水 比 $w_i$	%	109.1	117.7	115.5	
	質 量 $m_i$	g	263.88	255.35	255.62	
	湿 潤 密 度 $\rho_{wi}$ <sup>3)</sup>	g/cm <sup>3</sup>	1.355	1.299	1.308	
	乾 燥 密 度 $\rho_{di}$ <sup>3)</sup>	g/cm <sup>3</sup>	0.648	0.597	0.607	
	間 隙 比 $e_i$ <sup>3)</sup>		3.347	3.719	3.641	
	飽 和 度 $S_{ri}$ <sup>3)</sup>	%	91.8	89.2	89.4	
相 对 密 度 $D_{ri}$ <sup>3)</sup>	%					
設 置 ・ 飽 和 過 程	軸変位量の測定方法		外部変位計によって測定			
	設置時の軸変位量	cm	0.00	0.00	0.00	
	飽和過程の軸変位量	cm	0.00	0.00	0.00	
	軸 変 位 量 $\Delta H_i$ <sup>5)</sup>	cm	0.00	0.00	0.00	
	体積変化量の測定方法		計算による			
	設置時の体積変化量	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
飽和過程の体積変化量	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00		
体 積 変 化 量 $\Delta V_i$ <sup>5)</sup>	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00		
圧 密 前 ( 試 験 前 )	高 さ $H_0$	cm	9.96	9.97	9.95	
	直 径 $D_0$	cm	4.99	5.01	5.00	
	体 積 $V_0$	cm <sup>3</sup>	194.78	196.54	195.37	
	乾 燥 密 度 $\rho_{d0}$ <sup>3)</sup>	g/cm <sup>3</sup>	0.648	0.597	0.607	
	間 隙 比 $e_0$ <sup>3)</sup>		3.347	3.719	3.641	
炉 乾 燥 後	容 器 No.		820	315	887	
	(炉乾燥供試体+容器)質量	g	126.17	117.27	118.59	
	容 器 質 量	g	0.00	0.00	0.00	
	炉 乾 燥 質 量 $m_s$	g	126.17	117.27	118.59	

特記事項

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態 (塊状, 凍結, ときはぐされた) 等を記載する。
- 2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3) 必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5) 設置時の変化と飽和過程および B 値測定過程での変化を合わせる。

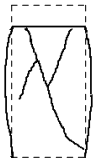
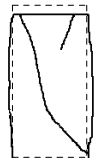

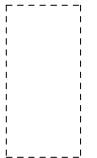
[1kN/m<sup>2</sup>≒0.1012kgf/cm<sup>2</sup>]

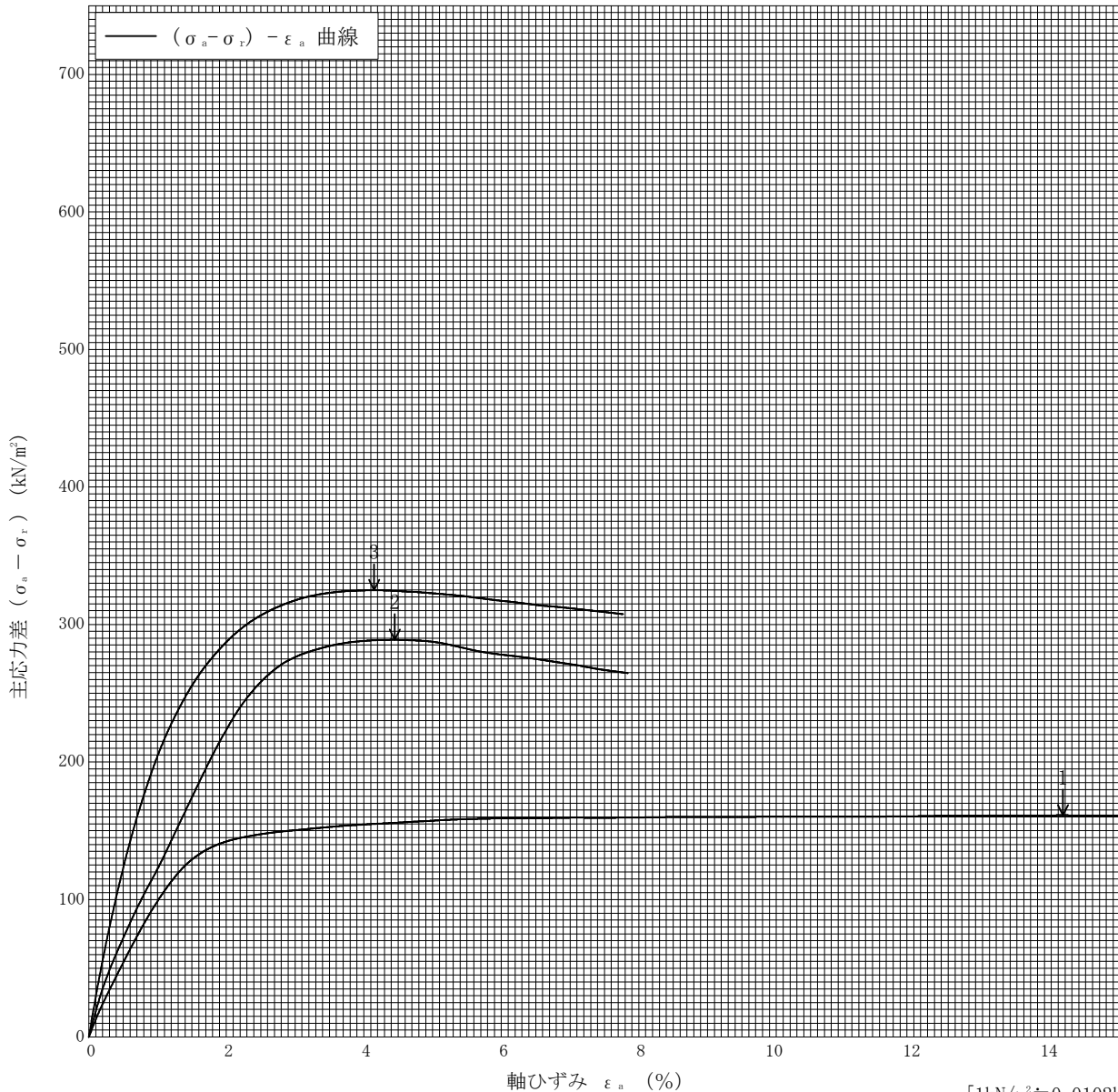
調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 15日

試料番号 (深さ) D3-1U (2.60~3.40m)

試験者 三ツ森 豊

土質名称	砂質火山灰質粘土 (II型) (R <sub>S</sub> )	供試体 No.	1	2	3	
液性限界 $w_L$ %	145.2	セル圧・垂直応力 $\sigma_v$ kN/m <sup>2</sup>	50.0	100.0	200.0	
塑性限界 $w_P$ %	76.8	背 圧 $u_b$ kN/m <sup>2</sup>	0.0	0.0	0.0	
ひずみ速度 %/min	1.0	主 応 力 差 最大 時				
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。		圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{max}$ kN/m <sup>2</sup>	161.2	288.8	324.9	
		軸ひずみ $\epsilon_{af}$ %	14.17	4.45	4.15	
		CU 間隙水圧 $u_f$ kN/m <sup>2</sup>				
		有効軸方向応力 $\sigma'_{af}$ kN/m <sup>2</sup>				
		有効側方向応力 $\sigma'_{rf}$ kN/m <sup>2</sup>				
		CD 体積ひずみ $\epsilon_{vf}$ %				
		間 隙 比 $e_f$				
供試体の破壊状況						



[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]

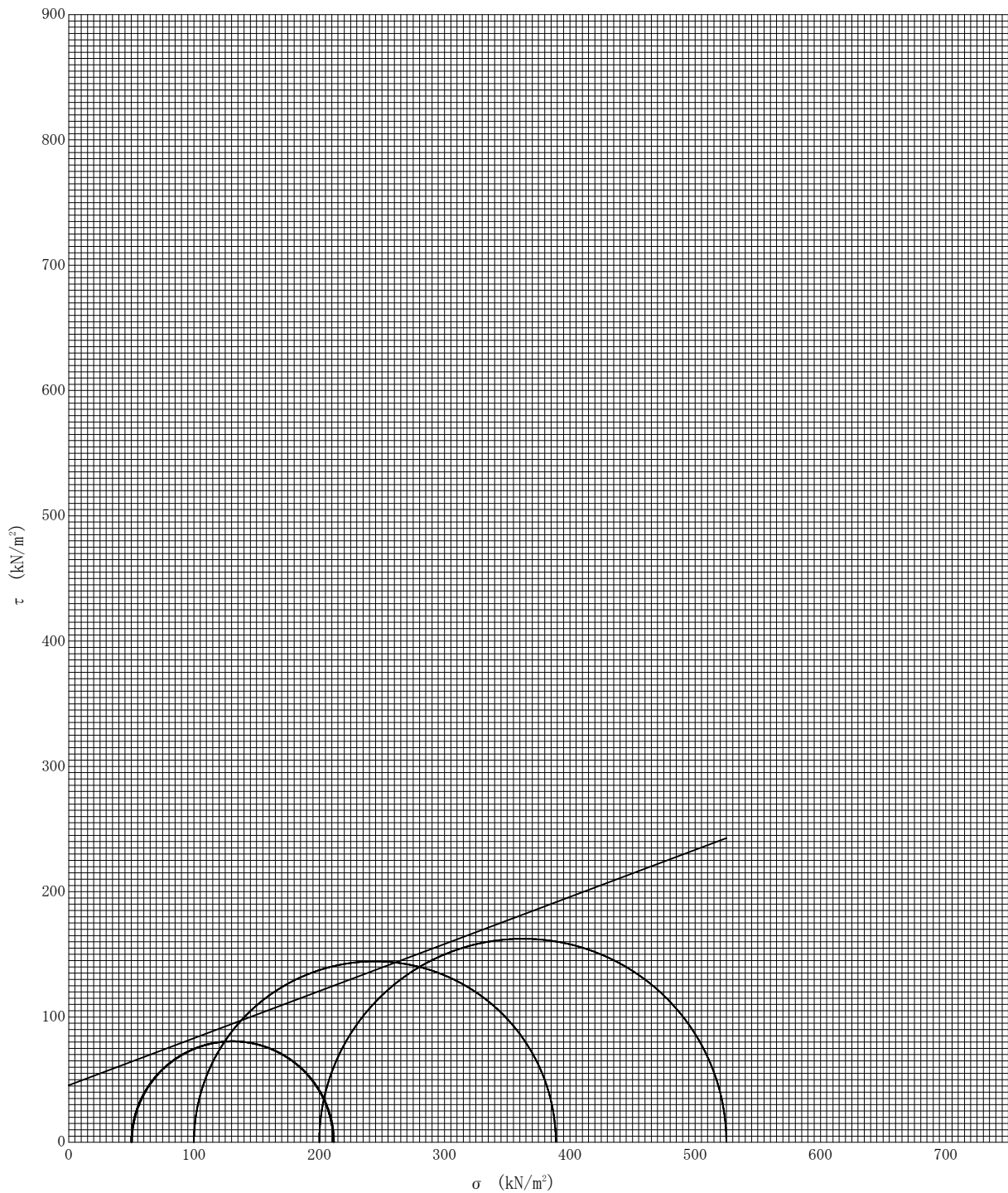
調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 15日

試料番号 (深さ) D3-1U (2.60~3.40m)

試験者 三ツ森 豊

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	c kN/m <sup>2</sup>	φ °	tan φ	c' kN/m <sup>2</sup>	φ' °
正規圧密領域					
過圧密領域	45.6	20.60	0.376		



特記事項

JGS	0520	土の三軸試験の供試体作製・設置
-----	------	-----------------

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 15日

試料番号(深さ) D3-1L (2.60~3.40m)

試験者 三ツ森 豊

供試体を用いる試験の基準番号と名称		JGS 0521 土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験				
試料の状態 <sup>1)</sup>	乱さない	土粒子の密度 <sup>3)</sup> g/cm <sup>3</sup>		2.742		
供試体の作製 <sup>2)</sup>	トリミング法	液性限界 $w_L$ % <sup>4)</sup>		100.5		
土質名称	砂質火山灰質粘性土(型)(VH <sub>2</sub> S)	塑性限界 $w_P$ % <sup>4)</sup>		45.5		
供試体	No.	1	2	3	4	
初期状態	直径	cm	4.98	5.01	5.00	5.00
		cm	4.98	5.00	4.99	4.99
		cm	4.98	4.99	5.01	4.98
	平均直径 $D_i$	cm	4.98	5.00	5.00	4.99
		高さ	cm	9.94	9.96	9.95
	9.94			9.95	9.94	9.93
	平均高さ $H_i$	cm	9.94	9.96	9.95	9.94
	体積 $V_i$	cm <sup>3</sup>	193.61	195.56	195.37	194.39
	含水比 $w_i$	%	43.8	53.0	69.3	59.2
	質量 $m_i$	g	340.33	321.87	309.89	318.41
	湿潤密度 $\rho_{ti}$ <sup>3)</sup>	g/cm <sup>3</sup>	1.758	1.646	1.586	1.638
	乾燥密度 $\rho_{di}$ <sup>3)</sup>	g/cm <sup>3</sup>	1.223	1.076	0.937	1.029
	間隙比 $e_i$ <sup>3)</sup>		1.242	1.548	1.926	1.665
飽和度 $S_{ri}$ <sup>3)</sup>	%	96.7	93.9	98.7	97.5	
相対密度 $D_{ri}$ <sup>3)</sup>	%					
設置・飽和過程	軸変位量の測定方法		外部変位計によって測定			
	設置時の軸変位量	cm	0.00	0.00	0.00	0.00
	飽和過程の軸変位量	cm	0.00	0.00	0.00	0.00
	軸変位量 $H_i$ <sup>5)</sup>	cm	0.00	0.00	0.00	0.00
	体積変化量の測定方法		計算による			
	設置時の体積変化量	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	0.00
	飽和過程の体積変化量	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	0.00
体積変化量 $V_i$ <sup>5)</sup>	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	0.00	
圧密前(試験前)	高さ $H_0$	cm	9.94	9.96	9.95	9.94
	直径 $D_0$	cm	4.98	5.00	5.00	4.99
	体積 $V_0$	cm <sup>3</sup>	193.61	195.56	195.37	194.39
	乾燥密度 $\rho_{d0}$ <sup>3)</sup>	g/cm <sup>3</sup>	1.223	1.076	0.937	1.029
	間隙比 $e_0$ <sup>3)</sup>		1.242	1.548	1.926	1.665
相対密度 $D_{r0}$ <sup>3)</sup>	%					
炉乾燥後	容器 No.		879	987	865	804
	(炉乾燥供試体+容器)質量	g	236.60	210.43	182.99	200.01
	容器質量	g	0.00	0.00	0.00	0.00
	炉乾燥質量 $m_s$	g	236.60	210.43	182.99	200.01

特記事項

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。
- 2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3) 必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5) 設置時の変化と飽和過程および  $B$  値測定過程での変化を合わせる。

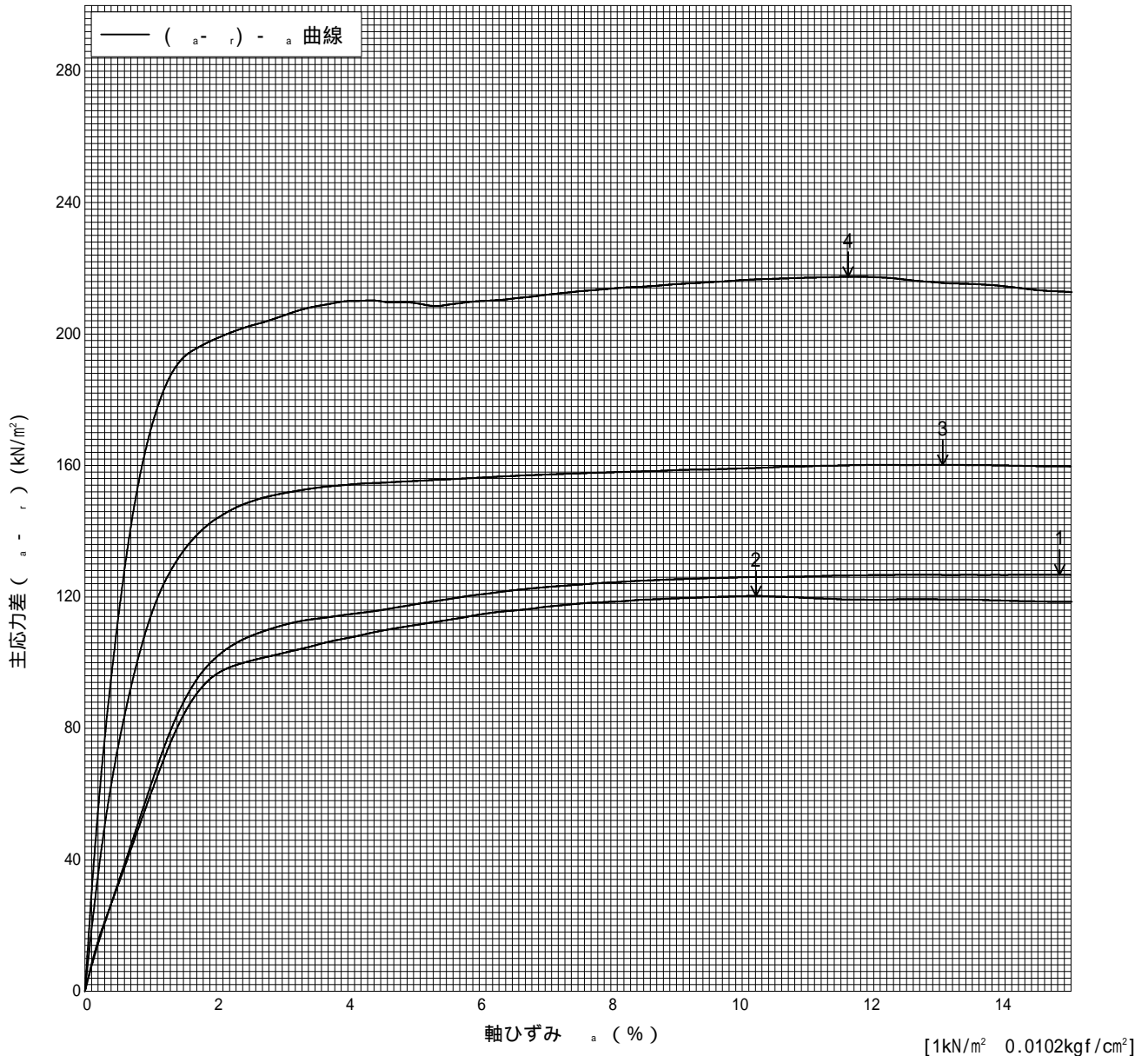
調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 15日

試料番号 (深さ) D3-1L (2.60~3.40m)

試験者 三ツ森 豊

土質名称	砂質火山灰質粘性土 ( 型 ) (HS)	供試体 No.	1	2	3	4
液性限界 $w_L$ %	100.5	セル圧・圧密応力 $\text{KN/m}^2$	25.0	50.0	100.0	200.0
塑性限界 $w_p$ %	45.5	背 圧 $u_b$ $\text{KN/m}^2$	0.0	0.0	0.0	0.0
ひずみ速度 %/min	1.0	主 応 力 差				
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。		軸ひずみ $a_f$ %	126.8	120.3	160.2	217.4
		CU 有効軸方向応力 $a_f$ $\text{KN/m}^2$				
		有効側方向応力 $r_f$ $\text{KN/m}^2$				
		CD 体積ひずみ $v_f$ %				
		間 隙 比 $e_f$				
供試体の破壊状況						



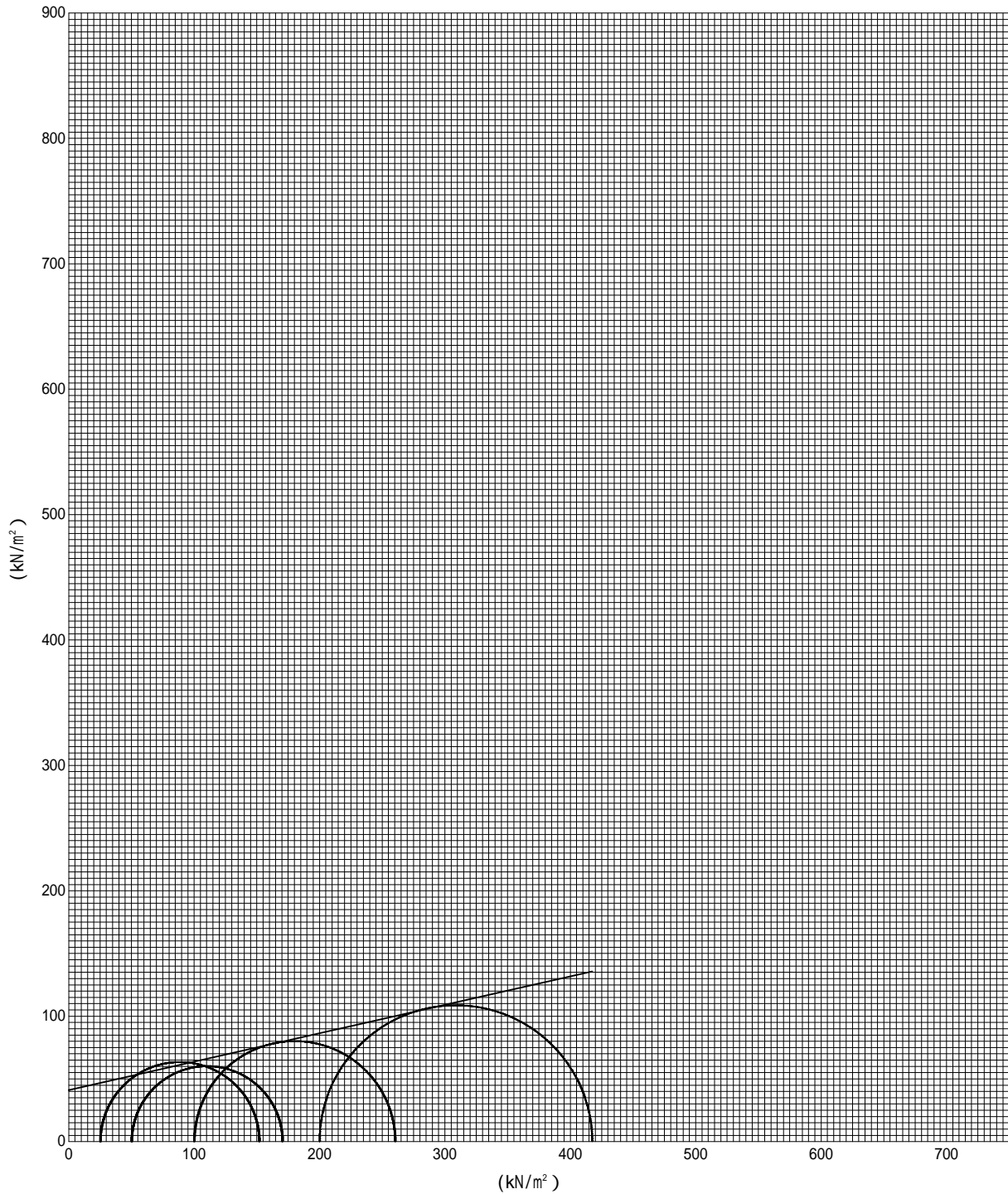
調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 15日

試料番号 (深さ) D3-1L (2.60~3.40m)

試験者 三ツ森 豊

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	c kN/m <sup>2</sup>	°	tan	c kN/m <sup>2</sup>	°
正規圧密領域					
過圧密領域	41.1	12.78	0.227		



特記事項

JGS	0520	土の三軸試験の供試体作製・設置
-----	------	-----------------

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 9月 7日

試料番号 (深さ) D5-1 (1.50~2.30m)

試験者 三ツ森 豊

供試体を用いる試験の基準番号と名称		JGS 0521 土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験			
試料の状態 <sup>1)</sup>	乱さない	土粒子の密度 $\rho_s$ <sup>3)</sup> g/cm <sup>3</sup>		2.765	
供試体の作製 <sup>2)</sup>	トリミング法	液性限界 $w_L$ % <sup>4)</sup>		49.0	
土質名称	細粒分質砂 (SF)	塑性限界 $w_P$ % <sup>4)</sup>		34.6	
供試体 No.		1	2	3	
初期 状 態	直 径 cm	5.00	5.01	5.00	
		5.00	4.98	4.99	
		4.98	4.97	4.97	
	平 均 直 径 $D_i$ cm	4.99	4.99	4.99	
		9.94	9.95	9.96	
	高 さ cm	9.93	9.94	9.95	
		9.94	9.95	9.96	
	体 積 $V_i$ cm <sup>3</sup>	194.39	194.59	194.78	
	含 水 比 $w_i$ %	44.8	41.4	40.0	
	質 量 $m_i$ g	333.17	331.05	336.85	
	湿 潤 密 度 $\rho_{wi}$ <sup>3)</sup> g/cm <sup>3</sup>	1.714	1.701	1.729	
	乾 燥 密 度 $\rho_{di}$ <sup>3)</sup> g/cm <sup>3</sup>	1.184	1.203	1.235	
	間 隙 比 $e_i$ <sup>3)</sup>	1.335	1.298	1.239	
	飽 和 度 $S_{ri}$ <sup>3)</sup> %	92.8	88.2	89.3	
相 对 密 度 $D_{ri}$ <sup>3)</sup> %					
設 置 ・ 飽 和 過 程	軸変位量の測定方法		外部変位計によって測定		
	設置時の軸変位量	cm	0.00	0.00	0.00
	飽和過程の軸変位量	cm	0.00	0.00	0.00
	軸 変 位 量 $\Delta H_i$ <sup>5)</sup>	cm	0.00	0.00	0.00
	体積変化量の測定方法		計算による		
	設置時の体積変化量	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00
飽和過程の体積変化量	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
体 積 変 化 量 $\Delta V_i$ <sup>5)</sup>	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
圧 密 前 ( 試 験 前 )	高 さ $H_0$ cm	9.94	9.95	9.96	
	直 径 $D_0$ cm	4.99	4.99	4.99	
	体 積 $V_0$ cm <sup>3</sup>	194.39	194.59	194.78	
	乾 燥 密 度 $\rho_{d0}$ <sup>3)</sup> g/cm <sup>3</sup>	1.184	1.203	1.235	
	間 隙 比 $e_0$ <sup>3)</sup>	1.335	1.298	1.239	
相 对 密 度 $D_{r0}$ <sup>3)</sup> %					
炉 乾 燥 後	容 器 No.	959	868	826	
	(炉乾燥供試体+容器)質量	g	230.14	234.11	240.69
	容 器 質 量	g	0.00	0.00	0.00
	炉 乾 燥 質 量 $m_s$	g	230.14	234.11	240.69

特記事項

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態 (塊状, 凍結, ときはぐされた) 等を記載する。
- 2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3) 必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5) 設置時の変化と飽和過程および  $B$  値測定過程での変化を合わせる。

[1kN/m<sup>2</sup>≒0.1012kgf/cm<sup>2</sup>]







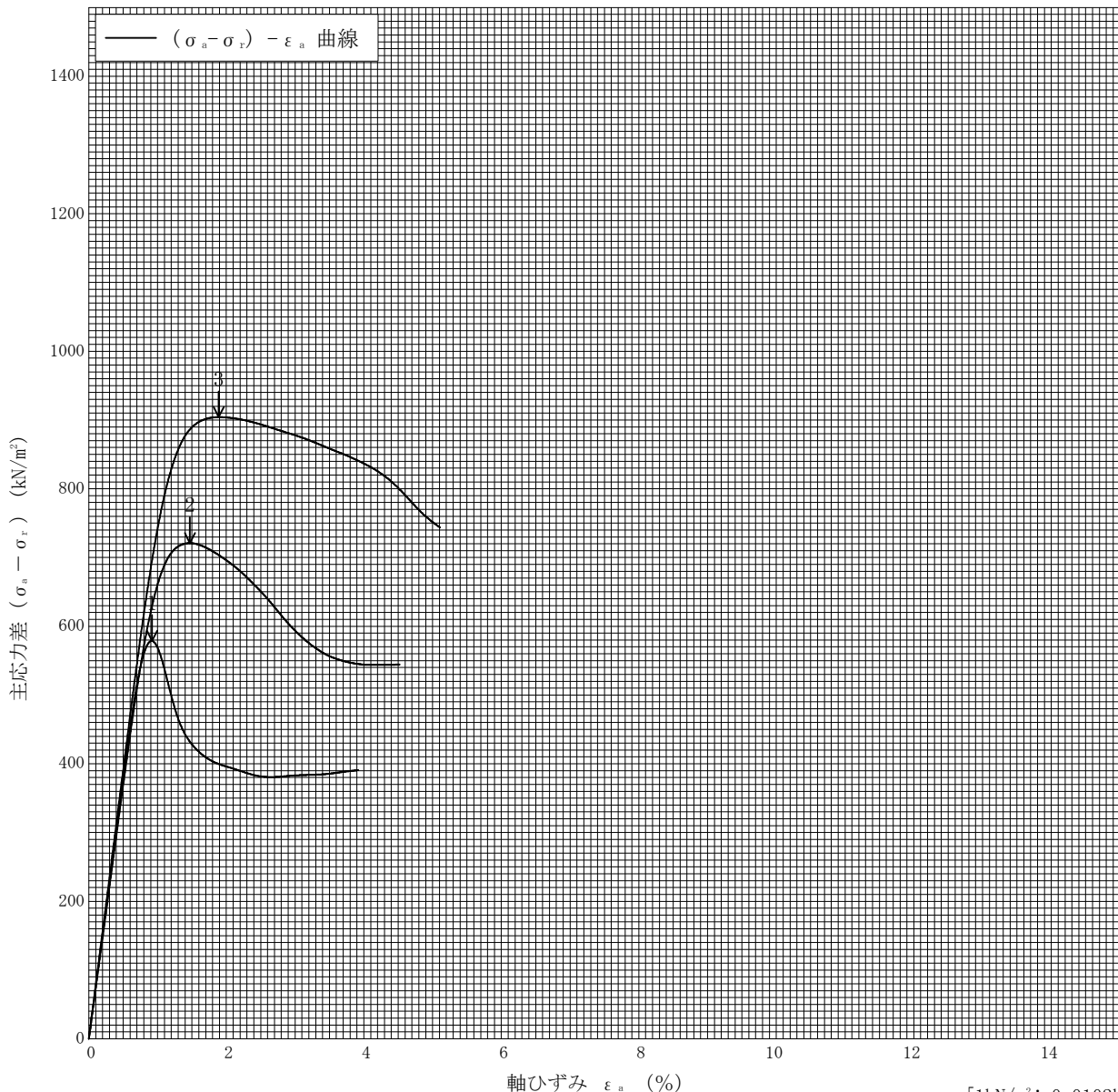
調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 9月 7日

試料番号 (深さ) D5-1 (1.50~2.30m)

試験者 三ツ森 豊

土質名称	細粒分質砂 (SF)	供試体 No.	1	2	3		
液性限界 $w_L$ %	49.0	セル圧・圧密応力 $kN/m^2$	50.0	100.0	200.0		
塑性限界 $w_P$ %	34.6	背 圧 $u_b$ $kN/m^2$	0.0	0.0	0.0		
ひずみ速度 %/min	1.0	圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{max}$ $kN/m^2$	578.7	720.9	904.1		
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。		軸ひずみ $\epsilon_{af}$ %	0.92	1.47	1.89		
		CU	間隙水圧 $u_f$ $kN/m^2$				
			有効軸方向応力 $\sigma'_{af}$ $kN/m^2$				
		CD	有効側方向応力 $\sigma'_{rf}$ $kN/m^2$				
			体積ひずみ $\epsilon_{vf}$ %				
主応力差最大時							
間隙比 $e_f$							
供試体の破壊状況							



[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]

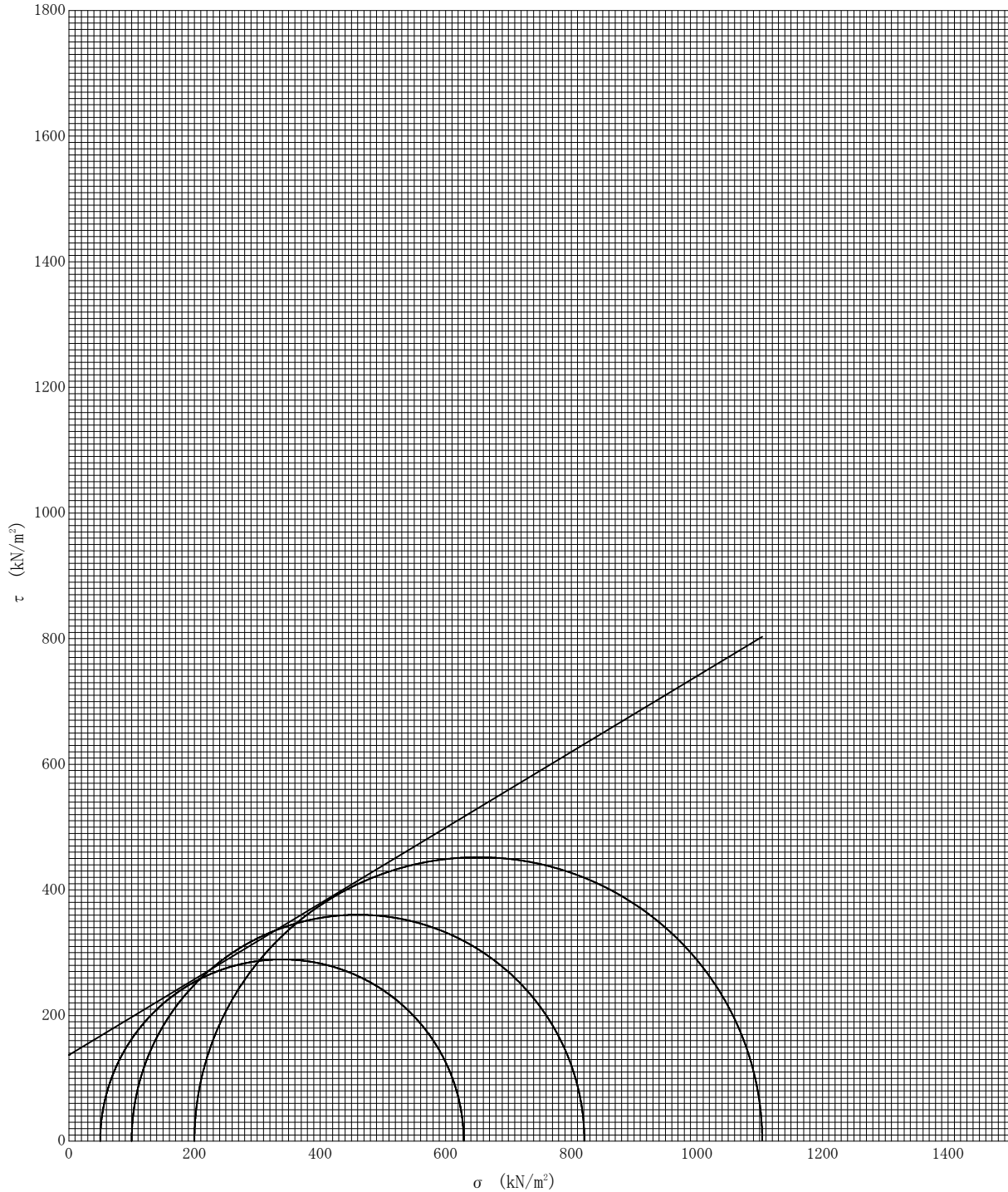
調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 9月 7日

試料番号 (深さ) D5-1 (1.50~2.30m)

試験者 三ツ森 豊

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	$c$ kN/m <sup>2</sup>	$\phi$ °	$\tan \phi$	$c'$ kN/m <sup>2</sup>	$\phi'$ °
正 規 圧 密 領 域					
過 圧 密 領 域	137.0	31.10	0.603		



特記事項

[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]

JGS	0520	土の三軸試験の供試体作製・設置
-----	------	-----------------

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 18日

試料番号(深さ) D6-1 (1.50~2.30m)

試験者 三ツ森 豊

供試体を用いる試験の基準番号と名称		JGS 0521 土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験			
試料の状態 <sup>1)</sup>	乱さない	土粒子の密度 <sup>3)</sup> g/cm <sup>3</sup>		2.722	
供試体の作製 <sup>2)</sup>	トリミング	液性限界 $w_L$ % <sup>4)</sup>		70.6	
土質名称	砂まじり火山灰質粘性土(型)(VH <sub>1</sub> -S)	塑性限界 $w_P$ % <sup>4)</sup>		38.3	
供試体	No.	1	2	3	
初期状態	直径	cm	3.52	3.51	3.50
		cm	3.50	3.50	3.50
		cm	3.51	3.50	3.50
	平均直径 $D_i$	cm	3.51	3.50	3.50
		cm	8.01	8.03	8.00
	高さ	cm	8.02	8.03	8.00
		cm	8.02	8.03	8.00
	平均高さ $H_i$	cm	8.02	8.03	8.00
	体積 $V_i$	cm <sup>3</sup>	77.60	77.26	76.97
	含水比 $w_i$	%	48.7	48.2	41.9
	質量 $m_i$	g	132.00	132.01	137.94
	湿潤密度 $t_i$ <sup>3)</sup>	g/cm <sup>3</sup>	1.701	1.709	1.792
	乾燥密度 $d_i$ <sup>3)</sup>	g/cm <sup>3</sup>	1.144	1.153	1.263
間隙比 $e_i$ <sup>3)</sup>		1.379	1.361	1.155	
飽和度 $S_{ri}$ <sup>3)</sup>	%	96.1	96.4	98.7	
相対密度 $D_{ri}$ <sup>3)</sup>	%				
設置・飽和過程	軸変位量の測定方法		外部変位計によって測定		
	設置時の軸変位量	cm	0.00	0.00	0.00
	飽和過程の軸変位量	cm	0.00	0.00	0.00
	軸変位量 $H_i$ <sup>5)</sup>	cm	0.00	0.00	0.00
	体積変化量の測定方法		計算による		
	設置時の体積変化量	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00
飽和過程の体積変化量	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
体積変化量 $V_i$ <sup>5)</sup>	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	
圧密前(試験前)	高さ $H_0$	cm	8.02	8.03	8.00
	直径 $D_0$	cm	3.51	3.50	3.50
	体積 $V_0$	cm <sup>3</sup>	77.60	77.26	76.97
	乾燥密度 $d_0$ <sup>3)</sup>	g/cm <sup>3</sup>	1.144	1.153	1.263
	間隙比 $e_0$ <sup>3)</sup>		1.379	1.361	1.155
相対密度 $D_{r0}$ <sup>3)</sup>	%				
炉乾燥後	容器 No.		98	99	100
	(炉乾燥供試体+容器)質量	g	88.76	89.05	97.24
	容器質量	g	0.00	0.00	0.00
	炉乾燥質量 $m_s$	g	88.76	89.05	97.24

特記事項

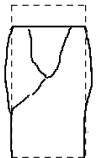
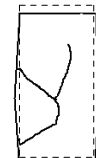

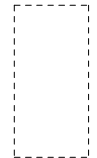
- 1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。
- 2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3) 必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5) 設置時の変化と飽和過程および  $B$  値測定過程での変化を合わせる。

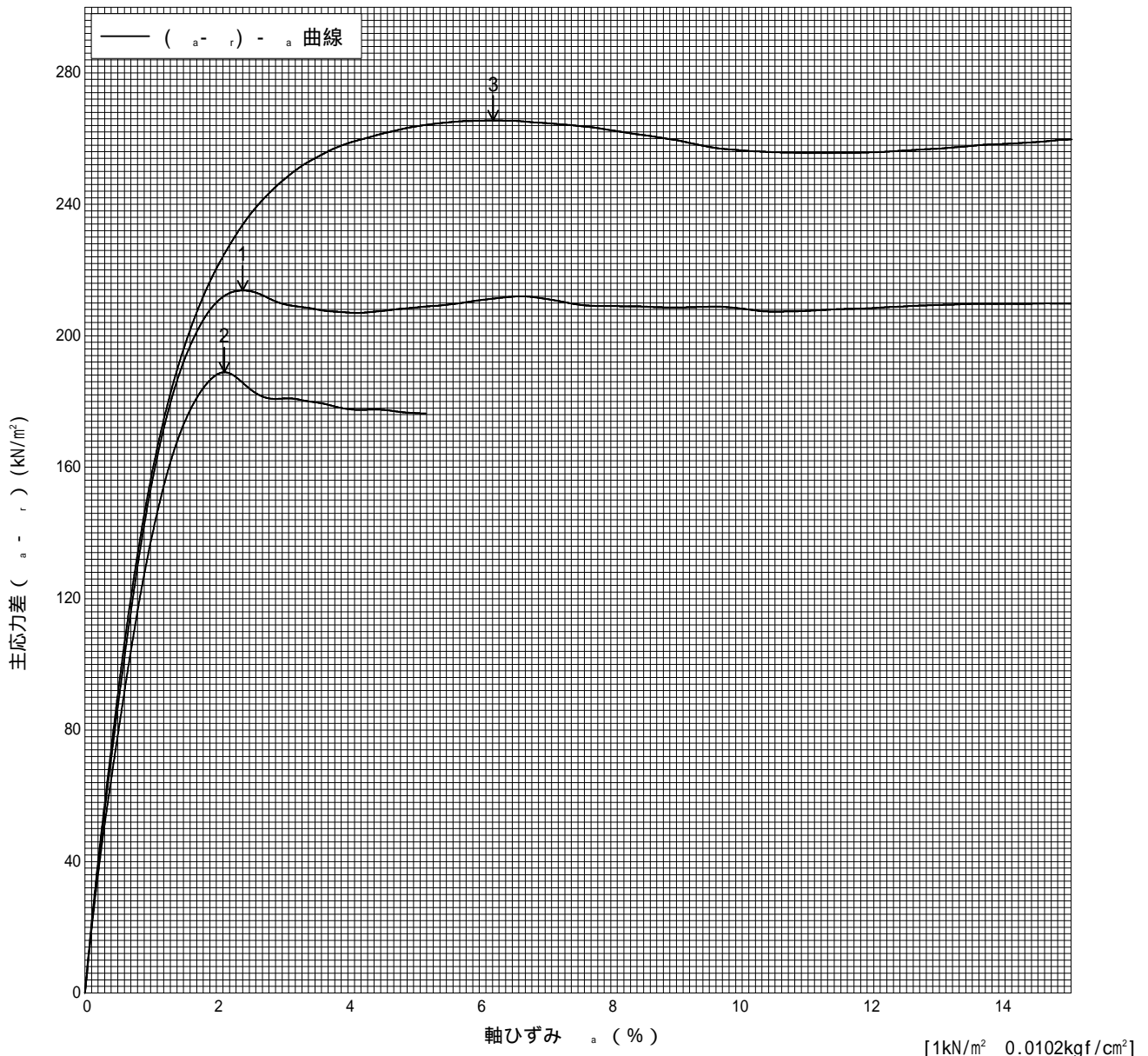
調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 18日

試料番号 (深さ) D6-1 (1.50 ~ 2.30m)

試験者 三ツ森 豊

土質名称	砂まじり火山灰質粘性土 ( 型 ) (M-S)	供試体 No.	1	2	3	
液性限界 $w_L$ %	70.6	セル圧・圧密応力	50.0	100.0	200.0	
塑性限界 $w_p$ %	38.3	背 圧 $u_b$	0.0	0.0	0.0	
ひずみ速度 %/min	1.0	圧縮強さ $(\sigma_a - r)_{max}$	213.8	188.9	265.5	
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。	主 応 力 差 最 大 時	軸ひずみ $a_f$	2.40	2.12	6.21	
	CU	間隙水圧 $u_f$				
		有効軸方向応力 $\sigma_{af}$				
	CD	有効側方向応力 $r_f$				
		体積ひずみ $v_f$				
	間 隙 比 $e_f$					
供試体の破壊状況						



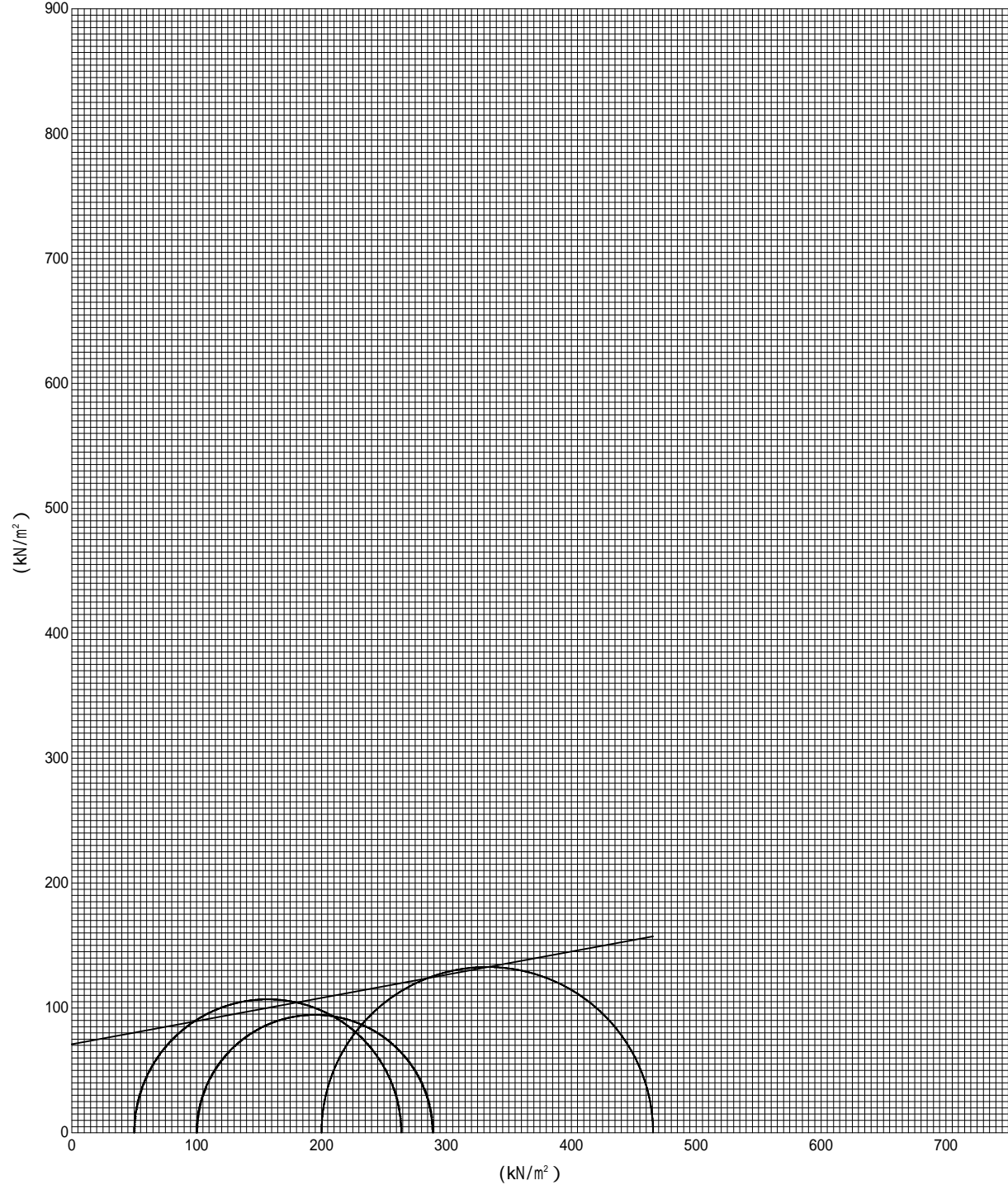
調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 18日

試料番号 (深さ) D6-1 (1.50~2.30m)

試験者 三ツ森 豊

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	c kN/m <sup>2</sup>	°	tan	c kN/m <sup>2</sup>	°
正規圧密領域					
過圧密領域	71.0	10.50	0.185		



特記事項

JGS	0520	土の三軸試験の供試体作製・設置
-----	------	-----------------

調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 18日

試料番号(深さ) D9-1 (2.00~2.80m)

試験者 三ツ森 豊

供試体を用いる試験の基準番号と名称		JGS 0521 土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験				
試料の状態 <sup>1)</sup>	乱さない	土粒子の密度 <sup>3)</sup> g/cm <sup>3</sup>		2.776		
供試体の作製 <sup>2)</sup>	トリミング	液性限界 $w_L$ % <sup>4)</sup>		98.9		
土質名称	砂質火山灰質粘性土(型)(VH <sub>2</sub> S)	塑性限界 $w_P$ % <sup>4)</sup>		53.1		
供試体	No.	1	2	3	4	
初期状態	直径	cm	5.02	5.00	5.00	5.00
		cm	5.00	5.00	4.97	5.00
		cm	4.98	4.98	4.97	4.98
	平均直径 $D_i$	cm	5.00	4.99	4.98	4.99
		cm	9.95	9.95	9.95	9.97
	高さ	cm	9.95	9.94	9.95	9.96
		cm	9.95	9.95	9.95	9.97
	平均高さ $H_i$	cm	9.95	9.95	9.95	9.97
	体積 $V_i$	cm <sup>3</sup>	195.37	194.59	193.81	194.98
	含水比 $w_i$	%	47.1	65.6	64.5	73.7
	質量 $m_i$	g	314.19	293.62	297.13	291.91
	湿潤密度 $\rho_{ti}$ <sup>3)</sup>	g/cm <sup>3</sup>	1.608	1.509	1.533	1.497
	乾燥密度 $\rho_{di}$ <sup>3)</sup>	g/cm <sup>3</sup>	1.093	0.911	0.932	0.862
	間隙比 $e_i$ <sup>3)</sup>		1.540	2.047	1.979	2.220
飽和度 $S_{ri}$ <sup>3)</sup>	%	84.9	89.0	90.5	92.2	
相対密度 $D_{ri}$ <sup>3)</sup>	%					
設置・飽和過程	軸変位量の測定方法		外部変位計によって測定			
	設置時の軸変位量	cm	0.00	0.00	0.00	0.00
	飽和過程の軸変位量	cm	0.00	0.00	0.00	0.00
	軸変位量 $H_i$ <sup>5)</sup>	cm	0.00	0.00	0.00	0.00
	体積変化量の測定方法		計算による			
	設置時の体積変化量	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	0.00
飽和過程の体積変化量	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	0.00	
体積変化量 $V_i$ <sup>5)</sup>	cm <sup>3</sup>	0.00	0.00	0.00	0.00	
圧密前(試験前)	高さ $H_0$	cm	9.95	9.95	9.95	9.97
	直径 $D_0$	cm	5.00	4.99	4.98	4.99
	体積 $V_0$	cm <sup>3</sup>	195.37	194.59	193.81	194.98
	乾燥密度 $\rho_{d0}$ <sup>3)</sup>	g/cm <sup>3</sup>	1.093	0.911	0.932	0.862
	間隙比 $e_0$ <sup>3)</sup>		1.540	2.047	1.979	2.220
相対密度 $D_{r0}$ <sup>3)</sup>	%					
炉乾燥後	容器 No.		820	315	887	863
	(炉乾燥供試体+容器)質量	g	213.57	177.35	180.65	168.04
	容器質量	g	0.00	0.00	0.00	0.00
	炉乾燥質量 $m_s$	g	213.57	177.35	180.65	168.04

特記事項

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。
- 2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3) 必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5) 設置時の変化と飽和過程および  $B$  値測定過程での変化を合わせる。

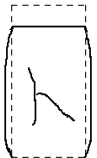

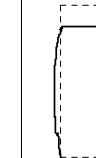

[1kN/m<sup>2</sup> 0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]

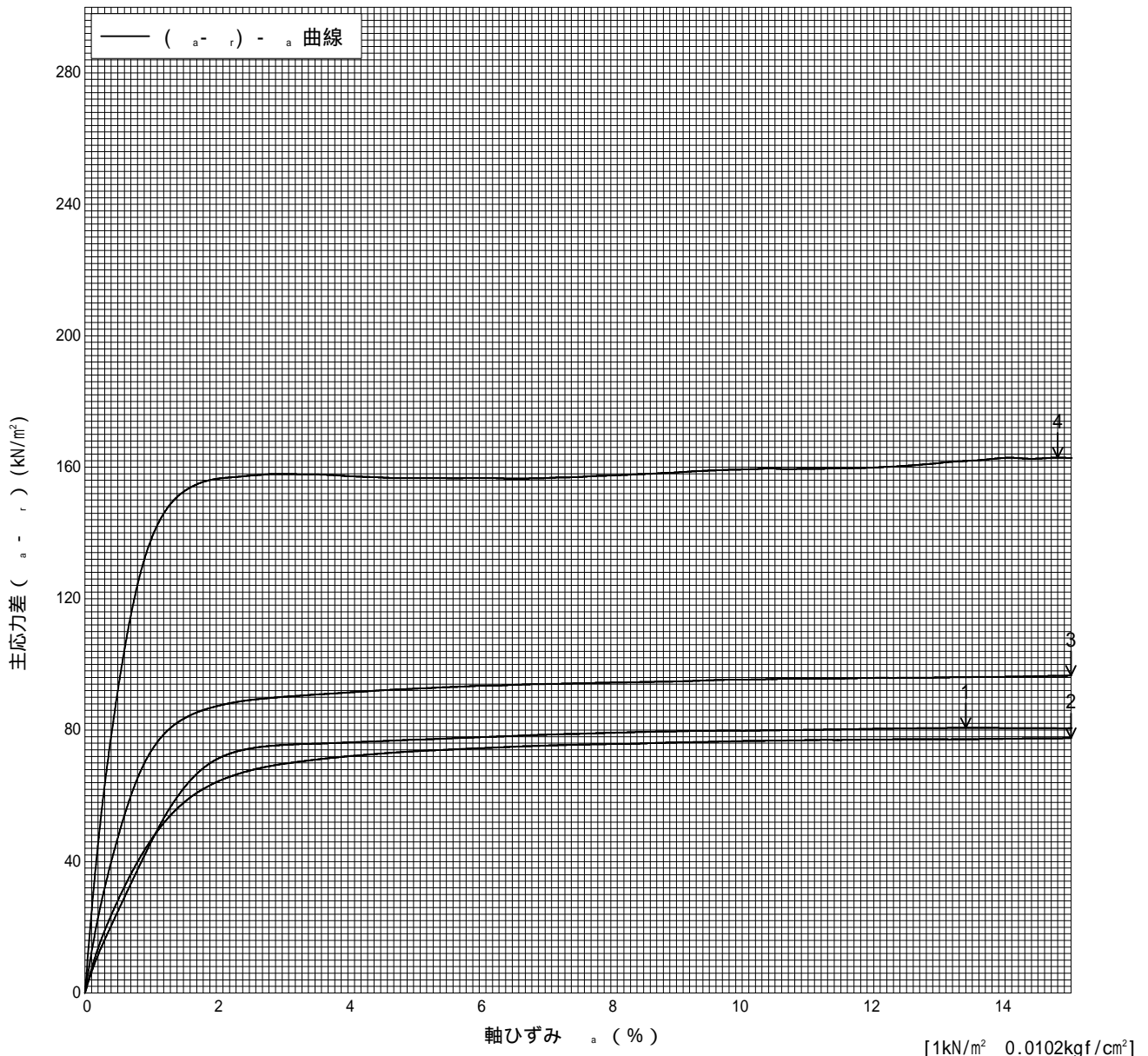
調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査

試験年月日 2022年 8月 18日

試料番号 (深さ) D9-1 (2.00~2.80m)

試験者 三ツ森 豊

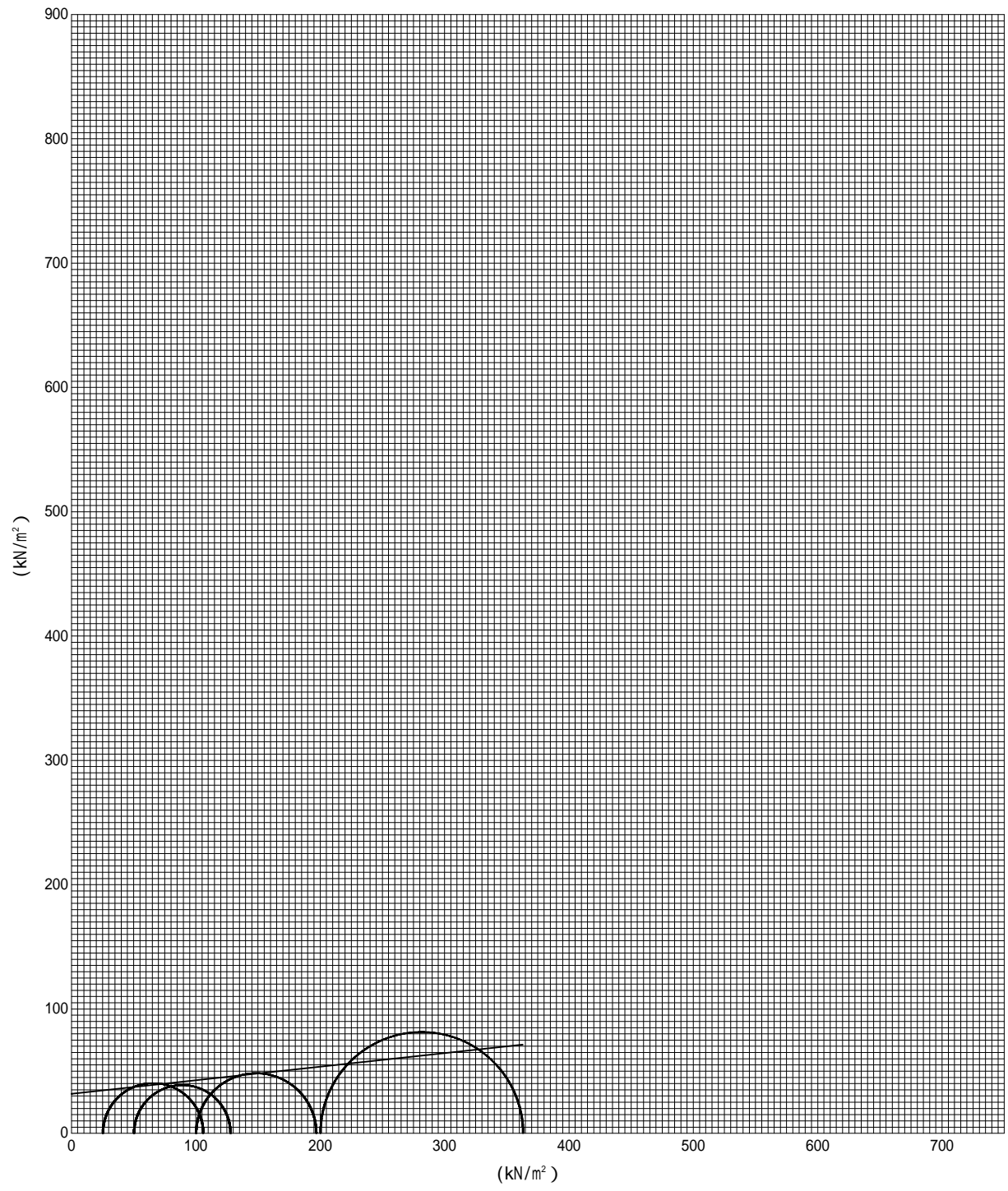
土質名称	砂質火山灰質粘性土 ( 型 ) (H/S)	供試体 No.	1	2	3	4
液性限界 $w_L$ %	98.9	セル圧・圧密応力	25.0	50.0	100.0	200.0
塑性限界 $w_p$ %	53.1	背 圧 $u_b$	0.0	0.0	0.0	0.0
ひずみ速度 %/min	1.0	圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{max}$	80.7	77.6	96.6	162.9
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。	主 応 力 差 最 大 時	軸ひずみ $a_f$	13.40	15.00	15.00	14.80
	CU	間隙水圧 $u_f$				
		有効軸方向応力 $\sigma_{af}$				
	CD	有効側方向応力 $\sigma_{rf}$				
		体積ひずみ $v_f$				
		間 隙 比 $e_f$				
供試体の破壊状況						



調査件名 吉原小学校建替え工事に伴う地質調査 試験年月日 2022年 8月 18日

試料番号 (深さ) D9-1 (2.00~2.80m) 試験者 三ツ森 豊

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	c kN/m <sup>2</sup>	°	tan	c kN/m <sup>2</sup>	°
正規圧密領域					
過圧密領域	31.7	6.22	0.109		



特記事項